

3 出土遺物

(2) 土師器・須恵器

遺構内出土土器 (1～305)

SBB2 出土土器 (1～4)

1はPPB24埋土、2はPPB63から出土した須恵系a坏で、ロクロ成形。非黑色処理。内外面ともロクロナデ整形で、底部は回転糸切り無調整。3はPPB18埋土・柱痕最下部から出土した須恵系b坏である。ロクロ成形。非黑色処理。口縁部外反。内外面ともロクロナデ整形で、底部は回転糸切り無調整。糸切り後の乾燥段階で底部に擦れ痕残る。4はPPB85埋土から出土した須恵器甕である。輪積み成形。口縁端部は上下方へ摘まみ出される形状。外面は横位ヘラナデした頸部に、4条1束の櫛搔波状文を2段施文する。内面は当て具痕(見えず)後に、横位ヘラナデ調整でなで消している。内外面自然軸付着(内面灰被り)。

SBC2 出土土器 (5～7)

5はPPC514埋土から出土した土師器の高台皿か坏である。ロクロ成形。内外面ともロクロナデ整形で、内面はヘラミガキ調整・黒色処理だが風化が顕著で荒れている。底部は回転ヘラ切り後に高台貼付、ロクロナデで馴染ませている。6はPPC521埋土から出土した須恵器甕である。外面は口縁端部が下方に摘まみ出される。頸部ロクロナデ、肩部以下は平行叩き目(斜位)。内面は口縁部～頸部は横位ヘラナデ・指頭痕、肩部以下は放射状当て具痕(連藕文)が残る。外面肩部と内面口縁部に自然軸が見られる。7はPPC521埋土とSXC1埋土、II B14m溝から出土した須恵器甕である。輪積み後ロクロ成形。口縁端部は上下方へ摘まみ出される形状。外面は斜位平行叩き目後に、頸部はロクロナデ調整を施している。内面口縁部～頸部は当て具痕は見えずロクロナデ調整、体部は放射状当て具痕(連藕文)を残している。外面肩部と内面口縁部に自然軸付着(灰被り)。

SBC3 出土土器 (8・9)

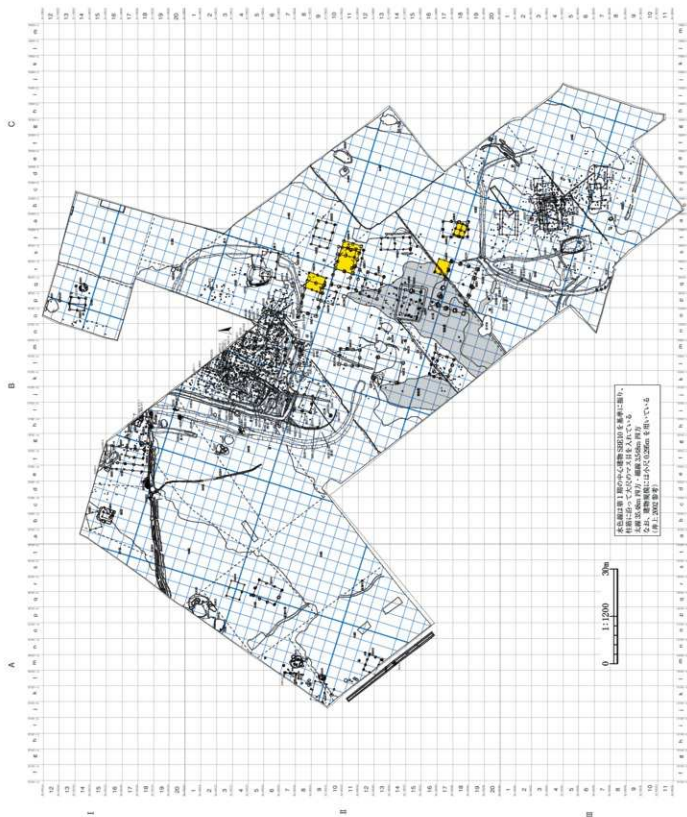
8はPPC518埋土から出土した須恵系a坏である。ロクロ成形。非黑色処理。内外面ともロクロナデ整形。胎土密で、1～2mm大の小礫を2～3%混入する。9はPPC520埋土から出土した土師器甕である。ロクロ成形。口縁端部は上下方へ摘まみ出される形状。内外面ともロクロナデ整形で、外面は下から上方向の縦位ヘラケズリ調整後に横位ヘラナデ調整、内面は横位ヘラナデ調整で仕上げている。軟質。

SBC4 出土土器 (10)

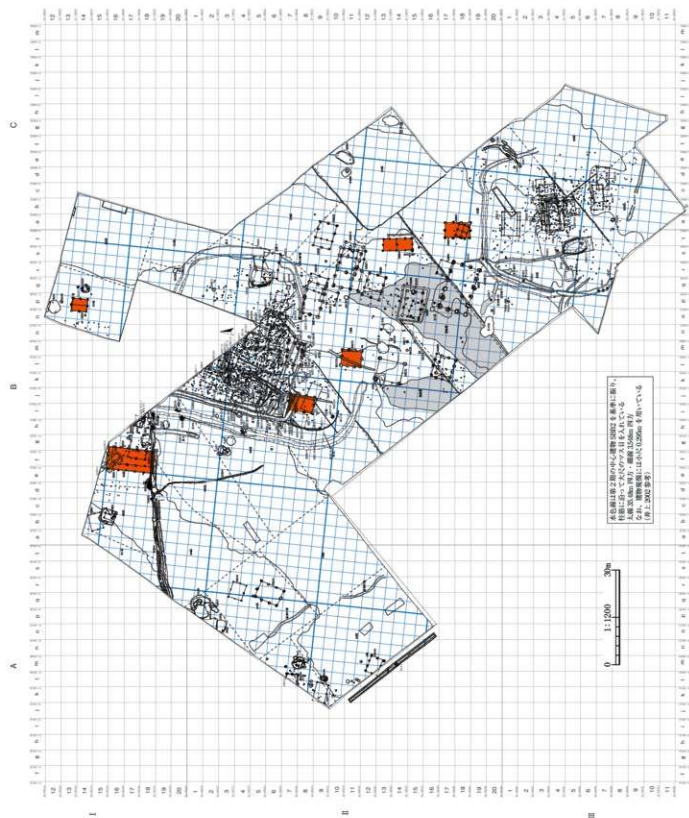
10はPPC540柱抜き取り痕から出土した須恵系a坏である。ロクロ成形。非黑色処理。内外面ともロクロナデ整形。焼きが弱く軟質で、摩滅気味である。

SBC6 出土土器 (11)

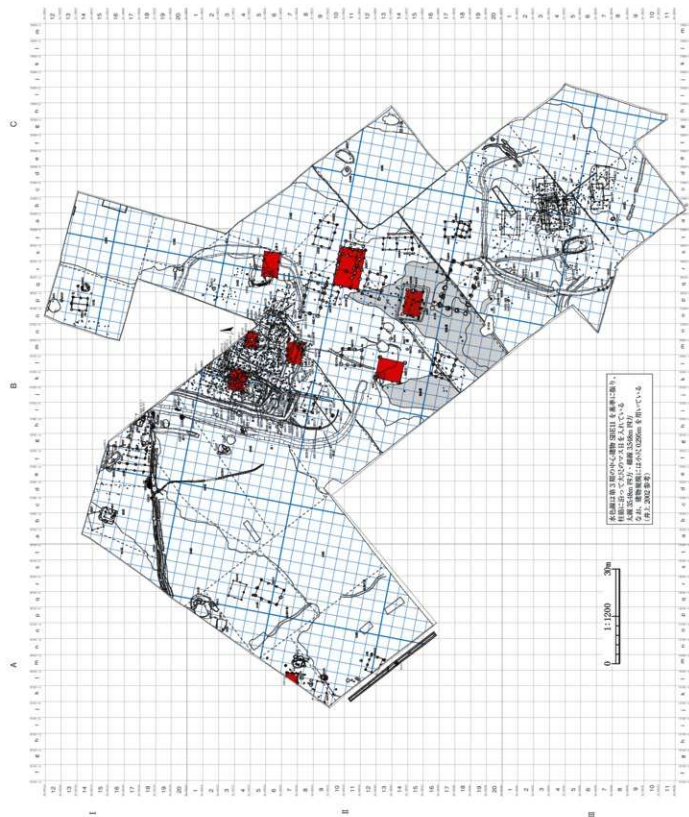
11はPPC803柱抜き取り痕から出土した須恵器長頸甕である。最大径(19.6)cm。外面は体部下半はロクロ挽きだが、上半は輪積み後にロクロナデ整形していると見られる。内面はロクロナデ調整で、部分的に火ぶくれあり。底は回転糸切り後に高台を貼り付け、ロクロナデで整えている。外面体部上



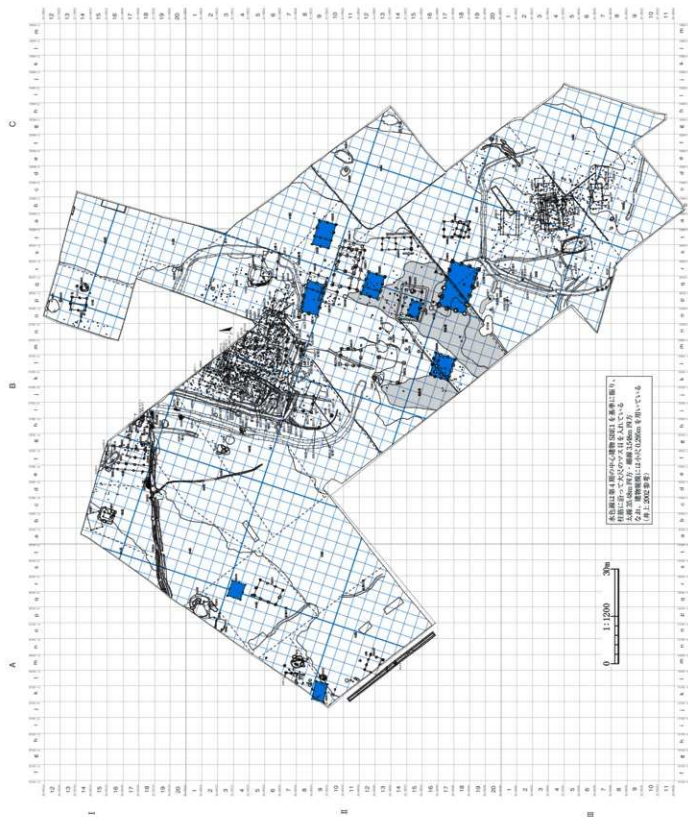
第210図 平安時代の掘立柱建物変遷案(第1期)



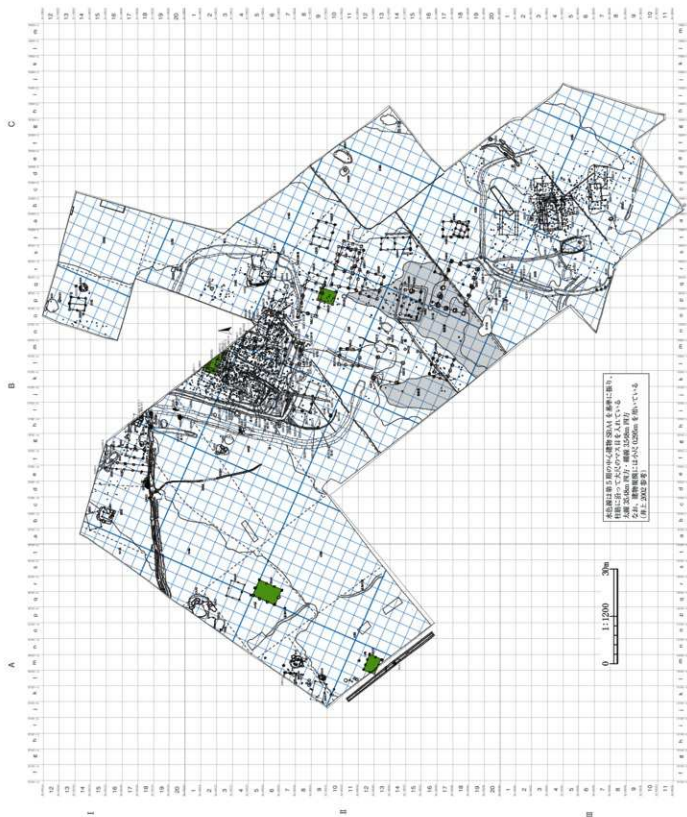
第211図 平安時代の掘立柱建物変遷案(第2期)



第212図 平安時代の掘立柱建物変遷案（第3期）



第 213 図 平安時代の掘立柱建物変遷案 (第 4 期)



第 214 図 平安時代の掘立柱建物変遷案 (第 5 期)

第1表 周辺の遺跡一覧表(古代・中世)

No.	遺跡コード	遺跡名	性格	時代
1	NE36-0247	中林F	集落跡	平安
2	NE36-0320	上林F	散布地	古代
3	NE36-0245	中林A	集落跡	平安
4	NE36-0253	中林B	集落跡	平安
5	NE36-0283	中林B	散布地	平安
6	NE36-0230	馬籠館	城館跡	中世
7	NE36-1200	堤ヶ沢Ⅰ	集落跡	平安
8	NE36-0280	堤ヶ沢Ⅱ	集落跡	平安
9	NE36-0300	堤尻F	散布地	中世
10	NE36-0206	浜田	散布地	縄文・平安
11	NE26-2262	高田	集落跡	平安
12	NE26-2287	真城ガ丘団地	集落跡	平安
13	NE36-2299	雷神Ⅰ	集落跡	平安
14	NE36-1169	折居館	城館跡	中世
15	NE36-1265	雲寄	城館跡	中・近世
16	NE36-1352	谷地	散布地、城館跡	中・近世
17	NE36-1322	谷地館	散布地	平安
18	NE36-1323	二ツ洞	散布地	平安・中世
19	NE36-1315	二ツ洞北	散布地	平安
20	NE36-1334	二ツ洞南	散布地	平安
21	NE36-0397	土手北	散布地	平安
22	NE36-1318	土手南	散布地	平安
23	NE36-0376	真城落合	散布地	平安
24	NE37-0093	寺ヶ前Ⅰ	散布地	平安
25	NE37-0072	寺ヶ前Ⅱ	散布地	平安
26	NE37-0074	寺ヶ前Ⅲ	散布地	平安
27	NE37-0032	中平	散布地	平安
28	NE37-0041	中平館	環濠屋敷集落	中・近世・平安
29	NE37-0040	中平西	散布地	平安
30	NE37-0044	中平東	散布地	平安
31	NE37-0099	島田Ⅰ	散布地	平安
32	NE37-0079	島田Ⅱ	散布地	平安
33	NE37-0088	島田Ⅲ	散布地	平安
34	NE37-0181	島田Ⅳ	散布地	平安
35	NE37-0010	館(中野館)	集落跡	古代・平安・中世
36	NE37-0022	東谷地	散布地	平安
37	NE37-0012	畑田荒谷	散布地	平安
38	NE27-2061	北野Ⅰ	散布地	平安
39	NE27-2092	北野Ⅱ	集落跡	平安
40	NE26-2289	北野Ⅲ	集落跡	平安
41	NE26-2287	金田Ⅰ	集落跡	平安
42	NE27-1070	林前Ⅰ	集落跡	平安
43	NE27-2024	林前Ⅱ	散布地	平安
44	NE27-1084	林前館	城館跡	中世
45	NE27-2001	林前南館	城館跡	縄文・平安
46	NE26-2341	堤尻館(堤尻沢館)	城館跡	中世
47	NE26-2321	大塚	集落跡	平安
48	NE26-1361	浜江	集落跡	平安
49	NE26-1331	浜江館(四郎館)	城館跡	中世
50	NE26-1254	龍ヶ馬場	散布地	縄文・平安
51	NE26-1199	畑野森	散布地	縄文・中世
52	NE26-2098	中島	散布地	縄文・古代
53	NE36-1297	北館	環濠屋敷跡	中世
54	NE36-1313	北館東Ⅰ	散布地	古代
55	NE36-2219	北館東Ⅱ	散布地	縄文・古代

No.	遺跡コード	遺跡名	性格	時代
56	NE36-1359	高根Ⅰ	散布地	古代
57	NE37-1091	高根Ⅱ	散布地	古代
58	NE36-2315	栗林	経塚・屋敷跡	中・近世
59	NE37-2013	堂田Ⅰ	散布地	古代
60	NE37-2030	堂田Ⅱ	散布地	古代
61	NE37-1053	廻野Ⅰ	散布地	古代
62	NE37-1084	廻野Ⅱ	散布地	古代
63	NE37-1075	南下田	散布地	平安
64	NE37-2033	水ノ口	集落跡	縄文・平安
65	NE37-2050	六日入	城館跡	中世・古代
66	NE37-1036	下樋田	散布地	平安
67	NE36-2239	砂子田	散布地	古代
68	NE36-2379	古城林	散布地	古代
69	NE46-0304	草井川	散布地	平安
70	NE36-2288	館合下	散布地	平安
71	NE46-0236	下町	散布地	縄文・平安
72	NE36-2203	熊野	散布地	平安
73	NE36-2211	堀	散布地、瓦窯跡?	縄文・平安
74	NE36-2243	八郎館	散布地、城館跡	平安・中世・縄文
75	NE36-2145	前瀬	散布地	縄文・古代
76	NE36-2272	宗角館	城館跡	中世・平安
77	NE36-2175	明後沢	散布地、城館跡?	平安
78	NE36-2174	島子沢	散布地、城館跡	平安・中世
79	NE46-0107	長者館	城館跡	中世
80	NE46-0222	九郎館	城館跡	中世
81	NE46-0242	寺ノ上	散布地	古代
82	NE46-0332	中願城(櫻山城)	城館跡	中世
83	NE46-0365	八反町	散布地	古代
84	NE36-1032	壇山古墳	散布地	縄文・古代
85	NE36-2012	古城野ヶ沢	散布地	古代・縄文前期
86	NE35-1209	小山方八丁館	城館跡	中世・近世
87	NE35-2302	津地	散布地	縄文・古代
88	NE35-2265	四ツ屋	散布地	平安
89	NE35-2360	中谷地	散布地	平安
90	NE46-0006	高日向	散布地	弥生・平安
91	NE47-0045	道上	散布地	古代
92	NE37-2048	榊葉田	散布地	平安
93	NE47-0047	学堂	散布地	平安
94	NE37-2132	松葉	散布地	縄文・平安
95	NE37-2171	内城野中	散布地	縄文・平安
96	NE37-2156	内城吹張	散布地	縄文・平安?
97	NE47-0106	箱戸	散布地	古代
98	NE37-2169	吹張	散布地	平安
99	NE37-2187	吹張箱戸	散布地	平安
100	NE47-0222	小谷下	散布地	古代
101	NE37-1163	漆林Ⅰ	散布地	縄文?・古代
102	NE37-1182	漆林Ⅱ	散布地	古代
103	NE37-2118	遊畑	散布地、館跡?	平安?
104	NE37-2232	庚申塚	散布地	平安
105	NE37-1241	窟	散布地	古代
106	NE37-0291	小庄	散布地	平安
107	NE37-1107	原沢	散布地	平安
108	NE37-0198	樋ノ口	散布地	平安

No.	遺跡コード	遺跡名	性格	時代
109	NE37-0147	沖	散布地	平安
110	NE37-0113	根黒	散布地・環濠	平安
111	NE27-2196	北白山Ⅰ	散布地	平安
112	NE37-0117	北白山Ⅱ	散布地	平安
113	NE37-0148	北白山Ⅲ	散布地	平安
114	NE27-2188	上島	散布地	平安
115	NE27-2194	元天神前Ⅱ	散布地	平安
116	NE27-2152	船体草堂Ⅱ	散布地	平安
117	NE27-2154	船体草堂Ⅲ	散布地	平安
118	NE27-2053	水の門	散布地	平安
119	NE27-2079	水ノ口前東	散布地	平安
120	NE27-2051	向田	散布地	平安
121	NE27-2048	小水ノ口	散布地	平安
122	NE27-2130	寺西南	散布地	平安
123	NE27-2039	上島体城(館)	城跡跡	中世
124	NE27-2069	大内田前	散布地	平安
125	NE27-1099	寺ノ西	散布地	平安・縄文前期
126	NE27-1044	北倉日	散布地	平安
127	NE27-1047	垣ノ内Ⅰ	散布地	中世
128	NE27-1038	垣ノ内Ⅱ	散布地	縄文・平安
129	NE27-1029	町屋敷	散布地・御蔵 地跡	縄文・平安・ 近世
130	NE27-0098	大字Ⅰ	集落跡	縄文・平安
131	NE27-1018	大字Ⅱ	散布地	縄文・平安
132	NE27-1008	瀬古野館	城跡跡	中世・近世
133	NE27-0078	沼尻	散布地	平安
134	NE27-0048	熊之堂	集落跡	縄文中・晩・ 奈良・平安
135	NE27-0100	杉の堂	集落跡	縄文・弥生・ 奈良・平安
136	NE17-2087	跡呂井	集落跡	奈良
137	NE17-2086	跡呂井中陣場	城跡跡	奈良・中世
138	NE17-2064	跡呂井前(岩 沼組)	城跡跡	奈良・平安・ 中世
139	NE17-2073	常盤小学校	集落跡	奈良
140	NE17-2033	常盤町	集落跡	弥生・奈良・ 平安
141	NE36-0382	片子沢館	城跡跡・散布 地	縄文・中世
142	NE36-0342	梨畑	散布地	縄文・平安
143	NE36-0350	小山崎	散布地	縄文・平安
144	NE36-0126	高屋敷	集落跡	平安
145	NE36-0189	大橋	散布地	平安
146	NE36-0175	福原	集落跡	平安
147	NE36-1019	袖谷地Ⅰ	集落跡	平安
148	NE36-1025	袖谷地Ⅱ	散布地	平安
149	NE36-1017	袖谷地Ⅲ	集落跡	平安
150	NE36-1101	袖谷地Ⅳ	集落跡	縄文・平安
151	NE36-2023	森Ⅰ	散布地	平安
152	NE36-2043	森Ⅱ	散布地	平安
153	NE25-1375	見分森	生産跡	平安
154	NE26-1020	合野	散布地	縄文・古代
155	NE25-1313	片子沢	散布地	縄文・古代
156	NE25-1322	椋谷田	散布地	縄文・古代
157	NE25-0387	虎野	散布地	縄文・古代
158	NE26-0004	浅野前	集落跡	縄文・古代
159	NE26-0054	溝川	集落跡	縄文・平安
160	NE26-0035	鶴田Ⅰ	散布地	平安
161	NE26-0041	鶴田Ⅱ	散布地	縄文・平安

No.	遺跡コード	遺跡名	性格	時代
162	NE26-0043	鶴田古墳群	古墳群	古代
163	NE26-0170	前谷地	集落跡	平安
164	NE26-0048	西田Ⅰ	集落跡	平安
165	NE26-0150	西田Ⅱ	集落跡	平安
166	NE26-0151	寿安前(福原 館)	城跡跡	中世
167	NE26-0039	南矢中	集落跡	平安
168	NE26-0123	南矢中Ⅱ	集落跡	平安
169	NE26-0124	北田	集落跡	縄文・平安
170	NE17-2018	北田Ⅰ	集落跡	平安
171	NE17-2038	北田Ⅱ	散布地	弥生・奈良・ 平安
172	NE17-2140	北田Ⅲ	散布地	弥生・平安
173	NE17-2132	跡呂井御蔵場 前		近世
174	NE17-2047	野田	散布地	縄文・平安
175	NE17-1083	羽黑田	集落跡	平安
176	NE16-2308	石橋	集落跡	平安
177	NE17-1057	東浦ノ目	集落跡	縄文・平安
178	NE17-1070	東沖ノ目Ⅰ	集落跡	平安
179	NE16-1357	東沖ノ目Ⅱ	集落跡	平安
180	NE17-1063	富堂	集落跡	平安
181	NE17-1125	四井	古戦場	
182	NE17-1180	久根森	散布地	奈良
183	NE17-1047	中前田	集落跡	弥生・平安
184	NE17-1055	横枝	散布地	縄文・平安
185	NE17-1053	横枝Ⅱ	集落跡	平安
186	NE16-1329	後橋	集落跡	平安
187	NE16-1299	水沢城(要害)	城跡跡	中世・近世
188	NE16-2206	水沢女子高敷 地	散布地	平安
189	NE16-1270	聖天	散布地	縄文後期・晩 期・弥生
190	NE16-2182	一本杉	散布地	平安
191	NE16-2075	大明神	集落跡	平安
192	NE16-2141	後田	集落跡	奈良・平安
193	NE16-2066	足袋針Ⅰ	集落跡	縄文・平安
194	NE16-2059	足袋針Ⅱ	集落跡	平安
195	NE16-2111	水山	散布地	平安
196	NE16-2018	石田	集落跡	奈良・平安
197	NE15-2308	石田Ⅰ・Ⅱ	散布地	平安
198	NE16-2023	西光田Ⅰ	散布地	平安
199	NE16-2043	西光田Ⅱ	集落跡	平安
200	NE16-2053	西光田Ⅲ	散布地	平安
201	NE16-2016	寺領	散布地	奈良・平安
202	NE15-2286	塚田	散布地	平安
203	NE15-2353	宇南田	集落跡	平安
204	NE15-2256	要害(止々井 館)	散布地・城跡 跡	平安・近世
205	NE15-2312	沢田	散布地	奈良・平安
206	NE15-1294	机地	散布地	奈良・平安
207	NE15-1361	塚田	散布地	平安
208	NE16-1319	崎館(那須川 館)	城跡跡	中・近世・平 安
209	NE16-1303	嶋館西	集落跡	縄文・平安
210	NE16-1307	嶋館林	散布地	平安
211	NE17-1021	梨田田	散布地	平安
212	NE17-1026	惣野町	散布地	弥生・平安
213	NE17-1028	秒々崎	散布地	縄文・平安
214	NE17-0095	矢中	散布地	平安

No.	遺跡コード	遺跡名	性格	時代
215	NE17-0081	高谷	散布地	縄文・平安
216	NE17-0076	廣沢	集落跡	平安
217	NE17-0063	東鍛冶屋	散布地	縄文・平安
218	NE17-0043	沢田	散布地	縄文・平安
219	NE17-0051	南橋沢	散布地	平安
220	NE16-0039	仙人西	集落跡	平安
221	NE17-0032	仙人東	集落跡	弥生・平安
222	NE16-0365	佐野原	集落跡	縄文・平安
223	NE16-0305	下河原館(内館)	散布地・城館跡	縄文・中世
224	NE16-0381	下河原釜石	散布地	平安
225	NE16-0279	元留	散布地	平安
226	NE16-0345	朝山屋敷	散布地・城館跡	縄文・中世
227	NE16-0276	南久田	散布地	平安
228	NE16-0265	久田	散布地	平安
229	NE16-0244	湯本	散布地	平安
230	NE16-0243	腰廻	散布地	平安
231	NE16-1101	稲荷田	散布地	平安
232	NE16-1142	築館(坂釜古館)・松本古館	城館跡	中世
233	NE16-0160	西部	散布地	平安
234	NE16-0067	西大畑	散布地	古墳・平安
235	NE15-1313	高谷宿	散布地	平安
236	NE15-0350	中ノ目	散布地	平安
237	NE15-0311	兵法田	散布地	縄文・平安
238	NE15-2345	棚田	集落跡	奈良・平安
239	NE16-0102	田塚	集落跡	古墳・奈良
240	NE16-0304	東館Ⅰ(見沙西館)	散布地・城館跡	中世
241	NE16-0315	東館Ⅱ	散布地	平安
242	NE06-2268	龜堂	散布地・社跡	平安
243	NE06-2277	龜堂Ⅱ	集落跡	中世
244	NE06-2373	吹張Ⅰ	散布地	平安
245	NE06-2283	吹張Ⅱ	散布地	平安
246	NE06-2341	白井坂Ⅰ	城館跡	中世
247	NE06-2351	白井坂Ⅱ	城館跡・集落跡	中世・平安
248	NE06-2283	東大畑	集落跡	平安
249	NE06-2262	東大畑Ⅰ	集落跡	縄文・平安
250	NE06-2273	東大畑Ⅱ	散布地	平安
251	NE06-2244	杉本Ⅱ	集落跡	平安
252	NE06-2330	藤古	集落跡	縄文・平安
253	NE06-1294	仙濟寺	集落跡・官衙跡	平安
254	NE06-2115	獅子鼻	散布地	平安
255	NE06-2100	富田(A)	散布地	縄文・平安
256	NE06-1096	宿	集落跡	奈良・平安・近世
257	NE06-1067	佐野原(タテツバタケ)	城館跡	中世
258	NE06-1063	喜正坊	集落跡	奈良・平安
259	NE06-1048	今泉	集落跡	古墳～平安
260	NE06-1046	今泉Ⅱ	集落跡	奈良・平安
261	NE06-1055	今泉Ⅲ	集落跡	奈良・平安
262	NE06-1133	勝性	集落跡	古墳～平安
263	NE06-1102	玉貫	散布地	奈良
264	NE06-1104	玉貫前	集落跡	奈良
265	NE06-0189	八ツ口	集落跡	平安
266	NE06-0261	上館(古館・遠藤館)	城館跡	中世

No.	遺跡コード	遺跡名	性格	時代
267	NE06-0272	北田中	集落跡	平安
268	NE06-1236	肥前城(方八丁)	城館跡	平安
269	NE06-1218	北館(川端館・長倉館)	散布地・城館跡	奈良・平安・近世
270	NE06-1248	祝園	集落跡	平安
271	NE06-1277	権現堂	集落跡	奈良
272	NE06-1283	外和田	散布地	平安
273	NE06-1256	三ノ町	散布地	平安
274	NE05-1363	東入田	散布地	奈良・平安
275	NE05-1278	百圓	集落跡	縄文・平安
276	NE05-1219	飛鳥田	古墳(円)	奈良
277	NE05-1228	飛鳥田Ⅱ	散布地	奈良
278	NE05-1311	林崎	散布地	奈良・平安
279	NE05-0361	三反田古墳	古墳(円)	奈良
280	NE05-0363	五葉館跡	城館跡	平安・中世
281	NE05-0356	揚場	散布地	奈良・平安・中世
282	NE05-0378	揚場古墳	古墳(円)	奈良・中世
283	NE06-0052	二ノ宮古墳	古墳	古墳・奈良・平安
284	NE06-0385	林	散布地	奈良・平安
285	NE06-0354	阿弥此堂跡	祭祀跡	平安
286	NE07-1067	後中野	集落跡	縄文・古代
287	NE07-1047	愛宕梁川	集落跡	奈良・古代
288	NE07-0082	馬場先	散布地	古代
289	NE07-0086	馬場先Ⅰ	散布地	古代
290	NE07-1100	観音堂沖Ⅱ	散布地	古代
291	NE07-1121	観音堂沖Ⅱ	散布地	古代
292	NE07-1104	宮地	集落跡	縄文・古代
293	NE07-1153	池向城(田谷城)	集落跡・城館跡	古代・中世
294	NE07-1162	池向	散布地	古代
295	NE07-1194	三石列田	集落跡	縄文・古代
296	NE07-2129	西丸	散布地	古代
297	NE07-2244	力石	散布地	弥生・古代
298	NE07-2272	力石Ⅱ	散布地	縄文・古代・中世
299	NE07-2189	力石Ⅲ	集落跡	弥生・奈良・平安
300	NE07-2261	鬼Ⅱ	集落跡	弥生・古代
301	NE07-2241	鬼	集落跡	弥生・古代
302	NE17-0129	大畑	散布地	古代
303	NE17-2373	窪田	散布地	平安
304	NE17-0278	川崎Ⅰ	散布地	古代
305	NE17-0259	前広田	散布地	古代
306	NE17-0256	中屋敷	散布地	古代
307	NE17-0215	鴻ノ栗館	散布地	(平安)・古代
308	NE07-1292	落合	集落跡	古代・中世
309	NE07-1169	赤田	散布地	古代
310	NE07-1266	寺田	散布地	弥生・古代
311	NE07-1235	寺田Ⅱ	散布地	縄文・古代
312	NE07-1148	橋本	散布地	縄文・古代
313	NE07-1250	朴ノ木	散布地	古代
314	NE07-1232	下惣田	散布地	縄文・古代
315	NE07-0272	下惣田A・B	集落跡	古代
316	NE07-0189	杉ノ町	散布地	縄文・古代
317	NE07-1248	反町	集落跡・水田跡	縄文・弥生・平安
318	NE07-0276	栄町	散布地	平安

第2表 遺構名変更表

No.	年度	遺構名	種別	時期
1	R2	SB1	壁穴建物	平安時代
2	R2	SB1G	*	*
3	R2	SA1	*	*
4	R2	SA2	*	*
5	R2	SA3	*	*
6	R2	SD1	*	*
7	R2	SBA1	竪立柱建物	平安時代
8	R2	SBA2	*	*
9	R2	SBA3a	*	*
10	R2	SBA3b	*	*
11	R2	SBA4	*	*
12	R2	SBA5	*	*
13	R2	SBH1	*	*
14	R2	SBH2	*	*
15	R2	SBH3	*	*
16	R2	SBH4	*	*
17	R3	SBH5	*	戦国時代末
18	R2	SBC1	*	平安時代
19	R3	SBC2	*	*
20	R3	SBC3	*	*
21	R3	SBC4	*	*
22	R3	SBC5	*	*
23	R3	SBC6	*	*
24	R3	SBC7	*	*
25	R3	SBC8	*	*
26	R3	SBC9	竪立柱建物(門)	戦国時代末
27	R3	SBC10	竪立柱建物	*
28	R3	SBC11	*	*
29	R3	SBC12	*	*
30	R3	SBC13	*	*
31	R3	SBC14	*	*
32	R3	SBC15	*	*
33	R3	SBC16	*	*
34	R3	SBC17	*	*
35	R3	SBC18	*	*
36	R3	SBC19	*	*
37	R3	SBC20	*	*
38	R3	SBC21	*	*
39	R3	SBC22	*	*
40	R3	SBC23	*	*
41	R3	SBC24	*	*
42	R3	SBC25	*	*
43	R3	SBC26	*	*
44	R3	SBC27	*	*
45	R3	SBC28	*	*
46	R3	SBC29	*	*
47	R2	SD1	竪立柱建物	平安時代
48	R2	SD2	*	*
49	R3	SD3	*	*
50	R3	SBE1	*	*
51	R3	SBE2	*	*
52	R3	SBE3	*	*
53	R3	SBE4	*	*
54	R3	SBE5	*	*
55	R3	SBE6	*	*
56	R3	SBE7	*	*
57	R3	SBE8	*	*

No.	年度	遺構名	種別	時期
58	R3	SBE9	*	*
59	R3	SBE10	*	*
60	R3	SBE11	*	*
61	R3	SBE12	竪立柱建物	戦国時代末
62	R3	SBE13	*	*
63	R3	SBE14	*	*
64	R3	SBE15	*	*
65	R3	SBE16	*	*
66	R3	SBE17	*	*
67	R3	SBE18	*	*
68	R3	SBE19	*	*
69	R3	SBE20	*	*
70	R3	SBE21	*	*
71	R3	SBE22	*	*
72	R3	SBE23	*	*
73	R2	焼土 B1	SBE2 焼土に変更	平安時代
74	R3	SKA1	土坑(溝の可能性有り)	*
75	R2	SKD1	土坑	*
76	R2	SKD2	*	近世初遺構
77	R2	SKD3	*	戦国時代末か
78	R3	SKD4	*	*
79	R2	SKC1	*	*
80	R2	SKC2	*	*
81	R3	SKC3	SBC2 柱穴 PPC105 に変更	平安時代
82	R3	SKC4	土坑	*
83	R3	SKC5	*	*
84	R3	SKC6	*	*
85	R3	SKC7	*	*
86	R3	SKC8	*	*
87	R3	SKC9	*	戦国時代末か
88	R3	SKC10	PPC790 から土坑へ変更	平安時代
89	R3	SKC11	PPC876 から土坑へ変更	戦国時代末
90	R2	SKD1	土坑	平安時代
91	R2	SKD2	*	*
92	R2	SKD3	*	*
93	R2	SKD4	*	*
94	R3	SKD1	*	*
95	R3	SKD2	*	*
96	R3	SKD3	*	戦国時代末
97	R3	SKD4	*	*
98	R3	SKD5	*	*
99	R3	SKD6	*	*
100	R3	SKD7	*	平安時代
101	R3	SKD8	*	戦国時代末
102	R2	SDH1	堀	*
103	R2	SDH2	*	*
104	R2	SDH3	*	*
105	R2	SDB4a	溝	戦国時代末～近世初遺
106	R2	SDB4b	*	*
107	R2	SDB4c	*	*
108	R2	SDB5a～d	*	戦国時代末
109	R2	SDB6	*	*
110	R2	SDH7	*	*
111	R2	SDH8	*	*
112	R2	SDC1a～f	*	*
113	R2	SDC2	*	*
114	R2	SDC3	*	*

No.	年度	遺構名	種別	時期
115	R2	SDC4	*	*
116	R2	SDC5	*	*
117	R2	SDC6	*	*
118	R3	SDC7	*	*
119	R3	SDC8	*	*
120	R3	SDC9	*	*
121	R3	SDC10	*	*
122	R3	SDC11	*	*
123	R3	SDC12	*	*
124	R3	SDC13	*	*
125	R3	SDC14	*	*
126	R3	SDC15	*	遺構以降小
127	R2	SDD1	堀	戦国時代末
128	R2	SDD2	*	*
129	R3	SDE1	*	*
130	R3	SDE2	*	*
131	R3	SDE3	溝	*
132	R3	SDE4	*	*
133	R3	SDE7	*	遺構以降小
134	R2	SXA1	不明(土坑状)	平安時代
135	R2	SXA2	不明(溝状)	*
136	R2	SXA3	不明(土坑状)	*
137	R2	SXB1a	*	*
138	R2	SXB1b	*	*
139	R2	SXB1c	*	*
140	R2	SXB1d	*	*
141	R2	SXD2	竪壘中	戦国時代末～政 世初期
142	R2	SXD3	*	*
143	R2	SXD4	*	*

No.	年度	遺構名	種別	時期
144	R2	SXB5	*	*
145	R2	SXB6	不明(土坑状)	*
146	R3	SXB7	土取り坑小	平安時代
147	R3	SXB8	不明(塹状)	*
148	R3	SXC1	池状遺構	*
149	R3	SXC2	*	*
150	R2	SXD1	不明(塹状)	*
151	R2	SXD2	池状遺構	戦国時代末
152	R3	SXE1	*	*
153	R3	SXE2	*	*
154	R3	SXE3	土器埋設遺構	縄文時代晚期
155	R3	SXE4	池状遺構	平安時代
156	R3	SXE5	*	*
157	R2	B区遺物集中 1	土器集中	平安時代
158	R2	B区遺物集中 2	*	*
159	R2	B区遺物集中 3	*	*
160	R3	E区遺物集中 1	*	*
161	R3	E区遺物集中 2	*	*
162	R3	E区遺物集中 3	*	*
163	R2	PPA1～80	柱穴状土坑	平安・戦国時代 末
164	R2	PPB1～300	*	*
165	R2	PPC361～ 376	*	*
166	R2	PPC1～456	*	*
167	R3	PPC457～ 5024	*	*
168	R2	PPD1～143	*	*
169	R3	PPF1～836	*	*

第3表 柱穴一覧表

検出 遺構	柱穴	検出時代	アソット	年代 Y 検出	Y 検出	最大径	最大深	検出 深 (m)	検出 深 (cm)	土層	備考	
SBA1	PPA1	平安時代	Ⅱ A6b	R2	99213	26452	0.60	0.114	0.281	30.302	10YR2/1 灰色粘土質シルト地山ブロック 30%	ブロック状に30%
SBA1	PPA2	平安時代	Ⅱ A6b	R2	99214	26453	0.500	0.143	0.328	30.331	10YR2/1 灰色～3/1 黒褐色粘土質シルト地山ブロック 3% 砂	ブロック状に10%
SBA1	PPA3	平安時代	Ⅱ A6b	R2	99211	26455	0.422	0.406	0.331	30.152	25Y3/1 黒褐色粘土質シルト地山ブロック 10YR2/1 灰色～3/1 黒褐色粘土質シルト地山ブロック 30% 25Y4/1 黄灰色砂質シルト	ブロック状に30%
SBA1	PPA4	平安時代	Ⅱ A6b	R2	99243	26456	0.419	0.377	0.286	26.346	25Y4/1 黄灰色粘土質シルト 10YR2/1 灰色粘土質シルト地山ブロック	ブロック状に30%
SBA1	PPA5	平安時代	Ⅱ A8b	R2	99211	26456	0.481	0.430	0.437	30.184		
-	PPA6	中世末～ 近世	Ⅱ A6b	R2	99239	26457	0.500	0.306	0.119	30.601	25Y4/1 黄灰色粘土質シルト	
-	PPA7	中世末～ 近世	Ⅱ A8b	R2	99245	26449	0.571	0.182	0.251	30.331	10YR2/1 灰色と 25Y4/1 黄灰色の混合粘土質シルト地山ブロック (タラヒ化) ブロック状に30%	
-	PPA8	中世末～ 近世	Ⅱ A6b	R2	99246	26452	0.581	0.527	0.091	30.512	25Y4/1 黄灰色粘土質シルト地山ブロック	柱状に3%
-	PPA9	中世末～ 近世	Ⅱ A6b	R2	99217	26453	0.642	0.561	0.065	30.432	10YR2/1 黒褐色粘土質シルト地山ブロック	柱状に1%
-	PPA10	中世末～ 近世	Ⅱ A6b	R2	99246	26452	0.201	0.171	0.071	30.470	25Y4/1 黄灰色粘土質シルト地山ブロック	柱状に3%
-	PPA11	中世末～ 近世	Ⅱ A6b	R2	99246	26452	0.906	0.316	0.148	30.600	25Y4/1 黄灰色粘土質シルト地山ブロック	柱状に3%
-	PPA12	中世末～ 近世	Ⅱ A7c	R2	99227	26455	0.445	0.405	0.265	30.666	25Y4/1 黄灰色粘土質シルト地山ブロック 25Y4/1 黄灰色粘土質シルト地山ブロック 25% 炭化物 (φ 1cm) 1%	ブロック状に2%
-	PPA13	中世末～ 近世	Ⅱ A7c	R2	99227	26455	0.289	0.283	0.146	30.508	25Y4/1 黄灰色粘土質シルト地山ブロック	柱状に3%
SBA1	PPA14	平安時代	Ⅱ A8b	R2	99249	26453	0.421	0.265	0.146	30.571	25Y4/1 黄灰色粘土質シルト地山ブロック 炭 (φ 5mm) 1%	PPA13 と重なり→新訂不明
-	PPA15	中世末～ 近世	Ⅱ A8b	R2	99211	26451	0.449	0.609	0.316	30.444	25Y3/1 と 25Y4/1 黄灰色の混合粘土質シルト地山ブロック 柱状に3% 炭 (φ 1mm) 1%	PPA12 と重なり→新訂不明
-	PPA16	中世末～ 近世	Ⅱ A8b	R2	99212	26451	0.216	0.191	0.113	30.551	25Y3/1 黒褐色粘土質シルト地山ブロック	柱状に1%
-	PPA17	中世末～ 近世	Ⅱ A6b	R2	99241	26453	0.162	0.131	0.085	30.541	25Y3/1 黒褐色粘土質シルト地山ブロック	柱状に3%
SBA3a	PPA18	平安時代	Ⅱ A7c	R2	99226	26455	0.686	0.506	0.209	30.524	25Y4/1 黄灰色粘土質シルト地山ブロック 2% 礫混入	
-	PPA19	中世末～ 近世	Ⅱ A7c	R2	99227	26458	0.413	0.306	0.482	30.214	25Y3/1 黒褐色～2/1 黒色粘土質シルト地山ブロック 柱状に3% 25Y4/1 黄灰色砂質シルト	PPA20 と重なり→新訂不明
-	PPA20	中世末～ 近世	Ⅱ A7c	R2	99227	26459	0.261	0.318	0.180	30.665	25Y2/1 黒色粘土質シルト地山ブロック 2%	PPA19 と重なり→新訂不明
-	PPA21	中世末～ 近世	Ⅱ A7c	R2	99239	26456	0.063	0.797	0.315	30.343	黄濁	
SBA3b	PPA23	平安時代	Ⅱ A6b	R2	99233	26459	0.777	0.618	0.249	30.664	黄濁	PPA24 と重なり→新訂不明
SBA3c	PPA24	平安時代	Ⅱ A6b	R2	99233	26459		0.253	30.664	黄濁	8C 前～9C 後、PPA23 と重なり→新訂不明	
SBA3d	PPA25	平安時代	Ⅱ A6b	R2	99234	26456	0.516	0.401	0.350	30.382	25Y3/1 黒褐色粘土質シルト地山ブロック 25Y3/1 黒褐色粘土質シルト地山ブロック 25Y3/1 黄灰色粘土質シルト	柱状に3% 柱状に3% 柱状に3%
SBA3e	PPA26	平安時代	Ⅱ A6b	R2	99231	26459	0.846	0.680	0.411	30.347	黄濁	柱上から復原系が坪が出土
SBA3f	PPA27	平安時代	Ⅱ A6b	R2	99231	26459	0.606	0.249	0.411	30.347	黄濁	PPA27 と重なり→新訂不明
-	PPA28	中世末～ 近世	Ⅱ A6m	R2	99231	26461	0.795	0.747	0.259	30.533	25Y3/1 黒褐色粘土質シルト (細砂まじり) 小礫混入	PPA28 と重なり→新訂不明
SBA3g	PPA29	平安時代	Ⅱ A7c	R2	99231	26458	1.672	0.831	0.320	30.410	25Y3/1 黒褐色粘土質シルト地山ブロック 2% 25Y3/1 黒褐色粘土質シルト地山ブロック	ブロック状に40%
-	PPA30	中世末～ 近世	Ⅱ A7m	R2	99227	26462	0.495	0.281	0.108	30.436	10YR2/1 灰色粘土質シルト地山ブロック	柱状に3%
-	PPA31	中世末～ 近世	Ⅱ A7m	R2	99238	26463	0.878	0.686	0.166	30.387	10YR2/1 灰色粘土質シルト地山ブロック	柱状に3%
-	PPA32	中世末～ 近世	Ⅱ A6b	R2	99232	26459	0.231	0.207	0.131	30.581	25Y3/1 黒褐色粘土質シルト地山ブロック	柱状に1%
-	PPA33	中世末～ 近世	Ⅱ A6m	R2	99234	26460	0.281	0.267	0.162	30.563	25Y3/1 黒褐色粘土質シルト地山ブロック	柱状に1%
-	PPA34	中世末～ 近世	Ⅱ A6b	R2	99233	26460	0.374	0.286	0.065	30.651	25Y3/1 黒褐色粘土質シルト地山ブロック	柱状に1%
-	PPA36	中世末～ 近世	Ⅱ A5m	R2	99225	26463	0.652	0.501	0.187	30.605	25Y3/1 黒褐色粘土質シルト地山ブロック	柱状に1%
-	PPA37	中世末～ 近世	Ⅱ A7c	R2	99239	26455	1.398	0.872	0.214	30.412	25Y3/1 黒褐色粘土質シルト地山ブロック	柱状に1%
-	PPA38	中世末～ 近世	Ⅱ A6m	R2	99232	26460	0.415	0.326	0.066	30.639	25Y3/1 黒褐色粘土質シルト地山ブロック	柱状に1%
SBA2	PPA39	平安時代	Ⅱ A11a	R2	99258	26459	0.536	0.417	0.182	30.088	25Y3/1 黒褐色粘土質シルト地山ブロック	ブロック状に2%
SBA2	PPA40	平安時代	Ⅱ A11m	R2	99256	26460	0.631	0.605	0.429	30.012	黄濁	2段の浅さのある範囲 柱径群 14cm
SBA2	PPA41	平安時代	Ⅱ A11m	R2	99257	26461	0.737	0.571	0.411	30.057	25Y3/1 黒褐色粘土質シルト地山ブロック 25Y4/1 黄灰色粘土質シルト地山ブロック	ブロック状に30% ブロック状に10%
SBA2	PPA42	平安時代	Ⅱ A11m	R2	99257	26463	0.652	0.550	0.492	30.897	25Y4/1 黄灰色粘土質シルト地山ブロック 25Y3/1 黒褐色粘土質シルト地山ブロック	ブロック状に10% ブロック状に10%
SBA2	PPA43	平安時代	Ⅱ A11m	R2	99260	26464	0.788	0.543	0.332	30.629	25Y3/1 黒褐色粘土質シルト地山ブロック 25Y3/1 黒褐色粘土質シルト地山ブロック	ブロック状に10% ブロック状に10%
SBA2	PPA44	平安時代	Ⅱ A11m	R2	99258	26464	0.919	0.611	0.475	30.855	25Y3/1 黒褐色粘土質シルト地山ブロック	ブロック状に30%
-	PPA45	中世末～ 近世	Ⅱ A11m	R2	99257	26464	0.480	0.460	0.114	30.023	25Y3/1 黒褐色粘土質シルト地山ブロック	ブロック状に3%
-	PPA46	中世末～ 近世	Ⅱ A11a	R2	99257	26465	0.637	0.177	0.170	30.186	25Y3/1 黒褐色粘土質シルト地山ブロック	ブロック状に10%
-	PPA47	中世末～ 近世	Ⅱ A11m	R2	99255	26463	0.820	0.750	0.218	30.223	25Y3/1 黒褐色粘土質シルト地山ブロック	柱状に10%

採集 履歴	柱状 番号	採定時期	コア 番号	年取 深さ	Y 深さ	最大 径	最大 径	採 寸	採取 深さ (m)	土質	備考		
	SB02	PPA46	平安時代	II A12m	R2	99031	26461	0.57	0.130	0.363	25Y3/1 黒褐色粘土質シルト地山ブロック 10%	ブロック状	
-	PPA49	平安時代	II A12m	R2	99026	26463	0.711	0.136	0.215	30.021	実測	7C 後～9C 前、PPA49 と重なり→本遺構が新しい	
-	PPA50	平安時代	II A6m	R2	99234	26459	0.328	0.243	0.118	36.622			
-	PPA51	平安時代	II A7m	R2	99228	26455	0.761	0.617	0.107	36.600	25Y3/1 黒褐色粘土質シルト地山ブロック	ブロック状	
-	PPA52	平安時代	II A5m	R2	99225	26453	0.309	0.179	0.098	36.704		底面に凸凹があり、形も不整形 PPA56 の西側に小柱状として確認。PPA56 と重なり→本遺構が新しい	
	SB02	PPA53	平安時代	II A12m	R2	99262	26463	0.541	0.537	0.542	36.882		PPA54 と重なり→本遺構が古い
	SB04	PPA54	平安時代	II A7m	R2	99230	26465	0.768	0.600	0.546	36.102		
	SB04	PPA55	平安時代	II A6m	R2	99229	26463	1.096	0.837	0.252	36.489	25Y3/1 黒褐色粘土質シルト(砂混じり)地山ブロック(覆) 10%	
	SB04	PPA56	平安時代	II A6m	R2	99228	26460	0.872	0.601	0.589	36.110	実測	
	SB04	PPA57	平安時代	II A6m	R2	99228	26466	0.703	0.424	0.609	36.158	25Y3/1 黒褐色粘土質シルト地山ブロック	粒状に 10%
	SB04	PPA58	平安時代	II A6m	R2	99226	26461	0.770	0.710	0.405	36.313	25Y3/1 黒褐色粘土質シルト地山ブロック	粒状に 3%
	SB04	PPA59	平安時代	II A6m	R2	99225	26467	0.694	0.598	0.290	36.437	25Y3/1 黒褐色粘土質シルト(砂混じり)地山ブロック(覆) 6%	
	SB04	PPA60	平安時代	II A5m	R2	99223	26462	0.899	0.798	0.483	36.323	25Y3/1 黒褐色粘土質シルト(砂混じり)地山ブロック	ブロック状に 10%
	SB04	PPA61	平安時代	II A5m	R2	99222	26468	0.788	0.664	0.412	36.245	25Y4/1 灰白色シルト(砂混じり)地山ブロック(覆) 6%	
	SB04	PPA62	平安時代	II A5m	R2	99222	26486	0.981	0.704	0.413	36.311	25Y3/1 黒褐色粘土質シルト地山ブロック(覆) 30%、6.5mm 炭化物 1%	
	SB04	PPA63	平安時代	II A5m	R2	99221	26483	0.961	0.790	0.501	36.308	25Y3/1 黒褐色粘土質シルト地山ブロック	ブロック状に 30%
-	PPA64	平安時代	II A5m	R2	99220	26483	0.696	0.610	0.621	36.234	25Y3/1 黒褐色粘土質シルト地山ブロック	ブロック状に 10%	
	SB05	PPA65	平安時代	II A4m	R2	99218	26487	0.419	0.322	0.300	36.381	25Y3/1 黒褐色粘土質シルト地山ブロック(覆) 20%	
	SB05	PPA66	平安時代	II A4m	R2	99217	26484	0.481	0.448	0.526	36.321	実測	
	SB05	PPA67	平安時代	II A4m	R2	99217	26482	0.448	0.391	0.367	36.483	実測	棟土上段より炭化材出土、炭屑ポイントあり
	SB05	PPA68	平安時代	II A4m	R2	99216	26487	0.527	0.480	0.406	36.260	25Y3/1 黒褐色粘土質シルト(砂混じり)地山ブロック(覆) 6%	
	SB05	PPA69	平安時代	II A4m	R2	99215	26483	0.354	0.321	0.285	36.598	25Y3/1 黒褐色粘土質シルト地山ブロック	ブロック状に 20%、柱状取りあり、径 10 cm 程度
	SB05	PPA70	平安時代	II A3m	R2	99214	26488	0.435	0.406	0.303	36.460	25Y3/1 黒褐色粘土質シルト地山ブロック(覆) 20%	
	SB05	PPA71	平安時代	II A3m	R2	99213	26486	0.443	0.398	0.390	36.466	25Y3/1 黒褐色粘土質シルト地山ブロック(覆) 20%	
	SB05	PPA72	平安時代	II A3m	R2	99213	26483	0.534	0.418	0.370	36.499	実測	
-	PPA73	平安時代	II A18m	R2	99254	26456	1.203	1.177	0.542	36.066	25Y3/1 黒褐色粘土質シルト黒褐色粘土質シルト主体、地山ブロック 3%		
-	PPA74	平安時代	II A6m	R2	99243	26449	0.621	0.389	0.252	36.462	25Y4/1 オリーブ褐色粘土質シルト 25Y4/3 の砂質土が主体		
-	PPA75	平安時代	II A18m	R2	99254	26457	0.910	0.900	0.250	36.111	25Y3/1 黒褐色粘土質シルト地山ブロック 3%		
-	PPA76	平安時代	II A18m	R2	99253	26457	0.927	0.811	0.178	36.282	25Y3/1 黒褐色粘土質シルト地山ブロック 6%		
-	PPA77	平安時代	II A18m	R2	99252	26456	0.688	0.699	0.131	36.213	25Y3/1 黒褐色粘土質シルト地山ブロック	ブロック状に 2%	
-	PPA78	平安時代	II A18m	R2	99252	26456	0.523	0.392	0.114	36.221	25Y3/1 黒褐色粘土質シルト地山ブロック	ブロック状に 3%	
-	PPA79	平安時代	II A2p	R2	99208	26476	0.406	0.303	0.249	36.806	25Y3/1 黒褐色粘土質シルト地山ブロック	ブロック状に 2%	
-	PPA80	平安時代	II A2p	R2	99207	26476	0.448	0.354	0.372	36.666	25Y3/1 黒褐色粘土質シルト地山ブロック	ブロック状に 3%	
	SB01	PP81	平安時代	I B16a	R2	99168	26504	0.407	0.401	0.447	36.722	10YR2/2 灰色粘土質シルト地山土塊(径 10-20mm) 散。	
	SB01	PP82	平安時代	I B15a	R2	99171	26504	0.423	0.354	0.471	36.723	10YR2/2 灰色粘土質シルト地山土塊(径 15-20mm) 散。	
	SB01	PP83	平安時代	I B15a	R2	99173	26505	0.355	0.297	0.429	36.679	10YR2/2 灰色粘土質シルト地山土塊(径 30-300mm) や多。	
	SB01	PP84	平安時代	I B16a	R2	99166	26509	0.270	0.265	0.269	36.866	10YR2/2 灰色粘土質シルト地山土塊(径 10-20mm) 少。	
-	PP86	平安時代	I B16a	R2	99168	26509	0.239	0.222	0.130	-	-		
	SB01	PP85	平安時代	I B15a	R2	99170	26510	0.371	0.366	0.411	36.663	10YR2/2 灰色粘土質シルト地山土塊(径 20-40mm) 大量(ほぼ地山ブロック層)。	
	SB01	PP86	平安時代	I B15c	R2	99172	26510	0.399	0.343	0.387	36.640	10YR2/2 灰色粘土質シルト地山土塊(径 30-300mm) 少。	
	SB01	PP87	平安時代	I B15a	R2	99173	26508	0.433	0.388	0.272	36.716	10YR2/2 灰色粘土質シルト地山土塊(10YR6/3-シルト) 多。	
	SB02	PP88	平安時代	I B17a	R2	99180	26523	0.496	0.458	0.388	36.495	10YR2/2 灰色粘土質シルト地山土塊(10YR6/3-7/シルト) 多。	
	SB05	PP89	縄文時代 後	I B17f	R2	99183	26527	0.720	0.670	0.314	36.414	10YR2/2 灰色粘土質シルト地山土塊(10YR6/3-5/シルト) 少。	
	SB02	PP910	平安時代	I B18a	R2	99186	26522	0.503	0.444	0.235	36.321	10YR2/2 灰色粘土質シルト上部のみ地山土塊(10YR6/3-7/シルト) 少。サード層は灰色土準層。	
	SB02	PP911	平安時代	I B18a	R2	99186	26522	0.628	0.515	0.432	36.339	10YR2/2 灰色粘土質シルト地山土塊(10YR6/3-7/シルト) 多。	
	SB02	PP912	平安時代	I B18a	R2	99186	26521	0.609	0.548	0.226	36.410	10YR2/2 灰色粘土質シルト地山土塊(10YR6/3-7/シルト) 多。	
	SB02	PP913	平安時代	I B18f	R2	99186	26525	0.515	0.494	0.482	36.294	10YR2/2 灰色粘土質シルト地山土塊(10YR6/3-シルト+径 5-20mm) 少。	

2 検出遺構

探検 年度	柱穴 番号	検定時期	アソビ 層	年代 X線	Y線	最大径 mm	最大厚 mm	長さ (cm)	重量 (g)	土質	備考	
SR03	PPR14	縄文時代 前期	1 B18f	K2	99186	26527	0.825	0.578	30.423	HYR2-2 黒褐色シルト堆土層 (HYR6-2シルト・径 5-10mm)・堆土層跡少。		
SR02	PPR15	平安時代	1 B18f	K2	99189	26527	0.725	0.592	30.200	HYR2-2 黒褐色シルト堆土層 (HYR6-2シルト・径 5-10mm)・堆土層跡少。	B10・12・23 に散る。SD14と重なり本遺構が古い	
SR07	PPR16	平安時代	1 B15c	K2	99174	26510	0.281	0.6278	32.796	HYR2-2 黒色シルト堆土層 (HYR6-3シルト) やや多。	PPR17と重なり範囲不明	
-	PPR17	中世末～ 近世	1 B15c	K2	99176	26510	0.411	0.272	30.623	HYR2-2 黒色シルト堆土層 (HYR6-3シルト) やや多。	PPR16と重なり範囲不明	
SR02	PPR18	平安時代	1 B17f	K2	99184	26525	0.932	0.753	30.196	HYR2-2 黒褐色シルト堆土層 (HYR6-2シルト)・堆 土層跡やや多。	柱底部より23個の赤土球が位置で置かれた状態 で出土。層内赤土と重なり本遺構が新しい	
SR02	PPR19	平安時代	1 B17g	K2	99184	26526	0.762	0.653	30.209	HYR2-2 黒褐色シルト堆土層 (HYR6-2シルト・径 5-10mm) 少。		
SR02	PPR20	平安時代	1 B16f	K2	99178	26535	0.759	0.696	32.321	HYR2-2 黒褐色シルト堆土層 (HYR6-2シルト・径 5-10mm)・堆土層跡少。	B14に散る。PPR35と重なり本遺構が新しい	
SR02	PPR21	平安時代	1 B18f	K2	99189	26529	0.865	0.180	30.187	HYR2-2 黒褐色シルト堆土層 (HYR6-2シルト・径 5-10mm)・堆土層跡少。	B10・12・15に散る。SD14と重なり本遺構が古い	
-	PPR22	中世末～ 近世	1 B18g	K2	99189	26532	0.713	0.550	32.235	HYR2-2 黒褐色砂質シルト堆土層跡多 (径 20mm以内散 る)。	柱下部のみ残る。SD14と重なり本遺構が古い	
SR05	PPR23	縄文時代 前期	1 B18g	K2	99187	26531	0.592	0.564	30.470	30.312	HYR2-2 黒褐色シルト堆土層 (HYR6-2シルト・径 10-30mm) やや多 (径 10mm以内散る)。	
SR02	PPR24	平安時代	1 B17g	K2	99187	26531	0.592	0.564	30.417	30.427	HYR2-2 黒褐色シルト堆土層 (HYR6-2シルト・径 10-30mm) やや多 (径 10mm以内散る)。	棟土から1個の赤土 a 層が出土
SR02	PPR25	平安時代	1 B18g	K2	99178	26531	0.571	0.509	30.508	30.232	HYR2-2 黒褐色シルト堆土層 (HYR6-2シルト・径 5-10mm) やや多。	
-	PPR26	中世末～ 近世	1 B17g	K2	99184	26531	0.399	0.377	31.113	30.271	HYR2-2 黒褐色シルト堆土層 (HYR6-2シルト・径 5-10mm) やや多。	
SR05	PPR27	縄文時代 前期	1 B17g	K2	99182	26533	0.631	0.545	30.303	30.409	HYR2-2 黒褐色シルト堆土層 (HYR6-2シルト・径 5-10mm)・堆土層跡やや多。	
-	PPR28	平安時代 中期	1 B15c	K2	99174	26511	0.561	0.489	30.300	26.675	HYR2-2 黒色シルト (単層)	SD11に併発。
-	PPR29	中世末～ 近世	1 B18g	K2	99186	26531	0.800	0.322	31.413	30.533	HYR2-2 黒色シルト (単層)	残く不明瞭。赤土 a 層・土層跡片
SD14	PPR30	平安時代	1 B16b	K2	99176	26507	0.381	0.358	31.342	30.664	HYR2-2 黒褐色シルト堆土層 (HYR6-2シルト・径 10-30mm) 多。	SD11に併発。
-	PPR31	中世末～ 近世	1 B17g	K2	99188	26533	0.491	0.459	30.400	30.526	HYR2-2 黒褐色シルト堆土層 (HYR6-2シルト・径 10-30mm) 多。	
SD14	PPR32	平安時代	1 B16b	K2	99177	26508	0.510	0.407	32.29	30.630	HYR2-2 黒褐色シルト堆土層 (HYR6-2シルト・径 10-30mm) 多。	B14・23土層跡が柱頭直上から出土
-	PPR34	中世末～ 近世	1 B16f	K2	99179	26528	0.546	0.427	32.200	30.610	HYR2-2 黒褐色シルト上部にのみ堆土層 (HYR6-2シル ト) やや多。	堆土層は残上に偏化。
SR02	PPR35	平安時代	1 B18f	K2	99187	26529	0.810	0.762	31.378		PPR20と重なり本遺構が古い	
-	PPR36	中世末～ 近世	1 B18g	K2	99187	26532	0.502	0.463	30.388	30.383	HYR2-2 黒褐色シルト堆土層 (HYR6-2シルト・径 5-10mm) 少。	
-	PPR37	中世末～ 近世	1 B18g	K2	99188	26534	0.628	0.521	32.427	30.293	HYR2-2 黒褐色シルト堆土層 (HYR6-2シルト・径 5-10mm) やや多。	SD18と重なり本遺構が古い
-	PPR38	中世末～ 近世	1 B18g	K2	99186	26531	0.642	0.621	31.414	30.340	HYR2-2 黒褐色シルト最上部の堆土層 (HYR6-2シル ト・径 5-10mm) やや多。	堆土層は最上部中に集中。柱頭直上の遺構等 により埋められたか。
-	PPR39	中世末～ 近世	1 B18b	K2	99186	26538	0.602	0.632	32.328	31.183	HYR2-2 黒褐色シルト (単層)	SD18と重なり本遺構が古い
-	PPR40	中世末～ 近世	1 B18g	K2	99187	26535	0.521	0.453	32.521	30.295	HYR2-2 黒褐色シルト堆土層 (HYR6-2シルト・径 5-20mm) 少。	棟土から21個の赤土 a 層が出土
-	PPR41	中世末～ 近世	1 B17f	K2	99204	26535	0.545	0.507	31.119	30.284		
-	PPR42	中世末～ 近世	1 B16b	K2	99178	26509	0.324	0.267	32.238	30.716	HYR2-2 黒褐色シルト堆土層 (HYR6-2シルト・径 5-10mm) 少。	
-	PPR43	中世末～ 近世	1 B15d	K2	99170	26516	0.188	0.148	32.227	30.868	HYR2-2 黒褐色シルト (単層)	
-	PPR44	中世末～ 近世	1 B15d	K2	99171	26516	0.177	0.153	31.138	30.919	HYR2-2 黒褐色シルト (単層)	
-	PPR45	中世末～ 近世	1 B15d	K2	99171	26517	0.162	0.173	32.225	30.806	HYR2-2 黒褐色シルト (単層)	
-	PPR46	中世末～ 近世	1 B15d	K2	99172	26519	0.260	0.247	31.316	30.699	HYR2-2 黒褐色シルト (単層)	
-	PPR47	中世末～ 近世	1 B15d	K2	99173	26518	0.223	0.214	31.178	30.841	HYR2-2 黒褐色シルト (単層)	
-	PPR48	中世末～ 近世	1 B16d	K2	99175	26518	0.199	0.180	32.031	30.813	HYR2-2 黒褐色シルト (単層)	
-	PPR49	中世末～ 近世	1 B16c	K2	99175	26514	0.258	0.238	32.236	30.790	HYR2-2 黒褐色シルト (単層)	
-	PPR50	中世末～ 近世	1 B16d	K2	99175	26515	0.192	0.191	32.302	30.882	HYR2-2 黒褐色シルト (単層)	
-	PPR51	中世末～ 近世	1 B15d	K2	99174	26515	0.194	0.134	31.117	30.912	HYR2-2 黒褐色シルト (単層)	
-	PPR52	中世末～ 近世	1 B16d	K2	99173	26516	0.227	0.205	31.113	30.938	HYR2-2 黒褐色シルト (単層)	
-	PPR53	中世末～ 近世	1 B16d	K2	99177	26545	0.186	0.172	32.264	30.726	HYR2-2 黒褐色シルト (単層)	
-	PPR54	中世末～ 近世	1 B16d	K2	99178	26515	0.211	0.194	31.108	30.705	HYR2-2 黒褐色シルト (単層)	
-	PPR56	中世末～ 近世	1 B16d	K2	99178	26518	0.208	0.201	32.207	30.798	HYR2-2 黒褐色シルト (単層)	
-	PPR57	中世末～ 近世	1 B17d	K2	99180	26517	0.296	0.219	32.241	30.600	HYR2-2 黒褐色シルト (単層)	
-	PPR58	中世末～ 近世	1 B16d	K2	99178	26519	0.203	0.185	31.153	30.821	HYR2-2 黒褐色シルト (単層)	
-	PPR59	中世末～ 近世	1 B16b	K2	99190	26538	0.564	0.525	32.205	30.272	HYR2-2 黒褐色シルト上部に堆土層 (HYR6-2シルト・ 径 20-30mm) 多。	堆土層は残上に偏化。
-	PPR60	中世末～ 近世	1 B18f	K2	99196	26549	0.528	0.528	31.310	30.675	HYR2-2 黒褐色シルト柱頭直上堆土層 (径 20-30mm) 多。	堆土層は柱頭 (柱頭直上) に集中。PPR61と重 なり本遺構が新しい
-	PPR61	中世末～ 近世	1 B18f	K2	99200	26540	0.444	0.330	31.183	31.185	HYR2-2 黒褐色シルト (単層)	PPR60と重なり本遺構が古い
SR02	PPR62	平安時代	1 B17f	K2	99183	26523	0.609	0.563	32.328	30.488	HYR2-2 黒褐色シルト上部に Toa アブツク (径 20-30 mm) やや多。	
SR02	PPR63	平安時代	1 B17f	K2	99183	26525	0.853	0.593	32.470	30.279	HYR2-2 黒褐色シルト堆土層 (径 5-10mm) やや多。	棟土から2個の赤土 a 層が出土
-	PPR64	中世末～ 近世	1 B16b	K2	99186	26525	0.301	0.214	32.174	30.519	HYR2-2 黒褐色砂質シルト (単層)	
-	PPR65	中世末～ 近世	1 B17f	K2	99183	26527	0.389	0.298	31.146	30.619	HYR2-2 黒褐色砂質シルト (単層)	

調査 区画	柱状 番号	地層 名称	コア 番号	年代 [ka]	X線 分析	Y線 分析	最大 粒径	最大 重量	含水 率	風速 [m/s]	土質	備考
SR02	PP966	中世末- 古新 時代	I 1036g	09175	26531	0.53	0.53	0.521	38.283	10YR2-2黒褐色シルト	堆山砂礫や中多。	層上面で検出。柱状径 26cm
	PP967	中世末- 古新 時代	I 1036g	09176	26531	0.602	0.585	0.549	38.137	10YR2-2黒褐色シルト	堆山砂礫や中多。	層上面で検出。柱状径 26cm
-	PP968	中世末- 古新 時代	I 1037g	09183	26529	0.271	0.222	0.204	35.903	10YR2-1黒色シルト (単層)		
-	PP969	中世末- 古新 時代	I 1038g	09186	26528	0.522	0.304	0.176	36.566	10YR2-2黒褐色シルト	堆山上全体に散。堆土最上部。	平断面内側。浅い。
-	PP970	中世末- 古新 時代	I 1037g	09184	26529	0.736	0.546	0.245	35.517	10YR2-2黒褐色シルト		浅い(視野のビツ)
-	PP971	中世末- 古新 時代	I 1037g	09186	26531	0.328	0.318	0.181	35.906	10YR2-2黒褐色シルト (単層)		
-	PP972	中世末- 古新 時代	I 1037g	09184	26531	0.308	0.278	0.179	35.549	10YR2-2黒褐色シルト (単層)		
-	PP973	中世末- 古新 時代	I 1037g	09181	26533	0.816	0.664	0.318	38.303	10YR2-2黒褐色砂質シルト層	(径 20-30mm) 少。	平断面内方側
-	PP974	中世末- 古新 時代	I 1038g	09188	26529	0.261	0.235	0.213	35.512	10YR2-2黒褐色シルト	堆山上多。	柱状平断面内側。PP975・77に似る。柱状径 12cm
-	PP975	中世末- 古新 時代	I 1038g	09187	26528	0.338	0.261	0.229	35.542	10YR2-2黒褐色シルト	堆山上多。	PP974・77に似る
-	PP976	中世末- 古新 時代	I 1036g	09187	26530	0.352	0.315	0.290	35.441	10YR2-2黒褐色シルト (単層)		
-	PP977	中世末- 古新 時代	I 1036g	09188	26530	0.311	0.285	0.255	35.498	10YR2-2黒褐色シルト	堆山上多。	PP974・75に似る
-	PP978	中世末- 古新 時代	I 1037g	09184	26533	0.230	0.205	0.090	36.627	10YR2-2黒褐色シルト (単層)		
-	PP979	中世末- 古新 時代	I 1037g	09180	26529	0.410	0.287	0.255	35.445	10YR2-1黒色シルト	堆山上 (径 10-20mm) 少。	
-	PP980	中世末- 古新 時代	I 1036g	09186	26531	0.472	0.440	0.358	35.316	10YR2-1黒色シルト	堆山上 (径 10-20mm) 多数。	
-	PP981	中世末- 古新 時代	I 1037g	09184	26529	0.290	0.231	0.123	36.607	10YR2-2黒褐色砂質シルト (単層)		
-	PP982	中世末- 古新 時代	I 1037g	09183	26531	0.326	0.218	0.143	35.555	10YR2-2黒褐色砂質シルト (単層)		
-	PP983	中世末- 古新 時代	I 1037g	09181	26531	0.181	0.155	0.129	35.534	10YR2-2黒褐色砂質シルト (単層)		
-	PP984	中世末- 古新 時代	I 1037g	09184	26531	0.192	0.148	0.082	36.608	10YR2-2黒褐色砂質シルト (単層)		
SR02	PP985	中世末- 古新 時代	I 1035g	09174	26528	0.588	0.592	0.409	35.374	10YR2-2黒褐色シルト	堆山上 (径 5-10mm) 多。	層上から4個部が露出
-	PP986	中世末- 古新 時代	I 1036g	09186	26532	0.580	0.190	0.116	35.591	10YR2-2黒褐色シルト	堆山砂礫 (径 2.5mm) 少。	
SR02	PP987	中世末- 古新 時代	I 1035g	09174	26526	0.440	0.600	0.386	35.203			SX30aと重なり本層構造が異なる
SR02	PP988	中世末- 古新 時代	I 1035g	09174	26524	0.440	0.418	0.402	35.380	10YR2-2黒褐色シルト	堆山上 (径 5-10mm) 多。	SX30aと重なり本層構造が異なる
SR02	PP989	中世末- 古新 時代	I 1036g	09176	26528	0.726	0.673	0.591	35.045	10YR2-2黒褐色シルト	堆山上 (径 10-20mm) 中多。	柱状径 26cm。SX30aと重なり本層構造が異なる
SR02	PP990	中世末- 古新 時代	I 1038g	09176	26525	0.274	0.618	0.441	35.314	10YR2-2黒褐色シルト	堆山上 (径 20-30mm) 多。	柱状径 26cm。SX30aと重なり本層構造が異なる
SR02	PP991	中世末- 古新 時代	I 1036g	09178	26523	0.580	0.485	0.171	36.616	10YR2-2黒褐色シルト	堆山上 (径 2.5mm) 多。	内側 (径 10cm) 露出
-	PP992	中世末- 古新 時代	I 1037g	09183	26535	0.003	0.142	0.286	35.440	10YR2-2黒褐色シルト	堆山砂礫多。	PP994に似る
SR03	PP993	縄文時代 前期	I 1037g	09182	26535	0.663	0.548	0.320	35.338	10YR2-2黒褐色シルト (単層)		
-	PP994	中世末- 古新 時代	I 1037g	09183	26537	0.555	0.486	0.217	35.360	10YR2-2黒褐色シルト	堆山砂礫多。	PP992に似る
-	PP995	中世末- 古新 時代	I 1038g	09187	26537	0.770	0.763	0.319	35.256	10YR2-2黒褐色粘土質シルト	堆山上 (径 10-40mm) 中多。	
SR03	PP996	縄文時代 前期	I 1037g	09183	26538	0.614	0.530	0.394	35.166	10YR2-2黒褐色砂質シルト	堆山砂礫や中多。	SR02と重なり本層構造が異なる
-	PP996-2	中世末- 古新 時代	I 1037g	09183	26538	0.308	0.105	0.131	-			
-	PP997	中世末- 古新 時代	I 1038g	09187	26540	0.612	0.536	0.265	35.245	10YR2-2黒褐色粘土質シルト	堆山上 (径 10-30mm) 多。	
-	PP998	中世末- 古新 時代	I 1036g	09186	26538	0.350	0.309	0.252	35.337	10YR2-2黒褐色シルト	堆山上 (径 10-30mm) 中多。	柱状径 16cm。SR02と重なり本層構造が異なる
-	PP999	中世末- 古新 時代	I 1038g	09186	26539	1.108	0.710	0.311	35.141	10YR2-2黒褐色粘土質シルト		SR02Pと重なり本層構造が異なる(柱状から2個部が露出)
SR05	PP999-0	縄文時代 前期	I 1038g	09186	26540	0.616	0.695	0.356	35.152	10YR2-2黒褐色シルト		SR02Pと重なり本層構造が異なる
-	PP999-1	中世末- 古新 時代	II 031g	09002	26548	0.475	0.319	0.389	35.700	10YR2-1黒色シルト	堆山ブロックを一定量含む。礫少量	
-	PP999-2	中世末- 古新 時代	II 031g	09001	26550	0.462	0.260	0.362	35.758	10YR2-1黒色砂質シルト	堆山ブロックを一定量含む。礫少量	
-	PP999-3	中世末- 古新 時代	II 031g	09003	26549	0.345	0.290	0.147	35.749	10YR2-1黒色シルト	堆山ブロックを一定量含む。	
-	PP999-4	中世末- 古新 時代	II 031g	09004	26548	0.337	0.296	0.555	35.572	10YR2-1黒色シルト	堆山ブロックを一定量含む。	柱状径 15cm
-	PP999-5	中世末- 古新 時代	II 031g	09004	26549	0.330	0.329	0.411	35.734	10YR2-1黒色シルト	堆山ブロックを一定量含む。	柱状径 14cm
SR02	PP999-6	縄文時代 前期	II 031g	09004	26550	0.464	0.443	0.469	35.608	10YR2-1黒色砂質シルト	堆山ブロックを一定量含む。礫少量	PP999-3と重なり→詳細不明
-	PP999-7	中世末- 古新 時代	II 031g	09002	26553	0.419	0.240	0.162	35.671	10YR2-1黒色シルト	堆山ブロックを一定量含む。	
-	PP999-8	中世末- 古新 時代	II 031g	09003	26554	0.571	0.283	0.388	35.840	10YR1/1-1黒色シルト		
SR01	PP999-9	縄文時代 前期	II 028g	09005	26552	0.500	0.513	0.320	35.900	10YR1/1-1黒色シルト	堆山ブロックを一定量含む。礫少量 成層露出	
-	PP999-10	中世末- 古新 時代	II 028g	09005	26553	0.486	0.464	0.370	35.882	10YR2-1黒色シルト	堆山ブロックを一定量含む。礫少量	
SR010	PP999-11	縄文時代 前期	II 031g	09004	26555	0.289	0.186	0.179	35.746	10YR2-1黒色砂質シルト	堆山ブロックを一定量含む。礫少量	柱状径 11cm
-	PP999-12	中世末- 古新 時代	II 028g	09007	26556	0.490	0.471	0.661	35.565	10YR2-1黒色シルト	堆山ブロックを一定量含む。礫少量	柱状径 13cm
-	PP999-13	中世末- 古新 時代	II 028g	09007	26553	0.361	0.307	0.358	35.805	10YR1/1-1黒色砂質シルト	堆山砂礫多	
SR012	PP999-14	縄文時代 前期	II 028g	09005	26554	0.607	0.387	0.304	35.883	10YR2-1黒色砂質シルト	堆山ブロックを一定量含む。礫少量	
SR014- SR015	PP999-15	中世末- 古新 時代	II 028g	09007	26554	0.689	0.446	0.532	35.670	10YR1/1-1黒色シルト	堆山砂礫多	PP999-16と重なり本層構造が異なる

2 検出遺構

探検 年度	柱穴 番号	検定時期	アリア ク	年代 X線	Y線	最大径 mm	最大深 mm	長さ mm	重量 g	土師	備考
-	PPH116	中東葉一 区画	II B2c	96057	26554	0.568	61.036	0.541	38.723	IVYR2-1 黒色砂質シト地山ブロックを一定量含む、 雑多量	PPH115 と並発→本遺構が新しい
SBC20	PPH117	鏡沼時代 区画	II B2c	96006	26555	0.533	61.026	0.500	36.606	IVYR17-1 黒色シト雑多量、炭粒微量	PPH118 と並発→本遺構が新しい
SBC11	PPH118	鏡沼時代 区画	II B2c	96007	26555	0.4116	61.026	0.286	35.262	IVYR2-1 黒色砂質シト地山ブロックを一定量含む、 雑多量	PPH117 と並発→本遺構が古い
SBC12	PPH119	鏡沼時代 区画	II B2c	96006	26549	0.512	61.000	0.658	36.685	IVYR17-1 黒色シト	柱穴残存
-	PPH120	中東葉一 区画	II B1a	96004	26554	0.361	61.029	0.461	38.785	IVYR2-1 黒色砂質シト地山ブロックを一定量含む、 雑多量	柱穴残存 柱穴径 12cm
-	PPH121	中東葉一 区画	II B1a	96002	26554	0.280	61.072	0.616	38.734	IVYR17-1 黒色砂質シト	溝へ収
-	PPH122	中東葉一 区画	II B2c	96007	26554	0.349	61.081	0.257	38.951		
-	PPH123	中東葉一 区画	II B1a	96004	26500	0.521	61.110	0.302	38.748	IVYR17-1 黒色砂質シト	土師陶器I、PPH106 と並発→新訂不明
-	PPH124	中東葉一 区画	II B1a	96004	26554	0.439	61.029	0.419	38.796	IVYR17-1 黒色砂質シト雑多量	
-	PPH125	中東葉一 区画	II B2c	96008	26555	0.380	61.063	0.464	38.600	IVYR17-1 黒色砂質シト雑多量	
-	PPH126	中東葉一 区画	II B2c	96009	26556	0.293	61.071	0.590	38.581	IVYR2-1 黒色砂質シト地山ブロックを一定量含む、 雑多量	PPH127 と並発→本遺構が新しい
-	PPH127	中東葉一 区画	II B2c	96009	26557	0.330	61.021	0.575	38.604	IVYR17-1 黒色砂質シト雑多量	PPH126 と並発→本遺構が古い
SBC12	PPH128	鏡沼時代 区画	II B2c	96007	26553	0.502	61.005	0.505	38.652	IVYR17-1 黒色砂質シト雑多量	
-	PPH129	中東葉一 区画	II B2c	96006	26554	0.415	61.054	0.317	38.648	IVYR17-1 黒色砂質シト雑多量	
SBC20	PPH130	鏡沼時代 区画	II B2c	96009	26557	0.474	61.029	0.511	38.640	IVYR2-1 黒色砂質シト地山ブロックを一定量含む、 雑多量	柱穴径 12cm
-	PPH131	中東葉一 区画	II B2c	96008	26552	0.502	61.076	0.537	38.813	IVYR17-1 黒色砂質シト雑多量	
-	PPH132	中東葉一 区画	II B2c	96009	26550	0.515	61.031	0.551	38.612	IVYR2-1 黒色砂質シト地山ブロックを一定量含む、 雑多量	
SBC12	PPH133	鏡沼時代 区画	II B2c	96008	26548	0.415	61.080	0.674	38.470	IVYR2-1 黒色シト地山ブロックを一定量含む。	
-	PPH134	中東葉一 区画	II B2c	96009	26552	0.395	61.041	0.451	38.692	IVYR17-1 黒色砂質シト雑多量	
-	PPH135	中東葉一 区画	II B2c	96009	26547	0.324	61.025	0.388	38.783	IVYR17-1 黒色砂質シト炭粒微量	
-	PPH136	中東葉一 区画	II B2c	96006	26548	0.339	61.053	0.547	38.635	IVYR2-1 黒色砂質シト地山ブロックを一定量含む。	PPH137 と並発→新訂不明
-	PPH137	中東葉一 区画	II B2c	96006	26548	0.528	61.027	0.594	38.687	IVYR2-1 黒色砂質シト地山ブロックを一定量含む。	PPH136 と並発→新訂不明
-	PPH138	中東葉一 区画	II B2c	96010	26506	0.387	61.025	0.386	38.790	IVYR2-1 黒色砂質シト地山ブロックを一定量含む、 雑多量、炭粒微量	PPH139 と並発→新訂不明
SBC4	PPH139	平安時代 区画	II B3c	96019	26557	0.697	61.071	0.318	38.628	IVYR2-1 黒色砂質シト地山ブロックを一定量含む、 雑多量	柱穴径 25cm、PPH138 と並発→新訂不明
SBC4	PPH140	平安時代 区画	II B3c	96012	26559	1.052	61.092	0.738	38.541	IVYR2-1 黒色砂質シト地山ブロックを一定量含む、 雑多量	
SBC10	PPH141	鏡沼時代 区画	II B3c	96010	26555	0.467	61.045	0.643	38.519	IVYR17-1 黒色砂質シト雑多量	
SBC11	PPH142	鏡沼時代 区画	II B2c	96008	26554	0.536	61.040	0.680	38.620	IVYR17-1 黒色砂質シト雑多量	PPH143 と並発→本遺構が新しい
-	PPH143	中東葉一 区画	II B2c	96009	26554	0.477	61.038	0.573	38.570	IVYR17-1 黒色砂質シト	PPH142 と並発→本遺構が古い
SBC4	PPH144	平安時代 区画	II B2c	96009	26553	0.612	61.069	0.621	38.531	IVYR17-1 黒色砂質シト雑多量	
-	PPH146	中東葉一 区画	II B2c	96008	26550	0.361	61.083	0.559	38.609	IVYR17-1 黒色シト雑多量	PPH145 と並発→本遺構が新しい
SBC11	PPH147	鏡沼時代 区画	II B2c	96007	26551	0.520	61.063	0.482	38.685	IVYR17-1 黒色シト雑多量	
SBC4	PPH148	平安時代 区画	II B2c	96010	26555	0.879	61.038	0.713	38.633	IVYR2-1 黒色砂質シト地山ブロックを一定量含む、 雑多量	柱穴径 15cm
SBC10	PPH149	鏡沼時代 区画	II B3c	96010	26553	0.366	61.035	0.344	38.813	IVYR2-1 黒色砂質シト地山ブロックを一定量含む、 雑多量	柱穴残存 柱穴径 10cm
SBC11	PPH150	鏡沼時代 区画	II B2c	96009	26500	0.236	61.031	0.576	38.580	IVYR2-1 黒色シト地山ブロックを一定量含む、 炭粒微量	
SBC12	PPH151	鏡沼時代 区画	II B2c	96010	26552	0.576	61.035	0.575	38.611	IVYR17-1 黒色シト雑多量	窪みだが柱穴残存 柱穴径 13cm
-	PPH152	中東葉一 区画	II B3c	96010	26554	0.473	61.042	0.228	38.940	IVYR17-1 黒色シト	
-	PPH153	中東葉一 区画	II B2c	96006	26548	0.422	61.033	0.249	38.912	IVYR2-1 黒色シト地山ブロックを一定量含む、 炭粒微量	
-	PPH154	中東葉一 区画	II B2c	96005	26500	0.401	61.037	0.494	38.635	IVYR2-1 黒色シト地山ブロックを一定量含む。	柱穴径 13cm
-	PPH155	中東葉一 区画	II B3c	96012	26554	0.621	61.049	0.493	38.537	IVYR2-1 黒色砂質シト地山ブロックを一定量含む、 雑多量	SBC26 と並発→本遺構が新しい
-	PPH156	中東葉一 区画	II B3c	96011	26555	0.381	61.026	0.389	38.604	IVYR17-1 黒色砂質シト雑多量	SBC88 と並発→本遺構が新しい
-	PPH157	中東葉一 区画	II B3c	96011	26555	0.369	61.026	0.270	38.901	IVYR17-1 黒色シト雑多量	柱穴径 11cm
-	PPH158	中東葉一 区画	II B3c	96014	26556	0.608	61.022	0.654	38.515	IVYR17-1 黒色シト雑多量	
-	PPH159	中東葉一 区画	II B3c	96012	26586	0.371	61.061	0.437	38.687	IVYR2-1 黒色シト地山ブロックを一定量含む、 雑多量	
-	PPH160	中東葉一 区画	II B3c	96016	26553	0.377	61.053	0.280	38.781	IVYR2-1 黒色シト地山ブロックを一定量含む、 雑多量	
-	PPH161	中東葉一 区画	II B3c	96012	26509	0.327	61.019	0.387	38.867	IVYR2-1 黒色シト地山ブロックを一定量含む。	穴穴のように先細りになっていく柱穴径 8cm
-	PPH162	中東葉一 区画	II B3c	96011	26552	0.366	61.035	0.273	38.780	IVYR2-1 黒色砂質シト地山ブロックを一定量含む、 雑多量	
-	PPH163	中東葉一 区画	II B3c	96019	26500	0.294	61.050	0.577	38.527	IVYR2-1 黒色シト地山ブロックを一定量含む。	
-	PPH164	中東葉一 区画	II B2c	96006	26555	0.370	61.021	0.269	38.820	IVYR17-1 黒色砂質シト雑多量	
-	PPH165	中東葉一 区画	II B3c	96013	26557	0.778	61.056	0.567	38.600	IVYR2-1 黒色砂質シト地山ブロックを一定量含む、 雑多量	
-	PPH166	中東葉一 区画	II B3c	96019	26554	0.417	61.049	0.224	38.825	IVYR2-1 黒色シト地山ブロックを一定量含む。	
-	PPH167	中東葉一 区画	II B3c	96010	26549	0.341	61.029	0.388	38.686	IVYR2-1 黒色シト地山ブロックを一定量含む、 雑多量	柱穴径 12cm
-	PPH168	中東葉一 区画	II B2c	96012	26558	0.579	61.031	0.639	38.567	IVYR2-1 黒色砂質シト地山ブロックを一定量含む、 雑多量	PPH169・223 と並発→新訂不明

採集 種別	柱状 番号	埋藏時代	アフリカ	年代 X線分析	Y線分析	最大径	最大厚	長さ (mm)	重量 (g)	土質	備考
-	PP1069	中世末- 近世初	II B3c	K2	09212	26508	61109	6268	36.573	10YR2/1 黒色砂質シルト地山ブロックを一定量含む、礫多量	PP1068と並列→新旧不明
-	PP1070	中世末- 近世初	II B3c	K2	09211	26500	61487	622	55.77	36.499	10YR2/1 黒色シルト地山ブロックを一定量含む。
-	PP1071	中世末- 近世初	II B3c	K2	09210	26547	61346	3061	62.73	36.880	10YR1/1 黒色シルト礫多量
SBC10- 11	PP1072	縄文時代 末	II B3c	K2	09213	26552	61607	6564	59.97	36.471	10YR2/1 黒色砂質シルト地山ブロックを一定量含む、礫多量
SBC10- SBC13	PP1073	平安時代 末	II B3c	K2	09213	26553	61929	6165	52.4	36.446	10YR2/1 黒色シルト地山ブロックを一定量含む、礫多量
SBC10	PP1074	平安時代 末	II B3c	K2	09214	26555	61185	1172	50.60	36.612	10YR2/1 黒色シルト地山ブロックを一定量含む、礫少量
SBC11	PP1075	中世末- 近世初	II B3c	K2	09211	26549	61341	61311	65.68	36.560	10YR1/1 黒色シルト礫少量
-	PP1076	中世末- 近世初	II B3c	K2	09211	26549	61348	61276	63.96	36.500	10YR2/1 黒色砂質シルト地山ブロックを一定量含む、礫少量
SBC12	PP1077	縄文時代 末	II B3c	K2	09210	26548	61533	61438	66.28	36.495	10YR1/1 黒色砂質シルト礫多量
-	PP1078	中世末- 近世初	II B3c	K2	09213	26553	61269	6279	63.61	36.650	10YR2/1 黒色シルト地山ブロックを一定量含む、礫多量
-	PP1079	中世末- 近世初	II B3c	K2	09212	26549	61382	61290	65.47	36.525	10YR1/1 黒色砂質シルト礫少量
SBC10	PP1080	平安時代 末	II B3c	K2	09212	26549	61208	61680	61693	36.500	10YR2/1 黒色砂質シルト地山ブロックを一定量含む、礫多量
-	PP1081	中世末- 近世初	II B3c	K2	09208	26500	61939	6261	64.31	36.816	10YR1/1 黒色砂質シルト
SBC12	PP1082	縄文時代 末	II B3c	K2	09212	26547	61566	61417	64.26	36.707	10YR1/1 黒色砂質シルト礫多量
-	PP1083	中世末- 近世初	II B4a	K2	09215	26551	61543	61268	61343	36.692	10YR2/1 黒色シルト地山ブロックを一定量含む。
SBC13	PP1084	縄文時代 末	II B4a	K2	09215	26552	61825	61685	66.47	36.664	10YR2/1 黒色シルト地山ブロックを一定量含む。
SBC1	PP1085	平安時代 末	II B4c	K2	09215	26548	61877	61851	64.79	36.587	10YR1/1 黒色砂質シルト礫多量
-	PP1086	中世末- 近世初	II B3c	K2	09214	26552	61411	61330	63.07	36.747	10YR1/1 黒色砂質シルト礫多量
-	PP1087	中世末- 近世初	II B3c	K2	09214	26552	61474	61655	61.18	36.668	10YR1/1 黒色砂質シルト礫多量
-	PP1088	中世末- 近世初	II B4c	K2	09226	26549	61806	61374	63.07	36.227	10YR1/1 黒色シルト礫少量
SBC13	PP1089	縄文時代 末	II B4a	K2	09217	26551	61661	61547	62.70	36.500	10YR1/1 黒色シルト
-	PP1090	中世末- 近世初	II B4a	K2	09216	26511	61903	61476	61.70	36.494	10YR2/1 黒色シルト地山ブロックを一定量含む、礫少量
SBC13	PP1091	平安時代 末	II B4a	K2	09218	26550	61999	61977	61.39	36.655	10YR2/1 黒色砂質シルト地山ブロックを一定量含む、礫多量
SBC19	PP1092	縄文時代 末	II B4c	K2	09218	26550	61711	61625	61.58	36.441	10YR2/1 黒色砂質シルト地山ブロックを一定量含む、礫多量
SBC10	PP1093	縄文時代 末	II B3c	K2	09213	26555	61662	61542	61.68	36.433	10YR2/1 黒色シルト地山ブロックを一定量含む、礫少量、灰殻散見
-	PP1094	中世末- 近世初	II B4c	K2	09217	26547	61463	61437	61.580	36.665	10YR1/1 黒色砂質シルト礫少量
SBC12	PP1095	縄文時代 末	II B3c	K2	09214	26546	61602	61537	61.713	36.684	10YR2/1 黒色シルト地山ブロックを一定量含む、礫少量
-	PP1096	中世末- 近世初	II B4c	K2	09215	26547	61338	61301	65.31	36.647	10YR1/1 黒色シルト礫多量
SBC19	PP1097	縄文時代 末	II B3c	K2	09213	26551	61815	61723	61.613	36.473	10YR1/1 黒色シルト
SBC13	PP1098	平安時代 末	II B3c	K2	09213	26551	61921	61588	61545	36.612	10YR2/1 黒色シルト地山ブロックを一定量含む、礫少量
-	PP1099	中世末- 近世初	II B3c	K2	09213	26551	61345	61191	61.606	36.619	10YR1/1 黒色シルト
-	PP1100	中世末- 近世初	II B4c	K2	09216	26547	61319	61262	61.635	36.601	10YR2/1 黒色シルト地山ブロックを一定量含む、礫少量
-	PP1101	中世末- 近世初	II B4c	K2	09215	26547	61354	61313	61.635	36.654	10YR1/1 黒色シルト礫多量
-	PP1102	中世末- 近世初	II B3c	K2	09214	26506	61300	61267	61.696	36.528	10YR2/1 黒色砂質シルト地山ブロックを一定量含む、礫多量
-	PP1103	中世末- 近世初	II B3c	K2	09213	26545	61309	61282	61.577	36.601	10YR2/1 黒色シルト地山ブロックを一定量含む。
-	PP1104	中世末- 近世初	II B4c	K2	09216	26546	61363	61343	61.296	36.842	10YR2/1 黒色砂質シルト地山ブロックを一定量含む、礫少量
-	PP1105	中世末- 近世初	II B4c	K2	09216	26549	61235	61227	61.346	36.710	10YR1/1 黒色シルト礫多量
SBC12	PP1106	中世末- 近世初	II B4c	K2	09217	26547	61147	61089	61.687	36.469	10YR2/1 黒色シルト地山ブロックを一定量含む、礫多量
-	PP11062	中世末- 近世初	II B4c	K2	09217	26548	61515	61210	61.130	-	
-	PP1108	中世末- 近世初	II B4c	K2	09217	26546	61418	61401	61.526	36.554	10YR2/1 黒色シルト地山ブロックを一定量含む、礫多量
SBC18	PP1109	縄文時代 末	II B4c	K2	09218	26545	61383	61257	61.475	36.571	10YR2/1 黒色シルト地山ブロックを一定量含む。
-	PP1110	中世末- 近世初	II B4c	K2	09217	26546	61308	61300	61.116	36.964	10YR2/1 黒色砂質シルト地山ブロックを一定量含む、礫多量
-	PP1111	中世末- 近世初	II B4c	K2	09217	26545	61257	61235	61.273	36.772	10YR1/1 黒色砂質シルト地山ブロックを一定量含む。
-	PP1112	中世末- 近世初	II B4c	K2	09218	26546	61297	61262	61.274	36.784	10YR2/1 黒色砂質シルト地山ブロックを一定量含む。
-	PP1113	中世末- 近世初	II B4c	K2	09219	26547	61231	61208	61.252	36.887	10YR1/1 黒色砂質シルト
-	PP1114	中世末- 近世初	II B3c	K2	09220	26546	61268	61260	61.435	36.698	10YR2/1 黒色砂質シルト地山ブロックを一定量含む、灰殻散見
-	PP1115	中世末- 近世初	II B4a	K2	09218	26550	61403	61335	61.680	36.412	10YR2/1 黒色砂質シルト地山ブロックを一定量含む、礫多量
-	PP1116	中世末- 近世初	II B4c	K2	09218	26549	61406	61340	61.375	36.593	10YR2/1 黒色砂質シルト地山ブロックを一定量含む、礫多量
-	PP1117	中世末- 近世初	II B4c	K2	09218	26549	61377	61270	61.360	36.737	10YR1/1 黒色砂質シルト
-	PP1118	中世末- 近世初	II B4c	K2	09215	26549	61309	61246	61.294	36.731	10YR1/1 黒色シルト

2 検出遺構

探検 年度	柱穴 番号	検定時期	アリア シ	年代 X線	Y線	最大径	最大深	埋 入 深	埋 入 角	土層	備考
-	PPR219	中世末～ 近世初	II B3	99214	26548	0.472	0.404	0.299	38.748	IVYR1.7/1 黒色シルト	PPR213と並列→新設不明
-	PPR220	中世末～ 近世初	II B3	99215	26551	0.598	0.496	0.435	38.573	IVYR1.7/1 黒色シルト	
SBC14	PPR221	縄文時代 前期	II B3	99220	26545	0.370	0.289	0.428	26.611	IVYR1.7/1 黒色砂質シルト	
SBC12	PPR222	縄文時代 前期	II B3	99213	26550	0.621	0.527	0.659	38.417	IVYR1.7/1 黒色シルト	PPR199と並列→本遺構が古い
-	PPR223	中世末～ 近世初	II B3	99212	26558	0.514	0.428	0.613	38.575	IVYR1.7/1 黒色砂質シルト	PPR198と並列→新設不明
-	PPR224	中世末～ 近世初	II D4	99217	26553	0.323	0.311	0.276	38.620	IVYR1.7/1 黒色砂質シルト	PPR199と並列→新設不明
SBC19	PPR225	縄文時代 前期	II B3	99213	26554	0.649	0.571	0.366	38.612	IVYR1.7/1 黒色シルト	SBC17と並列→本遺構が新しい
-	PPR227	中世末～ 近世初	II B4	99217	26560	0.371	0.287	0.556	38.519	IVYR2.2 黒色シルト地山ブロックを一定量含む。	
SBC12	PPR228	縄文時代 前期	II B4	99215	26550	0.476	0.363	0.253	38.796	IVYR1.7/1 黒色シルト	
-	PPR229	中世末～ 近世初	II B3	99214	26560	0.441	0.312	0.495	38.516	IVYR1.7/1 黒色シルト難少量	
-	PPR230	中世末～ 近世初	II B3	99214	26553	0.398	0.321	0.532	38.438	IVYR2.2 黒色シルト地山ブロックを一定量含む。難少量	
-	PPR231	中世末～ 近世初	II B3	99214	26551	0.602	0.267	0.220	38.798	IVYR1.7/1 黒色シルト	PPR232と並列→本遺構が新しい
SBC11	PPR232	縄文時代 前期	II B3	99214	26551	0.347	0.311	0.574	38.620	IVYR2.2 黒色シルト地山ブロックを一定量含む。難少量	柱穴群 13m、PPR231と並列→本遺構が古い
-	PPR233	中世末～ 近世初	II B3	99214	26553	0.329	0.267	0.225	38.727	IVYR2.2 黒色シルト地山ブロックを一定量含む。難少量	
-	PPR234	中世末～ 近世初	II B3	99213	26552	0.402	0.320	0.479	38.588	IVYR1.7/1 黒色シルト難少量	
-	PPR235	中世末～ 近世初	II B4	99215	26552	0.342	0.324	0.688	38.391	IVYR1.7/1 黒色シルト難少量	
-	PPR236	中世末～ 近世初	II B4	99217	26560	0.396	0.376	0.275	38.769	IVYR1.7/1 黒色シルト難少量	
-	PPR237	中世末～ 近世初	II B4	99215	26552	0.410	0.351	0.380	38.605	IVYR1.7/1 黒色シルト	柱穴群 11cm
-	PPR238	中世末～ 近世初	II B3	99219	26547	0.243	0.213	0.235	38.828	IVYR1.7/1 黒色砂質シルト炭粒微量	PPR177と並列→本遺構が古い
-	PPR239	中世末～ 近世初	II B3	99213	26554	0.308	0.281	0.324	38.602	IVYR2.2 黒色シルト地山ブロックを一定量含む。	
SBC13	PPR240	縄文時代 前期	II B3	99214	26554	0.427	0.380	0.577	38.550	IVYR1.7/1 黒色シルト	
-	PPR241	中世末～ 近世初	II B3	99213	26560	0.351	0.328	0.248	38.835	IVYR2.2 黒色砂質シルト地山ブロックを一定量含む。	
-	PPR242	中世末～ 近世初	II B4	99217	26551	0.404	0.309	0.222	38.720	IVYR2.2 黒色シルト地山ブロックを一定量含む。	PPR189と並列→本遺構が古い
-	PPR243	中世末～ 近世初	II B3	99211	26548	0.425	0.385	0.573	38.622	IVYR1.7/1 黒色シルト	平野方面
-	PPR244	中世末～ 近世初	II B3	99213	26545	0.484	0.309	0.455	38.607	IVYR1.7/1 黒色砂質シルト	
-	PPR245	中世末～ 近世初	II B5	99220	26546	0.514	0.420	0.644	38.462	IVYR2.2 黒色シルト地山ブロックを一定量含む。難少量	
SBC10	PPR246	縄文時代 前期	II B4	99216	26551	0.613	0.487	0.650	38.300	IVYR2.2 黒色砂質シルト地山ブロックを一定量含む。難少量。炭粒微量	柱穴群 95cm
-	PPR247	中世末～ 近世初	II B4	99215	26545	0.281	0.231	0.291	38.796	IVYR1.7/1 黒色シルト	
-	PPR248	中世末～ 近世初	II B1	99200	26553	0.292	0.268	0.296	38.932	IVYR1.7/1 黒色シルト	
-	PPR249	中世末～ 近世初	I B2B	99198	26550	0.256	0.203	0.253	38.911	IVYR1.7/1 黒色シルト難少量	柱穴群付 柱穴群 12m
-	PPR250	中世末～ 近世初	I B2B	99198	26549	0.321	0.323	0.314	38.868	IVYR1.7/1 黒色砂質シルト難少量	柱穴群 12m
-	PPR251	中世末～ 近世初	II B1	99204	26552	0.341	0.283	0.200	38.931	IVYR1.7/1 黒色シルト	柱穴 柱穴群 7cm
-	PPR252	中世末～ 近世初	II B1	99201	26549	0.247	0.214	0.174	38.959	IVYR1.7/1 黒色砂質シルト	
-	PPR253	中世末～ 近世初	II B3	99206	26550	0.295	0.269	0.199	38.889	IVYR1.7/1 黒色砂質シルト	
-	PPR254	中世末～ 近世初	II B3	99208	26550	0.344	0.443	0.210	38.949	IVYR1.7/1 黒色砂質シルト	奥いので柱穴とはならないかもしれない
-	PPR255	中世末～ 近世初	II B1	99205	26549	0.298	0.262	0.252	38.890	IVYR1.7/1 黒色シルト	
-	PPR256	中世末～ 近世初	II B1	99204	26547	0.381	0.329	0.338	38.810	IVYR2.2 黒色シルト地山ブロックを一定量含む。難少量	
-	PPR257	中世末～ 近世初	II B1	99201	26560	0.473	0.361	0.408	38.764	IVYR2.2 黒色砂質シルト地山ブロックを一定量含む。難少量	
-	PPR258	中世末～ 近世初	I B2B	99199	26550	0.348	0.336	0.363	38.782	IVYR2.2 黒色シルト地山ブロックを一定量含む。	
-	PPR259	中世末～ 近世初	II B2	99207	26549	0.382	0.343	0.312	38.762	IVYR2.2 黒色砂質シルト地山ブロックを一定量含む。	
-	PPR260	中世末～ 近世初	II B2	99207	26548	0.296	0.249	0.220	38.866	IVYR1.7/1 黒色シルト	
-	PPR261	中世末～ 近世初	II B2	99207	26547	0.327	0.252	0.309	38.657	IVYR1.7/1 黒色シルト	
SBC14	PPR262	縄文時代 前期	II B5	99222	26544	0.455	0.365	0.540	38.492	IVYR2.2 黒色シルト地山ブロックを一定量含む。難少量	SBC15と並列→本遺構が古い
-	PPR263	中世末～ 近世初	II B5	99228	26544	0.261	0.249	0.388	38.676	IVYR2.2 黒色砂質シルト地山ブロックを一定量含む。難少量	
-	PPR264	中世末～ 近世初	II B2	99206	26549	0.260	0.170	0.140	38.910	IVYR1.7/1 黒色シルト	板倉跡付
-	PPR265	中世末～ 近世初	I B2B	99199	26549	0.267	0.264	0.241	38.875	IVYR2.2 黒色砂質シルト地山ブロックを一定量含む。難少量	
SBC14	PPR266	平安時代	II B2	99205	26555	0.342	0.280	0.305	38.839	IVYR2.2 黒色砂質シルト地山ブロックを一定量含む。難少量	柱穴群 15cm
-	PPR267	中世末～ 近世初	II B2	99207	26553	0.490	0.305	0.386	38.740	IVYR1.7/1 黒色砂質シルト難少量	
-	PPR268	中世末～ 近世初	II B2	99209	26550	0.434	0.310	0.456	38.617	IVYR1.7/1 黒色シルト	柱穴群 17cm
-	PPR269	中世末～ 近世初	II B2	99206	26554	0.239	0.170	0.222	38.888	IVYR2.2 黒色シルト地山ブロックを一定量含む。難少量	柱穴群 14cm
-	PPR270	中世末～ 近世初	II B2	99206	26554	0.364	0.299	0.472	38.609	IVYR1.7/1 黒色シルト	

採集 年度	柱状 番号	採定深度 (m)	コア 番号	年取 深度 (m)	Y 深度 (m)	最大 径 (mm)	最大 径 (mm)	径 別 数 (個)	風 量 計 測 定 値 (L/min)	土質	備考	
-	PP0271	中深層 - 浅層	II B2	R2	96039	26549	0.318	0.263	0.597	36,520	HOYR1.7/1 黒色砂質シルト難多量	
-	PP0272	中深層 - 浅層	II B2	R2	96037	26549	0.311	0.301	0.290	38,804	HOYR1.7/1 黒色シルト	柱状径 10cm
-	PP0273	中深層 - 浅層	II B2	R2	96036	26556	0.365	0.296	0.221	38,943	HOYR2/1 黒色砂質シルト地山ブロックを一定量含む、 難多量	
-	PP0274	中深層 - 浅層	II B2	R2	96038	26557	0.623	0.258	0.367	36,790	HOYR1.7/1 黒色シルト	柱状径 10cm
-	PP0275	中深層 - 浅層	II B2a	R2	96038	26552	0.558	0.361	0.326	38,782	HOYR2/1 黒色砂質シルト地山ブロックを一定量含む、 難多量	
-	PP0276	中深層 - 浅層	II B2a	R2	96039	26553	0.228	0.199	0.214	36,867	HOYR2/1 黒色砂質シルト地山ブロックを一定量含む、 難多量	
-	PP0277	中深層 - 浅層	II B2	R2	96035	26555	0.331	0.308	0.252	38,871	HOYR2/1 黒色砂質シルト地山ブロックを一定量含む、 難多量	
-	PP0278	中深層 - 浅層	II B2	R2	96037	26557	0.407	0.285	0.427	38,866	HOYR2/1 黒色砂質シルト地山ブロックを一定量含む、 難多量	
-	PP0279	中深層 - 浅層	II B2	R2	96039	26556	0.448	0.329	0.631	38,447	HOYR1.7/1 黒色シルト	柱状径 10cm
-	PP0280	中深層 - 浅層	II B2a	R2	96037	26553	0.272	0.263	0.390	38,715	HOYR2/1 黒色砂質シルト地山ブロックを一定量含む、 難多量	
SBC20	PP0281	観測時代 - 浅層	II B3	R2	96210	26559	0.248	0.107	0.123	30,021	HOYR2/1 黒色シルト地山ブロックを一定量含む。	
-	PP0282	中深層 - 浅層	II B2	R2	96039	26547	0.337	0.246	0.253	38,841	HOYR2/1 黒色シルト地山ブロックを一定量含む、難多量	
-	PP0283	中深層 - 浅層	II B2	R2	96039	26549	0.314	0.225	0.546	38,541	HOYR1.7/1 黒色シルト	
-	PP0284	中深層 - 浅層	II B3a	R2	96210	26551	0.518	0.289	0.471	38,614	HOYR1.7/1 黒色砂質シルト難多量	
-	PP0285	中深層 - 浅層	II B3a	R2	96210	26553	0.359	0.308	0.399	36,690	HOYR2/1 黒色シルト地山ブロックを一定量含む。	
-	PP0286	中深層 - 浅層	II B2	R2	96039	26558	0.373	0.275	0.472	36,682	HOYR1.7/1 黒色砂質シルト難多量	
-	PP0287	中深層 - 浅層	II B2	R2	96210	26558	0.396	0.345	0.431	38,742	HOYR1.7/1 黒色砂質シルト難多量	
-	PP0288	中深層 - 浅層	II B2	R2	96210	26556	0.216	0.199	0.202	38,887	HOYR2/1 黒色シルト地山ブロックを一定量含む。	
-	PP0289	中深層 - 浅層	II B3a	R2	96211	26554	0.437	0.300	0.371	38,695	HOYR2/1 黒色砂質シルト地山ブロックを一定量含む、 難多量	PP0282と並ね→本連続が新しい
-	PP0290	中深層 - 浅層	II B2	R2	96212	26556	0.354	0.269	0.372	38,770	HOYR1.7/1 黒色砂質シルト難多量	
-	PP0291	中深層 - 浅層	II B2	R2	96213	26556	0.271	0.238	0.234	38,816	HOYR2/1 黒色砂質シルト地山ブロックを一定量含む。	
SBC20	PP0292	観測時代 - 浅層	II B3a	R2	96211	26554	0.410	0.218	0.343	38,713	HOYR1.7/1 黒色シルト	PP0289と並ね→本連続が古い
-	PP0294	中深層 - 浅層	II B2	R2	96210	26556	0.342	0.301	0.371	38,733	HOYR2/1 黒色シルト地山ブロックを一定量含む。	
-	PP0295	中深層 - 浅層	II B2	R2	96210	26558	0.563	0.452	0.657	38,475	HOYR1.7/1 黒色砂質シルト難多量	
SBC10	PP0296	観測時代 - 浅層	II B2	R2	96211	26558	0.360	0.353	0.698	38,472	HOYR1.7/1 黒色砂質シルト難多量	
-	PP0297	中深層 - 浅層	II B2a	R2	96210	26550	0.366	0.296	0.488	38,642	HOYR2/1 黒色シルト地山ブロックを一定量含む。	
-	PP0298	中深層 - 浅層	II B3a	R2	96211	26550	0.267	0.253	0.323	38,775	HOYR1.7/1 黒色砂質シルト	
-	PP0299	中深層 - 浅層	II B2	R2	96211	26557	0.297	0.279	0.231	38,883	HOYR1.7/1 黒色砂質シルト難多量	
-	PP0300	中深層 - 浅層	II B2	R2	96211	26557	0.337	0.291	0.597	38,697	HOYR1.7/1 黒色砂質シルト難多量	
-	PP0301	中深層 - 浅層	II B2	R2	96213	26556	0.317	0.304	0.415	38,893	HOYR2/1 黒色砂質シルト地山ブロックを一定量含む、 難多量	
-	PP0302	中深層 - 浅層	II B2	R2	96039	26558	0.321	0.311	0.414	38,747	HOYR2/1 黒色砂質シルト地山ブロックを一定量含む、 難多量	
-	PP0303	中深層 - 浅層	II B2a	R2	96211	26554	0.325	0.219	0.421	38,617	HOYR2/1 黒色砂質シルト地山ブロックを一定量含む、 難多量	PP0304と並ね→本連続が古い
-	PP0304	中深層 - 浅層	II B2a	R2	96211	26554	0.318	0.251	0.440	38,694	HOYR1.7/1 黒色砂質シルト	柱状径 10cm、PP0303と並ね→本連続が新しい
SBC20	PP0305	観測時代 - 浅層	II B2	R2	96211	26556	0.761	0.420	0.545	38,541	HOYR2/1 黒色砂質シルト地山ブロックを一定量含む、 難多量	
-	PP0306	中深層 - 浅層	II B2a	R2	96211	26550	0.421	0.328	0.128	38,903	HOYR1.7/1 黒色シルト	柱状径 10cm
-	PP0307	中深層 - 浅層	II B2	R2	96213	26555	0.337	0.327	0.345	38,731	HOYR2/1 黒色シルト地山ブロックを一定量含む、難多量	柱状径 10cm
SBC10	PP0308	観測時代 - 浅層	II B2a	R2	96212	26553	0.355	0.285	0.623	38,699	HOYR2/1 黒色砂質シルト地山ブロックを一定量含む、 難多量	
SBC11	PP0309	観測時代 - 浅層	II B3a	R2	96211	26553	0.329	0.311	0.425	38,627	HOYR2/1 黒色砂質シルト地山ブロックを一定量含む、 難多量	柱状径 10cm
-	PP0310	中深層 - 浅層	II B2	R2	96210	26559	0.352	0.322	0.661	38,504	HOYR2/1 黒色砂質シルト地山ブロックを一定量含む、 難多量	
-	PP0311	中深層 - 浅層	II B2	R2	96210	26549	0.165	0.156	0.195	38,854	HOYR2/1 黒色砂質シルト地山ブロックを一定量含む。	
-	PP0312	中深層 - 浅層	II B2a	R2	96211	26552	0.284	0.240	0.326	38,697	HOYR1.7/1 黒色シルト	
-	PP0313	中深層 - 浅層	II B2a	R2	96213	26552	0.259	0.246	0.504	38,595	HOYR2/1 黒色シルト地山ブロックを一定量含む、 難多量	
-	PP0314	中深層 - 浅層	II B2	R2	96212	26550	0.541	0.265	0.253	38,798	HOYR1.7/1 黒色シルト	ST006と並ね→本連続が新しい、PP0320と並ね →本連続が古い
SBC13	PP0315	観測時代 - 浅層	II B1	R2	96215	26556	0.585	0.501	0.500	38,516	HOYR2/1 黒色砂質シルト地山ブロックを一定量含む、 難多量	
-	PP0316	中深層 - 浅層	II B2a	R2	96213	26552	0.408	0.400	0.671	38,630	HOYR2/1 黒色砂質シルト地山ブロックを一定量含む、 難多量	
-	PP0317	中深層 - 浅層	II B2	R2	96220	26546	0.402	0.299	0.224	38,892	HOYR1.7/1 黒色砂質シルト難多量	
-	PP0318	中深層 - 浅層	II B2	R2	96215	26556	0.308	0.242	0.285	38,730	HOYR1.7/1 黒色砂質シルト難多量	
-	PP0319	中深層 - 浅層	II B2a	R2	96212	26550	0.312	0.265	0.307	38,723	HOYR1.7/1 黒色シルト	
-	PP0320	中深層 - 浅層	II B1a	R2	96215	26554	0.319	0.275	0.306	38,609	HOYR1.7/1 黒色シルト	
-	PP0321	中深層 - 浅層	II B2a	R2	96217	26553	0.340	0.248	0.218	38,708	HOYR2/1 黒色シルト地山ブロックを一定量含む。	

2 検出遺構

探検 経緯	柱穴 番号	検定時期	アリアツ	年代 X線	Y線	最大径	最大厚	長さ (cm)	取 出 高 度 (cm)	土層	備考	
-	PPR022	中世末～ 近世	II B3	R2	09214	26547	0.512	0.373	0.383	28.712	10YR2/1 黒色砂質シルト地山ブロックを一定量含む、 雑多量	
-	PPR023	中世末～ 近世	II B3a	R2	09216	26552	0.430	0.401	0.371	28.577	10YR1/1 黒色シルト	
-	PPR024	中世末～ 近世	II B3	R2	09211	26546	0.263	0.244	0.259	28.786	10YR2/1 黒色砂質シルト地山ブロックを一定量含む、 雑少量	
-	PPR025	中世末～ 近世	II B3	R2	09212	26556	0.500	0.470	0.500	28.517	10YR1/1 黒色シルト雑多量	PPR031と並列→本遺構が新しい
-	PPR026	中世末～ 近世	II B3	R2	09213	26549	0.226	0.308	0.173	28.880	10YR2/1 黒色シルト地山ブロックを一定量含む、	
-	PPR027	中世末～ 近世	II B3	R2	09215	26555	0.319	0.306	0.403	28.543	10YR2/1 黒色シルト地山ブロックを一定量含む、 雑少量	PPR028と並列→本遺構が新しい
-	PPR028	中世末～ 近世	II B3a	R2	09214	26554	0.357	0.320	0.374	28.521	10YR1/1 黒色シルト雑少量	PPR027と並列→本遺構が古い
-	PPR029	中世末～ 近世	II B3a	R2	09215	26553	0.298	0.282	0.227	28.728	10YR1/1 黒色シルト	
-	PPR030	中世末～ 近世	II B3a	R2	09215	26554	0.368	0.317	0.340	28.628	10YR2/1 黒色砂質シルト地山ブロックを一定量含む、	
-	PPR032	中世末～ 近世	II B3a	R2	09215	26552	0.421a	0.307	0.237	-	-	
-	PPR031	中世末～ 近世	II B3a	R2	09216	26552	0.318	0.270	0.410	28.551	10YR1/1 黒色シルト	
-	PPR032	中世末～ 近世	II B3	R2	09213	26546	0.245	0.240	0.403	28.756	10YR2/1 黒色砂質シルト地山ブロックを一定量含む、 雑多量	
-	PPR033	中世末～ 近世	II B3a	R2	09215	26550	0.250	0.252	0.163	28.833	10YR1/1 黒色砂質シルト雑多量	
-	PPR034	中世末～ 近世	II B3a	R2	09215	26550	0.461	0.383	0.243	28.742	10YR1/1 黒色砂質シルト雑多量	PPR033と並列→新目不明
-	PPR035	中世末～ 近世	II B3	R2	09214	26549	0.460	0.402	0.523	28.548	10YR2/1 黒色砂質シルト地山ブロックを一定量含む、 雑多量	
-	PPR036	中世末～ 近世	II B3a	R2	09208	26551	0.370	0.315	0.586	28.338	10YR2/1 黒色シルト地山ブロックを一定量含む、	柱穴径 13cm
-	PPR037	中世末～ 近世	II B3a	R2	09216	26552	0.293	0.255	0.388	28.562	10YR1/1 黒色シルト	柱穴径 13cm
-	PPR038	中世末～ 近世	II B3	R2	09220	26548	0.406	0.299	0.250	28.709	10YR2/1 黒色砂質シルト地山ブロックを一定量含む、 雑少量	
-	PPR039	中世末～ 近世	II B3	R2	09214	26547	0.338	0.279	0.280	28.789	10YR2/1 黒色シルト地山ブロックを一定量含む、 雑多量	
SDB	PPR040	平安時代 I B3a	R1	09196	26539	0.790	0.432	1.01	20.251	SDB 掘り方か	2x2土師器坪が出土	
-	PPR041	中世末～ 近世	II B3a	R2	09185	26539	0.508	0.430	0.474	28.010	-	
SDBA	PPR042	鎌倉時代 I B3	R1	09219	26549	0.378	0.292	0.627	28.396	10YR2/1 黒色砂質シルト地山ブロックを一定量含む、 雑多量	本館蔵	
-	PPR043	中世末～ 近世	II B3	R2	09214	26548	0.372	0.322	0.246	28.776	10YR2/1 黒色砂質シルト地山ブロックを一定量含む、 雑多量	PPR019と並列→新目不明
-	PPR044	中世末～ 近世	II B3a	R2	09218	26551	0.302	0.282	0.280	28.631	10YR2/1 黒色シルト地山ブロックを一定量含む、	
-	PPR045	中世末～ 近世	II B3	R2	09214	26547	0.330a	0.266	0.129	28.928	10YR1/1 黒色シルト雑多量	PPR035と並列→新目不明
-	PPR046	中世末～ 近世	II B3	R2	09212	26547	0.358	0.273	0.343	28.692	10YR2/1 黒色シルト地山ブロックを一定量含む、 雑多量	
-	PPR047	中世末～ 近世	II B3	R2	09220	26548	0.406	0.342	0.215	28.737	10YR1/1 黒色シルト雑多量	
-	PPR048	中世末～ 近世	II B3a	R2	09216	26553	0.688	0.605	0.479	28.651	10YR2/1 黒色シルト地山ブロックを一定量含む、	表層に板石、PPR049と並列→本遺構が新しい
-	PPR049	中世末～ 近世	II B3a	R2	09216	26553	0.569	0.503	0.553	28.417	10YR1/1 黒色シルト	PPR048と並列→本遺構が古い
-	PPR050	中世末～ 近世	II B3	R2	09212	26548	0.378	0.270	0.490	28.615	10YR1/1 黒色シルト雑多量	
-	PPR051	中世末～ 近世	II B3a	R2	09217	26552	0.575	0.444	0.385	28.500	10YR2/1 黒色シルト地山ブロックを一定量含む、	
-	PPR052	中世末～ 近世	II B3	R2	09218	26548	0.367	0.348	0.219	28.799	10YR1/1 黒色砂質シルト	
-	PPR053	中世末～ 近世	II B3	R2	09249	26548	0.300	0.201	0.162	28.905	10YR2/1 黒色砂質シルト地山ブロックを一定量含む、 雑多量	PPR032と並列→本遺構が古い
SDB1	PPR054	鎌倉時代 I B3	R1	09213	26548	0.439	0.315	0.425	28.677	10YR2/1 黒色シルト地山ブロックを一定量含む、 雑多量	柱穴径 13cm	
-	PPR055	中世末～ 近世	II B3a	R2	09212	26551	0.254	0.249	0.373	28.699	10YR1/1 黒色シルト雑少量	PPR036と並列→新目不明
SDB2	PPR056	鎌倉時代 I B3a	R1	09211	26551	0.539	0.281	0.407	28.565	10YR2/1 黒色シルト地山ブロックを一定量含む、 雑多量	PPR035、357と並列→新目不明	
-	PPR057	中世末～ 近世	II B3a	R2	09211	26552	0.569	0.501	0.500	28.550	10YR2/1 黒色シルト地山ブロックを一定量含む、 雑少量	PPR036と並列→新目不明
SDB3	PPR058	平安時代 I B3a	R1	09218	26552	1.114	0.875	0.626	28.338	10YR1/1 黒色シルト雑少量	PPR030と並列→新目不明	
-	PPR059	中世末～ 近世	II B3	R2	09220	26547	0.207	0.173	0.227	28.780	10YR2/1 黒色シルト地山ブロックを一定量含む、	
SDB4	PPR060	鎌倉時代 I B3a	R1	09220	26553	0.468	0.181	0.298	28.647	-	PPR038と並列→新目不明	
-	PPR061	中世末～ 近世	II B3a	R2	09211	26534	0.356	0.341	0.276	28.906	-	
-	PPR062	中世末～ 近世	I B37a	R2	09184	26534	0.527	0.450	0.245	28.366	-	
-	PPR063	中世末～ 近世	I B37a	R2	09184	26534	0.616	0.554	0.253	28.302	-	
-	PPR064	中世末～ 近世	I B37b	R2	09184	26535	0.464	0.448	0.322	28.305	-	
-	PPR065	中世末～ 近世	I B38a	R2	09185	26538	0.521	0.275	0.280	28.221	-	
-	PPR066	中世末～ 近世	I B38a	R2	09188	26533	0.322	0.277	0.185	28.386	-	
SDB5	PPR067	鎌倉時代 I B37	R1	09184	26528	0.666	0.561	0.471	28.289	-		
-	PPR068	中世末～ 近世	I B38a	R2	09177	26525	0.389	0.302	0.330	28.033	-	
-	PPR069	中世末～ 近世	I B37	R2	09182	26527	0.319	0.286	0.214	28.514	-	
-	PPR070	中世末～ 近世	I B36d	R2	09178	26519	0.203	0.183	0.250	28.638	-	
-	PPR071	中世末～ 近世	I B38a	R2	09188	26523	0.234	0.194	0.144	28.359	-	

路線 種別	柱状 位置	測定時期	アソック	年取	Y 曲率	Y 曲率	最大径	最大径 (mm)	径 (mm)	径 (mm)	土質		備考
											土質	備考	
-	PP1072	中東東一 区画	I 10m	R3	09189	26525	0.66	0.266	0.261	30.184			
SBC19	PP1073	鏡沼時代 区画	II 10m	R3	09218	26548	0.733	0.681	0.684	-			
SBC5	PP1074	鏡沼時代 区画	I 10m	R3	09187	26529	0.643	0.669	0.618	-			II PP105-2
SBC5	PP1075	鏡沼時代 区画	I 10m	R3	09189	26549	0.436	0.606	0.610	-			II SBC55
SBC5	PP1076	鏡沼時代 区画	I 10m	R3	09181	26530	0.713	0.593	-	-			
SBC1	PPC1	平安時代	II 8m	R2	09221	26567	0.887	0.832	0.259	38.701	10YR2/1 黒色シルト 10YR8/8 黄褐色シルトアソックを 構成。方形・抜き取り痕 10YR2/1 黒色シルト 10YR8/8 黄褐色シルトアソックを やや多量。張り方		PPC28 と重複→本遺構が六一
SBC1	PPC2	平安時代	II 15cm	R2	09220	26564	0.895	0.812	0.386	36.685	10YR2/1 黒色シルト 10YR8/8 黄褐色シルトアソックを 構成。抜き取り痕 10YR2/1 黒色 + 10YR8/8 黄褐色シルト (2種の混合上) 10YR2/1 黒色シルトと 10YR8/8 黄褐色シルトとの混合上 10YR8/8 黄褐色シルトアソックの方が多量 (約7%)。張り 方		
SBC22	PPC3	鏡沼時代 区画	II 8m	R2	09221	26566	0.609	0.537	0.183	38.777	10YR2/1 黒色シルト 10YR8/8 黄褐色シルトアソックを 構成。方形少 10YR2/1 黒色 + 10YR8/8 黄褐色シルト (2種の混合上) 10YR2/1 黒色シルトと 10YR8/8 黄褐色シルトとの混合 上。10YR8/8 黄褐色シルトアソックの方が多量 (約6%)		
-	PPC4	中東東一 区画	II 8m	R2	09222	26567	0.291	0.240	0.306	36.525	10YR6/1 褐色シルト 10YR4/1 褐色シルト 1cm以下の砂。10YR8/8 黄褐色 シルトアソックを少量		
-	PPC5	中東東一 区画	II 8m	R2	09222	26568	0.248	0.216	0.319	36.589	10YR4/1 褐色シルト 1-2cmの円礫を少量。張り方 10YR2/1 黒色を少量。柱状径 10cm		
-	PPC6	中東東一 区画	II 8m	R2	09222	26567	0.303	0.246	0.220	36.796	10YR4/1 褐色シルト 1-2cmの円礫を少量		
-	PPC7	中東東一 区画	II 8m	R2	09221	26566	0.274	0.243	0.278	36.678	10YR4/1 褐色シルト 10YR8/8 黄褐色シルトアソックを 少量		
-	PPC8	中東東一 区画	II 8m	R2	09219	26566	0.321	0.306	0.437	38.591	10YR4/1 褐色シルト 1-2cmの円礫を少量。柱状 14cm 10YR4/1 褐色シルト 1cm以下の砂。10YR8/8 黄褐色 シルトアソックを少量		柱状径 14cm
-	PPC9	中東東一 区画	II 8m	R2	09219	26564	0.297	0.273	0.386	36.590	10YR4/1 褐色シルト 1-2cmの円礫を少量。 10YR8/8 黄褐色シルトアソックを少量		
-	PPC10	中東東一 区画	II 8m	R2	09223	26565	0.240	0.163	0.179	38.781	10YR4/1 褐色シルト 1-2cmの円礫を少量		PPC11 と重複→本遺構が新しい
-	PPC11	中東東一 区画	II 8m	R2	09223	26565	0.332	0.253	0.219	36.690	10YR2/1 黒色シルト 10YR8/8 黄褐色シルトアソックを 構成		PPC10 と重複→本遺構が古い
-	PPC12	中東東一 区画	II 8m	R2	09219	26566	0.283	0.142	0.221	38.822	10YR2/1 黒色シルト 10YR8/8 黄褐色シルトアソックを 構成		SBC5 と重複→本遺構が新しい
-	PPC13	中東東一 区画	II 8m	R2	09220	26567	0.426	0.383	0.282	38.716	10YR2/1 黒色シルト 10YR8/8 黄褐色シルトアソックを 構成。張り方・方形少 10YR2/1 黒色シルト 10YR8/8 黄褐色シルトアソックを ごく少量。ほとんど含まない。柱状 径 5cm		
-	PPC14	中東東一 区画	II 8m	R2	09219	26567	0.2253	0.178	0.279	38.733	10YR4/1 褐色シルト 1-2cmの円礫を少量		
-	PPC15	中東東一 区画	II 8m	R2	09220	26565	0.205	0.190	0.326	36.626	10YR4/1 褐色シルト 1-2cmの円礫を少量。柱状径 9cm 10YR2/1 黒色シルト 10YR8/8 黄褐色シルトアソックを 少量		柱状径 9cm
-	PPC16	中東東一 区画	II 8m	R2	09221	26565	0.286	0.259	0.507	38.375	10YR2/1 黒色シルト 10YR8/8 黄褐色シルトアソックを 少量		
-	PPC17	中東東一 区画	II 8m	R2	09220	26563	0.300	0.317	0.420	38.540	10YR4/1 褐色シルト 1-2cmの円礫を少量。 10YR8/8 黄褐色シルトアソックを少量。張り方 10YR4/1 褐色シルト 1cm以下の砂。10YR8/8 黄褐色 シルトアソックを少量。柱状径 9cm		
-	PPC18	中東東一 区画	II 8m	R2	09219	26563	0.336	0.312	0.409	38.551	10YR4/1 褐色シルト 1-2cmの円礫を少量。 10YR8/8 黄褐色シルトアソックを少量。張り方 10YR4/1 褐色シルト 1cm以下の砂。10YR8/8 黄褐色 シルトアソックを少量		16C前 - 17C後。柱状径 9 - 10cm
-	PPC19	中東東一 区画	II 8m	R2	09219	26563	0.325	0.313	0.300	38.627	10YR4/1 褐色シルト 1-2cmの円礫を少量。 10YR8/8 黄褐色シルトアソックを少量		
-	PPC20	中東東一 区画	II 8m	R2	09216	26563	0.292	0.190	0.218	38.808	10YR4/1 褐色シルト 1-2cmの円礫を少量。柱状径 9cm 10YR4/1 褐色シルト 1cm以下の砂。10YR8/8 黄褐色 シルトアソックを少量		
-	PPC21	中東東一 区画	II 8m	R2	09221	26567	0.242	0.217	0.389	38.710	10YR2/1 黒色シルト 10YR8/8 黄褐色シルトアソックを 構成。ほとんど含まない。柱状 径 5cm		SBC5 と重複→本遺構が新しい
-	PPC22	中東東一 区画	II 8m	R2	09225	26563	0.242	0.213	0.308	38.790	10YR4/1 褐色シルト 1-2cmの円礫を少量。張り方 10YR2/1 黒色シルト 10YR8/8 黄褐色シルトアソックを ごく少量。ほとんど含まない。柱状 径 5cm		
-	PPC23	中東東一 区画	II 8m	R2	09218	26564	0.261	0.241	0.153	38.819	10YR4/1 褐色シルト 1-2cmの円礫を少量		PPC21 と重複→本遺構が新しい
-	PPC24	中東東一 区画	II 8m	R2	09218	26564	0.266	0.207	0.119	38.872	10YR2/1 黒色シルト 10YR8/8 黄褐色シルトアソックを 構成		
-	PPC25	中東東一 区画	II 8m	R2	09214	26561	0.358	0.325	0.319	38.629	10YR4/1 褐色シルト 1-2cmの円礫を少量。柱状径 9cm 10YR4/1 褐色シルト 1-2cmの円礫を少量。 10YR8/8 黄褐色シルトアソックを少量。張り方		柱状径 9cm
-	PPC26	中東東一 区画	II 8m	R2	09220	26565	0.220	0.213	0.459	38.529	10YR4/1 褐色シルト 1-2cmの円礫を少量		
SBC25	PPC27	鏡沼時代 区画	II 8m	R2	09223	26564	0.409	0.380	0.550	38.386	10YR2/1 黒色シルト 10YR8/8 黄褐色シルトアソックを やや多量。方形少		
-	PPC28	中東東一 区画	II 8m	R2	09220	26567	0.289	0.257	0.376	38.588	10YR2/1 黒色シルト 10YR8/8 黄褐色シルトアソックを 構成		PPC1 と重複→本遺構が古い
SBC22	PPC29	鏡沼時代 区画	II 8m	R2	09223	26566	0.585	0.528	0.256	38.633	10YR2/1 黒色シルト 10YR8/8 黄褐色シルトアソックを 構成。柱状 20cm 10YR2/1 黒色シルト 10YR8/8 黄褐色シルトアソックを やや多量。張り方		柱状径 20cm
-	PPC30	中東東一 区画	II 8m	R2	09215	26562	0.384	0.352	0.428	38.558	10YR4/1 褐色シルト 1-2cmの円礫を少量		
-	PPC31	中東東一 区画	II 8m	R2	09214	26562	0.703	0.636	0.645	38.379	10YR4/1 褐色シルト 1cm以下の砂。10YR8/8 黄褐色 シルトアソックを少量		PPC28 と重複→新旧不明
-	PPC32	中東東一 区画	II 8m	R2	09223	26567	0.360	0.278	0.314	38.607	10YR4/1 褐色シルト 1cm以下の砂。10YR8/8 黄褐色 シルトアソックを少量		

2 検出遺構

検出 層	柱状 番号	検定時期	アリア	年代 [cal BP]	厚さ [cm]	Y座標	最大径 [cm]	最大厚 [cm]	検出 層深 [cm]	検出 層厚 [cm]	土層	備考
-	PPC33	中世末→ 近世	II B3m	9222	2053	0.31	0.329	0.541	38.388	10YR6/1 褐色色シルト層1cm以下の砂, 10YR8/8 黄褐色シルトアロクを少量 柱状		
-	PPC34	中世末→ 近世	II B3m	9215	2050	0.520	0.362	0.287	36.675	10YR6/1 褐色色シルト層1-2cmの内層少量, 10YR8/8 黄褐色シルトアロクを少量 順り方		
-	PPC35	中世末→ 近世	II B5m	9215	2056	0.320	0.299	0.411	38.485	10YR6/1 褐色色シルト層1-2cmの内層少量	PPC32と重複→本遺構が新しい	
-	PPC36	中世末→ 近世	II B3m	9214	2052	0.369	0.331	0.423	35.572	10YR6/1 褐色色シルト層1cm以下の砂, 10YR8/8 黄褐色シルトアロクを少量 柱状	USC 後 - 17C 前	
-	PPC37	中世末→ 近世	II B3m	9212	2056	0.374	0.339	0.659	38.242	10YR6/1 褐色色シルト層1-2cmの内層少量, 10YR8/8 黄褐色シルトアロクを少量	PPC35と重複→本遺構が古い	
SBC10	PPC38	縄目時代 末	II B3	9214	2059	0.630	0.484	0.545	38.478	10YR6/1 褐色色シルト層1cm以下の砂, 10YR8/8 黄褐色シルトアロクを少量	PPC117と同じ	
	PPC39	中世末→ 近世	II B6m	9225	2054	0.288	0.227	0.277	36.640	10YR2/1 灰色シルト 10YR8/8 黄褐色シルトアロクを少量	PPC40と重複→本遺構が古い	
-	PPC40	中世末→ 近世	II B6m	9226	2054	0.351	0.316	0.328	35.578	10YR2/1 灰色シルト 10YR8/8 黄褐色シルトアロクを少量 柱状 柱状 10YR2/1 灰色シルト 10YR8/8 黄褐色シルトアロクを少量 順り方	PPC39と重複→本遺構が新しい	
-	PPC41	中世末→ 近世	II B6m	9225	2054	0.361	0.382	0.460	38.460	10YR6/1 褐色色シルト層1cm以下の砂, 10YR8/8 黄褐色シルトアロクを少量		
-	PPC42	中世末→ 近世	II B3m	9224	2056	0.237	0.211	0.148	38.784	10YR6/1 褐色色シルト層1-2cmの内層少量		
-	PPC43	中世末→ 近世	II B3m	9221	2053	0.230	0.243	0.552	38.384	10YR6/1 褐色色シルト層1-2cmの内層少量		
-	PPC44	中世末→ 近世	II B3m	9215	2052	0.339	0.289	0.374	36.627	10YR6/1 褐色色シルト層1-2cmの内層少量 柱状 10YR6/1 褐色色シルト層1cm以下の砂, 10YR8/8 黄褐色シルトアロクを少量 順り方		
-	PPC45	中世末→ 近世	II B3m	9216	2053	0.279	0.189	0.305	36.605	10YR6/1 褐色色シルト層1cm以下の砂, 10YR8/8 黄褐色シルトアロクを少量		
-	PPC46	中世末→ 近世	II B4m	9215	2050	0.555	0.355	0.485	38.541	10YR2/1 灰色シルト 10YR8/8 黄褐色シルトアロクを少量		
-	PPC47	中世末→ 近世	II B4m	9217	2054	0.221	0.206	0.247	38.754	10YR6/1 褐色色シルト層1-2cmの内層少量		
-	PPC48	中世末→ 近世	II B4m	9218	2055	0.264	0.136	0.213	38.634	10YR6/1 褐色色シルト層1-2cmの内層少量		
-	PPC49	中世末→ 近世	II B4m	9218	2055	0.001	0.368	0.455	35.563	10YR2/1 灰色シルト 10YR8/8 黄褐色シルトアロクを少量		
-	PPC50	中世末→ 近世	II B4m	9216	2051	0.546	0.409	0.320	38.694	10YR6/1 褐色色シルト層1cm以下の砂, 10YR8/8 黄褐色シルトアロクを少量	PPC51 - 137と重複→本遺構が新しい	
-	PPC51	中世末→ 近世	II B4m	9216	2051	0.454	0.373	0.333	36.608	10YR6/1 褐色色シルト層1-2cmの内層少量, 10YR8/8 黄褐色シルトアロクを少量	PPC50と重複→本遺構が古い	
-	PPC53	中世末→ 近世	II B5m	9223	2054	0.332	0.242	0.242	38.719	10YR2/1 灰色シルト 10YR8/8 黄褐色シルトアロクを少量		
-	PPC54	中世末→ 近世	II B4m	9217	2051	0.376	0.315	0.214	36.600	10YR2/1 灰色シルト 10YR8/8 黄褐色シルトアロクを少量		
-	PPC55	中世末→ 近世	II B5m	9229	2050	0.281	0.206	0.211	38.784	10YR6/1 褐色色シルト層1-2cmの内層少量		
-	PPC56	中世末→ 近世	II B6m	9225	2053	0.382	0.382	0.417	38.474	10YR6/1 褐色色シルト層1-2cmの内層少量 柱状 10YR6/1 褐色色シルト層1cm以下の砂, 10YR8/8 黄褐色シルトアロクを少量 順り方	PPC32と重複→新旧不明	
-	PPC57	中世末→ 近世	II B6m	9225	2055	0.292	0.286	0.380	38.543	10YR6/1 褐色色シルト層1-2cmの内層少量	PPC56と重複→新旧不明	
-	PPC58	中世末→ 近世	II B3m	9218	2050	0.303	0.291	0.239	38.729	10YR6/1 褐色色シルト層1-2cmの内層少量		
-	PPC59	中世末→ 近世	II B3m	9219	2050	0.298	0.288	0.427	38.525	10YR6/1 褐色色シルト層1-2cmの内層少量		
-	PPC60	中世末→ 近世	II B4m	9218	2052	0.467	0.564	0.247	38.827	10YR2/1 灰色シルト 10YR8/8 黄褐色シルトアロクを少量	SBC3と重複→本遺構が新しい, PPC62と重複→本遺構が古い	
-	PPC61	中世末→ 近世	II B4m	9219	2052	0.398	0.323	0.417	38.586	10YR2/1 灰色シルト 10YR8/8 黄褐色シルトアロクを少量 柱状 10YR2/1 灰色シルト 10YR8/8 黄褐色シルトアロクを少量 順り方	柱状群 11cm, PPC67 - S2と重複→本遺構が新しい	
-	PPC62	中世末→ 近世	II B4m	9218	2054	0.291	0.211	0.385	38.660	10YR6/1 褐色色シルト層1-2cmの内層少量	PPC60と重複→本遺構が古い	
-	PPC63	中世末→ 近世	II B3m	9217	2051	0.302	0.244	0.158	38.746	10YR6/1 褐色色シルト層1-2cmの内層少量	PPC64と重複→本遺構が古い	
-	PPC64	中世末→ 近世	II B3m	9217	2051	0.304	0.232	0.221	38.729	10YR6/1 褐色色シルト層1cm以下の砂, 10YR8/8 黄褐色シルトアロクを少量	PPC63と重複→本遺構が新しい	
-	PPC65	中世末→ 近世	II B3m	9216	2053	0.327	0.305	0.399	38.691	10YR6/1 褐色色シルト層1-2cmの内層少量, 10YR8/8 黄褐色シルトアロクを少量		
-	PPC66	中世末→ 近世	II B3m	9219	2055	0.264	0.301	0.317	38.786	シルト 10YR2/1 灰色シルトアロクを少量, 10YR8/8 黄褐色シルトアロクを少量		
-	PPC67	中世末→ 近世	II B3m	9219	2052	0.321	0.353	0.303	36.619	10YR6/1 褐色色シルト層1-2cmの内層少量 OH と繋がった	PPC61と重複→本遺構が古い	
-	PPC68	中世末→ 近世	II B3m	9219	2054	0.171	0.152	0.289	38.674	10YR6/1 褐色色シルト層1-2cmの内層少量		
-	PPC69	中世末→ 近世	II B3m	9219	2054	0.233	0.224	0.143	38.653	10YR2/1 灰色シルト 10YR8/8 黄褐色シルトアロクを少量		
-	PPC70	中世末→ 近世	II B3m	9216	2053	0.249	0.193	0.213	38.817	10YR2/1 灰色シルト 10YR8/8 黄褐色シルトアロクを少量 柱状 柱状 10YR2/1 灰色シルト 10YR8/8 黄褐色シルトアロクを少量 順り方		
-	PPC71	中世末→ 近世	II B3m	9215	2050	0.338	0.257	0.483	38.651	10YR2/1 灰色シルト 10YR8/8 黄褐色シルトアロクを少量		
-	PPC72	中世末→ 近世	II B4m	9216	2051	0.317	0.284	0.196	38.759	10YR6/1 褐色色シルト層1-2cmの内層少量		
SBC1	PPC73	平安時代 末	II B3m	9222	2058	0.945	0.625	0.293	38.633	10YR2/1 灰色シルト 10YR8/8 黄褐色シルトアロクを少量 柱状 柱状 10YR2/1 灰色シルト 10YR8/8 黄褐色シルトアロクを少量 順り方		
	PPC74	中世末→ 近世	II B3m	9219	2050	0.356	0.241	0.333	38.704	10YR6/1 褐色色シルト層1-2cmの内層少量	PPC75と重複→本遺構が新しい	
SBC14	PPC75	縄目時代 末	II B3m	9218	2050	0.607	0.603	0.719	38.659	10YR6/1 褐色色シルト層1cm以下の砂, 10YR8/8 黄褐色シルトアロクを少量	PPC74 - 76と重複→本遺構が古い	
	PPC76	中世末→ 近世	II B3m	9219	2051	0.283	0.254	0.283	38.676	10YR2/1 灰色シルト 10YR8/8 黄褐色シルトアロクを少量	PPC75と重複→本遺構が新しい	

協議 種別	社名	経理 担当者	アリア	年取 交換	Y交換	最大 収入	最大 損失	貸付 利率 (%)	保証 期間 (月)	土庫	備考
SBC1	PPC77	平塚伸也	II B5m	II 9/22	20564	1,014	0,714	0.250	36,694	10YR4/1 耐火性シロト押1cm以下の砂。10YR8-N黄褐色シロトアロックス少量	SKC1が1J、SKC1-PPC78と並列→本建物が新しい、PPC216と並列→本建物が古い
SBC1	PPC78	平塚伸也	II B5m	II 9/22	20564	1,030	0,696	0.250	36,694	10YR2/1 黒色シロト 10YR8-N黄褐色シロトアロックス少量 10YR8-N黄褐色シロトアロックス少量 粗粒 10mm	PPC78と並列→本建物が新しい、PPC209-226と並列→本建物が古い、PPC222と並列→新築不明
SBC22	PPC79	鶴岡時代 家	II B5m	II 9/22	20564	0,567	0,458	0.337	35,584	10YR2/1 黒色シロト 10YR8-N黄褐色シロトアロックス少量	PPC77と並列→本建物が新しい、PPC330と並列→新築不明
-	PPC80	中東東一 直隆	II B5m	II 9/21	20559	0,372	0,311	0.415	36,006	10YR4/1 耐火性シロト押1-2cmの間隙少量	
-	PPC81	中東東一 直隆	II B5m	II 9/20	20563	0,402	0,328	0.549	34,414	10YR4/1 耐火性シロト押1-2cmの間隙少量 粗粒 10mm 10YR4/1 耐火性シロト押1-2cmの間隙少量 粗粒 10mm 10YR4/1 耐火性シロト押1-2cmの間隙少量 粗粒 10mm	SDC3と並列→本建物が新しい
-	PPC82-1	中東東一 直隆	II B5m	II 9/20	20561	0,341	0,243	0.270	36,746	10YR2/1 黒色シロト 10YR8-N黄褐色シロトアロックス少量	
-	PPC82-2	中東東一 直隆	II B5m	II 9/20	20562	0,358	0,295	0.240	-		
SBC1	PPC83	平塚伸也	II B5m	II 9/20	20562	0,937	0,860	0.370	36,716	10YR2/1 黒色シロト 10YR8-N黄褐色シロトアロックス少量	PPC154と並列→本建物が古い、PPC300と並列→本建物が新しい
-	PPC84	中東東一 直隆	II B5m	II 9/21	20561	0,260	0,198	0.328	36,640	10YR4/1 耐火性シロト押1-2cmの間隙少量	PPC85と並列→本建物が古い
-	PPC85	中東東一 直隆	II B5m	II 9/21	20561	0,306	0,287	0.341	36,043	10YR4/1 耐火性シロト押1-2cmの間隙少量 粗粒 10mm 10YR4/1 耐火性シロト押1-2cmの間隙少量 10YR8-N黄褐色シロトアロックス少量 粗粒 10mm	柱状径 10cm、PPC84と並列→本建物が新しい
-	PPC86	中東東一 直隆	II B5m	II 9/22	20561	0,333	0,263	0.341	36,503	10YR4/1 耐火性シロト押1-2cmの間隙少量 粗粒 10mm 10YR4/1 耐火性シロト押1cm以下の砂。10YR8-N黄褐色シロトアロックス少量 粗粒 10mm	
-	PPC87	中東東一 直隆	II B4m	II 9/21	20561	0,228	0,208	0.308	36,619	10YR2/1 黒色シロト 10YR8-N黄褐色シロトアロックス少量	
-	PPC88	中東東一 直隆	II B4m	II 9/21	20562	0,489	0,354	0.298	36,633	10YR4/1 耐火性シロト押1cm以下の砂。10YR8-N黄褐色シロトアロックス少量	PPC89と並列→本建物が古い
-	PPC89	中東東一 直隆	II B4m	II 9/21	20562	0,294	0,225	0.152	36,841	10YR4/1 耐火性シロト押1-2cmの間隙少量 10YR8-N黄褐色シロトアロックス少量	PPC88と並列→本建物が古い
-	PPC90	中東東一 直隆	II B4f	II 9/21	20528	0,057	0,037	0.300	36,701	10YR4/1 耐火性シロト押1-2cmの間隙少量 方形小	
-	PPC91	中東東一 直隆	II B4f	II 9/21	20536	0,408	0,362	0.249	36,726	10YR4/1 耐火性シロト押1-2cmの間隙少量	
-	PPC92	中東東一 直隆	II B4f	II 9/21	20537	0,340	0,315	0.256	36,664	10YR4/1 耐火性シロト押1-2cmの間隙少量	
-	PPC93	中東東一 直隆	II B2f	II 9/20	20559	0,227	0,204	0.251	36,602	10YR2/1 黒色シロト 10YR8-N黄褐色シロトアロックス少量	
-	PPC94	中東東一 直隆	II B4m	II 9/21	20560	0,415	0,371	0.411	36,570	10YR4/1 耐火性シロト押1cm以下の砂。10YR8-N黄褐色シロトアロックス少量	PPC95と並列→新築不明
-	PPC95	中東東一 直隆	II B4m	II 9/21	20560	0,333	0,246	0.318	36,721	10YR4/1 耐火性シロト押1-2cmの間隙少量	PPC94と並列→新築不明
-	PPC96	中東東一 直隆	II B4f	II 9/21	20559	0,286	0,273	0.389	36,578	10YR4/1 耐火性シロト押1cm以下の砂。10YR8-N黄褐色シロトアロックス少量	
-	PPC97	中東東一 直隆	II B2f	II 9/22	20560	0,413	0,258	0.260	36,787	10YR2/1 黒色シロト 10YR8-N黄褐色シロトアロックス少量 ご(腐葉、はとんどを含む)	
-	PPC98	中東東一 直隆	II B4f	II 9/21	20558	0,339	0,260	0.277	36,726	10YR2/1 黒色シロト 10YR8-N黄褐色シロトアロックス少量 10YR8-N黄褐色シロトアロックス少量	PPC39と並列→新築不明
SBC14	PPC99	鶴岡時代 家	II B4f	II 9/21	20559	0,335	0,263	0.286	36,770	10YR4/1 耐火性シロト押1cm以下の砂。10YR8-N黄褐色シロトアロックス少量	PPC30と並列→新築不明
-	PPC100	中東東一 直隆	II B4f	II 9/21	20558	0,324	0,223	0.298	36,708	10YR2/1 黒色シロト 10YR8-N黄褐色シロトアロックス少量	
-	PPC101	中東東一 直隆	II B4m	II 9/21	20563	0,284	0,225	0.255	36,668	10YR2/1 黒色シロト 10YR8-N黄褐色シロトアロックス少量 ご(腐葉、はとんどを含む)	PPC302と並列→本建物が新しい
-	PPC102	中東東一 直隆	II B4m	II 9/21	20558	0,489	0,431	0.296	36,726	10YR2/1 黒色シロト 10YR8-N黄褐色シロトアロックス少量	PPC101と並列→本建物が古い
SBC10	PPC103	鶴岡時代 家	II B4m	II 9/21	20561	0,606	0,572	0.575	36,459	10YR4/1 耐火性シロト押1-2cmの間隙少量 粗粒 25mm 10YR4/1 耐火性シロト押1cm以下の砂。10YR8-N黄褐色シロトアロックス少量	柱状径 25cm
-	PPC104	中東東一 直隆	II B3f	II 9/21	20559	0,543	0,437	0.169	36,860	10YR2/1 黒色シロト 10YR8-N黄褐色シロトアロックス少量	
-	PPC105	中東東一 直隆	II B4f	II 9/21	20558	0,251	0,201	0.240	-		
-	PPC106	中東東一 直隆	II B4f	II 9/21	20559	0,263	0,225	0.401	36,566	10YR2/1 黒色シロト 10YR8-N黄褐色シロトアロックス少量	
-	PPC107	中東東一 直隆	II B5m	II 9/22	20560	0,266	0,239	0.170	36,780	10YR4/1 耐火性シロト押1-2cmの間隙少量	PPC108と並列→本建物が古い
-	PPC108	中東東一 直隆	II B5m	II 9/22	20560	0,383	0,311	0.556	36,382	10YR4/1 耐火性シロト押1-2cmの間隙少量 10YR8-N黄褐色シロトアロックス少量 粗粒 10mm 10YR4/1 耐火性シロト押1-2cmの間隙少量 粗粒 10mm	柱状径 10cm、PPC107と並列→本建物が新しい
-	PPC109	中東東一 直隆	II B4m	II 9/21	20560	0,432	0,414	0.241	36,714	10YR4/1 耐火性シロト押1cm以下の砂。10YR8-N黄褐色シロトアロックス少量	
-	PPC110	中東東一 直隆	II B3f	II 9/21	20561	0,261	0,248	0.143	36,815	10YR2/1 黒色シロト 10YR8-N黄褐色シロトアロックス少量	
-	PPC111	中東東一 直隆	II B3f	II 9/20	20559	0,276	0,271	0.371	36,591	10YR2/1 黒色シロト 10YR8-N黄褐色シロトアロックス少量	
-	PPC112	中東東一 直隆	II B4f	II 9/21	20557	0,354	0,288	0.214	36,704	10YR4/1 耐火性シロト押1-2cmの間隙少量	SDC3と並列→本建物が古い
-	PPC113	中東東一 直隆	II B4f	II 9/21	20559	0,272	0,227	0.469	36,551	10YR2/1 黒色シロト 10YR8-N黄褐色シロトアロックス少量	
-	PPC114	中東東一 直隆	II B4f	II 9/21	20557	0,284	0,186	0.234	36,753	10YR2/1 黒色シロト 10YR8-N黄褐色シロトアロックス少量	
-	PPC115	中東東一 直隆	II B3f	II 9/20	20551	0,330	0,286	0.455	36,500	10YR2/1 黒色シロト 10YR8-N黄褐色シロトアロックス少量 粗粒 10mm 10YR2/1 黒色シロト 10YR8-N黄褐色シロトアロックス少量 粗粒 10mm	柱状径 10cm
SBC14	PPC116	鶴岡時代 家	II B4f	II 9/21	20566	0,467	0,465	0.275	36,745	10YR4/1 耐火性シロト押1-2cmの間隙少量 10YR8-N黄褐色シロトアロックス少量	PPC117と並列→本建物が古い
SBC10	PPC117	鶴岡時代 家	II B4f	II 9/21	20559	0,377	0,244	0.306	36,703	10YR4/1 耐火性シロト押1-2cmの間隙少量	PPC38と同じ、PPC116と並列→本建物が新しい
SBC13	PPC118	鶴岡時代 家	II B4f	II 9/21	20556	0,638	0,448	0.578	36,381	10YR4/1 耐火性シロト押1cm以下の砂。10YR8-N黄褐色シロトアロックス少量 10YR4/1 耐火性シロト押1cm以下の砂。10YR8-N黄褐色シロトアロックス少量	
-	PPC120	中東東一 直隆	II B4f	II 9/21	20559	0,386	0,360	0.401	36,549	10YR4/1 耐火性シロト押1cm以下の砂。10YR8-N黄褐色シロトアロックス少量	
-	PPC121	中東東一 直隆	II B4f	II 9/21	20557	0,306	0,184	0.331	36,642	10YR2/1 黒色シロト 10YR8-N黄褐色シロトアロックス少量	PPC122と並列→本建物が新しい

2 検出遺構

検出 層位	柱状 番号	検定時期	アソシエ ーション	年代 YBP	土器 YBP	最大径 mm	最大厚 mm	検出 層位 No.	位置 No.	土器	備考
SBC13	PPC122	縄文時代 前期	II B0a	90217	2037	0.50	0.20	30.840	10YR4/1 褐色色シト1-2m以下の砂, 10YR8-N黄褐色シトブロックを少量	PPC121と並発→本遺構が古い	
	PPC123	中世末- 近世	II B0a	90221	20560	0.281	0.248	0.252	30.723	10YR4/1 褐色色シト1-2mの円筒少量	PPC121と並発→本遺構が新しい
	PPC124	中世末- 近世	II B0a	90222	20560	0.11910	0.162	0.307	30.620	10YR2/1 褐色色シト1-2mの円筒少量	PPC122と並発→本遺構が古い
	PPC125	中世末- 近世	II B0a	90219	20359	0.370	0.302	0.319	30.631	10YR4/1 褐色色シト1-2mの円筒少量	
	PPC126	中世末- 近世	II B0a	90221	20359	0.364	0.320	0.302	30.611	10YR4/1 褐色色シト1-2mの円筒少量	
	PPC127	中世末- 近世	II B0a	90217	20360	0.225	0.249	0.289	30.698	10YR4/1 褐色色シト1-2mの円筒少量	
	PPC128	中世末- 近世	II B0a	90219	20358	0.427	0.340	0.339	30.649	10YR4/1 褐色色シト1-2m以下の砂, 10YR8-N黄褐色シトブロックを少量	
	PPC129	中世末- 近世	II B0a	90217	20561	0.306	0.1750	0.510	30.465	10YR4/1 褐色色シト1-2mの円筒少量	
	PPC130	中世末- 近世	II B0a	90219	20361	0.348	0.342	0.411	30.522	10YR4/1 褐色色シト1-2mの円筒少量	溝と並発→本遺構が新しい
	PPC131	中世末- 近世	II B0a	90219	20358	0.273	0.214	0.231	30.645	10YR4/1 褐色色シト1-2mの円筒少量, 10YR8-N黄褐色シトブロックを少量	PPC132と並発→本遺構が新しい
	PPC132	中世末- 近世	II B0a	90219	20358	0.290	0.213	0.280	30.638	10YR4/1 褐色色シト1-2mの円筒少量	PPC131と並発→本遺構が古い
	PPC133	中世末- 近世	II B0a	90219	20351	0.467	0.423	0.412	30.545	10YR2/1 褐色色シト 10YR8-N黄褐色シトブロックを少量	
PPC134	中世末- 近世	II B0a	90217	20561	0.318	0.257	0.430	30.499	10YR4/1 褐色色シト1-2mの円筒少量, 10YR8-N黄褐色シトブロックを少量, 裏り方 10YR4/1 褐色色シト1-2mの円筒少量, 柱状柱石あり		
PPC135	中世末- 近世	II B0a	90218	20361	0.259	0.214	0.190	30.791	10YR2/1 褐色色シト 10YR8-N黄褐色シトブロックを少量		
PPC136	中世末- 近世	II B0a	90219	20351	0.235	0.212	0.580	30.300	10YR4/1 褐色色シト1-2mの円筒少量		
SBC14	PPC137	縄文時代 前期	II B0a	90216	20361	0.469	0.372	0.535	30.481	10YR4/1 褐色色シト1-2m以下の砂, 10YR8-N黄褐色シトブロックを少量	PPC30と並発→本遺構が古い
SBC14	PPC138	縄文時代 前期	II B0a	90218	20358	0.539	0.307	0.410	30.619	10YR4/1 褐色色シト1-2m以下の砂, 10YR8-N黄褐色シトブロックを少量	SDC3と並発→本遺構が古い
	PPC139	中世末- 近世	II B0a	90221	20360	0.468	0.332	0.3	30.693	10YR4/1 褐色色シト1-2mの円筒少量, 10YR8-N黄褐色シトブロックを少量	PPC140と並発→本遺構が古い
SBC14	PPC140	縄文時代 前期	II B0a	90221	20360	0.499	0.386	0.588	30.357	10YR4/1 褐色色シト1-2m以下の砂, 10YR8-N黄褐色シトブロックを少量	PPC139と並発→本遺構が新しい
	PPC141	中世末- 近世	II B0a	90219	20350	0.238	0.214	0.190	30.759	10YR2/1 褐色色シト 10YR8-N黄褐色シトブロックを少量	
	PPC142	中世末- 近世	II B0a	90216	20356	0.563	0.406	0.380	30.553	10YR4/1 褐色色シト1-2mの円筒少量, 10YR8-N黄褐色シトブロックを少量, 裏り方 10YR4/1 褐色色シト1-2mの円筒少量, 柱状 10cm	PPC143と並発→本遺構が新しい
	PPC143	中世末- 近世	II B0a	90216	20356	0.343	0.288	0.261	30.748	10YR4/1 褐色色シト1-2m以下の砂, 10YR8-N黄褐色シトブロックを少量	PPC142と並発→本遺構が古い
	PPC144	中世末- 近世	II B0a	90217	20360	0.434	0.300	0.307	30.500	10YR4/1 褐色色シト1-2mの円筒少量, 柱状, 10YR4/1 褐色色シト1-2mの円筒少量, 10YR8-N黄褐色シトブロックを少量	PPC145と並発→本遺構が新しい
	PPC145	中世末- 近世	II B0a	90217	20360	0.381	0.377	0.479	30.480	10YR4/1 褐色色シト1-2mの円筒少量, 10YR8-N黄褐色シトブロックを少量	PPC144・146と並発→144より古く、146より新しい
	PPC146	中世末- 近世	II B0a	90217	20360	0.325	0.130	0.408	30.484	10YR4/1 褐色色シト1-2mの円筒少量	PPC145と並発→本遺構が古い
	PPC147	中世末- 近世	II B0a	90215	20357	0.228	0.210	0.282	30.728	10YR2/1 褐色色シト 10YR8-N黄褐色シトブロックを少量	
	PPC148	中世末- 近世	II B0a	90220	20354	0.327	0.260	0.587	30.542	10YR2/1 褐色色シト 10YR8-N黄褐色シトブロックを少量	PPC149と並発→新旧不明
	PPC149	中世末- 近世	II B0a	90217	20353	0.437	0.406	0.376	30.561	10YR2/1 褐色色シト 10YR8-N黄褐色シトブロックを少量	
	PPC150	中世末- 近世	II B0a	90217	20361	0.256	0.226	0.190	30.628	10YR2/1 褐色色シト 10YR8-N黄褐色シトブロックを少量	
	PPC151	中世末- 近世	II B0a	90218	20355	0.262	0.240	0.160	30.767	10YR4/1 褐色色シト1-2mの円筒少量	
PPC152	中世末- 近世	II B0a	90218	20355	0.223	0.195	0.308	30.607	10YR4/1 褐色色シト1-2mの円筒少量		
PPC153	中世末- 近世	II B0a	90217	20354	0.311	0.200	0.144	30.796	10YR4/1 褐色色シト1-2mの円筒少量		
PPC154	中世末- 近世	II B0a	90219	20362	0.461	0.433	0.506	30.472	10YR4/1 褐色色シト1-2mの円筒少量		
PPC155	中世末- 近世	II B0a	90220	20353	0.278	0.257	0.361	30.584	10YR2/1 褐色色シト 10YR8-N黄褐色シトブロックを少量		
PPC156	中世末- 近世	II B0a	90218	20356	0.278	0.261	0.286	30.652	10YR4/1 褐色色シト1-2mの円筒少量		
PPC157	中世末- 近世	II B0a	90218	20355	0.332	0.241	0.206	30.803	10YR4/1 褐色色シト1-2mの円筒少量		
PPC158	中世末- 近世	II B0a	90221	20360	0.473	0.306	0.556	30.494	10YR2/1 褐色色シト 10YR8-N黄褐色シトブロックを少量		
PPC159	中世末- 近世	II B0a	90221	20363	0.372	0.352	0.283	30.600	10YR4/1 褐色色シト1-2mの円筒少量, 10YR8-N黄褐色シトブロックを少量		
PPC160	中世末- 近世	II B0a	90221	20364	0.216	0.187	0.157	30.780	10YR2/1 褐色色シト 10YR8-N黄褐色シトブロックを少量		
PPC161	中世末- 近世	II B0a	90217	20362	0.627	0.516	0.361	30.579	10YR4/1 褐色色シト1-2mの円筒少量, 10YR8-N黄褐色シトブロックを少量	PPC162と並発→本遺構が新しい	
SBC22	PPC162	縄文時代 前期	II B0a	90218	20362	0.497	0.328	0.318	30.651	10YR4/1 褐色色シト1-2mの円筒少量, 10YR8-N黄褐色シトブロックを少量	PPC161・163と並発→本遺構が古い
SBC1	PPC163	平安時代	II B0a	90228	20362	0.873	0.658	0.319	30.633	10YR2/1 褐色色シト 10YR8-N黄褐色シトブロックを少量	PPC162と並発→本遺構が新しい
PPC164	中世末- 近世	II B0a	90225	20365	0.163	0.203	0.391	30.502	10YR2/1 褐色色シト 10YR8-N黄褐色シトブロックを少量		
PPC165	中世末- 近世	II B0a	90218	20353	0.283	0.262	0.411	30.502	10YR2/1 褐色色シト 10YR8-N黄褐色シトブロックを少量, ほとんどが青まない, 柱状 10cm	柱状柱石 10cm	
PPC166	中世末- 近世	II B0a	90221	20356	0.268	0.215	0.340	30.512	10YR4/1 褐色色シト1-2mの円筒少量	SDC3と並発→本遺構が新しい	
SBC26	PPC168	縄文時代 前期	II B0a	90225	20365	0.413	0.300	0.394	-	-	
PPC169	中世末- 近世	II B0a	90225	20365	0.242	0.212	0.221	30.666	10YR2/1 褐色色シト 10YR8-N黄褐色シトブロックを少量		

協議 種別	社名	経理 担当者	アリア	年収 5月	Y 5月	最大 5月	最大 7月	平均 5月	風速 5月	土壌	備考
-	PPC179	中東東へ 投資	II B0	92221	26506	0.20	0.30	0.23	38.589	10YR4/1 褐色色シト 1-2mの円筒少量	SDC3と直後→本建機が新しい
SRD13	PPC171	親御時代 東	II B0	92221	26555	0.60	0.65	0.500	38.381	10YR2/1 黒色シト 10YR8-N黄褐色シトアブロックを 塊盤 鉄多取りか 10YR4/1 褐色色シト 1-2mの円筒少量 柱状 10YR2/1 黒色シト 10YR8-N黄褐色シトアブロック を中量 照り方	
	PPC172	宇安時代 東	II B0	92216	26555	0.679	0.506	0.245	38.599	10YR4/1 褐色色シト 1cm以下の砂、10YR8-N黄褐色 シトアブロック少量	
-	PPC173	中東東へ 投資	II B0	92216	26554	0.338	0.291	0.147	38.678	10YR2/1 黒色シト 10YR8-N黄褐色シトアブロック を少量 柱状と土と混ぜない	6月土、PPC174と直後→本建機が古い
-	PPC174	中東東へ 投資	II B0	92217	26554	0.325	0.303	0.481	38.627	10YR2/1 黒色シト 10YR8-N黄褐色シトアブロックを 塊盤	PPC173と直後→本建機が新しい
-	PPC175	中東東へ 投資	II B0	92220	26555	0.297	0.361	0.111	38.548	10YR2/1 黒色シト 10YR8-N黄褐色シトアブロックを 中量	
SRD14	PPC176	親御時代 東	II B0	92220	26557	0.519	0.340	0.576	38.387	10YR4/1 褐色色シト 1-2mの円筒少量、 10YR2/1 黒色シトアブロック少量	SDC3と直後→新引明、PPC177と直後→本建機 が新しい
	PPC177	中東東へ 投資	II B0	92221	26557	0.480	0.128	0.623	38.341	10YR4/1 褐色色シト 1cm以下の砂、10YR8-N黄褐色 シトアブロック少量	PPC176・178と直後→本建機が古い
-	PPC178	中東東へ 投資	II B0	92221	26558	0.256	0.248	0.111	38.777	10YR4/1 褐色色シト 1-2mの円筒少量	PPC177と直後→本建機が新しい
-	PPC179	中東東へ 投資	II B0	92181	26560	0.203	0.251	0.303	38.646	10YR4/1 褐色色シト 1cm以下の砂、10YR8-N黄褐色 シトアブロック少量	湧き溜りに隣接、SDC3と直後→本建機が古い
-	PPC180	中東東へ 投資	II B0	92221	26553	0.319	0.312	0.381	38.474	10YR4/1 褐色色シト 1-2mの円筒少量	SDC1・PPC181と直後→本建機が古い
-	PPC181	中東東へ 投資	II B0	92221	26553	0.142	0.149	0.457	38.392	10YR4/1 褐色色シト 1-2mの円筒少量、 10YR8-N黄褐色シトアブロック少量	PPC180と直後→本建機が新しい
-	PPC182	中東東へ 投資	II B0	92222	26555	0.431	0.309	0.531	38.381	10YR2/1 黒色シト 10YR8-N黄褐色シトアブロックを 塊盤 鉄多取りか 10YR2/1 黒色シト 10YR8-N黄褐色シトアブロックを 中量 照り方	PPC183と直後→本建機が古い
-	PPC183	中東東へ 投資	II B0	92222	26555	0.265	0.190	0.362	38.543	10YR4/1 褐色色シト 1-2mの円筒少量	PPC182と直後→本建機が新しい
-	PPC184	中東東へ 投資	II B0	92217	26558	0.276	0.210	0.306	38.783	10YR4/1 褐色色シト 1-2mの円筒少量	SDC3と直後→本建機が古い
-	PPC185	中東東へ 投資	II B0	92220	26553	0.337	0.191	0.424	38.681	10YR2/1 黒色シト 10YR8-N黄褐色シトアブロックを 塊盤	SDC1と直後→本建機が新しい
-	PPC186	中東東へ 投資	II B0	92221	26555	0.247	0.210	0.303	38.605	10YR2/1 黒色シト 10YR8-N黄褐色シトアブロックを 塊盤	
-	PPC187	中東東へ 投資	II B0m	92223	26564	0.363	0.304	0.192	38.423	10YR2/1 黒色シト 10YR8-N黄褐色シトアブロックを 塊盤	SDC1と直後→本建機が新しい
-	PPC188	中東東へ 投資	II B0m	92220	26564	0.304	0.277	0.248	38.689	10YR2/1 黒色シト 10YR8-N黄褐色シトアブロックを 塊盤 柱状 10YR2/1 黒色シト 10YR8-N黄褐色シトアブロックを 中量 照り方	PPC180と直後→本建機が新しい
-	PPC189	中東東へ 投資	II B0m	92220	26564	0.285	0.238	0.222	38.651	10YR2/1 黒色シト 10YR8-N黄褐色シトアブロックを 中量 照り方	SDC1・PPC188と直後→PPC189より古く、SDC1 より新しい
-	PPC190	中東東へ 投資	II B0	92219	26553	0.395	0.351	0.481	38.443	10YR2/1 黒色シト 10YR8-N黄褐色シトアブロックを 中量	PPC182と直後→本建機が新しい
-	PPC191	中東東へ 投資	II B0	92220	26554	0.345	0.340	0.331	38.570	10YR2/1 黒色シト 10YR8-N黄褐色シトアブロックを 塊盤	
SRD19	PPC192	親御時代 東	II B0	92219	26554	0.603	0.385	0.385	38.749	10YR2/1 黒色シト 10YR8-N黄褐色シトアブロックを 塊盤	PPC190・200と直後→本建機が古い
	PPC193	親御時代 東	II B0	92220	26555	0.539	0.430	0.671	38.257	10YR2/1 黒色シト 10YR8-N黄褐色シトアブロック を少量 柱状	USC 1番・1C 前
-	PPC194	中東東へ 投資	II B0m	92215	26562	0.116	0.395	0.612	38.373	10YR4/1 褐色色シト 1-2mの円筒少量、 10YR8-N黄褐色シトアブロック少量	PPC21と直後→新引不明
-	PPC195	中東東へ 投資	II B0	92221	26554	0.397	0.343	0.485	38.561	10YR2/1 黒色シト 10YR8-N黄褐色シトアブロックを 中量	
-	PPC196	中東東へ 投資	II B0m	92220	26562	0.337	0.281	0.438	38.490	10YR2/1 黒色シト 10YR8-N黄褐色シトアブロックを 塊盤	SDC4・PPC20と直後→PPC20より古く、SDC4 より新しい
-	PPC197	中東東へ 投資	II B0	92218	26554	0.307	0.172	0.188	38.651	10YR4/1 褐色色シト 1-2mの円筒少量	SDC1a・PPC187・202と直後 →PPC197 ・202より新しく、SDC1aとは新引不明
-	PPC198	中東東へ 投資	II B0	92218	26554	0.290	0.239	0.477	38.501	10YR4/1 褐色色シト 1cm以下の砂、10YR8-N黄褐色 シトアブロック少量 柱状あり	SDC1a・PPC187・202と直後 →PPC198より古く、 SDC1aとは新引不明
SRD14	PPC199	親御時代 東	II B0	92216	26555	0.595	0.536	0.600	38.412	10YR2/1 黒色シト 10YR8-N黄褐色シトアブロックを 中量	PPC200と直後→本建機が新しい
	PPC200	宇安時代 東	II B0	92219	26554	0.884	0.853	0.543	38.351	10YR2/1 黒色シト 10YR8-N黄褐色シトアブロックを 塊盤 鉄多取りか 10YR2/1 黒色シト 10YR8-N黄褐色シトアブロックを 少量 柱状 20m 10YR2/1 黒色シト 10YR8-N黄褐色シトアブロック を少量 照り方	柱状径20m、SDC1a・PPC187・199と直後 →PPC192 ・199より古く、SDC1aとは新引不明
-	PPC201	中東東へ 投資	II B0	92220	26552	0.269	0.149	0.267	38.722		
-	PPC202	中東東へ 投資	II B0	92218	26554	0.344	0.288	0.530	38.415	10YR4/1 褐色色シト 1-2mの円筒少量、 10YR8-N黄褐色シトアブロック少量 柱状 10YR4/1 褐色色シト 1-2mの円筒少量 10YR8-N黄褐色シトアブロックを中量 照り方	
SRD14	PPC204	親御時代 東	II B0	92217	26555	0.626	0.429	0.476	38.474	10YR4/1 褐色色シト 1-2mの円筒少量 柱状 10YR4/1 褐色色シト 1cm以下の砂、10YR8-N黄褐色 シトアブロック少量 照り方	
	PPC205	宇安時代 東	II B0	92218	26565	0.638	0.754	0.320	38.671	10YR2/1 黒色シト 10YR8-N黄褐色シトアブロックを 少量 柱状	
SRD13	PPC206	宇安時代 東	II B0m	92224	26562	0.348	0.314	0.451	38.354	10YR4/1 褐色色シト 1-2mの円筒少量、 10YR8-N黄褐色シトアブロック少量	
	PPC207	宇安時代 東	II B0	92216	26555	1.094	0.967	0.529	38.377	10YR2/1 黒色シト 10YR8-N黄褐色シトアブロックを 塊盤 鉄多取りか 10YR2/1 黒色シト 10YR8-N黄褐色シトアブロックを 中量 照り方	8C 後→10C 前 柱状径20m
-	PPC208	中東東へ 投資	II B0m	92224	26562	0.287	0.180	0.555	38.385	10YR2/1 黒色シト 10YR8-N黄褐色シトアブロックを 塊盤	
-	PPC209	中東東へ 投資	II B0	92221	26554	0.330	0.269	0.295	38.638	10YR2/1 黒色シト 10YR8-N黄褐色シトアブロックを 中量	
-	PPC210	中東東へ 投資	II B0	92220	26552	0.257	0.236	0.159	38.772	10YR2/1 黒色シト 10YR8-N黄褐色シトアブロックを 少量 柱状と土と混ぜない	
-	PPC211	中東東へ 投資	II B0	92223	26554	0.273	0.175	0.281	38.660	10YR2/1 黒色シト 10YR8-N黄褐色シトアブロックを 塊盤	

2 検出遺構

探検 経緯	柱状 種別	探検 理由	アソシ ア	年代 推定	Y座標	X座標	最大深 度(m)	最大径 径(m)	埋蔵 深さ (m)	土層	備考
-	PPC212	中世末～ 近世	II B5m	K2-90222	20561	0.218	0.302	0.270	36.663	HOYR2-1 灰色シルト HOYR8-N 黄褐色シルトアロックス を中量	PPC27-78と並列→断面不明
-	PPC213	中世末～ 近世	II B5m	K2-90219	20553	0.278	0.238	0.134	38.886	HOYR4-1 褐色シルト層1cm以下の中。HOYR8-N黄褐色 シルトアロックス少量	PPC211、SDC4と並列→本遺構が古い。 PPC259と並列→断面不明
SRC22	PPC214	縄文時代 末	II B5m	K2-90221	20561	0.694	0.500	0.380	38.566	HOYR2-1 灰色シルト HOYR8-N 黄褐色シルトアロックス を中量	PPC215と並列→本遺構が新しい
SRB1	PPC215	平安時代	II B5m	K2-90221	20561	0.746	0.604	0.219	38.722	HOYR2-1 灰色シルト HOYR8-N 黄褐色シルトアロックス を中量	PPC211、SDC4と並列→本遺構が古い。 PPC259と並列→断面不明
-	PPC216	中世末～ 近世	II B5m	K2-90221	20564	0.682	0.414	0.178	38.084	HOYR4-1 褐色シルト層1～2mの間層を少量。 HOYR8-N黄褐色シルトアロックスを中量	PPC27-79-217と並列→本遺構が新しい
-	PPC217	中世末～ 近世	II B5m	K2-90221	20564	0.380	0.298	0.075	38.805	HOYR4-1 褐色シルト層1～2mの間層を少量。 HOYR8-N黄褐色シルトアロックスを中量	PPC216と並列→本遺構が古い
SRB10	PPC218	縄文時代 末	II B5m	K2-90212	20560	0.511	0.387	0.628	38.162	HOYR4-1 褐色シルト層1～2mの間層少量 柱状 14cm HOYR4-2 褐色シルト層1～2mの間層を少量。 HOYR8-N黄褐色シルトアロックス少量 柱より厚	柱状径 14cm
-	PPC219	中世末～ 近世	II B4m	K2-90219	20553	0.372	0.244	0.315	38.670	HOYR2-1 灰色シルト HOYR8-N 黄褐色シルトアロックス を微量	PPC220と並列→本遺構が古い
-	PPC220	中世末～ 近世	II B4m	K2-90219	20553	0.323	0.255	0.452	38.502	HOYR2-1 灰色シルト HOYR8-N 黄褐色シルトアロックス を微量	PPC219と並列→本遺構が新しい
-	PPC223	中世末～ 近世	II B5m	K2-90220	20553	0.281	0.227	0.450	38.503	HOYR2-1 灰色シルト HOYR8-N 黄褐色シルトアロックス を微量	
-	PPC224	中世末～ 近世	II B5m	K2-90220	20553	0.280	0.246	0.122	38.819	HOYR2-1 灰色シルト HOYR8-N 黄褐色シルトアロックス を中量。柱と土どろみ多い	
-	PPC225	中世末～ 近世	II B4m	K2-90218	20555	0.337	0.313	0.375	38.572	HOYR2-1 灰色シルト HOYR8-N 黄褐色シルトアロックス を中量	
-	PPC226	中世末～ 近世	II B3m	K2-90214	20559	0.451	0.439	0.206	38.621	HOYR4-1 褐色シルト層1～2mの間層を中量。 HOYR8-N黄褐色シルトアロックスを中量	
-	PPC227	中世末～ 近世	II B3m	K2-90213	20560	0.370	0.327	0.413	38.387	HOYR2-1 灰色シルト HOYR8-N 黄褐色シルトアロックス を微量	
-	PPC228	中世末～ 近世	II B3m	K2-90214	20560	0.478	0.403	0.404	38.699	HOYR2-1 灰色シルト HOYR8-N 黄褐色シルトアロックス を微量	
SRB20	PPC229	縄文時代 末	II B3m	K2-90212	20558	0.555	0.689	0.632	38.413	HOYR4-1 褐色シルト層1～2mの間層を中量。 HOYR8-N黄褐色シルトアロックスを中量	
SRB24	PPC230	縄文時代 末	II B6m	K2-90225	20561	0.428	0.303	0.625	38.288	HOYR2-1 灰色シルト HOYR8-N 黄褐色シルトアロックス を中量	
-	PPC231	中世末～ 近世	II B3m	K2-90222	20559	0.425	0.391	0.548	38.403	HOYR2-1 灰色シルト HOYR8-N 黄褐色シルトアロックス を微量	
-	PPC232	中世末～ 近世	II B5m	K2-90223	20560	0.228	0.219	0.387	38.563	HOYR2-1 灰色シルト HOYR8-N 黄褐色シルトアロックス を中量。柱と土どろみ多い	
-	PPC233	中世末～ 近世	II B5m	K2-90223	20560	0.275	0.230	0.336	38.572	HOYR2-1 灰色シルト HOYR8-N 黄褐色シルトアロックス を中量。柱と土どろみ多い	
-	PPC234	中世末～ 近世	II B3m	K2-90214	20558	0.286	0.224	0.357	38.473	HOYR2-1 灰色シルト HOYR8-N 黄褐色シルトアロックス を微量	
-	PPC235	中世末～ 近世	II B3m	K2-90223	20559	0.166	0.160	0.582	38.305	HOYR4-1 褐色シルト層1～2mの間層少量	
-	PPC236	中世末～ 近世	II B5m	K2-90220	20561	0.246	0.223	0.471	38.438	HOYR2-1 灰色シルト HOYR8-N 黄褐色シルトアロックス を微量	
-	PPC237	中世末～ 近世	II B4m	K2-90217	20555	0.445	0.300	0.513	38.363	HOYR4-1 褐色シルト層1～2mの間層を少量。 HOYR8-N黄褐色シルトアロックスを少量	PPC238と並列→本遺構が新しい
-	PPC238	中世末～ 近世	II B4m	K2-90214	20558	0.397	0.378	0.477	38.382	HOYR4-1 褐色シルト層1～2mの間層少量	PPC237と並列→本遺構が新しい
-	PPC239	中世末～ 近世	II B4m	K2-90218	20564	0.239	0.211	0.115	38.747	HOYR2-1 灰色シルト HOYR8-N 黄褐色シルトアロックス を微量	
-	PPC240	中世末～ 近世	II B3m	K2-90212	20560	0.319	0.288	0.187	38.687	HOYR4-1 褐色シルト層1～2mの間層を少量。 HOYR8-N黄褐色シルトアロックスを少量	
-	PPC241	中世末～ 近世	II B3m	K2-90212	20559	0.315	0.204	0.179	38.711	HOYR2-1 灰色シルト HOYR8-N 黄褐色シルトアロックス を微量	
SRB3	PPC242	平安時代	II B3m	K2-90212	20561	0.476	0.392	0.623	38.394	HOYR2-1 灰色シルト HOYR8-N 黄褐色シルトアロックス を中量。柱と土どろみ多い	
-	PPC243	中世末～ 近世	II B3m	K2-90223	20558	0.321	0.296	0.607	38.320	HOYR4-1 褐色シルト層1～2mの間層を少量。 HOYR8-N黄褐色シルトアロックスを少量 柱より厚	
-	PPC244	中世末～ 近世	II B3m	K2-90223	20558	0.380	0.324	0.533	38.412	HOYR2-1 灰色シルト HOYR8-N 黄褐色シルトアロックス を微量	
SRB13	PPC245	縄文時代 末	II B4m	K2-90216	20559	0.427	0.364	0.386	38.621	HOYR4-1 褐色シルト層1～2mの間層少量	
-	PPC246	中世末～ 近世	II B3m	K2-90214	20557	0.092	0.043	0.678	38.386	HOYR4-1 褐色シルト層1～2mの間層少量	C250と同一→PPC231と並列→本遺構が新しい か
-	PPC247	中世末～ 近世	II B5m	K2-90224	20560	0.386	0.366	0.380	38.528	HOYR2-1 灰色シルト HOYR8-N 黄褐色シルトアロックス を中量	
-	PPC248	中世末～ 近世	II B4m	K2-90218	20554	0.261	0.221	0.200	38.667	HOYR2-1 灰色シルト HOYR8-N 黄褐色シルトアロックス を微量	
-	PPC249	中世末～ 近世	II B4m	K2-90218	20564	0.358	0.241	0.287	38.746	HOYR2-1 灰色シルト HOYR8-N 黄褐色シルトアロックス を微量	
-	PPC250	中世末～ 近世	II B3m	K2-90213	20560	0.270	0.256	0.307	38.685	HOYR4-1 褐色シルト層1cm以下の中。HOYR8-N黄褐色 シルトアロックスを少量	PPC251と並列→本遺構が古い
-	PPC251	中世末～ 近世	II B3m	K2-90213	20560	0.209	0.161	0.220	38.675	HOYR4-1 褐色シルト層1～2mの間層少量	PPC250と並列→本遺構が新しい
SRB23	PPC252	縄文時代 末	II B6m	K2-90225	20560	0.516	0.419	0.384	38.537	HOYR2-1 灰色シルト HOYR8-N 黄褐色シルトアロックス を中量	
-	PPC253	中世末～ 近世	II B5m	K2-90223	20562	0.414	0.284	0.367	38.540	HOYR2-1 灰色シルト HOYR8-N 黄褐色シルトアロックス を中量	SDC4と並列→断面不明
-	PPC254	中世末～ 近世	II B3m	K2-90224	20558	0.365	0.211	0.440	38.501	HOYR2-1 灰色シルト HOYR8-N 黄褐色シルトアロックス を中量	
-	PPC255	中世末～ 近世	II B3m	K2-90223	20558	0.363	0.321	0.660	38.276	HOYR4-1 褐色シルト層1～2mの間層少量 HOYR4-2 褐色シルト層1～2mの間層を少量。 HOYR8-N黄褐色シルトアロックスを少量	SDC4と並列→断面不明
-	PPC256	中世末～ 近世	II B5m	K2-90223	20561	0.310	0.270	0.220	38.615	HOYR2-1 灰色シルト HOYR8-N 黄褐色シルトアロックス を微量	SDC4と並列→断面不明
-	PPC257	中世末～ 近世	II B5m	K2-90220	20561	0.349	0.286	0.662	38.271	HOYR2-1 灰色シルト HOYR8-N 黄褐色シルトアロックス を微量	SDC4と並列→断面不明
-	PPC258	中世末～ 近世	II B5m	K2-90222	20562	0.241	0.209	0.278	38.622	HOYR2-1 灰色シルト HOYR8-N 黄褐色シルトアロックス を中量	HOYR2-1 灰色シルト HOYR8-N 黄褐色シルトアロックス を中量
-	PPC259	中世末～ 近世	II B5m	K2-90222	20562	0.269	0.222	0.301	38.608	HOYR2-1 灰色シルト HOYR8-N 黄褐色シルトアロックス を微量	SDC4-PPC215-258と並列→PPC258より新しく、 SDC4-PPC245とは断面不明
-	PPC260	中世末～ 近世	II B5m	K2-90224	20562	0.347	0.323	0.533	38.313	HOYR2-1 灰色シルト HOYR8-N 黄褐色シルトアロックス を微量	

採集 年度	柱状 番号	採定時期	コア種別	年表 深度(m)	Y 深度(m)	最大径 (cm)	最大厚 (cm)	採寸 厚(m)	土質		備考
									土質	土質	
SRC14	PPC261	縄文時代 末	II B5a	99223	20509	0.608	0.472	0.719	38.257	HOYR4-1 褐色シルト層1-2mの円礫少量 柱状取り 中 HOYR4-1 褐色シルト層1-2mの円礫少量 HOYR8-8 黄褐色シルトブロック少量 照り方	
	PPC262	中世末へ 近接	II B6a	99227	20561	0.207	0.187	0.191	38.709	HOYR4-1 褐色シルト層1-2mの円礫少量 HOYR8-8 黄褐色シルトブロック少量	PPC355と並層→本層様が新しい
	PPC263	縄文時代 末	II B5a	99224	20562	0.300	0.279	0.559	38.307	HOYR2-1 褐色シルト HOYR8-8 黄褐色シルトブロックを 微量	SDC4と並層→新旧不明
SRC25	PPC264	中世末へ 近接	II B6a	99225	20560	0.328	0.268	0.453	38.447	HOYR2-1 褐色シルト HOYR8-8 黄褐色シルトブロックを 微量	SDC4と並層→新旧不明
	PPC265	中世末へ 近接	II B5a	99213	20561	0.342	0.254	0.264	38.700	HOYR4-1 褐色シルト層1-2mの円礫少量 HOYR8-8 黄褐色シルトブロック少量	
	PPC266	縄文時代 末	II B5a	99213	20561	0.480	0.467	0.587	38.582	HOYR4-1 褐色シルト層1-2mの円礫少量 HOYR8-8 黄褐色シルトブロック少量	
SRC26	PPC267	中世末へ 近接	II B5a	99222	20562	0.418	0.273	0.458	38.408	HOYR2-1 褐色シルト HOYR8-8 黄褐色シルトブロックを 微量	SDC4・PPC268と並層→PPC268より新しく、 SDC4とは新旧不明
	PPC268	中世末へ 近接	II B6a	99222	20562	0.293	0.249	0.295	38.535	HOYR2-1 褐色シルト HOYR8-8 黄褐色シルトブロックを 微量	SDC4・PPC267と並層→PPC267より古く、SDC4 とは新旧不明
	PPC269	中世末へ 近接	II B5a	99224	20562	0.344	0.281	0.621	38.158	HOYR4-1 褐色シルト HOYR2-1 褐色シルトブロックを 少量、HOYR8-8 黄褐色シルトブロックを微量	
SRC27	PPC270	中世末へ 近接	II B5a	99212	20560	0.477	0.379	0.234	38.621	HOYR4-1 褐色シルト層1-2mの円礫少量 HOYR8-8 黄褐色シルトブロック少量	
	PPC271	中世末へ 近接	II B5a	99226	20561	0.287	0.221	0.295	38.683	HOYR4-1 褐色シルト層1-2mの円礫少量 HOYR8-8 黄褐色シルトブロック少量	PPC361・362と並層→新旧不明
	PPC272	中世末へ 近接	II B6a	99228	20562	0.389	0.328	0.411	38.661	HOYR2-1 褐色シルト HOYR8-8 黄褐色シルトブロックを 微量	
SRC28	PPC273	中世末へ 近接	II B6	99225	20559	0.291	0.289	0.528	38.411	HOYR4-1 褐色シルト層1-2mの円礫少量 HOYR8-8 黄褐色シルトブロック少量	
	PPC274	中世末へ 近接	II B5a	99224	20558	0.319	0.271	0.510	38.625	HOYR2-1 褐色シルト HOYR8-8 黄褐色シルトブロックを 微量	
	PPC275	縄文時代 末	II B6a	99225	20562	0.364	0.341	0.592	38.293	HOYR2-1 褐色シルト HOYR8-8 黄褐色シルトブロックを 微量	SDC4と並層→新旧不明
SRC29	PPC276	中世末へ 近接	II B5a	99224	20559	0.365	0.298	0.629	38.308	HOYR4-1 褐色シルト層1-2mの円礫少量 HOYR8-8 黄褐色シルトブロック少量	SDC4と並層→本層様が古い
	PPC277	中世末へ 近接	II B5a	99224	20560	0.385	0.335	0.680	38.253	HOYR4-1 褐色シルト層1-2mの円礫少量 柱状 HOYR4-1 褐色シルト層1-2mの円礫少量 HOYR8-8 黄褐色シルトブロック少量 照り方	PPC278と並層→本層様が新しい
	PPC278	中世末へ 近接	II B5a	99224	20560	0.358	0.333	0.410	38.582	HOYR4-1 褐色シルト層1-2mの円礫少量 HOYR8-8 黄褐色シルトブロック少量	PPC279と並層→本層様が新しい
SRC30	PPC279	中世末へ 近接	II B5a	99224	20560	0.301	0.256	0.381	38.580	HOYR4-1 褐色シルト層1-2mの円礫少量 HOYR8-8 黄褐色シルトブロック少量	PPC278と並層→本層様が古い
	PPC280	中世末へ 近接	II B5a	99224	20559	0.384	0.248	0.274	38.191	HOYR2-1 褐色シルト HOYR8-8 黄褐色シルトブロックを 微量	
	PPC281	中世末へ 近接	II B6a	99226	20561	0.268	0.233	0.412	38.491	HOYR4-1 褐色シルト層1-2mの円礫少量 柱状 HOYR4-1 褐色シルト層1-2mの円礫少量 HOYR8-8 黄褐色シルトブロック少量 照り方	柱状径 15cm
SRC31	PPC282	中世末へ 近接	II B5a	99222	20555	0.236	0.214	0.130	38.790	HOYR2-1 褐色シルト HOYR8-8 黄褐色シルトブロックを 微量	
	PPC283	中世末へ 近接	II B5a	99224	20559	0.277	0.221	0.298	38.671	HOYR2-1 褐色シルト HOYR8-8 黄褐色シルトブロックを 微量	
	PPC284	中世末へ 近接	II B5a	99224	20558	0.291	0.216	0.271	38.655	HOYR2-1 褐色シルト HOYR8-8 黄褐色シルトブロックを 微量	
SRC32	PPC285	中世末へ 近接	II B5a	99223	20559	0.260	0.190	0.377	38.340	HOYR4-1 褐色シルト層1-2mの円礫少量	
	PPC286	中世末へ 近接	II B6	99226	20558	0.352	0.269	0.563	38.401	HOYR2-1 褐色シルト HOYR8-8 黄褐色シルトブロックを 微量	
	PPC287	中世末へ 近接	II B6a	99225	20560	0.353	0.288	0.359	38.569	HOYR2-1 褐色シルト HOYR8-8 黄褐色シルトブロックを 微量	
SRC33	PPC288	中世末へ 近接	II B6	99227	20558	0.383	0.315	0.395	38.530	HOYR2-1 褐色シルト HOYR8-8 黄褐色シルトブロックを 微量	
	PPC289	中世末へ 近接	II B6a	99225	20561	0.411	0.325	0.590	38.308	HOYR2-1 褐色シルト HOYR8-8 黄褐色シルトブロックを 微量 柱状 HOYR2-1 褐色シルト HOYR8-8 黄褐色シルトブロックを 微量	柱状径 15cm
	PPC290	中世末へ 近接	II B5a	99221	20557	0.339	0.298	0.540	38.434	HOYR2-1 褐色シルト HOYR8-8 黄褐色シルトブロックを 微量	
SRC34	PPC291	中世末へ 近接	II B6a	99256	20560	0.636	0.437	0.569	38.348	HOYR4-1 褐色シルト層1-2mの円礫中量 HOYR8-8 黄褐色シルトブロック中量	PPC321と並層→本層様が新しい
	PPC292	縄文時代 末	II B6a	99225	20562	0.283	0.244	0.415	38.649	HOYR2-1 褐色シルト HOYR8-8 黄褐色シルトブロックを 微量	SDC3と並層→新旧不明
	PPC293	中世末へ 近接	II B6	99225	20558	0.691	0.456	0.274	38.564	HOYR4-1 褐色シルト層1-2mの円礫中量 HOYR8-8 黄褐色シルトブロック中量	PPC32と並層→本層様が古い
SRC35	PPC294	中世末へ 近接	II B6a	99228	20560	0.285	0.262	0.321	38.592	HOYR2-1 褐色シルト HOYR8-8 黄褐色シルトブロックを 微量	
	PPC295	中世末へ 近接	II B5a	99223	20548	0.326	0.257	0.367	38.654	HOYR2-1 褐色シルト HOYR8-8 黄褐色シルトブロックを 微量	
	PPC296	中世末へ 近接	II B6a	99225	20560	0.379	0.320	0.671	38.253	HOYR2-1 褐色シルト HOYR8-8 黄褐色シルトブロックを 微量	
SRC36	PPC297	中世末へ 近接	II B5a	99221	20565	0.467	0.387	0.363	38.543	HOYR2-1 褐色シルト HOYR8-8 黄褐色シルトブロックを 微量	方柱状 PPC212と並層→新旧不明
	PPC298	縄文時代 末	II B5a	99223	20555	0.565	0.330	0.620	38.415	HOYR2-1 褐色シルト HOYR8-8 黄褐色シルトブロックを 微量	PPC324と並層→新旧不明
	PPC299	中世末へ 近接	II B5a	99223	20555	0.385	0.339	0.522	38.521	HOYR2-1 褐色シルト HOYR8-8 黄褐色シルトブロックを 微量	
SRC37	PPC300	中世末へ 近接	II B5a	99221	20549	0.309	0.280	0.358	38.598	HOYR4-1 褐色シルト層1-2mの円礫少量 柱状 HOYR4-1 褐色シルト層1-2mの円礫少量 HOYR8-8 黄褐色シルトブロック少量 照り方	柱状径 7cm
	PPC301	中世末へ 近接	II B6a	99227	20560	0.329	0.263	0.239	38.719	HOYR2-1 褐色シルト HOYR8-8 黄褐色シルトブロックを 微量	
	PPC302	中世末へ 近接	II B6	99225	20558	0.306	0.269	0.450	38.498	HOYR4-1 褐色シルト層1-2mの円礫少量 柱状 HOYR4-1 褐色シルト層1-2mの円礫少量 HOYR8-8 黄褐色シルトブロック少量 照り方	
SRC38	PPC303	中世末へ 近接	II B6	99225	20558	0.345	0.276	0.314	38.601	HOYR4-1 褐色シルト層1-2mの円礫少量 HOYR8-8 黄褐色シルトブロック少量	PPC304と並層→本層様が新しい
	PPC304	中世末へ 近接	II B6	99225	20558	0.238	0.183	0.253	38.695	HOYR4-1 褐色シルト層1-2mの円礫少量	PPC303と並層→本層様が古い

2 検出遺構

探検 履歴	柱穴 番号	検定時期 層位	アソシ アソシ	年代 Y	出土物 Y	最大径 Y	最大深 Y	検出 層位 (m)	検出 層位 (m)	土層	備考	
-	PPC305	中世末～ 近世	II B0a	K2	99222	26554	0.245	0.171	0.358	38.553	10YR2/1 黒色シルト 10YR8/8 黄褐色シルトブロックを 検出	
-	PPC306	中世末～ 近世	II B0a	K2	99222	26554	0.325	0.241	0.187	38.727	10YR2/1 黒色シルト 10YR8/8 黄褐色シルトブロックを 検出	PPC307 と重なり→本遺構が古い
SRIC14	PPC307	縄文時代 末	II B0a	K2	99222	26554	0.566	0.464	0.646	38.240	10YR2/1 黒色シルト 10YR8/8 黄褐色シルトブロックを 中盤	PPC306 と重なり→本遺構が新しい
-	PPC308	中世末～ 近世	II B5f	K2	99221	26548	0.325	0.283	0.463	38.582	10YR4/1 褐色シルト 10YR2/1 黒色シルトブロックを 検出。10YR8/8 黄褐色シルトブロックを少量 検出	
-	PPC309	中世末～ 近世	II B5f	K2	99220	26549	0.387	0.257	0.240	38.759	10YR4/1 褐色シルト 10YR2/1 黒色シルトブロックを 検出	
-	PPC310	中世末～ 近世	II B5f	K2	99223	26550	0.421	0.376	0.287	38.748	10YR2/1 黒色シルト 10YR8/8 黄褐色シルトブロックを 検出	
-	PPC311	中世末～ 近世	II B0f	K2	99227	26558	0.344	0.255	0.401	38.563	10YR4/1 褐色シルト 10YR2/1 黒色シルトブロックを 検出	
-	PPC312	中世末～ 近世	II B0f	K2	99227	26558	0.296	0.225	0.405	38.531	10YR2/1 黒色シルト 10YR8/8 黄褐色シルトブロックを 検出。柱深 12cm 10YR2/1 黒色シルト 10YR8/8 黄褐色シルトブロックを 中盤 掘り方	柱表深 12cm
-	PPC313	中世末～ 近世	II B0f	K2	99225	26556	0.315	0.152	0.600	38.279	10YR2/1 黒色シルト 10YR8/8 黄褐色シルトブロックを 検出。柱深 10YR2/1 黒色シルト 10YR8/8 黄褐色シルトブロックを 中盤 掘り方	
-	PPC314	中世末～ 近世	II B5a	K2	99222	26550	0.366	0.293	0.280	38.779	10YR2/1 黒色シルト 10YR8/8 黄褐色シルトブロックを 検出。掘り方	
-	PPC315	中世末～ 近世	II B5a	K2	99223	26554	0.301	0.279	0.383	38.528	10YR2/1 黒色シルト 10YR8/8 黄褐色シルトブロックを 検出	
-	PPC316	中世末～ 近世	II B5a	K2	99223	26554	0.273	0.215	0.195	38.703	10YR2/1 黒色シルト 10YR8/8 黄褐色シルトブロックを 検出	
-	PPC317	中世末～ 近世	II B5a	K2	99222	26554	0.237	0.165	0.285	38.613	10YR2/1 黒色シルト 10YR8/8 黄褐色シルトブロックを 検出	
-	PPC318	中世末～ 近世	II B5a	K2	99222	26554	0.312	0.226	0.316	38.578	10YR2/1 黒色シルト 10YR8/8 黄褐色シルトブロックを 検出	
-	PPC319	中世末～ 近世	II B0f	K2	99227	26556	0.569	0.398	0.379	38.522	10YR4/1 褐色シルト 10YR2/1 黒色シルトブロックを 検出	PPC320 と重なり→本遺構が古い
-	PPC320	中世末～ 近世	II B0f	K2	99227	26555	0.615	0.305	0.454	38.555	10YR4/1 褐色シルト 10YR2/1 黒色シルトブロックを 検出。10YR8/8 黄褐色シルトブロックを少量 検出	PPC319 と重なり→本遺構が新しい
-	PPC321	中世末～ 近世	II B6m	K2	99228	26561	0.303	0.247	0.546	38.351	10YR4/1 褐色シルト 10YR2/1 黒色シルトブロックを 検出。10YR8/8 黄褐色シルトブロックを少量 検出	PPC291 と重なり→本遺構が古い
-	PPC322	中世末～ 近世	II B5m	K2	99222	26562	0.342	0.295	0.305	38.559	10YR2/1 黒色シルト 10YR8/8 黄褐色シルトブロックを 検出。掘り方	
-	PPC323	中世末～ 近世	II B6m	K2	99228	26563	0.284	0.253	0.454	38.490	10YR4/1 褐色シルト 10YR2/1 黒色シルトブロックを 検出。10YR8/8 黄褐色シルトブロックを少量 検出	
-	PPC324	中世末～ 近世	II B0f	K2	99225	26555	0.465	0.404	0.719	38.233	10YR2/1 黒色シルト 10YR8/8 黄褐色シルトブロックを 検出	PPC325 と重なり→本遺構が新しい
-	PPC325	中世末～ 近世	II B0f	K2	99228	26556	0.294	0.238	0.337	38.595	10YR2/1 黒色シルト 10YR8/8 黄褐色シルトブロックを 検出	PPC324・326 と重なり→本遺構が古い
-	PPC326	中世末～ 近世	II B0f	K2	99225	26562	0.309	0.226	0.279	38.667	10YR2/1 黒色シルト 10YR8/8 黄褐色シルトブロックを 検出	PPC325 と重なり→本遺構が新しい
-	PPC327	中世末～ 近世	II B5f	K2	99222	26548	0.479	0.461	0.484	38.561	10YR4/1 褐色シルト 10YR2/1 黒色シルトブロックを 少量。10YR8/8 黄褐色シルトブロックを少量 検出	
-	PPC328	中世末～ 近世	II B5a	K2	99224	26553	0.413	0.378	0.330	38.672	10YR2/1 黒色シルト 10YR8/8 黄褐色シルトブロックを 中盤。掘り方	
-	PPC329	中世末～ 近世	II B6m	K2	99228	26560	0.356	0.213	0.332	38.541	10YR4/1 褐色シルト 10YR2/1 黒色シルトブロックを 少量。10YR8/8 黄褐色シルトブロックを少量 検出	PPC330 と重なり→本遺構が古い
SRIC21	PPC330	縄文時代 末	II B6m	K2	99228	26560	0.452	0.328	0.486	38.395	10YR4/1 褐色シルト 10YR2/1 黒色シルトブロックを 少量。10YR8/8 黄褐色シルトブロックを少量 検出	PPC329 と重なり→本遺構が新しい
-	PPC331	中世末～ 近世	II B0f	K2	99224	26556	0.343	0.306	0.688	38.348	10YR2/1 黒色シルト 10YR8/8 黄褐色シルトブロックを 中盤	
-	PPC332	中世末～ 近世	II B0f	K2	99225	26558	0.261	0.231	0.464	38.434	10YR2/1 黒色シルト 10YR8/8 黄褐色シルトブロックを 検出。掘り方 10YR2/1 黒色シルト 10YR8/8 黄褐色シルトブロックを 中盤 掘り方	PPC283 と重なり→本遺構が新しい
-	PPC333	中世末～ 近世	II B0a	K2	99221	26550	0.458	0.438	0.572	38.422	10YR4/1 褐色シルト 10YR2/1 黒色シルトブロックを 少量。10YR8/8 黄褐色シルトブロックを少量 検出	PPC334 と重なり→本遺構が古い
-	PPC334	中世末～ 近世	II B0a	K2	99221	26550	0.259	0.246	0.382	38.568	10YR4/1 褐色シルト 10YR2/1 黒色シルトブロックを 少量	PPC333 と重なり→本遺構が新しい
-	PPC335	中世末～ 近世	II B5a	K2	99221	26551	0.363	0.270	0.329	38.658	10YR2/1 黒色シルト 10YR8/8 黄褐色シルトブロックを 中盤	
SRIC15	PPC336	縄文時代 末	II B5f	K2	99223	26549	0.278	0.237	0.218	38.785	10YR2/1 黒色シルト 10YR8/8 黄褐色シルトブロックを 中盤	
-	PPC337	中世末～ 近世	II B5f	K2	99223	26548	0.314	0.252	0.272	38.684	10YR4/1 褐色シルト 10YR2/1 黒色シルトブロックを 少量。10YR8/8 黄褐色シルトブロックを少量 検出	PPC338 と重なり→本遺構が古い
-	PPC338	中世末～ 近世	II B5f	K2	99223	26548	0.286	0.254	0.249	38.703	10YR4/1 褐色シルト 10YR2/1 黒色シルトブロックを 少量。10YR8/8 黄褐色シルトブロックを少量 検出	PPC337 と重なり→本遺構が新しい
-	PPC339	中世末～ 近世	II B0f	K2	99228	26558	0.424	0.323	0.419	38.506	10YR2/1 黒色シルト 10YR8/8 黄褐色シルトブロックを 検出	SDC1 と重なり→新判不明
-	PPC340	中世末～ 近世	II B0f	K2	99228	26558	0.335	0.263	0.601	38.348	10YR2/1 黒色シルト 10YR8/8 黄褐色シルトブロックを 検出	SDC1 と重なり→新判不明
-	PPC341	中世末～ 近世	II B0f	K2	99228	26558	0.242	0.189	0.294	38.608	10YR2/1 黒色シルト 10YR8/8 黄褐色シルトブロックを 検出	SDC1 と重なり→新判不明
-	PPC342	中世末～ 近世	II B0f	K2	99229	26558	0.532	0.406	0.513	38.383	10YR2/1 黒色シルト 10YR8/8 黄褐色シルトブロックを 中盤	
-	PPC343	中世末～ 近世	II B6m	K2	99222	26563	0.320	0.292	0.112	38.822	10YR2/1 黒色シルト 10YR8/8 黄褐色シルトブロックを 検出	PPC29 と重なり→新判不明
-	PPC344	中世末～ 近世	II B0f	K2	99228	26559	0.304	0.268	0.452	38.454	10YR2/1 黒色シルト 10YR8/8 黄褐色シルトブロックを 中盤	PPC345 と重なり→本遺構が古い
-	PPC345	中世末～ 近世	II B0f	K2	99228	26559	0.386	0.302	0.428	38.534	10YR2/1 黒色シルト 10YR8/8 黄褐色シルトブロックを 検出	PPC344 と重なり→本遺構が新しい
SRIC22	PPC346	縄文時代 末	II B0f	K2	99225	26557	0.387	0.321	0.507	38.337	10YR2/1 黒色シルト 10YR8/8 黄褐色シルトブロックを 検出。柱深 10cm 10YR2/1 黒色シルト 10YR8/8 黄褐色シルトブロックを 中盤 掘り方	柱表深 10cm
-	PPC347	中世末～ 近世	II B0f	K2	99228	26560	0.411	0.379	0.570	38.357	10YR4/1 褐色シルト 10YR2/1 黒色シルトブロックを 少量。10YR8/8 黄褐色シルトブロックを少量 検出	

採集 年度	採集 月次	採集時期	アリア	年取	水深	Y 水深	最大深	最大深	採集 水深 (m)	風向 (度)	土質	備考
SBC14	PPC348	観測時代 中東海へ 戻す	II B01	99223	20506	0.60	0.118	0.728	38.205		HOYR2-1 黒色 HOYR8-8 黄褐色シルト (位轉の混合土) HOYR2-1 黒色シルトとHOYR8-8 黄褐色シルトとの混合土。HOYR8-8 黄褐色シルトアロクの方が目立つ程度。	PPC384と並取→本産種が新しい
	PPC349	中東海へ 戻す	II B06	99227	20554	0.342	0.255	0.419	38.491		HOYR4-1 褐色シルト HOYR2-1 黒色シルト HOYR8-8 黄褐色シルトアロクを やや多量	PPC350と並取→本産種が古い
	PPC350	中東海へ 戻す	II B06	99227	20504	0.191	0.146	0.309	38.540		HOYR2-1 黒色シルト HOYR8-8 黄褐色シルトアロクを やや多量	PPC349と並取→本産種が新しい
SBC21	PPC351	中東海へ 戻す	II B06	99228	20509	0.307	0.371	0.700	38.119		HOYR2-1 黒色シルト HOYR8-8 黄褐色シルトアロクを 多量	SDC3と並取→採日不明
	PPC352	中東海へ 戻す	II B06	99229	20508	0.394	0.327	0.422	38.481		HOYR4-1 褐色シルト HOYR2-1 黒色シルト HOYR8-8 黄褐色シルトアロクを 多量	SDC3と並取→採日不明
	PPC353	観測時代 中東海へ 戻す	II B01	99225	20509	0.685	0.608	0.309	38.547		HOYR4-1 褐色シルト HOYR2-1 黒色シルト HOYR8-8 黄褐色シルトアロクを 多量	SDC3と並取→採日不明
SBC25	PPC354	中東海へ 戻す	II B06	99224	20503	0.358	0.282	0.234	38.689		HOYR2-1 黒色シルト HOYR8-8 黄褐色シルトアロクを やや多量	PPC382と並取→本産種が古い
	PPC355	観測時代 中東海へ 戻す	II B06a	99228	20564	0.569	0.346	0.609	38.233		HOYR2-1 黒色シルト HOYR8-8 黄褐色シルトアロクを 多量	PPC382と並取→本産種が古い
	PPC356	中東海へ 戻す	II B06	99229	20557	0.824	0.527	0.486	38.414		HOYR4-1 褐色シルト HOYR2-1 黒色シルト HOYR8-8 黄褐色シルトアロクを 多量	PPC382と並取→本産種が古い
PPC357	中東海へ 戻す	II B06a	99227	20560	0.312	0.288	0.329	38.627		HOYR2-1 黒色シルト HOYR8-8 黄褐色シルトアロクを 多量。粒度 14φ HOYR2-1 黒色シルト HOYR8-8 黄褐色シルトアロクを 中量。振り方	柱状採 14φ	
	PPC358-1	中東海へ 戻す	II B01	99229	20557	0.404	0.330	0.377	38.507		HOYR2-1 黒色シルト (細粒じり) 径 1-3φの礫を少量	
	PPC358-2	中東海へ 戻す	II B01	99229	20557	0.090	0.443	0.251	-			
PPC359	中東海へ 戻す	II B06	99227	20552	0.424	0.390	0.521	38.384		HOYR2-1 黒色シルト HOYR8-8 黄褐色シルトアロクを 多量。振り方	柱状採 11φ	
	PPC360	中東海へ 戻す	II B71	99230	20557	0.322	0.256	0.277	38.621		HOYR2-1 黒色シルト HOYR8-8 黄褐色シルトアロクを 多量	
	PPC361	中東海へ 戻す	II B06a	99225	20561	0.322	0.274	0.414	38.476		HOYR4-1 褐色シルト HOYR2-1 黒色シルト HOYR8-8 黄褐色シルトアロクを 少量。粒度 14φ	PPC271、362と並取→PPC362より古く、PPC271 とは採日不明
PPC362	中東海へ 戻す	II B06a	99225	20561	0.345	0.300	0.364	38.452		HOYR4-1 褐色シルト HOYR2-1 黒色シルト HOYR8-8 黄褐色シルトアロクを 少量。振り方	PPC271、361と並取→PPC361より新しく、 PPC271とは採日不明	
	PPC363	中東海へ 戻す	II B06	99229	20558	0.364	0.333	0.362	38.576		HOYR4-1 褐色シルト HOYR2-1 黒色シルト HOYR8-8 黄褐色シルトアロクを 多量	
	PPC364	観測時代 中東海へ 戻す	II B51	99231	20549	0.276	0.231	0.587	38.499		HOYR4-1 褐色シルト HOYR2-1 黒色シルト HOYR8-8 黄褐色シルトアロクを 少量。粒度 14φ	PPC271、362と並取→本産種が新しい
PPC365	中東海へ 戻す	II B51	99221	20549	0.277	0.219	0.481	38.511		HOYR4-1 褐色シルト HOYR2-1 黒色シルト HOYR8-8 黄褐色シルトアロクを 少量。粒度 14φ	PPC366と並取→本産種が古い	
	PPC366	中東海へ 戻す	II B06	99227	20555	0.574	0.507	0.463	38.464		HOYR4-1 褐色シルト HOYR2-1 黒色シルト HOYR8-8 黄褐色シルトアロクを 少量	
	PPC367	中東海へ 戻す	II B06	99227	20552	0.409	0.337	0.562	38.348		HOYR2-1 黒色シルト HOYR8-8 黄褐色シルトアロクを 多量	
PPC368	中東海へ 戻す	II B06	99225	20553	0.370	0.352	0.742	38.106		HOYR2-1 黒色シルト HOYR8-8 黄褐色シルトアロクを ごく少量。ほとんど含まない		
	PPC369	観測時代 中東海へ 戻す	II B06	99228	20554	0.525	0.378	0.473	38.227		HOYR2-1 黒色シルト HOYR8-8 黄褐色シルトアロクを やや多量	PPC332と並取→本産種が新しい
	PPC370	中東海へ 戻す	II B06	99228	20506	0.595	0.507	0.533	38.392		HOYR2-1 黒色シルト (細粒じり) 径 1-3φの礫を少量	
PPC371	中東海へ 戻す	II B06	99226	20554	0.435	0.392	0.444	38.483		HOYR2-1 黒色シルト (細粒じり) 径 1-3φの礫を少量	SDC3、PPC358と並取→PPC258より古く、SDC3 とは採日不明	
	PPC372	中東海へ 戻す	II B06	99227	20554	0.469	0.419	0.742	38.234		HOYR4-1 褐色シルト HOYR2-1 黒色シルト HOYR8-8 黄褐色シルトアロクを 少量	SDC3と並取→採日不明
	PPC373	中東海へ 戻す	II B06	99228	20554	0.325	0.280	0.279	38.559		HOYR4-1 褐色シルト HOYR2-1 黒色シルト HOYR8-8 黄褐色シルトアロクを 多量	SDC3、PPC372と並取→PPC372より古く、SDC3 とは採日不明
PPC374	中東海へ 戻す	II B06	99227	20552	0.361	0.322	0.157	38.717		HOYR2-1 黒色シルト HOYR8-8 黄褐色シルトアロクを ごく少量。ほとんど含まない		
	PPC375	中東海へ 戻す	II B06	99229	20555	0.323	0.230	0.402	38.480		HOYR2-1 黒色シルト HOYR8-8 黄褐色シルトアロクを 多量	
	PPC376	中東海へ 戻す	II B06	99226	20554	0.376	0.335	0.258	38.638		HOYR2-1 黒色シルト HOYR8-8 黄褐色シルトアロクを 多量	SDC3、PPC371と並取→PPC371より新しく、 SDC3とは採日不明
PPC377	中東海へ 戻す	II B71	99231	20554	0.266	0.230	0.205	38.638		HOYR2-1 黒色シルト HOYR8-8 黄褐色シルトアロクを 多量		
	PPC378	中東海へ 戻す	II B71	99231	20554	0.318	0.286	0.183	38.648		HOYR2-1 黒色シルト HOYR8-8 黄褐色シルトアロクを 多量	
	PPC379	中東海へ 戻す	II B71	99232	20557	0.262	0.249	0.200	38.605		HOYR2-1 黒色シルト HOYR8-8 黄褐色シルトアロクを ごく少量。ほとんど含まない	
PPC380	中東海へ 戻す	II B06a	99229	20560	0.217	0.210	0.144	38.733		HOYR2-1 黒色シルト HOYR8-8 黄褐色シルトアロクを 多量		
	PPC381	中東海へ 戻す	II B06	99229	20556	0.584	0.538	0.466	38.414		HOYR2-1 黒色シルト (細粒じり) 径 1-3φの礫を少量	
	PPC382	中東海へ 戻す	II B06	99225	20506	0.341	0.309	0.522	38.462		HOYR2-1 黒色シルト HOYR8-8 黄褐色シルトアロクを ごく少量。ほとんど含まない	
PPC383	中東海へ 戻す	II B51	99223	20549	0.470	0.363	0.568	38.391		HOYR4-1 褐色シルト HOYR2-1 黒色シルト HOYR8-8 黄褐色シルトアロクを 多量		
	PPC384	中東海へ 戻す	II B51	99223	20657	0.362	0.189	0.550	38.379		HOYR2-1 黒色シルト HOYR8-8 黄褐色シルトアロクを 多量	PPC358と並取→本産種が古い
	PPC385	中東海へ 戻す	II B71	99233	20506	0.375	0.317	0.420	38.431		HOYR2-1 黒色シルト HOYR8-8 黄褐色シルトアロクを ごく少量。ほとんど含まない。粒度 HOYR2-1 黒色シルト HOYR8-8 黄褐色シルトアロクを やや多量。振り方	柱状採 15φ
PPC386	中東海へ 戻す	II B51	99224	20503	0.371	0.282	0.234	38.663		HOYR2-1 黒色シルト HOYR8-8 黄褐色シルトアロクを 多量。粒度 14φ	柱状採 10φ	
	PPC387	中東海へ 戻す	II B06	99228	20557	0.368	0.336	0.356	38.631		HOYR2-1 黒色シルト HOYR8-8 黄褐色シルトアロクを やや多量	SKC2と並取→本産種が新しい
	PPC388	観測時代 中東海へ 戻す	II B51	99224	20505	0.527	0.506	0.425	38.540		HOYR4-1 褐色シルト HOYR2-1 黒色シルト HOYR8-8 黄褐色シルトアロクを 多量	SDC3と並取→本産種が新しい
PPC389	中東海へ 戻す	II B71	99222	20558	0.366	0.285	0.223	38.629		HOYR2-1 黒色シルト HOYR8-8 黄褐色シルトアロクを 多量		
	PPC390	中東海へ 戻す	II B71	99228	20552	0.400	0.362	0.346	38.430		HOYR4-1 褐色シルト HOYR2-1 黒色シルト HOYR8-8 黄褐色シルトアロクを 中量	

2 検出実績

年度	社名	測定項目	アリア	年取	交換機	Y 距離	最大径	最大厚	検査 箇所 (㎡)	風速 測定値 (m/s)	土壌	備考
-	PPC01	中東東へ 改修	II B5	K2	99222	2657	0.343	0.319	0.363	38.604	HVYR2-1 黒色シルト HVYB8-N 黄褐色シルトブロックを 中層 覆り方 HVYR2-1 黒色シルト HVYB8-N 黄褐色シルトブロックを ごへ敷設。ほとんど含まない。 粒径 10mm	PPC02 と重複→新田不明
-	PPC02	中東東へ 改修	II B5	K2	99222	2657	0.442	0.384	0.470	38.501	HVYR2-1 黒色シルト HVYB8-N 黄褐色シルトブロックを 敷設	PPC01 と重複→新田不明
-	PPC03	中東東へ 改修	II B6	K2	99227	2657	0.281	0.230	0.227	38.200	HVYR2-1 黒色シルト (練成り) 径 1-3mm の骨を少量 中層 覆り方	
-	PPC04	中東東へ 改修	II B2	K2	99230	2657	0.518	0.391	0.450	38.427	HVYR2-1 黒色シルト HVYB8-N 黄褐色シルトブロックを ごへ敷設。ほとんど含まない	
-	PPC05	中東東へ 改修	II B5	K2	99223	2656	0.220	0.199	0.253	38.692	HVYR2-1 黒色シルト HVYB8-N 黄褐色シルトブロックを ごへ敷設。ほとんど含まない	PPC06 と重複→本濃層が古い
-	PPC06	中東東へ 改修	II B5	K2	99224	2656	0.542	0.364	0.515	38.435	HVYR2-1 黒色シルト HVYB8-N 黄褐色シルトブロックを 中層	PPC05 と重複→本濃層が新しい
-	PPC06.2	中東東へ 改修	II B5	K2	99224	2657	0.322	0.258	0.554	-	-	
-	PPC07	中東東へ 改修	II B6	K2	99227	2653	0.308	0.286	0.656	38.287	HVYR2-1 黒色シルト HVYB8-N 黄褐色シルトブロックを 敷設 粒径 15mm HVYR2-1 黒色シルト HVYB8-N 黄褐色シルトブロックを 中層 覆り方	粒径 15mm
-	PPC08	中東東へ 改修	II B6	K2	99228	2653	0.399	0.300	0.358	38.528	HVYR2-1 黒色シルト HVYB8-N 黄褐色シルトブロックを 敷設	
-	PPC09	中東東へ 改修	II B5	K2	99223	2656	0.211	0.198	0.553	38.518	HVYR4-1 褐色シルト径 1-3mm の円骨を中層。 HVYB8-N 黄褐色シルトブロックを中層	SDC3 と重複→本濃層が古い
-	PPC00	中東東へ 改修	II B5	K2	99223	2655	0.277	0.220	0.285	38.661	HVYR4-1 褐色シルト径 1cm以下の砂。HVYB8-N 黄褐色 シルトブロックを少量 覆り方	SDC3 と重複→本濃層が古い
-	PPC01	中東東へ 改修	II B6	K2	99225	2654	0.584	0.441	0.575	38.327	HVYR4-1 褐色シルト径 1-3mm の円骨を中層。 HVYB8-N 黄褐色シルトブロックを中層	SDC3 と重複→新田不明
-	PPC02	中東東へ 改修	II B6	K2	99227	2653	0.232	0.231	0.271	38.625	HVYR2-1 黒色シルト HVYB8-N 黄褐色シルトブロックを 敷設	
SDC15	PPC03	新田時代 改修	II B5	K2	99223	2653	0.333	0.284	0.529	38.631	HVYR2-1 黒色シルト HVYB8-N 黄褐色シルトブロックを ごへ敷設。ほとんど含まない	SDC1 と重複→本濃層が古い
-	PPC04	中東東へ 改修	II B5	K2	99224	2655	0.300	0.265	0.188	38.616	HVYR2-1 黒色シルト HVYB8-N 黄褐色シルトブロックを 敷設	SDC3 と重複→新田不明
-	PPC05	中東東へ 改修	II B5	K2	99223	2657	0.356	0.273	0.373	38.582	HVYR2-1 黒色シルト HVYB8-N 黄褐色シルトブロックを 敷設 粒 10%	
-	PPC06	中東東へ 改修	II B6	K2	99225	2656	0.446	0.300	0.299	-	-	
-	PPC07	中東東へ 改修	II B5	K2	99222	2654	0.333	0.318	0.416	38.472	HVYR2-1 黒色シルト HVYB8-N 黄褐色シルトブロックを ごへ敷設。ほとんど含まない	SDC1 と重複→本濃層が古い
-	PPC08	中東東へ 改修	II B5	K2	99224	2652	0.386	0.324	0.512	38.323	HVYR2-1 黒色シルト HVYB8-N 黄褐色シルトブロックを ごへ敷設。ほとんど含まない。 粒径 HVYR2-1 黒色シルト HVYB8-N 黄褐色シルトブロックを 中層 覆り方	SDC1 と重複→本濃層が古い
-	PPC09	中東東へ 改修	II B5	K2	99223	2652	0.528	0.364	0.300	38.586	HVYR2-1 黒色シルト HVYB8-N 黄褐色シルトブロックを 敷設	
-	PPC10	中東東へ 改修	II B5	K2	99222	2652	0.225	0.221	0.251	38.559	HVYR2-1 黒色シルト HVYB8-N 黄褐色シルトブロックを ごへ敷設。ほとんど含まない	SDC1 と重複→本濃層が古い
-	PPC11	中東東へ 改修	II B5	K2	99222	2647	0.422	0.384	0.307	38.823	HVYR2-1 黒色シルト HVYB8-N 黄褐色シルトブロックを 敷設	
-	PPC12	中東東へ 改修	II B6	K2	99227	2656	0.439	0.288	0.497	38.403	HVYR2-1 黒色シルト HVYB8-N 黄褐色シルトブロックを ごへ敷設。ほとんど含まない	
-	PPC13	中東東へ 改修	II B6	K2	99225	2653	0.287	0.256	0.366	38.519	HVYR2-1 黒色シルト HVYB8-N 黄褐色シルトブロックを ごへ敷設。ほとんど含まない	SDC1a と重複→新田不明
-	PPC14	中東東へ 改修	II B5	K2	99223	2652	0.343	0.241	0.328	38.507	HVYR2-1 黒色シルト HVYB8-N 黄褐色シルトブロックを ごへ敷設。ほとんど含まない	
-	PPC15	中東東へ 改修	II B6	K2	99225	2654	0.340	0.325	0.380	38.690	HVYR2-1 黒色シルト HVYB8-N 黄褐色シルトブロックを ごへ敷設。ほとんど含まない	SDC1 の下。SDC1a と重複→新田不明
-	PPC16	中東東へ 改修	II B6	K2	99217	2655	0.549	0.266	0.543	38.422	注記なし	PPC07 と重複→新田不明
-	PPC17	中東東へ 改修	II B6	K2	99216	2655	0.273	0.178	0.330	38.651	注記なし	PPC07 と重複→新田不明
-	PPC18	中東東へ 改修	II B5	K2	99224	2656	0.380	0.294	0.516	38.425	HVYR2-1 黒色シルト HVYB8-N 黄褐色シルトブロックを 敷設	
-	PPC19	中東東へ 改修	II B5	K2	99224	2656	0.310	0.231	0.321	-	-	
-	PPC00	中東東へ 改修	II B2	K2	99233	2656	0.372	0.337	0.492	38.307	HVYR2-1 黒色シルト HVYB8-N 黄褐色シルトブロックを 敷設 粒径 15mm HVYR2-1 黒色シルト HVYB8-N 黄褐色シルトブロックを 中層 覆り方	粒径 15mm
-	PPC01	中東東へ 改修	II B6	K2	99225	2651	0.311	0.247	0.231	38.633	HVYR2-1 黒色シルト HVYB8-N 黄褐色シルトブロックを 敷設	SDC1a と重複→新田不明
-	PPC02	中東東へ 改修	II B6	K2	99225	2650	0.329	0.318	0.216	38.611	HVYR2-1 黒色シルト HVYB8-N 黄褐色シルトブロックを ごへ敷設。ほとんど含まない	SDC1b と重複→新田不明
-	PPC03	中東東へ 改修	II B6	K2	99225	2650	0.283	0.169	0.158	38.680	HVYR2-1 黒色シルト HVYB8-N 黄褐色シルトブロックを ごへ敷設。ほとんど含まない	SDC1b と重複→新田不明
-	PPC04	中東東へ 改修	II B5	K2	99223	2654	0.461	0.315	0.642	38.325	HVYR4-1 褐色シルト径 1cm以下の砂。HVYB8-N 黄褐色 シルトブロックを少量	PPC06 と重複→新田不明
-	PPC05	中東東へ 改修	II B5	K2	99224	2645	0.380	0.351	0.233	38.771	HVYR2-1 黒色シルト HVYB8-N 黄褐色シルトブロックを 敷設	
-	PPC06	中東東へ 改修	II B5	K2	99224	2646	0.209	0.302	0.110	38.628	HVYR2-1 黒色シルト HVYB8-N 黄褐色シルトブロックを ごへ敷設。ほとんど含まない	SDC1c と重複→本濃層が古い
-	PPC07	中東東へ 改修	II B5	K2	99225	2656	0.287	0.407	0.460	38.466	HVYR2-1 黒色シルト HVYB8-N 黄褐色シルトブロックを ごへ敷設。ほとんど含まない	SDC1c と重複→本濃層が古い
-	PPC08	中東東へ 改修	II B5	K2	99223	2646	0.429	0.289	0.181	38.662	HVYR4-1 褐色シルト径 1-3mm の円骨を少量。 HVYB8-N 黄褐色シルトブロックを少量	SDC1c、PPC02 と重複→SDC1c より古く、 PPC02 より新しい
-	PPC09	中東東へ 改修	II B5	K2	99223	2646	0.371	0.299	0.221	38.745	HVYR4-1 褐色シルト径 1cm以下の砂。HVYB8-N 黄褐色 シルトブロックを少量	SDC1c、PPC08 と重複→本濃層が古い
-	PPC00	中東東へ 改修	II B5	K2	99224	2649	0.252	0.233	0.149	38.721	HVYR2-1 黒色シルト HVYB8-N 黄褐色シルトブロックを 敷設	SDC1c と重複→本濃層が古い
-	PPC01	中東東へ 改修	II B5	K2	99223	2646	0.575	0.331	0.523	38.344	HVYR2-1 黒色シルト HVYB8-N 黄褐色シルトブロックを ごへ敷設	SDC1c、PPC02 と重複→本濃層が古い
-	PPC02	中東東へ 改修	II B5	K2	99223	2646	0.558	0.479	0.423	38.694	HVYR2-1 黒色シルト HVYB8-N 黄褐色シルトブロックを 中層	SDC1c、PPC03 と重複→SDC1c より古く、 PPC03 より新しい
-	PPC03	中東東へ 改修	II B6	K2	99228	2654	0.366	0.249	0.159	38.745	HVYR2-1 黒色シルト HVYB8-N 黄褐色シルトブロックを 敷設	PPC09 と重複→新田不明
-	PPC04	中東東へ 改修	II B5	K2	99223	2647	0.212	0.171	0.180	38.747	HVYR2-1 黒色シルト HVYB8-N 黄褐色シルトブロックを 敷設	SDC1c と重複→新田不明

国産 品名	社名	製造時期	アリアド	年配	X線機	Y線機	最大径	最大深	長さ (mm)	重量 (kg)	土壌	備考
SDC1b	PPC35	戦前時代 未詳	II B5	B2	99223	26548	0.28	0.243	0.444	38.685	10YR2/1 黒色シト 10YR8/6 黄褐色シトブロックを 検出	SDC1c と重なり本遺構が古い
-	PPC36	中世末～ 近世	II B5	B2	99223	26547	0.281	0.249	0.121	38.791	10YR2/1 黒色シト 10YR8/6 黄褐色シトブロックを ごく微量、ほとんど含まない。粒状物も 10YR2/1 黒色シト 10YR8/6 黄褐色シトブロックを やや多量 取り去	石積層8cm、SDC1c と重なり→新旧不明
-	PPC37	中世末～ 近世	II B5	B2	99224	26548	0.349	0.237	0.175	38.732	10YR2/1 黒色シト 10YR8/6 黄褐色シトブロックを 中量	SDC1c と重なり→新旧不明
-	PPC38	中世末～ 近世	II B5	B2	99224	26548	0.238	0.302	0.147	38.733	10YR2/1 黒色シト 10YR8/6 黄褐色シトブロックを 中量	3B とは切り合いなし
-	PPC39	中世末～ 近世	II B5a	B2	99221	26500	0.300	0.281	0.187	38.762	10YR2/1 黒色シト 10YR8/6 黄褐色シトブロックを 中量	SDC1c と重なり→新旧不明
-	PPC40	中世末～ 近世	II B5c	B2	99220	26500	0.347	0.269	0.383	38.577	10YR2/1 黒色シト 10YR8/6 黄褐色シトブロックを 中量	SDC1c と重なり→新旧不明
-	PPC41	中世末～ 近世	II B5	B2	99224	26548	0.291	0.192	0.132	38.606	10YR2/1 黒色シト 10YR8/6 黄褐色シトブロックを 中量	SDC1c と重なり→本遺構が古い
-	PPC42	中世末～ 近世	II B5a	B2	99221	26500	0.209	0.147	0.089	38.869	10YR2/1 黒色シト 10YR8/6 黄褐色シトブロックを ごく微量、ほとんど含まない	SDC1c と重なり→新旧不明
SDC1d	PPC43	戦前時代 未詳	II B4a	B2	99219	26500	0.429	0.397	0.580	38.670	10YR2/1 黒色シト 10YR8/6 黄褐色シトブロックを 検出	SDC1c と重なり→新旧不明
-	PPC44	中世末～ 近世	II B5	B2	99222	26506	0.406	0.276	0.211	38.201	10YR2/1 黒色シト 10YR8/6 黄褐色シトブロックを 中量	SDC3 と重なり→本遺構が古い
-	PPC45	中世末～ 近世	II B5a	B2	99220	26501	0.201	0.186	0.145	38.818	10YR2/1 黒色シト 10YR8/6 黄褐色シトブロックを ごく微量、ほとんど含まない	SDC1c と重なり→新旧不明
-	PPC46	中世末～ 近世	II B5	B2	99222	26506	0.293	0.252	0.160	38.848	10YR2/1 黒色シト 10YR8/6 黄褐色シトブロックを 中量	SDC3 と重なり→本遺構が古い
-	PPC47	中世末～ 近世	II B5	B2	99222	26548	0.252	0.189	0.216	38.796	10YR2/1 黒色シト 10YR8/6 黄褐色シトブロックを 中量	SDC1c と重なり→新旧不明
-	PPC48	中世末～ 近世	II B5	B2	99221	26547	0.281	0.264	0.431	38.713	10YR2/1 黒色シト 10YR8/6 黄褐色シトブロックを 中量	SDC1c と重なり→新旧不明
-	PPC49	中世末～ 近世	II B4a	B2	99219	26501	0.298	0.243	0.385	38.590	10YR2/1 黒色シト 10YR8/6 黄褐色シトブロックを 検出	SDC1c と重なり→新旧不明
-	PPC50	中世末～ 近世	II B5a	B2	99221	26501	0.329	0.185	0.201	38.845	10YR2/1 黒色シト 10YR8/6 黄褐色シトブロックを ごく微量、ほとんど含まない	SDC1c と重なり→新旧不明
-	PPC51	中世末～ 近世	II B5	B2	99224	26547	0.415	0.362	0.259	38.700	10YR2/1 黒色シト 10YR8/6 黄褐色シトブロックを やや多量	SDC1d と重なり→本遺構が古い
-	PPC52	中世末～ 近世	II B4a	B2	99219	26502	0.203	0.176	0.123	38.843	10YR2/1 黒色シト 10YR8/6 黄褐色シトブロックを 検出	SDC1c と重なり→新旧不明
-	PPC53	中世末～ 近世	II B5	B2	99222	26548	0.213	0.171	0.173	38.842	10YR2/1 黒色シト 10YR8/6 黄褐色シトブロックを 検出	SDC1c と重なり→新旧不明
-	PPC54	中世末～ 近世	II B5a	B2	99223	26501	0.203	0.163	0.116	38.823	10YR2/1 黒色シト 10YR8/6 黄褐色シトブロックを ごく微量、ほとんど含まない	SDC1b と重なり→本遺構が古い
-	PPC55	中世末～ 近世	II B4	B2	99220	26548	0.223	0.198	0.167	38.885	10YR2/1 黒色シト 10YR8/6 黄褐色シトブロックを ごく微量、ほとんど含まない	SDC1c と重なり→新旧不明
-	PPC56	中世末～ 近世	II B5a	B2	99222	26500	0.282	0.257	0.228	38.719	10YR2/1 黒色シト 10YR8/6 黄褐色シトブロックを 検出	2020年C1(後編)、SDC1c と重なり→新旧不明

2 検出遺構

探検 経緯	柱文	築年 推定	グランド レイアウト	年度 大出埋	Y埋埋	最大尺 最大尺	最大尺 最大尺	最大尺 最大尺	最大尺 最大尺	備考
SRE08	PPC07	平安 時代	E 107a	9020	2021	0.61	0.69	0.67	37.628	
SRE08	PPC08	平安 時代	E 107b	9020	2032	0.62	0.64	0.65	37.931	掘上から 以東遺構 が出土
SRE08	PPC09	平安 時代	E 108a	9027	2033	0.65	0.73	0.79	37.647	
SRE08	PPC40	平安 時代	E 108b	9028	2073	0.89	0.89	-	-	SDD2で確 定される
SRE08	PPC41	平安 時代	E 109a	9029	2033	0.67	0.68	0.70	37.899	
SRE08	PPC42	平安 時代	E 107b	9020	2033	1.91	0.87	0.80	38.083	
-	PPC43	平安 時代	E 107c	9028	2058	0.30	0.23	0.53	38.811	
-	PPC44	平安 時代	E 107c	9028	2058	0.30	0.20	0.50	38.810	
SRE08	PPC45	平安 時代	E 108	9028	2036	0.87	0.70	0.30	38.073	
SRE08	PPC46	平安 時代	E 108a	9029	2036	0.96	0.83	0.52	37.782	
-	PPC47	平安 時代	E 109a	9027	2036	0.30	0.21	0.33	38.131	
SRE08	PPC48	平安 時代	E 109b	9020	2037	1.07	0.92	0.68	37.260	
SRE08	PPC49	平安 時代	E 102a	9028	2078	0.84	0.80	0.470	37.731	
SRE08	PPC50	平安 時代	E 102b	9025	2079	0.84	0.82	0.617	37.677	
SRE08	PPC51	平安 時代	E 102a	9026	2081	0.72	0.68	0.621	37.807	
SRE08	PPC52	平安 時代	E 102b	9027	2083	0.84	0.73	0.576	37.608	
SRE11	PPC53	平安 時代	E 102c	9025	2087	0.82	0.80	0.370	37.765	
SRE11	PPC54	平安 時代	E 109a	9020	2030	0.94	0.33	0.366	38.046	
SRE11	PPC55	平安 時代	E 104a	9024	2084	0.60	0.68	0.48	37.721	
-	PPC56	平安 時代	E 104b	9024	2074	0.26	0.29	0.181	38.273	
SRE11	PPC57	平安 時代	E 104c	9024	2080	0.78	0.68	0.42	38.133	
SRE11	PPC58	平安 時代	E 104a	9024	2080	0.81	0.78	0.60	37.845	掘上から 砂土層跡 跡-刀土 層跡が 出土
SRE11	PPC59	平安 時代	E 104a	9024	2081	0.97	0.89	0.62	37.817	
-	PPC60	平安 時代	E 109b	9028	2078	0.20	0.28	0.128	38.289	
SRE11	PPC61	平安 時代	E 104a	9025	2084	0.81	0.83	0.523	37.711	
SRE11	PPC62	平安 時代	E 104c	9023	2085	1.03	0.97	0.501	37.711	
SRE11	PPC64	平安 時代	E 104c	9023	2087	0.75	0.96	0.386	37.774	
SRE11	PPC65	平安 時代	E 109a	9028	2083	1.04	0.93	0.753	37.653	
SRE11	PPC66	平安 時代	E 104c	9024	2088	1.07	0.81	0.30	37.644	
SRE11	PPC67	平安 時代	E 104a	9020	2081	1.07	0.81	0.82	37.665	
SRE11	PPC68	平安 時代	E 109c	9028	2089	0.81	0.76	0.51	37.667	掘上から 砂土層跡 が出土
SRE11	PPC69	平安 時代	E 109c	9027	2088	1.00	0.92	0.50	37.657	
SRE11	PPC90	平安 時代	E 109c	9027	2087	0.93	0.96	0.54	37.733	
SRE11	PPC91	平安 時代	E 104c	9020	2086	0.92	0.87	0.538	37.748	
-	PPC42	平安 時代	E 102a	9028	2036	0.30	0.29	0.181	38.257	
-	PPC43	平安 時代	E 102b	9028	2036	0.85	0.71	0.482	38.196	
-	PPC44	平安 時代	E 102c	9028	2037	0.30	0.27	0.176	38.153	
-	PPC45	平安 時代	E 102d	9028	2037	0.28	0.22	0.088	38.272	
SRE11	PPC96	平安 時代	E 102a	9027	2081	0.61	0.83	0.296	38.011	
-	PPC97	平安 時代	E 102b	9029	2072	0.60	0.77	0.167	38.286	
-	PPC98	平安 時代	E 102c	9028	2075	0.74	0.64	0.311	37.955	
-	PPC99	平安 時代	E 102d	9028	2075	0.23	0.29	0.218	38.045	
-	PPC90	平安 時代	E 102a	9027	2076	0.25	0.20	0.117	38.194	
-	PPC91	平安 時代	E 102b	9028	2076	0.31	0.24	0.204	38.051	
-	PPC92	平安 時代	E 102c	9028	2067	0.32	0.29	0.146	38.207	
-	PPC93	平安 時代	E 102d	9028	2067	0.28	0.28	0.144	38.173	
-	PPC94	平安 時代	E 102e	9025	2077	0.28	0.24	0.127	38.205	
-	PPC95	平安 時代	E 102f	9027	2079	0.33	0.35	0.169	38.044	
-	PPC96	平安 時代	E 102g	9026	2080	0.23	0.26	0.31	38.123	

探検 経緯	柱文	築年 推定	グランド レイアウト	年度 大出埋	Y埋埋	最大尺 最大尺	最大尺 最大尺	最大尺 最大尺	最大尺 最大尺	備考
SRE09	PPC200	平安 時代	E 102a	9029	2030	0.60	0.32	0.199	37.686	
-	PPC208	平安 時代	E 102a	9005	2030	0.531	0.308	0.186	38.364	
-	PPC209	平安 時代	E 102a	9022	2049	0.387	0.300	0.218	38.179	
-	PPC310	平安 時代	E 102a	9020	2049	0.359	0.311	0.156	38.304	
-	PPC311	平安 時代	E 102a	9027	2052	0.308	0.301	0.172	38.143	
-	PPC312	平安 時代	E 102a	9027	2052	0.225	0.288	0.130	38.180	
-	PPC313	平安 時代	E 109a	9027	2058	0.54	0.397	0.153	38.006	
SRE09	PPC314	平安 時代	E 104a	9027	2051	1.202	1.142	0.368	38.088	掘上から 刀土層跡 が出土
-	PPC315	平安 時代	E 104a	9029	2058	0.540	0.309	0.221	38.111	
-	PPC316	平安 時代	E 104a	9025	2058	0.253	0.263	0.145	38.077	
-	PPC317	平安 時代	E 104a	9025	2052	0.226	0.216	0.130	38.109	
SRE09	PPC318	平安 時代	E 102a	9025	2061	0.958	0.900	0.300	38.213	掘上から 砂土層跡 が出土
SRE09	PPC319	平安 時代	E 102c	9025	2058	1.000	0.951	0.199	38.363	
SRE09	PPC320	平安 時代	E 104a	9025	2056	1.02	0.835	0.339	38.204	掘上から 刀土層跡 が出土
SRE09	PPC321	平安 時代	E 104a	9028	2059	1.121	1.073	0.324	37.958	柱文から 掘上-掘 上から 刀土層跡 が出土
-	PPC322	平安 時代	E 104a	9020	2051	0.603	0.409	0.119	38.220	
-	PPC323	平安 時代	E 104a	9025	2048	0.282	0.244	0.120	38.057	
SRE09	PPC324	平安 時代	E 102a	9023	2061	0.891	0.861	0.353	38.178	
SRE09	PPC325	平安 時代	E 102a	9025	2061	0.941	0.800	0.365	38.100	
-	PPC326	平安 時代	E 102a	9020	2032	0.275	0.241	0.213	38.074	
-	PPC327	平安 時代	E 102a	9025	2059	0.185	0.136	0.049	38.140	
SRE09	PPC328	平安 時代	E 109a	9026	2078	0.788	0.629	0.312	38.096	
SRE09	PPC329	平安 時代	E 109a	9027	2078	0.616	0.583	0.381	38.044	
SRE09	PPC330	平安 時代	E 109a	9028	2079	0.598	0.563	0.356	37.862	
-	PPC331	平安 時代	E 109a	9024	2075	0.286	0.281	0.187	38.251	
-	PPC332	平安 時代	E 109a	9025	2077	0.284	0.215	0.142	38.263	
SRE11	PPC333	平安 時代	E 109a	9029	2081	1.189	0.881	0.379	37.849	
SRE11	PPC334	平安 時代	E 109a	9026	2082	1.427	1.096	0.696	37.769	
SRE11	PPC335	平安 時代	E 109a	9024	2082	0.829	0.663	0.286	-	
SRE11	PPC336	平安 時代	E 109a	9024	2082	1.067	0.832	0.566	37.699	
SRE11	PPC337	平安 時代	E 109a	9023	2081	0.703	0.597	0.280	38.000	
SRE11	PPC338	平安 時代	E 109a	9022	2079	0.533	0.527	0.282	38.006	
SRE11	PPC339	平安 時代	E 109a	9023	2079	1.161	1.045	0.590	37.625	
SRE11	PPC340	平安 時代	E 109a	9022	2077	1.000	0.882	0.635	37.774	柱文と 掘上 から 刀土層跡 が出土
SRE11	PPC341	平安 時代	E 109a	9022	2077	0.796	0.667	0.368	38.029	
SRE11	PPC342	平安 時代	E 109a	9022	2075	1.171	0.981	0.725	37.706	
SRE11	PPC343	平安 時代	E 109a	9021	2072	1.132	1.028	0.543	37.655	
SRE11	PPC344	平安 時代	E 109a	9024	2084	0.636	0.597	0.276	37.900	
SRE11	PPC345	平安 時代	E 109a	9026	2085	1.008	0.964	0.366	37.863	
SRE11	PPC346	平安 時代	E 109a	9024	2078	0.582	0.601	0.445	37.988	
SRE11	PPC347	平安 時代	E 109a	9021	2082	1.003	0.909	0.611	37.681	
SRE11	PPC348	平安 時代	E 109a	9022	2085	0.600	0.554	0.420	37.848	
SRE11	PPC349	平安 時代	E 109a	9027	2078	0.990	0.974	0.698	37.821	
SRE11	PPC350	平安 時代	E 109a	9027	2079	0.216	0.207	0.102	38.148	
-	PPC351	平安 時代	E 102a	9025	2062	0.265	0.258	0.116	38.288	
-	PPC352	平安 時代	E 102a	9025	2063	0.439	0.354	0.219	38.295	

調査年度	地区	地区コード	アグリコード	年度	入植率	Y植樹	植込区	植込区面積	植込区面積	備考
-	PPC03	中野東区	E B10a	K3	9929	2669	0.82	0.23	0.05	38,324
-	PPC04	中野東区	E B10b	K3	9928	2075	0.31	0.29	0.17	28,258
-	PPC05	中野東区	E B10c	K3	9928	2677	0.48	0.84	0.13	28,280
-	PPC06	中野東区	E B10d	K3	9926	2677	0.37	0.29	0.62	26,251
-	PPC07	中野東区	E B10e	K3	9926	2677	0.26	0.28	0.28	30,190
-	PPC08	中野東区	E B10f	K3	9925	2678	0.27	0.21	0.15	26,241
-	PPC09	中野東区	E B10g	K3	9925	2078	0.19	0.19	0.09	26,272
-	PPC10	中野東区	E B10h	K3	9926	2678	0.05	0.87	0.09	26,289
-	PPC11	中野東区	E B0g	K3	9925	2677	0.26	0.29	0.22	26,193
-	PPC12	中野東区	E B10i	K3	9926	2679	0.27	0.81	0.43	28,241
SBC3	PPC13	中野東区	E B0a	K3	9921	2680	0.63	0.70	0.26	36,065
-	PPC14	中野東区	E B10j	K3	9928	2081	0.19	0.62	0.42	26,014
-	PPC15	中野東区	E B0g	K3	9927	2677	0.86	0.77	0.11	28,271
-	PPC16	中野東区	E B0g	K3	9929	2677	0.57	0.26	0.29	28,136
-	PPC17	中野東区	E B11a	K3	9928	2081	0.07	0.49	0.70	28,105
SBC2	PPC18	中野東区	E B12a	K3	9929	2672	1.83	1.08	0.34	36,088
-	PPC19	中野東区	E B14a	K3	9928	2081	0.63	0.35	0.20	26,180
SBC3	PPC20	中野東区	E B10k	K3	9929	2662	1.05	0.89	0.47	28,090
SBC3	PPC21	中野東区	E B10l	K3	9929	2659	0.66	0.69	0.66	28,114
SBC3	PPC22	中野東区	E B10m	K3	9928	2082	1.04	1.00	0.20	28,220
SBC3	PPC23	中野東区	E B11l	K3	9929	2656	0.64	0.98	0.20	28,254
SBC3	PPC24	中野東区	E B11j	K3	9922	2656	1.05	0.89	0.20	28,286
-	PPC25	中野東区	E B11k	K3	9920	2658	0.38	0.36	0.40	28,308
-	PPC26	中野東区	E B0a	K3	9923	2654	0.39	0.32	0.32	28,328
SBC4	PPC27	中野東区	E B0a	K3	9928	2081	1.02	0.67	0.67	27,843
-	PPC28	中野東区	E B0g	K3	9927	2675	0.21	0.27	0.61	28,370
SBC4	PPC29	中野東区	E B0a	K3	9929	2673	1.25	1.17	0.59	27,929
-	PPC30	中野東区	E B0k	K3	9924	2650	0.54	0.11	0.15	28,288
-	PPC31	中野東区	E B0k	K3	9924	2651	0.38	0.14	0.02	28,124
-	PPC32	中野東区	E B0k	K3	9924	2650	0.715	0.05	0.84	28,207
-	PPC33	中野東区	E B0k	K3	9927	2662	0.59	0.29	0.63	28,254
-	PPC34	中野東区	E B0k	K3	9927	2661	0.27	0.28	0.21	28,267
-	PPC35	中野東区	E B0k	K3	9927	2662	0.37	0.32	0.51	28,286
-	PPC36	中野東区	E B0k	K3	9927	2674	0.67	0.14	0.70	28,116
-	PPC37	中野東区	E B0k	K3	9927	2662	0.31	0.25	0.18	28,266
-	PPC38	中野東区	E B1p	K3	9923	2677	0.80	0.28	0.34	28,298
-	PPC39	中野東区	E B1q	K3	9923	2677	0.89	0.24	0.39	28,632
-	PPC40	中野東区	E B0a	K3	9925	2674	0.28	0.20	0.38	28,188
SBC2	PPC41	中野東区	E B7a	K3	9923	2672	0.60	0.64	0.36	28,146
-	PPC42	中野東区	E B0a	K3	9926	2673	0.64	0.53	0.70	27,796
SBC2	PPC43	中野東区	E B7a	K3	9922	2672	0.29	0.24	0.37	28,128
-	PPC44	中野東区	E B7a	K3	9923	2671	0.31	0.29	0.28	28,344
-	PPC45	中野東区	E B7a	K3	9923	2670	0.28	0.25	0.41	28,161
-	PPC46	中野東区	E B7p	K3	9922	2678	0.17	0.32	0.26	28,263
-	PPC47	中野東区	E B7a	K3	9920	2699	0.29	0.16	0.71	28,120
SBC2	PPC48	中野東区	E B7a	K3	9920	2675	0.43	0.37	0.71	27,990
-	PPC49	中野東区	E B7p	K3	9921	2677	0.60	0.26	0.52	28,094
-	PPC50	中野東区	E B7p	K3	9920	2677	0.80	0.37	0.24	28,016
SBC1	PPC51	中野東区	E B7a	K3	9923	2673	0.26	0.20	0.24	28,229
-	PPC52	中野東区	E B7a	K3	9923	2671	0.28	0.27	0.31	28,277
-	PPC53	中野東区	E B7a	K3	9922	2668	0.29	0.29	0.16	28,243
-	PPC54	中野東区	E B7a	K3	9922	2669	0.36	0.17	0.38	28,217

本制度適用

調査年度	地区	地区コード	アグリコード	年度	入植率	Y植樹	植込区	植込区面積	植込区面積	備考
-	PPC08	中野東区	E B10e	K3	9929	2675	0.42	0.30	0.53	28,106
-	PPC09	中野東区	E B10f	K3	9929	2672	0.58	0.70	0.19	28,419
-	PPC10	中野東区	E B10g	K3	9922	2676	0.29	0.13	0.26	28,344
-	PPC11	中野東区	E B10h	K3	9929	2675	0.58	0.38	0.21	28,304
SBC2	PPC12	中野東区	E B10i	K3	9928	2676	0.41	0.50	0.48	28,180
-	PPC13	中野東区	E B10j	K3	9924	2672	0.32	0.26	0.30	28,591
-	PPC14	中野東区	E B10k	K3	9925	2672	0.27	0.16	0.37	28,520
-	PPC15	中野東区	E B10l	K3	9928	2672	0.38	0.40	0.24	28,520
-	PPC16	中野東区	E B10m	K3	9920	2670	0.30	0.28	0.14	28,263
-	PPC17	中野東区	E B10n	K3	9920	2672	0.51	0.26	0.28	28,308
SBC2	PPC18	中野東区	E B10o	K3	9920	2673	0.66	0.81	0.13	28,110
SBC2	PPC19	中野東区	E B10p	K3	9921	2672	0.51	0.30	0.48	28,086
-	PPC20	中野東区	E B10q	K3	9923	2672	0.22	0.20	0.17	28,286
SBC2	PPC21	中野東区	E B10r	K3	9924	2676	0.62	0.45	0.48	28,193
SBC2	PPC22	中野東区	E B10s	K3	9920	2676	0.36	0.32	0.64	28,017
-	PPC23	中野東区	E B10t	K3	9920	2678	0.07	0.39	0.35	28,296
SBC1	PPC24	中野東区	E B10u	K3	9925	2671	0.60	0.36	0.63	28,222
-	PPC25	中野東区	E B10v	K3	9925	2670	0.28	0.20	0.58	28,261
-	PPC26	中野東区	E B10w	K3	9925	2670	0.28	0.22	0.30	28,422
-	PPC27	中野東区	E B10x	K3	9920	2669	0.43	0.315	0.78	28,102
SBC2	PPC28	中野東区	E B10y	K3	9920	2669	0.21	0.23	0.15	28,203
-	PPC29	中野東区	E B10z	K3	9921	2668	0.32	0.29	0.16	28,346
-	PPC30	中野東区	E B10aa	K3	9929	2671	0.45	0.40	0.21	28,263
-	PPC31	中野東区	E B10ab	K3	9923	2675	0.19	0.30	0.44	28,289
-	PPC32	中野東区	E B10ac	K3	9922	2676	0.36	0.38	0.51	28,123
-	PPC33	中野東区	E B10ad	K3	9920	2670	0.94	0.28	0.42	28,327
SBC1	PPC34	中野東区	E B10ae	K3	9929	2673	0.30	0.36	0.71	28,120
-	PPC35	中野東区	E B10af	K3	9925	2670	0.49	0.33	0.63	28,249
-	PPC36	中野東区	E B10ag	K3	9925	2670	0.27	0.25	0.60	28,327
-	PPC37	中野東区	E B10ah	K3	9928	2669	0.43	0.315	0.78	28,102
-	PPC38	中野東区	E B10ai	K3	9928	2671	0.35	0.375	0.40	28,321
SBC1	PPC39	中野東区	E B10aj	K3	9923	2671	0.29	0.28	0.44	28,170
-	PPC40	中野東区	E B10ak	K3	9923	2671	0.39	0.21	0.43	28,121
-	PPC41	中野東区	E B10al	K3	9928	2670	0.30	0.29	0.62	28,106
-	PPC42	中野東区	E B10am	K3	9926	2670	0.32	0.29	0.33	28,515
-	PPC43	中野東区	E B10an	K3	9927	2669	0.271	0.26	0.36	28,414
-	PPC44	中野東区	E B10ao	K3	9920	2672	0.231	0.217	0.327	28,265
-	PPC45	中野東区	E B10ap	K3	9929	2673	0.573	0.299	0.283	28,554
SBC2	PPC46	中野東区	E B10aq	K3	9929	2675	0.48	0.219	0.771	27,792
-	PPC47	中野東区	E B10ar	K3	9927	2669	0.104	0.27	0.345	28,245
-	PPC48	中野東区	E B10as	K3	9923	2669	0.387	0.217	0.277	28,203
-	PPC49	中野東区	E B10at	K3	9926	2666	0.297	0.256	0.32	28,283
-	PPC50	中野東区	E B10au	K3	9928	2667	0.553	0.398	0.48	28,420
SBC2	PPC51	中野東区	E B10av	K3	9929	2665	0.60	0.380	0.641	28,227
-	PPC52	中野東区	E B10aw	K3	9929	2665	0.32	0.25	0.58	28,313
-	PPC53	中野東区	E B10ax	K3	9929	2666	0.306	0.296	0.553	28,218
-	PPC54	中野東区	E B10ay	K3	9929	2666	0.228	0.220	0.543	28,228
-	PPC55	中野東区	E B10az	K3	9920	2667	0.416	0.375	0.376	28,488
-	PPC56	中野東区	E B10ba	K3	9923	2667	0.516	0.372	0.333	28,551
-	PPC57	中野東区	E B10bb	K3	9923	2674	0.412	0.311	0.404	28,224
-	PPC58	中野東区	E B10bc	K3	9923	2675	0.282	0.235	0.347	28,328
-	PPC59	中野東区	E B10bd	K3	9929	2671	0.353	0.298	0.209	28,010

2 検出遺構

遺構 番号	柱状 基礎	中継 基礎	アクリル ボード	年度	入地層	Y座標	検出 最大	検出 最小	検出 高さ	検出 長さ	備考
SBC27	PPC57	中継基礎 代表	日 86a	R3	99228	26573	0.487	0.391	0.735	38.067	
-	PPC58	中継基礎 一般	日 86a	R3	99229	26568	0.521	0.387	0.568	38.190	
-	PPC59	中継基礎 一般	日 86a	R3	99229	26567	0.480	0.401	0.518	38.278	
-	PPC60	中継基礎 一般	日 86a	R3	99229	26566	0.344	0.311	0.478	38.381	
-	PPC61	中継基礎 一般	日 86a	R3	99228	26567	0.376	0.280	0.421	38.361	
-	PPC62	中継基礎 一般	日 87a	R3	99232	26566	0.316	0.255	0.362	38.243	
-	PPC63	中継基礎 一般	日 87a	R3	99231	26566	0.386	0.321	0.275	38.577	
-	PPC64	中継基礎 一般	日 86a	R3	99228	26567	0.316	0.282	0.445	38.369	
-	PPC65	中継基礎 一般	日 86a	R3	99228	26567	0.279	0.230	0.441	38.400	
-	PPC66	中継基礎 一般	日 86a	R3	99226	26570	0.413	0.376	0.727	38.116	
SBC24	PPC67	中継基礎 代表	日 87a	R3	99230	26565	0.277	0.248	0.403	38.369	
-	PPC68	中継基礎 一般	日 86a	R3	99227	26569	0.403	0.405	0.606	38.219	
-	PPC69	中継基礎 一般	日 86a	R3	99227	26569	0.299	0.277	0.483	38.313	
-	PPC70	中継基礎 一般	日 86a	R3	99227	26570	0.330	0.284	0.332	38.510	
-	PPC71	中継基礎 一般	日 86a	R3	99227	26570	0.336	0.333	0.222	38.661	
SBC26	PPC72	中継基礎 代表	日 86a	R3	99227	26570	0.554	0.500	0.500	38.390	
SBC15	PPC73	中継基礎 代表	日 87a	R3	99230	26569	0.287	0.274	0.513	38.184	
SBC29	PPC74	中継基礎 代表	日 86a	R3	99228	26571	0.461	0.354	0.365	38.449	
-	PPC75	中継基礎 一般	日 86a	R3	99228	26571	0.251	0.237	0.528	38.317	
-	PPC76	中継基礎 一般	日 86a	R3	99228	26570	0.302	0.258	0.419	38.440	
-	PPC77	中継基礎 一般	日 86a	R3	99228	26569	0.260	0.256	0.163	38.363	
-	PPC78	中継基礎 一般	日 86a	R3	99227	26572	0.218	0.177	0.139	38.654	
-	PPC79	中継基礎 一般	日 86a	R3	99227	26572	0.274	0.242	0.377	38.468	
-	PPC80	中継基礎 一般	日 86a	R3	99228	26569	0.366	0.336	0.645	38.170	
-	PPC81	中継基礎 一般	日 86a	R3	99227	26569	0.348	0.322	0.483	38.400	
SBC15	PPC82	中継基礎 代表	日 86a	R3	99227	26569	0.445	0.287	0.442	38.404	
-	PPC83	中継基礎 一般	日 86a	R3	99229	26569	0.373	0.302	0.699	38.058	
SBC15	PPC84	中継基礎 代表	日 86a	R3	99229	26569	0.335	0.297	0.545	38.227	
-	PPC85	中継基礎 一般	日 86a	R3	99229	26570	0.536	0.446	0.434	38.315	
-	PPC86	中継基礎 一般	日 86a	R3	99228	26569	0.459	0.371	0.645	38.311	
-	PPC87	中継基礎 一般	日 86a	R3	99228	26568	0.435	0.311	0.556	38.277	
-	PPC88	中継基礎 一般	日 86a	R3	99229	26568	0.315	0.282	0.403	38.410	
SBC25	PPC89	中継基礎 代表	日 87a	R3	99229	26567	0.392	0.359	0.578	38.173	
-	PPC90	中継基礎 一般	日 87a	R3	99230	26567	0.357	0.303	0.537	38.329	
-	PPC91	中継基礎 一般	日 87a	R3	99230	26567	0.455	0.420	0.600	38.250	
-	PPC92	中継基礎 一般	日 87a	R3	99230	26567	0.421	0.324	0.490	38.228	
-	PPC93	中継基礎 一般	日 87a	R3	99230	26567	0.209	0.207	0.196	38.564	
-	PPC94	中継基礎 一般	日 87a	R3	99231	26568	0.250	0.225	0.282	38.530	
-	PPC95	中継基礎 一般	日 87a	R3	99231	26569	0.343	0.306	0.638	38.147	
SBC26	PPC96	中継基礎 代表	日 86a	R3	99229	26566	0.443	0.306	0.400	38.496	
-	PPC97	中継基礎 一般	日 86a	R3	99229	26566	0.279	0.274	0.495	38.361	
-	PPC98	中継基礎 一般	日 87a	R3	99230	26566	0.265	0.257	0.483	38.386	
-	PPC99	中継基礎 一般	日 87a	R3	99230	26566	0.487	0.425	0.442	38.412	
-	PPC100	中継基礎 一般	日 87a	R3	99230	26566	0.458	0.216	0.376	38.381	
-	PPC700	中継基礎 一般	日 87a	R3	99230	26565	0.322	0.283	0.263	38.254	
-	PPC701	中継基礎 一般	日 87a	R3	99232	26567	0.261	0.230	0.434	38.242	
-	PPC702	中継基礎 一般	日 86a	R3	99227	26568	0.446	0.388	0.546	38.280	
-	PPC703	中継基礎 一般	日 86a	R3	99226	26568	0.361	0.241	0.213	38.585	
-	PPC704	中継基礎 一般	日 86a	R3	99235	26563	0.553	0.424	0.603	38.221	
-	PPC705	中継基礎 一般	日 86a	R3	99235	26562	0.318	0.258	0.644	38.183	
-	PPC706	中継基礎 一般	日 87a	R3	99235	26562	0.366	0.290	0.455	38.406	
-	PPC707	中継基礎 一般	日 86a	R3	99229	26569	0.234	0.126	0.446	38.416	

遺構 番号	柱状 基礎	中継 基礎	アクリル ボード	年度	入地層	Y座標	検出 最大	検出 最小	検出 高さ	検出 長さ	備考
SBC25	PPC708	中継基礎 代表	日 86a	R3	99226	26566	0.332	0.304	0.521	38.352	
-	PPC709	中継基礎 一般	日 86a	R3	99226	26569	0.305	0.284	0.163	38.673	
SBC27	PPC710	中継基礎 代表	日 86a	R3	99226	26569	0.302	0.274	0.647	38.229	
-	PPC711	中継基礎 一般	日 87a	R3	99235	26561	0.341	0.257	0.233	38.656	
-	PPC712	中継基礎 一般	日 86a	R3	99236	26562	0.303	0.289	0.333	38.323	
SBC6	PPC713	中継基礎 代表	日 87a	R3	99234	26563	1.081	0.961	0.382	38.414	
-	PPC714	中継基礎 一般	日 86a	R3	99235	26562	0.623	0.389	0.623	38.220	
-	PPC715	中継基礎 一般	日 86a	R3	99236	26564	0.523	0.382	0.383	38.175	
-	PPC716	中継基礎 一般	日 86a	R3	99238	26563	0.278	0.242	0.314	38.202	
-	PPC717	中継基礎 一般	日 86a	R3	99238	26562	0.638	0.471	0.317	38.187	
SBC6	PPC718	中継基礎 代表	日 86a	R3	99236	26563	1.178	0.991	0.282	38.345	
-	PPC719	中継基礎 一般	日 86a	R3	99237	26563	0.583	0.484	0.222	38.286	
-	PPC720	中継基礎 一般	日 86a	R3	99238	26566	0.917	0.706	0.233	38.225	
-	PPC721	中継基礎 一般	日 87a	R3	99232	26565	1.193	0.934	0.228	38.656	
SBC6	PPC722	中継基礎 代表	日 87a	R3	99232	26563	1.068	0.863	0.581	38.241	
-	PPC723	中継基礎 一般	日 86a	R3	99226	26567	0.285	0.271	0.305	38.514	
-	PPC724	中継基礎 一般	日 87a	R3	99232	26566	0.461	0.403	0.238	38.355	
-	PPC725	中継基礎 一般	日 86a	R3	99228	26565	0.325	0.277	0.577	38.277	
-	PPC726	中継基礎 一般	日 86a	R3	99228	26565	0.308	0.214	0.389	38.478	
-	PPC727	中継基礎 一般	日 86a	R3	99228	26565	0.274	0.231	0.425	-	
-	PPC728	中継基礎 一般	日 86a	R3	99228	26565	0.230	0.210	0.153	38.717	
-	PPC729	中継基礎 一般	日 86a	R3	99227	26565	0.298	0.226	0.244	38.337	
-	PPC730	中継基礎 一般	日 86a	R3	99228	26564	0.270	0.235	0.505	38.336	
SBC24	PPC731	中継基礎 代表	日 86a	R3	99226	26564	0.461	0.348	0.609	38.277	
-	PPC732	中継基礎 一般	日 86a	R3	99226	26564	0.378	0.403	0.360	38.550	
-	PPC733	中継基礎 一般	日 86a	R3	99226	26564	0.345	0.298	0.516	38.363	
-	PPC734	中継基礎 一般	日 86a	R3	99226	26567	0.397	0.355	0.466	38.377	
-	PPC735	中継基礎 一般	日 86a	R3	99226	26567	0.299	0.247	0.342	38.522	
SBC26	PPC736	中継基礎 代表	日 86a	R3	99226	26567	0.480	0.400	0.365	38.450	
-	PPC737	中継基礎 一般	日 87a	R3	99231	26567	0.440	0.288	0.603	38.228	
-	PPC738	中継基礎 一般	日 87a	R3	99231	26567	0.277	0.208	0.576	38.270	
-	PPC739	中継基礎 一般	日 86a	R3	99225	26566	0.310	0.273	0.506	38.323	
-	PPC740	中継基礎 一般	日 86a	R3	99228	26564	0.462	0.342	0.643	38.198	
-	PPC741	中継基礎 一般	日 86a	R3	99229	26564	0.428	0.350	0.718	38.079	
-	PPC742	中継基礎 一般	日 86a	R3	99228	26563	0.288	0.246	0.263	38.590	
-	PPC743	中継基礎 一般	日 86a	R3	99226	26565	0.402	0.370	0.519	38.364	
SBC25	PPC744	中継基礎 代表	日 86a	R3	99226	26563	0.520	0.409	0.576	38.384	
-	PPC745	中継基礎 一般	日 86a	R3	99227	26564	0.318	0.313	0.403	38.468	
-	PPC746	中継基礎 一般	日 86a	R3	99226	26565	0.272	0.226	0.401	38.474	
-	PPC747	中継基礎 一般	日 86a	R3	99226	26565	0.282	0.266	0.438	38.465	
-	PPC748	中継基礎 一般	日 86a	R3	99228	26565	0.291	0.264	0.534	38.326	
-	PPC749	中継基礎 一般	日 86a	R3	99227	26566	0.243	0.235	0.302	38.520	
-	PPC750	中継基礎 一般	日 86a	R3	99226	26566	0.417	0.368	0.312	38.458	
-	PPC751	中継基礎 一般	日 86a	R3	99225	26566	0.230	0.166	0.446	38.415	
-	PPC752	中継基礎 一般	日 87a	R3	99230	26567	0.256	0.180	0.242	38.607	
-	PPC753	中継基礎 一般	日 87a	R3	99230	26566	0.309	0.290	0.326	38.500	
-	PPC754	中継基礎 一般	日 86a	R3	99226	26566	0.415	0.391	0.437	38.404	
-	PPC755	中継基礎 一般	日 85a	R3	99223	26571	0.257	0.235	0.358	38.564	
-	PPC756	中継基礎 一般	日 85a	R3	99223	26570	0.202	0.232	0.405	38.317	
-	PPC757	中継基礎 一般	日 85a	R3	99223	26571	0.238	0.225	0.200	38.744	
SBC27	PPC758	中継基礎 代表	日 85a	R3	99223	26570	0.419	0.394	0.534	38.401	
-	PPC759	中継基礎 一般	日 85a	R3	99222	26570	0.287	0.252	0.233	38.734	

採集年度	採集月	採集地	アザラシ種	年度	性別	年齢	最大長	最大幅	体高	体長	体幅	備考
-	PPC769	中伊豆半島	目黒	RC	♀	99223	26569	0.431	0.348	0.472	38.439	
-	PPC781	中伊豆半島	目黒	RC	♀	99223	26568	0.377	0.358	0.497	38.430	
-	PPC762	中伊豆半島	目黒	RC	♀	99225	26569	0.360	0.303	0.533	38.322	
SBC15	PPC763	朝陽町代本	目黒	RC	♀	99225	26569	0.863	0.501	0.741	38.122	
-	PPC764	中伊豆半島	目黒	RC	♀	99224	26568	0.354	0.281	0.396	38.461	
-	PPC765	中伊豆半島	目黒	RC	♀	99225	26568	0.368	0.345	0.436	38.533	
-	PPC766	中伊豆半島	目黒	RC	♀	99223	26571	0.227	0.182	0.493	38.409	
-	PPC767	中伊豆半島	目黒	RC	♀	99226	26568	0.307	0.264	0.306	38.460	
-	PPC768	中伊豆半島	目黒	RC	♀	99226	26566	0.327	0.258	0.437	38.307	
SBC24	PPC769	朝陽町代本	目黒	RC	♀	99226	26566	0.296	0.246	0.582	38.243	
SBC24	PPC770	朝陽町代本	目黒	RC	♀	99228	26563	0.57	0.462	0.559	38.288	
SBC7	PPC771	平安町代本	目黒	RC	♀	99236	26561	1.234	1.191	0.438	38.157	
SBC8	PPC772	平安町代本	目黒	RC	♀	99233	26567	0.937	0.888	0.562	38.233	
SBC8	PPC773	平安町代本	目黒	RC	♀	99236	26557	1.143	1.130	0.447	38.103	
SBC8	PPC774	平安町代本	目黒	RC	♀	99236	26559	1.006	0.959	0.277	38.268	
-	PPC775	中伊豆半島	目黒	RC	♀	99237	26560	0.684	0.473	0.180	38.380	
-	PPC776	中伊豆半島	目黒	RC	♀	99228	26556	0.424	0.344	0.609	38.297	
-	PPC777	中伊豆半島	目黒	RC	♀	99233	26568	0.232	0.214	0.359	38.433	
-	PPC778	中伊豆半島	目黒	RC	♀	99232	26558	0.372	0.354	0.369	38.448	
-	PPC779	中伊豆半島	目黒	RC	♀	99229	26554	0.371	0.302	0.373	38.462	
-	PPC780	中伊豆半島	目黒	RC	♀	99240	26551	0.427	0.368	0.252	38.577	
-	PPC781	中伊豆半島	目黒	RC	♀	99233	26557	0.293	0.267	0.313	38.434	
-	PPC782	中伊豆半島	目黒	RC	♀	99232	26557	0.311	0.261	0.453	38.350	
-	PPC783	中伊豆半島	目黒	RC	♀	99231	26556	0.313	0.305	0.466	38.326	
-	PPC784	中伊豆半島	目黒	RC	♀	99232	26556	0.264	0.222	0.362	38.478	
-	PPC785	中伊豆半島	目黒	RC	♀	99232	26554	0.490	0.318	0.558	38.250	
-	PPC786	中伊豆半島	目黒	RC	♀	99236	26549	0.452	0.361	0.298	38.302	
-	PPC787	中伊豆半島	目黒	RC	♀	99238	26549	0.326	0.288	0.411	38.155	
SBC17	PPC788	朝陽町代本	目黒	RC	♀	99238	26549	0.310	0.273	0.352	38.223	
-	PPC789	中伊豆半島	目黒	RC	♀	99239	26551	0.325	0.280	0.478	38.078	
SBC10	PPC790	平安町代本	目黒	RC	♀	99249	26540	1.064	0.916	0.324	38.455	上顎に 変異
SBC17	PPC791	朝陽町代本	目黒	RC	♀	99238	26551	0.360	0.303	0.376	38.217	
-	PPC792	中伊豆半島	目黒	RC	♀	99240	26544	0.472	0.353	0.431	38.484	
-	PPC793	中伊豆半島	目黒	RC	♀	99241	26541	0.279	0.272	0.251	38.692	
SBC7	PPC794	平安町代本	目黒	RC	♀	99240	26544	0.768	0.707	0.378	38.577	
-	PPC795	中伊豆半島	目黒	RC	♀	99231	26551	0.376	0.288	0.521	38.490	
-	PPC796	中伊豆半島	目黒	RC	♀	99231	26530	0.361	0.312	0.380	38.411	
-	PPC797	中伊豆半島	目黒	RC	♀	99230	26552	0.277	0.247	0.474	38.296	
-	PPC798	中伊豆半島	目黒	RC	♀	99231	26553	0.349	0.234	0.286	38.483	
-	PPC799	中伊豆半島	目黒	RC	♀	99233	26556	0.246	0.245	0.273	38.441	
SBC9	PPC800	平安町代本	目黒	RC	♀	99231	26539	0.121	0.981	0.566	38.371	
-	PPC801	中伊豆半島	目黒	RC	♀	99268	26569	0.363	0.312	0.203	38.124	
-	PPC802	中伊豆半島	目黒	RC	♀	99231	26552	0.381	0.320	0.540	38.250	
SBC8	PPC803	平安町代本	目黒	RC	♀	99232	26561	1.156	0.949	0.774	38.044	右側上 顎歯列 欠損 11本歯 脱落 かぶ 歯上
-	PPC804	中伊豆半島	目黒	RC	♀	99230	26560	0.290	0.240	0.353	38.511	
-	PPC805	中伊豆半島	目黒	RC	♀	99230	26561	0.340	0.231	0.496	38.363	
-	PPC806	中伊豆半島	目黒	RC	♀	99268	26567	0.420	0.364	0.297	38.024	
-	PPC807	中伊豆半島	目黒	RC	♀	99269	26568	0.297	0.252	0.112	38.202	

採集年度	採集月	採集地	アザラシ種	年度	性別	年齢	最大長	最大幅	体高	体長	体幅	備考
-	PPC808	中伊豆半島	目黒	RC	♀	99272	26561	0.710	0.650	0.287	38.080	腹上・腹 上・腹中 から1- 2位の 長歯脱落
SBC6	PPC809	平安町代本	目黒	RC	♀	99231	26557	(1.102)	1.082	0.506	-	
-	PPC810	中伊豆半島	目黒	RC	♀	99230	26555	0.310	0.269	0.475	38.286	
SBC7	PPC811	平安町代本	目黒	RC	♀	99238	26547	0.899	0.827	0.286	38.556	
SBC7	PPC812	平安町代本	目黒	RC	♀	99235	26547	0.929	0.835	0.244	38.458	
SBC7	PPC813	平安町代本	目黒	RC	♀	99240	26546	0.886	0.752	0.337	38.426	
-	PPC814	中伊豆半島	目黒	RC	♀	99230	26544	0.231	0.214	0.262	38.620	
-	PPC815	中伊豆半島	目黒	RC	♀	99230	26545	0.271	0.225	0.296	38.643	
-	PPC816	中伊豆半島	目黒	RC	♀	99230	26546	0.329	0.301	0.450	38.491	
SBC16	PPC817	朝陽町代本	目黒	RC	♀	99237	26537	0.383	0.355	0.353	38.573	
-	PPC818	中伊豆半島	目黒	RC	♀	99239	26539	0.380	0.327	0.356	38.639	
SBC16	PPC819	朝陽町代本	目黒	RC	♀	99238	26541	0.416	0.380	0.673	38.267	
SBC17	PPC820	中伊豆半島	目黒	RC	♀	99239	26541	0.417	0.317	0.467	38.496	
-	PPC821	中伊豆半島	目黒	RC	♀	99249	26541	0.237	0.208	0.286	38.673	
SBC7	PPC822	平安町代本	目黒	RC	♀	99239	26541	0.947	0.808	0.362	38.660	
-	PPC823	中伊豆半島	目黒	RC	♀	99237	26543	0.450	0.403	0.216	38.640	
-	PPC824	中伊豆半島	目黒	RC	♀	99227	26547	0.331	0.302	0.356	38.597	
-	PPC825	中伊豆半島	目黒	RC	♀	99227	26547	0.326	0.276	0.296	38.650	
-	PPC826	中伊豆半島	目黒	RC	♀	99227	26547	0.353	0.337	0.336	38.602	
-	PPC827	中伊豆半島	目黒	RC	♀	99228	26547	0.328	0.304	0.338	38.610	
-	PPC828	中伊豆半島	目黒	RC	♀	99229	26548	0.301	0.278	0.401	38.537	
-	PPC829	中伊豆半島	目黒	RC	♀	99226	26549	0.300	0.267	0.409	38.411	
SBC23	PPC830	朝陽町代本	目黒	RC	♀	99229	26540	0.444	0.333	0.454	38.359	
SBC24	PPC831	朝陽町代本	目黒	RC	♀	99229	26562	0.411	0.324	0.914	37.928	
-	PPC832	中伊豆半島	目黒	RC	♀	99231	26548	0.434	0.309	0.432	38.889	
-	PPC833	中伊豆半島	目黒	RC	♀	99234	26540	0.340	0.320	0.193	38.761	
-	PPC834	中伊豆半島	目黒	RC	♀	99237	26540	0.282	0.224	0.144	38.787	
SBC17	PPC835	朝陽町代本	目黒	RC	♀	99236	26543	0.486	0.406	0.301	38.578	
-	PPC836	中伊豆半島	目黒	RC	♀	99233	26541	0.244	0.209	0.077	38.842	
SBC16	PPC837	朝陽町代本	目黒	RC	♀	99234	26542	0.380	0.297	0.530	38.394	
-	PPC838	中伊豆半島	目黒	RC	♀	99227	26547	0.321	0.282	0.309	38.643	
-	PPC839	中伊豆半島	目黒	RC	♀	99227	26548	0.349	0.364	0.438	38.516	
SBC9	PPC840	朝陽町代本	目黒	RC	♀	99227	26549	0.546	0.408	0.476	38.322	門ホ
-	PPC841	中伊豆半島	目黒	RC	♀	99228	26530	0.545	0.481	0.448	38.489	
-	PPC842	中伊豆半島	目黒	RC	♀	99231	26548	0.404	0.324	0.636	38.224	
-	PPC843	中伊豆半島	目黒	RC	♀	99232	26548	0.320	0.309	0.535	38.289	
-	PPC844	中伊豆半島	目黒	RC	♀	99231	26548	0.368	0.277	0.456	38.348	
-	PPC845	中伊豆半島	目黒	RC	♀	99236	26542	0.330	0.315	0.652	38.480	
SBC7	PPC846	平安町代本	目黒	RC	♀	99237	26542	0.888	0.801	0.478	38.252	
SBC7	PPC847	平安町代本	目黒	RC	♀	99234	26542	0.953	0.846	0.322	38.564	
-	PPC848	中伊豆半島	目黒	RC	♀	99228	26547	0.379	0.321	0.404	38.537	
-	PPC849	中伊豆半島	目黒	RC	♀	99228	26547	0.180	0.175	0.182	38.719	
-	PPC850	中伊豆半島	目黒	RC	♀	99230	26549	0.281	0.265	0.371	38.538	
-	PPC851	中伊豆半島	目黒	RC	♀	99230	26548	0.374	0.236	0.544	38.351	
-	PPC852	中伊豆半島	目黒	RC	♀	99229	26549	0.390	0.309	0.388	39.511	
-	PPC853	中伊豆半島	目黒	RC	♀	99229	26552	0.370	0.329	0.467	38.397	
-	PPC854	中伊豆半島	目黒	RC	♀	99228	26547	0.345	0.247	0.330	38.589	
-	PPC855	中伊豆半島	目黒	RC	♀	99228	26547	0.341	0.268	0.381	38.535	
-	PPC856	中伊豆半島	目黒	RC	♀	99229	26550	0.285	0.237	0.426	38.443	

2 検出遺構

探検年度	探検区	検出年代	遺構名	年代	用途	面積	最大長	最大幅	検出高さ	遺構高さ	備考
SRC9	PPC857	縄文時代	日 7B	RC	99230	26551	0.672	0.551	0.642	38.192	門外、堀土半段の検出遺構から、埋戻土層が露出
-	PPC858	中世末～近世初	日 8B	RC	99229	26551	0.569	0.378	0.338	38.457	
-	PPC859	中世末～近世初	日 7B	RC	99230	26551	0.408	0.388	0.359	38.469	
-	PPC860	中世末～近世初	日 7B	RC	99230	26551	0.523	0.238	0.290	38.554	
-	PPC861	中世末～近世初	日 7B	RC	99231	26552	0.420	0.331	0.469	38.327	
SRC17	PPC862	縄文時代	日 8B	RC	99237	26545	0.412	0.354	0.198	38.602	
-	PPC863	中世末～近世初	日 7B	RC	99242	26546	0.276	0.248	0.382	38.602	
-	PPC864	中世末～近世初	日 8B	RC	99235	26543	0.385	0.352	0.274	38.574	
-	PPC865	中世末～近世初	日 8B	RC	99235	26551	0.288	0.235	0.115	38.460	
-	PPC866	中世末～近世初	日 7B	RC	99225	26547	0.243	0.128	0.373	38.552	
SRC7	PPC867	縄文時代	日 7B	RC	99232	26547	0.846	0.769	0.311	38.524	
-	PPC868	中世末～近世初	日 7B	RC	99234	26551	0.356	0.265	0.360	38.238	
-	PPC869	中世末～近世初	日 7B	RC	99233	26552	0.328	0.304	0.265	38.308	
-	PPC870	中世末～近世初	日 7B	RC	99232	26550	0.447	0.361	0.474	38.365	
-	PPC871	中世末～近世初	日 7B	RC	99234	26547	0.280	0.235	0.427	38.375	
SRC17	PPC872	縄文時代	日 8B	RC	99241	26546	0.387	0.368	0.333	38.431	
SRC4	PPC873	平安時代	日 8p	RC	99239	26576	0.835	0.708	0.592	37.904	
-	PPC874	中世末～近世初	日 7B	RC	99233	26545	0.552	0.382	0.553	37.913	
SRC9	PPC875	縄文時代	日 8B	RC	99229	26549	0.673	0.672	0.674	38.250	門外
-	PPC876	中世末～近世初	日 8B	RC	99242	26546	0.998	0.869	0.189	38.743	土間に変更
-	PPC877	中世末～近世初	日 8B	RC	99240	26546	0.246	0.229	0.306	38.446	
-	PPC878	中世末～近世初	日 8B	RC	99229	26549	0.648	0.557	0.692	38.196	
-	PPC879	中世末～近世初	日 7B	RC	99230	26548	0.272	0.263	0.338	38.419	
-	PPC880	中世末～近世初	日 8B	RC	99235	26544	0.306	0.291	0.381	38.265	
SRC7	PPC881	平安時代	日 7B	RC	99232	26545	0.992	0.673	0.237	38.610	
SRC7	PPC882	平安時代	日 7B	RC	99232	26542	0.737	0.689	0.211	38.680	
-	PPC883	中世末～近世初	日 7B	RC	99232	26548	0.346	0.318	0.231	38.568	
-	PPC884	中世末～近世初	日 7B	RC	99232	26547	0.325	0.300	0.507	38.287	
-	PPC885	中世末～近世初	日 8Bm	RC	99239	26562	0.370	0.325	0.255	38.242	
-	PPC886	中世末～近世初	日 7B	RC	99231	26542	0.304	0.261	0.179	38.622	
-	PPC887	中世末～近世初	日 8B	RC	99223	26542	0.342	0.283	0.357	38.620	
-	PPC888	中世末～近世初	日 8B	RC	99234	26544	0.359	0.346	0.341	38.604	
-	PPC889	中世末～近世初	日 7B	RC	99233	26539	0.485	0.469	0.227	38.739	
SRC16	PPC890	縄文時代	日 8Bb	RC	99235	26537	0.438	0.359	0.446	38.469	
SRC16	PPC891	縄文時代	日 7B	RC	99233	26538	0.307	0.278	0.578	38.377	
-	PPC892	中世末～近世初	日 8Bb	RC	99237	26536	0.376	0.280	0.169	38.803	
-	PPC893	中世末～近世初	日 8B	RC	99229	26548	0.435	0.302	0.462	38.440	
-	PPC894	中世末～近世初	日 7B	RC	99232	26544	0.304	0.291	0.278	38.552	
-	PPC895	中世末～近世初	日 7B	RC	99233	26546	0.352	0.286	0.335	38.526	
-	PPC896	中世末～近世初	日 7B	RC	99230	26549	0.328	0.278	0.235	38.634	
-	PPC897	中世末～近世初	日 7B	RC	99230	26569	0.419	0.355	0.563	38.225	
-	PPC898	中世末～近世初	日 8Bm	RC	99227	26568	0.391	0.352	0.355	38.513	
-	PPC899	中世末～近世初	日 8Bm	RC	99226	26569	0.398	0.271	0.598	38.287	
-	PPC900	中世末～近世初	日 8B	RC	99225	26569	0.278	0.610	0.582	38.286	
-	PPC901	中世末～近世初	日 8Bm	RC	99227	26565	0.185	0.165	0.322	38.547	
-	PPC902	中世末～近世初	日 8Bm	RC	99229	26568	0.562	0.430	0.511	38.296	
-	PPC903	中世末～近世初	日 8B	RC	99228	26546	0.232	0.175	0.395	38.562	
-	PPC904	中世末～近世初	日 8B	RC	99227	26545	0.252	0.220	0.484	38.309	
-	PPC905	中世末～近世初	日 8Bm	RC	99227	26562	0.243	0.223	0.138	38.636	
-	PPC906	中世末～近世初	日 7B	RC	99232	26567	0.306	0.291	0.385	38.287	

探検年度	探検区	検出年代	遺構名	年代	用途	面積	最大長	最大幅	検出高さ	遺構高さ	備考
-	PPC907	中世末～近世初	日 7Bp	RC	99230	26571	0.346	0.288	0.354	38.261	
-	PPC908	中世末～近世初	日 8Bp	RC	99229	26571	0.332	0.285	0.788	38.069	
-	PPC909	中世末～近世初	日 8B	RC	99224	26518	0.245	0.225	0.717	38.213	
-	PPC910	中世末～近世初	日 8B	RC	99224	26541	0.255	0.226	0.522	38.275	
-	PPC911	中世末～近世初	日 8Bp	RC	99229	26572	0.420	0.339	0.798	38.302	
-	PPC912	中世末～近世初	日 8B	RC	99217	26543	0.279	0.288	0.559	38.373	
-	PPC913	中世末～近世初	日 8B	RC	99212	26544	0.322	0.271	0.544	38.473	
-	PPC914	中世末～近世初	日 8B	RC	99213	26544	0.310	0.247	0.386	38.582	
-	PPC915	中世末～近世初	日 8B	RC	99215	26543	0.313	0.306	0.303	38.586	
-	PPC916	中世末～近世初	日 8B	RC	99215	26543	0.236	0.219	0.409	38.456	
-	PPC917	中世末～近世初	日 8B	RC	99212	26545	0.303	0.286	0.511	38.491	
-	PPC918	中世末～近世初	日 8B	RC	99211	26545	0.381	0.284	0.328	38.734	
-	PPC919	中世末～近世初	日 8B	RC	99210	26545	0.517	0.465	0.461	38.614	
-	PPC920	中世末～近世初	日 8B	RC	99221	26542	0.242	0.194	0.579	38.364	
-	PPC921	中世末～近世初	日 8Bm	RC	99226	26562	0.191	0.164	0.307	38.560	
-	PPC922	中世末～近世初	日 8Bm	RC	99223	26562	0.328	0.280	0.267	38.580	
-	PPC923	中世末～近世初	日 8Bm	RC	99226	26562	0.368	0.280	0.459	38.439	
-	PPC924	中世末～近世初	日 7Bp	RC	99231	26574	0.431	0.367	0.668	37.950	
-	PPC925	中世末～近世初	日 7Bp	RC	99231	26574	0.246	0.219	0.359	38.383	
SRC29	PPC926	縄文時代	日 8Bp	RC	99231	26577	0.359	0.346	0.352	38.297	
-	PPC927	中世末～近世初	日 8Bm	RC	99239	26563	0.330	0.284	0.247	38.211	
-	PPC928	中世末～近世初	日 8Bm	RC	99238	26563	0.393	0.334	0.092	38.406	
-	PPC929	中世末～近世初	日 8Bm	RC	99228	26562	0.286	0.235	0.302	38.297	
-	PPC930	中世末～近世初	日 8Bm	RC	99229	26569	0.420	0.334	0.510	38.617	
-	PPC931	中世末～近世初	日 8Bm	RC	99228	26568	0.314	0.286	0.471	38.352	
-	PPC932	中世末～近世初	日 8Bq	RC	99238	26581	0.337	0.306	0.331	37.856	
-	PPC933	中世末～近世初	日 8B1	RC	99281	26549	0.295	0.271	0.328	37.959	
-	PPC934	中世末～近世初	日 8B1	RC	99259	26549	0.339	0.307	0.300	38.225	
-	PPC935	中世末～近世初	日 8B2	RC	99257	26546	0.284	0.246	0.190	38.349	
-	PPC936	中世末～近世初	日 8B2	RC	99258	26546	0.230	0.209	0.543	37.979	
-	PPC937	中世末～近世初	日 8Bp	RC	99228	26572	0.255	0.236	0.611	38.137	
-	PPC938	中世末～近世初	日 8Bp	RC	99228	26572	0.365	0.270	0.397	38.358	
-	PPC939	中世末～近世初	日 8Bp	RC	99228	26573	0.243	0.236	0.363	38.537	
-	PPC940	中世末～近世初	日 8Bp	RC	99229	26576	0.288	0.286	0.566	38.196	
SRC29	PPC941	縄文時代	日 8Bp	RC	99229	26573	0.330	0.277	0.407	38.400	
-	PPC942	中世末～近世初	日 8Bp	RC	99227	26572	0.270	0.211	0.582	38.250	
-	PPC943	中世末～近世初	日 8Bp	RC	99228	26573	0.284	0.175	0.366	38.387	
-	PPC944	中世末～近世初	日 8Bp	RC	99228	26573	0.262	0.226	0.416	38.346	
SRC15	PPC945	縄文時代	日 8Bp	RC	99227	26574	0.332	0.292	0.386	38.435	
-	PPC946	中世末～近世初	日 8Bp	RC	99228	26574	0.334	0.273	0.508	38.232	
-	PPC947	中世末～近世初	日 8Bp	RC	99228	26574	0.363	0.299	0.332	38.487	
-	PPC948	中世末～近世初	日 8Bp	RC	99227	26573	0.374	0.339	0.206	38.362	
-	PPC949	中世末～近世初	日 8Bp	RC	99227	26572	0.319	0.298	0.423	38.238	
SRC29	PPC950	縄文時代	日 8Bp	RC	99225	26572	0.409	0.313	0.628	38.257	
-	PPC951	中世末～近世初	日 8Bp	RC	99227	26572	0.301	0.299	0.		

調査年度	地区	調査区画	アリアド	年度	入地額	Y地価	Y地代	最大地	最大地	最大地	調査年度	備考
-	PPC059	中野区未定区画	目B0n	RC	99227	26566	0.266	0.247	0.446	38.309	-	
-	PPC060	中野区未定区画	目B0n	RC	99228	26564	0.556	0.304	0.254	38.004	-	
-	PPC061	中野区未定区画	目B0n	RC	99226	26571	0.442	0.299	0.547	38.301	-	
-	PPC062	中野区未定区画	目B7n	RC	99230	26568	0.297	0.266	0.348	38.345	-	
SBC27	PPC063	中野区未定区画	目B0n	RC	99228	26568	0.443	0.369	0.402	38.184	-	
-	PPC064	中野区未定区画	目B0n	RC	99228	26561	0.315	0.278	0.426	38.428	-	
-	PPC065	中野区未定区画	目B0n	RC	99229	26562	0.366	0.307	0.408	38.444	-	
-	PPC067	中野区未定区画	目B0n	RC	99227	26562	0.188	0.147	0.404	38.377	-	
-	PPC068	中野区未定区画	目B0n	RC	99228	26561	0.193	0.173	0.366	38.495	-	
-	PPC069	中野区未定区画	目B0n	RC	99229	26561	0.190	0.190	0.298	38.536	-	
-	PPC070	中野区未定区画	目B0n	RC	99229	26561	0.315	0.300	0.633	38.187	-	
-	PPC071	中野区未定区画	目B7n	RC	99232	26564	0.414	0.373	0.466	38.394	-	
-	PPC072	中野区未定区画	目B7k	RC	99232	26550	0.402	0.323	0.510	38.239	住居専用	
-	PPC073	中野区未定区画	目B7k	RC	99231	26550	0.242	0.237	0.236	38.542	-	
-	PPC074	中野区未定区画	目B7j	RC	99231	26549	0.340	0.281	0.373	38.437	居住有り	
-	PPC075	中野区未定区画	目B7j	RC	99227	26555	0.297	0.281	0.487	38.340	居住有り	
-	PPC076	中野区未定区画	目B8k	RC	99228	26550	0.345	0.308	0.449	38.351	-	
-	PPC077	中野区未定区画	目B8k	RC	99228	26551	0.263	0.241	0.382	38.463	-	
SBC3	PPC078	中野区未定区画	目B5k	RC	99223	26553	0.311	0.291	0.293	38.590	-	
-	PPC080	中野区未定区画	目B5k	RC	99223	26553	0.536	0.333	0.549	38.538	-	
-	PPC081	中野区未定区画	目B5k	RC	99221	26556	0.354	0.291	0.494	38.456	-	
-	PPC082	中野区未定区画	目B4k	RC	99217	26553	0.280	0.241	0.164	38.737	-	
-	PPC083	中野区未定区画	目B4k	RC	99217	26553	0.280	0.252	0.461	38.427	-	
-	PPC084	中野区未定区画	目B4k	RC	99215	26554	0.264	0.236	0.414	38.460	-	
-	PPC085	中野区未定区画	目B4l	RC	99215	26555	0.277	0.256	0.400	38.523	-	
-	PPC086	中野区未定区画	目B5j	RC	99224	26547	0.304	0.264	0.275	38.646	-	
-	PPC087	中野区未定区画	目B8m	RC	99237	26563	0.431	0.360	0.353	38.187	-	
-	PPC088	中野区未定区画	目B8m	RC	99229	26564	0.330	0.321	0.166	38.526	-	
-	PPC089	中野区未定区画	目B4l	RC	99215	26556	0.288	0.241	0.272	38.664	-	
-	PPC090	中野区未定区画	目B0m	RC	99226	26560	0.433	0.362	0.466	38.437	-	
-	PPC091	中野区未定区画	目B0l	RC	99229	26558	0.414	0.317	0.305	38.625	-	
-	PPC092	中野区未定区画	目B8m	RC	99236	26561	0.309	0.204	0.201	38.006	居住有り PPC771と 異なる→本 地価の中 間値	
-	PPC093	中野区未定区画	目B8m	RC	99236	26561	0.465	0.362	0.315	38.147	居住有り PPC771と 異なる→本 地価の中 間値	
-	PPC094	中野区未定区画	目B7p	RC	99233	26578	0.287	0.264	0.444	38.170	-	
-	PPC095	中野区未定区画	目B7p	RC	99233	26579	0.175	0.164	0.358	38.182	-	
-	PPC096	中野区未定区画	目B10q	RC	99247	26580	0.687	0.572	1.102	37.898	PPC330上 長原→本 地価の中 間値	
-	PPC097	中野区未定区画	目B5l	RC	99222	26558	0.254	0.239	0.419	38.524	-	
-	PPC098	中野区未定区画	目B5m	RC	99221	26562	0.315	0.301	0.238	38.644	-	
-	PPC099	中野区未定区画	目B8n	RC	99218	26562	0.517	0.444	0.335	38.577	-	
-	PPC1000	中野区未定区画	目B4q	RC	99218	26548	0.266	0.234	0.335	38.680	-	
-	PPC1001	中野区未定区画	目B4q	RC	99216	26547	0.289	0.237	0.264	38.753	-	
-	PPC1002	中野区未定区画	目B5q	RC	99214	26547	0.264	0.216	0.536	38.539	-	
-	PPC1003	中野区未定区画	目B3k	RC	99211	26552	0.266	0.258	0.370	38.294	-	
-	PPC1004	中野区未定区画	目B2k	RC	99208	26551	0.256	0.246	0.238	38.854	-	
-	PPC1005	中野区未定区画	目B2k	RC	99207	26550	0.284	0.268	0.394	38.676	PPC029上 長原→本 地価の中 間値	
-	PPC1006	中野区未定区画	目B2k	RC	99210	26559	0.302	0.255	0.970	38.832	-	

調査年度	地区	調査区画	アリアド	年度	入地額	Y地価	Y地代	最大地	最大地	最大地	調査年度	備考
-	PPC1007	中野区未定区画	目B3k	RC	99213	26557	0.526	0.383	0.340	38.682	-	
-	PPC1008	中野区未定区画	目B1k	RC	99202	26551	0.252	0.240	0.350	38.721	-	
-	PPC1009	中野区未定区画	目B5l	RC	99224	26544	0.272	0.242	0.296	38.644	-	
-	PPC1010	中野区未定区画	目B4q	RC	99216	26546	0.280	0.237	0.432	38.585	居住有り	
SBC8	PPC1011	中野区未定区画	目B5q	RC	99242	26581	0.704	0.469	0.168	38.136	-	
-	PPC1012	中野区未定区画	目B4a	RC	99219	26560	0.290	0.257	0.390	38.586	-	
SBC10	PPC1013	中野区未定区画	目B4m	RC	99216	26564	0.583	0.524	0.615	38.356	-	
-	PPC1014	中野区未定区画	目B6k	RC	99228	26553	0.312	0.274	0.266	38.606	-	
-	PPC1015	中野区未定区画	目B6k	RC	99229	26554	0.318	0.279	0.380	38.382	-	PPC016 上長原→ 本 地価の中 間値
-	PPC1016	中野区未定区画	目B6k	RC	99229	26554	0.372	0.315	0.278	38.538	-	PPC015 上長原→ 本 地価の中 間値
-	PPC1017	中野区未定区画	目B7j	RC	99232	26548	0.401	0.344	0.263	38.323	-	PPC067と 異なる→ 本 地価の中 間値
-	PPC1018	中野区未定区画	目B6k	RC	99228	26552	0.191	0.120	0.142	38.727	-	PPC078と 異なる→ 本 地価の中 間値
-	PPC1019	中野区未定区画	目B8l	RC	99236	26555	0.356	0.309	0.306	38.291	-	
-	PPC1020	中野区未定区画	目B6n	RC	99227	26560	0.426	0.304	0.122	38.737	-	PPC062と 異なる→ 本 地価の中 間値
-	PPC1021	中野区未定区画	目B7q	RC	99231	26581	0.282	0.250	0.380	38.279	-	
-	PPC1022	中野区未定区画	目B5p	RC	99222	26576	0.284	0.268	0.403	38.280	-	
SBC11	PPC1023	中野区未定区画	目B8k	RC	99240	26544	0.381	0.301	0.414	38.528	-	PPC017と 異なる→ 本 地価の中 間値
SBC19	PPC1024	中野区未定区画	目B3l	RC	99214	26557	0.614	0.632	0.308	-	-	PPC028と 異なる→ 本 地価の中 間値
SBC2	PPC1025	中野区未定区画	目B1d	RC	99209	26557	1.384	1.070	0.364	38.089	-	PPC025 の 変更
-	PPD1	中野区未定区画	目B1d	RC	99167	26572	0.681	0.535	0.252	38.698	住居専用	
SBD1	PPD2	中野区未定区画	目B1d	RC	99167	26574	0.728	0.610	0.352	38.571	住居専用 土壌調査	
SBD1	PPD3	中野区未定区画	目B1d	RC	99166	26575	0.735	0.640	0.365	38.415	住居専用 土壌調査	
SBD1	PPD4	中野区未定区画	目B1d	RC	99168	26577	0.814	0.610	0.410	38.376	住居専用 土壌調査 の 変更	
SBD1	PPD5	中野区未定区画	目B1d	RC	99165	26574	0.721	0.620	0.457	38.468	住居専用 土壌調査	
SBD1	PPD6	中野区未定区画	目B1d	RC	99166	26577	0.841	0.630	0.422	38.356	住居専用 土壌調査	
SBD1	PPD7	中野区未定区画	目B1b	RC	99163	26574	0.746	0.634	0.343	38.504	住居専用 土壌調査	
SBD1	PPD8	中野区未定区画	目B1b	RC	99163	26576	0.769	0.619	0.408	38.457	住居専用 土壌調査 の 変更	
SBD1	PPD9	中野区未定区画	目B1b	RC	99163	26578	0.965	0.765	0.444	38.365	住居専用 土壌調査	
-	PPD10	中野区未定区画	目B1b	RC	99163	26579	0.783	0.561	0.306	38.540	-	
-	PPD11	中野区未定区画	目B1d	RC	99165	26581	0.879	0.780	0.422	38.393	-	
-	PPD12	中野区未定区画	目B1d	RC	99166	26570	0.348	0.291	0.147	38.792	-	
-	PPD13	中野区未定区画	目B1d	RC	99166	26570	0.350	0.288	0.204	38.755	-	
-	PPD14	中野区未定区画	目B1d	RC	99166	26570	0.343	0.259	0.264	38.663	住居専用 土壌調査	
-	PPD15	中野区未定区画	目B1d	RC	99169	26570	0.343	0.297	0.139	38.828	-	
-	PPD16	中野区未定区画	目B1d	RC	99174	26566	0.289	0.240	0.222	38.747	-	
-	PPD17	中野区未定区画	目B1d	RC	99169	26568	0.300	0.245	0.087	38.826	-	
-	PPD18	中野区未定区画	目B1b	RC	99172	26569	0.252	0.201	0.157	38.783	-	
-	PPD19	中野区未定区画	目B1b	RC	99171	26570	0.315	0.223	0.205	38.747	-	
-	PPD20	中野区未定区画	目B1b	RC	99174	26566	0.348	0.224	0.092	38.839	-	
-	PPD21	中野区未定区画	目B1d	RC	99165	26570	0.260	0.230	0.292	38.666	住居専用 土壌調査	

探検 年度	柱文	基壇の 形状	アリアド	年度	出土層	Y座標	検出尺	最大尺	長さ (cm)	幅 (cm)	備考
-	PP022	中柱末 →近柱	I 181d	R2	99165	26570	0.306	0.234	1.127	38.794	
-	PP023	中柱末 →近柱	I 1813c	R2	99164	26570	0.363	0.230	0.258	38.792	
-	PP024	中柱末 →近柱	I 1814c	R2	99165	26570	0.173	0.145	0.107	38.781	
-	PP025	中柱末 →近柱	I 1813b	R2	99164	26569	0.327	0.252	0.176	38.782	
-	PP026	中柱末 →近柱	I 1813b	R2	99164	26569	0.195	0.179	0.180	38.811	
-	PP027	中柱末 →近柱	I 1813b	R2	99161	26571	0.259	0.223	0.184	38.798	
-	PP028	中柱末 →近柱	I 1815e	R2	99173	26569	0.291	0.209	0.128	38.813	
-	PP029	中柱末 →近柱	I 1815e	R2	99175	26570	0.272	0.199	0.152	38.787	
-	PP030	中柱末 →近柱	I 1814p	R2	99169	26579	0.416	0.348	0.228	38.481	
-	PP031	中柱末 →近柱	I 1820r	R2	99198	26588	0.6370	0.3380	0.056	38.467	土層中に 内蔵。SD1 土直下→ 本層の砂 が浅い
-	PP032	中柱末 →近柱	I 1820r	R2	99198	26587	0.495	0.402	0.160	38.385	SD1・ PP033と →SD1 より浅く、 PP033より 厚い。土直 下層が浅い
-	PP033	中柱末 →近柱	I 1820r	R2	99198	26586	0.627	0.532	0.189	38.445	SD1・ PP032と →本層の 土直下層 が浅い
-	PP034	中柱末 →近柱	I 1820r	R2	99194	26587	0.941	0.821	0.225	38.378	中央偏西 心(黄石) 層から土 層上部に PP035と →本層の 土直下層 が浅い
-	PP035	中柱末 →近柱	I 1820r	R2	99197	26586	0.320	0.267	0.193	38.341	PP034と →本層の 土直下層 が浅い
-	PP036	中柱末 →近柱	II 80q	R2	99205	26578	0.729	0.547	0.498	38.250	
-	PP037	中柱末 →近柱	II 80q	R2	99206	26580	0.389	0.331	0.165	38.574	
-	PP038	中柱末 →近柱	II 80q	R2	99206	26581	0.322	0.251	0.149	38.574	
-	PP039	中柱末 →近柱	II 80q	R2	99206	26582	0.371	0.313	0.156	38.561	
-	PP040	中柱末 →近柱	II 80q	R2	99207	26581	0.256	0.214	0.134	38.640	
-	PP041	中柱末 →近柱	II 80q	R2	99207	26581	0.338	0.227	0.218	38.565	
-	PP042	中柱末 →近柱	II 80q	R2	99207	26581	0.336	0.242	0.273	38.543	
-	PP043	中柱末 →近柱	II 80q	R2	99208	26577	0.365	0.324	0.196	38.614	
-	PP044	中柱末 →近柱	II 80q	R2	99208	26577	0.397	0.355	0.324	38.528	
-	PP045	中柱末 →近柱	II 80q	R2	99208	26577	0.283	0.271	0.307	38.500	
-	PP046	中柱末 →近柱	II 80q	R2	99209	26578	0.346	0.277	0.268	38.543	PP047と →本層の 土直下層 が浅い
-	PP047	中柱末 →近柱	II 80q	R2	99209	26578	0.555	0.351	0.284	38.547	PP046と →本層の 土直下層 が浅い
-	PP048	中柱末 →近柱	II 80q	R2	99209	26579	0.292	0.238	0.489	38.345	
-	PP049	中柱末 →近柱	II 80q	R2	99221	26579	0.567	0.529	0.587	38.327	柱頭径 11 cm
-	PP050	中柱末 →近柱	II 80q	R2	99211	26580	0.459	0.431	0.198	38.593	
-	PP051	中柱末 →近柱	II 80q	R2	99211	26578	0.265	0.196	0.308	38.506	
-	PP052	中柱末 →近柱	II 80q	R2	99211	26577	0.327	0.223	0.114	38.661	
-	PP053	中柱末 →近柱	II 80q	R2	99210	26581	0.295	0.285	0.153	38.682	
-	PP054	中柱末 →近柱	II 80q	R2	99209	26582	0.413	0.302	0.311	38.546	
-	PP055	中柱末 →近柱	II 80q	R2	99211	26582	0.374	0.351	0.207	38.476	
-	PP056	中柱末 →近柱	II 80q	R2	99212	26581	0.619	0.522	0.154	38.620	
-	PP057	中柱末 →近柱	II 80q	R2	99208	26583	0.236	0.218	0.266	38.473	
-	PP058	中柱末 →近柱	II 80q	R2	99208	26583	0.304	0.289	0.116	38.543	
-	PP059	中柱末 →近柱	II 80q	R2	99212	26576	0.384	0.317	0.286	38.520	
-	PP060	中柱末 →近柱	II 80q	R2	99212	26578	0.374	0.336	0.373	38.398	

探検 年度	柱文	基壇の 形状	アリアド	年度	出土層	Y座標	検出尺	最大尺	長さ (cm)	幅 (cm)	備考
-	PP061	中柱末 →近柱	II 80q	R2	99227	26575	0.337	0.286	0.340	38.493	
SBC27	PP062	中柱末 →近柱	II 86a	R2	99226	26574	0.406	0.384	0.471	38.381	
-	PP063	中柱末 →近柱	II 85a	R2	99224	26574	0.426	0.332	0.446	38.367	
-	PP064	中柱末 →近柱	II 85a	R2	99224	26573	0.292	0.278	0.341	38.544	
-	PP065	中柱末 →近柱	II 86a	R2	99228	26576	0.395	0.302	0.362	38.415	
-	PP066	中柱末 →近柱	II 85a	R2	99224	26574	0.324	0.274	0.422	38.568	
SBC27	PP067	中柱末 →近柱	II 85q	R2	99226	26571	0.308	0.255	0.422	38.382	
-	PP068	中柱末 →近柱	II 86a	R2	99225	26577	0.382	0.304	0.281	38.497	
-	PP069	中柱末 →近柱	II 86a	R2	99226	26577	0.365	0.286	0.423	38.382	
SBC28	PP070	中柱末 →近柱	II 86q	R2	99228	26580	0.385	0.303	0.492	38.176	
-	PP071	中柱末 →近柱	II 86q	R2	99225	26576	0.370	0.271	0.381	38.441	
-	PP072	中柱末 →近柱	II 86q	R2	99228	26577	0.440	0.341	0.342	38.358	
-	PP073	中柱末 →近柱	II 86a	R2	99225	26573	0.282	0.245	0.313	38.555	
-	PP074	中柱末 →近柱	II 87q	R2	99232	26580	0.374	0.329	0.328	38.380	
SBC29	PP075	中柱末 →近柱	II 86q	R2	99227	26576	0.498	0.320	0.343	38.394	
SBC28	PP076	中柱末 →近柱	II 86q	R2	99227	26577	0.663	0.502	0.302	38.425	
SBC29	PP077	中柱末 →近柱	II 86q	R2	99228	26578	0.274	0.323	0.297	38.403	
-	PP078	中柱末 →近柱	II 86q	R2	99227	26577	0.380	0.283	0.381	38.344	
-	PP079	中柱末 →近柱	II 85a	R2	99224	26574	0.320	0.261	0.232	38.565	
-	PP080	中柱末 →近柱	II 86q	R2	99227	26575	0.587	0.449	0.590	38.251	柱頭径 11 cm
-	PP081	中柱末 →近柱	II 86q	R2	99228	26580	0.454	0.387	0.544	38.182	
-	PP082	中柱末 →近柱	II 86q	R2	99229	26580	0.420	0.341	0.506	38.188	
-	PP083	中柱末 →近柱	II 87q	R2	99232	26579	0.227	0.218	0.441	38.261	
-	PP084	中柱末 →近柱	II 87q	R2	99231	26579	0.279	0.238	0.347	38.395	
-	PP085	中柱末 →近柱	II 87q	R2	99230	26580	0.351	0.345	0.301	38.333	柱頭径 8 cm
SBC15	PP086	中柱末 →近柱	II 86a	R2	99225	26574	0.439	0.419	0.502	38.344	柱頭径 10 cm
-	PP087	中柱末 →近柱	II 85a	R2	99225	26577	0.477	0.447	0.707	38.172	
-	PP088	中柱末 →近柱	II 87q	R2	99232	26579	0.345	0.280	0.401	38.214	
SBC29	PP089	中柱末 →近柱	II 87q	R2	99231	26579	0.294	0.260	0.401	38.290	
-	PP090	中柱末 →近柱	II 87q	R2	99231	26579	0.288	0.315	0.343	38.398	PP019と →近接し 柱頭径 8 cm
-	PP091	中柱末 →近柱	II 83q	R2	99214	26578	0.277	0.243	0.301	38.396	柱頭径 8 cm
-	PP092	中柱末 →近柱	II 83q	R2	99213	26579	0.229	0.269	0.533	38.247	縦断人?
-	PP093	中柱末 →近柱	II 83q	R2	99213	26580	0.270	0.245	0.236	38.529	
-	PP094	中柱末 →近柱	II 83q	R2	99214	26580	0.213	0.203	0.301	38.432	
-	PP095	中柱末 →近柱	II 83q	R2	99213	26579	0.230	0.211	0.305	38.535	
-	PP096	中柱末 →近柱	II 84q	R2	99217	26582	0.311	0.253	0.136	38.599	
-	PP097	中柱末 →近柱	II 84q	R2	99215	26579	0.391	0.279	0.206	38.652	
-	PP098	中柱末 →近柱	II 84q	R2	99215	26578	0.280	0.217	0.246	38.546	
-	PP099	中柱末 →近柱	II 84q	R2	99215	26576	0.292	0.253	0.088	38.676	
-	PP100	中柱末 →近柱	II 85q	R2	99221	26575	0.473	0.400	0.182	38.648	縦断中 →土直下 層に 柱頭径 8 cm
SBC3	PP101	平安 時代	II 86q	R2	99228	26584	0.512	0.426	0.241	38.294	中央に本 柱あり(径 21cm)
SBC3	PP102	平安 時代	II 86q	R2	99228	26587	0.592	0.498	0.171	38.317	中央に本 柱あり(径 18cm)・ 縦断土 層部
SBC3	PP103	平安 時代	II 86q	R2	99229	26589	0.612	0.538	0.245	38.202	中央に本 柱あり(径 17cm)
SBC3	PP104	平安 時代	II 86a	R2	99229	26592	0.644	0.590	0.136	38.275	中央に本 柱あり(径 17cm)
-	PP105	中柱末 →近柱	II 86a	R2	99227	26592	0.447	0.351	0.251	38.207	
-	PP106	中柱末 →近柱	II 85a	R2	99224	26580	0.602	0.290	0.273	38.310	中央に本 柱あり
SBC3	PP107	平安 時代	II 85a	R2	99224	26580	0.600	0.583	0.124	38.407	

編成年度	校名	学年	クラス	学年	人数	Y人数	最大人数	最大人数(%)	備考	
-	PPD109	中伊東 ～ 近江	R2	R2	99223	26591	0.315	0.212	0.246	38,305
-	PPD109	中伊東 ～ 近江	R2	R2	99230	26588	0.334	0.312	0.087	38,509
-	PPD110	中伊東 ～ 近江	R2	R2	99230	26587	0.338	0.264	0.115	38,534
-	PPD111	中伊東 ～ 近江	R2	R2	99219	26585	0.621	0.569	0.223	38,569
-	PPD112	中伊東 ～ 近江	R2	R2	99217	26585	0.226	0.209	0.136	38,519
-	PPD113	中伊東 ～ 近江	R2	R2	99217	26586	0.363	0.294	0.168	38,562
-	PPD114	中伊東 ～ 近江	R2	R2	99217	26587	0.255	0.221	0.184	38,420
-	PPD115	中伊東 ～ 近江	R2	R2	99215	26585	0.303	0.277	0.066	38,607
-	PPD116	中伊東 ～ 近江	R2	R2	99215	26585	0.355	0.312	0.359	38,544
-	PPD117	中伊東 ～ 近江	R2	R2	99216	26586	0.235	0.205	0.217	38,456
-	PPD118	中伊東 ～ 近江	R2	R2	99215	26587	0.369	0.304	0.288	38,494
-	PPD119	中伊東 ～ 近江	R2	R2	99231	26579	0.275	0.222	0.447	38,285
SBC5	PPD120	中伊東 ～ 近江	R2	R2	99239	26586	0.598	0.537	0.300	37,917
-	PPD121	中伊東 ～ 近江	R2	R2	99244	26589	0.824	0.763	0.236	38,084
SBE10	PPD122	中伊東 ～ 近江	R2	R2	99248	26592	0.907	0.856	0.550	37,673
SBE10	PPD123	中伊東 ～ 近江	R2	R2	99249	26591	0.880	0.788	0.513	37,744
SBE11	PPD124	中伊東 ～ 近江	R2	R2	99248	26594	0.818	0.791	0.723	37,416
SBE10	PPD125	中伊東 ～ 近江	R2	R2	99249	26593	0.915	0.840	0.444	37,721
SBE10	PPD126	中伊東 ～ 近江	R2	R2	99250	26595	0.930	0.796	0.538	37,710
SBE11	PPD127	中伊東 ～ 近江	R2	R2	99251	26593	0.847	0.765	0.511	37,647
-	PPD128	中伊東 ～ 近江	R2	R2	99251	26595	0.548	0.476	0.110	38,089
SBE10	PPD129	中伊東 ～ 近江	R2	R2	99253	26595	0.880	0.880	0.388	37,741
SBE10	PPD130	中伊東 ～ 近江	R2	R2	99249	26595	0.839	0.566	0.508	37,730
SBE10	PPD131	中伊東 ～ 近江	R2	R2	99242	26594	0.812	0.574	0.206	37,962
SBE10	PPD132	中伊東 ～ 近江	R2	R2	99245	26593	0.853	0.624	0.434	37,745
SBE10	PPD133	中伊東 ～ 近江	R2	R2	99242	26591	0.804	0.616	0.332	37,894
SBE10	PPD134	中伊東 ～ 近江	R2	R2	99242	26597	0.510	0.465	0.212	37,981
SBE10	PPD135	中伊東 ～ 近江	R2	R2	99244	26593	0.571	0.440	0.138	38,050
SBE10	PPD136	中伊東 ～ 近江	R2	R2	99246	26596	0.652	0.624	0.309	37,841
SBE10	PPD137	中伊東 ～ 近江	R2	R2	99241	26600	1.051	0.649	0.258	37,970
SBE10	PPD138	中伊東 ～ 近江	R2	R2	99246	26598	1.021	0.849	0.364	37,804
SBE10	PPD139	中伊東 ～ 近江	R2	R2	99242	26602	0.791	0.623	0.606	37,622
SBE10	PPD140	中伊東 ～ 近江	R2	R2	99244	26601	0.801	0.774	0.537	37,668
SBE10	PPD141	中伊東 ～ 近江	R2	R2	99247	26601	0.911	0.657	0.289	37,823
-	PPD142	中伊東 ～ 近江	R2	R2	99240	26604	0.615	0.445	0.336	37,917
-	PPD143	中伊東 ～ 近江	R2	R2	99246	26603	0.372	0.344	0.150	38,057
-	PPF1	中伊東 ～ 近江	R3	R3	99303	26576	0.353	0.251	0.125	37,654
-	PPF2	中伊東 ～ 近江	R3	R3	99301	26578	0.327	0.272	0.125	37,666
-	PPF3	中伊東 ～ 近江	R3	R3	99314	26578	0.367	0.310	0.323	37,330
-	PPF4	中伊東 ～ 近江	R3	R3	99316	26578	0.479	0.387	0.176	37,309
-	PPF5	中伊東 ～ 近江	R3	R3	99324	26587	0.270	0.252	0.207	37,300
-	PPF6	中伊東 ～ 近江	R3	R3	99323	26586	0.299	0.120	0.098	37,356
-	PPF7	中伊東 ～ 近江	R3	R3	99323	26588	0.167	0.165	0.175	37,286

編成年度	校名	学年	クラス	学年	人数	Y人数	最大人数	最大人数(%)	備考	
-	PPF8	中伊東 ～ 近江	R3	R3	99323	26585	0.297	0.274	0.431	37,015
-	PPF9	中伊東 ～ 近江	R3	R3	99322	26588	0.273	0.204	0.306	37,129
-	PPF10	中伊東 ～ 近江	R3	R3	99321	26588	0.308	0.364	0.267	37,220
-	PPF11	中伊東 ～ 近江	R3	R3	99321	26588	0.222	0.212	0.519	36,957
-	PPF12	中伊東 ～ 近江	R3	R3	99323	26590	0.257	0.239	0.472	36,983
-	PPF13	中伊東 ～ 近江	R3	R3	99323	26590	0.291	0.229	0.405	37,043
-	PPF14	中伊東 ～ 近江	R3	R3	99320	26587	0.279	0.228	0.181	37,312
SBE13	PPF15	中伊東 ～ 近江	R3	R3	99319	26591	0.312	0.288	0.466	37,096
-	PPF16	中伊東 ～ 近江	R3	R3	99319	26591	0.344	0.301	0.466	37,066
-	PPF17	中伊東 ～ 近江	R3	R3	99328	26584	0.304	0.245	0.187	37,371
-	PPF18	中伊東 ～ 近江	R3	R3	99320	26586	0.288	0.281	0.397	37,015
-	PPF19	中伊東 ～ 近江	R3	R3	99330	26587	0.405	0.349	0.271	37,126
-	PPF20	中伊東 ～ 近江	R3	R3	99328	26580	0.317	0.279	0.383	36,990
-	PPF21	中伊東 ～ 近江	R3	R3	99328	26591	0.351	0.301	0.458	36,941
SBE13	PPF22	中伊東 ～ 近江	R3	R3	99328	26593	0.255	0.230	0.278	37,000
-	PPF23	中伊東 ～ 近江	R3	R3	99327	26595	0.200	0.158	0.175	37,165
-	PPF24	中伊東 ～ 近江	R3	R3	99328	26595	0.249	0.231	0.184	37,093
SBE13	PPF25	中伊東 ～ 近江	R3	R3	99332	26592	0.289	0.246	0.258	36,947
-	PPF26	中伊東 ～ 近江	R3	R3	99323	26593	0.237	0.194	0.322	36,889
-	PPF27	中伊東 ～ 近江	R3	R3	99321	26583	0.230	0.192	0.203	37,240
-	PPF28	中伊東 ～ 近江	R3	R3	99317	26593	0.511	0.504	0.191	37,410
-	PPF29	中伊東 ～ 近江	R3	R3	99316	26594	0.243	0.213	0.155	37,371
-	PPF30	中伊東 ～ 近江	R3	R3	99325	26585	0.265	0.232	0.254	37,184
-	PPF31	中伊東 ～ 近江	R3	R3	99325	26583	0.173	0.152	0.188	37,239
-	PPF32	中伊東 ～ 近江	R3	R3	99311	26593	0.406	0.312	0.328	37,115
-	PPF33	中伊東 ～ 近江	R3	R3	99323	26593	0.237	0.194	0.264	37,170
-	PPF34	中伊東 ～ 近江	R3	R3	99317	26597	0.239	0.213	0.151	37,433
-	PPF35	中伊東 ～ 近江	R3	R3	99312	26594	0.249	0.216	0.218	37,497
-	PPF36	中伊東 ～ 近江	R3	R3	99313	26596	0.280	0.213	0.316	37,368
-	PPF37	中伊東 ～ 近江	R3	R3	99313	26597	0.335	0.290	0.164	37,507
-	PPF38	中伊東 ～ 近江	R3	R3	99312	26597	0.218	0.211	0.248	37,412
-	PPF39	中伊東 ～ 近江	R3	R3	99311	26597	0.291	0.250	0.216	37,447
-	PPF40	中伊東 ～ 近江	R3	R3	99311	26598	0.200	0.167	0.229	37,627
-	PPF41	中伊東 ～ 近江	R3	R3	99310	26596	0.173	0.148	0.136	37,564
SBE20	PPF42	中伊東 ～ 近江	R3	R3	99312	26599	0.420	0.345	0.189	37,519
-	PPF43	中伊東 ～ 近江	R3	R3	99312	26600	0.306	0.255	0.166	37,496
SBE14	PPF44	中伊東 ～ 近江	R3	R3	99314	26599	0.332	0.281	0.176	37,494
-	PPF45	中伊東 ～ 近江	R3	R3	99314	26598	0.501	0.311	0.397	37,217
-	PPF46	中伊東 ～ 近江	R3	R3	99314	26597	0.276	0.263	0.155	37,525
-	PPF47	中伊東 ～ 近江	R3	R3	99318	26596	0.304	0.275	0.263	37,337
-	PPF48	中伊東 ～ 近江	R3	R3	99318	26597	0.299	0.290	0.379	37,280
-	PPF49	中伊東 ～ 近江	R3	R3	99320	26598	0.445	0.315	0.145	37,337
-	PPF50	中伊東 ～ 近江	R3	R3	99320	26599	0.455	0.357	0.166	37,384
-	PPF51	中伊東 ～ 近江	R3	R3	99320	26599	0.435	0.315	0.176	37,354
-	PPF52	中伊東 ～ 近江	R3	R3	99320	26599	0.281	0.234	0.282	36,990
-	PPF53	中伊東 ～ 近江	R3	R3	99321	26600	0.436	0.408	0.286	37,552
-	PPF54	中伊東 ～ 近江	R3	R3	99322	26600	0.344	0.294	0.402	37,102
-	PPF55	中伊東 ～ 近江	R3	R3	99316	26597	0.381	0.283	0.238	37,419
SBE19	PPF56	中伊東 ～ 近江	R3	R3	99313	26599	0.308	0.351	0.287	37,360
-	PPF57	中伊東 ～ 近江	R3	R3	99315	26599	0.359	0.332	0.194	37,434
-	PPF58	中伊東 ～ 近江	R3	R3	99314	26597	0.419	0.352	0.243	37,421
SBE14	PPF59	中伊東 ～ 近江	R3	R3	99316	26599	0.380	0.334	0.369	37,200

2 検出遺構

遺構 番号	柱欠 位置	検出 年代	アグリフ	年度	出土層	Y座標	最大 長さ	最大 幅	検出 位置 高さ	備考
SRE19	PP60	縄文 時代	Ⅱ Ba3	K3	99319	26599	0.345	0.327	0.262	37.288
-	PP61	中世末 -近世 前期	Ⅱ Ba3	K3	99317	26599	0.251	0.235	0.191	37.384
-	PP62	中世末 -近世 前期	Ⅱ Ba3	K3	99317	26599	0.204	0.139	0.194	37.431
-	PP63	中世末 -近世 前期	Ⅱ Ca4	K3	99318	26600	0.251	0.177	0.141	37.460
-	PP64	中世末 -近世 前期	Ⅱ Ca4	K3	99318	26600	0.181	0.151	0.261	37.320
-	PP65	中世末 -近世 前期	Ⅱ Ca4	K3	99319	26601	0.294	0.280	0.176	37.413
-	PP66	中世末 -近世 前期	Ⅱ Ca4	K3	99319	26601	0.452	0.418	0.296	37.273
-	PP67	中世末 -近世 前期	Ⅱ Cs5a	K3	99320	26601	0.235	0.214	0.086	37.475
-	PP68	中世末 -近世 前期	Ⅱ Cs5a	K3	99320	26601	0.322	0.317	0.294	37.262
-	PP69	中世末 -近世 前期	Ⅱ Cs5a	K3	99320	26601	0.297	0.256	0.210	37.354
-	PP70	中世末 -近世 前期	Ⅱ Cs5a	K3	99320	26601	0.370	0.348	0.237	37.312
-	PP71	中世末 -近世 前期	Ⅱ Cs5a	K3	99321	26602	0.361	0.275	0.194	37.384
-	PP72	中世末 -近世 前期	Ⅱ Cs5a	K3	99321	26603	0.480	0.363	0.153	37.310
-	PP73	中世末 -近世 前期	Ⅱ Cs5a	K3	99320	26602	0.496	0.272	0.207	37.340
-	PP74	中世末 -近世 前期	Ⅱ Cs5a	K3	99320	26602	0.396	0.333	0.149	37.303
SRE18	PP75	縄文 時代	Ⅱ Cs5a	K3	99320	26603	0.603	0.592	0.214	37.305
-	PP76	中世末 -近世 前期	Ⅱ Cs5a	K3	99321	26604	0.226	0.220	0.186	37.348
-	PP77	中世末 -近世 前期	Ⅱ Cs5a	K3	99321	26604	0.217	0.133	0.279	37.206
-	PP78	中世末 -近世 前期	Ⅱ Cs5a	K3	99320	26604	0.331	0.285	0.214	37.315
-	PP79	中世末 -近世 前期	Ⅱ Cs5b	K3	99320	26605	0.291	0.242	0.318	37.220
SRE18	PP80	縄文 時代	Ⅱ Cs5b	K3	99320	26605	0.329	0.258	0.333	37.208
-	PP81	中世末 -近世 前期	Ⅱ Cs5a	K3	99320	26604	0.455	0.390	0.183	37.345
SRE2	PP82	縄文 時代	Ⅱ Ca4	K3	99319	26604	0.588	0.352	0.319	37.264
-	PP83	中世末 -近世 前期	Ⅱ Ca6	K3	99319	26605	0.229	0.208	0.131	37.364
-	PP84	中世末 -近世 前期	Ⅱ Ca6	K3	99319	26605	0.221	0.207	0.134	37.386
-	PP85	中世末 -近世 前期	Ⅱ Ca6	K3	99319	26605	0.270	0.228	0.126	37.414
-	PP86	中世末 -近世 前期	Ⅱ Ca6	K3	99319	26605	0.250	0.228	0.136	37.407
-	PP87	中世末 -近世 前期	Ⅱ Ca6	K3	99319	26606	0.354	0.281	0.308	37.255
-	PP88	中世末 -近世 前期	Ⅱ Ca6	K3	99318	26607	0.343	0.295	0.216	37.337
-	PP89	中世末 -近世 前期	Ⅱ Ca6	K3	99318	26607	0.393	0.356	0.198	37.342
-	PP90	中世末 -近世 前期	Ⅱ Ca6	K3	99318	26607	0.275	0.262	0.198	37.348
SRE14	PP91	縄文 時代	Ⅱ Ca4	K3	99318	26602	0.479	0.442	0.327	37.376
SRE20	PP92	縄文 時代	Ⅱ Ca4	K3	99318	26602	0.566	0.528	0.223	37.309
-	PP93	中世末 -近世 前期	Ⅱ Ca4	K3	99317	26602	0.440	0.373	0.265	37.351
-	PP94	中世末 -近世 前期	Ⅱ Ca4	K3	99317	26602	0.433	0.308	0.129	37.476
-	PP95	中世末 -近世 前期	Ⅱ Ca4	K3	99317	26602	0.306	0.292	0.088	37.524
-	PP96	中世末 -近世 前期	Ⅱ Ca4	K3	99316	26603	0.601	0.430	0.236	37.386
-	PP97	中世末 -近世 前期	Ⅱ Ca4	K3	99316	26602	0.296	0.233	0.243	37.308
SRE20	PP98	縄文 時代	Ⅱ Ca4	K3	99318	26600	0.530	0.310	0.275	37.342
-	PP99	中世末 -近世 前期	Ⅱ Ca4	K3	99316	26603	0.445	0.372	0.233	37.361
-	PP100	中世末 -近世 前期	Ⅱ Ca4	K3	99315	26603	0.553	0.521	0.227	37.395
-	PP101	中世末 -近世 前期	Ⅱ Ca4	K3	99315	26604	0.420	0.404	0.154	37.449
SRE19	PP102	縄文 時代	Ⅱ Cs3a	K3	99314	26602	0.412	0.362	0.306	37.344
-	PP103	中世末 -近世 前期	Ⅱ Cs3a	K3	99314	26602	0.301	0.274	0.152	37.317
SRE19	PP104	縄文 時代	Ⅱ Cs3a	K3	99313	26602	0.347	0.286	0.171	37.539
-	PP105	中世末 -近世 前期	Ⅱ Cs3a	K3	99313	26602	0.344	0.313	0.274	37.463
-	PP106	中世末 -近世 前期	Ⅱ Cs3a	K3	99311	26603	0.350	0.298	0.277	37.464
-	PP107	中世末 -近世 前期	Ⅱ Cs3a	K3	99311	26602	0.327	0.292	0.162	37.610
-	PP108	中世末 -近世 前期	Ⅱ Cs3a	K3	99311	26602	0.270	0.255	0.148	37.602
-	PP109	中世末 -近世 前期	Ⅱ Cs3a	K3	99311	26601	0.533	0.390	0.152	37.580
-	PP110	中世末 -近世 前期	Ⅱ Cs3a	K3	99311	26601	0.349	0.273	0.132	37.624
SRE21	PP111	縄文 時代	Ⅱ Cs3a	K3	99312	26601	0.284	0.280	0.278	37.474

遺構 番号	柱欠 位置	検出 年代	アグリフ	年度	出土層	Y座標	最大 長さ	最大 幅	検出 位置 高さ	備考
-	PP112	中世末 -近世 前期	Ⅱ Cs3a	K3	99313	26601	0.288	0.259	0.301	37.559
-	PP113	中世末 -近世 前期	Ⅱ Cs3a	K3	99313	26601	0.338	0.298	0.328	37.318
SRE14	PP114	縄文 時代	Ⅱ Cs3a	K3	99313	26601	0.524	0.282	0.437	37.280
-	PP115	中世末 -近世 前期	Ⅱ Cs3a	K3	99313	26601	0.462	0.306	0.243	37.466
-	PP116	中世末 -近世 前期	Ⅱ Cs3a	K3	99314	26601	0.463	0.240	0.282	37.430
SRE23	PP117	縄文 時代	Ⅱ Cs3a	K3	99314	26601	0.270	0.252	0.356	37.296
-	PP118	中世末 -近世 前期	Ⅱ Cs3a	K3	99314	26601	0.159	0.143	0.337	37.276
-	PP119	中世末 -近世 前期	Ⅱ Cs3a	K3	99314	26601	0.207	0.276	0.496	37.195
-	PP120	中世末 -近世 前期	Ⅱ Ca4	K3	99315	26601	0.365	0.250	0.208	37.359
SRE14	PP121	縄文 時代	Ⅱ Cs3a	K3	99315	26601	0.356	0.316	0.390	37.311
-	PP122	中世末 -近世 前期	Ⅱ Ca4	K3	99315	26601	0.337	0.302	0.376	37.323
-	PP123	中世末 -近世 前期	Ⅱ Ca4	K3	99315	26601	0.343	0.327	0.251	37.453
-	PP124	中世末 -近世 前期	Ⅱ Ca6	K3	99316	26606	0.323	0.261	0.252	37.353
-	PP125	中世末 -近世 前期	Ⅱ Ca6	K3	99316	26605	0.381	0.337	0.341	37.263
-	PP126	中世末 -近世 前期	Ⅱ Ca6	K3	99316	26605	0.190	0.146	0.094	37.485
-	PP127	中世末 -近世 前期	Ⅱ Ca6	K3	99316	26606	0.600	0.513	0.343	37.247
-	PP128	中世末 -近世 前期	Ⅱ Ca6	K3	99317	26605	0.257	0.117	0.161	37.393
-	PP129	中世末 -近世 前期	Ⅱ Ca6	K3	99317	26605	0.272	0.218	0.194	37.401
-	PP130	中世末 -近世 前期	Ⅱ Ca6	K3	99316	26606	0.255	0.286	0.222	37.370
-	PP131	中世末 -近世 前期	Ⅱ Ca6	K3	99316	26606	0.301	0.265	0.141	37.430
-	PP132	中世末 -近世 前期	Ⅱ Ca6	K3	99316	26607	0.319	0.298	0.329	37.234
-	PP133	中世末 -近世 前期	Ⅱ Ca6	K3	99317	26607	0.447	0.349	0.351	37.366
-	PP134	中世末 -近世 前期	Ⅱ Ca6	K3	99317	26607	0.334	0.242	0.162	37.409
SRE14	PP135	縄文 時代	Ⅱ Ca6	K3	99317	26607	0.915	0.512	0.421	37.103
-	PP136	中世末 -近世 前期	Ⅱ Ca6	K3	99318	26608	0.296	0.144	0.250	37.286
-	PP137	中世末 -近世 前期	Ⅱ Ca5	K3	99318	26608	0.129	0.077	0.116	37.347
SRE14	PP138	縄文 時代	Ⅱ Cs3a	K3	99315	26604	0.181	0.171	0.294	37.352
-	PP139	中世末 -近世 前期	Ⅱ Cs3a	K3	99313	26604	0.162	0.132	0.095	37.544
SRE21	PP140	縄文 時代	Ⅱ Cs3a	K3	99312	26604	0.291	0.279	0.207	37.566
-	PP141	中世末 -近世 前期	Ⅱ Cs3a	K3	99312	26604	0.229	0.222	0.241	37.483
SRE20	PP142	縄文 時代	Ⅱ Cs3b	K3	99312	26605	0.224	0.214	0.455	37.277
-	PP143	中世末 -近世 前期	Ⅱ Cs3b	K3	99312	26605	0.351	0.339	0.207	37.471
-	PP144	中世末 -近世 前期	Ⅱ Cs3b	K3	99312	26605	0.320	0.267	0.539	37.152
-	PP145	中世末 -近世 前期	Ⅱ Cs3b	K3	99323	26605	0.315	0.225	0.455	37.241
-	PP146	中世末 -近世 前期	Ⅱ Cs3b	K3	99313	26605	0.313	0.272	0.403	37.247
-	PP147	中世末 -近世 前期	Ⅱ Cs3b	K3	99311	26605	0.326	0.284	0.196	37.541
-	PP148	中世末 -近世 前期	Ⅱ Cs3b	K3	99311	26605	0.312	0.301	0.269	37.460
-	PP149	中世末 -近世 前期	Ⅱ Cs3b	K3	99311	26605	0.299	0.285	0.243	37.493
-	PP150	中世末 -近世 前期	Ⅱ Cs3b	K3	99310	26605	0.249	0.212	0.261	37.473
-	PP151	中世末 -近世 前期	Ⅱ Cs3a	K3	99310	26604	0.281	0.275	0.248	37.541
-	PP152	中世末 -近世 前期	Ⅱ Cs3b	K3	99312	26606	0.318	0.266	0.168	37.303
-	PP153	中世末 -近世 前期	Ⅱ Cs3b	K3	99312	26605	0.317	0.259	0.359	37.323
-	PP154	中世末 -近世 前期	Ⅱ B15m	K3	99274	26563	0.385	0.273	0.182	37.998
-	PP154-2	中世末 -近世 前期	Ⅱ Cs3b	K3	99312	26605	0.178	0.150	0.182	37.998
-	PP155	中世末 -近世 前期	Ⅱ Cs3b	K3	99313	26605	0.346	0.323	0.192	37.466
-	PP156	中世末 -近世 前期	Ⅱ Ca6	K3	99315	26606	0.326	0.275	0.317	37.285
-	PP157	中世末 -近世 前期	Ⅱ Ca6	K3	99315	26606	0.305	0.256	0.328	37.271
SRE19	PP158	縄文 時代	Ⅱ Cs3b	K3	99314	26606	0.368	0.328	0.420	37.192
-	PP159	中世末 -近世 前期	Ⅱ Ca6	K3	99315	26605	0.353	0.322	0.342	37.371
-	PP160	中世末 -近世 前期	Ⅱ Ca6	K3	99316	26607	0.315	0.288	0.236	37.333
-	PP161	中世末 -近世 前期	Ⅱ Ca6	K3	99316	26607	0.293	0.277	0.135	37.430
-	PP162	中世末 -近世 前期	Ⅱ Ca6	K3	99317	26608	0.325	0.308	0.142	37.399

調査年度	世帯	世帯主 氏名	フリート 種別	年度	入居額	Y集積	最大	最大	最大	最大	備考
SRE20	FFE163	中野末 代末	車C4b	RC	99017	26608	0.556	0.280	0.310	37.237	
-	FFE164	中野末 代末	車C4b	RC	99015	26607	0.311	0.255	0.278	37.290	
SRE19	FFE165	中野末 代末	車C4b	RC	99013	26606	0.287	0.242	0.474	37.161	
-	FFE166	中野末 代末	車C3b	RC	99013	26605	0.278	0.190	0.174	37.480	
-	FFE167	中野末 代末	車C3b	RC	99014	26607	0.406	0.332	0.458	37.145	
SRE14 -21	FFE168	中野末 代末	車C2b	RC	99014	26606	0.541	0.287	0.456	37.168	
-	FFE169	中野末 代末	車C4b	RC	99015	26607	0.309	0.300	0.473	37.125	
-	FFE170	中野末 代末	車C4b	RC	99018	26605	0.364	0.208	0.228	37.345	
-	FFE171	中野末 代末	車C4b	RC	99018	26606	0.476	0.325	0.132	37.437	
SRE19	FFE172	中野末 代末	車C4b	RC	99019	26606	0.303	0.366	0.452	37.126	
-	FFE173	中野末 代末	車C4b	RC	99019	26608	0.297	0.276	0.364	37.185	
-	FFE174	中野末 代末	車C4b	RC	99017	26608	0.345	0.290	0.228	37.297	
-	FFE175	中野末 代末	車C4b	RC	99018	26609	0.351	0.273	0.103	37.296	
-	FFE176	中野末 代末	車C4b	RC	99018	26609	0.280	0.260	0.346	37.158	
-	FFE177	中野末 代末	車C4b	RC	99016	26609	0.329	0.267	0.403	37.132	
SRE4	FFE178	中野末 代末	車C3b	RC	99013	26606	0.548	0.283	0.287	37.362	
SRE21	FFE179	中野末 代末	車C3b	RC	99012	26606	0.206	0.198	0.187	37.440	
-	FFE180	中野末 代末	車C3b	RC	99012	26606	0.352	0.301	0.145	37.474	
-	FFE181	中野末 代末	車C2b	RC	99010	26606	0.354	0.296	0.136	37.582	
-	FFE182	中野末 代末	車C2b	RC	99009	26605	0.365	0.307	0.277	37.507	
-	FFE183	中野末 代末	車C2b	RC	99008	26605	0.205	0.178	0.333	37.405	
SRE20	FFE184	中野末 代末	車C3b	RC	99011	26607	0.290	0.260	0.423	37.261	
-	FFE185	中野末 代末	車C3b	RC	99011	26607	0.280	0.252	0.407	37.271	
-	FFE186	中野末 代末	車C3b	RC	99012	26606	0.408	0.313	0.444	37.197	
-	FFE187	中野末 代末	車C3b	RC	99014	26605	0.303	0.281	0.478	37.157	
-	FFE188	中野末 代末	車C3b	RC	99013	26602	0.393	0.317	0.227	37.501	
-	FFE189	中野末 代末	車C3a	RC	99013	26602	0.293	0.250	0.147	37.574	
-	FFE190	中野末 代末	車C3a	RC	99012	26602	0.243	0.214	0.207	37.527	
-	FFE191	中野末 代末	車C3a	RC	99012	26602	0.281	0.222	0.316	37.550	
-	FFE192	中野末 代末	車C3a	RC	99012	26602	0.338	0.311	0.193	37.558	
SRE20	FFE193	中野末 代末	車C3a	RC	99012	26602	0.326	0.312	0.310	37.436	
-	FFE194	中野末 代末	車C3a	RC	99010	26604	0.297	0.235	0.460	37.289	
-	FFE195	中野末 代末	車C3a	RC	99010	26604	0.502	0.416	0.431	37.322	
-	FFE196	中野末 代末	車C2b	RC	99007	26605	0.337	0.264	0.285	37.464	
-	FFE197	中野末 代末	車C2b	RC	99007	26606	0.255	0.218	0.311	37.433	
-	FFE198	中野末 代末	車C2b	RC	99006	26597	0.361	0.283	0.362	37.414	
-	FFE199	中野末 代末	車C3b	RC	99011	26608	0.280	0.229	0.416	37.267	
-	FFE200	中野末 代末	車C4a	RC	99017	26604	0.350	0.311	0.238	37.350	
-	FFE201	中野末 代末	車C2b	RC	99006	26606	0.226	0.206	0.228	37.480	
SRE14	FFE202	中野末 代末	車C4a	RC	99014	26604	0.574	0.398	0.380	37.287	
SRE21	FFE203	中野末 代末	車C2a	RC	99014	26604	0.223	0.182	0.246	37.417	
-	FFE204	中野末 代末	車C2a	RC	99014	26604	0.294	0.283	0.231	37.411	
-	FFE205	中野末 代末	車C3b	RC	99014	26605	0.316	0.270	0.380	37.260	
-	FFE206	中野末 代末	車C4b	RC	99015	26605	0.515	0.281	0.343	37.298	
-	FFE207	中野末 代末	車C4b	RC	99016	26604	0.289	0.251	0.165	37.433	
SRE19	FFE208	中野末 代末	車B4b	RC	99015	26599	0.356	0.346	0.339	37.313	
SRE14	FFE209	中野末 代末	車B4b	RC	99015	26599	0.536	0.395	0.331	37.342	
-	FFE210	中野末 代末	車B4b	RC	99015	26598	0.376	0.340	0.368	37.316	
-	FFE211	中野末 代末	車C2b	RC	99004	26608	0.270	0.255	0.146	37.573	
-	FFE212	中野末 代末	車C2b	RC	99008	26608	0.212	0.174	0.156	37.561	
-	FFE213	中野末 代末	車C3b	RC	99010	26608	0.321	0.270	0.240	37.434	
-	FFE214	中野末 代末	車C3b	RC	99010	26608	0.283	0.266	0.101	37.556	
-	FFE215	中野末 代末	車C3b	RC	99012	26607	0.326	0.275	0.301	37.355	
-	FFE216	中野末 代末	車C3b	RC	99012	26608	0.289	0.233	0.542	37.302	
-	FFE217	中野末 代末	車C3b	RC	99012	26608	0.285	0.201	0.327	37.025	
-	FFE218	中野末 代末	車C3b	RC	99013	26607	0.300	0.278	0.336	37.255	
-	FFE219	中野末 代末	車C3b	RC	99013	26607	0.224	0.136	0.208	37.415	
SRE14	FFE220	中野末 代末	車C3b	RC	99013	26607	0.205	0.189	0.355	37.298	
-	FFE221	中野末 代末	車C3b	RC	99012	26607	0.262	0.177	0.341	37.294	
-	FFE222	中野末 代末	車C3b	RC	99014	26608	0.295	0.237	0.423	37.188	
-	FFE223	中野末 代末	車C3b	RC	99014	26608	0.342	0.313	0.411	37.231	
-	FFE224	中野末 代末	車C3b	RC	99014	26608	0.427	0.366	0.300	37.284	
-	FFE225	中野末 代末	車C3b	RC	99014	26609	0.344	0.288	0.236	37.323	
-	FFE226	中野末 代末	車C3b	RC	99012	26608	0.350	0.317	0.444	37.197	
-	FFE227	中野末 代末	車C3b	RC	99012	26608	0.413	0.317	0.384	37.253	
-	FFE228	中野末 代末	車C4b	RC	99016	26608	0.407	0.275	0.410	37.126	
-	FFE229	中野末 代末	車C4b	RC	99017	26608	0.277	0.216	0.278	37.263	
-	FFE230	中野末 代末	車C4b	RC	99017	26608	0.456	0.252	0.515	37.010	
-	FFE231	中野末 代末	車C4b	RC	99017	26608	0.460	0.332	0.372	37.177	
-	FFE232	中野末 代末	車C4b	RC	99017	26609	0.283	0.244	0.323	37.122	
SRE14	FFE233	中野末 代末	車C4c	RC	99017	26610	0.320	0.305	0.328	37.154	
-	FFE234	中野末 代末	車C4b	RC	99017	26609	0.266	0.234	0.288	37.242	
-	FFE235	中野末 代末	車C4b	RC	99017	26609	0.258	0.246	0.167	37.378	
-	FFE236	中野末 代末	車C4c	RC	99016	26610	0.334	0.285	0.261	37.271	
-	FFE237	中野末 代末	車C4c	RC	99016	26610	0.396	0.389	0.526	37.162	
-	FFE238	中野末 代末	車C4b	RC	99016	26609	0.301	0.283	0.284	37.249	
-	FFE239	中野末 代末	車C3b	RC	99012	26608	0.280	0.278	0.403	37.256	
-	FFE240	中野末 代末	車C3c	RC	99010	26610	0.320	0.286	0.201	37.437	
-	FFE241	中野末 代末	車C3c	RC	99010	26610	0.284	0.256	0.333	37.296	
-	FFE242	中野末 代末	車C3b	RC	99008	26611	0.247	0.232	0.220	37.380	
-	FFE243	中野末 代末	車C2c	RC	99007	26610	0.310	0.268	0.266	37.359	
-	FFE244	中野末 代末	車C3c	RC	99011	26610	0.311	0.283	0.318	37.289	
SRE20	FFE245	中野末 代末	車C3b	RC	99011	26609	0.245	0.207	0.343	37.292	
SRE22	FFE246	中野末 代末	車C3c	RC	99011	26610	0.266	0.295	0.367	37.249	
-	FFE247	中野末 代末	車C3c	RC	99011	26611	0.265	0.194	0.298	37.293	
-	FFE248	中野末 代末	車C3c	RC	99012	26610	0.354	0.289	0.312	37.299	
-	FFE249	中野末 代末	車C4c	RC	99016	26611	0.422	0.403	0.361	37.110	
-	FFE250	中野末 代末	車C4c	RC	99015	26610	0.499	0.383	0.329	37.205	
-	FFE251	中野末 代末	車C4c	RC	99015	26612	0.347	0.287	0.424	37.163	
-	FFE252	中野末 代末	車C3c	RC	99011	26610	0.340	0.306	0.302	37.299	
SRE19	FFE253	中野末 代末	車C3b	RC	99013	26608	0.473	0.381	0.428	37.180	
-	FFE254	中野末 代末	車C3b	RC	99013	26609	0.259	0.226	0.252	37.374	
-	FFE255	中野末 代末	車C3c	RC	99014	26612	0.282	0.269	0.286	37.155	
-	FFE256	中野末 代末	車C3b	RC	99013	26609	0.249	0.243	0.222	37.401	
-	FFE257	中野末 代末	車C3c	RC	99012	26610	0.317	0.302	0.143	37.461	
-	FFE258	中野末 代末	車C3c	RC	99011	26611	0.250	0.235	0.332	37.251	
-	FFE259	中野末 代末	車C2a	RC	99006	26601	0.493	0.415	0.282	37.320	
SRE19	FFE260	中野末 代末	車C2a	RC	99005	26602	0.443	0.423	0.267	37.493	
SRE12	FFE261	中野末 代末	車C1a	RC	99004	26602	0.414	0.336	0.280	37.496	
-	FFE262	中野末 代末	車C2a	RC	99005	26604	0.405	0.387	0.266	37.462	
-	FFE263	中野末 代末	車C1a	RC	99004	26604	0.342	0.319	0.322	37.460	
SRE12	FFE264	中野末 代末	車C2b	RC	99005	26605	0.320	0.282	0.314	37.406	
SRE12	FFE265	中野末 代末	車C1b	RC	99004	26605	0.369	0.326	0.211	37.515	
SRE14	FFE266	中野末 代末	車C3c	RC	99012	26610	0.380	0.329	0.367	37.182	

2 検出遺構

検出 層級	柱元	検出 層級	グリッド	年度	天出層	Y座標	検出 層級	最大 径	最大 径	検出 層級	備考
-	PF267	中伊木 遺跡	Ⅱ C1c	9903	26611	0.298	0.265	0.224	37.351		
SRE22	PF268	中伊木 遺跡	Ⅱ C1c	9903	26612	0.286	0.223	0.423	37.160		
-	PF269	中伊木 遺跡	Ⅱ C1c	9903	26613	0.244	0.223	0.227	37.325		
-	PF270	中伊木 遺跡	Ⅱ C4c	9903	26611	0.371	0.338	0.332	37.170		
-	PF271	中伊木 遺跡	Ⅱ C1c	9904	26611	0.240	0.221	0.396	37.134		
SRE22	PF272	中伊木 遺跡	Ⅱ C1c	9903	26612	0.271	0.266	0.341	37.203		
-	PF273	中伊木 遺跡	Ⅱ C1c	9903	26612	0.323	0.269	0.296	37.243		
SRE14	PF274	中伊木 遺跡	Ⅱ C1c	9903	26610	0.411	0.385	0.346	37.225		
SRE21	PF275	中伊木 遺跡	Ⅱ C1b	9903	26609	0.364	0.275	0.445	37.075		
-	PF276	中伊木 遺跡	Ⅱ C1b	9903	26609	0.384	0.261	0.164	37.439		
SRE14	PF277	中伊木 遺跡	Ⅱ C1b	9903	26609	0.257	0.176	0.191	37.403		
-	PF278	中伊木 遺跡	Ⅱ C1c	9903	26611	0.313	0.18	0.202	37.375		
-	PF279	中伊木 遺跡	Ⅱ C1c	9901	26613	0.303	0.486	0.279	37.268		
-	PF280	中伊木 遺跡	Ⅱ C1c	9903	26613	0.316	0.246	0.263	37.288		
-	PF281	中伊木 遺跡	Ⅱ C1c	9901	26612	0.337	0.295	0.089	37.464		
-	PF282	中伊木 遺跡	Ⅱ C1c	9903	26614	0.298	0.234	0.272	37.230		
SRE22	PF283	中伊木 遺跡	Ⅱ C1c	9903	26614	0.267	0.19	0.175	37.340		
-	PF284	中伊木 遺跡	Ⅱ C1c	9903	26613	0.326	0.240	0.286	37.233		
-	PF285	中伊木 遺跡	Ⅱ C1c	9903	26613	0.327	0.218	0.286	37.271		
SRE22	PF286	中伊木 遺跡	Ⅱ C1c	9903	26614	0.335	0.305	0.449	37.068		
-	PF287	中伊木 遺跡	Ⅱ C1c	9904	26614	0.251	0.224	0.175	37.295		
-	PF288	中伊木 遺跡	Ⅱ C1c	9903	26614	0.296	0.233	0.27	37.244		
SRE12	PF289	中伊木 遺跡	Ⅱ C1c	9903	26615	0.428	0.328	0.279	37.232		
-	PF290	中伊木 遺跡	Ⅱ C1c	9903	26612	0.280	0.218	0.307	37.244		
-	PF291	中伊木 遺跡	Ⅱ C1c	99009	26612	0.207	0.183	0.272	37.307		
-	PF292	中伊木 遺跡	Ⅱ C1c	99009	26612	0.303	0.300	0.21	37.353		
-	PF293	中伊木 遺跡	Ⅱ C1c	99005	26613	0.321	0.303	0.125	37.446		
-	PF294	中伊木 遺跡	Ⅱ C1c	99004	26612	0.337	0.291	0.18	37.405		
-	PF295	中伊木 遺跡	Ⅱ C19a	99024	26615	0.459	0.437	0.156	37.340		
-	PF296	中伊木 遺跡	Ⅱ C19a	99026	26616	0.337	0.288	0.339	37.213		
-	PF297	中伊木 遺跡	Ⅱ C19a	99021	26617	0.269	0.217	0.12	37.451		
-	PF298	中伊木 遺跡	Ⅱ C19a	99022	26618	0.245	0.207	0.279	37.246		
-	PF299	中伊木 遺跡	Ⅱ C19a	99021	26619	0.309	0.263	0.444	37.068		
-	PF300	中伊木 遺跡	Ⅱ C19a	99020	26614	0.334	0.320	0.206	37.419		
-	PF301	中伊木 遺跡	Ⅱ C19a	99028	26615	0.302	0.254	0.172	37.464		
SRE13	PF302	中伊木 遺跡	Ⅱ B6a	99025	26592	0.316	0.228	0.346	36.958		
SRE13	PF303	中伊木 遺跡	Ⅱ B1a	99034	26597	0.316	0.311	0.296	37.052		
-	PF304	中伊木 遺跡	Ⅱ C19a	99020	26619	0.259	0.225	0.107	37.415		
-	PF305	中伊木 遺跡	Ⅱ C19a	99028	26619	0.304	0.288	0.347	37.180		
-	PF306	中伊木 遺跡	Ⅱ C19a	99022	26623	0.313	0.291	0.206	37.144		
-	PF307	中伊木 遺跡	Ⅱ C19f	99023	26625	0.465	0.287	0.134	37.196		
-	PF308	中伊木 遺跡	Ⅱ C19a	99028	26616	0.307	0.282	0.105	37.502		
-	PF309	中伊木 遺跡	Ⅱ C19a	99028	26616	0.299	0.249	0.111	37.494		
SRE13	PF310	中伊木 遺跡	Ⅱ B1a	99031	26596	0.297	0.294	0.128	37.112		
-	PF311	中伊木 遺跡	Ⅱ B4a	99039	26593	0.114	0.099	0.079	37.279		
-	PF312	中伊木 遺跡	Ⅱ B4a	99018	26592	0.111	0.088	0.062	37.283		
-	PF313	中伊木 遺跡	Ⅱ C19a	99027	26618	0.287	0.263	0.208	37.379		
-	PF314	中伊木 遺跡	Ⅱ C19a	99026	26620	0.272	0.255	0.569	37.004		
-	PF315	中伊木 遺跡	Ⅱ C19a	99023	26622	0.288	0.248	0.115	37.268		
-	PF316	中伊木 遺跡	Ⅱ C19a	99024	26622	0.278	0.265	0.172	37.233		
-	PF317	中伊木 遺跡	Ⅱ C19a	99024	26624	0.257	0.255	0.135	37.202		
-	PF318	中伊木 遺跡	Ⅱ C19a	99023	26620	0.316	0.276	0.328	37.157		

-	PF319	中伊木 遺跡	Ⅱ C20b	99029	26609	0.413	0.385	0.282	37.436		
SRE12	PF320	中伊木 遺跡	Ⅱ C1b	99000	26605	0.472	0.412	0.300	37.542		
SRE12	PF321	中伊木 遺跡	Ⅱ C1a	99000	26603	0.343	0.285	0.390	37.443		
SRE12	PF322	中伊木 遺跡	Ⅱ C20a	99029	26603	0.441	0.306	0.344	37.482		
-	PF323	中伊木 遺跡	Ⅱ C1a	99000	26601	0.415	0.394	0.359	37.474		
-	PF324	中伊木 遺跡	Ⅱ C20a	99029	26601	0.470	0.432	0.132	37.471		
-	PF325	中伊木 遺跡	Ⅱ C20a	99029	26600	0.282	0.266	0.214	37.609		
-	PF326	中伊木 遺跡	Ⅱ B20a	99029	26599	0.522	0.488	0.302	37.551		
-	PF327	中伊木 遺跡	Ⅱ B20a	99029	26599	0.296	0.278	0.172	37.674		
SRE12	PF328	中伊木 遺跡	Ⅱ C1a	99000	26600	0.442	0.352	0.462	37.357		
-	PF329	中伊木 遺跡	Ⅱ C1a	99001	26601	0.512	0.388	0.194	37.637		
-	PF330	中伊木 遺跡	Ⅱ B11	99002	26597	0.495	0.407	0.178	37.679		
-	PF331	中伊木 遺跡	Ⅱ B11	99002	26597	0.300	0.300	0.478	37.313		
SRE12	PF332	中伊木 遺跡	Ⅱ B20a	99029	26598	0.354	0.288	0.229	37.652		
SRE12	PF333	中伊木 遺跡	Ⅱ C20a	99029	26600	0.344	0.324	0.268	37.522		
-	PF334	中伊木 遺跡	Ⅱ C1a	99000	26600	0.556	0.306	0.212	37.656		
-	PF335	中伊木 遺跡	Ⅱ C1a	99002	26600	0.387	0.305	0.282	37.554		
-	PF336	中伊木 遺跡	Ⅱ B11	99000	26596	0.580	0.554	0.107	37.775		
SRE12	PF337	中伊木 遺跡	Ⅱ B11	99000	26598	0.412	0.353	0.292	37.563		
-	PF338	中伊木 遺跡	Ⅱ B3a	99010	26600	0.279	0.253	0.284	37.250		
-	PF339	中伊木 遺跡	Ⅱ C1a	99003	26600	0.251	0.233	0.296	37.530		
-	PF340	中伊木 遺跡	Ⅱ B11	99003	26599	0.255	0.216	0.351	37.401		
SRE12	PF341	中伊木 遺跡	Ⅱ C2a	99005	26600	0.286	0.229	0.309	37.400		
-	PF342	中伊木 遺跡	Ⅱ C1a	99004	26600	0.402	0.349	0.350	37.477		
-	PF343	中伊木 遺跡	Ⅱ C20b	99029	26605	0.357	0.312	0.404	37.396		
SRE12	PF344	中伊木 遺跡	Ⅱ C20b	99029	26605	0.273	0.175	0.206	37.588		
-	PF345	中伊木 遺跡	Ⅱ B2a	99005	26599	0.216	0.211	0.118	37.651		
SRE12	PF346	中伊木 遺跡	Ⅱ B2a	99005	26598	0.360	0.335	0.172	37.597		
SRE12	PF347	中伊木 遺跡	Ⅱ B11	99004	26598	0.376	0.363	0.276	37.522		
-	PF348	中伊木 遺跡	Ⅱ B2a	99005	26596	0.320	0.307	0.191	37.606		
-	PF349	中伊木 遺跡	Ⅱ B2a	99007	26596	0.317	0.264	0.234	37.536		
-	PF350	中伊木 遺跡	Ⅱ B2a	99006	26592	0.241	0.234	0.206	37.660		
-	PF351	中伊木 遺跡	Ⅱ C4b	99016	26608	0.257	0.244	0.260	37.180		
-	PF352	中伊木 遺跡	Ⅱ C4b	99015	26607	0.262	0.223	0.258	37.288		
-	PF353	中伊木 遺跡	Ⅱ B2a	99005	26593	0.276	0.267	0.271	37.538		
-	PF354	中伊木 遺跡	Ⅱ B1a	99001	26591	0.476	0.303	0.211	37.622		
-	PF355	中伊木 遺跡	Ⅱ B20a	99000	26592	0.486	0.383	0.094	37.750		
-	PF356	中伊木 遺跡	Ⅱ B20a	99028	26595	0.570	0.551	0.133	37.750		
-	PF357	中伊木 遺跡	Ⅱ B20a	99027	26594	0.516	0.405	0.101	37.372		
-	PF358	中伊木 遺跡	Ⅱ B20a	99027	26593	0.255	0.218	0.097	37.734		
-	PF359	中伊木 遺跡	Ⅱ B1f	99001	26599	0.323	0.278	0.197	37.611		
SRE13	PF360	平安 時代	Ⅱ B19a	99020	26587	1.567	1.482	0.502	37.340		現土から 14層部露出 跡、地上 部は砂中 埋土
SRE13	PF361	平安 時代	Ⅱ B19a	99020	26588	1.028	1.018	0.603	37.275		
-	PF362	中伊木 遺跡	Ⅱ B1a	99001	26591	0.679	0.479	0.185	37.632		
-	PF363	中伊木 遺跡	Ⅱ C2a	99009	26603	0.909	0.532	0.310	37.452		
-	PF364	中伊木 遺跡	Ⅱ B2a	99008	26592	0.312	0.278	0.182	37.554		
-	PF365	中伊木 遺跡	Ⅱ B20a	99027	26599	0.455	0.370	0.222	37.618		
-	PF366	中伊木 遺跡	Ⅱ B20a	99027	26597	0.380	0.349	0.061	37.787		
-	PF367	中伊木 遺跡	Ⅱ B20a	99029	26588	0.268	0.225	0.057	37.733		
-	PF368	中伊木 遺跡	Ⅱ B20a	99029	26588	0.290	0.177	0.078	37.729		

調査年度	住区	調査方法	アリアド	年度	入居率	Y 値	最大	最大	最大	調査年度	備考
SRE2	PPF369	平安時代	Ⅱ B18a	RC	99288	26597	0.727	0.665	0.292	37.379	
SRE2	PPF370	平安時代	Ⅱ B18a	RC	99288	26598	0.723	0.655	0.458	37.430	
SRE2	PPF371	平安時代	Ⅱ C18a	RC	99289	26600	0.852	0.820	0.445	37.421	
SRE2	PPF372	平安時代	Ⅱ B18a	RC	99286	26597	0.661	0.174	0.437	37.526	
SRE2	PPF373	平安時代	Ⅱ B18a	RC	99287	26599	0.869	0.832	0.534	37.330	掘り方無し 土層部不 平地上
SRE2	PPF374	平安時代	Ⅱ C18a	RC	99288	26601	0.706	0.637	0.483	37.412	
SRE2	PPF375	平安時代	Ⅱ B18a	RC	99285	26598	0.693	0.637	0.313	37.358	
SRE2	PPF376	平安時代	Ⅱ C18a	RC	99285	26600	0.729	0.675	0.482	37.384	
SRE2	PPF377	平安時代	Ⅱ C18a	RC	99286	26602	0.651	0.364	0.517	37.309	
SRE3	PPF379	平安時代	Ⅱ B18a	RC	99289	26597	0.832	0.792	0.386	37.903	
SRE3	PPF379	平安時代	Ⅱ B18a	RC	99289	26599	1.060	0.755	0.403	37.430	
SRE3	PPF380	平安時代	Ⅱ C18a	RC	99289	26602	1.205	1.105	0.404	37.484	
SRE3	PPF381	平安時代	Ⅱ B18a	RC	99287	26597	1.136	0.977	0.426	37.458	
SRE3	PPF382	平安時代	Ⅱ C18a	RC	99287	26602	0.901	0.886	0.470	37.428	
SRE3	PPF383	平安時代	Ⅱ B17a	RC	99284	26597	0.875	0.788	0.363	37.519	掘上から 17 階部 坪倉地上
SRE3	PPF384	平安時代	Ⅱ C17a	RC	99284	26602	0.805	0.738	0.143	37.672	
SRE3	PPF385	平安時代	Ⅱ B17a	RC	99281	26597	0.837	0.803	0.363	37.505	
SRE3	PPF386	平安時代	Ⅱ B17a	RC	99281	26599	0.796	0.705	0.332	37.543	
SRE3	PPF387	平安時代	Ⅱ C17a	RC	99081	26602	0.693	0.684	0.366	37.513	
-	PPF388	平安時代	Ⅱ C4b	RC	99315	26609	1.185	0.149	0.200	37.215	
-	PPF389	平安時代	Ⅱ C4b	RC	99315	26609	0.189	0.149	0.207	37.281	
SRE19	PPF390	平安時代	Ⅱ C3b	RC	99314	26609	0.301	0.288	0.323	37.283	
-	PPF391	平安時代	Ⅱ C3b	RC	99314	26609	0.201	0.185	0.333	37.188	
-	PPF392	平安時代	Ⅱ B20a	RC	99297	26596	0.256	0.247	0.112	37.734	
SRE1	PPF393	平安時代	Ⅱ B19a	RC	99292	26584	1.476	1.331	0.562	37.280	
SRE1	PPF394	平安時代	Ⅱ B19a	RC	99290	26581	1.705	1.359	0.612	37.305	掘上から 15 階部 掘上から 17 階部 掘上から 18 階部 坪倉地上
SRE1	PPF395	平安時代	Ⅱ B19a	RC	99290	26578	1.230	1.081	0.445	37.408	掘上から 16 - 18 階部 掘上から 17 階部 掘上から 18 階部 坪倉地上
SRE1	PPF396	平安時代	Ⅱ B17a	RC	99284	26589	1.281	1.064	0.398	37.463	
SRE1	PPF397	平安時代	Ⅱ B17a	RC	99283	26586	1.115	0.832	0.499	37.290	
SRE1	PPF398	平安時代	Ⅱ B18a	RC	99287	26588	1.236	1.060	0.582	37.285	
SRE3	PPF399	平安時代	Ⅱ B17a	RC	99284	26589	0.303	0.348	0.230	37.609	
SRE3	PPF400	平安時代	Ⅱ B17a	RC	99283	26587	0.499	0.498	0.063	37.733	
SRE3	PPF401	平安時代	Ⅱ B17a	RC	99282	26589	0.420	0.302	0.072	37.787	
SRE3	PPF402	平安時代	Ⅱ B17a	RC	99280	26590	0.486	0.447	0.103	37.763	
-	PPF403	平安時代	Ⅱ B17a	RC	99281	26595	0.381	0.365	0.126	37.738	
-	PPF404	平安時代	Ⅱ B17a	RC	99284	26599	0.332	0.235	0.189	37.739	
-	PPF405	平安時代	Ⅱ C4c	RC	99316	26611	0.257	0.170	0.230	37.232	
SRE22	PPF406	平安時代	Ⅱ C4c	RC	99316	26610	0.323	0.287	0.346	37.143	
SRE1	PPF407	平安時代	Ⅱ B18a	RC	99316	26610	0.258	0.217	0.360	37.162	
SRE1	PPF408	平安時代	Ⅱ B18a	RC	99289	26575	1.940	1.280	0.700	37.374	掘上から 15 階部 掘上から 16 階部 坪倉地上
SRE1	PPF409	平安時代	Ⅱ B18a	RC	99288	26573	1.428	1.275	0.704	37.335	掘上から 15 階部 掘上から 16 階部 坪倉地上

SRE1	PPF410	平安時代	Ⅱ B18a	RC	99285	26574	1.373	1.272	0.639	37.438	掘上から 20 階部 掘上から 21 階部 坪倉地上
SRE1	PPF411	平安時代	Ⅱ B17a	RC	99282	26584	1.491	1.046	0.686	37.387	掘上から 19 階部 掘上から 坪倉地上
SRE1	PPF412	平安時代	Ⅱ B17a	RC	99282	26581	1.713	1.362	0.783	37.315	掘上から 20 階部 掘上から 21 階部 掘上から 坪倉地上
SRE1	PPF413	平安時代	Ⅱ B17a	RC	99280	26578	1.844	1.603	0.636	37.466	掘上から 21 - 22 階部 掘上から 23 - 25 階部 掘上から 坪倉地上
SRE3	PPF414	平安時代	Ⅱ B17a	RC	99282	26584	0.561	0.411	0.499	37.801	
SRE3	PPF415	平安時代	Ⅱ B17a	RC	99280	26585	0.778	0.684	0.292	37.908	
SRE3	PPF416	平安時代	Ⅱ B16a	RC	99279	26586	0.912	0.543	0.327	37.803	
SRE3	PPF417	平安時代	Ⅱ B16a	RC	99279	26588	0.526	0.443	0.236	37.866	
-	PPF418	平安時代	Ⅱ B19a	RC	99292	26585	0.510	0.373	0.217	37.654	
-	PPF419	平安時代	Ⅱ B19a	RC	99292	26585	0.448	0.375	0.211	37.654	
SRE4	PPF420	平安時代	Ⅱ B15a	RC	99271	26593	1.253	0.815	0.391	37.714	
SRE4	PPF421	平安時代	Ⅱ B14a	RC	99269	26593	0.541	0.431	0.186	37.906	
SRE4	PPF422	平安時代	Ⅱ B14a	RC	99266	26593	0.579	0.530	0.411	37.645	
SRE4	PPF423	平安時代	Ⅱ B13a	RC	99264	26593	0.502	0.488	0.292	37.863	
SRE4	PPF424	平安時代	Ⅱ B13a	RC	99262	26593	0.444	0.533	0.401	37.742	
SRE4	PPF425	平安時代	Ⅱ B15a	RC	99271	26595	0.643	0.580	0.222	37.848	
SRE4	PPF426	平安時代	Ⅱ B14a	RC	99266	26595	0.531	0.482	0.300	37.788	
SRE4	PPF427	平安時代	Ⅱ B14a	RC	99266	26595	0.575	0.419	0.237	37.871	
SRE4	PPF428	平安時代	Ⅱ B13a	RC	99262	26595	0.425	0.389	0.106	38.018	
SRE4	PPF429	平安時代	Ⅱ B15a	RC	99271	26597	0.713	0.703	0.516	37.533	
SRE4	PPF430	平安時代	Ⅱ B14a	RC	99269	26597	0.722	0.625	0.296	37.722	
SRE4	PPF431	平安時代	Ⅱ B14a	RC	99266	26597	0.653	0.555	0.411	37.647	
SRE4	PPF432	平安時代	Ⅱ B13a	RC	99264	26597	0.579	0.521	0.284	37.790	
SRE4	PPF433	平安時代	Ⅱ B13a	RC	99262	26597	0.743	0.642	0.319	37.719	
-	PPF434	平安時代	Ⅱ C5b	RC	99321	26605	0.447	0.297	0.358	37.175	
-	PPF435	平安時代	Ⅱ B15a	RC	99270	26591	0.301	0.251	0.093	38.013	
-	PPF436	平安時代	Ⅱ B15a	RC	99273	26591	0.303	0.267	0.182	37.887	
-	PPF437	平安時代	Ⅱ B15a	RC	99274	26591	0.282	0.233	0.134	37.982	
-	PPF438	平安時代	Ⅱ B16a	RC	99276	26590	0.388	0.307	0.136	37.981	
-	PPF439	平安時代	Ⅱ B16a	RC	99277	26591	0.436	0.390	0.173	37.970	
-	PPF440	平安時代	Ⅱ B18a	RC	99285	26595	0.330	0.252	0.092	37.791	
-	PPF441	平安時代	Ⅱ B15a	RC	99273	26595	0.315	0.234	0.203	37.854	
-	PPF442	平安時代	Ⅱ B15a	RC	99273	26594	0.467	0.404	0.247	37.856	
-	PPF443	平安時代	Ⅱ B15a	RC	99274	26597	0.325	0.318	0.074	37.752	
-	PPF444	平安時代	Ⅱ B15a	RC	99274	26597	0.367	0.303	0.092	37.747	
-	PPF445	平安時代	Ⅱ B15a	RC	99273	26594	0.407	0.315	0.321	37.789	
-	PPF446	平安時代	Ⅱ B15a	RC	99271	26592	0.291	0.227	0.308	37.720	
-	PPF447	平安時代	Ⅱ C5c	RC	99322	26613	0.471	0.402	0.253	37.051	
-	PPF448	平安時代	Ⅱ C5c	RC	99322	26614	0.482	0.449	0.234	37.031	
-	PPF449	平安時代	Ⅱ C5a	RC	99321	26615	0.246	0.171	0.103	37.146	
-	PPF450	平安時代	Ⅱ C5a	RC	99322	26615	0.369	0.237	0.050	37.194	
-	PPF451	平安時代	Ⅱ C5a	RC	99321	26615	0.287	0.162	0.288	36.957	
-	PPF452	平安時代	Ⅱ C5a	RC	99321	26616	0.230	0.201	0.123	37.105	
-	PPF453	平安時代	Ⅱ C5a	RC	99325	26616	0.242	0.180	0.101	37.091	

調査年度	世帯	世帯主	フリート	年賦	入組額	Y組額	賦込	最大	返済	返済	備考
									(%)	(%)	
-	PF555A	中野夫 ～返組	■ C0b	RC	99325	26609	0.229	0.208	0.115	37.166	
-	PF555B	中野夫 ～返組	■ C0b	RC	99325	26608	0.246	0.229	0.157	37.114	
-	PF560	中野夫 ～返組	■ C0c	RC	99325	26600	0.219	0.207	0.153	37.303	
-	PF561	中野夫 ～返組	■ C0b	RC	99326	26609	0.336	0.277	0.333	36.910	
-	PF562	中野夫 ～返組	■ C0b	RC	99326	26609	0.243	0.242	0.182	37.058	
-	PF565	中野夫 ～返組	■ C0c	RC	99327	26610	0.300	0.249	0.202	37.017	
-	PF564	中野夫 ～返組	■ C0b	RC	99328	26609	0.268	0.251	0.286	36.963	
-	PF565	中野夫 ～返組	■ C0b	RC	99328	26609	0.273	0.257	0.285	36.952	
-	PF566	中野夫 ～返組	■ C0b	RC	99328	26609	0.281	0.255	0.162	37.014	
SRE17	PF567	中野夫 ～返組	■ C7c	RC	99332	26611	0.260	0.228	0.136	36.935	
-	PF568	中野夫 ～返組	■ C7c	RC	99330	26650	0.286	0.243	0.197	36.893	
-	PF569	中野夫 ～返組	■ C0c	RC	99328	26609	0.410	0.363	0.409	36.802	
-	PF570	中野夫 ～返組	■ C0c	RC	99327	26608	0.285	0.269	0.301	36.810	
-	PF571	中野夫 ～返組	■ C0b	RC	99328	26607	0.239	0.212	0.136	37.030	
SRE16	PF572	中野夫 ～返組	■ C0b	RC	99328	26606	0.348	0.298	0.248	36.926	
-	PF573	中野夫 ～返組	■ C0c	RC	99329	26606	0.458	0.424	0.247	36.840	
SRE18	PF574	中野夫 ～返組	■ C5b	RC	99329	26606	0.284	0.265	0.295	37.122	
-	PF575	中野夫 ～返組	■ C0b	RC	99322	26602	0.432	0.310	0.267	37.170	
-	PF576	中野夫 ～返組	■ C0b	RC	99317	26608	0.354	0.322	0.478	37.042	
-	PF577	中野夫 ～返組	■ C5b	RC	99321	26608	0.282	0.197	0.112	37.292	
-	PF578	中野夫 ～返組	■ C5b	RC	99322	26605	0.303	0.274	0.284	37.207	
SRE18	PF579	中野夫 ～返組	■ C5a	RC	99323	26604	0.385	0.322	0.346	37.123	
-	PF580	中野夫 ～返組	■ C0c	RC	99324	26607	0.343	0.308	0.244	37.046	
-	PF581	中野夫 ～返組	■ C5a	RC	99324	26604	0.338	0.301	0.406	37.042	
-	PF582	中野夫 ～返組	■ C0b	RC	99327	26608	0.248	0.220	0.073	37.138	
-	PF583	中野夫 ～返組	■ C0c	RC	99327	26608	0.223	0.206	0.113	37.107	
-	PF584	中野夫 ～返組	■ C0b	RC	99328	26608	0.197	0.186	0.153	37.020	
SRE17	PF585	中野夫 ～返組	■ C0b	RC	99329	26608	0.380	0.350	0.134	36.987	
-	PF586	中野夫 ～返組	■ C7d	RC	99330	26619	0.278	0.254	0.156	36.923	
SRE15	PF587	中野夫 ～返組	■ C0d	RC	99329	26617	0.328	0.257	0.162	36.948	
-	PF588	中野夫 ～返組	■ C7d	RC	99331	26617	0.358	0.301	0.145	36.940	
SRE15	PF589	中野夫 ～返組	■ C7c	RC	99330	26619	0.326	0.293	0.156	36.994	
-	PF590	中野夫 ～返組	■ C0d	RC	99329	26620	0.347	0.306	0.147	36.974	
-	PF591	中野夫 ～返組	■ C4b	RC	99318	26605	0.291	0.271	0.135	37.437	
-	PF592	中野夫 ～返組	■ C0d	RC	99328	26617	0.287	0.268	0.189	36.900	
-	PF593	中野夫 ～返組	■ C0d	RC	99329	26618	0.342	0.317	0.245	36.885	
-	PF594	中野夫 ～返組	■ C7d	RC	99332	26619	0.344	0.279	0.137	36.910	
SRE15	PF595	中野夫 ～返組	■ C7d	RC	99334	26617	0.262	0.256	0.219	36.806	
-	PF596	中野夫 ～返組	■ C0b	RC	99330	26606	0.340	0.316	0.241	36.833	
-	PF597	中野夫 ～返組	■ C7b	RC	99330	26607	0.272	0.266	0.097	36.974	
-	PF598	中野夫 ～返組	■ C0b	RC	99329	26608	0.253	0.244	0.116	36.983	
-	PF599	中野夫 ～返組	■ C0d	RC	99325	26619	0.355	0.306	0.107	36.980	
-	PF600	中野夫 ～返組	■ C0e	RC	99327	26623	0.288	0.253	0.099	36.966	
-	PF601	中野夫 ～返組	■ C0e	RC	99327	26623	0.271	0.266	0.214	36.945	
-	PF602	中野夫 ～返組	■ C0e	RC	99326	26624	0.251	0.243	0.203	36.881	
-	PF603	中野夫 ～返組	■ C0e	RC	99327	26624	0.280	0.257	0.178	36.874	
-	PF604	中野夫 ～返組	■ C0e	RC	99329	26624	0.320	0.288	0.095	36.944	
SRE15	PF605	中野夫 ～返組	■ C7c	RC	99329	26610	0.246	0.216	0.122	36.996	
SRE16	PF606	中野夫 ～返組	■ C7c	RC	99331	26610	0.317	0.301	0.263	36.729	
-	PF607	中野夫 ～返組	■ C7b	RC	99333	26607	0.323	0.302	0.219	36.893	
SRE16	PF608	中野夫 ～返組	■ C7b	RC	99332	26606	0.314	0.306	0.193	36.922	
-	PF609	中野夫 ～返組	■ C5a	RC	99321	26600	0.324	0.326	0.374	37.312	
-	PF610	中野夫 ～返組	■ C5a	RC	99321	26600	0.330	0.294	0.365	37.167	
-	PF611	中野夫 ～返組	■ C5a	RC	99622	26604	0.430	0.321	0.128	37.349	
-	PF612	中野夫 ～返組	■ C5b	RC	99322	26605	0.645	0.453	0.225	37.288	
-	PF613	中野夫 ～返組	■ C5b	RC	99322	26605	0.377	0.288	0.387	37.064	
-	PF614	中野夫 ～返組	■ C5b	RC	99321	26605	0.613	0.530	0.194	37.270	
-	PF615	中野夫 ～返組	■ C5b	RC	99321	26606	0.326	0.289	0.168	37.296	
-	PF616	中野夫 ～返組	■ C5b	RC	99320	26605	0.235	0.208	0.173	37.280	
-	PF617	中野夫 ～返組	■ C5b	RC	99320	26606	0.274	0.256	0.374	37.008	
-	PF618	中野夫 ～返組	■ C5b	RC	99325	26608	0.215	0.213	0.258	37.288	
-	PF619	中野夫 ～返組	■ C5b	RC	99320	26608	0.244	0.209	0.238	37.215	
-	PF620	中野夫 ～返組	■ C4b	RC	99319	26607	0.263	0.238	0.108	37.367	
SRE23	PF621	中野夫 ～返組	■ C4b	RC	99319	26607	0.347	0.258	0.432	37.121	
-	PF622	中野夫 ～返組	■ C4b	RC	99320	26607	0.381	0.314	0.428	37.174	
SRE18	PF623	中野夫 ～返組	■ C4b	RC	99320	26607	0.334	0.312	0.244	37.223	
-	PF624	中野夫 ～返組	■ C5b	RC	99320	26607	0.395	0.274	0.205	37.277	
-	PF625	中野夫 ～返組	■ C5b	RC	99320	26607	0.268	0.230	0.214	37.260	
-	PF626	中野夫 ～返組	■ C7b	RC	99330	26608	0.284	0.237	0.118	36.967	
-	PF627	中野夫 ～返組	■ C0c	RC	99328	26610	0.229	0.224	0.078	37.095	
SRE17	PF628	中野夫 ～返組	■ C0c	RC	99328	26611	0.282	0.273	0.294	36.874	
-	PF629	中野夫 ～返組	■ C0c	RC	99239	26611	0.312	0.261	0.115	36.880	
-	PF630	中野夫 ～返組	■ C5b	RC	99320	26607	0.318	0.274	0.166	37.308	
-	PF631	中野夫 ～返組	■ C5b	RC	99320	26608	0.340	0.237	0.326	37.147	
-	PF632	中野夫 ～返組	■ C7c	RC	99333	26614	0.310	0.296	0.118	36.941	
SRE15	PF633	中野夫 ～返組	■ C7c	RC	99333	26614	0.271	0.238	0.182	36.935	
-	PF634	中野夫 ～返組	■ C7d	RC	99334	26615	0.196	0.161	0.313	36.965	
-	PF635	中野夫 ～返組	■ C8d	RC	99335	26615	0.278	0.220	0.126	36.959	
SRE15	PF636	中野夫 ～返組	■ C7c	RC	99333	26612	0.309	0.272	0.124	36.938	
-	PF637	中野夫 ～返組	■ C7b	RC	99330	26608	0.327	0.308	0.118	36.834	
-	PF638	中野夫 ～返組	■ C7b	RC	99331	26607	0.321	0.298	0.190	36.922	
-	PF639	中野夫 ～返組	■ C7b	RC	99332	26608	0.290	0.267	0.208	36.890	
-	PF640	中野夫 ～返組	■ C0b	RC	99337	26609	0.223	0.188	0.213	36.838	
-	PF641	中野夫 ～返組	■ C0b	RC	99338	26608	0.219	0.205	0.157	36.894	
-	PF642	中野夫 ～返組	■ C0b	RC	99339	26608	0.225	0.209	0.101	36.921	
-	PF643	中野夫 ～返組	■ C0b	RC	99339	26608	0.254	0.243	0.129	36.886	
-	PF644	中野夫 ～返組	■ C5a	RC	99323	26600	0.338	0.309	0.265	37.143	
-	PF645	中野夫 ～返組	■ C6a	RC	99325	26600	0.285	0.241	0.106	37.304	
-	PF646	中野夫 ～返組	■ B6a	RC	99326	26599	0.440	0.320	0.208	37.113	
-	PF647	中野夫 ～返組	■ C6a	RC	99326	26600	0.291	0.253	0.268	37.143	
-	PF648	中野夫 ～返組	■ B6a	RC	99326	26599	0.253	0.166	0.197	37.279	
SRE13	PF649	中野夫 ～返組	■ B6a	RC	99328	26597	0.381	0.315	0.272	37.102	
-	PF650	中野夫 ～返組	■ B6a	RC	99327	26597	0.515	0.419	0.401	36.988	
SRE16	PF651	中野夫 ～返組	■ C0c	RC	99328	26610	0.274	0.240	0.163	37.020	
-	PF652	中野夫 ～返組	■ C7c	RC	99330	26612	0.190	0.149	0.111	36.889	
SRE17	PF653	中野夫 ～返組	■ C7b	RC	99332	26609	0.325	0.288	0.148	36.938	
-	PF654	中野夫 ～返組	■ C7b	RC	99333	26609	0.514	0.315	0.188	36.872	
-	PF655	中野夫 ～返組	■ C7b	RC	99333	26609	0.358	0.319	0.107	36.897	
-	PF656	中野夫 ～返組	■ B6a	RC	99329	26599	0.241	0.228	0.322	36.998	
-	PF657	中野夫 ～返組	■ B7f	RC	99332	26599	0.259	0.252	0.242	37.000	
-	PF658	中野夫 ～返組	■ C7c	RC	99337	26614	0.354	0.307	0.307	36.953	
-	PF659	中野夫 ～返組	■ C7c	RC	99334	26613	0.360	0.298	0.152	36.885	
-	PF660	中野夫 ～返組	■ C8d	RC	99225	26615	0.244	0.218	0.143	36.922	
-	PF661	中野夫 ～返組	■ C8d	RC	99335	26615	0.225	0.209	0.143	36.938	

2 検出遺構

探検年度	探検地	遺構名	遺構種別	遺構位置	遺構内容	遺構形状	遺構規模	遺構年代	備考	
-	PF660	中世末～近世初	Ⅱ C8c	RC	99336	26914	0.306	0.238	0.178	36.867
-	PF663	中世末～近世初	Ⅱ C8c	RC	99338	26613	0.240	0.225	0.171	36.864
-	PF664	中世末～近世初	Ⅱ C8c	RC	99335	26614	0.244	0.206	0.121	36.951
-	PF665	中世末～近世初	Ⅱ C7c	RC	99334	26611	0.289	0.259	0.182	36.853
-	PF666	中世末～近世初	Ⅱ C8d	RC	99336	26617	0.256	0.230	0.203	36.782
-	PF667	中世末～近世初	Ⅱ C7e	RC	99334	26620	0.297	0.263	0.136	36.808
-	PF668	中世末～近世初	Ⅱ C8c	RC	99332	26609	0.413	0.400	0.330	37.168
-	PF669	中世末～近世初	Ⅱ C8d	RC	99341	26615	0.325	0.293	0.141	36.832
-	PF670	中世末～近世初	Ⅱ C8d	RC	99340	26615	0.246	0.235	0.141	36.840
-	PF671	中世末～近世初	Ⅱ C8c	RC	99336	26612	0.290	0.262	0.138	36.886
-	PF672	中世末～近世初	Ⅱ C8d	RC	99339	26615	0.241	0.210	0.115	36.911
-	PF673	中世末～近世初	Ⅱ C8d	RC	99339	26616	0.228	0.215	0.166	36.847
-	PF674	中世末～近世初	Ⅱ C8d	RC	99338	26616	0.207	0.193	0.107	36.927
-	PF675	中世末～近世初	Ⅱ C8d	RC	99339	26619	0.273	0.256	0.138	36.309
-	PF676	中世末～近世初	Ⅱ C8c	RC	99341	26620	0.475	0.281	0.114	36.840
-	PF677	中世末～近世初	Ⅱ C8c	RC	99342	26621	0.280	0.486	0.108	36.865
-	PF678	中世末～近世初	Ⅱ C8c	RC	99342	26622	0.264	0.241	0.185	36.779
-	PF679	中世末～近世初	Ⅱ C8c	RC	99342	26622	0.430	0.334	0.284	36.646
-	PF680	中世末～近世初	Ⅱ C8c	RC	99340	26621	0.254	0.225	0.192	36.787
SH15	PF681	中世末～近世初	Ⅱ C7d	RC	99334	26619	0.416	0.337	0.134	36.808
-	PF682	中世末～近世初	Ⅱ C7a	RC	99334	26602	0.322	0.298	0.196	36.892
-	PF683	中世末～近世初	Ⅱ C8a	RC	99337	26602	0.251	0.113	0.356	36.702
-	PF684	中世末～近世初	Ⅱ C8c	RC	99336	26600	0.382	0.333	0.290	36.847
-	PF685	中世末～近世初	Ⅱ C8a	RC	99335	26600	0.213	0.202	0.114	37.039
-	PF686	中世末～近世初	Ⅱ C8a	RC	99335	26600	0.331	0.322	0.182	36.939
-	PF687	中世末～近世初	Ⅱ C7a	RC	99334	26600	0.234	0.212	0.215	36.912
-	PF688	中世末～近世初	Ⅱ B7f	RC	99334	26599	0.270	0.255	0.163	37.007
-	PF689	中世末～近世初	Ⅱ B14r	RC	99266	26585	0.300	0.200	0.095	38.080
-	PF690	中世末～近世初	Ⅱ B14q	RC	99265	26583	0.296	0.332	0.178	38.013
-	PF691	中世末～近世初	Ⅱ B14q	RC	99266	26581	0.294	0.277	0.129	38.083
-	PF692	中世末～近世初	Ⅱ B14q	RC	99267	26580	0.288	0.250	0.292	37.950
-	PF693	中世末～近世初	Ⅱ B14q	RC	99267	26578	0.404	0.356	0.425	37.827
-	PF694	中世末～近世初	Ⅱ B14q	RC	99266	26579	0.321	0.282	0.200	38.045
-	PF695	中世末～近世初	Ⅱ B14q	RC	99266	26579	0.435	0.352	0.221	37.989
-	PF696	中世末～近世初	Ⅱ B14q	RC	99269	26576	0.392	0.335	0.154	38.009
-	PF697	中世末～近世初	Ⅱ B14q	RC	99263	26568	0.247	0.209	0.098	38.102
-	PF698	中世末～近世初	Ⅱ B13p	RC	99264	26579	0.509	0.465	0.408	37.806
SH8	PF699	中世末～近世初	Ⅱ B13h	RC	99261	26580	0.886	0.743	0.422	37.766
SH9	PF700	平安時代	Ⅱ B13h	RC	99262	26582	0.928	0.874	0.454	37.762
SH9	PF701	平安時代	Ⅱ B13h	RC	99263	26584	0.954	0.868	0.596	37.691
SH9	PF702	平安時代	Ⅱ B13h	RC	99260	26585	0.704	0.692	0.506	37.896
SH9	PF703	平安時代	Ⅱ B12r	RC	99257	26586	0.832	0.656	0.498	37.737
SH8	PF704	平安時代	Ⅱ B15p	RC	99274	26579	0.955	0.902	0.440	37.754
SH8	PF705	平安時代	Ⅱ B13p	RC	99274	26577	0.937	0.764	0.310	37.887
SH8	PF706	平安時代	Ⅱ B15o	RC	99273	26572	0.698	0.599	0.308	37.852
SH8	PF707	平安時代	Ⅱ B15o	RC	99274	26574	0.803	0.725	0.386	37.826
SH8	PF708	平安時代	Ⅱ B15o	RC	99271	26572	0.754	0.744	0.333	37.872
SH8	PF709	平安時代	Ⅱ B14o	RC	99267	26572	0.810	0.736	0.236	37.958
SH8	PF710	平安時代	Ⅱ B14p	RC	99268	26575	0.745	0.674	0.373	37.857
SH8	PF711	平安時代	Ⅱ B14p	RC	99269	26578	0.877	0.734	0.418	37.819

探検年度	探検地	遺構名	遺構種別	遺構位置	遺構内容	遺構形状	遺構規模	遺構年代	備考	
SH8	PF712	平安時代	Ⅱ B15q	RC	99269	26580	0.941	0.640	0.426	37.816
SH8	PF713	平安時代	Ⅱ B15q	RC	99272	26580	0.971	0.865	0.404	37.830
SH7	PF714	平安時代	Ⅱ B14o	RC	99270	26572	0.676	0.507	0.221	37.987
SH7	PF715	平安時代	Ⅱ B15o	RC	99270	26574	0.581	0.564	0.254	37.953
SH7	PF716	平安時代	Ⅱ B15p	RC	99271	26575	0.716	0.505	0.299	37.933
SH7	PF717	平安時代	Ⅱ B15p	RC	99271	26577	0.785	0.716	0.347	37.888
SH7	PF718	平安時代	Ⅱ B15p	RC	99273	26576	0.608	0.553	0.325	37.871
SH7	PF719	平安時代	Ⅱ B16p	RC	99274	26576	0.664	0.636	0.328	37.846
SH7	PF720	平安時代	Ⅱ B15o	RC	99274	26574	0.599	0.529	0.223	37.948
SH7	PF721	平安時代	Ⅱ B15o	RC	99274	26573	0.480	0.439	0.296	37.927
SH7	PF722	平安時代	Ⅱ B15o	RC	99273	26571	0.7220	0.4409	0.207	37.998
SH7	PF723	平安時代	Ⅱ B15o	RC	99274	26572	0.674	0.516	0.178	38.105
SH8	PF724	平安時代	Ⅱ B14o	RC	99268	26572	0.518	0.236	0.243	37.960
-	PF725	中世末～近世初	Ⅱ B15p	RC	99273	26576	0.293	0.223	0.121	38.060
SH11	PF726	平安時代	Ⅱ B12h	RC	99256	26590	0.849	0.772	0.243	37.895
SH11	PF727	平安時代	Ⅱ B12h	RC	99256	26593	0.937	0.839	0.306	37.711
SH11	PF728	平安時代	Ⅱ B11s	RC	99254	26593	1.061	0.867	0.386	37.741
SH10	PF729	平安時代	Ⅱ B11s	RC	99252	26593	1.115	0.996	0.512	37.635
SH11	PF730	平安時代	Ⅱ B11s	RC	99253	26590	0.842	0.747	0.525	37.696
SH10	PF731	平安時代	Ⅱ B11s	RC	99254	26590	0.938	0.835	0.431	37.721
SH10	PF732	平安時代	Ⅱ B12s	RC	99255	26592	0.935	0.733	0.461	37.620
SH10	PF733	平安時代	Ⅱ B12h	RC	99257	26594	0.884	0.762	0.374	37.752
-	PF734	中世末～近世初	Ⅱ B15p	RC	99270	26578	0.477	0.350	0.118	38.126
-	PF735	中世末～近世初	Ⅱ B14p	RC	99267	26577	0.711	0.587	0.187	38.018
SH1	PF736	平安時代	Ⅱ B17p	RC	99280	26575	1.697	1.455	0.773	37.328
SH1	PF737	平安時代	Ⅱ B17o	RC	99283	26574	1.464	1.284	0.720	37.403
SH6	PF738	平安時代	Ⅱ B16l	RC	99278	26558	1.019	0.985	0.223	38.071
SH6	PF739	平安時代	Ⅱ B16o	RC	99279	26560	0.709	0.668	0.204	38.045
SH6	PF740	平安時代	Ⅱ B17l	RC	99280	26559	1.024	0.977	0.484	37.768
SH6	PF741	平安時代	Ⅱ B17l	RC	99283	26559	0.915	0.816	0.428	37.806
SH6	PF742	平安時代	Ⅱ B18l	RC	99285	26558	0.980	0.894	0.479	37.755
SH6	PF743	平安時代	Ⅱ B17l	RC	99284	26556	1.016	0.992	0.345	37.814
SH6	PF744	平安時代	Ⅱ B17s	RC	99284	26555	1.142	0.875	0.298	37.903
SH6	PF745	平安時代	Ⅱ B17s	RC	99283	26553	0.400	0.337	0.443	37.960
-	PF746	中世末～近世初	Ⅱ B18l	RC	99286	26556	0.183	0.147	0.183	37.961
-	PF747	中世末～近世初	Ⅱ B18l	RC	99287	26556	0.304	0.281	0.147	37.980
-	PF748	中世末～近世初	Ⅱ B18l	RC	99287	26555	0.326	0.293	0.174	37.978
-	PF749	中世末～近世初	Ⅱ B18h	RC	99288	26553	0.357	0.338	0.144	37.987
-	PF750	中世末～近世初	Ⅱ B18h	RC	99286	26553	0.393	0.367	0.267	37.923
-	PF751	中世末～近世初	Ⅱ B18h	RC	99287	26550	0.303	0.272	0.160	37.969
-	PF752	中世末～近世初	Ⅱ B18l	RC	99286	26549	0.259	0.250	0.172	38.010
-	PF753	中世末～近世初	Ⅱ B17s	RC	99284	26551	0.278	0.270	0.110	38.028
-	PF754	中世末～近世初	Ⅱ B18h	RC	99285	26552	0.381	0.368	0.136	38.014
-	PF755	中世末～近世初	Ⅱ B18o	RC	99287	26564	0.532	0.473	0.129	37.895
-	PF756	中世末～近世初	Ⅱ B18h	RC	99286	26565	0.513	0.456	0.183	37.860

路線	区間	駅-駅間 区間	アリアド	年度	入札額	Y 採得	最大値	最小値	最高 採得率	最低 採得率	備考
-	PF758	中環東 -近郊	■ B10a	RC	99285	26552	0.404	0.369	0.116	38.052	
SRE6	PF759	中環東 -近郊 代	■ B17f	RC	99280	26557	0.719	0.620	0.348	37.838	
-	PF760	中環東 -近郊	■ B14a	RC	99298	26571	0.243	0.232	0.198	37.902	
-	PF761	中環東 -近郊	■ B15a	RC	99270	26567	0.201	0.170	0.085	37.148	
-	PF762	中環東 -近郊	■ B17f	RC	99281	26559	0.344	0.313	0.282	37.942	
-	PF763	中環東 -近郊	■ B17f	RC	99282	26555	0.416	0.362	0.275	37.900	
-	PF764	中環東 -近郊	■ B17f	RC	99280	26555	0.356	0.329	0.213	38.022	
-	PF765	中環東 -近郊	■ B13a	RC	99283	26576	0.401	0.344	0.434	37.821	
-	PF766	中環東 -近郊	■ B17f	RC	99260	26582	0.281	0.207	0.576	38.027	
-	PF767	中環東 -近郊	■ B17f	RC	99276	26592	0.335	0.240	0.084	37.969	
-	PF768	中環東 -近郊	■ B17f	RC	99335	26599	0.271	0.260	0.227	36.982	
-	PF769	中環東 -近郊	■ B14p	RC	99296	26575	0.409	0.359	0.263	37.957	
-	PF770	中環東 -近郊	■ RC	99271	26570	0.234	0.186	0.126	38.070		
-	PF771	中環東 -近郊	■ B14 q	RC	99299	26582	0.212	0.143	0.166	37.943	
-	PF772	中環東 -近郊	■ B13p	RC	99263	26577	0.323	0.291	0.158	38.084	
-	PF773	中環東 -近郊	■ B16q	RC	99275	26581	0.239	0.231	0.242	37.932	
-	PF774	中環東 -近郊	■ B17f	RC	99282	26555	0.283	0.266	0.309	37.961	
SRE6	PF775	平塚 代	■ B10a	RC	99278	26554	1.030	0.891	0.467	37.773	
-	PF776	平塚 代	■ B18p	RC	99287	26578	0.887	0.828	0.174	37.818	社本たろ 理上から 250 程度高 く号が空上
-	PF777	平塚 代	■ B18q	RC	99288	26582	0.691	0.561	0.302	37.519	
-	PF778	中環東 -近郊	■ B15r	RC	99274	26587	0.404	0.365	0.358	37.736	
-	PF779	平塚 代	■ B16p	RC	99278	26576	1.837	1.578	0.271	37.766	理上から 250 程度高 く号が空上
-	PF780	平塚 代	■ B16o	RC	99278	26574	1.577	1.506	0.223	37.912	
-	PF781	中環東 -近郊	■ B15q	RC	99274	26580	0.517	0.285	0.187	37.928	
-	PF782	中環東 -近郊	■ B14q	RC	99289	26582	0.365	0.351	0.258	37.948	
-	PF783	中環東 -近郊	■ B14q	RC	99266	26581	0.546	0.338	0.314	37.883	
-	PF784	中環東 -近郊	■ B15p	RC	99272	26576	0.264	0.235	0.309	37.860	
-	PF785	中環東 -近郊	■ B14r	RC	99265	26586	0.339	0.292	0.227	37.915	
-	PF786	中環東 -近郊	■ C1e	RC	99301	26620	0.287	0.240	0.219	37.126	
-	PF787	中環東 -近郊	■ C2d	RC	99308	26615	0.377	0.321	0.313	37.166	
-	PF788	中環東 -近郊	■ C2c	RC	99306	26613	0.271	0.264	0.348	37.223	
-	PF789	中環東 -近郊	■ C2b	RC	99311	26612	0.255	0.236	0.226	37.301	
-	PF790	中環東 -近郊	■ C3c	RC	99312	26612	0.283	0.258	0.351	37.175	理上から 250 以上高 く号が空上
-	PF791	中環東 -近郊	■ C3c	RC	99312	26612	0.259	0.225	0.333	37.218	
-	PF792	中環東 -近郊	■ C2c	RC	99313	26613	0.304	0.244	0.286	37.232	
-	PF793	中環東 -近郊	■ C3c	RC	99313	26611	0.248	0.224	0.371	37.156	
SRE22	PF794	中環東 -近郊 代	■ C3c	RC	99314	26610	0.376	0.341	0.403	37.175	
-	PF795	中環東 -近郊	■ C2b	RC	99312	26608	0.271	0.222	0.264	37.256	
-	PF796	中環東 -近郊	■ C2b	RC	99311	26607	0.175	0.164	0.093	37.526	
-	PF797	中環東 -近郊	■ C2b	RC	99314	26607	0.222	0.199	0.157	37.414	
-	PF798	中環東 -近郊	■ C2b	RC	99313	26605	0.260	0.232	0.198	37.500	
-	PF799	中環東 -近郊	■ C2b	RC	99311	26604	0.332	0.273	0.255	37.466	
-	PF800	中環東 -近郊	■ C3a	RC	99312	26601	0.215	0.210	0.176	37.553	
-	PF801	中環東 -近郊	■ C3a	RC	99314	26600	0.242	0.224	0.208	37.484	
-	PF802	中環東 -近郊	■ C4a	RC	99316	26600	0.366	0.341	0.304	37.359	
-	PF803	中環東 -近郊	■ C4a	RC	99317	26601	0.261	0.250	0.262	37.381	
-	PF804	中環東 -近郊	■ B4t	RC	99317	26598	0.333	0.290	0.273	37.380	
-	PF805	中環東 -近郊	■ B4t	RC	99318	26597	0.301	0.295	0.148	37.439	
-	PF806	中環東 -近郊	■ B5a	RC	99320	26598	0.478	0.307	0.267	37.302	

-	PF807	中環東 -近郊	■ C1b	RC	99303	26606	0.278	0.233	0.152	37.341	
-	PF808	中環東 -近郊	■ C1b	RC	99303	26605	0.247	0.196	0.158	37.306	
-	PF809	中環東 -近郊	■ C1b	RC	99300	26606	0.337	0.257	0.319	37.483	
-	PF810	中環東 -近郊	■ C1a	RC	99302	26603	0.240	0.186	0.237	37.595	
-	PF811	中環東 -近郊	■ C20a	RC	99298	26603	0.226	0.208	0.216	37.607	
-	PF812	中環東 -近郊	■ C4c	RC	99315	26613	0.318	0.305	0.252	37.190	
-	PF813	中環東 -近郊	■ C4c	RC	99317	26613	0.225	0.201	0.262	37.102	
-	PF814	中環東 -近郊	■ C4b	RC	99316	26608	0.461	0.293	0.456	37.080	
-	PF815	中環東 -近郊	■ C4b	RC	99317	26606	0.290	0.282	0.203	37.371	
-	PF816	中環東 -近郊	■ C4b	RC	99319	26606	0.299	0.274	0.357	37.203	
SRE20	PF817	中環東 -近郊 代	■ C4b	RC	99317	26605	0.329	0.303	0.507	37.073	
-	PF818	中環東 -近郊	■ C4a	RC	99317	26604	0.278	0.264	0.322	37.291	
-	PF819	中環東 -近郊	■ C4b	RC	99317	26605	0.284	0.250	0.273	37.298	
SRE14	PF820	中環東 -近郊 代	■ C4a	RC	99318	26604	0.475	0.465	0.453	37.161	
SRE18	PF821	中環東 -近郊 代	■ C3b	RC	99323	26607	0.300	0.241	0.149	37.230	
-	PF822	中環東 -近郊	■ C5c	RC	99323	26609	0.275	0.262	0.132	37.089	
-	PF823	中環東 -近郊	■ C2b	RC	99326	26606	0.277	0.239	0.194	37.013	
-	PF824	中環東 -近郊	■ C6d	RC	99329	26619	0.270	0.230	0.146	36.959	
-	PF825	中環東 -近郊	■ C2b	RC	99340	26605	0.305	0.247	0.528	36.411	
SRE13	PF826	中環東 -近郊 代	■ B4t	RC	99318	26595	0.348	0.316	0.459	37.136	

() : 内容異-< > : 記載異

第4表 土器観察表(1~457)

図録 番号	図 番号	発掘 年度	出土地点	層位	種類	形状	保存部位	寸法 (口径×高さ×底径)	重量	外装調査	内装調査	部位	色調	備考	記録 番号
1	133	102	32	SBR2	PF634	甕	口縁部一底部	1140 60 55	-	ロタロナ字	同軸糸切り肌	同軸糸切り肌	10YR7.2/1.5 赤褐色	ロタロ成形・ 赤褐色肌	A79
2	133	102	32	SBR2	PF603	甕	体部下半一底部	- 63 (1)	-	ロタロナ字	同軸糸切り肌	同軸糸切り肌	10YR7.4/1.5 赤褐色	ロタロ成形・ 赤褐色肌	A81
3	133	102	32	SBR2	PF618	甕	口縁部一底部	1239 59 48	-	ロタロナ字	同軸糸切り肌	同軸糸切り肌	2.5YR7.3/1.5 赤褐色	ロタロ成形・ 赤褐色肌	A75
4	133	102	32	SBR2	PF605	甕	口縁部一底部	- (4.8)	-	同軸平行卵形・溝状文・ 黒色ハナナ字	-	-	10YR7.1/1 赤褐色	輪軸糸成肌	A321
5	133	102	32	SBR2	PF634	土師器 甕	口縁部一底部	7.3 (2.8)	-	ロタロナ字	同軸糸切り肌	同軸糸切り肌	2.5YR8.4/1.5 赤褐色	ロタロ成形・ 内面黒色肌	A123
6	133	102	32	SBR2	PF621	甕	口縁部一底部	30.2	- 6.2	ロタロナ字・平行卵形	同軸糸切り肌	同軸糸切り肌	5Y7.1/1 赤褐色	輪軸糸成肌	A345
7	133	102	32	SBR2	PF621	甕	口縁部一底部	21.2	- 6.9	同軸平行卵形	同軸糸切り肌	同軸糸切り肌	NS-0/1 赤褐色	輪軸糸成肌	A474
8	133	102	32	SBR3	PF6318	甕	体部下半一底部	6.4 (1.6)	-	ロタロナ字	同軸糸切り肌	同軸糸切り肌	5YR5.4/1.5 赤褐色	輪軸糸成肌	A124
9	133	102	32	SBR3	PF620	甕	口縁部一底部	21.0	- 6.0	同軸平行卵形	同軸糸切り肌	同軸糸切り肌	10YR8.3/1 赤褐色	ロタロ成形	A125
10	133	102	32	SBR4	PF640	甕	体部下半一底部	5.9 (3.4)	-	ロタロナ字	同軸糸切り肌	同軸糸切り肌	10YR7.2/1.5 赤褐色	ロタロ成形・ 赤褐色肌	A126
11	133	102	32	SBR0	PF6303	甕	体部上半一底部	10.1 (3.5)	-	ロタロナ字・輪軸糸	同軸糸切り肌	同軸糸切り肌	5Y7.1/1 赤褐色	輪軸糸成肌	A346
12	134	102	32	SBR0	PF6367	甕	口縁部一底部	- (10.2)	-	ロタロナ字・長柱文	-	-	2.5Y2.2/0.1 赤褐色	輪軸糸成肌	A388
13	133	102	32	SBR2	PF6133	甕	口縁部一底部	- (3.8)	-	ロタロナ字・溝	同軸糸切り肌	同軸糸切り肌	10YR6.1/1 赤褐色	輪軸糸成肌	A355
14	134	102	32	SBR1	PF6369	甕	口縁部一底部	14.3 5.6 4.6	-	ロタロナ字	同軸糸切り肌	同軸糸切り肌	2.5Y7.2/1 赤褐色	ロタロ成形	A348
15	134	102	32	SBR1	PF6384	甕	体部上半	- (3.1)	-	ロタロナ字・溝	同軸糸切り肌	同軸糸切り肌	10YR7.1/1 赤褐色	ロタロ成形・ 内面黒色	A353
16	134	102	32	SBR1	PF6395	甕	口縁部一底部	12.7 5.3 5.0	-	ロタロナ字・溝	同軸糸切り肌	同軸糸切り肌	NS-0/1 赤褐色	ロタロ成形・ 外周黒色	A351
17	134	102	32	SBR1	PF6395	甕	体部上半	- (2.8)	-	ロタロナ字・溝	同軸糸切り肌	同軸糸切り肌	2.5Y7.1/1 赤褐色	ロタロ成形・ 内面黒色	A354
18	134	102	32	SBR1	PF6385	甕	口縁部一底部	- (3.2)	-	ロタロナ字・溝	同軸糸切り肌	同軸糸切り肌	2.5Y5.1/1 赤褐色	ロタロ成形・ 内面黒色	A355
19	134	102	32	SBR1	PF6411北平	甕	口縁部一底部	- (3.5)	-	ロタロナ字・溝	同軸糸切り肌	同軸糸切り肌	2.5Y7.1/1 赤褐色	ロタロ成形・ 内面黒色	A356
20	134	102	32	SBR1	PF6413北側	甕	口縁部一底部	- (3.2)	-	ロタロナ字・溝	同軸糸切り肌	同軸糸切り肌	10YR8.1/1 赤褐色	ロタロ成形・ 外周黒色	A368

調査 番号	図 号	研究 年度	出土地点	層位	種類	形状	出土 位置	出土 状況	外周調査	内周調査	状態	色調	番号	形状 説明	
41	135	103	B3	SHE1	PE608	埴土	口縁部-体部上 手	27.0	- (0.6)	平打明き目・ロタロナデ・ ロタロナデ	-	25.87.1(灰白色) ロタロナデ・外面 黒色	A359	輪郭高羅口ケ ロタロナデ	
42	135	103	B3	SHE1	PE612	埴土	体部下半-底面	4.8	(4.9)	ロタロナデ	-	107.05.2(赤 土)黒色	A142	ロタロナデ	
43	135	103	B3	SHE1	PE605 豊浦(2)D86	埴土上段 黒土	体部手	-	(0.5)	平打明き目	-	107.05.2(黒 色)	A360	輪郭高羅口	
44	135	103	B3	SHE1	PE610	埴土	口縁部-体部上 手	10.3	- (4.7)	ロタロナデ・黒打ヘラナデ リ(下赤心上)	-	7.57.67.2(黒 灰色)	A143	ロタロナデ	
45	135	103	B3	SHE1	PE613	埴土	口縁部-体部上 手	20.6	- (5.7)	ロタロナデ	-	7.57.67.4(赤 い)黒色	A144	ロタロナデ	
46	135	104	B3	SHE2	PE627	新万原土	口縁部-底面	15.2	7.2	6.6	ロタロナデ・黒打ヘラナデ 手・黒色底面	-	5.97.6(黒色)	A145	ロタロナデ 内周黒色底面
47	135	104	B3	SHE3	PE628	埴土	体部上半	-	- (4.7)	ロタロナデ・黒打	-	5.95.1(灰色)	A361	ロタロナデ 外周黒打	
48	135	104	B3	SHE1	溝1	埴土	底面-右内面 手	(7.6)	(1.9)	ロタロナデ	-	107.08.2(灰白) 内周黒色底面	A147	ロタロナデ	
49	135	104	B3	SHE1	溝2	埴土	口縁部-体部上 手	13.5	- (2.7)	ロタロナデ・黒打	-	107.07.2(赤 い)黒色	A146	ロタロナデ 内周黒色底面・ 外周黒打	
50	136	104	B3	SHE6	PE6241	埴土	体部下半-底面	-	(7.3)	(4.0)	ロタロナデ	-	107.07.2(赤 い)黒色	A148	ロタロナデ
51	136	104	B3	SHE6	PE6248 B146 新原	埴土上段 黒土(豊浦黒土) 黒土(豊浦黒土) 黒土(豊浦黒土) 黒土(豊浦黒土) 黒土	口縁部-体部上 手	21.8	- (3.0)	平打明き目・ロタロナデ	-	5.94.1(灰色)	A362	輪郭高羅口ケ ロタロナデ	
52	136	104	B3	SHE7	PE674	埴土上段	体部下半-底面	-	(6.4)	(2.8)	ロタロナデ・黒打ヘラナデ	-	7.57.06.4(赤 い)黒色	A149	ロタロナデ
53	136	104	B3	SHE8	PE6708	埴土	体部下半-底面	-	(6.0)	(2.3)	ロタロナデ・黒打	-	2.57.6(黒色) 内周黒打	A363	ロタロナデ
54	136	104	B3	SHE8	溝1北側黒平	埴土(黒色土)	体部下半-底面	-	0.7	0.2	ロタロナデ	-	7.57.5(灰色)	A363	ロタロナデ
55	136	104	B3	SHE8	溝1の南側		体部下半-底面	-	(5.0)	(1.1)	ロタロナデ	-	107.04.2(黒 色)	A160	ロタロナデ
56	136	104	B3	SHE8	PE6704	埴土	底面	14.0	6.4	5.0	ロタロナデ・黒打ヘラナデ リ	-	5.95.6(黒色) 内周黒打	A152	ロタロナデ 内周黒色底面
57	136	104	B3	SHE8	PE6710 土 溝1	埴土上段	陶文彩	14.6	4.9	5.3	ロタロナデ・黒打ヘラナデ 手・黒打	-	7.57.07.3(赤 い)黒色	A153	ロタロナデ 内周黒色底面
58	136	104	B3	SHE8	溝1北側中央 土溝1北側黒平	埴土上段 埴土(黒色土)	陶文彩	15.8	7.0	6.0	ロタロナデ・黒打・黒打ヘラ ナデ上段・内周黒打	-	107.07.3(赤 い)黒色	A150	ロタロナデ 内周黒色底面
59	136	104	B3	SHE8	溝1北側中央 土溝3	埴土(黒色土) 埴土上段	陶文彩	13.5	5.6	5.0	ロタロナデ・黒打・黒打ヘラ ナデ上段	-	107.08.3(黒 色)	A154	ロタロナデ 内周黒色底面・ 外周黒打

調査 番号	調査 年度	調査 地点	山名	方位	標高	地形	積存部位	調査項目 （目録参照）	外周調査	内周調査	痕跡	色調	備考	記録 番号
60	137	104	SE18 溝1北西半 土壁5	南土下段	14.3	5.7	3.2	ロタロナ子、胴輪へうたぎ り	ロタロナ子、胴輪へうたぎ り	ロタロナ子、胴輪へうたぎ り、手持ちへうたぎ	同軸糸切り痕、手 持ちへうたぎ	7.53727/3.1.5 小黒色	ロタロ成肌、 内周黒色処理	A154
61	137	104	SE18 溝1北西半 土壁5	南土下段	14.2	5.7	4.8	ロタロナ子、胴輪へうたぎ り	ロタロナ子、胴輪へうたぎ り	ロタロナ子、胴輪へうたぎ り、手持ちへうたぎ	同軸糸切り痕、手 持ちへうたぎ	2.9785/3.3 褐色	内周黒色処理	A155
62	137	104	SE18 溝1北西半 土壁1	南土下段	12.9	5.8	4.5	ロタロナ子、胴輪へうたぎ り	ロタロナ子、胴輪へうたぎ り	ロタロナ子、胴輪へうたぎ り、手持ちへうたぎ	同軸糸切り痕、手 持ちへうたぎ	10.0788/1 小黒色	ロタロ成肌、 内周黒色処理	A156
63	137	104	SE18 溝1北西半 土壁1	南土下段	16.3	6.3	6.2	ロタロナ子、胴輪へうたぎ り	ロタロナ子、胴輪へうたぎ り	ロタロナ子、胴輪へうたぎ り、手持ちへうたぎ	同軸糸切り痕、手 持ちへうたぎ	10.0788/2.1 小黒色	内周黒色処理	A157
64	137	104	SE18 溝1北西半 土壁1	南土下段	15.7	6.2	6.2	ロタロナ子、胴輪へうたぎ り	ロタロナ子、胴輪へうたぎ り	ロタロナ子、胴輪へうたぎ り、手持ちへうたぎ	同軸糸切り痕、手 持ちへうたぎ	10.0788/3.3 小黒色	内周黒色処理	A158
65	137	105	SE18 溝1北西半 土壁1	南土下段	17.5	6.0	5.8	ロタロナ子、胴輪へうたぎ り	ロタロナ子、胴輪へうたぎ り	ロタロナ子、胴輪へうたぎ り、手持ちへうたぎ	同軸糸切り痕、手 持ちへうたぎ	10.0788/2.1 小黒色	内周黒色処理	A159
66	137	104	SE18 溝1北西半 土壁4	南土下段	11.3	3.4	6.0	ロタロナ子、胴輪へうたぎ り	ロタロナ子、胴輪へうたぎ り	ロタロナ子、胴輪へうたぎ り、手持ちへうたぎ	同軸糸切り痕、手 持ちへうたぎ	7.53765/3.1.5 小黒色	ロタロ成肌、 内周黒色処理	A161
67	137	105	SE18 溝1北西半 土壁4	南土下段	29.9	-	6.3	ロタロナ子、胴輪へうたぎ り	ロタロナ子、胴輪へうたぎ り	ロタロナ子、胴輪へうたぎ り、手持ちへうたぎ	同軸糸切り痕、手 持ちへうたぎ	8.4 小黒色	ロタロ成肌、 内周黒色処理	A165
68	137	105	SE10 PPC488	南土下段	5.8	6.2	6.6	ロタロナ子、胴輪へうたぎ り	ロタロナ子、胴輪へうたぎ り	ロタロナ子、胴輪へうたぎ り、手持ちへうたぎ	同軸糸切り痕	7.53727/4.1.5 小黒色	内周黒色処理	A162
69	137	105	SE11 PPC428	南土下段	13.7	-	6.7	ロタロナ子、胴輪へうたぎ り	ロタロナ子、胴輪へうたぎ り	ロタロナ子、胴輪へうたぎ り、手持ちへうたぎ	同軸糸切り痕	10.0786/4.1.5 小黒色	内周黒色処理	A163
70	137	105	SE11 PPC728	南土下段	-	-	6.0	ロタロナ子、胴輪へうたぎ り	ロタロナ子、胴輪へうたぎ り	ロタロナ子、胴輪へうたぎ り、手持ちへうたぎ	同軸糸切り痕	7.53786/3.1.5 小黒色	ロタロ成肌	A164
71	137	105	SA1 北西側	南土下段	6.0	6.8	6.0	ロタロナ子、胴輪へうたぎ り	ロタロナ子、胴輪へうたぎ り	ロタロナ子、胴輪へうたぎ り、手持ちへうたぎ	同軸糸切り痕	2.577.2 灰褐色	ロタロ成肌	A302
72	137	105	SA1 遺物 P1	南土下段	15.5	6.0	6.0	ロタロナ子、胴輪へうたぎ り	ロタロナ子、胴輪へうたぎ り	ロタロナ子、胴輪へうたぎ り、手持ちへうたぎ	同軸糸切り痕	10.0787/3.1.5 小黒色	内周黒色処理	A4
73	137	105	SA1 遺物 P5 SA1<6>遺物 P15	南土下段	13.3	6.5	6.6	ロタロナ子、胴輪へうたぎ り	ロタロナ子、胴輪へうたぎ り	ロタロナ子、胴輪へうたぎ り、手持ちへうたぎ	同軸糸切り痕、手 持ちへうたぎ	10.0788/3.3 小黒色	内周黒色処理	A5
74	137	105	SA1 南西側	南土下段	13.4	5.6	5.0	ロタロナ子、胴輪へうたぎ り	ロタロナ子、胴輪へうたぎ り	ロタロナ子、胴輪へうたぎ り、手持ちへうたぎ	同軸糸切り痕	7.53786/3.3 小黒色	内周黒色処理	A12
75	137	105	SA1 南西側	南土下段	13.8	6.0	5.2	ロタロナ子、胴輪へうたぎ り	ロタロナ子、胴輪へうたぎ り	ロタロナ子、胴輪へうたぎ り、手持ちへうたぎ	同軸糸切り痕	10.0788/4.1.5 小黒色	内周黒色処理	A10
76	138	105	SA1 遺物 P2 SA1 遺物 P2<2>	南土下段	15.7	-	6.7	ロタロナ子、胴輪へうたぎ り	ロタロナ子、胴輪へうたぎ り	ロタロナ子、胴輪へうたぎ り、手持ちへうたぎ	同軸糸切り痕	2.578.2 灰白色	内周黒色処理	A7
77	138	105	SA1 <6>	南土下段	11.0	-	6.3	ロタロナ子、胴輪へうたぎ り	ロタロナ子、胴輪へうたぎ り	ロタロナ子、胴輪へうたぎ り、手持ちへうたぎ	同軸糸切り痕	10.0787/3.1.5 小黒色	内周黒色処理	66
78	138	105	SA1 遺物 P9	南土下段	13.8	6.4	3.8	ロタロナ子、胴輪へうたぎ り	ロタロナ子、胴輪へうたぎ り	ロタロナ子、胴輪へうたぎ り、手持ちへうたぎ	同軸糸切り痕	10.0787/3.1.5 小黒色	内周黒色処理	A11
79	138	105	SA1 遺物 P9-P14	南土下段	14.5	6.8	3.0	ロタロナ子、胴輪へうたぎ り	ロタロナ子、胴輪へうたぎ り	ロタロナ子、胴輪へうたぎ り、手持ちへうたぎ	同軸糸切り痕	10.0787/3.1.5 小黒色	内周黒色処理	A303

調査 番号	図 号	年代	出土 層位	出土 地点	層位	種類	形状	出土 位置	数量	出土 状況	内面形状	外面形状	内面調査	底面	色面	備考	整理 番号
80	138	106	B2	SIA1 SIA1 ベ&ト	硬土 2層	高台皿	口縁部一高台部	(136) (58)	44	ロタロナ字	ロタロナ字、横一輪状へ うろ子、黒色処理	ロタロナ字、横一輪状へ うろ子、黒色処理	同軸へうろ子、手 持へうろ子、黒色 処理	同軸へうろ子、手 持へうろ子、黒色 処理	10YR7/2(上)土 いり、黒色	ロタロ成形、 内面黒色処理	A1
81	138	105	B2	SIA1 遺物 P5	硬土下段	高台皿	底部下手一高台 部	(108) 67	(2) 9	ロタロナ字	ロタロナ字、横状へうろ 子、黒色処理	ロタロナ字、横状へうろ 子、黒色処理	同軸へうろ子、手 持へうろ子、黒色 処理	2.5YR7/3(上) いり、黒色	ロタロ成形、 内面黒色処理	A2	
82	138	106	B2	SIA1 遺物 P11	硬土下段	高台皿	底部下手一高台 部	(118) 52	(3) 5	ロタロナ字	ロタロナ字、横状へうろ 子、黒色処理	ロタロナ字、横状へうろ 子、黒色処理	同軸へうろ子、手 持へうろ子、黒色 処理	10YR7/3(上)土 いり、黒色	ロタロ成形、 内面黒色処理	A3	
83	138	106	B2	SIA1 遺物 P8	硬土下段	高台皿	底部下手一高台 部	-	(6) 0	ロタロナ字	ロタロナ字、横状へうろ 子、黒色処理	ロタロナ字、横状へうろ 子、黒色処理	同軸へうろ子もしく は、同軸へうろ子、 手持へうろ子、黒 色処理	2.5YR7/3(上) いり、黒色	ロタロ成形、 内面黒色処理	A8	
84	138	106	B2	SIA1 SIA1 ベ&ト	硬土 2層	土師器	口縁部一唇部	(162) -	(8) 6	ロタロナ字	ロタロナ字、横状へうろ 子、黒色処理	ロタロナ字、横状へうろ 子、黒色処理	-	10YR8/2(白) いり、黒色	ロタロ成形、 内面黒色処理	A9	
85	138	106	B2	SIA2 SIA2 ベ&ト	硬土	土師器	口縁部一底部	(140) 56	50	ロタロナ字	ロタロナ字、同軸へうろ 子、黒色処理	ロタロナ字、同軸へうろ 子、黒色処理	同軸へうろ子、手 持へうろ子、黒色 処理	2.5YR7/4(上) いり、黒色	ロタロ成形、 内面黒色処理	A13	
86	138	106	B2	SIA2 SIA2 北西側	硬土	土師器	底部下手一底部	-	(3) 1	ロタロナ字	ロタロナ字、手持ちへうろ 子	ロタロナ字、横状一放射状 へうろ子、黒色処理	同軸へうろ子	10YR8/4(黒) いり、黒色	ロタロ成形、 内面黒色処理	A16	
87	138	106	B2	SIA2 SIA2 北西側	硬土	土師器	口縁部一底部	(137) (58)	45	ロタロナ字	ロタロナ字、同軸へうろ 子	ロタロナ字、横状一放射状 へうろ子、黒色処理	同軸へうろ子	10YR7/3(上) いり、黒色	ロタロ成形、 内面黒色処理	A17	
88	138	106	B2	SIA2 SIA2 ベ&ト	硬土	土師器	高台部	-	(20) 0	ロタロナ字	ロタロナ字	同軸へうろ子	同軸へうろ子	2.5YR8/3(黒) いり、黒色	ロタロ成形	A14	
89	138	106	B2	SIA2 SIA2 ベ&ト	硬土	土師器	底部下手一底部	-	(2) 0	ロタロナ字	ロタロナ字	同軸へうろ子	同軸へうろ子	10YR5/2(黒) いり、黒色	ロタロ成形	A15	
90	138	106	B2	SIA2 SIA2 南東側	硬土	土師器	口縁部一唇部	(172) -	(7) 4	同軸へうろ子、手 持ちへうろ子、黒 色処理	同軸へうろ子、手 持ちへうろ子、黒 色処理	同軸へうろ子	同軸へうろ子	2.5Y7/1(白)土 いり、黒色	同軸へうろ子、 手持ちへうろ子、 黒色処理	A30	
91	138	106	B2	SIA3 SIA3 北西側	硬土	土師器	底部一唇部	-	(4) 8	同軸へうろ子、手 持ちへうろ子、黒 色処理	同軸へうろ子、手 持ちへうろ子、黒 色処理	同軸へうろ子	同軸へうろ子	N6-0(灰)色	同軸へうろ子、 手持ちへうろ子、 黒色処理	A30A	
92	138	106	B2	SIB1 P1	硬土	土師器	口縁部一唇部	(142) -	(4) 0	同軸へうろ子、手 持ちへうろ子、黒 色処理	同軸へうろ子、手 持ちへうろ子、黒 色処理	同軸へうろ子	同軸へうろ子	2.5Y7/2(灰)黒色 いり、黒色	同軸へうろ子、 手持ちへうろ子、 黒色処理	A31a	
93	138	106	B2	SIB1 P1	硬土	土師器	口縁部一底部	(156) (74)	52	ロタロナ字	ロタロナ字、横状一放射状 へうろ子、黒色処理	ロタロナ字、横状一放射状 へうろ子、黒色処理	同軸へうろ子	同軸へうろ子	2.5YR7/3(上) いり、黒色	同軸へうろ子、 手持ちへうろ子、 黒色処理	A32
94	138	106	B2	SIB1 P1	硬土	土師器	口縁部一唇部	(150) -	(4) 6	同軸へうろ子、手 持ちへうろ子、黒 色処理	同軸へうろ子、手 持ちへうろ子、黒 色処理	同軸へうろ子	同軸へうろ子	2.5YR6/6(黒)色 いり、黒色	同軸へうろ子、 手持ちへうろ子、 黒色処理	A36	
95	139	107	B2	SIB2 P1	-	土師器	底部	(140) 58	57	ロタロナ字	ロタロナ字、横状一放射状 へうろ子、黒色処理	ロタロナ字、横状一放射状 へうろ子、黒色処理	同軸へうろ子	同軸へうろ子	10YR3/7(上)土 いり、黒色	同軸へうろ子、 手持ちへうろ子、 黒色処理	A38
96	139	107	B2	SIB2 P1	-	土師器	陶文部	(166) 67	72	ロタロナ字	ロタロナ字、横一輪状へう ろ子、黒色処理	ロタロナ字、横一輪状へう ろ子、黒色処理	同軸へうろ子	同軸へうろ子	2.5YR7/4(上) いり、黒色	同軸へうろ子、 手持ちへうろ子、 黒色処理	A39
97	139	106	B2	SIB2 P1	-	土師器	口縁部一底部	(111) 54	50	ロタロナ字	ロタロナ字、横一輪状へう ろ子、黒色処理	ロタロナ字、横一輪状へう ろ子、黒色処理	同軸へうろ子	同軸へうろ子	2.5YR7/4(上) いり、黒色	同軸へうろ子、 手持ちへうろ子、 黒色処理	A40
98	139	106	B2	SIB2 P1	-	土師器	口縁部一底部	(140) (55)	46	ロタロナ字	ロタロナ字	同軸へうろ子	同軸へうろ子	同軸へうろ子	10YR8/2(白) いり、黒色	同軸へうろ子、 手持ちへうろ子、 黒色処理	A42

調査 番号	年度	研究 内容	出土地点	層位	積層	器種	出土部位	調査数量 (口数/数量)	外周調査	内周調査	状況	色調	番号	調査 部位
99	139	107	R2	S1R2 壇土・H1付近 壇土・H1 H3区1・H2 H3区	壇土 棕色土上面 積出層 積出層	土師器 杯	口縁部～底部	172 58 67	ロタロナナ	ロタロナナ・楕円ヘラミナ ナ・黒色処理	同軸糸切り肌 (見えず)・手持 ちヘラナズリ	3Y2R6/4 L・濃い 褐色	A35	仏堂の底、口 縁口縁部、内 面黒色処理
100	139	107	R2	S1R2 壇土・H1 H3区東端壇土・H1付近 H3区	壇土 黒色土上面 黒色土上面 積出層 積出層	土師器 杯	口縁部～底部	144(0) 6(1) 5(1)	ロタロナナ	ロタロナナ・楕円ヘラミナ ヘラミナナ・黒色処理	同軸糸切り肌	10Y2R7/3 L・赤 い褐色	A41	ロタロ縁部、 口縁部 内面黒色処理
101	139	108	R2	S1R2 カマド付近	-	黒土器 長皿	胴部～唇部	- (0)	研目跡目(見えず)・口 ナズリ	-	-	2M 0 灰色	A313	楕円口縁部 口縁部
102	139	107	R2	S1R2 P1	-	須恵器 壺	体部下部～底 部	- (7)	楕円ヘラナズリ	楕円ヘラナズリ	高台付・ヘラナ ズリ	7.5Y5/1 灰色	A316	土器5・編 土器5
103	139	106	R2	S1R2 カマド付近 H3区	壇土 黒色土上面 黒色土上面 積出層 積出層	土師器 小壺	口縁部～底部	143(0) 8(4) 15(0)	楕円ヘラナズリ(下 方)	楕円ヘラナズリ	同軸糸切り肌	10Y2R8/2 R・白 い褐色	A29	赤口口縁部 赤口口縁部
104	139	107	R2	S1R2 壇土・H1付近 H3区1・H2 H3区	壇土 棕色土上面 積出層 積出層	土師器 小壺	口縁部～底部	16(0) 7(3) 13(1)	ロタロナナ・手持ちヘラナ ズリ	ロタロナナ	同軸糸切り肌	7.5YR4/3 褐色	A90	ロタロ縁部
105	139	107	R2	S1R2 P1 H3区	壇土 黒色土上面 表土	土師器 長脚器	口縁部～体部下 半	23(4)	ロタロナナ・楕円ヘラナズ リ(上方右下方)	ロタロナナ・楕円ヘラナズ リ	-	7.5Y2R6/8 褐色	A30	土器4・6、ロ タロナナ
106	140	108	R2	S1D1	灰面土上	土師器 杯	体部上半～底部	- 5(4) 6(3)	ロタロナナ	ロタロナナ・楕円ヘラミナ ナ・黒色処理	同軸糸切り 肌	10Y2R7/4 L・赤 い褐色	A93	黒土器4・ロ タロナナ 口縁部・内面 黒色処理
107	140	108	R2	S1D1	灰面土上	土師器 杯	口縁部～底部	13(4) 5(6) 3(5)	ロタロナナ	ロタロナナ・楕円ヘラミナ ナ・黒色処理	同軸糸切り肌	10Y2R6/7 L・赤 い褐色	A96	黒土器5・ロ タロナナ 口縁部・内面 黒色処理
108	140	108	R2	S1D1 北東側 H3区北東側付近	壇土	土師器 杯	体部下部～底 部	- 6(6) 4(5)	ロタロナナ・楕円ヘラナズ リ	ロタロナナ・楕円ヘラミ ナ・黒色処理	同軸ヘラナ高切り 肌(見えず)・手持 ちヘラナズリ	10Y2R6/2 L・赤 い褐色	A99	ロタロ縁部、 内面黒色処理
109	140	108	R2	S1D1 南東側 H3区北東側付近	壇土 黒土 積出層	土師器 杯	口縁部～底部	14(4) 5(1) 5(1)	ロタロナナ	ロタロナナ・楕円ヘラミ ナ・黒色処理	同軸糸切り肌	10Y2R7/2 L・赤 い褐色	A106	ロタロ縁部・ 内面黒色処理
110	140	108	R2	S1D1 南東側	壇土	黒土器 a	体部下半～底 部	- 5(2) 4(1)	ロタロナナ	ロタロナナ	同軸糸切り肌	10Y2R8/4 褐色	A98	ロタロ縁部・ 赤色処理
111	140	108	R2	S1D1 南東側 H3区北東側付近	壇土 黒土 積出層	黒土器 a	口縁部～底部	14(9) 4(8) 4(8)	ロタロナナ	ロタロナナ	同軸糸切り肌	10Y2R7/4 L・赤 い褐色	A104	ロタロ縁部・ 赤色処理
112	140	108	R2	S1D1	灰面土上	黒土器 b	胴部	13(9) 6(3) 4(8)	ロタロナナ	ロタロナナ	同軸糸切り肌	5Y2R7 有彩色	A94	黒土器 P4・ロ タロナナ 口縁部・赤黒 色処理
113	140	108	R2	S1D1	灰面土上	黒土器 b	体部上半～底 部	- 6(2) 4(1)	ロタロナナ・手持ちヘラナ ズリ	ロタロナナ	同軸糸切り肌	5Y2R7 有彩色	A96	黒土器 P4・ロ タロナナ 口縁部・赤黒 色処理
114	140	108	R2	S1D1	灰面土上	黒土器 b	体部下半～底 部	- 6(6) 4(1)	ロタロナナ・手持ちヘラナ ズリ	ロタロナナ	同軸糸切り肌	5Y2R6 有彩色	A97	黒土器 P5・赤黒 色処理

調査 番号	図	研究 年度	出土地点	層位	種類	形状	出土位置	出土状況	外周形状	内周形状	状態	色調	番号	形状 説明
115	140	108	S2D1-ベ6ト D1 反北西隅住居付近	硬土 焼土 硬土	環	口縁部一底部	(148) 60 4.1	口タロナナ	口タロナナ	口タロナナ	同軸糸切り痕	2.5X87.6 褐色 黒褐色	A100	口タロ成形・ 黒褐色
116	140	108	S2D1-ベ6ト D1 反北西隅住居付近	硬土	環	口縁部一底部	(131) 5.4 4.7	口タロナナ	口タロナナ	口タロナナ	同軸糸切り痕	2.5X87.6 褐色 黒褐色	A101	口タロ成形・ 黒褐色
117	140	108	S2D1-ベ6ト D1 反北西隅住居付近	硬土	環	口縁部一底部	(146) 6.8 5.1	口タロナナ	口タロナナ	口タロナナ	同軸糸切り痕	10Y87/3上・ 黒褐色	A102	口タロ成形・ 黒褐色
118	140	108	S2D1-ベ6ト	硬土	高台杯	底部下手一高付 部	- (32) (3)	口タロナナ	口タロナナ	口タロナナ	-	7.5X87/4上・ 黒褐色	A103	口タロ成形・ 黒褐色
119	140	108	S2D1-ベ6ト D1 反北西隅住居付近	硬土 焼土 硬土	土師器 長脚壺	口縁部一底部 手	(250) - (17)	口タロナナ・手持ちヘラナ ナリ(上から下方50)	口タロナナ・手持ちヘラナ ナリ	口タロナナ・横段一取付長 ヘラナナナナ	同軸糸切り痕・手 持ちヘラナナ	7.5X87/4上・ 黒褐色	A105	土師器・口タ ロ成形・内面 黒褐色
120	140	109	S2D1-ベ6ト D1 反北西隅住居付近	硬土	土師器 環	口縁部一底部	14.6 5.9 5.4	口タロナナ	口タロナナ	口タロナナ	同軸糸切り痕	10Y87/3上・ 黒褐色	A106	口タロ成形・ 黒褐色
121	140	109	S2D1-ベ6ト D1 反北西隅住居付近	硬土	土師器 環	口縁部一底部	(145) 5.5 5.0	口タロナナ	口タロナナ	口タロナナ	同軸糸切り痕	10Y87/3上・ 黒褐色	A109	口タロ成形・ 黒褐色
122	141	109	S2D1-ベ6ト D1 反北西隅住居付近	硬土	土師器 環	口縁部一底部	13.8 5.0 4.9	口タロナナ	口タロナナ	口タロナナ	同軸糸切り痕	10Y87/3上・ 黒褐色	A102	口タロ成形・ 黒褐色
123	141	109	S2D1-ベ6ト D1 反北西隅住居付近	硬土 焼土 硬土	土師器 環	口縁部一底部	(135) 5.0 4.9	口タロナナ	口タロナナ	口タロナナ	同軸糸切り痕	10Y87/3上・ 黒褐色	A105	土師器・口タ ロ成形・黒 褐色
124	141	109	S2D1-ベ6ト D1 反北西隅住居付近	硬土	土師器 環	口縁部一底部	14.1 5.6 5.0	口タロナナ	口タロナナ	口タロナナ	同軸糸切り痕	10Y87/2上・ 黒褐色	A101	口タロ成形・ 黒褐色
125	141	109	S2D1-ベ6ト D1 反北西隅住居付近	硬土	土師器 環	口縁部一底部	(140) 5.0 4.6	口タロナナ	口タロナナ	口タロナナ	同軸糸切り痕	10Y87/3上・ 黒褐色	A106	口タロ成形・ 黒褐色
126	141	109	S2D1-ベ6ト D1 反北西隅住居付近	硬土	土師器 環	口縁部一底部	(134) 5.0 3.5	口タロナナ	口タロナナ・油 濁	口タロナナ	同軸糸切り痕	10Y87/4上・ 黒褐色	A107	口タロ成形・ 黒褐色
127	141	109	S2D1-ベ6ト D1 反北西隅住居付近	硬土	土師器 環	口縁部一底部	14.1 5.5 5.1	口タロナナ	口タロナナ	口タロナナ	同軸糸切り痕	10Y87/4上・ 黒褐色	A101	口タロ成形・ 黒褐色
128	141	109	S2D1-ベ6ト D1 反北西隅住居付近	硬土	土師器 環	口縁部一底部	14.3 6.0 4.3	口タロナナ	口タロナナ	口タロナナ	同軸糸切り痕	10Y87/3上・ 黒褐色	A102	口タロ成形・ 黒褐色
129	141	109	S2D1-ベ6ト D1 反北西隅住居付近	硬土	土師器 環	口縁部一底部	(148) 5.2 5.0	口タロナナ	口タロナナ	口タロナナ	同軸糸切り痕	10Y87/4上・ 黒褐色	A103	土師器・口タ ロ成形・黒 褐色
130	141	109	S2D1-ベ6ト D1 反北西隅住居付近	硬土	土師器 環	口縁部一底部	(220) - (4)	口タロナナ・横段一取付長 ヘラナナナ	口タロナナ	口タロナナ	同軸糸切り痕	10Y87/4上・ 黒褐色	A104	口タロ成形・ 黒褐色
131	141	109	S2D1-ベ6ト D1 反北西隅住居付近	硬土	土師器 長脚壺	口縁部一底部 手	(220) - (130)	口タロナナ・横段一取付長 ヘラナナナ	口タロナナ・コヤ 多量付着	口タロナナ	同軸糸切り痕	10Y87/2上・ 黒褐色	A107	土師器・口タ ロ成形・外 周黒褐色
132	141	110	S2D1-ベ6ト D1 反北西隅住居付近	硬土	土師器 環	口縁部一底部	- (5.4 (2))	口タロナナ	口タロナナ	口タロナナ	同軸糸切り痕	10Y87/4上・ 黒褐色	A109	口タロ成形・ 黒褐色
133	141	110	S2D1-ベ6ト D1 反北西隅住居付近	硬土	土師器 環	口縁部一底部	(135) 6.2 4.5	口タロナナ	口タロナナ	口タロナナ	同軸糸切り痕	10Y87/2上・ 黒褐色	A110	口タロ成形・ 黒褐色
134	141	110	S2D1-ベ6ト D1 反北西隅住居付近	硬土	土師器 環	口縁部一底部	- (6.6 (2))	口タロナナ	口タロナナ	口タロナナ	同軸糸切り痕	2.5X87.4 灰白色	A108	口タロ成形・ 黒褐色

調査 番号	調査 年度	調査 地点	出土地点	層位	層位 説明	種類	形状	出土部位	調査 位置	外周形状	内周形状	底面	色調	番号	整理 番号
135	141	110	B3	SE27	SE27 B3層	須臾鈔	環	口縁部～底部	(138) 58 4.3	口タロナテ	口タロナテ	同軸糸切り痕	10Y5.1灰色	口タロ成形	A306
136	141	110	B3	SE27	SE27より新しい小 草摺子段(黒色土)	土師鈔	環	口縁部～底部	(136) 6(0) 5.1	口タロナテ	口タロナテ	同軸糸切り痕・垂 り	7.5R7.7.3.5 赤褐色	口タロ成形 内周面取直	A166
137	141	110	B3	SE27	SE27より新しい小 草摺子段(黒色土)	土師鈔	高台形小 環	底部～高台部	- (1.2)	口タロナテ	口タロナテ	同軸糸切り痕	10Y5.7/4.1.5 赤褐色	口タロ成形 内周面取直	A167
138	142	110	B3	SE29	黒土	須臾鈔	環	口縁部～体部上	- (0.8)	口タロナテ	口タロナテ	-	2.5Y6.1黄褐色	口タロ成形 外周取直	A309
139	142	110	B3	SE29	黒土 草摺子段(黒色土)	須臾鈔	環	口縁部～底部	(138) 5(8) 4.1	口タロナテ	口タロナテ	同軸糸切り痕	5Y6.1灰色	口タロ成形	A320
140	142	110	B3	SE29	SE29中層付式切 込土(赤褐色)	土師鈔	環	体部下手～底部	(3.2) 0.3(0)	口タロナテ	口タロナテ	同軸糸切り痕	5Y7.6.6赤褐色	口タロ成形 内周面取直	A169
141	142	110	B2	SE31	SE31(目B12a) 赤 土	須臾鈔	環	口縁部～体部上	- (4.2)	口タロナテ	口タロナテ	-	8.6.0灰色	口タロ成形	A318
142	142	110	B2	SE31	SE31(目B12b) 赤 土	須臾鈔	長頸瓶	体部下手～高台 部	(6.0) 0.2(0)	口タロナテ	口タロナテ	同軸糸切り痕	2.5Y7.1灰白色	口タロ成形	A319
143	142	110	B2	SE31	SE31(目B3)	須臾鈔	環	頸部～肩部	- (4.2)	肩直線・平行明き目・横 線へナテ	口タロナテ	-	10Y5.1.1黄灰 色	輪郭み成り	A317
144	142	110	B3	SE31	SE31土高(目B6b)	須臾鈔	高台形 環	体部下手～底部	(10.2) 7(8)	口タロナテ	口タロナテ	同軸糸切り痕	2.5Y7.4灰白色	口タロ成形	A441
145	142	110	B3	B-バット	黒土下段(黒色土)	土師鈔	高台形小 環	底部～高台部	6.5 (1.7)	口タロナテ	口タロナテ	同軸糸切り痕	7.5R7.3.5 赤褐色	口タロ成形 内周面取直	A165
146	142	110	B2	SE33	SE33(赤土 検出部)	須臾鈔	環	頸部～肩部	- (2.7)	肩直線・平行明き目・口 タロナテ	口タロナテ	-	8.7.0灰白色	輪郭み成り 口成形	A334- 337
147	142	110	B2	SE34	SE34(赤土 検出部)	須臾鈔	環	体部下手～底部	(5.0) 0.2	口タロナテ	口タロナテ	同軸糸切り痕	10Y5.7.3.5 赤褐色	口タロ成形 赤褐色取直	A43
148	142	110	B2	SE34	SE34(赤土 検出部)	須臾鈔	環	頸部～肩部	- (4.3)	平行明き目・輪郭へナテ	口タロナテ	-	8.6.0灰色	輪郭み成り	A320
149	142	110	B3	SE31	SE31, 2, 3 合流部	須臾鈔	環	口縁部～肩部	(13.2)	平行明き目・輪郭へナテ	口タロナテ	-	8.5.0灰色	輪郭み成り 口成形	A302
150	142	110	B3	SE31	SE31(目B7) SE31(目B7) SE31(目B7)	須臾鈔	環	口縁部～肩部	3(2) -	平行明き目(縦段)・口 タロナテ	口タロナテ	-	8.5.0灰色	輪郭み成り 口成形	A306
151	142	110	B3	SE34	SE34(目B7)	須臾鈔	環	口縁部～肩部	(17.0) -	平行明き目・輪郭へナテ	口タロナテ	-	3Y3.5(1.5)赤 褐色	輪郭み成り 口成形	A450
152	142	110	B3	SE34	SE34(目B4付込)	須臾鈔	環	体部下手	- (7.9)	平行明き目・縦段へナテ	口タロナテ	-	2.5Y5.5黄褐色	輪郭み成り	A307
153	143	111	B2	SXA1	SXA1, べルト	土師鈔	環	口縁部～底部	(14.2) 6(8) 4.8	口タロナテ	口タロナテ	同軸糸切り痕	10Y5.7.3.5 赤褐色	口タロ成形 内周面取直	A18
154	143	111	B2	SXA1	SXA1, べルト	土師鈔	鉢	体部下手～底部	- (11.0) 0.3(0)	肩直線・輪郭へナテ	口タロナテ	同軸糸切り痕・底部外 周縁土削付	2.5Y5.5黄褐色	輪郭み成り	A19

調査年度	調査区画	出土地点	層位	種類	形状	位置	数量	出土状況	調査者	写真	説明	色別	番号	資料番号	
155	143	111	B2	SXA1	ペレット	2層	-	(48)	-	ロタロナ字	西面溝壑	ロタロナ字・横位へラナ字	-	ロタロ成箱	A36
156	143	111	B2	SXA1	土師器	体部下半・底面	-	(82)	(68)	横位へラナ字(中心部正・中心部下方部)	溝・横位ハナキ	10Y78/2土赤・黒色	輪縁高成箱	A30	
157	143	111	B2	SXA2	土師器	体部下半・底面	0(6)	82	0(8)	ロタロナ字・器蓋	ロタロナ字・放射線へラナ字・黒色成箱	10Y82/3土赤・黒色	器蓋下部・高台部付・ロタロナ字・粗面肌	A21	
158	143	111	B2	SXA3	土師器	口縁部・底面	138	-	0(8)	ロタロナ字	ロタロナ字	25Y88/4黒質・黒色成箱	粗面へラナ成箱・高台部付・ロタロナ字	A22	
159	143	111	B2	SXA2	土師器	口縁部・底面	3(4)	36	3(0)	ロタロナ字	ロタロナ字	25Y88/3黒質・黒色成箱	ロタロ成箱	A23	
160	143	111	B2	SXA2	土師器	体部下半・底面	-	75	(26)	ロタロナ字	ロタロナ字・放射線へラナ字・黒色成箱	3Y87/4土赤・黒色	粗面へラナ成箱・西面黒色成箱	A171	
161	143	111	B2	SXA2	土師器	体部上半・底面	-	(62)	(32)	ロタロナ字	ロタロナ字	10Y86/2黒質・黒色	粗面へラナ成箱・西面黒色成箱	A24	
162	143	112	B2	SXB1	土師器	体部下半・底面	-	(60)	(38)	ロタロナ字	ロタロナ字・放射線へラナ字	10Y86/3土赤・黒色	ロタロ成箱・西面黒色成箱	A48	
163	143	112	B2	SXB1	土師器	体部下半・底面	-	60	(12)	ロタロナ字	ロタロナ字	25Y88/3黒質・黒色成箱	ロタロ成箱・西面黒色成箱	A44	
164	143	112	B2	SXB1d	土師器	体部下半・底面	-	54	(19)	ロタロナ字	ロタロナ字	25Y88/3黒質・黒色成箱	粗面へラナ成箱・西面黒色成箱	A45	
165	143	112	B2	SXB1	土師器	体部下半・底面	-	(104)	(43)	ロタロナ字・横位へラナ字	ロタロナ字・横位へラナ字	10Y88/2黒白・黒色	ロタロ成箱・西面黒色成箱	A46	
166	143	112	B2	SXB1	土師器	口縁部・体部上半	196	-	68	30	ロタロナ字・横位へラナ字	ロタロナ字	5Y87/4黒質・黒色成箱	粗面へラナ成箱・西面黒色成箱	A47
167	143	112	B2	SXB1	土師器	口縁部・体部上半	196	-	68	30	ロタロナ字・横位へラナ字	ロタロナ字・横位へラナ字	25Y88/2黒白・黒色	ロタロ成箱	A50
168	144	112	B2	SXB1	土師器	体部上半・底面	408	丸尻	724	口縁部成箱付・横位へラナ字	西面溝壑	丸尻の土赤・黒色	丸尻の土赤・黒色成箱	A52	
														A53	

調査 番号	図 号	年度	出土地点	層位	種類	保存部位	数量(個)	外周測型	内周測型	状態	色調	番号	調査 番号
188	145	B3	SKC2 E ベルト	埋土土段	土師器 杯	体部下半	-	(42)	ロタロナ字・器蓋	ロタロナ字・黒色処理・黒 塗へらミナギ	ロタロナ底形・ 内周黒色処理・A181	188	
189	145	B3	SKC2 QNW	埋土土段	土師器 杯	体部下半・器蓋	(60)	(40)	ロタロナ字・筒状へらミナギ	筒状へらミナギ・黒色処理・黒 塗へらミナギ	ロタロナ底形・ 内周黒色処理・A182	189	
190	145	B3	SKC2 QNW	埋土土段	土師器 杯	口縁部・体部上	(158)	(50)	ロタロナ字・筒状へらミナギ・器蓋	ロタロナ字・筒状へらミナギ・黒色処理	ロタロナ底形・ 内周黒色処理・A183・ 188	190	
191	145	B3	SKC2 N ベルト	埋土土段	土師器 杯	口縁部・体部上 手	-	(32)	ロタロナ字・器蓋	ロタロナ字・筒状へらミナギ ・黒色処理	ロタロナ底形・ 内周黒色処理・A184	191	
192	145	B3	SKC2 S トレンチ	埋土	土師器 杯	口縁部・器蓋	(140)	(54)	ロタロナ字・筒状へらミナギ リ・器蓋	ロタロナ字・筒状へらミナギ ・黒色処理	ロタロナ底形・ 内周黒色処理・A185	192	
193	145	B3	SKC2 S トレンチ SKC2 QNW	埋土 埋土土段	土師器 杯	口縁部・器蓋	(156)	(74)	ロタロナ字・筒状へらミナギ リ・器蓋	ロタロナ字・筒状へらミナギ ・黒色処理	ロタロナ底形・ 内周黒色処理・A186	193	
194	145	B3	SKC2 W ベルト	埋土土段	土師器 杯	体部下半・器蓋	-	64 (38)	ロタロナ字・手持ちへらミ ナギ・器蓋	ロタロナ字・筒状へらミナギ ・黒色処理	ロタロナ底形・ 内周黒色処理・A187	194	
195	146	B3	SKC2 N トレンチ	埋土	土師器 杯	口縁部・器蓋	(118)	48	ロタロナ字・ガキ	ロタロナ字・筒状へらミナギ ・黒色処理	ロタロナ底形・ 内周黒色処理・A189	195	
196	146	B3	SKC2 N トレンチ SKC2 QNE SKC2 S ベルト SKC2 E ベルト	埋土土段 埋土土段 埋土土段 埋土土段	土師器 杯	碗状部	148	72	63	ロタロナ字・筒状へらミ ナギ	ロタロナ字・筒状へらミ ナギ・黒色処理	ロタロナ底形・ 内周黒色処理・A190	196
197	146	B3	SKC2 QNW	埋土土段	土師器 杯	口縁部・器蓋	(150)	(58)	53	ロタロナ字・筒状へらミナギ	ロタロナ字・筒状へらミナギ ・黒色処理	ロタロナ底形・ 内周黒色処理・A191	197
198	146	B3	SKC2 W ベルト SKC2 S ベルト	埋土土段 埋土土段	土師器 杯	体部下半・器蓋	(64)	55	(27)	ロタロナ字・筒状へらミナギ ・黒色処理	ロタロナ底形・ 内周黒色処理・A192	198	
199	146	B3	SKC2 QSE	埋土土段	土師器 杯	体部下半・器蓋	(108)	52	(43)	ロタロナ字・筒状へらミナギ ・黒色処理	筒状へらミナギ・ 内周黒色処理・A193	199	
200	146	B3	SKC2 QNE	埋土土段	土師器 杯	体部下半・器蓋	-	46	(24)	ロタロナ字	筒状へらミナギ・ 内周黒色処理・A194	200	
201	146	B3	SKC2 S ベルト	埋土土段	土師器 高石皿	口縁部・体部上 手	(134)	-	(24)	ロタロナ字	筒状へらミナギ・ 内周黒色処理・A195	201	
202	146	B3	SKC2 N ベルト	埋土土段	土師器 高石皿	口縁部・体部上 手	(129)	-	(19)	ロタロナ字	筒状へらミナギ・ 内周黒色処理・A196	202	
203	146	B3	SKC2 N トレンチ SKC2 金剛 SKC2 QNW	埋土土段 埋土土段 埋土土段	土師器 短皿	口縁部・体部上 手	(122)	-	(108)	ロタロナ字	筒状へらミナギ・ 内周黒色処理・A198	203	
204	147	B3	SKC2 E トレンチ SKC2 S トレンチ	埋土 埋土	土師器 鉢	口縁部・体部上 手	(211)	-	(105)	ロタロナ字・筒状へらミナギ ・黒色処理	ロタロナ底形・ 内周黒色処理・A199	204	
205	147	B3	SKC2	埋土土段	土師器 鉢	口縁部・体部上 手	(268)	-	(45)	ロタロナ字	筒状へらミナギ・ 内周黒色処理・A200	205	
206	147	B3	SKC2 E 皿	埋土土段	土師器 鉢	体部下半・器蓋	-	(107)	(128)	ロタロナ字・筒状へらミナギ ・黒色処理	筒状へらミナギ・ 内周黒色処理・A201	206	

調査 番号	図	宗門 年度	出土地点	層位	積層	器種	共存部位	数量(個)	外周調査	内周調査	状況	色調	番号	整理 番号	
224	149	116	32 SHEA QNE SHEA N ベルト	黄土 黄土上段 黒色土	環状 胴部-体部下 部	長頸壺	胴部-体部下 部	-	(01)	明8月、横穴へウケズリ・ ウケナナナ、横穴ウケズリ	-	10Y14 灰色	輪郭高形ウケ 口底型	A287	
225	148	115	33 SHEA N ベルト	黄土上段 黒色土	鉢	体部下-高外 部	体部下-高外 部	7.0	(14)	ウケウケナ	同軸糸切り痕・高 外縁付・ウケウケ ナ	10Y18R-2白 10Y18R-2白	ウケウケ高形・ 内周黒色処理	A235	
226	149	116	32 SHEA QNW	黄土	鉢	体部下	体部下	-	(00)	ウケウケナ・ウケナ ウケウケナ	-	5Y727 赤褐色	ウケウケ高形・ 内周黒色処理	A239	
227	149	116	33 SHEA QNW	黄土	長頸壺	口縁部-体部上 部	口縁部-体部上 部	26.4	(06)	輪郭高形(高外縁付)ウケ ウケナナナ	-	10Y327.3 赤 い黄褐色	輪郭高形高外 外周黒色付足 入少外縁付	A237	
228	149	116	33 SHEA W ベルト	黄土上段 黒色土	長頸壺	体部下	体部下	-	(R4)	輪郭高形(高外縁付)ウケ ウケナナナ	-	10Y327.3 赤 い黄褐色	輪郭高形高外 外周黒色付足 入少外縁付	A238	
229	149	115	33 SHEA5	黄土上段 黒色土	長頸壺	口縁部-体部上 部	口縁部-体部上 部	-	(85)	ウケウケナ	-	2.5Y84.2 灰 藍色	輪郭高形高外 外周黒色付足 入少外縁付	A210	
230	149	115	32 黄土B1 黄土B1付足	黄土 黄土上段	鉢	口縁部-体部上 部	口縁部-体部上 部	14.0	4.6	ウケウケナ	同軸糸切り痕	10Y18R-3 黄 褐色	ウケウケ高形・ 赤黒色処理	A33	
231	149	115	32 黄土B1 黄土B1付足	黄土 黄土上段	鉢	口縁部-体部上 部	口縁部-体部上 部	13.2	5.4	ウケウケナ	同軸糸切り痕	10Y18R-3 黄 褐色	ウケウケ高形・ 赤黒色処理	A34	
232	149	115	32 黄土B1 黄土B1付足	黄土 黄土上段	小壺	口縁部-体部上 部	口縁部-体部上 部	14.0	9.0	126 高外縁付ウケナナナ (土分付 別)	同軸糸切り痕	2.5Y786.3 赤 い黄褐色	輪郭高形高外 外周黒色付足 入少外縁付	A27	
233	150	116	32 PPA35	黄土	甌	口縁部-体部上 部	口縁部-体部上 部	14.4	6.1	3.0	ウケウケナ	同軸糸切り痕	10Y18.1 黒灰 赤黒色処理	A25	
234	149	116	32 PPB32	黄土	鉢	口縁部-体部上 部	口縁部-体部上 部	12.9	5.4	4.3	ウケウケナ・手持ちへウケ ズリ	同軸糸切り痕・高 外縁付	10Y327.4 赤 い黄褐色	ウケウケ高形・ 赤黒色処理	A78
235	149	116	32 PPB32	黄土	鉢	口縁部-体部上 部	口縁部-体部上 部	14.2	5.2	5.1	ウケウケナ・手持ちへウケ ズリ	同軸糸切り痕・高 外縁付	10Y327.3 赤 い黄褐色	ウケウケ高形・ 赤黒色処理	A76
236	149	116	32 PPB32	黄土	鉢	口縁部-体部上 部	口縁部-体部上 部	13.0	4.0	4.9	ウケウケナ・手持ちへウケ ズリ	同軸糸切り痕・高 外縁付	2.5Y786.4 赤 い黄褐色	ウケウケ高形・ 赤黒色処理	A77
237	150	116	32 PPA37 遺物 P1	黄土	甌	口縁部-体部上 部	口縁部-体部上 部	13.7	5.7	5.3	ウケウケナ・高外 縁付	同軸糸切り痕	8S 05 灰白色	ウケウケ高形・ 赤黒色処理	A26
238	150	116	32 PPA37	黄土	甌	口縁部-体部上 部	口縁部-体部上 部	14.5	-	(17)	ウケウケナ	-	N7 05 灰白色	ウケウケ高形・ 赤黒色処理	A307
239	150	116	32 PPA37	黄土	甌	口縁部-体部上 部	口縁部-体部上 部	11.0	-	(18)	ウケウケナ	-	10Y18.1 黒灰 赤黒色処理	ウケウケ高形 赤黒色処理	A308
240	150	116	32 PPB39 PPB340	黄土 黄土	鉢	口縁部-体部上 部	口縁部-体部上 部	14.6	-	(37)	ウケウケナ	-	10Y327.1 灰白 色	ウケウケ高形・ 赤黒色処理	A82
241	149	116	32 PPB40	黄土	鉢	体部下-高外 部	体部下-高外 部	5.3	(18)	ウケウケナ	同軸糸切り痕	10Y18R-3 黄 褐色	ウケウケ高形・ 赤黒色処理	A80	
242	150	116	32 PPB340	-	鉢	高外 部	高外 部	14.2	5.3	5.3	ウケウケナ・横穴二輪付 ウケナナナ 高外縁付	同軸糸切り痕	10Y18R-3 黄 褐色	土質上・ウケ ウケ高形・内周 黒色処理	A83

調査 番号	国	年代	所在地	層位	層相	形状	残存部位	調査方法	外周調査	内周調査	施設	色調	備考	施設 番号
243	150	116	R2	PPVC87	埋土	瓦葺版	口縁部一部	10.27	-	(4.8)	タキメ	-	N3.9暗灰色 ロクロ成形	A326
244	150	116	R3	PPVC88	埋土	瓦葺版	口縁部一部	6.61	-	(3.8)	ロクロナデ	-	5Y5.1灰色 ロクロ成形	A445
245	150	116	R3	PPVC88	埋土土笠	瓦葺版	体部下半一部	-	(13.0)	(4.5)	高台敷付・ロクロ ナデ	-	N4.0灰色 編織糸状ロ クロ成形	A456
246	150	116	R2	PPFD4	埋土	土師器	口縁部一部	14.6	5.8	5.2	同軸糸切り ロクロナデ	-	7.5YR7.21.5 内周縁色処理 いっ栗色	A111
247	150	117	R2	PPFD11	埋土	土師器	胎文彩	15.0	6.2	4.9	同軸糸切り ロクロナデ	-	同軸糸切り ロクロナデ	A112
248	150	117	R2	PPFD11	埋土	瓦葺版	明部一高台部	-	9.4	(22.9)	高台敷付・ロクロ ナデ	-	N3.0暗灰色 編織糸状ロ クロ成形	A326
249	150	117	R3	PPFZ25	埋土土笠	瓦葺版	体部下半一部	41.8	(3.8)	(2.5)	同軸糸切り ロクロナデ	-	同軸糸切り ロクロ成形	A430
250	150	117	R3	PPFZ76	柱めり埋土	瓦葺版	口縁部一部	14.2	6.0	4.8	同軸糸切り ロクロナデ	-	同軸糸切り ロクロ成形	A421
251	150	117	R3	PPFZ79	埋土	瓦葺版	胎文彩	-	-	(8.7)	同軸糸切り ロクロナデ	-	同軸糸切り ロクロ成形	A328
252	151	117	R3	SKC10	埋土	土師器	口縁部一部	13.8	6.2	4.2	同軸糸切り ロクロナデ	-	同軸糸切り ロクロ成形	A322
253	151	117	R3	SKC10	埋土	土師器	口縁部一部	-	3.0	(1.8)	同軸糸切り ロクロナデ	-	同軸糸切り ロクロ成形	A313
254	151	117	R2	SKC10	埋土	土師器	胎文彩	-	-	(8.7)	同軸糸切り ロクロナデ	-	同軸糸切り ロクロ成形	A31
255	151	117	R2	B区遺物集-2	-	土師器	口縁部一部	13.3	4.8	3.2	同軸糸切り ロクロナデ	-	同軸糸切り ロクロ成形	A32
256	151	117	R2	B区遺物集-2	-	土師器	口縁部一部	14.4	6.5	4.7	同軸糸切り ロクロナデ	-	同軸糸切り ロクロ成形	A35
257	151	117	R2	B区遺物集-2	-	土師器	口縁部一部	14.5	5.7	4.6	同軸糸切り ロクロナデ	-	同軸糸切り ロクロ成形	A40
258	151	117	R2	B区遺物集-2	-	土師器	口縁部一部	13.8	(3.8)	4.7	同軸糸切り ロクロナデ	-	同軸糸切り ロクロ成形	A33
259	151	117	R2	B区遺物集-2	-	埋土	胎文彩	13.9	5.0	4.9	同軸糸切り ロクロナデ	-	同軸糸切り ロクロ成形	A37
260	151	117	R2	B区遺物集-2	-	埋土	胎文彩	13.4	5.6	4.8	同軸糸切り ロクロナデ	-	同軸糸切り ロクロ成形	A40
261	151	118	R2	B区遺物集-2	-	埋土	胎文彩	13.0	4.9	5.3	同軸糸切り ロクロナデ	-	同軸糸切り ロクロ成形	A34
262	151	118	R2	B区遺物集-2	-	埋土	胎文彩	13.8	6.2	4.7	同軸糸切り ロクロナデ	-	同軸糸切り ロクロ成形	A38

調査年度	調査区	研究年度	出土地点	層位	種別	形状	保存部位	調査数量(口)	調査数量(口)	外周調査	内周調査	状況	色調	番号	記録番号
263	151	118	B3区1 1017区 B3区遺物集2	検出層	環	口縁部-底部	142	50	52	ロタロナ字	ロタロナ字	同軸糸切り環	75Y72/4に土 黄褐色	ロタロ戒指・ 黒褐色	A59
264	151	118	B3区1 1017区 B3区遺物集2	検出層 表土	環	口縁部- 体部	113	-	(43)	ロタロナ字・横穴へうミ字 リ(上左方)・背丸(上)	ロタロナ字・横穴へうミ字・ 黒褐色	-	5Y77/6褐色 小・黄褐色	同軸糸切り環 同軸糸切り環	A56 A60
265	151	118	B3区遺物集3	-	土師器	口縁部-底部	145	56	51	ロタロナ字	ロタロナ字	同軸糸切り環	10Y87/3に土 黄褐色	同軸糸切り環 同軸糸切り環	A63
266	151	118	B3区遺物集3	-	黒磁器a	底面	40	58	56	ロタロナ字	ロタロナ字	同軸糸切り環	10Y87/3に土 黄褐色	ロタロ戒指・ 黒褐色	A64
267	151	118	B3区1 1018区 B3区遺物集13	検出層	土師器	体部上- 体部	108	58	62	ロタロナ字	ロタロナ字	同軸糸切り環・高 内底付・ロタロナ 字	10Y87/3に土 黄褐色	同軸糸切り環 同軸糸切り環	A62
268	152	118	B3区遺物集13	遺物字穴(黄褐色土)	黒磁器	体部下	-	-	62	ロタロナ字・器蓋	ロタロナ字	-	25Y74/1灰白色 中細磨	ロタロ戒指・ 外周磨	A58
269	152	118	B3区遺物集14	遺物字穴(黄褐色土)	黒磁器	体部下	-	-	63	ロタロナ字・器蓋	ロタロナ字	-	75Y72/4に土 黄褐色	ロタロ戒指・ 外周磨	A65
270	152	118	B3区遺物集14	遺物字穴(黄褐色土)	黒磁器	体部下	-	-	(1)	ロタロナ字・器蓋	ロタロナ字	-	7G/0灰白色 中細磨	ロタロ戒指・ 外周磨	A67
271	152	118	B3区遺物集14	遺物字穴(黄褐色土)	黒磁器	体部下- 体部	62	62	62	ロタロナ字・器蓋	ロタロナ字	同軸糸切り環	25Y74/1灰白色 粗磨	同軸糸 器蓋	A62
272	152	118	B3区遺物集14	遺物字穴(黄褐色土)	黒磁器	口縁部-底部	132	60	50	ロタロナ字	ロタロナ字	同軸糸切り環	N5/0灰色	ロタロ戒指	A62
273	152	118	B3区遺物集14	遺物字穴(黄褐色土)	黒磁器	口縁部-底部	133	60	41	ロタロナ字	ロタロナ字	同軸糸切り環小	75Y76/1灰色 中細磨	ロタロ戒指	A64
274	152	118	B3区遺物集14	遺物字穴(黄褐色土) 遺物字穴(黄褐色土) 遺物字穴(黄褐色土)	黒磁器	口縁部-底部	135	56	51	ロタロナ字	ロタロナ字	同軸糸切り環・器 蓋	9Y6/1灰色	ロタロ戒指	A46
275	152	118	B3区遺物集14	遺物字穴(黄褐色土) 遺物字穴(黄褐色土)	黒磁器	口縁部-底部	145	60	48	ロタロナ字	ロタロナ字	同軸糸切り環	5Y74/1灰白色	ロタロ戒指	A47
276	152	118	B3区遺物集14	遺物字穴(黄褐色土)	黒磁器	口縁部- 体部	138	-	41	ロタロナ字・器蓋	ロタロナ字	-	N7/0灰白色 外周磨	ロタロ戒指・ 外周磨	A48
277	152	118	B3区遺物集14	遺物字穴(黄褐色土)	土師器	口縁部-高台部	134	60	60	ロタロナ字	ロタロナ字	同軸糸切り環	10Y87/2に土 黄褐色	同軸糸切り環 同軸糸切り環	A28
278	152	118	B3区遺物集14	遺物字穴(黄褐色土) 遺物字穴(黄褐色土)	黒磁器	口縁部-底部	114	-	68	ロタロナ字・器蓋	ロタロナ字	-	N3/0黄褐色	ロタロ戒指	A44
279	152	118	B3区遺物集14	遺物字穴(黄褐色土)	土師器	体部下- 体部	96	67	71	ロタロナ字・同軸へうミ字 リ	ロタロナ字・同軸へうミ字・ 黒褐色	同軸糸切り環	75Y86/4に土 黄褐色	同軸糸切り環 同軸糸切り環	A26
280	152	118	B3区遺物集14	遺物字穴(黄褐色土) 遺物字穴(黄褐色土)	黒磁器	口縁部- 体部	146	-	64	ロタロナ字	ロタロナ字	同軸糸切り環	N6/1灰色	同軸糸切り環 同軸糸切り環	A42
281	152	119	B3区遺物集12	遺物字穴(黄褐色土)	黒磁器	口縁部-底部	149	58	47	ロタロナ字	ロタロナ字	同軸糸切り環	25Y76/1灰白色 中細磨	ロタロ戒指・ 外周磨	A43
282	152	119	B3区遺物集13	遺物字穴 遺1017	黒磁器	陶文彩	146	58	50	ロタロナ字・器蓋	ロタロナ字	同軸糸切り環	5Y74/1灰白色 中細磨	ロタロ戒指・ 外周磨	A58

調査年度	調査区	調査地点	層位	種類	形状	量	重量	材質	用途	色調	備考	記録番号	
302	354	130	B3	正区遺物集片2 (E115p)	土師器	高台杯	7.6	62.8	ロタロナ字、横紋・放射状へうま字、黒色地質	5378.4 淡黄色	大器の高台杯、ロタロ成、黒色、内面黒色	A345	
303	354	120	B3	正区遺物集片2 (E115p)	土師器	高台杯	14.6	62.0	ロタロナ字・放射状へうま字、黒色地質	75187/4 土色	ロタロ成、黒色、内面黒色、外黒色	A235	
304	354	130	B3	正区遺物集片2 (E115p)	土師器	高台皿	7.0	41.8	ロタロナ字、放射状へうま字、黒色地質	75178.3 淡黄色	外黒色、黒色、内面黒色、外黒色	A234	
305	354	120	B3	正区遺物集片2 (E115p)	土師器	高台皿	12.6	5.4	ロタロナ字	10187/3 土色	同軸糸切り痕、黒い、刺痕	A229	
306	354	121	B2	A2区	須恵器	杯	13.6	6.0	4.9	ロタロナ字	同軸糸切り痕	A313	
307	354	121	B3	正区遺物集片2 (E115p)	土師器	杯	13.9	5.2	4.7	ロタロナ字	同軸糸切り痕	A303	
308	354	121	B3	正区遺物集片2 (E115p)	土師器	杯	14.7	5.1	4.7	ロタロナ字	同軸糸切り痕、黒い、刺痕	A304	
309	354	123	B3	正区遺物集片2 (E115p)	土師器	杯	17.2	-	6.3	ロタロナ字	同軸糸切り痕	A306	
310	354	123	B3	正区遺物集片2 (E115p)	土師器	杯	13.0	-	6.5	ロタロナ字	同軸糸切り痕	A309	
311	354	123	B3	正区遺物集片2 (E115p)	土師器	杯	-	-	6.7	ロタロナ字	同軸糸切り痕	A400	
312	354	123	B3	正区遺物集片2 (E115p)	土師器	杯	-	-	6.3	ロタロナ字	同軸糸切り痕	A401	
313	354	123	B3	正区遺物集片2 (E115p)	土師器	杯	-	-	6.1	ロタロナ字	同軸糸切り痕	A402	
314	354	121	B3	正区遺物集片2 (E115p)	土師器	杯	5.4	62.3	ロタロナ字	2537.1 灰白色	ロタロ成、外黒色	A403	
315	354	123	B3	正区遺物集片2 (E115p)	土師器	杯	14.0	-	6.2	ロタロナ字	同軸糸切り痕	A404	
316	354	123	B3	正区遺物集片2 (E115p)	土師器	杯	-	-	6.5	ロタロナ字	同軸糸切り痕	A406	
317	354	121	B3	正区遺物集片2 (E115p)	土師器	杯	17.2	6.5	7.4	ロタロナ字	同軸糸切り痕	A439	
318	354	121	B3	正区遺物集片2 (E115p)	土師器	杯	6.0	62.9	ロタロナ字	同軸糸切り痕	同軸糸切り痕	A480	
319	354	123	B3	正区遺物集片2 (E115p)	土師器	杯	6.2	61.1	ロタロナ字	同軸糸切り痕	同軸糸切り痕	A364	
320	354	124	B3	正区遺物集片2 (E115p)	土師器	杯	5.1	6.9	ロタロナ字	同軸糸切り痕	同軸糸切り痕	A409	
321	354	121	B3	正区遺物集片2 (E115p)	土師器	杯	6.8	5.7	6.0	ロタロナ字	同軸糸切り痕	同軸糸切り痕	A110

調査区	区画番号	年度	地上地点	層位	積層	形状	残存部位	調査状況	外周調査	内周調査	状況	色調	備考	調査区分
322	154	124	33	聖地摩羅園 (E B16)	埋葬穴 黒色土	埋込型	底部	-	-	0.06	-	2.977.1 灰白色	ワタ口残片・ 底部焼灰片	A411
323	154	121	33	聖地摩羅園 (E B17)	埋葬穴 黒色土	埋込型	口縁部-底部	1.36	5.6	5.3	ワタ口残片	2.976.1 灰白色	ワタ口残片・ 底部焼灰片	A412
324	154	121	33	聖地摩羅園 (E B16)	埋葬穴 黒色土	埋込型	口縁部-底部	1.39	5.6	5.9	ワタ口残片	2.975.3 黒褐色 土	ワタ口残片・ 底部焼灰片	A413
325	154	121	33	聖地摩羅園 (E B16)	埋葬穴 黒色土	埋込型	口縁部-底部	1.29	6.3	4.5	ワタ口残片	3.916.1 灰色	ワタ口残片・ 底部焼灰片	A414
326	154	121	33	EB3g	埋葬穴(赤褐色土)	埋込型	口縁部-底部	1.54	6.4	4.3	ワタ口残片	N8-0 灰白色	底部焼灰片	A432
327	154	121	33	聖地摩羅園 (E B17)	埋葬穴 黒色土	埋込型	口縁部-底部	1.30	6.4	4.9	ワタ口残片	10.975.1 灰白色	底部焼灰片	A435
328	155	121	33	EB10h	埋葬穴 黒色土(砂埃層小)	埋込型	底部下半-底部	-	5.9	6.6	ワタ口残片	N5-0 灰色	ワタ口残片・ 底部焼灰片	A473
329	155	121	32	A2区	検出箇	埋込型	口縁部-底部上 半	1.44	-	6.7	ワタ口残片・ 火だき遺	N6-0 灰色	ワタ口残片	A430
330	155	121	32	E5-E6区 (E48)	検出箇	埋込型	底部下半-底部	-	6.0	6.8	ワタ口残片	N4-0 灰色	ワタ口残片	A434
331	155	121	32	E区	表球	埋込型	底部下半-底部	-	6.0	6.9	ワタ口残片	N7-0 灰白色	ワタ口残片	A431
332	155	121	33	EB10h S101 埋込 型(赤褐色土) 埋葬穴 (E B17)	埋葬穴(赤褐色土) 埋葬穴 黒色土	埋込型	底部下半-底部	-	6.0	6.7	ワタ口残片・ 砂埃層	2.976.2 灰褐色	ワタ口残片	A436
333	155	121	33	聖地摩羅園 (E B16)	埋葬穴 黒色土	埋込型	口縁部-底部	1.32	5.0	5.3	ワタ口残片	2.976.1 灰色	ワタ口残片	A415
334	155	121	33	EB3b	埋葬穴(赤褐色土)	埋込型	口縁部-底部	1.42	5.6	5.1	ワタ口残片	10.977.1 灰白色	ワタ口残片	A419
335	155	121	33	EB10h EB10k	埋葬穴 黒色土(砂埃層小) 埋葬穴 黒色土(砂埃層小)	埋込型	口縁部-底部	1.32	6.4	4.0	ワタ口残片	2.976.1 灰色	ワタ口残片	A423
336	155	121	33	EB3b	埋葬穴(黒色土)	埋込型	口縁部-底部上 半	1.42	-	4.3	ワタ口残片	2.975.1 灰色	ワタ口残片	A428
337	155	122	33	聖地摩羅園 (E B17)	埋葬穴 黒色土	埋込型	口縁部-底部	1.36	6.5	4.6	ワタ口残片・ 砂埃層	3.941 灰色	ワタ口残片	A429
338	155	122	33	聖地摩羅園 E <<C>> (E B17)	埋葬穴 黒色土	埋込型	口縁部-底部	1.36	6.4	4.8	ワタ口残片	7.975.1 灰色	ワタ口残片	A434
339	155	122	33	EB3b	埋葬穴(黒色土)	埋込型	口縁部-底部	1.46	6.6	5.0	ワタ口残片	2.976.1 灰色	ワタ口残片	A426
340	155	122	33	EB3b	埋葬穴(黒色土)	埋込型	口縁部-底部上 半	1.30	-	6.2	ワタ口残片・ 口縁部砂埃層	2.977.1 灰白色	ワタ口残片	A428
341	155	122	33	EB10h	埋葬穴 黒色土(砂埃層小)	埋込型	底部下半-底部	-	6.2	6.9	ワタ口残片	10.977.1 灰白色	ワタ口残片	A478

調査年度	調査区画	出土地点	層位	種類	形状	出土状況	数量	外周長さ	内周長さ	底径	色調	備考	発掘位置	
342	155	123	B3	II B12k	付石の溝	瓦土	128	-	(51)	ロタロナナ	2537.6褐色	ロタロ成形	A206	
343	155	123	B3	II B23b	環	環	(52)	(11)	ロタロナナ	同軸糸切り痕	2537.43褐色	ロタロ成形	A279	
344	155	123	B2	A1区	高台杯	杯部下半部	(62)	(18)	ロタロナナ	同軸糸切り痕・底面の彫刻・ロタロナナ	536.1灰色	ロタロ成形	A209	
345	155	123	B2	A2区	長皿盤	杯部下半部	(68)	(48)	ロタロナナ	同軸糸切り痕・底面の彫刻・ロタロナナ	531.1灰色	ロタロ成形	A311	
346	155	123	B3	II B17k	長皿盤	口縁部・胴部	(102)	-	(59)	ロタロナナ	2537.2黒色	ロタロ成形	A446	
347	155	123	B3	II B16k	皿蓋小	杯部下半部	58	(47)	ロタロナナ・手持ちヘナナ	同軸糸切り痕・底面の彫刻・ロタロナナ	2537.1黄灰色	ロタロ成形	A448	
348	155	123	B2	A2区	鉢	口縁部・杯部下半部	-	(138)	ロタロナナ・肩付の口縁部・ロタロナナ	不明	366.0灰色	ロタロ成形	A322	
349	155	123	B2	II B18k(敷地層小)	鉢	杯部下半部	(74)	(49)	ロタロナナ・胴部ヘナナ	不明	531.1灰色	ロタロ成形	A443	
350	155	123	B3	敷地層(II B16b)	鉢小	杯部下半部・胴部	(108)	(64)	(21)	ロタロナナ・胴部ヘナナ	同軸糸切り痕・底面の彫刻・ロタロナナ	252.0黒色	ロタロ成形	A442
351	156	123	B3	敷地層(II B13b)	鉢	口縁部・胴部	(176)	-	(38)	ロタロナナ	366.1灰色	ロタロ成形	A447	
352	156	123	B3	敷地層(II B15b)	鉢	口縁部・胴部	(192)	-	(42)	ロタロナナ	366.1灰色	ロタロ成形	A449	
353	156	123	B3	敷地層(II B17b)	鉢	口縁部・胴部	(194)	-	(125)	平行叩き目・ロタロナナ	2537.4灰色	輪縁高脚ロタロ成形	A451	
354	156	123	B3	II B16k	鉢小	口縁部・杯部下半部	(132)	-	(60)	ロタロナナ	532.1ナリ	輪縁高脚ロタロ成形・2段	A454	
355	156	123	B3	II B16k	鉢	口縁部・杯部下半部	(270)	-	(95)	ロタロナナ・胴部平行叩き目	2537.6黄灰色	輪縁高脚ロタロ成形	A461	
356	156	123	B3	II B16k	鉢	口縁部	(249)	-	(49)	胴部平行叩き目・ロタロナナ	N7.0灰白色	輪縁高脚ロタロ成形	A462	
357	156	123	B3	II B16k	鉢	口縁部・胴部	(282)	-	(77)	胴部平行叩き目・ロタロナナ	2535.1黄灰色	輪縁高脚ロタロ成形	A465	
358	156	123	B3	II B16k	鉢	口縁部・杯部下半部	(216)	-	(114)	胴部平行叩き目・ロタロナナ	2537.7灰白色	輪縁高脚ロタロ成形	A466	
359	156	123	B3	II B12k	鉢	口縁部	(437)	-	(40)	ロタロナナ	2537.6黄灰色	ロタロ成形	A463	
360	156	123	B3	II B16k	鉢	口縁部・胴部	(386)	-	(103)	胴部平行叩き目・ヨコナナ	2535.1灰色	輪縁高脚ロタロ成形	A467	
361	156	123	B2	B2区	鉢	口縁部・胴部	-	(10)	ロタロナナ	同軸糸切り痕・底面の彫刻・ロタロナナ	1037.7灰白色	輪縁高脚ロタロ成形	A322	

調査 番号	国	年度	山止地点	標位	標面	標種	残存部位	高さ(目盛)	外周測型	内周測型	形状	色調	備考	資料 番号	
362	157	123	32	103区 (E108c)	標出部	表	口縁部-胴部	-	(338)	ロタロナテ	-	N4.0灰色	輪縁凸成ロタロナテ	A323	
363	157	123	32	103区	標出部	表	口縁部-胴部	-	(337)	ロタロナテ	-	10YR7.2灰青 白成部	輪縁凸成ロタロナテ	A324	
364	157	123	32	101 - 103区	標出部	表	胴部	-	(337)	楕円平行円錐目・斜段へつ ナテ	-	N5.0灰色	輪縁凸成部	A325	
365	157	123	32	C1区 (E107c)	標出部	表	胴部-胴部	-	(62)	楕円平行円錐目・ロタロナ テ・底紋文	-	10YR6.1黒灰	輪縁凸成ロタロ ナテ	A327	
366	157	123	32	C2区 (E107d)	標出部	表	口縁部-胴部	-	(68)	楕円平行円錐目・ロタロナ テ	-	10YR6.1黒灰	輪縁凸成ロタロ ナテ	A328	
367	157	123	32	D1区(北西隅直付付近)	標出部	表	口縁部-胴部	-	(65)	平行円錐目(見えず)・ロ タロナテ	-	10YR5.1黒灰	輪縁凸成ロタロ ナテ	A329	
368	157	123	32	D1区(北西隅直付付近)	標出部	表	口縁部-胴部	-	(44)	ロタロナテ	-	7.5YR4.1黒灰 色	ロタロ成部	A330	
369	157	123	32	D4-05区 (E105)	標出部	表	口縁部-胴部	-	(66)	平行円錐目(見えず)・目 コナテ	-	10YR5.1黒灰	輪縁凸成部	A339	
370	157	123	33	3B10a 3B10b(巻縁部小)	3B10a 3B10b(巻縁部小)	表	胴部-胴部	-	(68)	平行円錐目・ロタロナテ	-	10YR6.1黒灰	輪縁凸成ロタ ロ成部	A433	
371	157	124	33	3B14a	3B14a(巻縁部小)	表	口縁部-胴部	-	(41)	ロタロナテ	-	5.5Y5.1灰成色	ロタロ成部	A464	
372	157	124	33	3B10a	3B10a(巻縁部小)	表	口縁部-胴部	-	(62)	平行円錐目(底紋)・ロタ ロナテ・底紋文	-	7.5YR5.1灰色	輪縁凸成部	A469	
373	157	122	32	D4区 (E103)	標出部	表	全体下部-底部	-	(116) (37)	楕円-斜段へつナテ(上小 ら下大)	へつナテ	N6.0灰色	輪縁凸成部	A338	
374	158	122	33	3B10b	3B10a(巻縁部小)	表	全体下部-底部	-	(124) (63)	楕円-斜段へつナテ	へつナテ	N6.1灰色	輪縁凸成部	A455	
375	158	122	33	3B10a(巻縁部)	表	全体下部-底部	-	(126) (33)	楕円平行円錐目・楕 円へつナテ	楕円底面書	-	7.5Y5.1灰色	輪縁凸成部	A471	
376	158	122	33	3B17a	3B17a(巻縁部小)	表	全体下部-底部	-	(128) (66)	楕円平行円錐目・斜段へつ ナテ	楕円底面書	-	10YR6.1黒灰 色	輪縁凸成部	A472
377	158	124	33	3B10a	3B10a(巻縁部小)	大要	口縁部	(466)	-	ロタロナテ・底紋文	-	10YR2.2黒青 白成部	口縁部 成部	A457	
378	158	124	33	3B10a	3B10a(巻縁部小)	大要	口縁部	(550)	-	ロタロナテ・底紋文	-	N5.0灰色	口縁部 成部	A458	
379	158	124	33	3B14a	3B14a(巻縁部小)	大要	口縁部-胴部	-	(66)	平行円錐目(見えず)・へつ ナテ	-	10YR6.1黒灰 成部	大部の巻 成部	A460	
380	158	124	33	3B10a 3B10b(巻縁部)	3B10a(巻縁部小) 3B10b(巻縁部小)	大要	全体下部	-	(115)	斜段平行円錐目・底 紋	-	10Y4.2オリー ブ灰色	輪縁凸成部	A469	
381	158	124	33	3B10a 3B10b(巻縁部)	3B10a(巻縁部小) 3B10b(巻縁部小)	大要	全体上部	-	(89)	斜段平行円錐目・底 紋	-	10Y7.3緑青 白成部	輪縁凸成部	A470	

調査 番号	調査 年度	出土地点	層位	種類	形状	保存部位	数量(個)	外周形状	内周形状	状態	色調	番号	解説	
382	198	124	B2	D11~B3区	焼出皿 (はさぎ)	口縁部	-	(24)	ロタロナ字	-	ロタロナ字、 黒色陶質	A343	ロタロ成器、 黒色陶質	
383	198	124	B2	D6区	焼出皿 (土乙)	体部上半	-	(19)	ロタロナ字	-	ロタロ成器、 黒色陶質	A344	ロタロ成器、 黒色陶質	
384	199	127	B2	T44	土師器 杯	口縁部・体部上 半	14(0)	(24)	ロタロナ字・黒書	-	内周黒色陶質、 外周黒書	A122	内周黒色陶質、 外周黒書	
385	199	127	B3	豊満地蔵園(ⅡB16f)	土師器 杯	口縁部・体部上 半	15(0)	(45)	ロタロナ字・黒書	-	ロタロ成器、 黒色陶質	A214	ロタロ成器、 黒色陶質	
386	199	127	B3	ⅡB19b	土師器 杯	体部上半・下半	-	(48)	ロタロナ字・黒書	-	内周黒色陶質、 外周黒書	A216	内周黒色陶質、 外周黒書	
387	199	125	B3	ⅡB19b	土師器 杯	体部下半・底部	6(0)	(21)	ロタロナ字・黒書	口縁部・体部上 半	内周黒色陶質、 外周黒書	A217	内周黒色陶質、 外周黒書	
388	199	125	B3	ⅡB19b	土師器 杯	口縁部・底部	13(3)	(56)	51	ロタロナ字・黒書	口縁部・体部上 半	内周黒色陶質、 外周黒書	A218	内周黒色陶質、 外周黒書
389	199	125	B3	ⅡB19b	土師器 杯	口縁部・底部	14(0)	60	52	ロタロナ字・黒書	口縁部・体部上 半	内周黒色陶質、 外周黒書	A220	内周黒色陶質、 外周黒書
390	199	125	B3	ⅡB19b	土師器 杯	体部下半・底部	6(2)	(22)	ロタロナ字・黒書	口縁部・体部上 半	内周黒色陶質、 外周黒書	A225	内周黒色陶質、 外周黒書	
391	199	125	B3	豊満地蔵園(ⅡB15f)	土師器 杯	体部下半・底部	48	(13)	ロタロナ字・黒書	口縁部・体部上 半	内周黒色陶質、 外周黒書	A227	内周黒色陶質、 外周黒書	
392	199	125	B3	ⅡB15k	土師器 杯	体部下半・底部	49	(20)	ロタロナ字・黒書	口縁部・体部上 半	内周黒色陶質、 外周黒書	A228	内周黒色陶質、 外周黒書	
393	199	125	B3	ⅡB19b	土師器 杯	口縁部・底部	128	(58)	39	ロタロナ字・黒書	口縁部・体部上 半	内周黒色陶質、 外周黒書	A222	内周黒色陶質、 外周黒書
394	199	125	B3	豊満地蔵園(ⅡB14f)	土師器 杯	体部下半・底部	-	(70)	(48)	ロタロナ字・黒書	口縁部・体部上 半	内周黒色陶質、 外周黒書	A233	内周黒色陶質、 外周黒書
395	199	125	B3	ⅡB19b	土師器 杯	口縁部・底部	138	56	48	ロタロナ字・黒書	口縁部・体部上 半	内周黒色陶質、 外周黒書	A223	内周黒色陶質、 外周黒書
396	199	125	B3	豊満地蔵園(ⅡB17d)	土師器 杯	体部下半・底部	6(4)	(23)	ロタロナ字	口縁部・体部上 半	内周黒色陶質、 外周黒書	A224	内周黒色陶質、 外周黒書	
397	199	125	B3	ⅡB30b	土師器 杯	底部	-	(52)	(43)	ロタロナ字・黒書	口縁部・体部上 半	内周黒色陶質、 外周黒書	A229	内周黒色陶質、 外周黒書
398	199	125	B2	A3区	土師器 杯	碗状	141	50	45	ロタロナ字・黒書	口縁部・体部上 半	内周黒色陶質、 外周黒書	A28	内周黒色陶質、 外周黒書
399	199	125	B2	A3区西側部	土師器 杯	口縁部・底部	136	64	52	ロタロナ字	口縁部・体部上 半	内周黒色陶質、 外周黒書	A26	内周黒色陶質、 外周黒書
400	199	125	B2	D1区	土師器 杯	体部下半・底部	-	58	(28)	ロタロナ字	口縁部・体部上 半	内周黒色陶質、 外周黒書	A113	内周黒色陶質、 外周黒書
401	199	125	B2	D1区	土師器 杯	底部	-	58	(13)	ロタロナ字	口縁部・体部上 半	内周黒色陶質、 外周黒書	A114	内周黒色陶質、 外周黒書

調査 番号	国	年度	実施 年度	市上地点	層位	柱面	器種	共存部位	調査層位 口徑(直径)×高さ	外周調査	内周調査	状況	色調	備考	調査 番号
402	150	126	B2	T1-1	-	土層砂	環	口縁部~底部	1142) 50 49	ロタロナ	ロタロナ	同軸赤切り皿	10YR5/2.5白 色	ロタロナ	A117
403	160	126	B3	B10b	埋葬下段 黒色土(砂埋層小)	土層砂	環	口縁部~底部	160 66	ロタロナ	ロタロナ	同軸赤切り皿	10YR5/3.5黄 褐色	ロタロナ	A221
404	160	127	B3	B114b	埋葬下段 黒色土(砂埋層小)	土層砂	環	口縁部~底部	1144) - (44)	ロタロナ	ロタロナ	-	10YR5/2.5 白褐色	ロタロナ	A242
405	160	126	B3	B104a	埋葬下段 黒色土(砂埋層小)	土層砂	環	口縁部~底部	1101) 50 45	ロタロナ	ロタロナ	同軸赤切り皿	5YR27/6黄 褐色	ロタロナ	A228
406	160	125	B2	T1-1	-	土層砂	高台坪	高台坪	60 (15)	ロタロナ	ロタロナ	-	10YR7/4.5 白褐色	ロタロナ	A118
407	160	126	B3	B105a(砂埋層小)	埋葬下段 黒色土	土層砂	高台坪	高台坪	77(4)	ロタロナ	ロタロナ	同軸赤切り皿	7.5YR7/4.5 白褐色	ロタロナ	A170
408	160	126	B3	B117a	埋葬下段 黒色土	土層砂	高台坪	高台坪	129(8)	ロタロナ	ロタロナ	同軸赤切り皿	7.5YR8/3黄 褐色	ロタロナ	A196
409	160	126	B3	B104a	埋葬下段 黒色土(砂埋層小)	土層砂	高台坪	高台坪	64 (24)	ロタロナ	ロタロナ	同軸赤切り皿	7.5YR7/6黄 褐色	ロタロナ	A253
410	160	126	B2	B143区	検出層	土層砂	高台坪	高台坪	116(6) 76 (38)	ロタロナ	ロタロナ	同軸赤切り皿	10YR7/4.5 白褐色	ロタロナ	A89
411	160	126	B2	S0E1	検出層	土層砂	高台坪	高台坪	100(8) 60 (21)	ロタロナ	ロタロナ	同軸赤切り皿	10YR7/3.5 白褐色	ロタロナ	A116
412	160	126	B3	B104b	埋葬下段 黒色土(砂埋層小)	土層砂	高台坪	高台坪	141(6) 29	ロタロナ	ロタロナ	同軸赤切り皿	10YR8/3黄 褐色	ロタロナ	A227
413	160	126	B3	B104b	B104b	土層砂	高台坪	高台坪	131(6)	ロタロナ	ロタロナ	同軸赤切り皿	10YR8/3黄 褐色	ロタロナ	A228
414	160	127	B3	B03b	埋葬下段(黄色土)	土層砂	高台坪	高台坪	125(9)	ロタロナ	ロタロナ	同軸赤切り皿	7.5YR8/3黄 褐色	ロタロナ	A227
415	160	127	B3	B104b	埋葬下段(黄色土)	土層砂	高台坪	高台坪	128(8)	ロタロナ	ロタロナ	同軸赤切り皿	10YR8/2.5黄 褐色	ロタロナ	A240
416	160	126	B3	B04a	埋葬下段(黄色土)	土層砂	高台坪	高台坪	116(6)	ロタロナ	ロタロナ	同軸赤切り皿	10YR7/3.5 白褐色	ロタロナ	A241
417	160	126	B3	B104b	埋葬下段(黄色土)	土層砂	高台坪	高台坪	59 (36)	ロタロナ	ロタロナ	同軸赤切り皿	10YR7/3.5 白褐色	ロタロナ	A243
418	160	126	B3	B104b	埋葬下段(黄色土)	土層砂	高台坪	高台坪	74 (20)	ロタロナ	ロタロナ	同軸赤切り皿	5YR8/4.5黄 褐色	ロタロナ	A244
419	160	126	B3	B03b	埋葬下段(黄色土)	土層砂	高台坪	高台坪	69 (18)	ロタロナ	ロタロナ	同軸赤切り皿	10YR8/3黄 褐色	ロタロナ	A246
420	160	126	B3	B04a	埋葬下段(黄色土)	土層砂	高台坪	高台坪	68 (23)	ロタロナ	ロタロナ	同軸赤切り皿	7.5YR7/4.5 白褐色	ロタロナ	A254
421	160	126	B2	A2区B A12h	検出層	土層砂	高台坪	高台坪	68(8)	ロタロナ	ロタロナ	同軸赤切り皿	7.5YR8/2.5 白褐色	ロタロナ	A27

調査 番号	調査 年度	出土 地点	層位	種類	形状	保存部位	調査数量 (口数/重量)	外周調査	内周調査	状態	色調	番号	調査 部位
422	160	32	103区1 B108b	検出箇	高台型小 杯	高台部	- (6.4) 42.8	ロタロナテ	ロタロナテ、放射線ハナ ガキ、黒色処理	同軸ハナガキ部、 高台部付、ロタロ ナテ	7.5127/4.1± 0.07	ロタロ成形、 内周黒色処理	A86
423	160	32	T1-1	-	高台型小 杯	高台部	- (8.0) 42.8	ロタロナテ	ロタロナテ、放射線ハナ ガキ、黒色処理	同軸ハナガキ部、 高台部付、ロタロ ナテ	10.197/3.1± 0.10	ロタロ成形、 内周黒色処理	A119
424	160	33	聖徳寺遺跡(Ⅱ)B170	聖徳寺	高台型小 杯	高台部	- (6.3) 42.1	ロタロナテ	ロタロナテ、ハナガキ、 黒色処理	同軸ハナガキ部、 高台部付、ロタロ ナテ	10.198/2.1± 0.10	ロタロ成形、 内周黒色処理	A347
425	160	33	聖徳寺遺跡(Ⅱ)B170	聖徳寺	高台型小 杯	高台部	- (6.4) 42.8	ロタロナテ	ロタロナテ、放射線ハナ ガキ、黒色処理	同軸ハナガキ部、 高台部付、ロタロ ナテ	10.197/3.1± 0.10	ロタロ成形、 内周黒色処理	A149
426	161	33	聖徳寺遺跡(Ⅱ)B160	聖徳寺	高台型小 杯	高台部	- (6.7) 42.8	ロタロナテ	ロタロナテ、ハナガキ、 黒色処理	同軸ハナガキ部、 高台部付、ロタロ ナテ	5.917/2.1± 0.10	ロタロ成形、 内周黒色処理	A259
427	161	33	聖徳寺遺跡(Ⅱ)B170	聖徳寺	高台型小 杯	高台部	- (1.4)	ロタロナテ	ロタロナテ、放射線ハナ ガキ、黒色処理	同軸ハナガキ部、 高台部付、ロタロ ナテ	10.198/3.0± 0.10	ロタロ成形、 内周黒色処理	A252
428	161	33	聖徳寺遺跡(Ⅱ)B196	聖徳寺	高台型小 杯	高台部	23.9 (9.4)	ロタロナテ、 口縁部	ロタロナテ、横段、斜段、 放射線ハナガキ、 黒色処理	同軸ハナガキ部、 高台部付、ロタロ ナテ	10.197/2.1± 0.10	ロタロ成形、 内周黒色処理	A255
429	161	33	聖徳寺遺跡(Ⅱ)B160	聖徳寺	小型 杯	口縁部	- (13.2)	ロタロナテ	ロタロナテ	-	10.198/1.1± 0.10	ロタロ成形	A300
430	161	33	聖徳寺遺跡(Ⅱ)B160	聖徳寺	小型 杯	口縁部	- (3.6) 42.9	ロタロナテ	ロタロナテ	同軸ハナガキ部	10.197/2.1± 0.10	ロタロ成形	A275
431	161	33	聖徳寺遺跡(Ⅱ)B160	聖徳寺	長脚 杯	口縁部	- (5.0) 36.7	ロタロナテ	羅段ハナガキ、ロタロナ テ	-	2.519/6.3± 0.10	ロタロ成形	A259
432	161	33	聖徳寺遺跡(Ⅱ)B170	聖徳寺	長脚 杯	口縁部	- (4.5) 17.2	ロタロナテ	ロタロナテ	-	2.517/6.4± 0.10	ロタロ成形	A361
433	161	33	聖徳寺遺跡(Ⅱ)B170	聖徳寺	長脚 杯	口縁部	- (2.6) 6.4	ロタロナテ	ロタロナテ	-	10.196/3.1± 0.10	ロタロ成形	A362
434	161	33	聖徳寺遺跡(Ⅱ)B330	聖徳寺	長脚 杯	口縁部	- (9.0) 41.9	羅段ハナガキ	羅段ハナガキ	伊底	10.198/3.0± 0.10	羅段ハナガキ、 伊底	A363
435	161	33	聖徳寺遺跡(Ⅱ)B190	聖徳寺	小型 杯	口縁部	- (5.4) 42.9	ロタロナテ	ロタロナテ	同軸ハナガキ部	2.519/7.4± 0.10	ロタロ成形	A276
436	161	32	103区1 B196、200付 近(5B101+5B163)の境	検出箇	高台 杯	口縁部	- (13.0)	ロタロナテ、 腹部分	ロタロナテ	-	10.196/3.1± 0.10	ロタロ成形	A84
437	161	32	103区1 B177	検出箇	高台 杯	口縁部	- (22.6) 68.4	ロタロナテ	ロタロナテ	同軸ハナガキ部	10.198/2.1± 0.10	大形ロタロ ナテ成形、 伊底	A87
438	161	32	103区1 B33区	検出箇	高台 杯	口縁部	- (14.8) 60.5	ロタロナテ	ロタロナテ	同軸ハナガキ部	10.198/2.1± 0.10	ロタロ成形、 伊底	A88
439	161	32	103区1 B177 T-1	検出箇	高台 杯	口縁部	- (12.5) 50.4	ロタロナテ	ロタロナテ	同軸ハナガキ部	2.519/7.3± 0.10	ロタロ成形、 伊底	A120
440	161	33	聖徳寺遺跡(Ⅱ)B160	聖徳寺	高台 杯	口縁部	- (2.4)	ロタロナテ	ロタロナテ、 腹部分	-	2.517/8.3± 0.10	ロタロ成形、 伊底	A281
441	161	33	聖徳寺遺跡(Ⅱ)B170	聖徳寺	高台 杯	口縁部	- (14.8) 50.3	ロタロナテ	ロタロナテ	同軸ハナガキ部	10.197/2.1± 0.10	ロタロ成形、 伊底	A365

調査 番号	区 画	年度	地上地点	層位	種類	形状	用途	面積 (㎡)	容積 (㎡)	外周長さ (m)	内周長さ	用途	色画	備考	調査 番号
442	361	28	33	33	33	33	33	33	33	33	33	33	107385-1 黒色土	ロタロ色帯・黒色色帯	A267
443	361	28	33	33	33	33	33	33	33	33	33	33	725187-6 黒色土	ロタロ色帯・黒色色帯	A271
444	362	28	32	32	32	32	32	32	32	32	32	32	107386-3 黒色土・黒色色帯	ロタロ色帯・黒色色帯	A115
445	362	28	33	33	33	33	33	33	33	33	33	33	107388-2 黒色土	ロタロ色帯・黒色色帯	A280
446	362	28	33	33	33	33	33	33	33	33	33	33	107388-4 黒色土	ロタロ色帯・黒色色帯	A281
447	362	28	33	33	33	33	33	33	33	33	33	33	225386-1 黒色土	ロタロ色帯・黒色色帯	A257
448	362	28	33	33	33	33	33	33	33	33	33	33	107388-3 黒色土	ロタロ色帯・黒色色帯	A258
449	362	28	32	32	32	32	32	32	32	32	32	32	107387-4 黒色土	ロタロ色帯・黒色色帯	A265a
450	362	28	32	32	32	32	32	32	32	32	32	32	107388-3 黒色土	ロタロ色帯・黒色色帯	A121
451	362	28	33	33	33	33	33	33	33	33	33	33	53265-6 黒色土	ロタロ色帯・黒色色帯	A266
452	362	28	33	33	33	33	33	33	33	33	33	33	225387-4 黒色土・黒色色帯	ロタロ色帯・黒色色帯	A269
453	362	28	33	33	33	33	33	33	33	33	33	33	53267-5 黒色土	ロタロ色帯・黒色色帯	A272
454	362	28	33	33	33	33	33	33	33	33	33	33	107387-1 黒色土	ロタロ色帯・黒色色帯	A273
455	362	28	33	33	33	33	33	33	33	33	33	33	725187-6 黒色土	ロタロ色帯・黒色色帯	A274
456	362	28	33	33	33	33	33	33	33	33	33	33	225387-4 黒色土・黒色色帯	ロタロ色帯・黒色色帯	A277
457	362	28	33	33	33	33	33	33	33	33	33	33	225387-6 黒色土	ロタロ色帯・黒色色帯	A278

第5表 陶磁器観察表 (458~508)

図録番号	図	写真	年号	出土地点	観察場所 (出土位置・方位)	種類	形状	残存部位 (口縁部・体部)	寸法 (口径・高さ)	外装装束	内装装束・底文	装束	時期	胎土色調	施文	地色	形状	備考	
458	62	129	32	地土 III (I B18)	地土層の方面	緑釉陶器	輪花鉢	口縁部・体部上平	-	(25)	緑釉	壁状	12世紀前半	5Y7.6-2灰褐色		灰好	5Y7.6-1オリーブ灰色	輪花鉢	C1
459	62	129	32	T1-1	付瓦	緑釉陶器	高台蓋	高台部	-	(9)	緑釉	壁状	12世紀前半	7.5Y7.7(1.5)褐色		黄好	5Y7.6-1オリーブ灰色	高台付	C2
460	62	129	32	S2	緑釉陶器	高台蓋	高台部	-	(21)	緑釉	壁状	12世紀前半	10Y7.5-3灰青褐色		灰好	5Y7.6-1オリーブ灰色		C3	
461	62	129	32	RI - R3区	相田遺跡	高台蓋	高台部	-	(25)	三角装束・灰釉	口・ロノナナ・段	12世紀後半	7.5Y7.6-1灰褐色		灰好	7.5Y7.6-1灰褐色	白粉層付1b蓋	C27	
462	62	129	32	S204 ab	1 B17e 相田遺跡	高台蓋	高台部	-	(15)	口・ロノナナ・灰釉	口・ロノナナ・灰釉	12世紀後半	10Y7.5-2オリーブ灰色		灰好	10Y7.5-2オリーブ灰色	ハナボネ中、2 高台付	C28 C29 C29b	
463	63	129	32	RI区	表土	高台蓋	高台部	-	(14)	押印文・灰釉	口・ロノナナ・輪 積み灰	12世紀後半	10Y7.5-3オリーブ灰色		灰好	10Y7.5-3オリーブ灰色		C30	
464	63	129	32	RI区	表土	高台蓋	高台部	-	(13)	押印文・灰釉	口・ロノナナ・輪 積み灰	12世紀後半	10Y7.7-1灰白色		灰好	2.5Y7.5-3灰褐色		C26	
465	63	129	32	S201 (I B12k) ab	相田遺跡	高台蓋	高台部	-	(14)	口・ロノナナ・灰釉	口・ロノナナ・灰釉	12世紀後半	10Y7.7-1灰白色		灰好	10Y7.7-1灰白色	2高台付	C31 C32 C32b	
466	63	129	32	S202	相田遺跡	高台蓋	高台部	-	(17)	口・ロノナナ	口・ロノナナ・灰釉 積み灰	12-14世紀	10Y7.7-1灰白色		灰好	7.5Y7.6-1灰褐色		C33	
467	63	129	32	C1区	相田遺跡	青磁	高台蓋	高台部	(14.8)	青磁	青磁	12世紀後半	10Y7.6-1灰褐色		灰好	7.5Y7.6-1灰褐色	内外装黒化調整	C34 C35 C36	
468	64	129	32	C1区	相田遺跡	青磁	高台蓋	高台部	(23)	青磁	青磁	12世紀後半	10Y7.6-1灰白色		灰好	2.5Y7.7-1青オリーブ灰色	内外装黒化調整	C5	
469	64	129	32	T-1	相田遺跡	青磁	高台蓋	高台部	(5.6)	青磁	青磁	12世紀後半	10Y7.7-1灰白色		灰好	5Y7.6-1オリーブ灰色		C7	
470	64	129	32	S202	相田遺跡	青磁	高台蓋	高台部	(22)	青白磁	青白磁	12-14世紀	10Y7.6-1灰褐色		灰好	10Y7.6-1灰褐色		C125	
471	64	129	32	RI - R3区	相田遺跡	高台蓋	高台部	口縁部	-	(14)	緑釉・灰釉	緑釉・灰釉	12世紀後半	10Y7.7-1灰白色		灰好	10Y7.7-1灰白色		C29
472	64	129	32	S201 (I B2D)	相田遺跡	磁器	高台蓋	高台部	(27)	灰文小・透明釉	透明釉	12世紀前半	10Y7.6-1灰褐色		灰好・黄好	10Y7.6-1灰褐色		C122	
473	64	130	32	S202	相田遺跡	磁器	高台蓋	高台部	(13)	一重黒釉	一重黒釉・青文小	12世紀後半	10Y7.6-1灰白色		灰好	10Y7.6-1灰白色		C8	
474	64	130	32	IC29	相田遺跡	磁器	高台蓋	高台部	(6.2)	高台部・一重黒釉・透明釉	見立・高台部内 行装付用	12世紀後半	10Y7.6-1灰白色		灰好・黄好	10Y7.6-1灰白色		C131	
475	64	130	32	RI付付瓦	相田遺跡	高台蓋	高台部	高台部	(3.8)	灰文小・透明釉	透明釉	12世紀後半	10Y7.6-1灰白色		灰好	7.5Y7.6-3オリーブ灰色	12世紀後半付 中興・14世紀 14世紀後半	C130	

調査 番号	国	年代	山土地点	層位	種類	器種	保存部位	経緯度(緯度・経度)	外面調査	内面調査(見込文・墨)	家屋	時期	彩色調査	構成	外面調査	備考	調査 番号	
476	664	130	B2	SXEC1	埋土中京	陶器	平底	-	-	0.23	灰釉	15世紀後半-16世紀前半	38.0	灰白色	7.5Y6.5灰青-7色	外面調査あり	横濱市磯子区磯子	C136
477	664	130	B2	PYFC47	埋土一括	陶器	口縁部	-	-	0.29	灰釉	15世紀後半-16世紀前半	10Y47.1灰白色	良好	7.5Y6.2灰青-7色	外面調査あり	横濱市磯子区磯子	C13
478	664	130	B2	SXCA	埋土一括	陶器	腹部-高台部	-	-	0.38	鉄釉	15世紀後半-16世紀前半	10Y38.1灰白色	良好	7.5Y6.4.3黄褐色	外面調査あり	横濱市磯子区磯子	C134
479	664	130	B2	1A1区 E05r	検出層	陶器	瓦口部	-	-	0.16	灰釉・鉄釉	15世紀後半	10Y37.1灰白色	良好	7.5Y8.4.3黄褐色		横濱市磯子区磯子	C19
480	664	130	B2	B2区	検出層	陶器	口縁部-高台部	(12.6)	2.4	0.66	灰釉	15世紀後半	10Y37.2(±0.1)黄褐色	良好	2.5Y7.2黄褐色	大塚	C9	
481	664	130	B3	B1B56	埋土下位検出層	陶器	丸皿	-	-	0.32	灰石釉	15世紀後半	7.5Y8.1灰白色	良好	7.5Y8.2灰白色	横濱市磯子区磯子	C135	
482	664	130	B2	PYFC85	埋土	陶器	皿	体部下半-高台部	-	0.60	11.0	灰釉	15世紀後半	10Y37.1灰白色	良好	2.5Y7.2黄褐色		C10
483	664	130	B2	SXCI, SXCIb, SXCIc, 前面瓦敷	埋土一括 埋土	陶器	皿	体部下半-高台部	-	0.60	11.7	灰釉	15世紀後半	10Y37.1灰白色	良好	7.5Y6.2灰青-7色		C11
484	664	130	B2	SXCI	埋土一括	陶器	皿	口縁部	-	-	0.18	灰釉	15世紀後半	10Y37.1灰白色	良好	7.5Y6.2灰青-7色		C21
485	664	130	B2	B6区	検出層	陶器	皿	腹部	-	-	0.53	灰釉	15世紀後半	10Y38.0灰白色	良好	7.5Y6.3青-7黄		C22
486	664	130	B3	PYH132	埋土	陶器	皿	体部上半-高台部	-	-	0.16	灰釉・高台部粘土	15世紀後半	7.5Y8.1灰白色	良好	7.5Y6.2灰青-7色	高台部欠損	C134
487	664	130	B2	B6区	検出層	陶器	丸皿	口縁部-体部下半	(12.8)	-	0.16	灰釉	15世紀後半	10Y37.2(±0.1)黄褐色	良好	7.5Y7.3黄褐色		C12
488	664	130	B2	B6区	検出層	陶器	折縁皿	口縁部-体部上半	(10.3)	-	0.23	灰釉	15世紀後半	10Y37.1灰白色	良好	7.5Y6.2灰青-7色		C14
489	664	130	B2	B6区	検出層	陶器	折縁皿	口縁部-体部上半	-	-	0.16	鉄釉	15世紀後半	10Y37.2(±0.1)黄褐色	良好	7.5Y8.4.3黄褐色		C15
490	664	130	B2	B6区	埋土一括	陶器	折縁皿	口縁部-体部上半	-	-	0.18	鉄釉	15世紀後半	10Y37.1灰白色	良好	7.5Y8.4.3黄褐色	大塚調査あり	C16
491	664	130	B2	1B1区 (検出7年)の埋土層	検出層	陶器	碗	体部下半-高台部	-	0.46	0.29	灰釉・高台部付焼	15世紀後半-16世紀前半	10Y38.1灰白色	良好	2.5Y8.4.3黄褐色	大塚調査あり	C16
492	664	130	B2	A3区	検出層	陶器	碗	体部下半	-	-	0.28	鉄釉・横紋文	15世紀後半	10Y37.1灰白色	良好	7.5Y8.4.3黄褐色	大塚調査あり	C23

調査 番号	国	年度	山土地点	層位	種類	器種	保存部位	状態・保存状況	出土状況	外周調査	内周調査・見取文 類	家号	時期	出土色調	構成	外周色調	備考	調査 番号
493	64	130	B2 SDA1	裡土	陶器	罎	口縁部-体部	(11.0) - (23) 灰土、下部に灰土成し。	上半部に灰土層が成り、下半部に灰土成し。	外周調査なし	灰土、黒灰土層が成り、見取文あり	大塚田馬	18世紀	10Y71 灰白色	真好	5Y73 灰褐色	調査写真し	C46
494	64	130	B2 C1区	表土	陶器	罎	口縁部	(11.0) - (1.6) 灰土	灰土層が成り、見取文あり	外周調査なし	灰土	東北高城	19世紀	10Y71 灰白色	真好	2G035/1 オリーブ色	黒(記)調査	C48
495	64	130	B3 BE10a	墓壁下の灰土層	陶器	罎	体部下半-底部	(4.0) (2.8) 灰土	灰土層が成り、見取文あり	外周調査なし	見取文あり	肥後郡	17世紀(1690-1780年代)	7.5Y8/1 灰白色	真好	7.5Y8/1 灰白色	大塚田馬古銅器	C139
496	64	130	B2 A2区北東隅部		陶器	土甕	約1/3残存	(6.4) 2.4 1.2 灰土、黒土	灰土、黒土	外周調査なし	無残	大塚田馬	19世紀	10Y8/1 灰白色	真好	10Y8/1 灰白色	肥前川、古銅器	C45
497	64	130	B2 A3区	検出層	陶器	罎	底底	(10.2) (2.8) 灰土	灰土層が成り、見取文あり	外周調査なし	灰土、黒灰土層が成り、見取文あり	東北高城	17世紀後半	2.5Y8/1 灰白色	真好	2.5Y8/4 オリーブ褐色	三瓦罎	C24
498	65	130	B2 B1区	表土	陶器	鉢	口縁部-体部	(10.0) - (2.8) 灰土	灰土層が成り、見取文あり	外周調査なし	灰土、黒灰土層が成り、見取文あり	東北高城	19世紀	9.6/0 灰白色	真好	7.5Y7/1 灰白色		C47
499	65	130	B2 B6区	検出層	陶器	打明器	口縁部-高台部	(6.3) (3.2) (2.4) 灰土	灰土層が成り、見取文あり	外周調査なし	灰土	瀬戸・灰土層	18世紀前半	2.5Y8/1 灰白色	真好	2.5Y4/4 オリーブ褐色	出雲付着	C26
500	65	130	B3 重C7b	首壁下位	陶器	部鉢	体部上半	- (3.3) 灰土	灰土層が成り、見取文あり	外周調査なし	灰土、黒土層が成り、見取文あり	東北高城	18-19世紀	8.5/0 灰白色	真好	7.5Y3/2 オリーブ褐色		C140
501	65	130	B2 A3-A4区	検出層	陶器	部鉢	体部下半-底部	(10.6) (5.9) 灰土	灰土層が成り、見取文あり	外周調査なし	灰土、黒灰土層が成り、見取文あり	東北高城	18世紀後半(19世紀)	7.5Y8/1 灰白色	真好	7.5Y8/2.2 黒褐色	磯土層の高部	C06
502	65	131	B2 A31区	検出層	陶器	罎	口縁部-頸部	(6.0) - (5.7) 灰土	灰土層が成り、見取文あり	外周調査なし	無残	常滑	18世紀前半	7.5Y6/1 灰白色	真好	7.5Y4/1 灰白色	肥前川	C129
503	65	131	B3 BE10b	検出層	陶器	罎	口縁部	(10.4) - (1.4) 二重層	二重層	外周調査なし	二重層	肥後郡	17世紀(1690-1780年代)	9.8/0 灰白色	真好	9.8/0 灰白色・青み	中塚高小	C137
504	65	131	B2 A5区	検出層	陶器	罎小	底部-高付部	(5.1) (2.4) 灰土	灰土層が成り、見取文あり	外周調査なし	見取文あり	肥後郡	18世紀後半(19世紀)	10Y7/1 灰白色	真好	7.5Y7/1 灰白色	正影罎	C35
505	65	131	B3 BE8	盛土下層上面	陶器	人皿	体部上半	(33.8) - (4.3) 灰土	灰土層が成り、見取文あり	外周調査なし	灰土、黒灰土層が成り、見取文あり	肥後郡	17世紀	5Y7/1 灰白色	真好	7.5Y7/1 灰白色		C138
506	65	131	B2 A1区	検出層	陶器	罎	体部下半-底部	(11.3) (8.8) 灰土	灰土層が成り、見取文あり	外周調査なし	灰土	肥後郡	18世紀前半	7.5Y8/1 灰白色	真好	10Y8/1 灰白色		C41
507	65	131	B2 SXX3	裡土	陶器	罎	口縁部-体部	(11.4) - (2.2) 灰土	灰土層が成り、見取文あり	外周調査なし	灰土、黒灰土層が成り、見取文あり	肥後郡	18世紀	7.5Y8/1 灰白色	真好	10Y8/1 灰白色		C3A
508	65	131	B2 B4区	検出層	陶器	罎	口縁部	(10.4) - (1.7) 灰土	灰土層が成り、見取文あり	外周調査なし	二重層	肥後郡	18世紀	10Y8/1 灰白色	真好	7.5Y8/1 灰白色		C39

第6表 燐文土器観察表 (509~519)

() : 残存数 < - > : 不明

燐文土器番号	器種	器高	器径	器口	器底	器口部径	器底部径	器口部高	器底部高	器口部形状	器底形状	器口部内径	器底内径	器口部厚	器底厚	器口部色調	器底色調	燐文時代	燐文番号
509	燐文土器	309	165	131	83	52E2	土器製造場	燐文土器	燐文土器	燐文土器	燐文土器	燐文土器	燐文土器	燐文土器	燐文土器	燐文土器	燐文土器	燐文土器	燐文土器
510	燐文土器	310	165	131	82	101区 (1 B06g)	燐文土器	燐文土器	燐文土器	燐文土器	燐文土器	燐文土器	燐文土器	燐文土器	燐文土器	燐文土器	燐文土器	燐文土器	燐文土器
511	燐文土器	311	165	131	83	PPC06	燐文土器	燐文土器	燐文土器	燐文土器	燐文土器	燐文土器	燐文土器	燐文土器	燐文土器	燐文土器	燐文土器	燐文土器	燐文土器
512	燐文土器	312	165	131	82	D1区	燐文土器	燐文土器	燐文土器	燐文土器	燐文土器	燐文土器	燐文土器	燐文土器	燐文土器	燐文土器	燐文土器	燐文土器	燐文土器
513	燐文土器	313	165	131	82	PPD00	燐文土器	燐文土器	燐文土器	燐文土器	燐文土器	燐文土器	燐文土器	燐文土器	燐文土器	燐文土器	燐文土器	燐文土器	燐文土器
514	燐文土器	314	165	131	82	101区 (1 B06g)	燐文土器	燐文土器	燐文土器	燐文土器	燐文土器	燐文土器	燐文土器	燐文土器	燐文土器	燐文土器	燐文土器	燐文土器	燐文土器
515	燐文土器	315	165	131	82	SB05・PP09	燐文土器	燐文土器	燐文土器	燐文土器	燐文土器	燐文土器	燐文土器	燐文土器	燐文土器	燐文土器	燐文土器	燐文土器	燐文土器
516	燐文土器	316	165	131	82	103区 (1 B06g)	燐文土器	燐文土器	燐文土器	燐文土器	燐文土器	燐文土器	燐文土器	燐文土器	燐文土器	燐文土器	燐文土器	燐文土器	燐文土器
517	燐文土器	317	165	131	82	101 ~ 103区	燐文土器	燐文土器	燐文土器	燐文土器	燐文土器	燐文土器	燐文土器	燐文土器	燐文土器	燐文土器	燐文土器	燐文土器	燐文土器
518	燐文土器	318	165	131	82	D1区	燐文土器	燐文土器	燐文土器	燐文土器	燐文土器	燐文土器	燐文土器	燐文土器	燐文土器	燐文土器	燐文土器	燐文土器	燐文土器
519	燐文土器	319	165	131	82	D4区	燐文土器	燐文土器	燐文土器	燐文土器	燐文土器	燐文土器	燐文土器	燐文土器	燐文土器	燐文土器	燐文土器	燐文土器	燐文土器

第7表 土製品観察表 (520~522)

() : 残存数

燐文土器番号	器種	器高	器径	器口	器底	器口部径	器底部径	器口部高	器底部高	器口部形状	器底形状	器口部内径	器底内径	器口部厚	器底厚	器口部色調	器底色調	燐文時代	燐文番号
520	燐文土器	520	166	131	82	A1区	燐文土器	燐文土器	燐文土器	燐文土器	燐文土器	燐文土器	燐文土器	燐文土器	燐文土器	燐文土器	燐文土器	燐文土器	燐文土器
521	燐文土器	521	166	131	82	A1区	燐文土器	燐文土器	燐文土器	燐文土器	燐文土器	燐文土器	燐文土器	燐文土器	燐文土器	燐文土器	燐文土器	燐文土器	燐文土器
522	燐文土器	522	166	131	82	A1区	燐文土器	燐文土器	燐文土器	燐文土器	燐文土器	燐文土器	燐文土器	燐文土器	燐文土器	燐文土器	燐文土器	燐文土器	燐文土器

第8表 石器観察表 (523~547)

図録 番号	図 号	年代 区分	出土地点	部位	種類	備註	現存部位	重量 (g)	長さ (mm)	幅 (mm)	石質	産地	時期	備考	図録 番号	
523	366	32	S0E1, PFC203之類	埋土	礫石	礫石	一部残存	65.0	62.0	37.0	礫岩	北上山麓	平安時代	平安時代 部既有り・中畿	D24	
524	-	32	S2A1 ベルト	1層	礫岩	礫岩のある種	完全	8.8	6.4	4.7	デイヤイト	美引山麓	平安時代	平安時代 第三三記	D12	
525	-	32	S2A1 ベルト	2層	礫岩	礫岩のある種	完全	36.8	13.4	4.0	デイヤイト	美引山麓	平安時代	平安時代 第三三記	D13	
526	-	32	S2A2 柄杓	埋土	礫岩	礫岩のある種	完全	35.5	9.5	10.3	デイヤイト	美引山麓	平安時代	平安時代 第三三記	D14	
527	-	32	S2A3 西側	埋土	礫岩	礫岩のある種	完全	36.7	9.6	3.2	砂岩	北上山麓	平安時代	古年代	D15	
528	-	32	S2B1 P1	埋土	礫岩	礫岩のある種	完全	17.9	12.5	11.3	安山岩	美引山麓	平安時代	平安時代 第三三記	D16	
529	366	33	S2C4	埋土	礫石	礫石	完全	30.7	7.0	5.3	礫岩	美引山麓	16世紀後半	平安時代 第三三記	D7	
530	366	33	S2 T32	埋土	礫石	礫石		67.9	41.7	62.9	83.0	礫岩	美引山麓	16世紀後半	平安時代 第三三記	D8
531	366	33	S2 E011 前期溝	埋土	礫石	礫石	一部残存	63.0	63.0	1.3	11.0	頁岩 (砂岩質)	北上山麓	不明	古年代 部既有り・中畿	D23
532	366	33	S2 S0E3	埋土	礫石	礫石	一部残存	40.0	43.0	6.3	25.5	砂岩	北上山麓	中畿	古年代 部既有り	D25
533	367	32	PFC29	埋土	礫石	石目 (TFC)	一部残存	63.9	49.0	6.0	17.6	成致岩	美引山麓	16世紀後半	平安時代 第三三記	D9
534	367	32	S2 S0E2	埋土	礫石	石目 (上段)	1/2欠	67.0	65.0	14.7	80.0	成致岩	美引山麓	16世紀後半	平安時代 第三三記	D10
535	367	33	S2 S0E1 (E01q)	表層	礫石	存在	1/3欠	22.7	65.0	9.1	30.0	安山岩	美引山麓	16世紀後半	平安時代 第三三記	D19
536	367	33	S2 S2K7 (E07)	埋土	礫石	存在	1/2欠	36.6	68.0	8.1	21.8	砂岩	北上山麓	16世紀後半	正田類稿・古年代	D20
537	367	33	S2 PFC24	埋土	礫石	黒色付着物のある 内層	完全	67.0	10.5	2.5	29.8	安山岩	美引山麓	16世紀後半	平安時代 第三三記	D11
538	366	33	S2 B1 ~ B3区	検出層	滑石	滑石	完全	3.3	1.6	0.4	1.4	頁岩	美引山麓	縄文時代晚期	美引山麓・新年代 第三三記	D1
539	366	33	S2 D4区	検出層	滑石	滑石	完全	2.5	1.8	0.4	1.0	頁岩	美引山麓	縄文時代晚期	美引山麓・新年代 第三三記	D2
540	368	33	S2 E01q	検出層	滑石	基層大	基層大	62.0	6.9	0.3	0.8	頁岩	美引山麓	縄文時代晚期	美引山麓・新年代 第三三記	D17
541	368	33	S2 S2C2 溝側	基層下部灰色土	滑石	基層大	基層大	3.6	1.3	0.4	1.2	頁岩	美引山麓	縄文時代晚期	美引山麓・新年代 第三三記	D18
542	368	33	S2 I B1b	検出層	滑石	滑石	完全	2.0	1.2	0.3	0.3	頁岩	美引山麓	縄文時代晚期	美引山麓・新年代 第三三記	D13

調査 番号	国	年代	形状	寸法	厚度	出土地点	単位	種類	焼色	重量 (g)			石質	産地	時期	備考	
										実重	測定重	容積重					
543	668	133	R3	聖海製磁器 (E B17p)	黒	瀬下空黒色土	滑石	石彫	彫刻	彫刻	彫刻	彫刻	彫刻	彫刻	彫刻	彫刻	彫刻
544	668	133	R2	D4区	黒	瀬下空黒色土	滑石	石彫	彫刻	彫刻	彫刻	彫刻	彫刻	彫刻	彫刻	彫刻	彫刻
545	668	133	R2	D2区	黒	瀬下空黒色土	滑石	石彫	彫刻	彫刻	彫刻	彫刻	彫刻	彫刻	彫刻	彫刻	彫刻
546	668	133	R2	A3・A4区	黒	瀬下空黒色土	滑石	石彫	彫刻	彫刻	彫刻	彫刻	彫刻	彫刻	彫刻	彫刻	彫刻
547	668	133	R3	E B19q	黒	瀬下空黒色土	滑石	石彫	彫刻	彫刻	彫刻	彫刻	彫刻	彫刻	彫刻	彫刻	彫刻

第9表 石製品観察表 (548～550)

調査 番号	国	年代	形状	寸法	厚度	出土地点	単位	種類	焼色	種類	焼色	重量 (g)			石質	産地	時期	備考
												実重	測定重	容積重				
548	668	133	R2	16区北側 (瀬下空黒色土)	黒	瀬下空黒色土	滑石	石彫	彫刻	彫刻	彫刻	彫刻	彫刻	彫刻	彫刻	彫刻	彫刻	彫刻
549	668	133	R3	聖海製磁器 (E B17q)	黒	瀬下空黒色土	滑石	石彫	彫刻	彫刻	彫刻	彫刻	彫刻	彫刻	彫刻	彫刻	彫刻	彫刻
550	668	134	R2	SXD2	黒	瀬下空黒色土	滑石	石彫	彫刻	彫刻	彫刻	彫刻	彫刻	彫刻	彫刻	彫刻	彫刻	彫刻

() : 焼色類

第10表 金属製品観察表 (551～557)

調査 番号	国	年代	形状	寸法	厚度	出土地点	単位	種類	焼色	種類	焼色	重量 (g)			材質	時期	備考
												実重	測定重	容積重			
551	669	134	L/2	R3	鉄	PPE109	鋼土	鋼土	彫刻	彫刻	彫刻	彫刻	彫刻	彫刻	彫刻	彫刻	彫刻
552	669	134	L/2	R3	鉄	E B15k	鋼土	鋼土	彫刻	彫刻	彫刻	彫刻	彫刻	彫刻	彫刻	彫刻	彫刻
553	669	134	L/2	R2	鋼	SXD2	鋼土	鋼土	彫刻	彫刻	彫刻	彫刻	彫刻	彫刻	彫刻	彫刻	彫刻
554	669	134	L/2	R2	鋼等の 金具	E B14g (C2区)	鋼土	鋼土	彫刻	彫刻	彫刻	彫刻	彫刻	彫刻	彫刻	彫刻	彫刻
555	669	134	L/2	R2	釘	D4区	鋼土	鋼土	彫刻	彫刻	彫刻	彫刻	彫刻	彫刻	彫刻	彫刻	彫刻
556	669	134	L/2	R2	鉄線	SXD1 (E B12k)	鋼土	鋼土	彫刻	彫刻	彫刻	彫刻	彫刻	彫刻	彫刻	彫刻	彫刻
557	669	134	L/2	R3	銅管	E B16q	鋼土	鋼土	彫刻	彫刻	彫刻	彫刻	彫刻	彫刻	彫刻	彫刻	彫刻

() : 焼色類 < - > : 測定重

第11表 銭貨観察表 (558~568)

国	年号	種類	出土地	単位	形状	直径 (mm)		重量 (g)	備考	図番
						直径	厚さ			
558	134	R2	村形遺蹟	SKD2	圓形	2.34	0.62	1.9	北支錢 (神祇 1038年)・R3 吉田生物研究所保存処理済	G3
559	134	R3	大聖元寶	SHC1a (I B07)	圓形	2.42	2.43	0.11	2000年調査中、北支錢 (神祇 1023年)・R3 吉田生物研究所保存処理済	G11
560	134	R2	泉永通寶	SKD2	圓形 (裏面付皮)	2.42	0.70	0.13	北支錢 (神祇 1038年)・R3 吉田生物研究所保存処理済	G4
561	134	R2	清武通寶	SKD2	圓形	2.06	0.50	0.13	背石一説上、明銭 (神祇 1308年・小字銭)・R3 吉田生物研究所保存処理済	G2
562	134	R2	清武通寶	SKD2	圓形	2.35	0.50	0.19	無背銭、明銭 (神祇 1308年)・R3 吉田生物研究所保存処理済	G2
563	134	R3	清武通寶	PPC24	圓形	2.21	2.38	0.14	無背銭、明銭 (神祇 1308年)・R3 吉田生物研究所保存処理済	G10
564	134	R2	寛永通寶	SHB4 (I A19)	圓形	2.45	0.61	0.11	古寛永、寛永13年 (1636年) 相續・保存処理なし	G6
565	134	R2	寛永通寶	SKD2	裏面表上	2.45	0.65	0.15	古寛永、寛永13年 (1636年) 相續・保存処理なし	G7
566	134	R2	寛永通寶	C区	圓形	2.24	0.67	0.09	新寛永、元禄10年 (1695年) 相續・保存処理なし	G5
567	134	R2	寛永通寶	B5区	圓形	2.30	0.60	0.13	新寛永、元禄10年 (1695年) 相續・保存処理なし	G8
568	134	R2	東江段遺蹟	SHB4 (I B18~19)	圓形	1.58	-	0.08	明治3年 (1870年) 調査・保存処理なし	G9

第12表 木質遺物観察表 (569~1086)

国	年号	遺物名1	遺物名2	遺物名3	部位	種類	保存状態	長さ (cm)		幅	厚	年代測定	保存場所	図番		
								長さ	幅							
569	170	R3	SHB1	PP2412	-	埋土小段	一部残存	45.0	43.2	1.1	木片	-	平室時代	新橋車受け跡が調査される大型の埋土遺物	R4 吉田 H08	
570	170	R3	SHB11	PPC481	-	埋土	一部残存	42.0	41.0	0.4	板目材	鉄釘	-	平室時代	別名跡みに入れた切り込み板有り・今不詳	R4 吉田 H06
571	170	R2	SHD2	PPD140	-	埋土	一部残存	7.0	62.0	0.8	板目材	スノコ	-	平室時代	同	R4 吉田 H08
572	170	R3	SHB1	PPC305	-	埋土	基部部欠	44.0	4.5	0.8	板目材	鉄釘	-	平室時代	遺物 相續 I 及び 下大洞	R4 吉田 H20
573	170	R3	SHB3	PPC290	-	埋土	一部残存	49.0	41.0	0.4	板目材	ササノ	-	平室時代	基部に貫通孔有り	R4 吉田 H05
574	170	R3	SNK2	-	埋土上段	器具柄杓の一部・徳川杖突	0.51	5.6	3.2	板目材	スノコ	-	平室時代	-	R4 吉田 H11	
575	170	R3	SHB1	PP2736	-	埋土下段	一部欠	12.6	41.0	3.7	板目材	スノコ	-	平室時代	中央に段毛作り溝を削り遺物も伴出	R4 吉田 H4

(注) 保存状態: < - > : 遺物・< - > : 遺物

(保存場所の略称)

R4 吉田: 吉田生物研究所保存処理済 古土: 古土の土層に埋没した遺物 土層: 土層に埋没した遺物 土層: 土層に埋没した遺物 (土層: 土層)

調査年度	写真	年度	遺構名1	遺構名2	遺構名3	層位	種類	遺存状態	数量	長さ	幅	高さ	重量	材質	年代測定	発出時期	備考	保存場所	品目番号
S92	171	136	R2	SD01	-	遺土	動物骨	全埋する	1口	底径 34.0	底径 34.0	底高 5.5	-	ヒノキ材 スチロ質	-	戦国時代末	大形動物骨 (腹部分・腰部分) 本2口と同一 底径なし	R3 150	本20・本21・H442
			R2	SD01	-	埋土	動物骨	全埋する	-	-	-	-	-	ヒノキ材 スチロ質	-	戦国時代末	骨皮で覆じられている。本好直り。本20と同一 底径なし	R3 150	本20
S93	171	136	R2	SD01	-	埋土	動物骨	1口残存	1口	底径 34.0	底径 34.0	底高 9.7	-	ヒノキ材 スチロ質	-	戦国時代末	本好直り	R3 150	本20・H443
S94	171	136	R2	SXD2	-	埋土	動物骨	一部残存	6・2	(4.1)	0.5	-	タリ	暦年校正年代測定値 1590±30 (66.5%) (2σ)	戦国時代末	骨(断面)18枚 覆じられている。2片に骨かけられる。	R4 150	本10	
			R2	SXD2	-	埋土	動物骨	一部残存	14.3	3.0	0.5	-	未測定	-	戦国時代末		トレン	本11	
S95	171	136	R3	SK08	-	埋土 埋土中実	動物骨	一部残存	14.9 (2.2)	(2.1)	0.2	0.2	-	タリ	-	戦国時代末	動物骨の一部か? 破片	R4 150	H41 H42?
S96	171	136	R3	SK08	-	埋土	動物骨	一部残存	7.2	(2.7)	0.3	-	スチ	-	戦国時代末	跡の人に人たせられている。	R4 150	R19	
S97	171	136	R2	SD01	-	埋土	動物皮	完形	7.5	7.8	0.9	-	ヒノキ材 スチロ質	-	戦国時代末	厚い刀痕状	R3 150	本05	
S98	172	137	R2	SDC6	-	埋土	動物皮	完形	(108)	(5.2)	0.9	-	スチ スチ スチ	-	戦国時代末	刀痕状	R3 150	本17	
			R2	SDC4	-	埋土 子実	動物皮	破	(108)	(5.1)	0.9	-	スチ	-	戦国時代末	中央に貫通孔	R4 150	R03	
S99	172	137	R2	SD02	-	埋土	動物皮	完形	15.3	15.5	1.0	-	スチ スチ スチ	-	戦国時代末	厚い刀痕状	R3 150	本25	
600	172	137	R3	SXE4	-	埋土 土 土	動物皮	2口残存	内径 16.0	12.0	1.0	-	銅 銅	-	戦国時代末	銅板を受ける縁が湾曲する	R4 150	103	
601	172	137	R3	SDC4	-	埋土	本製品の一部分 破片	破片	(113)	(6.3)	(6.7)	-	銅	-	戦国時代末	破片で本製品の一部分と見られる。	R4 150	R08	
602	172	137	R3	SD02	-	埋土	銅板破片	一部残存	(7.1)	(3.1)	(1.2)	-	銅	-	戦国時代末		R4 150	本28	
			R3	SD02	-	埋土 土 土	銅板破片	埋込穴	(11.7)	3.1	1.0	-	銅 銅	-	戦国時代末	溝槽	R4 150	R15	
603	172	137	R3	SD02	-	埋土	銅板破片	一部残存	(5.1)	(3.2)	0.6	-	銅 銅	-	戦国時代末	溝槽(破片)	R4 150	R14	
			R3	SD02	-	埋土 土 土	銅板破片	一部残存	(7.1)	(2.8)	0.5	-	銅 銅	-	戦国時代末	溝槽(破片)破片	R4 150	R15	

調査 番号	国	写真 番号	遺構名1	遺構名2	遺構名3	種別	遺存状態	遺構の位置		形状	年代判定	築造時期	備考	保存場所	登録番号						
								長さ	幅												
603	172	137	R3	S002	-	II186p	板垣板小	埋土	埋土	埋土	一部残存	0.8	0.8	0.8	0.8	板垣板小	遺物	板垣時代末	184	170	水27
604	172	137	R2	-	PPR121	-	板垣板小	埋土	埋土	埋土	一部残存	0.7	0.7	0.7	0.7	板垣板小	遺物	板垣時代末	184	170	水27
605	172	137	R3	S037	-	板垣部分に 重複する溝	板垣板	埋土	埋土	埋土	一部残存	0.5	0.5	0.5	0.5	板垣時代末	遺物	板垣時代末	184	170	水27
606	172	137	R3	-	II188 (SXC2- 山田谷台)	埋土	埋土	埋土	埋土	埋土	一部残存	0.8	0.8	0.8	0.8	板垣時代末	遺物	板垣時代末	184	170	水27
607	172	137	R3	-	II188 (SXC2- 山田谷台)	埋土	埋土	埋土	埋土	埋土	一部残存	0.5	0.5	0.5	0.5	板垣時代末	遺物	板垣時代末	184	170	水27
608	172	137	R3	S0C7	-	新掘目付造	埋土	埋土	埋土	埋土	一部残存	0.7	0.7	0.7	0.7	板垣時代末	段有り 板状で下部は平らな板状	板垣時代末	184	170	水27
609	172	137	R2	SX06	-	-	舟子	埋土	埋土	埋土	1/2残存	0.13	0.07	0.07	0.07	板垣時代末	貫通有り、ユウボキ等影響がセロウタン層から 深層合 (埋物層)	板垣時代末	183	170	水01 水03
610	173	137	R3	S002	-	板垣遺構 (埋 157) 下敷3	埋土下敷	埋土下敷	埋土下敷	埋土下敷	一部残存	2.9	10.2	4.3	4.3	板垣時代末	前部で板垣 (古掘) 穴掘 埋用のため、後 の遺構中に対して7m深まで掘られている。正面の 様子から古掘穴	板垣時代末	184	170	水22
611	173	138	R3	S002	-	II187	埋土下敷	埋土下敷	埋土下敷	埋土下敷	一部残存	0.5	0.9	0.9	0.9	板垣時代末	穴掘した遺構下敷の遺構部分	板垣時代末	184	170	水29
612	173	138	R3	S002	-	II188p 下敷1	埋土中～下位 埋土下敷	埋土中～下位 埋土下敷	埋土中～下位 埋土下敷	埋土中～下位 埋土下敷	一部残存	2.0	30.5	5.5	5.5	板垣時代末	後の遺構が大きく減っている。減り具合から 石足間が、遺構ポイント有り	板垣時代末	184	170	水40
613	174	138	R2	S002	-	II187c-7a	埋土	埋土	埋土	埋土	1/2残存	0.12	0.11	0.11	0.11	板垣時代末	遺構部分	板垣時代末	183	170	水02
614	174	138	R3	S002	-	II188p 下敷2	埋土中～下位 埋土下敷	埋土中～下位 埋土下敷	埋土中～下位 埋土下敷	埋土中～下位 埋土下敷	一部残存	21.0	30.5	5.3	5.3	板垣時代末	遺構部分、埋物層	板垣時代末	184	170	水41
615	173	138	R3	S002	-	II187c	埋土	埋土	埋土	埋土	一部残存	0.11	0.10	0.10	0.10	板垣時代末	本製品 (深層下敷 か) の一部	板垣時代末	184	170	水25
616	173	138	R2	S001	-	-	埋土	埋土	埋土	埋土	一部残存	0.08	0.13	0.23	0.23	板垣時代末	7敷の一部小	板垣時代末	183	170	水20
617	175	139	R2	S002	-	II187c-7a	埋土	埋土	埋土	埋土	1/2残存	0.47	0.40	0.33	0.33	板垣時代末	貫通有り、板垣と同一体。埋 物層	板垣時代末	183	170	水07
618	174	138	R2	S001	-	II187c	埋土	埋土	埋土	埋土	一部残存	0.4	0.8	0.8	0.8	板垣時代末	貫通有り、板垣と同一体。埋 物層	板垣時代末	183	170	水09
619	174	138	R2	SX02	-	-	埋土	埋土	埋土	埋土	一部残存	0.8	0.8	0.8	0.8	板垣時代末	貫通有り、板垣と同一体。埋 物層	板垣時代末	183	170	水01
620	175	139	R2	S001	-	II185c	埋土	埋土	埋土	埋土	一部残存	0.15	0.15	0.15	0.15	板垣時代末	貫通有り、板垣と同一体。埋 物層	板垣時代末	183	170	水06
621	175	139	R2	S001	-	II185c	埋土	埋土	埋土	埋土	一部残存	0.15	0.15	0.15	0.15	板垣時代末	貫通有り、板垣と同一体。埋 物層	板垣時代末	183	170	水22

調査 番号	国	年度	調査名1	調査名2	調査名3	種別	種目	遺存状態	遺存部分 長さ	長さ	発見り	材質	年代測定	調査時期	備考	保存場所	登録番号
639	177	140	R3	-	PPC010	-	一部残存	一部残存	0.03	4.8	0.7	紙目材	-	戦国時代末	平文、縦や斜にカーブする形状	R4 170H	R2
640	177	141	R3	SO02	-	裏面	紙目材、紙状文様 部(土器上敷き台)	一部強化した	43.60	3.6	0.7	紙目材	-	戦国時代末	裏面は切及尻に片端部が折れ加工して 一部強化	R4 170H	R3
641	177	141	R3	SO02	-	裏土下壁	本製品の一部分、紙 状	一部強化した	10.3	0.7	41.3	紙目材	-	戦国時代末	紙状で本製品の一部分と見られる。裏面が大 きく強化されている	R4 170H	H13
642	177	141	R3	SK08	-	裏土下壁	本製品の一部分小 紙状	一部強化した	6.5	0.5	0.5	紙目材	-	戦国時代末	表面は強化して穴開、周囲縁は欠損か、黄 色の条件付着	R4 170H	H18
643	177	141	R3	SO02	-	裏土下壁	遺材(本製品の一部分 紙状)	一部強化した	13.9	0.7	41.9	紙目材	-	戦国時代末	裏面凹み有り、加工済み	R4 170H	H23
644	177	141	R3	SO02	-	裏土下壁	裏面部分、 裏土下壁	一部強化した	41.3	0.9	41.8	紙目材	-	戦国時代末	新面部分で裏面に沿って折れ曲る。裏面 を中心強化	R4 170H	H27
645	177	141	R3	SO02	-	裏土下壁	本製品の一部分小 紙状	一部強化した	10.3	3.2	1.5	紙目材	-	戦国時代末	裏面は強化のため欠損、裏面部分小	R4 170H	H26
646	177	141	R3	SO02	-	裏面	本製品の一部分小 紙状	一部強化した	41.1	2.9	0.9	紙目材	-	戦国時代末	裏面縁の幅が広く、裏面が折れ曲る形状	R4 170H	H27
647	178	141	R3	SO02	-	裏土下壁	本製品の一部分小 紙状	一部残存	7.2	4.0	1.1	紙目材	-	戦国時代末	裏面は切及尻に片端部が折れ加工して 一部強化	R4 170H	H29
648	178	141	R3	SO02	-	裏土下壁	本製品の一部分小 紙状	一部残存	28.2	4.9	1.1	紙目材	-	戦国時代末	紙状製品の一部分、遺物ポイント有り	R4 170H	H33
649	178	141	R3	SO02	-	裏土下壁	本製品の一部分 紙状	一部残存	6.5	0.7	2.4	紙目材	-	戦国時代末	三角形の凸形状に成形されている。裏面下縁 の厚み小	R4 170H	H44
650	178	141	R2	-	片区底縁 縁部	-	紙状	一部残存	0.07	0.5	0.4	紙目材	未測定	戦国時代末	新しい遺り込み	トレハ	B 23
651	178	141	R3	SO02	-	裏土下壁	紙目材	一部強化した	6.6	1.1	0.8	みかん紙状	未測定	戦国時代末	付けると見られ、上側の裏面縁部強化して いると見られる。裏り部を利用している	トレハ	H49
652	178	141	R3	SO02	-	裏土下壁	紙目材	一部強化した	0.8	0.9	0.7	みかん紙状	未測定	戦国時代末	H49と見られる。裏面縁部が折れ曲る。 厚み小とした加工部が確認でき、成形した。 本製品の一部分と見られる。	トレハ	H53
653	178	141	R3	SO02	-	裏土下壁	紙目材	一部強化した	10.3	1.6	1.1	みかん紙状	未測定	戦国時代末	付けると見られ、上側の裏面縁部強化して いると見られる。裏面縁部が折れ曲る。上 部縁部が折れ曲る。裏面縁部が折れ曲る か。	トレハ	H50
654	178	141	R3	SO02	-	裏土下壁	紙目材	一部強化した	0.9	2.4	1.5	芯持丸木	未測定	戦国時代末	水を行わずに用いた付け方の一部と見られ、 上側の裏面縁部強化している。下部縁部欠 損か。	トレハ	H61
655	178	142	R2	SHA2	PPA40	裏板1	紙目材	一部強化した	10.6	2.0	1.8	芯持丸木	未測定	戦国時代末	付けると見られ、裏面縁部が折れ曲る。 下部縁部欠損、裏面縁部が折れ曲るとい う。	トレハ	H62
656	178	142	R2	SHA2	PPA40	裏板1	紙目材	一部強化した	27.4	1.7	0.8	小銅材	未測定	平安時代	材質を小銅とし、裏面に紙目	トレハ	展 06・ R288
657	178	142	R2	SHA2	PPA40	裏板2	紙目材	一部強化した	20.1	1.2	3.4	小銅材	未測定	平安時代	平安時代	トレハ	展 07・ R309
658	178	142	R2	SHA3	PPA38	-	紙目材	一部強化した	2.8	9.1	4.9	小銅材	未測定	平安時代	平安時代(注 11中)、銅質ケヤキ	トレハ	展 08・ H400

調査 番号	国	年代	遺構名1	遺構名2	遺構名3	層位	種類	遺存状態	長さ	幅	厚さ	重量	材質	形状	数量	年代測定	発出時期	備考	保存場所	図面番号
658	-	142 R2	SHA3a	PPA23	-	東面直上	破板	柱根部分のみ	113	145	48	-	小割材	未測定	-	平安時代	平安朝	平朝用した木片材を使用 下面に釘り痕有り 断面が滑しい	トレハ	H402
659	-	142 R2	SHA3b	PPA35	-	東面直上	破板	柱根部分のみ	221	85	34	-	小割材	未測定	-	平安時代	平安朝	平朝用した木片材を使用 下面に釘り痕有り 断面が滑しい	トレハ	H404
660	-	142 R2	SHA3b	PPA27	-	東面直上	破板	柱根部分のみ	159	74	36	-	小割材	未測定	-	平安時代	平安朝	平朝用した木片材を使用 下面に釘り痕有り 断面が滑しい	トレハ	H402、 H404
661	179	142 R2	SBB2	PPB24	破板1	東面	破板	柱根部分のみ	402	117	34	-	小割材	セニガタ	-	平安時代	平安朝	平朝用した木片材を使用 下面に釘り痕有り 断面が滑しい	トレハ	H414、 H4061
662	179	142 R2	SBB2	PPB24	破板2	東面	破板	柱根部分のみ	283	109	47	-	小割材	未測定	-	平安時代	平安朝	平朝用した木片材を使用 下面に釘り痕有り 断面が滑しい	トレハ	H414、 H4062
663	179	142 R2	SBB3	PPB174	柱材1	東面	柱材	柱根部分のみ	670	229	149	122	芯材材 (平割)	タリ	872±AD490±AD (52.9%) (11.4%)	平安時代	平安朝	平朝用した木片材を使用 下面に釘り痕有り 断面が滑しい	トレハ	H408
664	179	142 R2	SBB3	PPB185	柱材1	東面	柱材	柱根部分のみ	634	261	122	84	芯材材 (平割)	タリ	872±AD490±AD (52.9%) (11.4%)	平安時代	平安朝	平朝用した木片材を使用 下面に釘り痕有り 断面が滑しい	トレハ	H408
665	-	142 R2	SBB3	PPB196	柱材1	東面直上	柱材	柱根部分のみ	628	135	84	84	芯材材 (平割)	タリ	872±AD490±AD (52.9%) (11.4%)	平安時代	平安朝	平朝用した木片材を使用 下面に釘り痕有り 断面が滑しい	トレハ	H408
666	179	142 R2	SBB3	PPB196	-	東面直上	破板	柱根部分のみ	235	211	60	60	小割材	タリ	-	平安時代	平安朝	平朝用した木片材を使用 下面に釘り痕有り 断面が滑しい	トレハ	H406
667	179	142 R2	SBB3	PPC207	柱材1	東面	柱材	柱根部分のみ	628	266	173	173	芯材材 (平割)	タリ	872±AD490±AD (52.9%) (11.4%)	平安時代	平安朝	平朝用した木片材を使用 下面に釘り痕有り 断面が滑しい	トレハ	H426
668	-	142 R3	SBC2	PPC314	破板1	掘土中位	破板	柱根部分のみ	-	-	-	-	小割材	タリ	882±AD500±AD (56.1%) (11.4%)	平安時代	平安朝	加工痕有り R3年代測定試料 19	トレハ	H60
669	180	142 R3	SBC3	PPC325	破板1	東面	破板	柱根部分のみ	340	153	83	83	小割材	タリ	-	平安時代	平安朝	加工痕有り	トレハ	H62
670	180	142 R3	SBC3	PPC325	破板2	東面	破板	柱根部分のみ	356	143	89	89	大割材	タリ	702±AD740±AD (42.9%) (11.4%) 872±AD490±AD (52.9%) (11.4%)	平安時代	平安朝	柱材を大割り (4分割) して破板に加工 下面に釘り痕有り R3年代測定試料 20	トレハ	H61
671	180	142 R3	SBC4	PPC339	柱材1	東面	柱材	柱根部分のみ	646	282	264	264	大割材	タリ	-	平安時代	平安朝	粗取り・加工痕有り 断面に56mm幅の半割 痕多量有り	自然破損 品	H410a、 H410b
672	181	142 R3	SBC4	PPC342	柱材1	東面	柱材	柱根部分のみ	662	269	249	249	大割材	タリ	-	平安時代	平安朝	手加工による加工痕有り 断面に加工痕による 加工痕有り 四分割をした割材を加工し て使用	自然破損 品	H418
673	181	142 R3	SBC4	PPC343	柱材1	東面	柱材	柱根部分のみ	632	271	250	250	大割材	タリ	706±AD750±AD (52.9%) (12.4%)	平安時代	平安朝	R3年代測定試料 31	自然破損 品	H421
674	182	143 R3	SBC5	PPC474	柱材1	東面	柱材	柱根部分のみ	607	147	132	132	大割材	タリ	-	平安時代	平安朝	断面加工痕有り	自然破損 品	H147
675	-	143 R3	SBC5	PPC337	柱材1	東面	柱材	柱根部分のみ	-	-	-	-	芯材材	サケノ葉	772±AD490±AD (52.9%) (12.4%) 872±AD490±AD (52.9%) (11.4%)	平安時代	平安朝	断面加工痕有り R3年代測定試料 36	自然破損 品	H418
676	182	143 R3	SBC6	PPC771	柱材1	東面	柱材	柱根部分のみ	602	334	345	345	芯材材	タリ	772±AD490±AD (52.9%) (12.4%)	平安時代	平安朝	手加工による加工痕有り 断面に加工痕による 加工痕有り 粗取りの痕次有り R3年代 測定試料 32	H410 H422	

調査年度	国	町	年度	道庁名1	道庁名2	道庁名3	種別	遺存状態	面積(㎡)	延長	高さ	形状	年代測定	築造時期	備考	保存状態	調査番号
677	-	RC	SR06	PTG73	下部は既設土	埋土上段	柱材(埋のみ)	柱根部分のみ	6(8)	0.50	0.50	芯材付	未測定	平塚時代	遺存状態悪い、内部は空けて掘り出し、腐食著しい	自然破壊	H137
678	182	143	RC	SR06	PTC80	既留	柱材	柱根部分のみ	4(7.0)	0.50	0.56	芯材付	-	平塚時代	腐食著しい、裏面加工痕有り	自然破壊	H137
679	183	143	RC	SR07	PTC86	礎板1	礎板		17.1	12.4	7.5	芯材付 20C ⁺ AD-28C ⁺ AD (3.2%) 11.0 20C ⁺ AD-30C ⁺ AD (3.2%) 11.0	平塚時代	加工痕有り、RC年代測定済み	RC年代測定済み	自然破壊	H664
680	183	143	RC	SR07	PTC86	礎板1	礎板		8.8	7.3	4.8	トネリコ製 シャシ型	-	平塚時代	加工痕有り	トネリコ	H662
681	183	143	RC	SR07	PTC86	礎板2	礎板		21.1	11.3	6.9	トネリコ製	-	平塚時代	加工痕有り	トネリコ	H63
682	183	143	RC	SR07	PTC80	礎板1	礎板		68.3	10.2	6.4	トネリコ製 シャシ型	-	平塚時代	跡による加工痕有り、平塚部分が残っている 柱材部分の抽出	トネリコ	H73
683	183	143	RC	SH01	PTD3	柱木1	柱木		28.9	10.4	6.2	みかん製材 (8分型)	-	平塚時代		トネリコ	H603・ H664
684	183	143	RC	SH01	PTD3	柱木2	柱木		11.5	10.5	4.0	みかん製材 (8分型)	-	平塚時代		トネリコ	H602・ H662
685	183	143	RC	SH01	PTD8	柱木1	柱木		32.1	6.6	5.6	みかん製材 (8分型)	RC年代測定済み RC年代測定済み (60.1%) 11.0	平塚時代	柱材のみかん製、(6分型)として抽出、平塚 に柱材痕有り、年代測定済み(12.7%)	トネリコ	H309
686	183	143	RC	SH01	PTD9	柱木1	柱木		27.7	14.2	5.7	大津材	-	平塚時代		トネリコ	H309
687	184	143	RC	SH02	PTD33	柱木1	柱木		35.1	1.2	7.3	みかん製材 (8分型)	-	平塚時代		トネリコ	H309
688	184	143	RC	SH02	PTD33	柱木1	柱木		18.2	9.9	5.5	みかん製材 (8分型)	RC年代測定済み RC年代測定済み (3.6%) 11.0	平塚時代	年代測定済み(3.7%)	自然破壊	H381・ H404
689	184	143	RC	SH02	PTD33	柱木2	柱木		19.6	8.0	4.3	みかん製材 (8分型)	未測定	平塚時代		自然破壊	H402・ H403
690	184	143	RC	SH02	PTD33	柱木3	柱木		20.0	7.5	3.3	みかん製材 (8分型)	未測定	平塚時代		自然破壊	H403・ H403
691	184	143	RC	SH02	PTD34	柱木1	柱木		17.6	15.6	6.4	大津材	-	平塚時代		トネリコ	H403
692	184	143	RC	SH02	PTD36	柱木1	柱木		32.8	11.0	7.4	みかん製材 (8分型)	RC年代測定済み RC年代測定済み (4.3%) 11.0	平塚時代	柱材のみかん製、(6分型)として抽出、柱材 上面に浮き痕有り、裏面	トネリコ	H407
693	-	143	RC	SH02	PTD38	柱木1	柱木		19.1	9.0	5.7	みかん製材 (8分型)	-	平塚時代	芯材付の柱材(木目)のみかん製として、 年代測定済み(15.7%)	トネリコ	H401
694	-	143	RC	SH02	PTD38	柱木2	柱木		15.6	12.0	4.7	平塚材	-	平塚時代	666と同一の柱材か	トネリコ	H402
695	-	143	RC	SH02	PTD38	柱木3	柱木		17.3	8.5	3.8	みかん製材 (8分型)	未測定	平塚時代	603と同一の柱材か	トネリコ	H403

調査 番号	調査 年度	遺構名1	遺構名2	遺構名3	方位	種類	遺存状態	長さ [cm]	幅 [cm]	厚さ [cm]	本取方	材質	年代測定	測定時期	備考	保存場所	登録番号
696	185	143	R2	SH02	PPD041	礎石3	礎石	(251)	383	63	小瀬材	トネリコ属	-	平安時代	加工した柱材を礎石として用いて、マニの 3方に分かれる	自然乾燥	柱30
697	185	143	R2	SH02	PPD041	礎石1	礎石	496	169	106	小瀬材	クワ	-	平安時代	柱材より削り出した板目材の表面を磨き、加 工面有り。696と同様に板目加工跡	トレハ	柱33
698	185	143	R2	SH02	PPD041	礎石2	礎石	512	168	109	小瀬材	未測定	-	平安時代	柱材を平削りした板目材で、表面、下面に 加工面有り。697と同様に板目加工跡	トレハ	柱35・ 柱37
699	185	143	R2	SH02	PPD041	礎石1	礎石	(173)	170	67	みかん樹材 (8分)	トネリコ属	-	平安時代	柱材を平削り (4分) し、板目に加工用 上面に片削り (4分) した面を有する	トレハ	柱02・ 柱57
700	185	143	R2	SH02	PPD041	礎石2	礎石	194	139	76	みかん樹材 (8分)	未測定	-	平安時代	加工した柱材の端材を礎石として用いて	自然乾燥	柱291・ 柱401
701	185	143	R2	SH02	PPD041	礎石3	礎石	162	82	50	みかん樹材 (8分)	未測定	-	平安時代		自然乾燥	柱292・ 柱402
702	185	143	R2	SH02	PPD041	礎石4	礎石	(90)	52	19	みかん樹材 (8分)	未測定	-	平安時代		自然乾燥	柱293・ 柱403
703	-	143	R2	SH03	PPD001	柱材1	柱材	(150)	113	41	北神丸木小	未測定	-	平安時代	調査し、保存不具	トレハ	柱05・ 柱87
704	186	143	R2	SH03	PPD001	柱材1	柱材	(197)	176	178	北神丸木	クワ	榎木(平安時代 703aAD-740aAD) (38%)、クワ (28%)、AD-545 708aAD-745aAD (30.2%)、クワ (31.8%)	平安時代	83年代測定試料17 表面に板目加工面有 り、下面に削り面有り。調査しない。	自然乾燥	柱18
705	186	144	R2	SH03	PPD003	柱材1	柱材	(175)	(178)	(17.0)	北神材	未測定	-	平安時代	芯材の丸太材を使用。表面に板目加工 跡、下面に削り面有り。調査しない。	自然乾燥	柱27
706	186	144	R2	SH03	PPD003	-	礎材	216	121	82	大瀬材	未測定	-	平安時代	別箇物の柱材を太瀬材	トレハ	柱10・ 柱99
707	186	144	R2	SH03	PPD004	柱材1	柱材	(256)	(225)	(19.6)	北神材	未測定	-	平安時代	芯材の丸太材を平削り。下面に削り面有 り。調査しない。	自然乾燥	柱17
708	187	144	R3	SH01	PP0361	柱材1	柱材	(317)	366	266	北神材	クワ	榎木(平安時代 820aAD-860aAD) (69%)、クワ (19.9%)	平安時代	板目で不明な寸法板目加工面有り。表面 に平削りによる加工面有り。端材の欠片有 り。調査しない。	自然乾燥	柱123
709	186	144	R3	SH01	PP0363	礎石1	礎石	368	392	129	小瀬材	クワ	-	平安時代	一部酸化	自然乾燥	柱54
710	186	144	R3	SH01	PP0364	礎石1	礎石	306	133	41	小瀬材	クワ	-	平安時代	加工面有り	トレハ	柱52
711	186	144	R3	SH01	PP0364	礎石2	礎石	239	104	74	小瀬材	クワ	-	平安時代	加工面有り。端材を利用	トレハ	柱77
712	186	144	R3	SH01	PP0364	礎石3	礎石	226	85	46	小瀬材	クワ	-	平安時代	下部による部材加工面有り (不鮮明) 表 面に加工面有り。板目部分を削り取った部分 が削り取った部分と一致する。調査しない。	トレハ	柱05
713	186	144	R3	SH01	PP0364	礎石4	礎石	210	107	46	小瀬材	クワ	-	平安時代	下部による部材加工面有り (不鮮明) 表 面に加工面有り。板目部分を削り取った部分 が削り取った部分と一致する。調査しない。	トレハ	柱03
714	186	144	R3	SH01	PP0366	礎石1	礎石	574	139	121	みかん樹材 (8分)	クワ	-	平安時代	下部による部材加工面有り (不鮮明) 表 面に加工面有り。板目部分を削り取った部分 が削り取った部分と一致する。調査しない。 9、9Vcは、5.2 × 3.2cmの寸法	自然乾燥	柱181

調査 番号	国	年度	遺構名1	遺構名2	遺構名3	階位	種類	遺存状態	遺構部分の 長さ		基礎	土盛り	面積	年代測定	築造時期	備考	保存場所	記録番号
									長さ	幅								
715	188	144	R3	S0E1	PPF0296	礎杭	礎杭	遺存	33.5	13.2	4.8	小鋼材	タリ	-	平安時代	加工盛有り	トレハ	H175
716	189	144	R3	S0E1	PPF0307	礎杭	礎杭	遺存	18.3	7.3	3.3	小鋼材	未測定	-	平安時代	加工盛有り 716-718は同一敷材	トレハ	H184
717	189	144	R3	S0E1	PPF0307	礎杭	礎杭	遺存	17.4	7.7	2.4	小鋼材	未測定	-	平安時代	加工盛有り 716-718は同一敷材	トレハ	H182
718	189	144	R3	S0E1	PPF0307	礎杭	礎杭	遺存	18.9	5.3	1.7	小鋼材	未測定	-	平安時代	加工盛有り 716-718は同一敷材	トレハ	H183
719	189	144	R3	S0E1	PPF0307	礎杭	礎杭	遺存	19.9	8.1	3.7	小鋼材	未測定	-	平安時代	加工盛有り	トレハ	H189
720	189	144	R3	S0E1	PPF0411	礎杭	礎杭	遺存	13.8	6.5	3.0	小鋼材	未測定	-	平安時代	加工盛有り	トレハ	H20
721	189	144	R3	S0E1	PPF0411	礎杭	礎杭	遺存	6.3	4.7	2.7	小鋼材	未測定	-	平安時代	加工盛有り	トレハ	H131
722	189	144	R3	S0E1	PPF0413	礎杭	礎杭	遺存	37.1	14.2	8.7	半鋼材	エノ木属	-	平安時代	加工盛有り	トレハ	H135
723	189	144	R3	S0E1	PPF0413	-	礎杭部分小	礎杭部分小	礎杭部分小	礎杭部分小	礎杭部分小	礎杭部分小	礎杭部分小	-	平安時代	加工盛有り	トレハ	H136
724	189	144	R3	S0E1	PPF0236	礎杭	礎杭	遺存	14.7	12.8	4.0	みかん鋼材 (1.8分厚)	タリ	-	平安時代	加工盛有り	トレハ	H164
725	190	144	R3	S0E1	PPF0237	柱材	柱材	柱根部分のみ	44.7	30.8	4.0	芯材材	タリ	遺存部分年代 測定 772±41AD-883±41AD (95.8%) (2.4%)	平安時代	手際による取戻り、加工盛有り、既盛有り 部盛品有り、接合必要、R3年代測定試料31	884.7111	H424
726	190	144	R3	S0E1	PPF0237	礎杭	礎杭	遺存	18.2	8.5	5.2	みかん鋼材 (1.8分厚)	タリ	-	平安時代	加工盛有り	トレハ	H178
727	191	145	R3	S0E2	PPF0205	柱材	柱材	柱根部分のみ	63.0	23.7	19.3	大鋼材	タリ	-	平安時代	明確物の柱材を人通りして再加工の上組可	自然乾燥	H089
728	-	-	R3	S0E2	PPF0207	柱材	柱材	柱根部分のみ	63.0	17.0	15.0	大鋼材	タリ	-	平安時代	遺存状態よく写図なし 遺存状態よく写図なし、礎のみ 明確物の柱材を人通りして再加工の上、組 付け	自然乾燥 (主編裏)	H274
729	191	145	R3	S0E3	PPF0201	-	礎杭	遺存	52.2	20.8	8.1	小鋼材	タリ	遺存部分年代 測定 811±41AD-922±41AD (95.8%) (2.4%)	平安時代	一部炭化 R3年代測定試料23	884.7111	H180
730	191	145	R3	S0E4	PPF0230	礎杭	礎杭	遺存	42.3	10.8	7.7	みかん鋼材 (1.8分厚)	タリ	772±41AD-883±41AD (95.8%) (2.4%)	平安時代	加工盛有り R3年代測定試料18	トレハ	H166
731	-	-	R3	S0E4	PPF0422	柱材	柱材	柱根部分のみ	67.0	42.0	14.0	芯材材	タリ	-	平安時代	遺存状態よく写図なし	自然乾燥 (主編裏)	H189
732	192	145	R3	S0E4	PPF0429	礎杭	礎杭	遺存	36.1	8.6	7.0	みかん鋼材 (1.8分厚)	タリ	-	平安時代	柱材からの取用かみかん類り材、加工盛有 り	トレハ	H189
733	192	145	R3	S0E4	PPF0429	礎杭	礎杭	遺存	44.3	20.6	9.3	半鋼材	タリ	-	平安時代	炭化部、柱抜き取付時の箇所盛有り、柱根 部分も組割りの二分厚して覆板(既木)と して組付け	トレハ	H172
734	192	145	R3	S0E4	PPF0431	柱材	柱材	柱根部分のみ	63.1	17.2	14.0	大鋼材	タリ	遺存部分年代 測定 772±41AD-883±41AD (95.8%) (2.4%)	平安時代	R3年代測定試料28	自然乾燥 (主編裏)	H473

調査 番号	国	宮田	年度	遺構名1	遺構名2	遺構名3	層位	種類	遺存状態	平面積 (長さ×幅)	土質	形状	用途	年代記述	測定時期	備考	所在施設	図面番号
735	192	145	R3	SB54	PP5E43	-	底面	板瓦	柱根部分のみ	18.5 (8.9×5.9)	赤土・小砂り材 (赤分層)	板瓦	未特定	-	平安時代	柱材からの板瓦加工痕有り。柱材	トレハ	H06
736	-	145	R3	SB56	PP5C46	柱材1	底面	柱材	柱根部分のみ	68.0 (24.0×28.0)	赤土・柱材	赤土	赤土	-	平安時代	腐食著しく内部が空洞になっているが丸太材と考えられる	自然乾燥	H104
737	-	145	R3	SB56	PP5C62	柱材1	底面	包材	柱根部分のみ	22.0 (17.0×17.0)	赤土	赤土	赤土	-	平安時代	腐食著しく内部が空洞になっているが丸太材と考えられる	自然乾燥	H105
738	-	145	R3	SB56	PP5E29	柱材1	底面	柱材	柱根部分のみ	117.0 (14.0×14.0)	赤土	赤土	赤土	-	平安時代	腐食著しく内部が空洞になっているが丸太材と見られる	自然乾燥	H107
739	-	145	R3	SB56	PP5E70	柱材1	底面	柱材	柱根部分のみ	30.0 (24.0×15.0)	赤土	赤土	赤土	福永政生年代 7725±AD-865±σAD (73.7%) (2.σ)	平安時代	R3年代測定試料22。腐食著しく内部が空洞になっているが丸太材と考えられる	自然乾燥	H127
740	-	145	R3	SB56	PP5E74	柱材1	礎土	柱材	柱根部分のみ	68.0 (17.0×10.0)	赤土	赤土	赤土	-	平安時代	腐食著しく内部が空洞になっているが丸太材と見られる	自然乾燥	H102
741	193	145	R3	SB56	PP5E72	柱材1	底面	柱材	柱根部分のみ	43.2 (27.5×25.0)	赤土	赤土	赤土	-	平安時代	腐食著しく内部が空洞になっているが丸太材と見られる	自然乾燥	H134
742	-	-	R3	SB56	PP5E74	柱材1	底面	柱材	柱根部分のみ	115.0 (14.0×15.0)	赤土	赤土	赤土	-	平安時代	腐食著しく内部が空洞になっているが丸太材と見られる	自然乾燥 (未測定)	
743	-	-	R3	SB56	PP5E75	柱材1	底面	柱材	柱根部分のみ	118.0 (24.0×23.0)	赤土	赤土	赤土	-	平安時代	腐食著しく内部が空洞になっているが丸太材と見られる	自然乾燥 (未測定)	
744	-	145	R3	SB56	PP5E29	柱材1	底面	柱材	柱根部分のみ	25.0 (20.0×20.0)	赤土	赤土	赤土	-	平安時代	腐食著しく内部が空洞になっているが丸太材と見られる	自然乾燥	H106
745	192	145	R3	SB56	PP5E75	柱材1	底面	柱材	柱根部分のみ	33.7 (30.2×18.6)	赤土	赤土	赤土	-	平安時代	比較的好れているが、内部と内部は腐食が著しい。腐食著しく一部のみにみられる	自然乾燥	FD08
746	-	-	R3	SB57	PP5E72	柱材1	底面	柱材	柱根部分のみ	23.0 (16.0×16.0)	赤土	赤土	赤土	福永政生年代 7725±AD-865±σAD (92.7%) (2.σ)	平安時代	腐食著しく内部が空洞になっているが丸太材と見られる	自然乾燥	H120
747	-	145	R3	SB58	PP5E70	礎板1	底面	礎板	礎板	68.0 (26.0×14.0)	小砂り材	礎板	赤土	-	平安時代	加工痕有り。腐食著しく形状を失っており、上げ出来ず	自然乾燥	H83
748	193	145	R3	SB58	PP5E70	礎板1	底面	礎板	礎板	22.0 (16.8×8.4)	大砂り材	礎板	赤土	福永政生年代 664±AD-746±σAD (66.7%) (1.σ)	平安時代	加工痕有り。大砂りした際の産物を利用。3点のうち1点のみ採取	トレハ	H76
749	-	145	R3	SB58	PP5E70	礎板1	底面	礎板	礎板	62.0 (23.0×14.0)	小砂り材	礎板	赤土	-	平安時代	加工痕有り。腐食著しく形状を失っており、上げ出来ず	自然乾燥	H84
750	193	145	R3	SB59	PP5C49	柱材1	底面	柱材	柱根部分のみ	61.0 (21.1×16.5)	赤土	赤土	赤土	福永政生年代 803±AD-1000±σAD (60.0%) (2.σ)	平安時代	R3年代測定試料26	自然乾燥	H129
751	194	146	R3	SB59	PP5E69	柱材1	底面	柱材	柱根部分のみ	69.0 (23.1×13.5)	赤土	赤土	赤土	-	平安時代	底面は手際による加工痕有り。大砂りした。私用材を加工して使用	自然乾燥	H133
752	194	146	R3	SB59	PP5E70	礎板1	底面	礎板	礎板	44.9 (21.4×9.4)	小砂り材	礎板	赤土	-	平安時代	全面に散らる加工痕有り。高品質は表面層から断面面による加工。薄部から13cm以下に空層する層で腐った状態。平面方眼	自然乾燥	H85
753	195	146	R3	SB59	PP5E70	柱材1	底面	柱材	柱根部分のみ	60.7 (21.7×17.2)	赤土	赤土	赤土	-	平安時代	腐食著しく加工痕有り。大砂りした私用材を加工して使用	自然乾燥	H128
754	-	146	R3	SB59	PP5E70	-	底面	礎板	礎板	12.0 (10.0×4.0)	小砂り材 (赤分層)	礎板	赤土	-	平安時代	手際による加工痕有り	トレハ	H17

調査 番号	国	年度	調査名1	調査名2	調査名3	種別	調査状態	調査箇所 位置	広がり	評価	年代測定	調査時期	備考	保存状態	調査番号
755	195	146	RC	SRE39	柱材1	瓦面	柱根部分のみ	(43.2)	212	202	芯材材	タリ	-	築造時の柱材を大振りした木田村を使用 底面加工痕有り	H403
756	196	146	RC	SRE10	柱材1	瓦面	柱根部分のみ	(43.2)	267	238	芯材材	タリ	昭和年代測定試料30 に手割による加工痕有り、気持部分が入り 残る	H417	
757	196	146	RC	SRE10	柱材1	瓦面	柱根部分のみ	(51.0)	276	266	芯材材	タリ	-	昭和年代測定試料30 に手割による加工痕有り	H426
758	197	146	RC	SRE10	柱材1	瓦面	柱根部分のみ	(43.3)	262	255	芯材材	タリ	-	腐食により取残り加工痕は不明、瓦面に 手割による加工痕有り	H430
759	197	146	RC	SRE10	礎板1	瓦面	礎板	382	150	73	小焼材	タリ	-	小振りした木田村で、20の柱材は直径30 cmの本木材、木田市の柱材の状態で取 り出し、瓦面に加工痕有り	H57
760	197	146	RC	SRE10	礎板2	瓦面	礎板	262	111	53	小焼材	タリ	-	小振りした木田村で、20の柱材は直径30 cmの本木材、木田市の柱材の状態で取 り出し、瓦面に加工痕有り	H59
761	198	146	RC	SRE10	柱材1	瓦面	柱根部分のみ	(45.0)	273	238	芯材材	タリ	-	芯持の丸本材を使用、瓦面に取残り加工 痕、手面に取残り有り	柱27
762	198	146	RC	SRE10	柱材1	理土	礎材	236	103	46	小みみ焼材 (8分型)	未同定	-	700に近い全 面に取残り加工痕有り	礎01・ H3641
763	198	146	RC	SRE10	柱材2	理土	礎材	126	49	31	小みみ焼材 (8分型)	未同定	-	表面に取残り加工痕有り	礎02・ H3642
764	198	146	RC	SRE10	柱材1	瓦面	柱根部分のみ	(57.9)	322	274	芯材材	タリ	-	芯持の丸本材を使用、瓦面に取残り加工 痕、手面に取残り有り	自然乾燥 柱24
765	199	146	RC	SRE10	柱材1	瓦面	柱根部分のみ	(57.7)	278	244	芯材材	タリ	-	芯持の丸本材を使用、瓦面に取残り加工 痕、手面に取残り有り	自然乾燥 柱26
766	199	146	RC	SRE10	柱材1	瓦面	柱根部分のみ	(47.0)	220	220	芯材材	タリ	-	芯持の丸本材を使用、瓦面に取残り加工 痕、手面に取残り有り	自然乾燥 柱42
767	200	147	RC	SRE10	柱材1	理土+中定	礎材	359	143	79	平焼材	タリ	-	築造時の柱材を平振りした木田村を使用 瓦面に加工痕有り	H74
768	200	147	RC	SRE10	柱材1	瓦面	柱根部分のみ	(57.2)	261	207	芯材材	タリ	-	瓦面は腐食が進んで、確認できないが、 底面手割による加工痕有り	自然乾燥 H132
769	200	147	RC	SRE10	柱材1	瓦面	柱根部分のみ	(45.2)	261	267	芯材材	タリ	-	腐食により加工痕有り、気持部分が入り 残る	自然乾燥 H135
770	-	-	RC	SRE10	柱材1	瓦面	柱根部分のみ	(43.0)	(250)	(250)	芯材材小	タリ	-	腐食により加工痕有り、瓦面の一部が欠け 遺存状態悪く写像なし	自然乾燥 柱21
771	201	147	RC	SRE11	柱材1	瓦面	礎材	264	193	79	平焼材	タリ	-	加工痕有り	H71
772	201	147	RC	SRE11	柱材2	瓦面	礎材	280	122	70	平焼材	タリ	-	加工痕有り	H70
773	202	147	RC	SRE11	柱材1	瓦面	柱根部分のみ	(51.3)	305	402	芯材材	タリ	昭和年代測定試料30 に手割による加工痕有り、遺物の穴有り 上、凹字型取付痕有り	H417	
774	202	147	RC	SRE11	柱材1	理土+中定	礎材	(21.3)	147	(60.0)	大焼材	タリ	-	面取り・取残り加工痕有り	H138

国	年代	遺物名1	遺物名2	遺物名3	層位	種類	保存状態	長さ	幅	重量	素材	形状	年代測定	発出時期	備考	保存場所	登録番号	
775	-	RE3	SRE11	柱材1	底面	柱材	柱の部分のみ	φ230	φ300	0.060	芯材付	コア付 コア付	-	平安時代	遺石が埋まり型はなし、黒炭著しく、型状を窺って取り上げられた	自然発露	（未登録）	
776	201	147	RE3	SRE11	PPC33	柱材1	柱材	27.1	13.0	8.2	大榭材	タリ	-	平安時代	加工痕有り。別建物の柱材を大榭りした大榭材	トレンチ	H127	
777	201	147	RE3	SRE11	PPC34	柱材1	柱材	26.9	6.6	6.7	大榭材	タリ	-	平安時代	加工痕有り。別建物の柱材を大榭りした大榭材	トレンチ	H128	
778	-	147	RE2	SRE11	PPD124	礎石	礎石	15.7	12.0	5.0	平榭材	未測定	-	平安時代	別建物の柱材を平榭した大榭材	トレンチ	柱13・ H284・ 柱8・ H288	
779	201	147	RE2	SRE11	PPD127	礎石	礎石	24.8	15.2	8.0	平榭材	未測定	-	平安時代	別建物の柱材を平榭した大榭材	トレンチ	柱8・ H288	
780	201	147	RE2	SRE11	PPD127	礎石	礎石	51.0	13.0	5.0	平榭材	タリ	-	平安時代	柱材を平榭して大榭 上7面に別建痕有り	トレンチ	柱131	
781	201	147	RE3	SRE11	PPG227	柱材1	柱材	56.2	12.2	8.4	大榭材	タリ	-	平安時代	加工痕有り。別建物の柱材を大榭りした大榭材 用材。782と同一柱材の可能性有り	トレンチ	H686	
782	203	147	RE3	SRE11	PPG227	柱材2	柱材	46.8	11.6	7.9	大榭材	タリ	-	平安時代	加工痕有り。別建物の柱材を大榭りした大榭材 用材。781と同一柱材の可能性有り	トレンチ	H682	
783	203	147	RE2	SRC10	PPR149	柱材	柱の部分のみ	40.8	8.2	7.5	芯材付	未測定	-	戦国時代末	下部には切痕後、黒などの黒炭痕有り。黒炭著しい	トレンチ	柱11・ H330	
784	203	147	RE2	SRC12	PPR153	柱材1	柱の部分のみ	43.0	9.2	9.9	芯材付	未測定	-	戦国時代末	下部には切痕後、黒などの黒炭痕有り。黒炭著しい	トレンチ	柱12・ H301	
785	203	147	RE3	SRC15	PPC63	柱材1	柱の部分のみ	45.3	16.1	15.2	芯材付	未測定	-	戦国時代末	表面は割度が一部份残存して出土。下部部に土著を伴った灰層が明確に残存	トレンチ	H305	
786	204	147	RE3	SRC15	PPC63	柱材1	柱の部分のみ	44.0	13.1	10.3	芯材付	トネリコ属	-	戦国時代末	割部が強く残存しているが、下部に平削面を伴った灰層が認められている	自然発露	H371	
787	204	147	RE3	SRC15	PPC66	柱材1	柱の部分のみ	63.6	11.0	9.7	芯材付	タリ	-	戦国時代末	下部の平削面を伴った灰層が認められている	自然発露	H136	
788	204	147	RE2	SRC18	PPR302	礎石	礎石	17.4	30.2	9.4	芯材付	未測定	-	戦国時代末	下部の平削面を伴った灰層が認められている	トレンチ	柱11・ H280	
789	204	147	RE2	SRC19	PPC100	柱材1	柱の部分のみ	44.5	12.2	11.9	芯材付	コア付	暦年測定年代 AMS(AD_12.6)	-	戦国時代末	表面は割度が一部份残存して出土。下部部に土著を伴った灰層が認められている	トレンチ	柱11・ H281・ H275
790	204	147	RE3	SRE23	PPC275	柱材1	柱の部分のみ	42.0	12.2	12.3	芯材付	未測定	-	戦国時代末	下部に平削面を伴った灰層が認められている	自然発露	H136	
791	205	148	RE3	SRE22	PPF070	柱材1	柱の部分のみ	63.0	13.2	11.9	芯材付	未測定	-	戦国時代末	下部に平削面を伴った灰層が認められている	自然発露	H141	
792	-	148	RE3	SD1E	-	礎石中一下段	柱材	10.7	9.6	7.6	芯材付	未測定	-	戦国時代末	芯材中の丸柱材。切痕された柱材	自然発露	H129	
793	-	148	RE3	SXC2	-	礎石上段	柱材	6.7	4.3	2.9	芯材付	未測定	-	平安時代	芯材中の丸柱材。切痕された柱材	自然発露	H140	
794	-	148	RE2	SBA2	PPA40	礎石	礎石	20.1	18.3	3.9	小榭材	タリ	暦年測定年代 AMS(AD_778-84AD_82.76)	-	792と同一柱材の可能性有り 年代測定(11.9)	トレンチ	埋蔵品 H401	

国	年度	遺構名1	遺構名2	遺構名3	層位	種類	遺存状態	面積(㎡)	長さ(m)	高さ(m)	形状	年代測定	調査時期	備考	保存場所	登録番号
795	148	R2	-	PPIC43	底面	礎杭	礎杭部分のみ	203	132	66	小溝状	-	戦国時代末	筑建物の柱材を小溝りした転用材	トレン	歴05-1307
796	148	R2	-	PPIC06	底面	礎杭	礎杭部分のみ	139	139	26	小溝状	-	戦国時代末	礎杭部分のみ、礎杭部分の転用材	トレン	歴11-1103
797	148	R2	SOA2	PPIC49	底面高上	礎杭	礎杭部分のみ	183	127	30	小溝状	-	平安時代末	794と同様一柱材の可能性有り	トレン	歴13-1405
798	205	148	R2	-	PPIC20	柱材	柱根部分のみ	1000	162	141	芯持材	-	戦国時代末	表面に面取加工あり 下部部に加工あり	自然破壊	歴09
799	148	R2	-	PPIC29	柱材1	柱材	柱根部分のみ	650	78	29	芯持材	-	戦国時代末	下部部に両面加工あり 柱頭に打設か	トレン	歴14-1383
800	148	R2	-	PPIC18	柱材1	柱材	柱根部分のみ	409	91	73	芯持材	榎木年代測定 1520±60AD (1σ) 1655±60AD (1σ) 1490±60AD (2σ) 1600±60AD (2σ)	平安時代末	平瀬りした芯持材を使用し 下部部に面取加工あり、下部部 に加工あり	トレン	歴31-1076
801	148	R2	-	PPIC26	-	礎土	礎土	118	71	53	大溝状	-	戦国時代末	筑建物の柱材を大溝りした断面に加工 年代測定(14.7)	トレン	歴20-1382
802	205	148	R2	-	PPIC08	柱材	柱根部分のみ	658	95	87	芯持材	-	戦国時代末	芯持りの丸木材を使用 断面に両面加工あり	自然破壊	歴38
803	205	148	R2	-	PPIC172	柱材1	柱根部分のみ	656	254	155	芯持材	-	平安時代末	平瀬りした芯持材を使用し 柱材の丸木材を転用し 断面に面取加工あり、下部部 に加工あり	トレン	歴25-1
804	205	-	R2	-	PPIC172	柱材1	柱根部分のみ	621.9	135.6	114.8	芯持材	-	平安時代末	柱材の丸木材を転用し 断面に面取加工あり、下部部 に加工あり	トレン	歴22-1380
805	205	-	R2	-	PPIC172	柱材1	柱根部分のみ	650	169	179	芯持材	-	平安時代末	芯持りの丸木材を転用し 断面に面取加工あり	トレン	歴22-1380
806	148	R2	-	PPIC173	柱材1	柱材	柱根部分のみ	623	178	129	芯持材	-	戦国時代末	礎杭部分のみ、丸木材を転用 断面に面取加工あり	トレン	歴10-1381
807	148	R2	-	PPIC195	柱材1	柱材	柱根部分のみ	628	99	85	芯持材	-	戦国時代末	礎杭部分のみ、丸木材を転用 断面に面取加工あり	トレン	歴21-1380
808	148	R2	-	PPIC243	柱材1	柱材	柱根部分のみ	663.9	115	50	大溝状	-	戦国時代末	筑建物の柱材を大溝りした断面に加工あり	トレン	歴29
809	148	R2	-	PPIC300	柱材1	柱材	柱根部分のみ	633	110	107	芯持材	-	戦国時代末	芯持りの丸木材を使用 断面に面取加工あり	自然破壊	歴10-1381
810	148	R2	-	PPIC365	柱材1	柱材	柱根部分のみ	626	102	80	芯持材	-	戦国時代末	芯持りの丸木材を転用 断面に面取加工あり	トレン	歴38
811	148	R2	-	PPIC396	柱材1	柱材	柱根部分のみ	617	153	106	芯持材	-	戦国時代末	芯持りの丸木材を転用 断面に面取加工あり	自然破壊	歴10
812	148	R2	-	PPIC670	柱材1	柱材	柱根部分のみ	683.3	130	115	芯持材	-	戦国時代末	礎杭部分のみ、丸木材を転用 断面に面取加工あり	トレン	歴37
813	148	R2	-	PPIC685	柱材1	柱材	柱根部分のみ	633	78	77	芯持材	-	戦国時代末	礎杭部分のみ、丸木材を転用 断面に面取加工あり	トレン	歴31
814	205	148	R2	-	PPIC727	柱材1	柱根部分のみ	609	112	95	芯持材	-	戦国時代末	礎杭部分のみ、丸木材を転用 断面に面取加工あり	トレン	歴36

調査 年度	国	町	年度	遺構名1	遺構名2	遺構名3	層位	種類	遺存状態	長さ	幅	厚さ	数量	形状	年代判定	出土時期	備考	保存場所	登録番号
815	-	148	R3	-	PPC796	柱材1	底面	柱材	柱根部分のみ	φ23.1	117	106	2	芯持材	-	戦国時代末	芯持らの丸太材を使用。上半部分の腐食が 強く表面部を包囲しないことから断面が円 錐状に形成されている。	トレハ	H137
816	-	148	R3	-	PPC802	柱材1	底面	柱材	柱根部分のみ	φ27.8	164	154	2	芯持材	-	戦国時代末	芯持らの丸太材を使用。上半部分の腐食が 強いため断面が円錐状に形成されている。 表面に炭化層が形成されている。	自然乾燥	H135
817	-	148	R3	-	PPC809	柱材1	底面	柱材	柱根部分のみ	φ13.8	118	105	2	芯持材	-	戦国時代末	芯持らの丸太材を使用。断面がほぼ円錐 状に形成されている。	自然乾燥	H141
818	-	148	R3	-	PPC874	柱材1	底面	柱材	柱根部分のみ	φ33.8	78	77	2	芯持材	-	戦国時代末	芯持らの丸太材を使用。全体に腐食が強く 表面部を包囲する不明。断面は概ね大直 径である。	トレハ	H382
819	206	148	R3	-	PPC911	柱材1	底面	柱材	柱根部分のみ	φ23.8	87	78	2	芯持材	-	戦国時代末	芯持らの丸太材を使用。上半部分が腐化 しており断面が円錐状に形成されている。	トレハ	H386
820	-	148	R3	-	PPC948	柱材1	底面	柱材	柱根部分のみ	φ27.8	86	79	2	芯持材	-	戦国時代末	芯持らの丸太材を使用。断面がほぼ円錐 状に形成されている。	自然乾燥	H142
821	206	148	R3	-	PPC972	柱材1	底面	柱材	柱根部分のみ	φ48.8	146	125	2	芯持材	-	戦国時代末	芯持らの丸太材を使用。断面がほぼ円錐 状に形成されている。	トレハ	H389
822	-	148	R2	-	PPC980	柱材1	底面	柱材	柱根部分のみ	φ23.1	116	105	2	芯持材	-	戦国時代末	芯持らの丸太材を使用。表面部を包囲す る腐食が強く断面が円錐状に形成されて いる。	自然乾燥	柱・柱 H135
823	206	148	R3	SXEL	PPC236	柱材1	底面	柱材	下腹部のみ	φ33.8	37	37	2	芯持材	-	室町時代	下腹部からなる加工痕有り。断面が直 径より1つの穴にφ33 - φ25が埋まりて行 ち込まれていた。	トレハ	H102
824	206	148	R2	SXEL	PPC232	柱材2	底面	柱材	下腹部のみ	φ25.3	29	28	2	芯持材	埋め戻し年代 3100±60AD 3170±60AD (21.0%) (2σ)	室町時代	下腹部からなる加工痕有り。断面が直 径より1つの穴にφ23 - φ25が埋まりて行 ち込まれていた。	H1 古田	H103
825	206	148	R3	SXEL	PPC236	柱材3	底面	柱材	下腹部のみ	φ20.8	36	33	2	芯持材	-	室町時代	下腹部からなる加工痕有り。断面が直 径より1つの穴にφ23 - φ25が埋まりて行 ち込まれていた。	トレハ	H104
826	-	148	R3	-	PPC857	柱材1	底面	柱材	柱根部分のみ	φ23.8	97	72	2	芯持材	-	戦国時代末	芯持らの丸太材を使用。上半部分の腐食が 強く表面部を包囲しないことから断面が円 錐状に形成されている。	自然乾燥	H149
827	-	148	R3	-	PPC218	柱材1	底面	柱材	柱根部分のみ	φ18.1	75	58	2	芯持材	-	戦国時代末	芯持らの丸太材を使用。断面がほぼ円錐 状に形成されている。	自然乾燥	H131
828	-	149	R3	-	PPC223	柱材1	底面	柱材	柱根部分のみ	φ22.3	99	69	2	芯持材	-	室町時代	埋め戻し年代 3100±60AD (58.1%) (2σ)	自然乾燥	H143
829	-	149	R3	-	PPC224	柱材1	底面	柱材	柱根部分のみ	φ17.3	96	53	2	芯持材	-	戦国時代末	芯持らの丸太材を使用。全体に腐食が強く 断面が円錐状に形成されている。	自然乾燥	H144
830	-	149	R3	-	PPC227	柱材1	底面	柱材	柱根部分のみ	φ15.0	121	119	2	芯持材	-	戦国時代末	芯持らの丸太材を使用。全体に腐食が強く 断面が円錐状に形成されている。	自然乾燥	H139
831	-	149	R3	-	PPC443	柱材1	底面	柱材	柱根部分のみ	φ16.8	88	42	2	芯持材か	-	戦国時代末	芯持らの丸太材を使用。断面がほぼ円錐 状に形成されている。	トレハ	H145
832	-	149	R3	-	PPC445	柱材1	底面	柱材	柱根部分のみ	φ21.3	203	189	2	芯持材	-	戦国時代末	芯持らの丸太材を使用。全体に腐食が強く 断面が円錐状に形成されている。	自然乾燥	H135
833	206	149	R3	-	PPC494	柱木1	底面	柱木	柱根部分のみ	φ11.0	77	33	2	丸太材 (5分)	-	戦国時代末	埋め戻しの柱材のみから断片した断面が 断面に炭化層が形成されている。	トレハ	H67

国	年代	遺物名1	遺物名2	遺物名3	層位	種類	遺存状態	長さ	幅	厚さ	重量	材質	年代判定	出土時期	備考	保存状態	登録番号
854	- 149 EC	S001	遺物名2 遺物1	柱材 5	底面	板状	上下端部欠損	0246	4.5	5.0	25.7g	木炭材	-	戦国時代末	本表を使用 上下端部欠損 表面彫削の痕跡 跡無く彫削が残存 下部部加工部分形状不明	トレハ	H126
855	- 149 EC	S001	遺物名2 遺物1	柱材 6	底面	板状	上下端部欠損	0161	6.5	4.4	大割材	未研究	-	戦国時代末	本表を使用 上下端部欠損 表面彫削の痕跡 跡無く彫削が残存した可能性有り 下部部加工部分形状不明	トレハ	H122
856	- 149 EC	S001	遺物名2 遺物1	柱材 7	底面	板状	下部部のみ残存	1038	4.2	6.0	芯材材	未研究	-	戦国時代末	本表を使用 上下端部欠損 表面彫削の痕跡 跡無く彫削が残存した可能性有り 下部部加工部分形状不明	トレハ	H121
857	- 149 EC	S001	遺物名2 遺物1	柱材 8	底面	板状	上下端部欠損	0523	6.7	6.4	芯材材	未研究	-	戦国時代末	本表を使用 上下端部欠損 表面彫削の痕跡 跡無く彫削が残存した可能性有り 下部部加工部分形状不明	トレハ	H115
858	- 149 EC	S001	遺物名2 遺物1	柱材 9	底面	板状	上端部欠損	0331	4.3	4.5	芯材材	未研究	-	戦国時代末	本表を使用 上下端部欠損 表面彫削の痕跡 跡無く彫削が残存した可能性有り 下部部加工部分形状不明	トレハ	H117
859	- 149 EC	S001	遺物名2 遺物1	柱材 10	底面	板状	上下端部欠損	0136	3.9	4.3	芯材材	未研究	-	戦国時代末	本表を使用 上下端部欠損 表面彫削の痕跡 跡無く彫削が残存した可能性有り 下部部加工部分形状不明	トレハ	H132
860	- 150 EC	S001	遺物名2 遺物1	柱材 11	底面	板状	上端部欠損	0481	6.3	6.3	芯材材	未研究	-	戦国時代末	本表を使用 上下端部欠損 表面彫削の痕跡 跡無く彫削が残存した可能性有り 下部部加工部分形状不明	トレハ	H114
861	- 150 EC	S001	遺物名2 遺物1	柱材 12	底面	板状	上下端部欠損	0214	4.5	4.2	芯材材	未研究	-	戦国時代末	本表を使用 上下端部欠損 表面彫削の痕跡 跡無く彫削が残存 下部部加工部分形状不明	トレハ	H127
862	- 150 EC	S001	遺物名2 遺物1	柱材 13	底面	板状	下部部のみ残存	0149	4.2	6.0	芯材材	未研究	-	戦国時代末	本表を使用 上下端部欠損 表面彫削の痕跡 跡無く彫削が残存した可能性有り 下部部加工部分形状不明	トレハ	H130
863	- 150 EC	S001	遺物名2 遺物1	柱材 14	底面	板状	上下端部欠損	0525	3.7	3.6	芯材材	未研究	-	戦国時代末	本表を使用 上下端部欠損 表面彫削の痕跡 跡無く彫削が残存した可能性有り 下部部加工部分形状不明	トレハ	H125
864	- 150 EC	S001	遺物名2 遺物1	柱材 15	底面	板状	下部部のみ残存	0150	4.5	4.8	芯材材	未研究	-	戦国時代末	本表を使用 上下端部欠損 表面彫削の痕跡 跡無く彫削が残存した可能性有り 下部部加工部分形状不明	トレハ	H129
865	- 150 EC	S001	遺物名2 遺物1	柱材 16	底面	板状	下部部のみ残存	066	4.3	2.2	芯材材	未研究	-	戦国時代末	本表を使用 上下端部欠損 表面彫削の痕跡 跡無く彫削が残存した可能性有り 下部部加工部分形状不明	トレハ	H131
866	- 150 EC	S001	遺物名2 遺物1	柱材 17	底面	板状	上下端部欠損	0369	2.1	3.2	芯材材	未研究	-	戦国時代末	本表を使用 上下端部欠損 表面彫削の痕跡 跡無く彫削が残存した可能性有り 下部部加工部分形状不明	トレハ	H124
867	- 150 EC	S001	遺物名2 遺物1	柱材 18	底面	板状	上下端部欠損	0503	4.8	4.5	大割材	未研究	-	戦国時代末	本表を使用 上下端部欠損 表面彫削の痕跡 跡無く彫削が残存した可能性有り 下部部加工部分形状不明	トレハ	H136
868	- 150 EC	S001	遺物名2 遺物1	柱材 19	底面	板状	上下端部欠損	0535	4.1	3.8	芯材材	未研究	-	戦国時代末	本表を使用 上下端部欠損 表面彫削の痕跡 跡無く彫削が残存した可能性有り 下部部加工部分形状不明	トレハ	H120
869	- 150 EC	S0C7	-	残骸 (TPC771 東側)	埋土 彩色土	板状	上端部欠損	0523	4.5	3.2	芯材材	未研究	-	戦国時代末	本表を使用 上下端部欠損 表面彫削の痕跡 跡無く彫削が残存した可能性有り 下部部加工部分形状不明	トレハ	H107
870	- 150 EC	S0C7	-	前面B・C ハコ付穴	埋土	板状	上端部欠損	0270	4.5	4.6	芯材材	未研究	-	戦国時代末	本表を使用 上下端部欠損 表面彫削の痕跡 跡無く彫削が残存した可能性有り 下部部加工部分形状不明	トレハ	H108
871	307 150 EC	S002	-	IB89 前面Bハコ付	埋土中穴	板状	上端部欠損	0729	4.3	2.6	大割材	未研究	-	戦国時代末	本表を使用 上下端部欠損 表面彫削の痕跡 跡無く彫削が残存した可能性有り 下部部加工部分形状不明	トレハ	H454
872	- 150 EC	S002	-	-	埋土	板状	上下端部欠損	0411	3.0	2.4	大割材	未研究	-	戦国時代末	本表を使用 上下端部欠損 表面彫削の痕跡 跡無く彫削が残存した可能性有り 下部部加工部分形状不明	トレハ	H401
873	- 150 EC	S002	-	-	埋土	板状	上下端部欠損	0324	4.2	4.3	芯材材	未研究	-	戦国時代末	本表を使用 上下端部欠損 表面彫削の痕跡 跡無く彫削が残存した可能性有り 下部部加工部分形状不明	トレハ	H412

調査 番号	国	年度	遺構名1	遺構名2	遺構名3	種別	遺存状態	遺構の状況		築成り	評価	年代判定	築成時期	保存状態	登録番号
								長さ	幅						
874	-	190	R2	S002	-	II07* ^a	土	上下部欠損	(30) 4.0	3.3	大規模	未判定	-	II081	II4341
875	-	190	R2	S002	-	II07* ^a	土	上部欠損	(22) 2.7	2.4	大規模	未判定	-	II082	II4342
876	-	190	R2	S002	-	II07* ^a	土	上下部欠損	(20) 2.7	2.7	大規模	未判定	-	II083	II4343
877	-	190	R2	S002	-	II07* ^a	土	上部欠損	(28) 4.8	4.3	中規模	未判定	-	II084	II4344
878	-	190	R2	S002	-	II07* ^a	土	上下部欠損	(37) 4.7	4.3	中規模	未判定	-	II085	II4345
879	207	190	R3	S002	-	II86* ^a 遺跡1 (北中・南中) 様式2	瓦	上部欠損	(30) 4.2	3.7	大規模	未判定	-	II09	
880	-	190	R3	S002	-	西暦 (II07)	土	下部の小残存	(11) 3.9	3.7	中規模	未判定	-	II11	
881	-	190	R3	S002	-	西暦 (II07)	土	下部の小残存	(11) 3.5	4.3	中規模	未判定	-	II12	
882	-	190	R3	S002	-	西暦西暦 (II07)	土中～下段	残存	(33) 5.1	3.9	中規模	未判定	-	II05	
883	-	190	R3	S002	-	西暦西暦 (II07)	土中～下段	残存	(10) 3.5	3.9	中規模	未判定	-	II13	
884	-	190	R3	S002	-	II86 ^a	瓦	上部欠損	(6) 2.7	2.9	中規模	未判定	-	II23	
885	-	190	R3	S002	-	II86 ^a	土中段	上部欠損	(5) 6.3	4.8	中規模	未判定	-	II34	
886	-	190	R3	S002	-	II86 ^a	土	上部欠損	(3) 1.27	2.3	中規模	未判定	-	II00	
887	-	190	R3	S002	-	II86 ^a	土	上下部欠損	(3) 2.5	2.2	中規模	未判定	-	II01	
888	207	190	R3	S002	-	II86 ^a	土	下部の小残存	(1) 3.3	3.1	中規模	ノックアウト	-	II06	
889	207	190	R3	S002	-	II86 ^a	土	下部の小残存	(12) 4.6	4.1	中規模	未判定	-	II09	
890	206	191	R3	SX02	-	西暦中央	築出	遺構の本材	(12) 21.9	8.3	中規模	未判定	-	II03	
891	-	190	R3	SX02	-	西暦中央	築出	遺構の本材	(6) 6.3	6.3	中規模	未判定	-	II03	
892	-	190	R3	SX02	-	西暦西暦 残1	瓦	残存	(5) 5.1	4.2	中規模	未判定	-	II00	
893	-	190	R3	SX02	-	西暦西暦 残2	瓦	残存	(5) 6.6	6.1	中規模	未判定	-	II00	

調査年度	国	市区	遺構名1	遺構名2	遺構名3	層位	種類	遺存状態	面積		材質	年代判定	用途	備考	保存場所	登録番号
									長さ	幅						
894	-	150	R3	SXD2	-	底面	板状	上層部分欠損	69(1)	4.1	3.8	大洲材	未判定	-	トレハ	H108
895	-	150	R3	SXD2	-	底面	板状	下部部分欠損	62(9)	4.5	6.3	志村材	未判定	-	トレハ	H109
896	307	150	R3	SXD2	-	底面	板状	上層部分欠損	62(7)	4.8	3.7	大洲材	未判定	-	トレハ	H110
897	-	150	R3	SXD2	-	底面	板状	下部部分欠損	65(8)	6.2	4.8	志村材	未判定	-	トレハ	H111
898	-	150	R3	SXD2	-	底面	板状	上半部分欠損	60(8)	7.0	7.1	志村材	未判定	-	トレハ	H112
899	-	151	R3	SXD2	-	底面	板状	上半部分欠損	146(4)	4.4	3.8	大洲材	未判定	-	トレハ	H113
900	-	151	R3	SXD2	-	底面	板状	上半部分欠損	65(6)	6.2	4.4	大洲材	未判定	-	自然乾燥	H202
901	-	151	R3	SXD2	-	底面	板状	上半部分欠損	64(7)	6.1	4.6	大洲材	未判定	-	自然乾燥	H203
902	-	151	R3	SXD2	-	底面	板状	上半部分欠損	61(2)	8.9	7.1	志村材	未判定	-	自然乾燥	H204
903	-	151	R3	SXD2	-	底面	板状	上半部分欠損	67(6)	7.5	6.7	志村材	未判定	-	自然乾燥	H205
904	-	151	R3	SXD2	-	底面	板状	上半部分欠損	69(3)	8.1	4.3	大洲材	未判定	-	自然乾燥	H206
905	-	151	R3	SXD2	-	底面	板状	上半部分欠損	145(1)	7.2	4.3	大洲材	未判定	-	自然乾燥	H207
906	-	151	R3	SXD2	-	底面	板状	上下部分欠損	69(4)	8.1	4.7	大洲材	未判定	-	自然乾燥	H208
907	-	151	R3	SXD2	-	底面	板状	上半部分欠損	61(2)	9.2	5.7	大洲材	未判定	-	自然乾燥	H209
908	-	151	R3	SXD2	-	底面	板状	下部部分欠損	62(3)	5.3	5.5	大洲材	未判定	-	トレハ	H174
909	-	151	R3	SXD2	-	底面	板状	上下部分欠損	145(6)	5.3	4.7	志村材	未判定	-	自然乾燥	H200
910	-	151	R3	SXD2	-	底面	板状	上半部分欠損	146(7)	5.3	4.8	志村材	未判定	-	自然乾燥	H201
911	-	151	R3	SXD2	-	底面	板状	下部部分欠損	62(2)	5.5	3.7	大洲材	未判定	-	トレハ	H175
912	-	151	R3	SXD2	-	底面	板状	上部部分欠損	141(7)	8.1	3.1	大洲材	未判定	-	トレハ	H176

調査年度	国	町	年度	道路種別	道路種別1	道路種別2	道路種別3	種別	構造	竣工状態	延長	延長率	延長率	延長率	割合	年代判定	調査時期	保存状態	備考
913	-	151	R3	SXD2	-	西側単側状	見.22	壁面	長尺	上り部分穴開	(44.0)	5.1	3.5	大剛材	未判定	-	現調時代末	トレハ	大剛材を柱用。上り部分穴開。表面修繕の痕跡あり。柳皮残存。下部部分は閉鎖式で、天然石加工あり。
914	-	151	R3	SXD2	-	両側単側状	見.23	壁面	長尺	上り部分穴開	(33.0)	4.2	3.3	大剛材	未判定	-	現調時代末	トレハ	大剛材を柱用。上り部分穴開。表面修繕の痕跡あり。柳皮残存。下部部分は閉鎖式で、天然石加工あり。
915	-	151	R3	SXD2	-	両側単側状	見.24	壁面	長尺	上り部分穴開	(39.0)	4.2	3.4	大剛材	未判定	-	現調時代末	トレハ	大剛材を柱用。上り部分穴開。表面修繕の痕跡あり。柳皮残存。下部部分は閉鎖式で、天然石加工あり。
916	-	151	R3	SXD2	-	両側単側状	見.25	壁面	長尺	上り部分穴開	(33.3)	3.8	3.6	芯材柱	未判定	-	現調時代末	トレハ	木柱を使用。上り部分穴開。表面修繕の痕跡あり。柳皮残存。下部部分は閉鎖式で、天然石加工あり。
917	-	151	R3	SXD2	-	両側単側状	見.26	壁面	長尺	下部のみ残存	(29.6)	6.5	6.7	芯材柱	未判定	-	現調時代末	トレハ	木柱を使用。下部のみ残存。表面修繕の痕跡あり。柳皮残存。下部部分は閉鎖式で、天然石加工あり。
918	-	151	R3	SXD2	-	両側単側状	見.27	壁面	長尺	下部のみ残存	(20.1)	6.2	5.8	芯材柱	未判定	-	現調時代末	トレハ	木柱を使用。下部のみ残存。表面修繕の痕跡あり。柳皮残存。下部部分は閉鎖式で、天然石加工あり。
919	-	151	R3	SXD2	-	両側単側状	見.28	壁面	長尺	下部のみ残存	(35.4)	4.7	3.9	大剛材	未判定	-	現調時代末	トレハ	木柱を使用。下部のみ残存。表面修繕の痕跡あり。柳皮残存。下部部分は閉鎖式で、天然石加工あり。
920	-	151	R3	SXD2	-	両側単側状	見.29	壁面	長尺	下部のみ残存	77.9 (20.9)	6.2	3.6	芯材柱	未判定	-	現調時代末	トレハ	木柱を使用。下部のみ残存。表面修繕の痕跡あり。柳皮残存。下部部分は閉鎖式で、天然石加工あり。
921	-	151	R3	SXD2	-	両側単側状	見.30	壁面	長尺	下部のみ残存	(27.7)	6.1	6.4	芯材柱	未判定	-	現調時代末	トレハ	木柱を使用。下部のみ残存。表面修繕の痕跡あり。柳皮残存。下部部分は閉鎖式で、天然石加工あり。
922	-	151	R3	SXD2	-	両側単側状	見.31	壁面	長尺	下部のみ残存	(22.9)	7.1	4.3	大剛材	未判定	-	現調時代末	トレハ	木柱を使用。下部のみ残存。表面修繕の痕跡あり。柳皮残存。下部部分は閉鎖式で、天然石加工あり。
923	-	151	R3	SXD2	-	両側単側状	見.32	壁面	長尺	下部のみ残存	(15.8)	3.8	3.0	芯材柱	未判定	-	現調時代末	トレハ	木柱を使用。下部のみ残存。表面修繕の痕跡あり。柳皮残存。下部部分は閉鎖式で、天然石加工あり。
924	-	151	R3	SXD2	-	両側単側状	見.33	壁面	長尺	下部のみ残存	(11.0)	4.0	4.7	大剛材	未判定	-	現調時代末	トレハ	木柱を使用。下部のみ残存。表面修繕の痕跡あり。柳皮残存。下部部分は閉鎖式で、天然石加工あり。
925	-	151	R3	SXD2	-	両側単側状	見.34	壁面	長尺	下部のみ残存	(20.4)	5.3	3.3	みかみ剛材	未判定	-	現調時代末	トレハ	木柱を使用。下部のみ残存。表面修繕の痕跡あり。柳皮残存。下部部分は閉鎖式で、天然石加工あり。
926	-	152	R3	SXD2	-	両側単側状	見.35	壁面	長尺	上部のみ残存	(34.3)	3.8	3.5	芯材柱	未判定	-	現調時代末	トレハ	木柱を使用。上部のみ残存。表面修繕の痕跡あり。柳皮残存。下部部分は閉鎖式で、天然石加工あり。
927	-	152	R3	SXD2	-	両側単側状	見.36	壁面	長尺	上部のみ残存	(44.0)	3.6	3.2	みかみ剛材	未判定	-	現調時代末	トレハ	木柱を使用。上部のみ残存。表面修繕の痕跡あり。柳皮残存。下部部分は閉鎖式で、天然石加工あり。
928	-	152	R3	SXD2	-	両側単側状	見.37	壁面	長尺	下部のみ残存	(13.3)	4.8	2.5	大剛材	未判定	-	現調時代末	トレハ	木柱を使用。下部のみ残存。表面修繕の痕跡あり。柳皮残存。下部部分は閉鎖式で、天然石加工あり。
929	-	152	R3	SXD2	-	両側単側状	見.38	壁面	長尺	上部のみ残存	(23.9)	3.8	4.1	芯材柱	未判定	-	現調時代末	トレハ	木柱を使用。上部のみ残存。表面修繕の痕跡あり。柳皮残存。下部部分は閉鎖式で、天然石加工あり。
930	207	152	R3	SXD2	-	両側単側状	見.39	壁面	長尺	上部のみ残存	(29.3)	3.5	4.6	芯材柱	未判定	-	現調時代末	トレハ	木柱を使用。上部のみ残存。表面修繕の痕跡あり。柳皮残存。下部部分は閉鎖式で、天然石加工あり。
931	-	152	R3	SXD2	-	両側単側状	見.40	壁面	長尺	下部のみ残存	(20.0)	3.3	4.1	芯材柱	未判定	-	現調時代末	トレハ	木柱を使用。下部のみ残存。表面修繕の痕跡あり。柳皮残存。下部部分は閉鎖式で、天然石加工あり。
932	-	152	R3	SXD2	-	両側単側状	見.41	壁面	長尺	上部のみ残存	(43.5)	3.6	4.8	芯材柱	未判定	-	現調時代末	トレハ	木柱を使用。上部のみ残存。表面修繕の痕跡あり。柳皮残存。下部部分は閉鎖式で、天然石加工あり。

調査 番号	国	年代	遺構名1	遺構名2	遺構名3	層位	種類	遺存状態	長さ	幅	厚さ	重量	材質	年代測定	出土時期	保存場所	登録番号
903	-	152	R3	SXD2	-	底面	板状	上半部分欠損	10.0	6.7	4.3	大銅片	未測定	-	戦国時代末	トレハ	H197
					西谷青銅板群 仏.42												
904	-	152	R3	SXD2	-	底面	板状	下腹部のみ残存	04.9	6.0	2.5	みかん銅材	未測定	-	戦国時代末	トレハ	H198
					西谷青銅板群 仏.43												
905	-	152	R3	SXD2	-	底面	板状	下腹部のみ残存	03.8	5.8	2.4	大銅材	未測定	-	戦国時代末	トレハ	H199
					西谷青銅板群 仏.44												
906	-	152	R3	SXD2	-	底面	板状	下腹部のみ残存	11.3	4.3	3.2	大銅材	未測定	-	戦国時代末	トレハ	H200
					西谷青銅板群 仏.45												
907	-	152	R3	SXD2	-	底面	板状	上半部分欠損	15.7	3.6	2.3	みかん銅材	未測定	-	戦国時代末	トレハ	H201
					西谷青銅板群 仏.46												
908	-	152	R3	SXD2	-	底面	板状	上半部分欠損	47.0	6.1	4.8	みかん銅材	未測定	-	戦国時代末	自然発露	H202
					西谷青銅板群 仏.47												
909	-	152	R3	SXD2	-	底面	板状	上半部分欠損	62.8	4.8	4.7	芯材材	未測定	-	戦国時代末	自然発露	H203
					西谷青銅板群 仏.48												
940	207	152	R3	SXD2	-	底面	板状	上半部分欠損	18.8	7.9	4.9	芯材材	未測定	-	戦国時代末	トレハ	H208
					西谷青銅板群 仏.49												
941	-	152	R3	SXD2	-	底面	板状	上半部分欠損	65.5	6.0	5.5	芯材材	未測定	-	戦国時代末	自然発露	H209
					西谷青銅板群 仏.50												
942	207	152	R3	SXD2	-	底面	板状	上半部分欠損	42.8	5.0	4.0	芯材材	未測定	-	戦国時代末	トレハ	H210
					西谷青銅板群 仏.51												
943	-	152	R3	SXD2	-	底面	板状	下腹部のみ残存	41.5	5.7	4.5	芯材材	未測定	-	戦国時代末	トレハ	H212
					西谷青銅板群 仏.52												
944	208	152	R3	SXD2	-	底面	板状	基部～先端部欠損	02.0	4.4	3.6	芯材材	未測定	-	戦国時代末	トレハ	H213
					西谷青銅板群 仏.53												
945	-	152	R3	SXD2	-	底面	板状	上半部分欠損	03.1	5.1	3.6	大銅材	未測定	-	戦国時代末	トレハ	H214
					西谷青銅板群 仏.54												
946	208	152	R3	SXD2	-	底面	板状	基部～先端部欠損	04.6	5.0	4.3	芯材材	未測定	-	戦国時代末	トレハ	H215
					西谷青銅板群 仏.55												
947	-	152	R3	SXD2	-	底面	板状	下腹部のみ残存	42.2	5.1	3.1	大銅材	未測定	-	戦国時代末	トレハ	H216
					西谷青銅板群 仏.56												
948	208	152	R3	SXD2	-	底面	板状	基部欠損	02.6	5.1	5.1	芯材材	未測定	-	戦国時代末	トレハ	H217
					西谷青銅板群 仏.57												
949	208	152	R3	SXD2	-	底面	板状	基部欠損	02.9	5.1	4.9	芯材材	未測定	-	戦国時代末	トレハ	H218
					西谷青銅板群 仏.58												
950	-	152	R3	SXD2	-	底面	板状	下腹部のみ残存	17.3	3.8	3.2	芯材材	未測定	-	戦国時代末	トレハ	H219
					西谷青銅板群 仏.59												
951	-	152	R3	SXD2	-	底面	板状	上半部分欠損	19.8	2.4	2.1	芯材材	未測定	-	戦国時代末	トレハ	H220
					西谷青銅板群 仏.60												

調査年度	国	町	年度	遺構名1	遺構名2	遺構名3	単位	種類	遺存状態	長さ	幅	厚さ	重量	材質	年代判定	出土時期	備考	保存場所	登録番号
971	-	153	R3	SXD2	-	西宮土師器 杖.81	底面	杖片	上部部分欠損	69.0	5.4	5.8		赤土質	-	戦国時代末	みかん類村を伴用 杖状に彫る 上部部分欠損 表面彫刻の痕跡無く、削皮残存 下層部は削皮加工有り	自然発見	R219
972	-	153	R3	SXD2	-	西宮土師器 杖.82	底面	杖片	上部部分欠損	62.0	7.4	5.4		赤土質	-	戦国時代末	みかん類村を伴用 杖状に彫る 上部部分欠損 表面彫刻の痕跡無く、削皮残存 下層部は削皮加工有り	自然発見	R250
973	-	153	R3	SXD2	-	西宮土師器 杖.83	底面	杖片	上部部分欠損	65.1	7.0	6.4		赤土質	-	戦国時代末	みかん類村を伴用 表面彫刻の痕跡無く、削皮残存 下層部は削皮加工有り	自然発見	R251
974	-	153	R3	SXD2	-	西宮土師器 杖.84	底面	杖片	上部部分欠損	145.0	6.2	5.3		赤土質	-	戦国時代末	みかん類村を伴用 杖状に彫る 上部部分欠損 表面彫刻の痕跡無く、削皮残存 下層部は削皮加工有り	トレハ	R222
975	-	153	R3	SXD2	-	西宮土師器 杖.85	底面	杖片	上半部分欠損	65.2	6.1	4.4		赤土質	-	戦国時代末	みかん類村を伴用 上半部分欠損 表面彫刻の痕跡無く、削皮残存 下層部は削皮加工有り	自然発見	R252
976	-	153	R3	SXD2	-	西宮土師器 杖.86	底面	杖片	上部部分欠損	60.0	4.0	2.8		赤土質	-	戦国時代末	みかん類村を伴用 杖状に彫る 上部部分欠損 表面彫刻の痕跡無く、削皮残存 下層部は削皮加工有り	トレハ	R223
977	-	153	R3	SXD2	-	西宮土師器 杖.87	底面	杖片	上半部分欠損	142.0	6.1	5.6		赤土質	-	戦国時代末	みかん類村を伴用 杖状に彫る 上部部分欠損 表面彫刻の痕跡無く、削皮残存 下層部は削皮加工有り	トレハ	R224
978	-	153	R3	SXD2	-	西宮土師器 杖.88	底面	杖片	上部部分欠損	65.0	6.5	3.5		赤土質	-	戦国時代末	みかん類村を伴用 表面彫刻の痕跡無く、削皮残存 下層部は削皮加工有り	自然発見	R253
979	-	153	R3	SXD2	-	西宮土師器 杖.89	底面	杖片	上半部分欠損	63.8	3.8	6.0		赤土質	-	戦国時代末	みかん類村を伴用 上半部分欠損 表面彫刻の痕跡無く、削皮残存 下層部は削皮加工有り	自然発見	R254
980	-	153	R3	SXD2	-	西宮土師器 杖.90	底面	杖片	上半部分欠損	62.2	4.5	4.6		赤土質	-	戦国時代末	みかん類村を伴用 上半部分欠損 表面彫刻の痕跡無く、削皮残存 下層部は削皮加工有り	自然発見	R255
981	208	153	R3	SXD2	-	西宮土師器 杖.91	底面	杖片	上半部分欠損	68.0	5.7	4.9		赤土質	-	戦国時代末	削皮が残存している先周部は削皮前の状態で、遺物の下に打ち込まれた土質である。表面に削皮の痕跡が認められていない。みかん類村の部々みかん類村を伴用している。	トレハ	R225
982	-	153	R3	SXD2	-	西宮土師器 杖.92	底面	杖片	上部部分欠損	141.0	6.2	3.9		赤土質	-	戦国時代末	みかん類村を伴用 杖状に彫る 上部部分欠損 表面彫刻の痕跡無く、削皮残存 下層部は削皮加工有り	トレハ	R226
983	-	153	R3	SXD2	-	西宮土師器 杖.93	底面	杖片	下部部分欠損	132.3	3.1	3.0		赤土質	-	戦国時代末	みかん類村を伴用 表面彫刻の痕跡無く、削皮残存 下層部は削皮加工有り	トレハ	R227
984	-	153	R3	SXD2	-	西宮土師器 杖.94	底面	杖片	下部部分欠損	102.3	2.7	3.3		赤土質	-	戦国時代末	みかん類村を伴用 杖状に彫る 下部部分欠損 表面彫刻の痕跡無く、削皮残存 下層部は削皮加工有り	トレハ	R228
985	-	153	R3	SXD2	-	西宮土師器 杖.95	底面	杖片	上部部分欠損	112.2	2.8	3.1		赤土質	-	戦国時代末	みかん類村を伴用 上部部分欠損 表面彫刻の痕跡無く、削皮残存 下層部は削皮加工有り	トレハ	R229
986	-	153	R3	SXD2	-	西宮土師器 杖.96	底面	杖片	下部部分欠損	65.0	2.8	2.2		赤土質	-	戦国時代末	みかん類村を伴用 下部部分欠損 表面彫刻の痕跡無く、削皮残存 下層部は削皮加工有り	トレハ	R230
987	-	153	R3	SXD2	-	西宮土師器 杖.97	底面	杖片	上部部分欠損	62.3	4.5	4.2		赤土質	-	戦国時代末	みかん類村を伴用 杖状に彫る 上部部分欠損 表面彫刻の痕跡無く、削皮残存 下層部は削皮加工有り	トレハ	R231
988	-	153	R3	SXD2	-	西宮土師器 杖.98	底面	杖片	上部部分欠損	66.0	3.3	4.8		赤土質	-	戦国時代末	みかん類村を伴用 上部部分欠損 表面彫刻の痕跡無く、削皮残存 下層部は削皮加工有り	自然発見	R232
989	-	153	R3	SXD2	-	西宮土師器 杖.99	底面	杖片	下部部分欠損	64.0	5.6	4.4		赤土質	-	戦国時代末	みかん類村を伴用 杖状に彫る 下部部分欠損 表面彫刻の痕跡無く、削皮残存 下層部は削皮加工有り	トレハ	R232
990	-	153	R3	SXD2	-	西宮土師器 杖.100	底面	杖片	下部部分欠損	61.0	4.5	4.7		赤土質	-	戦国時代末	みかん類村を伴用 杖状に彫る 下部部分欠損 表面彫刻の痕跡無く、削皮残存 下層部は削皮加工有り	トレハ	R233

調査 番号	国	年度	遺構名.1	遺構名.2	遺構名.3	層位	種類	遺存状態	遺構の 長さ	遺構の 幅	基礎 長さ	材質	年代測定	調査時期	保存状態	登録番号
991	-	153	R3	SXD2	-	西岸土層状礎 枋.102	底面	下部部分穴痕	(07.1)	3.6	3.1	みかへ薪材	-	戦国時代末	みかへ薪材を敷用 枋状に彫る 下部部分穴痕	H234
992	-	153	R3	SXD2	-	西岸土層状礎 枋.103	底面	下部部分穴痕	(08.0)	5.0	3.6	みかへ薪材	未測定	戦国時代末	みかへ薪材を敷用 枋状に彫る 下部部分穴痕	H235
993	-	153	R3	SXD2	-	西岸土層状礎 枋.103	底面	上下部分穴痕	(08.1)	5.3	4.8	みかへ薪材	未測定	戦国時代末	みかへ薪材を敷用 枋状に彫る 上下部分穴痕	H236
994	-	153	R3	SXD2	-	西岸土層状礎 枋.104	底面	上半部分穴痕	(05.3)	3.7	0.9	志村材	未測定	戦国時代末	木柱を使用 下部部分穴痕 高麗製瓦の 有り 上部部分穴痕は彫るに 有り 上部部分穴痕は彫るに 有り	H236
995	-	153	R3	SXD2	-	西岸土層状礎 枋.105	底面	下部部分穴痕	(06.2)	3.3	2.1	志村材	未測定	戦国時代末	木柱を敷用 下部部分穴痕 高麗製瓦の 有り 上部部分穴痕は彫るに 有り	H237
996	208	153	R3	SXD2	-	西岸土層状礎 枋.106	底面	上下部分穴痕	(02.2)	4.2	3.9	志村材	未測定	戦国時代末	溝造り一部残存する高麗製瓦等の枋で、 溝造りのために打ち込まれた尻枋のみを、 10.5m部分の彫込を認めており、 10.5m部分の彫込を認めている。	H238
997	-	153	R3	SXD2	-	西岸土層状礎 枋.107	底面	上半部分穴痕	(08.5)	6.8	5.6	志村材	未測定	戦国時代末	高麗製瓦を敷用 枋状に彫る 下部部分穴痕は彫るに 有り 上部部分穴痕は彫るに 有り	H239
998	-	154	R3	SXD2	-	西岸土層状礎 枋.108	底面	上半部分穴痕	(08.0)	4.4	5.2	志村材	未測定	戦国時代末	木柱を使用 下部部分穴痕 高麗製瓦の 有り 上部部分穴痕は彫るに 有り	H240
999	-	154	R3	SXD2	-	西岸土層状礎 枋.109	底面	上下部分穴痕	(09.6)	4.0	4.8	みかへ薪材	未測定	戦国時代末	みかへ薪材を敷用 枋状に彫る 上下部分 穴痕 表面彫込の痕跡無く、彫込残存 下	H241
1000	-	154	R3	SXD2	-	西岸土層状礎 枋.110	底面	上半部分穴痕	(07.0)	3.0	3.3	みかへ薪材	未測定	戦国時代末	みかへ薪材を敷用 枋状に彫る 上半部分 穴痕 表面彫込の痕跡無く、彫込残存 下	H242
1001	-	154	R3	SXD2	-	西岸土層状礎 枋.111	底面	上半部分穴痕	(03.1)	6.2	5.7	志村材	未測定	戦国時代末	高麗製瓦を敷用 枋状に彫る 高麗製瓦の 有り 上部部分穴痕は彫るに 有り	H243
1002	-	154	R3	SXD2	-	西岸土層状礎 枋.112	底面	上半部分穴痕	(19.8)	2.7	2.6	志村材	未測定	戦国時代末	木柱を使用 上半部分穴痕 表面彫込の痕 跡無く、彫込残存 下部部分穴痕は彫るに 有り	H244
1003	-	154	R3	SXD2	-	西岸土層状礎 枋.113	底面	上半部分穴痕	(09.3)	6.3	4.6	みかへ薪材	未測定	戦国時代末	みかへ薪材を敷用 枋状に彫る 上半部分 穴痕 表面彫込の痕跡無く、彫込残存 下	H245
1004	-	154	R3	SXD2	-	西岸土層状礎 枋.114	底面	上半部分穴痕	(07.0)	6.0	4.6	志村材	未測定	戦国時代末	高麗製瓦を敷用 枋状に彫る 高麗製瓦の 有り 上部部分穴痕は彫るに 有り	H246
1005	-	154	R3	SXD2	-	西岸土層状礎 枋.115	底面	上半部分穴痕	(02.7)	4.1	2.1	みかへ薪材	未測定	戦国時代末	みかへ薪材を敷用 枋状に彫る 上半部分 穴痕 表面彫込の痕跡無く、彫込残存 下	H247
1006	-	154	R3	SXD2	-	西岸土層状礎 枋.116	底面	上半部分穴痕	(02.0)	4.8	0.9	志村材	未測定	戦国時代末	木柱を使用 上半部分穴痕 表面彫込の痕 跡無く、彫込残存 下部部分穴痕は彫るに 有り	H248
1007	-	154	R3	SXD2	-	西岸土層状礎 枋.117	底面	上半部分穴痕	(42.0)	7.8	4.7	みかへ薪材	未測定	戦国時代末	みかへ薪材を敷用 枋状に彫る 上半部分 穴痕 表面彫込の痕跡無く、彫込残存 下	H249
1008	-	154	R3	SXD2	-	西岸土層状礎 枋.118	底面	上半部分穴痕	(03.2)	5.3	2.4	みかへ薪材	未測定	戦国時代末	高麗製瓦を敷用 枋状に彫る 高麗製瓦の 有り 上部部分穴痕は彫るに 有り	H250
1009	-	154	R3	SXD2	-	西岸土層状礎 枋.119	底面	下部部分穴痕	(03.1)	4.6	3.2	みかへ薪材	未測定	戦国時代末	みかへ薪材を敷用 枋状に彫る 下部部分 穴痕 表面彫込の痕跡無く、彫込残存 下	H271
1010	-	154	R3	SXD2	-	西岸土層状礎 枋.120	底面	上下部分穴痕	(03.7)	3.8	3.6	志村材	未測定	戦国時代末	木柱を使用 上半部分穴痕 表面彫込の痕 跡無く、彫込残存 下部部分穴痕は彫るに 有り	H272

調査 番号	国	年代	遺構名1	遺構名2	遺構名3	層位	種類	遺存状態	長さ	幅	厚さ	重量	材質	年代判定	出土時期	備考	保存場所	登録番号
1011	-	154	R3	SXD2	-	底面	板状	上下部分欠損	65.3	7.3	6.2	2.7	木片	-	戦国時代末	木片を使用し上下部分欠損。表面彫刻の痕跡は認められず。彫刻痕存。下部は削り出し加工あり。	トレハ	H273
1012	-	154	R3	SXD2	-	底面	板状	下部部分欠損	68.0	6.8	3.7	6.6	木片	-	戦国時代末	木片、銅片を使用し、板状に彫刻し、下部部分欠損。表面彫刻の痕跡無く、彫刻痕存。下部は削り出し加工あり。	トレハ	H274
1013	-	154	R3	SXD2	-	底面	板状	下部部分欠損	68.5	5.0	5.2	2.7	木片	-	戦国時代末	銅片、木片を使用し、彫刻痕存。下部は削り出し加工あり。	トレハ	H275
1014	-	154	R3	SXD2	-	底面	板状	上半部分欠損	61.8	7.8	7.2	2.7	木片	-	戦国時代末	木片を使用し上下部分欠損。表面彫刻の痕跡は認められず。下部は削り出し加工あり。	自然乾燥	H311
1015	-	154	R3	SXD2	-	底面	板状	上半部分欠損	67.3	6.5	4.5	6.6	木片	-	戦国時代末	木片、銅片を使用し、板状に彫刻し、上半部分欠損。表面彫刻の痕跡無く、彫刻痕存。	自然乾燥	H308
1016	-	154	R3	SXD2	-	底面	板状	上半部分欠損	65.3	6.5	2.6	6.6	木片	-	戦国時代末	木片、銅片を使用し、板状に彫刻し、上半部分欠損。表面彫刻の痕跡無く、彫刻痕存。	自然乾燥	H309
1017	-	154	R3	SXD2	-	底面	板状	上半部分欠損	61.7	4.1	3.2	6.6	木片	-	戦国時代末	木片、銅片を使用し、板状に彫刻し、上半部分欠損。表面彫刻の痕跡無く、彫刻痕存。	トレハ	H276
1018	-	154	R3	SXD2	-	底面	板状	上半部分欠損	65.3	6.6	3.0	6.6	木片	-	戦国時代末	木片、銅片を使用し、板状に彫刻し、上半部分欠損。表面彫刻の痕跡無く、彫刻痕存。	自然乾燥	H313
1019	-	154	R3	SXD2	-	底面	板状	上半部分欠損	65.3	6.1	3.8	6.6	木片	-	戦国時代末	木片、銅片を使用し、板状に彫刻し、上半部分欠損。表面彫刻の痕跡無く、彫刻痕存。	自然乾燥	H310
1020	-	154	R3	SXD2	-	底面	板状	上半部分欠損	66.3	4.8	4.2	6.6	木片	-	戦国時代末	木片、銅片を使用し、板状に彫刻し、上半部分欠損。表面彫刻の痕跡無く、彫刻痕存。	自然乾燥	H304
1021	-	154	R3	SXD2	-	底面	板状	上部部分欠損	73.8	7.3	3.9	6.6	木片	-	戦国時代末	木片、銅片を使用し、板状に彫刻し、上部部分欠損。表面彫刻の痕跡無く、彫刻痕存。	自然乾燥	H303
1022	-	154	R3	SXD2	-	底面	板状	下部部分欠損	65.3	7.7	4.2	6.6	木片	-	戦国時代末	木片、銅片を使用し、板状に彫刻し、下部部分欠損。表面彫刻の痕跡無く、彫刻痕存。	トレハ	H277
1023	209	154	R3	SXD2	-	底面	板状	上部部分欠損	71.3	7.2	6.5	6.6	木片	-	戦国時代末	銅片の一部は付着する。表面彫刻の痕跡は認められず。彫刻のために行われたと思われる。表面は削り出し加工あり。下部は削り出し加工あり。中心部は削り出し加工あり。中心部は削り出し加工あり。中心部は削り出し加工あり。	トレハ	H286
1024	-	154	R3	SXD2	-	底面	板状	上半部分欠損	64.6	6.5	5.5	6.6	木片	-	戦国時代末	木片、銅片を使用し、板状に彫刻し、上半部分欠損。表面彫刻の痕跡無く、彫刻痕存。	トレハ	H278
1025	-	154	R3	SXD2	-	底面	板状	上部部分欠損	65.9	7.0	7.3	6.6	木片	-	戦国時代末	木片、銅片を使用し、板状に彫刻し、上半部分欠損。表面彫刻の痕跡無く、彫刻痕存。	自然乾燥	H285
1026	-	154	R3	SXD2	-	底面	板状	上部部分欠損	72.1	4.1	3.4	6.6	木片	-	戦国時代末	木片、銅片を使用し、板状に彫刻し、上半部分欠損。表面彫刻の痕跡無く、彫刻痕存。	自然乾燥	H314
1027	-	155	R3	SXD2	-	底面	板状	上半部分欠損	64.6	4.8	5.2	6.6	木片	-	戦国時代末	木片、銅片を使用し、板状に彫刻し、上半部分欠損。表面彫刻の痕跡無く、彫刻痕存。	自然乾燥	H307
1028	-	155	R3	SXD2	-	底面	板状	上半部分欠損	65.7	7.1	5.4	6.6	木片	-	戦国時代末	木片、銅片を使用し、板状に彫刻し、上半部分欠損。表面彫刻の痕跡無く、彫刻痕存。	自然乾燥	H315
1029	-	155	R3	SXD2	-	底面	板状	上半部分欠損	63.2	6.1	5.3	6.6	木片	-	戦国時代末	木片、銅片を使用し、板状に彫刻し、上半部分欠損。表面彫刻の痕跡無く、彫刻痕存。	自然乾燥	H216
1030	-	155	R3	SXD2	-	底面	板状	上半部分欠損	65.0	8.0	3.9	6.6	木片	-	戦国時代末	木片、銅片を使用し、板状に彫刻し、上半部分欠損。表面彫刻の痕跡無く、彫刻痕存。	トレハ	H279

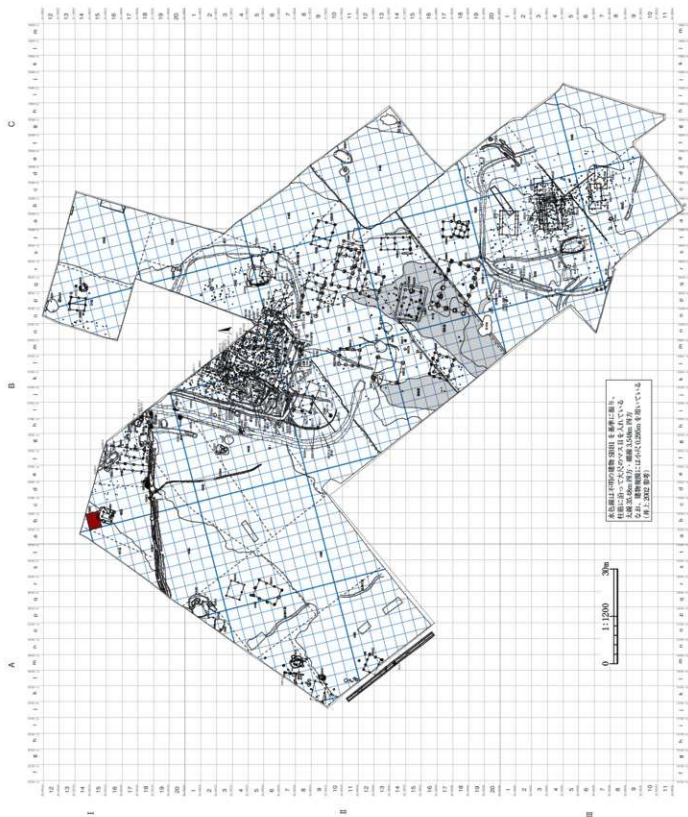
調査 番号	国	年号	遺構名1	遺構名2	遺構名3	単位	種類	遺存状況	面積(㎡)		築起り	材質	年代判定	調査時間	備考	保存場所	登録番号	
									長さ	幅								
1001	-	155	R3	SXD2	-	西岸土間様式 R.141	庭園	残存	61.3	5.1	5.3	みかん・銅材	未判定	-	戦国時代末	みかん・銅材を使用 柱状に彫刻。上半部分欠損。表面彫刻の痕跡無く、彫刻残存。下	トレハ	R280
1002	-	155	R3	SXD2	-	西岸土間様式 R.142	庭園	残存	63.9	5.3	5.8	みかん・銅材	未判定	-	戦国時代末	みかん・銅材を使用 柱状に彫刻。上半部分欠損。表面彫刻の痕跡無く、彫刻残存。下	トレハ	R281
1003	-	155	R3	SXD2	-	西岸土間様式 R.143	庭園	残存	68.5	4.5	4.4	みかん・銅材	未判定	-	戦国時代末	みかん・銅材を使用 柱状に彫刻。上半部分欠損。表面彫刻の痕跡無く、彫刻残存。下	トレハ	R282
1004	-	155	R3	SXD2	-	西岸土間様式 R.144	庭園	残存	61.4	7.1	3.5	みかん・銅材	未判定	-	戦国時代末	みかん・銅材を使用 柱状に彫刻。上半部分欠損。表面彫刻の痕跡無く、彫刻残存。下	トレハ	R283
1005	-	155	R3	SXD2	-	西岸土間様式 R.145	庭園	残存	63.7	3.5	3.2	志持柱	未判定	-	戦国時代末	みかん・銅材を使用 柱状に彫刻。上半部分欠損。表面彫刻の痕跡無く、彫刻残存。下	トレハ	R284
1006	-	155	R3	SXD2	-	西岸土間様式 R.146	庭園	残存	63.9	6.0	2.7	みかん・銅材	未判定	-	戦国時代末	みかん・銅材を使用 柱状に彫刻。下半部分欠損。表面彫刻の痕跡無く、彫刻残存。下	トレハ	R285
1007	-	155	R3	SXD2	-	西岸土間様式 R.147	庭園	残存	69.6	4.1	3.8	志持柱	未判定	-	戦国時代末	みかん・銅材を使用 柱状に彫刻。下半部分欠損。表面彫刻の痕跡無く、彫刻残存。下	トレハ	R286
1008	-	155	R3	SXD2	-	西岸土間様式 R.148	庭園	残存	61.1	4.2	4.2	志持柱	未判定	-	戦国時代末	みかん・銅材を使用 柱状に彫刻。下半部分欠損。表面彫刻の痕跡無く、彫刻残存。下	トレハ	R287
1009	-	155	R3	SXD2	-	西岸土間様式 R.149	庭園	残存	68.8	5.0	4.2	志持柱	未判定	-	戦国時代末	みかん・銅材を使用 柱状に彫刻。下半部分欠損。表面彫刻の痕跡無く、彫刻残存。下	トレハ	R288
1040	-	155	R3	SXD2	-	西岸土間様式 R.150	庭園	残存	66.9	3.5	3.4	志持柱	未判定	-	戦国時代末	みかん・銅材を使用 柱状に彫刻。下半部分欠損。表面彫刻の痕跡無く、彫刻残存。下	トレハ	R289
1041	-	155	R3	SXD2	-	西岸土間様式 R.151	庭園	残存	69.0	3.4	3.2	志持柱	未判定	-	戦国時代末	みかん・銅材を使用 柱状に彫刻。下半部分欠損。表面彫刻の痕跡無く、彫刻残存。下	トレハ	R317
1042	-	155	R3	SXD2	-	西岸土間様式 R.152	庭園	残存	61.5	4.4	4.4	志持柱	未判定	-	戦国時代末	みかん・銅材を使用 柱状に彫刻。下半部分欠損。表面彫刻の痕跡無く、彫刻残存。下	トレハ	R318
1043	-	155	R3	SXD2	-	西岸土間様式 R.153	庭園	残存	61.3	5.9	6.1	志持柱	未判定	-	戦国時代末	みかん・銅材を使用 柱状に彫刻。下半部分欠損。表面彫刻の痕跡無く、彫刻残存。下	トレハ	R319
1044	-	155	R3	SXD2	-	西岸土間様式 R.154	庭園	残存	68.5	5.7	4.7	みかん・銅材	未判定	-	戦国時代末	みかん・銅材を使用 柱状に彫刻。上半部分欠損。表面彫刻の痕跡無く、彫刻残存。下	トレハ	R320
1045	-	155	R3	SXD2	-	西岸土間様式 R.155	庭園	残存	63.5	5.3	4.5	みかん・銅材	未判定	-	戦国時代末	みかん・銅材を使用 柱状に彫刻。上半部分欠損。表面彫刻の痕跡無く、彫刻残存。下	トレハ	R321
1046	-	155	R3	SXD2	-	西岸土間様式 R.156	庭園	残存	67.3	2.8	3.0	志持柱	未判定	-	戦国時代末	みかん・銅材を使用 柱状に彫刻。下半部分欠損。表面彫刻の痕跡無く、彫刻残存。下	トレハ	R322
1047	-	155	R3	SXD2	-	西岸土間様式 R.157	庭園	残存	62.1	7.2	3.4	みかん・銅材	未判定	-	戦国時代末	みかん・銅材を使用 柱状に彫刻。下半部分欠損。表面彫刻の痕跡無く、彫刻残存。下	トレハ	R323
1048	-	155	R3	SXD2	-	西岸土間様式 R.158	庭園	残存	69.1	5.0	5.5	みかん・銅材	未判定	-	戦国時代末	みかん・銅材を使用 柱状に彫刻。上半部分欠損。表面彫刻の痕跡無く、彫刻残存。下	トレハ	R324
1049	-	155	R3	SXD2	-	西岸土間様式 R.159	庭園	残存	66.8	6.7	5.1	志持柱	未判定	-	戦国時代末	みかん・銅材を使用 柱状に彫刻。下半部分欠損。表面彫刻の痕跡無く、彫刻残存。下	トレハ	R325
1050	-	155	R3	SXD2	-	西岸土間様式 R.160	庭園	残存	69.9	5.1	4.7	みかん・銅材	未判定	-	戦国時代末	みかん・銅材を使用 柱状に彫刻。上半部分欠損。表面彫刻の痕跡無く、彫刻残存。下	トレハ	R326

調査 番号	国	年度	遺構名1	遺構名2	遺構名3	層位	種類	遺存状態	遺構の 長さ	遺構の 幅	基礎 の長さ	基礎 の幅	年代判定	調査時間	備考	保存場所	登録番号
1071	-	156	R3	SXD2	-	西岸土間柱群 R.181	瓦面	上半部分欠損	45.6	8.3	4.3	みかん薪材	未判定	戦国時代末	みかん薪材を使用 柱状に彫形 上半部分欠損 大溝 表面彫取の痕跡無く、柳皮残存。	トレハ	R343
1072	-	156	R3	SXD2	-	西岸土間柱群 R.182	瓦面	上半部分欠損	61.1	5.7	3.9	みかん薪材	未判定	戦国時代末	みかん薪材を使用 柱状に彫形 上半部分欠損 大溝 表面彫取の痕跡無く、柳皮残存。	トレハ	R344
1073	-	156	R3	SXD2	-	西岸土間柱群 R.183	瓦面	上半部分欠損	58.7	5.8	3.5	みかん薪材	未判定	戦国時代末	大溝 表面彫取の痕跡無く、柳皮残存。 下溝部は片削加工有り。	トレハ	R345
1074	-	156	R3	SXD2	-	西岸土間柱群 R.184	瓦面	上半部分欠損	61.2	4.7	4.9	芯材	未判定	戦国時代末	本柱を使用 上半部分欠損 表面彫取の痕跡 無く、柳皮残存 下溝部は両面加工有り	トレハ	R346
1075	-	156	R3	SXD2	-	西岸土間柱群 R.185	瓦面	上下部分欠損	69.6	5.5	5.5	芯材	未判定	戦国時代末	本柱を使用 上下部分欠損 表面彫取の痕跡 跡無く、柳皮残存 下溝部は両面加工有り	トレハ	R347
1076	-	156	R3	SXD2	-	西岸土間柱群 R.186	瓦面	上半部分欠損	44.6	5.2	4.1	みかん薪材	未判定	戦国時代末	みかん薪材を使用 柱状に彫形 上半部分欠 損 大溝 表面彫取の痕跡無く、柳皮残存。 下溝部は片削加工有り	トレハ	R348
1077	-	156	R3	SXD2	-	西岸土間柱群 R.187	瓦面	上半部分欠損	67.8	5.7	5.4	みかん薪材	未判定	戦国時代末	大溝は片削加工有り 下溝部は両面加工有り	トレハ	R349
1078	-	156	R3	SXD2	-	西岸土間柱群 R.188	瓦面	上半部分欠損	61.4	6.3	3.2	大溝材	未判定	戦国時代末	大溝材を使用 上半部分欠損 表面彫取の痕跡無く、柳皮残存 下溝部は 片削加工有り	トレハ	R349
1079	-	156	R3	SXD2	-	西岸土間柱群 R.189	瓦面	上半部分欠損	69.6	6.0	3.1	芯材	未判定	戦国時代末	本柱を使用 上半部分欠損 表面彫取の痕跡 無く、柳皮残存 下溝部は片削加工有り	自然発露	R355
1080	-	156	R3	SXD2	-	西岸土間柱群 R.190	瓦面	上半部分欠損	68.1	4.0	3.1	みかん薪材	未判定	戦国時代末	大溝は片削加工有り 下溝部は両面加工有り	自然発露	R356
1081	-	156	R3	SXD2	-	西岸土間柱群 R.191	瓦面	上半部分欠損	69.0	7.5	3.2	大溝材	未判定	戦国時代末	大溝材を使用 上半部分欠損 表面彫取の痕跡無く、柳皮残存 下溝部は 片削加工有り	自然発露	R357
1082	-	156	R3	SXD2	-	西岸土間柱群 R.192	瓦面	上半部分欠損	60.3	5.6	4.8	芯材	未判定	戦国時代末	本柱を使用 上半部分欠損 表面彫取の痕跡 無く、柳皮残存 下溝部は両面加工有り	自然発露	R358
1083	-	156	R3	SXD2	-	西岸土間柱群 R.193	瓦面	上半部分欠損	68.8	6.3	6.4	芯材	未判定	戦国時代末	本柱を使用 上半部分欠損 表面彫取の痕 跡無く、柳皮残存 下溝部は両面加工有 り。下溝部は両面加工有り	自然発露	R359
1084	-	156	R2	SXD2	-	-	礎土	下溝部のみ残存	165.3	4.8	3.1	みかん薪材	未判定	戦国時代末	みかん薪材を使用 柱状に彫形 下溝部は 片削加工有り 表面彫取の痕跡無く、柳皮残存 小	R.101・ R.104	R341
1085	-	156	R2	SXD2	-	-	礎土	下溝部のみ残存	133.1	3.4	2.9	みかん薪材	未判定	戦国時代末	みかん薪材を使用 下溝部のみ残存 下溝 部は片削加工有り	R.102・ R.104	R342
1086	-	156	R2	SXD2	-	-	礎土	下溝部のみ残存	120.0	3.1	3.0	芯材	未判定	戦国時代末	本柱を使用 下溝部のみ残存 下溝部は 片削加工有り 表面彫取の痕跡無く、柳皮残 存小	R.103・ R.104	R343

第13表 動物遺存体系表(1087~1088)

() : 残存個

調査 番号	国	年度	種類	出土地点	層位	検出部位	遺構 (長さ)		遺構 (幅)	検出 時期	備考	
							長さ	幅				
1087	209	156	R3	高良 SXC7東端		1/2残存	6.7	0.0	25	222	戦国時代末	土層右側直線1'分、R2上段一體性小
1088	209	156	R3	高良 SXC2(輸出面)		略定形	6.5	2.7	23	440	戦国時代末	下溝部直線目、小、R1上段一體性小



第 215 図 平安時代の掘立柱建物変遷案（不明）



第216図 居館跡1の掘立柱建物変遷案（第1期）



第217図 居館跡1の掘立柱建物変遷案(第2期)



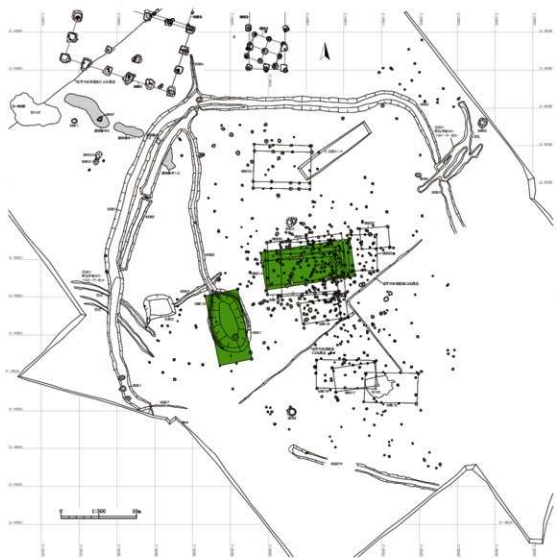
第218図 居館跡1の掘立柱建物変遷案（第3期）



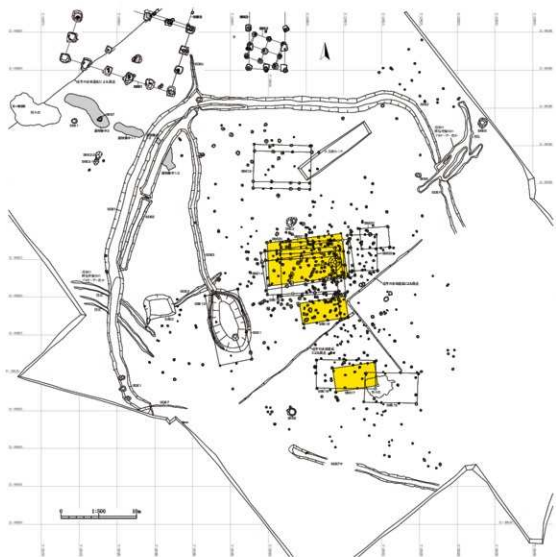
第219図 居館跡1の掘立柱建物変遷案(第4期)



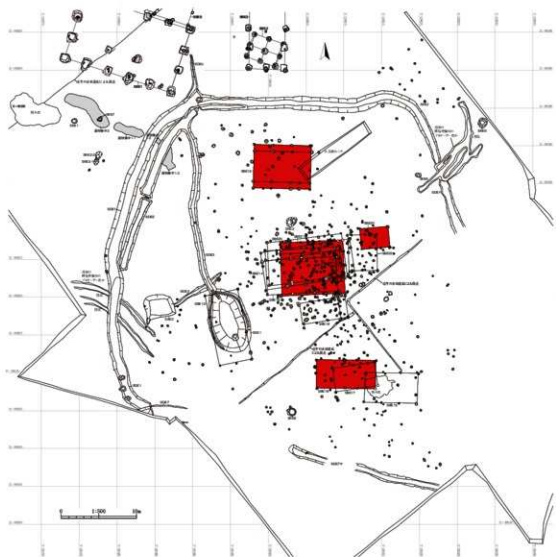
第220図 居館跡1の掘立柱建物変遷案(第5期)



第221図 居館跡2の掘立柱建物変遷案(第1期)



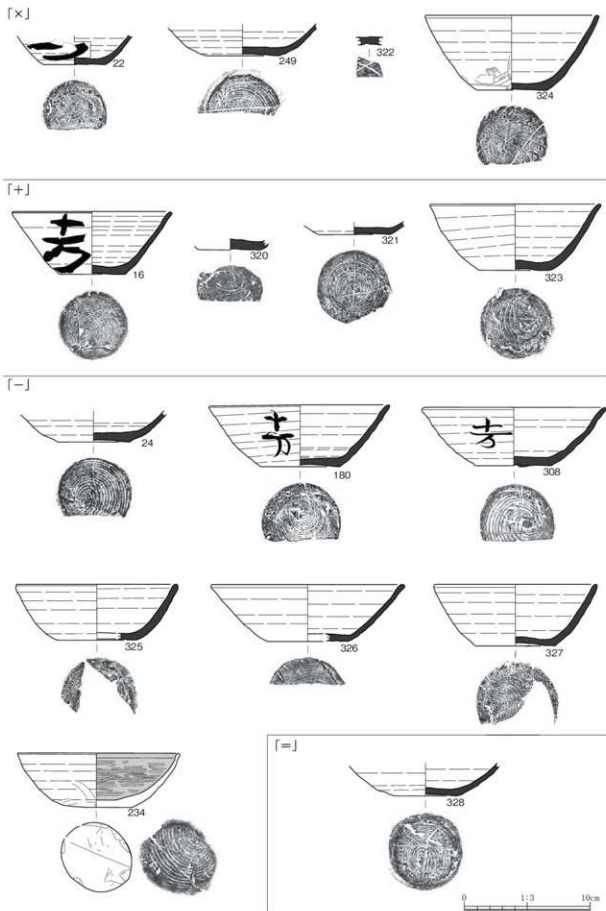
第 222 図 居館跡 2 の掘立柱建物変遷案 (第 2 期)



第223図 居館跡2の掘立柱建物変遷案(第3期)

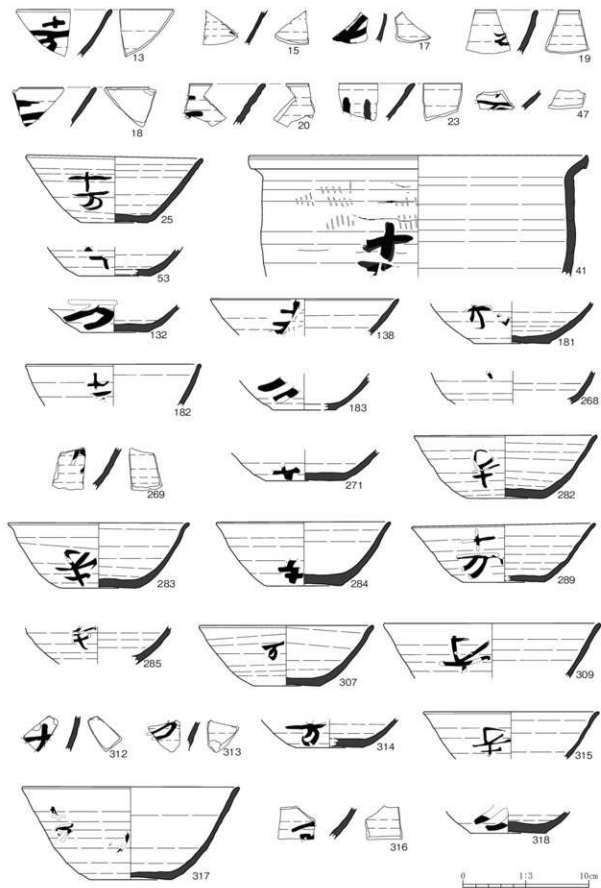


第224図 居館跡2の掘立柱建物変遷案（第4期）



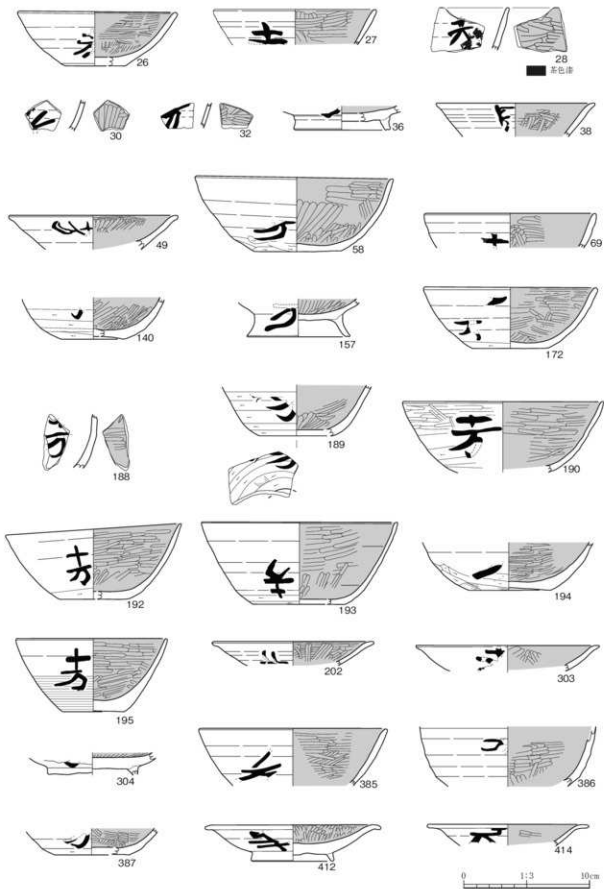
第226図 刻書土器集成図

[十万]



第 227 图 墨書土器集成图 (1)

[十万]



第 228 図 墨書土器集成図 (2)

「八万」



311

「関」



92

「加」



179

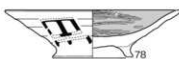
「吊」



237



306



78



122

油漬

「山口」



384

「二口」



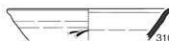
187

「平口」

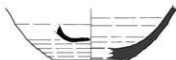


276

「種類不明」



310



319



270



59



171



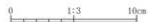
191



388



206



第 229 図 墨書土器集成図 (3)

半～底部にかけて、鉄軸様の黒色自然軸が認められる。体部下半に一部布目疳痕あり。251と同一か。

SBC9 出土土器 (12)

12はPPC857埋土中位、II B15p III層下位から出土した須恵器大甕である。輪積み成形。頸部に5条1束の櫛掻波状文を2段以上施文、内外面に光沢のある自然軸付着。

SBD2 出土土器 (13)

13はPPD133埋土から出土した須恵器坏である。ロクロ成形。口縁部外反。内外面ともロクロナデ整形。外面墨書「十万」(正位)。

SBE1 出土土器 (14～45)

14はPPE360埋土から出土した須恵器坏である。ロクロ成形。口縁部外傾。内外面ともロクロナデ整形で、底部は回転糸切り無調整。内外面に火だすき痕あり。15はPPE394埋土上位から出土した須恵器坏である。ロクロ成形。口縁部外傾。内外面ともロクロナデ整形。外面墨書文字種不明「十万」(正位)の「十」カ。薄手。16～18はPPE395埋土から出土した須恵器坏である。16はロクロ成形。口縁部外傾。内外面ともロクロナデ整形で、底部は回転糸切り無調整。外面墨書「十万」(正位)。底面焼成前刻書「十」もしくは「×」(記号)。口縁部外面が8mm程変色しており、重ね焼きの痕跡と見られる。17はロクロ成形。内外面ともロクロナデ整形。外面墨書「十万」(倒位)カ。18はロクロ成形。口縁部外傾。内外面ともロクロナデ整形。外面墨書「十万」(正位)。口端部に棒状工具による窪みあり、乾燥時に付いたか。19はPPE411北半埋土から出土した須恵器坏である。ロクロ成形。口縁部外傾。内外面ともロクロナデ整形。外面墨書「十万」(正位)カ。20はPPE410・413北側埋土から出土した須恵器坏である。坏もしくは高台坏か。ロクロ成形。口縁部外反。内外面ともロクロナデ整形。外面墨書「十万」(正位)カ。21～23はPPE413北側埋土から出土した須恵器坏である。21はロクロ成形。内外面ともロクロナデ整形で、底部は回転糸切り無調整。22はロクロ成形。内外面ともロクロナデ整形で、底部は回転糸切り無調整。外面墨書「十万」(正位)の「万」カ、底面焼成前刻書「×」(記号)。23はロクロ成形。口縁部外傾。内外面ともロクロナデ整形。外面墨書「十万」(正位)の「十」カ 濃淡あり書き直しているか。24・25はPPE736埋土から出土した須恵器坏である。24はロクロ成形。内外面ともロクロナデ整形で、底部は回転糸切り無調整。底面焼成前刻書「一」(記号)カ。25はロクロ成形。口縁部外反。内外面ともロクロナデ整形で、底部は回転糸切り無調整。外面墨書「十万」(正位)。底径小さめ。外面口縁部が変色しており、重ね焼きの痕跡と見られる。26はPPE360埋土から出土した土師器坏である。ロクロ成形。内外面ともロクロナデ整形で、外面は底周辺回転ヘラケズリ調整。内面は口縁～体部が横位、底部は放射状ヘラミガキ調整・黒色処理。底部は回転ヘラ切り無調整。外面墨書「十万」(正位)カ。27はPPE395埋土から出土した土師器坏である。ロクロ成形。内外面ともロクロナデ整形で、内面は黒色処理・横位ヘラミガキを施している。外面墨書「十万」(正位)カ。28・29はPPE413埋土から出土した土師器坏である。28はロクロ成形。内外面ともロクロナデ整形で、内面は黒色処理・横位ヘラミガキを施している。外面墨書「十万」(正位)。29はロクロ成形。内外面ともロクロナデ整形、外面は体部下半に手持ちヘラケズリ調整。内面底付近は放射状ヘラミガキ調整・黒色処理を施す。底部の回転糸切り痕は回転が弱く静止気味。30・31はPPE736埋土から出土した土師器坏である。30はロクロ成形。内外面ともロクロナデ整形で、内面は黒色処理・放射状ヘラミガキを施している。外面墨書「十万」の「万」(倒位)カ。31はロクロ

成形。内外面ともロクロナデ整形、外面は体部下半に回転ヘラケズリ調整、内面は横へ斜位ヘラミガキ・黒色処理を施す。底部は回転ヘラ切りで切り離している。32はPPE737北側埋土中位から出土した土師器坏である。ロクロ成形。内外面ともロクロナデ整形で、内面は黒色処理・横位ヘラミガキを施している。外面墨書「十万」の「万」(正位)カ。33はPPE412・413埋土から出土した須恵系a坏である。ロクロ成形。非黒色処理。内外面ともロクロナデ整形、底部の外周は回転ヘラ切り、途中から回転糸切りに変えて切り離している。内面に黒斑あり。34はPPE736埋土から出土した須恵系a坏である。ロクロ成形。非黒色処理。内外面ともロクロナデ整形で、底部は回転糸切り無調整。底径小型化。35・36はPPE413埋土から出土した土師器・高台皿か坏である。35はロクロ成形。内外面ともロクロナデ整形で、内面底は放射状ヘラミガキ調整・黒色処理を施す。底部は回転糸切り後に高台貼付、ロクロナデで馴染ませている。36はロクロ成形。内外面ともロクロナデ整形、内面は放射状ヘラミガキ調整・黒色処理を施す。底部は回転糸切り後に高台貼付、ロクロナデで馴染ませている。外面墨書「万」(正位)カ。37はPPE394北半埋土から出土した土師器高台皿である。ロクロ成形。内外面ともロクロナデ整形、外面は横位ヘラナデ、内面は口縁部が横位、口縁以下が放射状ヘラミガキ調整・黒色処理。底部は回転糸切り後に高台貼付、ロクロナデで馴染ませているが雑な印象。38はPPE408埋土から出土した土師器高台皿である。ロクロ成形。内外面ともロクロナデ整形で、内面は黒色処理・横・縦位ヘラミガキを施している。外面墨書「十万」(正位)カ。39はPPE409埋土から出土した土師器高台皿である。ロクロ成形。口縁部外反。内外面ともロクロナデ整形で、内面は黒色処理・ヘラミガキ調整と見られる。40はPPE412から出土した土師器把手付鉢である。輪積み成形の鉢で、上下は輪積み部分で脱落している。把手は根元の貼付のみ残存しており、先端は剥がれている。痕跡からは、根元部分は一回り大きい円形の貼付だったと見られる。41はPPE408埋土から出土した須恵器鉢である。輪積み成形。口縁部は上方に弱く摘まみ出される。外面は輪積み後に平行叩き目(縦位)、ロクロナデによる調整。内面も当て具痕後に(見えず)ロクロナデ調整。外面墨書「十万」(正位)二重に書き直している。42はPPE412埋土から出土した土師器小型甕である。ロクロ成形。内外面ともロクロナデ整形、底部は回転ヘラ切りで切り離している。内面にコゲが少量付着しているため、煮炊きで使用されたと見られる。43はPPE395埋土・整地層(ⅡB18p)Ⅲ層下位から出土した須恵器甕である。輪積み成形。外面は輪積み後に平行叩き目(縦位)、内面は放射状当て具痕(連藕文)を施している。器厚は約7mm。44はPPE410埋土からの土師器甕である。ロクロ成形。口縁端部は上方へ摘まみ出される形状。内外面ともロクロナデ整形で、外面は体部上半に下から上方向の縦位ヘラケズリ調整を施している。45はPPE413埋土から出土した土師器甕で、口縁端部は上方へ摘まみ出される形状である。内外面ともロクロナデ整形で、外面体部にスス、内面口縁部にコゲ多く付着。内面体部には煮炊き時に付いたか褐色物質が全体に付着している。

SBE2 出土土器 (46)

46はPPE373埋土から出土した土師器坏である。ロクロ成形。内外面ともロクロナデ整形で、外面は底周辺のみ手持ちヘラケズリ調整を施している。内面は黒色処理・横位ヘラミガキ調整。焼きが弱く軟質で、全体に摩擦している。

SBE3 出土土器 (47)

47はPPE383埋土から出土した須恵器坏である。ロクロ成形。内外面ともロクロナデ整形。外面

墨書「十万」(正位)カ。

SBE4 出土土器 (48・49)

48は溝1埋土から出土した土師器高台皿か坏である。ロクロ成形。内外面ともロクロナデ整形、内面底は放射状ヘラミガキ・黒色処理を施す。底部は回転ヘラ切り後、高台貼付、ロクロナデで馴染ませている。49は溝2埋土から出土した土師器高台皿である。ロクロ成形。口縁部外反。内外面ともロクロナデ整形で、内面は口縁部が横位、体部～底部は放射状ヘラミガキ調整・黒色処理を施す。内面底部の黒色処理が剥がれており、灯火具として利用した可能性もある。外面墨書「十万」(横位)。

SBE6 出土土器 (50・51)

50はPPE741埋土から出土した土師器小型甕である。ロクロ成形。内外面ともロクロナデ整形、底は回転糸切りで切り離している。51はPPC458ほかから出土した須恵器甕である。外面は口縁端部が上下方ヘシャープに摘みみ出される形状、頸部は平行叩き目(縦位)後にロクロナデ調整。肩部～体部上半は平行叩き目(縦位)が残る。内面は口縁部～頸部に当て具痕(見えず)後にロクロナデ調整。頸部と肩部には輪積み後にヘラナデで馴染ませた痕跡あり。肩部以下には放射状当て具痕(連稿文)が明瞭に残る。

SBE7 出土土器 (52)

52はPPE714埋土上位から出土した須恵器坏である。ロクロ成形。外面は体部下半に回転ヘラケズリ調整、内面はヘラミガキかが施される。底部は手持ちヘラケズリによる再調整。

SBE8 出土土器 (53～67)

53はPPE708埋土から出土した須恵器坏である。外面墨書「十万」(倒位)。54・55は溝1埋土から出土した須恵器坏である。54は体部下半に指ナデ痕あり。底径大きめ。55はロクロ成形。内外面ともロクロナデ整形、底部は回転糸切り無調整。56はPPE704埋土から出土した土師器坏である。ロクロ成形。内外面ともロクロナデ整形、外面は底周辺回転ヘラケズリ、内面は黒色処理後に横位ヘラミガキ調整(底は放射状)。57はPPE710埋土中位から出土した土師器坏である。ロクロ成形。外面はロクロナデ後、底付近に回転ヘラケズリを施している。内面は放射状ヘラミガキ調整・黒色処理。58～65は溝1から出土した土師器坏である。58はロクロ成形。内外面ともロクロナデ整形で、外面体部下半に手持ちヘラケズリ調整、内面は口縁部～体部上半横位ヘラミガキ後に体部下半～底は放射状ヘラミガキ調整・黒色処理。底部は回転糸切り後に手持ちヘラナデ再調整。外面墨書「□万」(正位)、「十万」の可能性高い。59はロクロ成形。外面はロクロナデ後、底付近に回転ヘラケズリを施している。内面は黒色処理後に横位・縦位ヘラミガキ調整。外面墨書種類不明。60はロクロ成形。内外面ともロクロナデ整形、外面は底周辺回転ヘラケズリ、内面は放射状ヘラミガキ調整で、口縁部は横位後、黒色処理。軟質で、外面摩滅顕著。61はロクロ成形。内外面ともロクロナデ整形、外面は底周辺回転ヘラケズリ調整。内面は口縁～体部が横位、底部は放射状ヘラミガキ調整・黒色処理。底部は回転ヘラ切り痕か。内面光沢剥がれており、調整痕不明瞭。62はロクロ成形。内外面ともロクロナデ整形、外面は体部下半に回転ヘラケズリ、内面は口縁～体部が横位、底部が放射状ヘラミガキ調整・黒色処理を施す。底部は手持ちヘラケズリ再調整。63はロクロ成形。内外面ともロクロナデ整形で、外面は底周辺回転ヘラケズリ調整。内面は口縁～体部は縦位後に横位、底部は放射状ヘラミガキ調整・

黒色処理。底部は回転糸切り後に手持ちヘラナデ再調整か。摩滅著しく、外面調整痕不明瞭。64はロクロ成形。有段坏。内外面ともロクロナデ整形、外面は段より下に斜位ハケメ調整。内面は底部は放射状、口縁～体部は横位ヘラミガキ調整・黒色処理。有段屈曲部に沈線あり。65は大型の坏でロクロ成形されている。外面は口縁部直線的な器形で、ロクロナデ整形、底周辺に回転ヘラケズリが施されている。内面はロクロナデ後に横位ヘラミガキ調整・黒色処理が加えられる。黒色処理は色落ち気味。底部は回転糸切り後、手持ちヘラケズリ再調整。66は溝1から出土した土師器小型鉢である。ロクロ成形。口縁部外反。内外面ともロクロナデ整形で、外面の体部下半に手持ちヘラケズリ調整。底部は回転糸もしくはヘラ切り後、手持ちヘラケズリ再調整を施している。67は溝1から出土した須恵器甕である。ロクロ成形か。口縁部は下方に強く擠み出される形状。内外面ともロクロナデ整形で、内面は口縁部～頸部にカキメ調整を施している。

SBE10 出土土器 (68)

68はPPC488埋土から出土した土師器坏である。ロクロ成形。内外面ともロクロナデ整形で、外面は底周辺手持ちヘラケズリ調整。内面は体部が横位・斜位、底部が放射状ヘラミガキ調整・黒色処理を施す。

SBE11 出土土器 (69・70)

69・70はいずれもPPC478埋土から出土した。69は土師器坏である。ロクロ成形。内外面ともロクロナデ整形で、内面は黒色処理・横位ヘラミガキを施している。外面墨書「十万」の「十」(正位)カ、二重に書き直している。70は土師器甕である。ロクロ成形。外面は体部下半に縦位ヘラケズリ後、上半に回転ヘラナデを施している。

SIA1 出土土器 (71～84)

71は北東側埋土から出土した須恵器坏である。ロクロ成形。内外面ともロクロナデ整形で、底部は回転糸切り無調整。底周辺に回転糸切りし直した痕跡が残る。72は埋土下位・遺物P1から出土した土師器坏である。ロクロ成形。口縁部外傾。内外面ともロクロナデ整形で、外面は底周辺手持ちヘラケズリ調整、内面は口縁部～体部が横位、体部～底部が放射状ヘラミガキ調整・黒色処理を施す。底部は回転ヘラカ糸切り痕(見えず)後に、手持ちヘラケズリ調整。外面の体部下半黒斑あり。風化顯著で摩滅気味。73は埋土下位・遺物P5・15から出土した土師器坏である。ロクロ成形。口縁部内湾。内外面ともロクロナデ整形で、外面は体部下半に手持ちヘラケズリ調整。内面は口縁部が横位、これ以下は放射状ヘラミガキ調整・黒色処理を施す。底部は回転糸切り後に手持ちヘラケズリ調整が加えられる。外面口縁部まで黒色処理がはみ出す。74は遺構南西側埋土、埋土下位・遺物P14から出土した土師器坏である。ロクロ成形。口縁部外傾。内外面ともロクロナデ整形で、外面は体部下半に回転ヘラケズリ調整、内面は口縁部は横位、それ以下は縦位+放射状ヘラミガキ調整・黒色処理を施す。底部は回転ヘラ切り無調整。75は遺構南西側埋土と2層から出土した土師器坏である。ロクロ成形。口縁部外反。内外面ともロクロナデ整形で、内面は口縁部が横位、体部～底部は放射状ヘラミガキ調整・黒色処理を施す。底部は回転糸切り無調整。外面口縁部に黒色処理はみ出る。外面体部に黒斑あり。76は埋土下位・遺物P2から出土した土師器高台坏である。ロクロ成形。口縁部外傾。内外面ともロクロナデ整形で、外面の体部下半に手持ちヘラケズリ調整、内面は横位ヘラミガキ調整・黒色処理を施す。底部は剥落しているが、きれいに剥がれていることから、高台が接着していたと想

定した。薄手。風化顕著で摩滅気味である。77は2層から出土した土師器高台坏である。ロクロ成形。口縁部外反。内外面ともロクロナデ整形で、内面は口縁部～体部が横位、体部～底部が放射状ヘラミガキ調整・黒色処理を施す。底部は回転ヘラ切り無調整と見られるが摩滅している。高台部欠損。軟質で摩滅・剥落顕著。78は埋土下位・遺物P4から出土した土師器高台皿である。ロクロ成形。口縁部外反。内外面ともロクロナデ整形、内面は横位ヘラミガキ調整に黒色処理を施している。底部は回転ヘラ切り後に高台貼付、ロクロナデ調整で馴染ませている。外面黒書「吊」(正位)もしくは記号カ。122・237・306と同一。「吊」は「弔」の俗字。79は埋土下位・遺物P9・14から出土した須恵器高台皿である。ロクロ成形。口縁部外反。内外面ともロクロナデ整形で、底部は回転ヘラ切り後に高台貼付、ロクロナデ調整で馴染ませている。内面が研磨されており、転用硯として使用された可能性がある。80は遺構南西側埋土・2層・埋土下位の遺物P10から出土した土師器高台皿である。ロクロ成形。内外面ともロクロナデ整形で、内面は横～縦位ヘラミガキ調整・黒色処理を施す。底部は回転ヘラ切り後に高台貼付、ロクロナデ調整と指頭痕で馴染ませている。外面口端が外側に巻き帰っており、高台貼付時に倒位した際の影響と見られる。81は埋土下位・遺物P5から出土した土師器高台皿である。ロクロ成形。内外面ともロクロナデ整形で、内面は底部に横位ヘラミガキ調整・黒色処理を施す。底部は回転ヘラ切り後に高台貼付、ロクロナデ調整で馴染ませているが、接着が雑である。焼成時に底部中央に割れが生じている。82は埋土下位・遺物P11から出土した土師器高台皿である。ロクロ成形。内外面ともロクロナデ整形で、横位ヘラミガキ調整・黒色処理を施す。底部は回転ヘラ切り後に高台貼付、ロクロナデ調整で馴染ませている。83は埋土下位・遺物P8から出土した土師器高台皿である。ロクロ成形。内外面ともロクロナデ整形で、内面は横位ヘラミガキ調整・黒色処理を施している。底部は回転糸切りもしくはヘラ切り後に高台貼付、ロクロナデ調整で馴染ませている。風化顕著で摩滅気味である。84は遺構南西側埋土・2層から出土した土師器鉢である。ロクロ成形。外面は体部下半に上から下方向の縦位ヘラケズリ調整、内面は横位ヘラミガキ調整・黒色処理を施す。

SIA2 出土土器 (85～90)

85は遺構北西側埋土から出土した土師器坏である。ロクロ成形。口縁部内湾。内外面ともロクロナデ整形で、外面は底周辺に回転ヘラケズリ調整、内面は横位ヘラミガキ調整・黒色処理を施す。底部は回転糸切り後に手持ちヘラケズリ調整。やや軟質で摩滅気味。86は遺構北西側埋土から出土した土師器坏である。ロクロ成形。内外面ともロクロナデ整形で、外面の底周辺手持ちヘラケズリ調整。内面は体部が横位、底部は放射状ヘラミガキ調整・黒色処理を施す。底部は回転ヘラ切り無調整と見られるが、風化顕著で摩滅している。87は遺構北西側埋土から出土した土師器坏である。ロクロ成形。やや厚手。内外面ともロクロナデ整形で、外面は体部下半に回転ヘラケズリ調整を施す。内面は口縁部～体部は横位、底部は放射状ヘラミガキ調整・黒色処理。底部は回転ヘラ切り無調整である。88は遺構北西側埋土から出土した土師器盤である。ロクロ成形。高台部の高さ5.7cm、底部との接着部分の径16.4cmくらい。内外面ともロクロナデ整形で、接着部分の破断面に高台貼付時の粘土が内面に0.4～0.8cm幅認められ、ロクロナデで馴染ませている。接着部分はほぼ水平、底径16.4cmであることから、大型の坏や鉢の可能性はあるが盤とした。89は遺構北西側埋土から出土した土師器小型甕である。ロクロ成形。内外面ともロクロナデ整形で、外面は体部下半にカキメ調整を施す。底部は回転糸切り無調整。外面の剥落顕著。90は遺構南東側埋土から出土した須恵器甕である。輪積み後ロクロ成形。口縁部は下方へ摘み出される形状。外面は斜位平行引き目後にロクロナデ調整、内面は当て具痕後(見えず)に体部は横位ヘラナデ、口縁部～頸部はロクロナデ整形で仕上げている。

SIA3 出土土器 (91)

91は北西御埋土から出土した須恵器甕である。輪積み成形。外面は縦位平行叩き目後に頸部はロクロナデ整形、内面は同心円状当て具痕後に頸部は横位ヘラナデが施されている。

SIB1 出土土器 (92～94)

92～94はいずれもP1土坑から出土した。92・93は土師器坏である。92はA31a・bを図上合成。ロクロ成形。口縁部外傾。内外面ともロクロナデ整形で、外面の体部下半に手持ちヘラケズリ調整、内面は横位ヘラミガキ調整・黒色処理を施す。外面墨書「閔」(正位)カ。やや厚手。93はロクロ成形。口縁部外反。内外面ともロクロナデ整形で、外面は体部下半に手持ちヘラケズリ調整を加えて、丸底風に整えている。内面は口縁部が横位、体部以下が放射状ヘラミガキ調整・黒色処理を施す。底部は回転糸切り無調整だが、糸切り時に底の厚さを薄くし過ぎて内面底が落ち窪んでいる。94は土師器小型甕である。ロクロ成形。焼成やや不良、胎土やや密。口縁端部上方に引き出される形状。内外面ともロクロナデ整形。外面に口縁から噴きこぼれたコゲ少量付着。

SIB2 出土土器 (95～105)

95～98はP1土坑からまとまって出土した。95は土器3の土師器坏である。ロクロ成形。口縁部外傾。内外面ともロクロナデ整形、黒色処理を施す。外面は横位、内面は口縁部～体部が横位～斜位、底部は放射状ヘラミガキ調整。底部は底周辺と底に手持ちヘラケズリ調整を行った後、ヘラミガキ調整・黒色処理を加えている。96は土器1・2の土師器坏である。ロクロ成形。口縁部外反。内外面ともロクロナデ整形で、外面は底周辺手持ちヘラケズリ調整。内面は口縁部が横位、体部が斜位、底部が放射状ヘラミガキ調整・黒色処理を施す。底部は回転糸切り後にヘラケズリ再調整。97は土器2・3の土師器坏である。ロクロ成形。口縁部外傾。内外面ともロクロナデ整形で、外面は口縁部が横位、体部～底部は斜位ヘラミガキ調整・黒色処理を施す。底部は回転糸切り無調整。外面体部下半に黒斑あり。風化顕著で摩滅気味。98は土師器坏である。ロクロ成形。口縁部外傾。内外面ともロクロナデ整形で、内面は口縁部が横位、体部～底部が放射状ヘラミガキ調整・黒色処理を施す。底部は回転糸切り無調整。手部に糸切りし直した痕跡あり。外面底部に黒斑あり。風化顕著で摩滅気味。99は焼土B1付近から出土した土師器坏である。大型の坏。ロクロ成形。口縁部外反。内外面ともロクロナデ整形で、内面は口縁部～体部が横位ヘラミガキ調整・黒色処理だが、体部以下は摩滅で方向不明。底部は切り難しは確認できず、手持ちヘラケズリ調整が施される。器形、特に口縁部に歪み大きい。風化顕著で摩滅気味である。100は焼土B1脇から出土した土師器坏である。ロクロ成形。口縁部外傾。内外面ともロクロナデ整形で、内面は口縁部が横位、体部～底部が放射状ヘラミガキ調整・黒色処理を施す。底部は回転糸切り無調整。回転糸切りは、回転台の速度が遅く切り難しが中央になる。内面底部中央に径2cmの円文あり、意図的もしくはロクロ時の痕跡か(122・242も同様)。これを中心に放射状ヘラミガキが施されている。101はカマド付近から出土した須恵器長頸甕である。輪積み成形。頸部径(8.8)cm。輪積み後に内外面ともロクロナデ整形。焼成良好、胎土やや密。102はP1土坑から出土した土器5の須恵器甕である。輪積み成形。外面は底周辺は横位、これより上は斜位ヘラケズリ調整。内面は横位ヘラナデ調整で、底部と輪積み部分をヘラで圧着させている。高台貼付後に、ヘラナデで馴染ませている。103はカマドから出土した土師器小型甕である。非ロクロ成形。外面は体部上半に下から上方向の縦位ヘラケズリ、体部下半は横位ヘラケズリ調整。内面は横位ヘラナデが施される。底部はヘラケズリ再調整が加えられている。104は焼土B1付近から出土した土師器小型甕

である。ロクロ成形。内外面ともロクロナデ整形で、外面の底周辺に手持ちヘラケズリ調整が施される。底部は回転糸切り無調整。内面口縁部と体部下半にコゲ少量附着。器厚が薄く、やや重さ感。105はP1土坑から出土した土師器長胴甕である。土器4・6。ロクロ成形。内外面ともロクロナデ整形で、外面は体部下半に縦位ヘラケズリ調整、内面は体部下半に縦位ヘラナデ調整を施す。外面体部上半にスス少量、内面口縁部と体部下半にコゲ少量附着。また、本遺構に先行して調査した焼土B1からは、230～232が出土している。230は焼土B1直上出土の須恵系a坏である。ロクロ成形。非黒色処理。口縁部外反。内外面ともロクロナデ整形で、底部は回転糸切り無調整。231は焼土B1付近の検出面から出土した土師器坏である。ロクロ成形。口縁部外傾。内外面ともロクロナデ整形で、内面は横位ヘラミガキ調整・黒色処理を施す。底部は回転糸切り無調整。外面口縁部に黒色処理のみ出る。薄手。風化顕著で摩滅気味である。232は焼土B1付近検出面出土の土師器小型甕である。輪積み成形の小型甕で、口縁部外反。外面は上から下方向の縦位ヘラケズリ調整、内面は横位ハケム調整を施す。底部に圧痕は認められない。内面体部下半にコゲ微量附着。

S1D1 出土土器（106～119）

106は床面直上・遺物P1から出土した土師器坏である。ロクロ成形。内外面ともロクロナデ整形で、内面は横位ヘラミガキ調整・黒色処理を施す。底部は回転糸切り無調整と見られるが摩滅著しい。内外面とも摩滅・剥落顕著。107は床面直上・遺物P3から出土した土師器坏である。ロクロ成形。内外面ともロクロナデ整形で、内面は口縁部が横位、体部以下は放射状ヘラミガキ調整・黒色処理を施す。底部は回転糸切り無調整。108は北東側埋土から出土した土師器坏である。ロクロ成形。内外面ともロクロナデ整形で、外面は底周辺回転ヘラケズリ調整、内面底部は放射状ヘラミガキ調整・黒色処理を施す。底部は回転ヘラか糸切り後に、手持ちヘラケズリ調整。109は南東側埋土から出土した土師器坏である。ロクロ成形。口縁部外反。内外面ともロクロナデ整形で、内面は口縁部～体部が横位、体部～底部が放射状ヘラミガキ調整・黒色処理を施す。底部は回転糸切り無調整。底径小さめ。外面底部などに黒斑あり。110は南東側埋土から出土した須恵系a坏である。ロクロ成形。非黒色処理。内外面ともロクロナデ整形で、底部は回転糸切り無調整。111は南東側埋土からの須恵系a坏である。ロクロ成形。非黒色処理。口縁部外反。内外面ともロクロナデ整形で、底部は回転糸切り無調整。底径小型化。112は床面直上・遺物P2から出土した須恵系b坏である。ロクロ成形。非黒色処理。口縁部外反。内外面ともロクロナデ整形で、底部は回転糸切り無調整。軟質で摩滅顕著。薄手。113は床面直上・遺物P3から出土した須恵系b坏である。遺物P4。ロクロ成形。非黒色処理。内外面ともロクロナデ整形で、外面の底周辺に手持ちヘラケズリ調整を施す。底部は回転糸切り無調整。軟質で摩滅顕著。114は床面直上・遺物P5から出土した須恵系b坏である。ロクロ成形。非黒色処理。内外面ともロクロナデ整形で、外面の底周辺手持ちヘラケズリ調整を施す。底部は回転糸切り無調整。軟質で摩滅顕著。115は埋土から出土した須恵系b坏である。ロクロ成形。非黒色処理。内外面ともロクロナデ整形、底部は回転糸切り無調整軟質で摩滅顕著。116は遺構南東側埋土から出土した須恵系b坏である。ロクロ成形。非黒色処理。口縁部外反。内外面ともロクロナデ整形、底部は摩滅しているが回転糸切り無調整。軟質で摩滅顕著。117は遺構南東側埋土から出土した須恵系b坏である。ロクロ成形。非黒色処理。内外面ともロクロナデ整形で、底部は回転糸切り無調整。糸切りし直した痕跡あり。118は埋土から出土した須恵系b高台坏である。ロクロ成形。非黒色処理。内外面ともロクロナデ整形で、底部は欠損のため不明。高台部の接着部分に隙間がありやや雑な造りである。軟質で摩滅顕著。119は遺構南西側埋土から出土した土師器長胴甕である。ロクロ成形。内外面ともロク

ロナデ整形で、外面は体部以下から上方向の縦位ヘラケズリ調整、内面は体部上半が縦位、体部下半は横位ヘラナデが施される。

SKB1 出土土器 (120～131)

120～122は埋土から出土した土師器坏である。120は埋土・土器5で、ロクロ成形。口縁部外反。内外面ともロクロロナデ整形で、外面は底周辺手持ちヘラケズリ調整。内面は口縁部が横位、体部以下が放射状ヘラミガキ調整・黒色処理を施す。底部は回転糸切り後、手持ちヘラケズリ調整。外面底部に黒斑あり。121はロクロ成形。口縁部外傾。内外面ともロクロロナデ整形で、外面は体部下半に手持ちヘラケズリ調整、内面は口縁部～体部は横位、底部は放射状ヘラミガキ調整・黒色処理を施す。底部は回転ヘラか糸切り痕後に手持ちヘラケズリ調整。切り離し後に左手で持ち上げた際に付いた指頭痕と、その際の歪みが口縁部に残る。122はロクロ成形。口縁部外傾。内外面ともロクロロナデ整形で、外面は底周辺手持ちヘラケズリ調整、内面は体部～底部が放射状の後に口縁部を横位ヘラミガキ調整・黒色処理が施される。底部は回転糸切り無調整。内面底部に、意図的もしくは回転台で底部を広げる際に押し当てた指頭痕の窪みが残る(100・242も同様)。外面墨書「吊る」(正位)もしくは記号カ、78・237・306と同一。「吊」は「帛」の俗字。内外面口縁部に油煙の付着あり、灯明具として使用された可能性あり。外面底部に黒斑あり。123・124は埋土・To-a 下位層から出土した須恵系a坏である。123は土器1で、ロクロ成形。非黒色処理。口縁部内湾。内外面ともロクロロナデ整形で、底部は回転糸切り無調整。底径小型化。124はロクロ成形。非黒色処理。口縁部外反。内外面ともロクロロナデ整形で、底部は回転糸切り無調整。やや軟質で摩擦・剥落気味。125は埋土出土の須恵系b坏である。ロクロ成形。非黒色処理。口縁部外反。内外面ともロクロロナデ整形で、底部は回転糸切り無調整。底径小型化。外面に黒斑あり。126は埋土出土の須恵系b坏である。ロクロ成形。非黒色処理。口縁部外反。内外面ともロクロロナデ整形で、底部は回転糸切り無調整。粘土の乾燥か回転糸切り時に粘土が剥がれている。底径小型化。口縁端部に油煙の痕跡があり、灯明として使用されたか。127は埋土・To-a 下位層から出土した須恵系b坏である。土器1。ロクロ成形。非黒色処理。口縁部外反。内外面ともロクロロナデ整形で、底部は回転糸切り無調整。底部は糸切りし直した痕跡あり、ヘラナデで修正している。やや軟質で摩擦気味。128は埋土・To-a 下位層から出土した須恵系b坏である。ロクロ成形。非黒色処理。口縁部外反。内外面ともロクロロナデ整形で、底部は回転糸切り無調整。やや厚手。129は埋土・To-a 下位層から出土した須恵系b坏である。土器5。ロクロ成形。非黒色処理。口縁部外反。内外面ともロクロロナデ整形で、底部は回転糸切り無調整。やや軟質で摩擦気味。130はTo-a 下位層から出土した土師器甕である。ロクロ成形。口縁端部上方に引き出される形状。内外面ともロクロロナデ整形。131は埋土から出土した土師器長胴甕である。土器3・4。ロクロ成形。内外面ともロクロロナデ整形で、外面の体部中央～下半に下から上・上から下方向の縦位ヘラケズリ調整を施す。外面口縁部に噴きこぼれたコゲ少量、内面の頭部以下にコゲ多量付着。

SKC3 出土土器 (132)

132は埋土から出土した須恵器坏である。ロクロ成形。内外面ともロクロロナデ整形で、底部は回転糸切り無調整。外面墨書「十万」(正位)の「万」カ。

SKC10 出土土器 (252・253)

252・253はSKC10南側埋土出土。252は土師器坏である。ロクロ成形。口縁部外反。内外面とも

ロクロナデ整形で、外面は回転ヘラケズリの可能性もあるが風化顕著で見えず、横位ヘラナデとした。内面は口縁部が横位、体部以下は放射状ヘラミガキ調整・黒色処理。底部は回転糸切り後、手持ちヘラナデ再調整(ヘラケズリの可能性あり)。外面の風化が著しい。253は土師器坏である。ロクロ成形。内外面ともロクロナデ整形で、外面体部下半は手持ちヘラケズリ調整。内面は放射状ヘラミガキ調整・黒色処理。底部は回転糸もしくはヘラ切り後にヘラケズリ再調整を施す。やや厚手でずっしりした質感。

SKD3 出土土器 (133)

133は埋土から出土した土師器坏である。ロクロ成形。口縁部外反。内外面ともロクロナデ整形で、外面は体部下半に回転ヘラケズリ調整、内面は口縁部～体部が横位、底部が放射状ヘラミガキ調整・黒色処理を施す。底部は回転糸切り無調整。外面口縁部まで黒色処理はみ出る。外面底部に黒斑あり。

SKE7 出土土器 (134～137)

134～137はいずれも埋土上位から出土しており、本遺構に流入した遺物の可能性がある。134は須恵器坏である。ロクロ成形。内外面ともロクロナデ整形で、底部は回転糸切り無調整。焼きが弱く軟質で、全体に摩滅している。焼成不良で生焼けか。135は須恵器坏である。ロクロ成形。内外面ともロクロナデ整形で、底部は回転糸切り無調整。口縁部外面が1cm程変色しており、重ね焼きの痕跡と見られる。内面に火だすき痕あり。136は土師器坏である。ロクロ成形。内外面ともロクロナデ整形で、内面は口縁部～体部が横位、底部が放射状ヘラミガキ調整・黒色処理を施す。底部は回転糸切りで切り離しており、切断に用いた単節R縄圧痕が認められる。137は土師器高台皿か坏である。ロクロ成形。内外面ともロクロナデ整形、内面は放射状ヘラミガキ・黒色処理を施す。底部は回転糸切り後に高台貼付、ロクロナデで馴染ませている。

SKE9 出土土器 (138～140)

138・139は埋土出土の須恵器坏である。138はロクロ成形。口縁部外傾。内外面ともロクロナデ整形。外面墨書「十万」(正位)カ。139はロクロ成形。口縁部外反。内外面ともロクロナデ整形で、底部は回転糸切り無調整。底面回転糸切り痕は、回転が緩いために切り離しが中心に来ている。140は埋土出土の土師器坏である。ロクロ成形。内外面ともロクロナデ整形で、外面の体部下半に回転ヘラケズリ、内面は放射状ヘラミガキ調整・黒色処理。底部は回転ヘラ切り無調整。外面墨書「□万」の「万」(正位)カ。

SDB1 出土土器 (141～144)

SDB1は中世末の堀だが、平安時代の遺構を切っているため埋土から土器が出土している。141は埋土出土の須恵器坏である。ロクロ成形。内外面ともロクロナデ整形。口縁部外面が約1cm変色しており、重ね焼きの痕跡と見られる。142は埋土出土の須恵器長頸瓶である。ロクロ成形。内外面ともロクロナデ整形で、外面は体部下半に回転ヘラケズリを施す。底部は回転ヘラ切り後に高台貼付、ロクロナデ整形で、馴染ませている。内面底部に自然軸付着。143は埋土出土の須恵器甕である。輪積み成形。外面は輪積み後縦～斜位平行叩き目、頸部は横位ヘラナデ後に沈線(文様か)。内面頸部は横位ヘラナデ。144は土壘基底部(ⅡB6h)Ⅲ層下位黒褐色土から出土した須恵器高台坏である。ロクロ成形。内外面ともロクロナデ整形で、底部は回転糸切り無調整。回転糸切り後に高台を貼り付け

ており、高台内にヘラナデで馴染ませている。

SDB2 出土土器 (145)

145 は埋土下位出土の土師器高台皿か坏である。ロクロ成形。内外面ともロクロナデ整形で、内面はヘラミガキ（見えず）・黒色処理を施す。底部は回転糸もしくはヘラ切り後に高台貼付、高台内はヘラナデで丁寧に馴染ませている。

SDB3 出土土器 (146)

146 は埋土出土の須恵器甕である。輪積み成形。外面は縦～斜位平行叩き目後にロクロナデ整形で、頸部ロクロナデ、肩部は縦～斜位平行叩き目を施す。内面は頸部がロクロナデ整形後に指で整えた痕跡あり。肩部は横位ヘラナデ調整を施している。内外面自然袖付着（外面は風化で剥がれている）。

SDB4 出土土器 (147・148)

147 は埋土出土の須恵系 a 坏である。ロクロ成形。非黒色処理。内外面ともロクロナデ整形、底部は回転糸切り無調整。風化顕著で剥落気味。148 は埋土出土の須恵器甕である。外面は縦～斜位平行叩き目後に横位ヘラナデ、内面は当て具痕後に横位ヘラナデを施している。

SDE1・2・3 合流部出土土器 (149)

149 は埋土出土の須恵器甕である。輪積み成形。口縁端部は上方へ弱く摘まみ出される形状。頸部は縦位平行叩き目後にロクロナデ調整を施している。内面はロクロナデ調整で、当て具痕はなで消されている。輪積み痕と見られる箇所あり。

SDE2 出土土器 (150・151)

150 は埋土（Ⅲ B2g）・遺物集中 1 出土の須恵器甕である。輪積み成形。口縁端部は上下方へシャープに摘まみ出される形状。外面の頸部～肩部は平行叩き目後にロクロナデ調整、内面は当て具痕後に（見えず）、ロクロナデ・ヘラナデ調整で仕上げています。151 は埋土（Ⅲ B1r）出土の須恵器甕である。ロクロ成形。口縁端部は上方と外側へ摘まみ出される形状。内外面ともロクロナデ整形で、外面は焼成不足か赤みがかったり。

SDE3 出土土器 (152)

152 は埋土（Ⅲ B4s 付近）出土の須恵器甕である。輪積み成形。外面は輪積み後に平行叩き目、縦位ヘラケズリ調整を施している。内面は自然袖（灰被り）で荒れているが、当て具痕・調整が入っていると見られる。底面は剥落。内外面自然袖。

SXA1 出土土器 (153～156)

153 は 2 層出土の土師器坏である。ロクロ成形。口縁部外傾。内外面ともロクロナデ整形で、外面の底周辺回転ヘラケズリ調整、内面は横位ヘラミガキ調整・黒色処理を施す。底部は回転ヘラ切り無調整。風化顕著で摩擦気味である。154 は 2 層出土の土師器鉢である。輪積み成形。直線的に開く器形か。外面は体部下半縦位ヘラケズリ調整、内面は横位ハケメ調整を施す。底部は網代痕か粗い組み物圧痕が残る。底部外周は外側へ張り出すように粘土が貼り付けられている。多賀城研 1978 に類例、

播り鉢の可能性あり。155は2層出土の須恵器甕である。ロクロ成形。内外面ともロクロナデ整形で、内面には横位ヘラナデを施す。外面スス付着か。156は床面直上出土の土師器・甕である。輪積み成形。外面は体部下半に下から上もしくは上から下方向の縦位ヘラケズリ、内面は横位、一部縦位ハケメ調整を施す。底部は手持ちヘラケズリが加えられている。

SXA2 出土土器 (157～160)

157は1層下面出土の土師器高台皿である。ロクロ成形。内外面ともロクロナデ整形で、内面底部に放射状ヘラミガキ調整・黒色処理を施す。底部は回転ヘラ切り後に高台貼付、中央から棒状工具で放射状に粘土を集めた後に指頭痕(爪痕残る)とロクロナデで馴染ませている。外面墨書「十万」の「万」(正位)カ。158は東側埋土出土の須恵系a高台皿である。ロクロ成形。非黒色処理。内外面ともロクロナデ整形で、底部は回転ヘラ切り後に高台貼付、ロクロナデ調整で馴染ませている。やや軟質で摩滅気味。159は東側埋土出土の須恵系a小型坏である。ロクロ成形。口縁部外反。内外面ともロクロナデ整形で、底部は回転糸切り無調整。軟質で摩滅気味。10世紀後半か。160は東側埋土出土の土師器鉢である。ロクロ成形。内外面ともロクロナデ整形で、内面底は放射状ヘラミガキ調整・黒色処理を施す。底部は回転糸切りで、同心円状に中央で切り離している。胎土が粗く、1～3mm大の小礫を多く含む。

SXA3 出土土器 (161)

161は埋土出土の須恵系a坏である。ロクロ成形。非黒色処理。内外面ともロクロナデ整形で、底部は回転糸切り無調整。

SXB1 出土土器 (162～167)

162は埋土出土の土師器坏である。ロクロ成形。内外面ともロクロナデ整形で、内面は体部～底部が放射状ヘラミガキ調整・黒色処理を施す。底部は回転糸切り無調整。外面の体部～底部にかけて黒斑あり。163は埋土出土の須恵系a坏である。ロクロ成形。非黒色処理。内外面ともロクロナデ整形で、底部は基本的に回転糸切り無調整だが、ヘラで凹凸を均した痕跡あり。164はSXB1d埋土出土の須恵系b坏である。ロクロ成形。非黒色処理。内外面ともロクロナデ整形で、底部は回転糸切り無調整。外面底周辺に糸切りし直した痕跡あり。軟質で摩滅顕著。165はSXB1b埋土出土の土師器鉢である。ロクロ成形。内外面ともロクロナデ整形で、外面は体部下半は縦位、底周辺は横位ヘラケズリ調整。内面は横位ヘラミガキ調整・黒色処理を施す。底部はヘラケズリ再調整。風化顕著で摩滅気味である。166は埋土出土の須恵系b皿かである。ロクロ成形。非黒色処理。内外面ともロクロナデ整形で、底部は回転糸切り無調整。糸切り時に底の厚さを薄く切りすぎ内面底中央が落ち窪んでいる。内面に油煙が多量付着しており、灯明具として使用された可能性あり。やや軟質で摩滅気味。167は埋土(礫の上)出土の土師器長胴甕である。ロクロ成形。内外面ともロクロナデ整形で、外面は体部に下から上方向の縦位ヘラケズリ調整、内面は横位ヘラナデを施す。

SXB1・SDB4 出土土器 (168)

168はSXB1とSDB4などから出土した須恵器大甕である。A342a・b・cの3破片に分かれ、同一個体を図上で復元。大型の甕。輪積み成形。口縁端部は外反しながら、下方へ摘まみ出される形状。外面は縦～斜位平行叩き目後に、頸部のみヨコナデ調整を施す。内面は当て具痕後(見えず)に横位

ヘラナデで丁寧にナデ消している。底部は丸底風で平坦面なしだが、器厚がやや厚くなる。

SXB6 出土土器 (169)

169の須恵系b・高台坏である。大型の高台坏。ロクロ成形。非黒色処理。内外面ともロクロナデ整形。底部は回転ヘラ切り後に高台貼付、ロクロナデ調整で馴染ませている。厚手。

SXB7 出土土器 (170)

170は埋土出土の須恵器高台皿である。ロクロ成形。内外面ともロクロナデ整形で、底部は回転糸切り後に高台貼付、ロクロナデ調整で馴染ませている。内面に墨痕あり。転用硯として利用か。

SXC1 出土土器 (171～178)

171はベルトE埋土の土師器坏である。ロクロ成形。内外面ともロクロナデ整形で、内面は横位ヘラミガキ・黒色処理が施される。外面墨書文字種不明。172は底面・土器2出土の土師器坏である。ロクロ成形。外面はロクロナデ後、底付近に回転ヘラケズリを施している。内面は横位ヘラミガキ調整・黒色処理。外面墨書「十万」(正位)カ、口縁部直線的。173は底面・土器3の土師器坏である。ロクロ成形。内外面ともロクロナデ整形で、外面は底周辺に回転ヘラケズリ調整を施している。内面は横位ヘラミガキ調整・黒色処理。底部は回転ヘラ切りで切り離している。174はベルトS埋土出土の土師器坏である。ロクロ成形。口縁部外反。内外面ともロクロナデ整形で、内面は口縁～体部は概ね横位、底部は放射状ヘラミガキ調整・黒色処理を施す。底部は回転糸切りで切り離しており、底を切り直した痕跡あり。175は埋土上位出土の土師器坏である。ロクロ成形。外面はロクロナデ、内面は横位ヘラミガキ調整・黒色処理。176は埋土上位出土の須恵系b坏である。ロクロ成形。非黒色処理。口縁部が外反する器形で、内外面ともロクロナデ整形である。薄手の上、軟質で全体に摩滅している。177は埋土中位・土器1出土の土師器高台皿である。ロクロ成形。外面はロクロナデ、高台貼付時の指ナデ。内面は横位・斜位ヘラミガキ調整・黒色処理。底はナデ消されているがおそらく回転糸切り痕で、高台を貼り付けている。口縁部外反。178は埋土上位出土の土師器盤である。高台高8.4cmで、八字状に大きく広がる。輪積み後、ロクロ成形。内外面ともロクロナデ整形で、底部は欠いているが高台はロクロナデで厚手に作られている。口径は24cm以上。

SXC2 出土土器 (179～212)

179～186は須恵器坏である。179は埋土上位出土で、ロクロ成形。口縁部外反。内外面ともロクロナデ整形。外面墨書「加」(正位)。180は埋土・埋土上位出土で、ロクロ成形。口縁部外傾。内外面ともロクロナデ整形で、底部は回転糸切り無調整。外面墨書「十万」(正位)。底面焼成前刻書「一」(記号)もしくはヘラ痕か。181は検出面・埋土で、ロクロ成形。内外面ともロクロナデ整形で、底部は回転糸切り無調整。外面墨書「十万」(正位)の「万」カ。並列して書いているか。内外面に火だすき痕あり。182は埋土出土で、ロクロ成形。口縁部外傾。内外面ともロクロナデ整形。外面墨書「十万」(正位)カ。183はベルトE埋土上位出土。ロクロ成形、内外面ともロクロナデ整形で、底部は回転糸切り無調整。外面墨書「十万」(正位)の「万」カ。184は埋土出土。ロクロ成形、内外面ともロクロナデ整形で、外面底部周辺に回転ヘラケズリを施す。底部は回転ヘラ切りで切り離している。185は遺構北東側埋土上位。ロクロ成形で、口縁部外反。内外面ともロクロナデ整形で、底部は回転糸切り無調整。外面下半に回転糸切り時の縄痕跡あり(撚りL)。やや厚手。186はベルトN埋

土上位出土。ロクロ成形、内外面ともロクロナデ整形で、底部は回転糸切り無調整。内外面に火だすき痕あり。187～200は土師器坏である。187はベルトE埋土上位出土。ロクロ成形、内外面ともロクロナデ整形で、外面は体部下半に回転ヘラケズリ、内面は横位ヘラミガキ調整・黒色処理。外面墨書「二□」（正位）もしくは部首がにすいの一字カ。188はベルトE埋土出土。ロクロ成形、内外面ともロクロナデ整形で、内面は黒色処理・横位ヘラミガキを施している。外面墨書「十万」（正位）カ。189は遺構北西側埋土出土。ロクロ成形、内外面ともロクロナデ整形、外面は体部下半に回転ヘラケズリを施している。内面は放射状ヘラミガキ調整・黒色処理。底部は小破片で見づらいが回転糸切り痕と思われ、手持ちヘラケズリ再調整を加えている。外面墨書「十万」の「万」（正位）カ、並列して種類不明の墨書あり。190は遺構北側埋土出土。ロクロ成形、口縁部外傾。外面は回転ヘラケズリ後、口縁部～体部上半にかけて横位・斜位宛ヘラミガキを施している。内面は横位・斜位ヘラミガキ調整・黒色処理。外面墨書「十万」（正位）。191はベルトN埋土上位出土。ロクロ成形、内外面ともロクロナデ整形で、内面は横位ヘラミガキ調整・黒色処理。外面墨書文字種不明。192は埋土出土。ロクロ成形、内外面ともロクロナデ整形で、外面は底周辺のみ回転ヘラケズリを施して底径を調整している。内面は横位ヘラミガキ・黒色処理を施している。底部は回転ヘラ切りで切り離している。外面墨書「十万」（正位）と「十」（正位）を並列している。193は埋土・埋土上位出土。ロクロ成形、内外面ともロクロナデ整形で、外面の底周辺回転ヘラケズリ調整。内面は口縁部～体部が横位、底部が放射状ヘラミガキ調整・黒色処理を施す。底部は回転糸もしくはヘラ切り後に手持ちヘラケズリ再調整を加えているか。外面墨書「十万」（倒位）。194はベルトW埋土上位出土。ロクロ成形、内外面ともロクロナデ整形、外面は体部下半に手持ちヘラケズリ調整。内面底付近は横位ヘラミガキ調整・黒色処理を施す。底部は回転糸切り無調整。外面墨書「十万」の「万」（正位）カ。195は埋土出土。小型の坏、ロクロ成形。口縁部直線的。内外面ともロクロナデ整形で、外面の体部下半に弱いカキメ調整。内面は横位ヘラミガキ調整・黒色処理。底部は回転ヘラ切りで切り離している。外面墨書「十万」（正位）。内面の光沢残る。196は検出面・埋土上位・埋土出土。ロクロ成形、内外面ともロクロナデ整形で、外面体部下半は手持ちヘラケズリ調整。内面は放射状ヘラミガキ調整・黒色処理。やや厚手ですっぱりした質感。197は埋土上位・埋土出土。ロクロ成形、外面はロクロナデ後、体部下半に回転ヘラケズリを施している。内面はロクロナデ後に横位ヘラミガキ調整・黒色処理。底は回転ヘラ切りで切り離している。198は北西側埋土出土。小振りな坏でロクロ成形、内外面ともロクロナデ整形、外面は体部下半に回転ヘラケズリ、内面は底部が放射状、体部は横位ヘラミガキ調整・黒色処理を施す。底部は手持ちヘラケズリ再調整。199は南東側埋土出土。小振りな坏でロクロ成形、内外面ともロクロナデ整形、外面は底周辺に回転ヘラケズリ、内面は横位ヘラミガキ調整・黒色処理を施す。底部は回転ヘラ切り無調整。内面黒色光沢残る。200は北東側埋土上位出土。ロクロ成形、底部小型化。外面は摩滅しており、底部の回転糸切り痕も僅かに残る。201・202は土師器高台皿である。201はロクロ成形、口縁部外反。内外面ともロクロナデ整形、内面は横位・放射状ヘラミガキ調整に黒色処理を施している。202はロクロ成形、口縁部外反。内外面ともロクロナデ整形で、内面は横位・縦位ヘラミガキ・黒色処理を施している。外面墨書「□万」（倒位）カ。203は北側検出面・遺構北東側埋土上位出土の須恵器・短頸瓶である。輪積み後、ロクロ成形。内面もロクロナデだが、肩部から上部は器厚が厚く、輪積み後にロクロナデを施している。外面上半と内面口縁付近に自然釉。体部中央径〈20.2〉cm。204～206は土師器鉢である。204は埋土出土。ロクロ成形で口縁端部は上下方へ摘まみ出される形状。内外面ともロクロナデ整形で、外面はロクロナデ後にカキメ調整を施して、ロクロの高い部分を均している。内面はロクロナデ整形後、横位ヘラミガキ・黒色処理を施している。206と

同一個体か。205は検出面出土。ロクロ成形で外面はロクロナデ、内面はロクロナデ、横位ヘラミガキ調整・黒色処理を施している。206は検出面出土。最大径(22.8)cm、外面はロクロナデ後にカキメ調整を施して、ロクロの高い部分を均している。内面はロクロナデ整形後、横位ヘラミガキ(底部付近は放射状)・黒色処理を施している。底部は回転糸切り後、ヘラケズリ再調整と見られる。外面体部下半墨書か文字種不明。204と同一個体か。207・208は須恵器鉢である。207は輪積み成形、口縁端部は上下方へ弱く摘み出される形状。外面は輪積み後、頸部～体部下半に縦位ヘラケズリで整形を行っている。内面は全体に縦位ハケメ調整を施した後、ロクロナデ整形を施している。底付近に一部ハケメが残る。底はヘラナデ調整を施している。208は輪積み成形、口縁端部は上方へ摘み出される形状。外面は輪積み後平行叩き目(縦位)、ロクロナデ調整、体部下半に縦位ヘラケズリを施す。内面は輪積み後当て具痕(見えず)、ロクロナデ調整。209～211は須恵器甕である。209はロクロ成形か、口縁端部は上方へ弱く摘み出される形状。外面はカキメ調整が施される。破断面に漆が付着しており、補修した可能性がある。210は輪積み成形、頸部は縦位平行叩き目後にロクロナデでなで消した頸部を横位沈線で区画し、5条1束の櫛搔波状文を1段のみ施す。自然軸付着。内面は当て具痕(見えず)からロクロナデ整形している。211は輪積み成形、外面は輪積み後に斜位平行叩き目、頸部周りにロクロナデを施す。内面は当て具痕(見えず)からロクロナデを加えている。体部は縦位ヘラケズリ調整か。212は須恵器大甕である。輪積み成形。口縁端部は上方へ摘み出される形状。外面頸部はロクロナデ、体部には縦位平行叩き目後に横位ハケメ調整を残す。内面体部は、輪積み後に同心円状の当て具痕が残り、頸部はロクロナデで整形している。

SXD1 出土土器 (213・214)

213は床面直上・遺物P1出土の須恵系b坏である。ロクロ成形、非黒色処理。口縁部外反、内外面ともロクロナデ整形で、外面の底周辺手持ちヘラケズリ調整。底部は回転糸切り後、部分的に手持ちヘラケズリ調整を施している。軟質で摩滅顕著。214は床面直上・埋土、遺物P2出土の須恵系b坏である。ロクロ成形、非黒色処理。口縁部外反、内外面ともロクロナデ整形で、底部は回転糸切り無調整。軟質で摩滅顕著。薄手。

SXD2 出土土器 (215～218)

215はベルト埋土出土の土師器高台坏である。ロクロ成形。内外面ともロクロナデ整形で、内面はヘラミガキ調整・黒色処理を施す。底部は回転ヘラ切り後に高台貼付、ロクロナデ整形で馴染ませている。底部に初圧痕か3箇所あり。216～218は埋土出土の須恵器甕である。216は輪積み成形。焼成良好、胎土密。内外面ともロクロナデ整形で仕上げている。内外面自然軸付着(外面は鉄軸様)。217は輪積み成形。外面は縦位平行叩き目後にロクロナデ整形、底周辺のみ回転ヘラケズリを施す。内面は当て具痕後(見えず)に縦位ヘラナデで仕上げている。底部無調整。218は輪積み成形。焼成やや良好、胎土やや密。外面は横～斜位ヘラケズリ後に底周辺は横位、これより上は斜位平行叩き目を施す。内面は当て具痕は見えず、横位ヘラナデを施している。底部は成形後にヘラケズリ調整。内外面自然軸の光沢あり。

SXE1 出土土器 (219)

219は底面の砂礫層中出土の須恵器大甕である。器厚が2.5cmあることから、大型の甕と見られる。外面は斜位平行叩き目、内面は放射状当て具痕(蓮藕文)後にナデ消しているか。内外面に自然軸付着。

SX E4 出土土器 (220～228)

220～222は土師器坏である。220は遺構西側埋土出土。ロクロ成形、口縁部外反。内外面ともロクロナデ整形で、外面は底周辺に回転ヘラケズリを施す。内面は横位ヘラミガキ調整・黒色処理。底部は回転ヘラ切り後に、ヘラケズリ再調整を行っている。221は遺構北東側埋土・ベルトN埋土上位出土。大きめの坏で、ロクロ成形。口縁部直線的。内外面ともロクロナデ整形、外面の底周辺回転ヘラケズリ調整。内面は横位ヘラミガキ調整・黒色処理を施す。底部は回転糸切り無調整。222は遺構北西側埋土出土。ロクロ成形。回転糸切りで1度切り離したが、底の厚さが不足していたため、再度ロクロ台に載せて底を切り直した痕跡あり。切り離し後にヘラナデで馴染ませている。口縁部内湾。223はベルトW埋土上位出土の土師器高台皿か坏である。ロクロ成形。おそらく内外面ともロクロナデ整形で、外面は横位ヘラミガキ調整・黒色処理を施す。内面は剥落のため残存せず。底部は回転糸もしくはヘラ切り後に高台貼付、放射状ヘラナデとロクロナデで馴染ませている。224は遺構北東側埋土・ベルトN埋土上位出土の須恵器長頸瓶である。輪積み成形。最大径(20.4)cm。外面は輪積み後、回転ヘラケズリ・ナデを行い、体部下半は上から下方向に縦位ケズリで整形している。内面は輪積み・当て具痕を整えるため、ロクロナデを施している。中央に空いた孔は胎土に混入した小礫が抜け落ちたもので意図的ではないだろう。外面肩部に灰被り痕あり。225はベルトN埋土上位出土の土師器鉢である。ロクロ成形。内外面ともロクロナデ整形で、内面底は放射状ヘラミガキ調整・黒色処理を施す。底部は回転糸切り後に高台貼付、ロクロナデで馴染ませている。226は遺構南西側埋土出土の土師器鉢である。最大径(20.0)cm。内外面ともロクロナデ整形後にカキメ調整を施し、内面は縦位ヘラミガキ・黒色処理を加えている。227は遺構北西側埋土出土の土師器長胴甕である。輪積み成形。外面は口縁部突帯状。輪積み後に平行叩き目(斜位)、ロクロナデ整形を施す。内面はなで消されているが当て具痕、ロクロナデ整形の上、粗い縦位ヘラナデで仕上げている。外面頸部付近スス少量付着。228はベルトW埋土上位出土の土師器長胴甕である。輪積み成形。外面は輪積み後に平行叩き目(斜位)、縦位ヘラケズリ調整(下から上方向)を施す。内面はなで消されているが当て具痕、縦位ヘラナデで仕上げている。胎土粗く、1～5mm大の小礫多く含む。

SX E5 出土土器 (229)

229は埋土上位出土の土師器長胴甕である。ロクロ成形。内外面ともロクロナデのみと見られるが、風化著しく不明瞭。

柱穴状ビット出土土器 (233～251)

233はPPA25埋土出土の須恵系a坏である。ロクロ成形。非黒色処理。内外面ともロクロナデ整形で、底部は回転糸切り無調整。やや厚手で、胎土に2～5mm大の小礫多く含む。内面は5YR7/8 橙色。

234・235はPPB32埋土出土の土師器坏である。234はロクロ成形。口縁部外傾。内外面ともロクロナデ整形で、外面の底周辺手持ちヘラケズリ調整。内面は横位ヘラミガキ調整・黒色処理を施す。底部は回転糸切り無調整だが、底周辺への調整によって楕円形気味である。底面刻書「一」もしくは偶発的に残ったか。235はロクロ成形。口縁部外傾。内外面ともロクロナデ整形で、外面は体部下半に手持ちヘラケズリ調整、内面は横位ヘラミガキ調整・黒色処理を施す。底部は回転ヘラか糸切り痕後に手持ちヘラケズリ調整。外面底部と体部下半に黒斑あり。

236はPPB32埋土出土の土師器坏である。ロクロ成形。口縁部外反。内外面ともロクロナデ整形で、外面の底周辺手持ちヘラケズリ調整、内面は横位ヘラミガキ調整・黒色処理を施す。底部は回転糸切

り後（見えず）、手持ちヘラケズリ調整を施す。

237～239はPPA37埋土出土。237は須恵器坏で、ロクロ成形。口縁部外反。内外面ともロクロナデ整形で、外面に火だすき痕が認められる。底部は回転糸切り無調整。外面墨書「吊」（正位）もしくは記号カ、78・122・306と同一。「吊」は「甲」の俗字。238は須恵器高台皿である。ロクロ成形。口縁部外反。内外面ともロクロナデ整形。内面が研磨されていること、一部墨の付着が認められることから、転用碗として用いられた可能性がある。239は須恵器寛である。ロクロ成形。口縁端部は上下方へ摘まみ出される形状。内外面ともロクロナデ整形。

240はPPB99・340埋土出土の土師器坏である。ロクロ成形。口縁部外反。内外面ともロクロナデ整形で、外面の口縁部に段状の窪み、内面は横位ヘラミガキ調整・黒色処理を施す。外面口縁部に1cm幅で黒色処理はみ出す。

241はPPB40埋土出土の須恵系a坏である。ロクロ成形。非黒色処理。内外面ともロクロナデ整形で、底部は回転糸切り無調整。やや軟質で摩滅気味。

242はPPB340埋土・土器1出土の土師器坏である。ロクロ成形。口縁部外傾。内外面ともロクロナデ整形で、内面は口縁部～体部は横位、底部は放射状ヘラミガキ調整・黒色処理を施す。底部は回転糸切り無調整。内面底部に、意図的もしくは回転台で底部を拡げる際に押し当てた指頭痕の窪みが残る（100・122も同様）。ロクロ目が深く、内面にミガキ残しあり。

243はPPC267埋土出土の須恵器長頸瓶である。ロクロ成形。口縁端部は上下方ヘシャープに摘まみ出される形状。内外面とも器壁を薄くするため、カキメ調整が施されている。

244・245はPPC808埋土・埋土上位出土。244は須恵器長頸瓶である。ロクロ成形。口縁部外反。内外面ともロクロナデ整形。口縁部内面に自然軸（灰被り）。内面は轆轤後にユビナデを施している。245は須恵器長頸瓶である。外面は斜位平行叩き目後にロクロナデ調整、内面は当て具痕は見えず、ロクロナデで整えている。高台貼付後にロクロナデで馴染ませている。外面自然軸付着。

246はPPD34埋土出土の土師器坏である。ロクロ成形。内外面ともロクロナデ整形で、外面は底周辺手持ちヘラケズリ調整。内面は横位ヘラミガキ調整・黒色処理を施す。底部は手持ちヘラケズリ調整が丁寧に施されており、切り離し痕は認められない。

247・248はPPD111埋土出土。247は土師器坏である。ロクロ成形。口縁部外反。内外面ともロクロナデ整形で、外面は体部下半に手持ちヘラケズリ調整、内面は口縁部～体部が横位、底部は放射状ヘラミガキ調整・黒色処理を施す。底部は回転ヘラカ糸切り痕後に、手持ちヘラケズリ調整。風化顕著で摩滅気味。外面体部下半に黒斑あり。248は須恵器長頸瓶である。外面は輪積み後に平行叩き目、体部上半はロクロナデ整形。体部下半は縦位ヘラケズリ後に、回転ヘラケズリを施す。内面は輪積み後に当て具痕（見えず）、全体にカキメを施している。底部は手持ちヘラケズリ調整後に高台貼付、ロクロナデで馴染ませている。

249はPPE725埋土出土の須恵器坏である。ロクロ成形。内外面ともロクロナデ整形で、底部は回転糸切り無調整。底面焼成前刻書「×」（記号）。

250はPPE776柱あたり埋土出土の須恵系a坏である。ロクロ成形。非黒色処理。内外面ともロクロナデ整形で、外面の底周辺に回転ヘラケズリが施されている。焼きが弱く、全体に摩滅気味である。内外面に火だすき痕あり。

251はPPE779埋土ほか出土の須恵器長頸瓶である。輪積み後にロクロ成形。外面は肩部より上は輪積み後に調整が加えられており、頸部はロクロナデ、肩部はカキメ調整で整えられる。頸部と体部の接合部に細いリングを巡らす。内面はロクロナデで整形され、肩部は器厚が厚くなる。外面頸部～

肩部にかけて、鉄軸様の黒色自然釉、内面は頸部に灰色自然釉（灰被り）が認められる。11と同一か。

B区遺物集中2出土土器（254～264）

254～257は土師器坏である。254は検出面出土。ロクロ成形、口縁部外反。内外面ともロクロナデ整形で、内面は口縁部～体部上半が横位、これ以下は放射状ヘラミガキ調整・黒色処理を施す。底部は回転糸切り無調整。底径小さい。255はロクロ成形。口縁部外反。内外面ともロクロナデ整形で、内面は口縁部が横位、それ以下が放射状ヘラミガキ調整か・黒色処理を施す。底部は摩滅しているが回転糸切り無調整。風化顕著で内外面とも摩滅している。外面体部と内面に大きく黒斑が広がる。256はロクロ成形。口縁部外傾。内外面ともロクロナデ整形で、外面の体部下半に、回転台から持ち上げた際の左手4本の指頭痕が残る。内面は口縁部～体部に縦位、底部は放射状ヘラミガキ調整・黒色処理を施す。底部は回転糸切り無調整だが、切り離し時に粘土が乾燥気味だったか引っかけりがある。257はロクロ成形。口縁部外反。内外面ともロクロナデ整形で、底部は回転糸切り無調整。やや軟質で摩滅気味。258～260は須恵系a坏である。258はロクロ成形。非黒色処理。口縁部外反。内外面ともロクロナデ整形で、底部は回転糸切り無調整。底周辺に切り離した際の粘土の擦れが残る。底径小型化。259はロクロ成形。非黒色処理。焼成やや良好、胎土やや密。口縁部外反。内外面ともロクロナデ整形で、底部は回転糸切り無調整。底径小型化。260はロクロ成形。非黒色処理。口縁部外反。内外面ともロクロナデ整形で、底部は回転糸切り無調整。糸切り後の乾燥段階で底部に擦れ痕残る。261～263は須恵系b坏である。261はロクロ成形。非黒色処理。口縁部外反。内外面ともロクロナデ整形で、底部は回転糸切り無調整。やや軟質で摩滅気味。262はロクロ成形。非黒色処理。口縁部外反。内外面ともロクロナデ整形で、底部は回転糸切り無調整。糸切り後の乾燥段階で底部に擦れ痕残る。263はロクロ成形。非黒色処理。口縁部外傾。内外面ともロクロナデ整形で、底部は回転糸切り無調整。やや薄手。風化顕著で摩滅気味である。264は土師器甕である。ロクロ成形。口縁部外反。内外面ともロクロナデ整形で、外面は体部下半に縦位ヘラケズリ調整（下から上・上から下方向あり）、内面は横位ヘラミガキ調整・黒色処理を施している。2破片。

B区遺物集中3出土土器（265～267）

265は土師器坏である。ロクロ成形。口縁部外反。内外面ともロクロナデ整形で、内面は全体に横位、体部のみ粗く縦位ヘラミガキ調整・黒色処理を施す。底部は回転糸切り無調整で、胎土に含まれた小礫に糸切りの紐が引っかけり、切り離しが中央に寄っている。266は須恵系a坏である。ロクロ成形。非黒色処理。口縁部外反。内外面ともロクロナデ整形で、底部は回転糸切り無調整。底部に歪みあり。外面の体部と内面の口縁部が薄黒く変色しており、重ね焼きの痕跡と見られる。底中央を欠いている。267は土師器高台皿である。ロクロ成形。内外面ともロクロナデ整形で、内面は横位ヘラミガキ調整・黒色処理を施している。底部は回転糸切り後に高台貼付、ロクロナデ調整で馴染ませている。高台低め。

E区遺物集中1-1出土土器（268～280）

268～275はⅡB20gⅢ層下位出土の須恵器坏である。268はロクロ成形。内外面ともロクロナデ整形。外面墨書文字種不明「十万」（倒位）の「十」カ。269はロクロ成形。内外面ともロクロナデ整形。外面墨書「十万」（正位）の「万」カ。270はロクロ成形。内外面ともロクロナデ整形。外面墨書文字種不明。271はロクロ成形。内外面ともロクロナデ整形で、底部は回転糸切り無調整。外面墨書「千万」（倒位）の「千」もしくは「十万」（倒位）の「十」カ。内面が研磨されており、転用祝

として使用したか。272はロクロ成形。口縁部外傾。内外面ともロクロナデ整形で、底部は回転糸切り無調整。口縁部外面が0.5cm程変色しており、重ね焼きの痕跡と見られる。内外面に火だすき痕顕著。273はロクロ成形。口縁部外傾。内外面ともロクロナデ整形で、底部は残存少ないが回転糸切り無調整か。口縁部外面が1.2cm程変色しており、重ね焼きの痕跡と見られる。内外面に火だすき痕顕著。274はロクロ成形。口縁部外傾。内外面ともロクロナデ整形で、底部は回転糸切り無調整。口縁部外面が0.8cm程変色しており、重ね焼きの痕跡と見られる。内外面に回転台から持ち上げ際の指頭痕あり。275はロクロ成形。口縁部外傾。内外面ともロクロナデ整形で、底部は回転糸切り無調整。やや軟質で摩滅気味。276はⅡB20gⅢ層下位出土の須恵器高台坏である。ロクロ成形。口縁部外反。内外面ともロクロナデ整形。外面墨書「平舍」(正位)カ。「舍」ではなく「集」など別字の可能性あり。口縁部外反の器形から高台坏と見られる。内面に火だすき痕あり。277はⅡB20gⅢ層下位出土の土師器高台皿である。ロクロ成形。口縁部外反、内外面ともロクロナデ整形で、内面は放射状ヘラミガキ調整・黒色処理。底部は回転糸もしくはヘラ切り後に高台貼付、ロクロナデで馴染ませており、高台内に余剰粘土の高まりあり。278はⅡB20gⅢ層下位出土の須恵器長頸瓶である。ロクロ成形。口縁部は上下方ヘシャープに摘まみ出される形状。頸部の器厚を減じるため、外面にカキメ調整を施している。279はⅡB20gⅢ層下位出土の土師器鉢である。ロクロ成形。内外面ともロクロナデ整形で、外面は底周回転ヘラケズリ調整。内面は底付近が放射状ヘラミガキ調整・黒色処理。底部は回転糸もしくはヘラ切り後に手持ちヘラケズリ再調整を施している。280はⅡB20gⅢ層下位出土の須恵器甕である。輪積み後ロクロ成形。口縁部は上方へ摘まみ出される形状。内外面とも輪積み後にロクロナデで整えている。

E区遺物集中1-2出土土器(281)

281はⅢ層下位の須恵器坏である。ロクロ成形。口縁部外反。内外面ともロクロナデ整形で、底部は回転糸切り無調整。やや軟質で摩滅気味。

E区遺物集中1-3出土土器(282~297)

282~292はⅢB1rⅢ層下位出土の須恵器坏である。282はロクロ成形。口縁部外反。内外面ともロクロナデ整形で、底部は回転糸切り無調整。外面墨書「十万」(倒位)。283と類似。283はロクロ成形。口縁部外反。内外面ともロクロナデ整形で、底部は回転糸切り無調整。外面墨書「十万」(倒位)。282と類似。284はロクロ成形。口縁部外傾。内外面ともロクロナデ整形で、底部は回転糸切り無調整。外面墨書「十万」(倒位)カ。内外面に火だすき痕あり。285はロクロ成形。内外面ともロクロナデ整形。外面墨書「十万」(倒位)カ。286はロクロ成形。口縁部外反。内外面ともロクロナデ整形で。底部は回転糸切り無調整。口縁部外面が1.2cm程変色しており、重ね焼きの痕跡と見られる。口縁部みあり。287はロクロ成形。口縁部外傾。内外面ともロクロナデ整形で、底部は回転糸切り無調整。底面回転糸切り痕は、回転が緩い切り離しが中心に来ている。やや軟質で摩滅気味。288はロクロ成形。口縁部外傾。内外面ともロクロナデ整形で、底部は回転糸切り無調整。やや薄手。289はロクロ成形。口縁部外反。内外面ともロクロナデ整形で、底部は回転糸切り無調整。外面墨書「十万」(正位)。外面口縁部が変色しており、重ね焼きの痕跡と見られる。290はロクロ成形。口縁部外反。内外面ともロクロナデ整形で、底部は回転糸切り無調整。内外面に火だすき痕あり。薄手。291は大型坏。碗か。ロクロ成形。内外面ともロクロナデ整形。口縁部外面が1cm程変色しており、重ね焼きの痕跡と見られる。外面に指頭痕あり。292はロクロ成形。口縁部外傾。内外面ともロクロナデ整形で、底部は回

転糸切り無調整。内外面に火だすき痕あり。293・294はⅢ B1r Ⅲ層下位出土の土師器坏である。293はロクロ成形。内外面ともロクロナデ整形で、内面横位ヘラミガキ調整・黒色処理を施している。底部は回転糸もしくはヘラ切り後、手持ちヘラケズリ再調整を施している。294はロクロ成形。内外面ともロクロナデ整形で、内面はヘラミガキ調整・黒色処理を施す。内面に茶褐色の漆が付着している。295はⅢ層下位出土の須恵系b坏である。ロクロ成形。非黒色処理。内外面ともロクロナデ整形だが、焼きが弱く軟質で、全体に摩滅している。296はⅡ B20g Ⅲ層下位出土の土師器高台坏である。大型の高台坏か、厚手。ロクロ成形。内外面ともロクロナデ整形で、内面はヘラミガキ調整・黒色処理を施している。底部は回転糸切り後に高台貼付し、ロクロナデで馴染ませている。297はⅡ B20g・Ⅲ B1r Ⅲ層下位出土の須恵器甕である。輪積み成形。外面は斜～縦位平行叩き目、内面は放射状状で具痕（蓮藕文）を残している。

E区遺物集中2出土土器（298～305）

298～300は須恵器坏である。298はⅡ B19p Ⅲ層下位出土。ロクロ成形、口縁部外傾。内外面ともロクロナデ整形で、底部は回転糸切り無調整。内外面に火だすき痕顕著。299はⅡ B20p Ⅲ層下位出土。ロクロ成形、口縁部外傾。内外面ともロクロナデ整形で、底部は回転糸切り無調整。底部に糸切りの糸の圧痕あり。口縁部外面が14cm程変色しており、重ね焼きの痕跡と見られる。内外面に火だすき痕あり。300はⅡ B19p Ⅲ層下位出土。ロクロ成形、内外面ともロクロナデ整形で、底部は回転糸切り無調整。やや軟質で摩滅気味。301はⅡ B20p Ⅲ層下位出土の土師器坏である。ロクロ成形。外面はロクロナデ整形後、体部下半に回転ヘラケズリ再調整を施している。内面はロクロナデ後、ヘラミガキ・黒色処理を行っていると思われるが、摩滅が著しく不明瞭。302はⅡ B19p Ⅲ層下位出土の土師器高台坏である。大型の高台坏か、厚手。ロクロ成形。内外面ともロクロナデ整形で、内面は横位・放射状ヘラミガキ調整・黒色処理を施している。底部は回転糸切り後に高台貼付し、ロクロナデで馴染ませている。303はⅡ B19p Ⅲ層下位出土の土師器高台皿である。ロクロ成形。口縁部外反。内外面ともロクロナデ整形で、内面は放射状ヘラミガキ調整・黒色処理。外面墨書「十万」（正位）カ。304はⅡ B19p Ⅲ層下位出土の土師器高台皿である。ロクロ成形。内外面ともロクロナデ整形。内面底部は放射状ヘラミガキ調整・黒色処理を施す。底部は回転糸切り後に高台貼付、ロクロナデで馴染ませている。高台貼付部分に予めヘラで二重線を施し、高台が割がれにくい工夫を施している。外面墨書「十万」の「万」（正位）カ。305はⅡ B19p Ⅲ層下位出土の土師器高台皿である。ロクロ成形。口縁部外反、内外面ともロクロナデ整形で、内面は放射状ヘラミガキ調整・黒色処理。底部は回転糸切り後に高台貼付、左人差し指と親指で掴まんで馴染ませており、底周辺に左人差し指の爪痕が連続して認められる。

遺構外出土土器（306～457）

306～343は須恵器坏である。306はA2区検出面出土。ロクロ成形、口縁部直線的。内外面ともロクロナデ整形で、外面口縁部が約1cm変色しており、重ね焼きの痕跡と見られる。底部は回転糸切り無調整。外面墨書「吊」（正位）もしくは記号カ、78・122・237と同一。「吊」は「弔」の俗字。307はⅡ B19p Ⅲ層下位出土。ロクロ成形、口縁部外反。内外面ともロクロナデ整形で、底部は回転糸切り無調整。外面墨書「万」（正位）。308はⅡ B17g・Ⅱ B18g Ⅲ層下位出土。ロクロ成形、口縁部外反。内外面ともロクロナデ整形で、底部は回転糸切り無調整。底部中央に焼成時のひび割れあり。外面墨書「十万」（正位）、底面焼成前刻書「-」（記号）。309はⅡ B19p Ⅲ層下位出土。大型の坏で、

椀か。ロクロ成形。口縁部外傾。内外面ともロクロナデ整形。外面墨書「十萬」の「万」（倒位・合わせ字）。310はⅡ B19p Ⅲ層下位出土。ロクロ成形、口縁部外傾。内外面ともロクロナデ整形。外面墨書文字種不明（正位）。311はⅡ B14g Ⅲ層下位出土。ロクロ成形、内外面ともロクロナデ整形。外面墨書「□万」（横位）。「八万」か、もしくは火だすき痕か。内面に火だすき痕あり。312はⅡ B14k Ⅲ層下位出土。ロクロ成形、内外面ともロクロナデ整形。外面墨書「十萬」（正位）の「十」カ。313はⅡ B19r Ⅲ層下位出土。ロクロ成形、内外面ともロクロナデ整形。外面墨書「十萬」（正位）の「万」カ。

314はⅡ B15j・Ⅲ層下位出土。ロクロ成形。内外面ともロクロナデ整形で、底部は回転糸切り無調整。外面墨書「十萬」（正位）の「万」カ。315はⅡ B19p Ⅲ層下位出土。ロクロ成形、口縁部外傾。内外面ともロクロナデ整形。外面墨書「十萬」（倒位・合わせ字）。316はⅡ B19p Ⅲ層下位出土。ロクロ成形、内外面ともロクロナデ整形。外面墨書「十萬」（正位）の「万」カ。317はⅡ B20p Ⅲ層下位出土。大型坏で、椀か。ロクロ成形。外面墨書「十萬」（正位）2箇所あるか。口縁部外反。

318はⅡ B16p・Ⅲ層下位出土。ロクロ成形、内外面ともロクロナデ整形で、底部は回転糸切り無調整。外面墨書「十萬」（正位）の「万」カ。319はⅡ B16j・Ⅱ B16k Ⅲ層下位出土。ロクロ成形で、内外面ともロクロナデ整形のみ認められる。外面墨書文字種不明（正位）。

320はⅡ B17p・Ⅲ層下位出土。ロクロ成形、底部は回転糸切り無調整。底面焼成前刻書「十」もしくは「×」（記号）。321はⅡ B16k Ⅲ層下位出土。ロクロ成形、底部は回転糸切り無調整。回転緩く切り離しが中央になっている。底面焼成前刻書「十」もしくは「×」（記号）。322はⅡ B16p Ⅲ層下位出土。ロクロ成形で、底部は回転糸切り無調整。底面焼成前刻書「×」（記号）。強めに印を付けている。323はⅡ B17g Ⅲ層下位出土。ロクロ成形、口縁部外反。内外面ともロクロナデ整形で、底部は回転糸切り無調整。底面焼成前刻書「十」もしくは「×」（記号）。やや厚手。324はⅡ B16p Ⅲ層下位出土。ロクロ成形、口縁部外傾。内外面ともロクロナデ整形で、底部は回転糸切り無調整。底面焼成前刻書「×」（記号）。外面下半に製作時の指頭痕とナデ痕あり。内面に火だすき痕、墨痕あり。325はⅡ B16p Ⅲ層下位出土。ロクロ成形、口縁部外傾。内外面ともロクロナデ整形で、底部は回転糸切り無調整。底面焼成前刻書「一」（記号）カ。やや厚手。326はⅡ B20g Ⅲ層下位出土。ロクロ成形、口縁部外反。内外面ともロクロナデ整形で、底部は回転糸切り無調整。底面焼成前刻書「一」（記号）カ。やや軟質で摩滅気味。薄手。327はⅡ B17g Ⅲ層下位出土。ロクロ成形、口縁部外傾。内外面ともロクロナデ整形で、底部は回転糸切り無調整。底面焼成前刻書「十」もしくは「×」（記号）。328はⅡ B16k Ⅲ層下位出土。ロクロ成形、内外面ともロクロナデ整形で、底部は回転糸切り無調整。底面焼成前刻書「=」（記号）もしくは「卍」カ。329はA2区検出面出土。ロクロ成形、口縁部内湾。内外面ともロクロナデ整形で、外面口縁部が約1.5cm変色しており、また内外面に火だすき痕が認められていることから重ね焼きの痕跡と見られる。330はD5-D6区（Ⅱ B8t）検出面出土。ロクロ成形。焼成良好、胎土密。内外面ともロクロナデ整形。底部は回転糸切り無調整。331はE区表採。ロクロ成形、焼成は良好、胎土やや密。内外面ともロクロナデ整形。底部は回転糸切り無調整。332はⅡ B17p・Ⅱ B18g Ⅲ層下位出土。ロクロ成形、内外面ともロクロナデ整形で、底部は回転糸切り無調整。轆轤台から持ち上げた際に付いた指頭痕あり。逆さに付いているため、上から持ち上げたと見られる。333はⅡ B16p Ⅲ層下位出土。ロクロ成形、口縁部外傾。内外面ともロクロナデ整形で、底部は回転糸切り無調整。底径小さめ。外面体部下半～底部にススもしくは墨痕あり。334はⅡ B20p Ⅲ層下位出土。ロクロ成形。口縁部外傾。内外面ともロクロナデ整形で、底部は回転糸切り無調整。内外面に火だすき痕あり。335はⅡ B15・16k Ⅲ層下位出土。ロクロ成形。口縁部外反。内外面ともロクロナデ整形で、底部は回転糸切り無調整。外面火だすき痕顕著。やや薄手。336はⅡ B20p Ⅲ層下位出土。

ロクロ成形。口縁部外傾。内外面ともロクロナデ整形。口縁部外面が0.5cm程変色しており、重ね焼きの痕跡と見られる。337はⅡ B17g Ⅲ層下位出土。ロクロ成形。口縁部外傾。内外面ともロクロナデ整形で、底部は回転糸切り無調整。外面体部に親指、内面体部に人差し指と中指の指頭痕あり、糸切り後に左手で持ち上げた際に付いたと見られる。338はⅡ B17p Ⅲ層下位出土。ロクロ成形。口縁部外反。内外面ともロクロナデ整形で、底部は回転糸切り無調整。底周辺器形丸み。339はⅡ B20p Ⅲ層下位出土。ロクロ成形。口縁部外傾。内外面ともロクロナデ整形で、底部は回転糸切り無調整。口縁部外面が0.8cm程変色しており、重ね焼きの痕跡と見られる。340はⅡ B20p Ⅲ層下位出土。ロクロ成形。口縁部外傾。内外面ともロクロナデ整形で、口縁部が玉縁状に捲れ返っている。341の須恵器・坏である。ロクロ成形。内外面ともロクロナデ整形で、底部は回転糸切り無調整。焼成不良か、内面は橙色。342はⅡ B13k 溝埋土出土。ロクロ成形。口縁部外傾。内外面ともロクロナデ整形で、整形時にヘラ使用か回転ヘラナデ風。内面灰色、外面橙色で須恵器の生焼けか。343はⅡ B20p Ⅲ層下位出土。ロクロ成形。内外面ともロクロナデ整形で、底部は回転糸切り無調整。

344はA1区検出面出土の須恵器高台坏である。ロクロ成形。内外面ともロクロナデ整形。底部は回転糸切り後に高台貼付、ロクロナデ整形で馴染ませている。外面及び内面底部に自然軸付着。

345・346は須恵器長頸瓶である。345はA2区検出面出土。ロクロ成形で、内外面ともロクロナデ整形。底部は回転ヘラ切り後に高台貼付、ロクロナデ調整で馴染ませている。外面自然軸付着。346はⅡ B17k Ⅲ層下位出土。ロクロ成形、口縁部は下方へ摘まみ出される形状。内外面ともロクロナデ整形で、自然軸（灰被り）に覆われている。

347はⅡ B16k Ⅲ層下位出土の須恵器長頸瓶かである。ロクロ成形。外面はロクロ水挽き後に手持ちヘラナデ、手持ちヘラケズリによる調整が行われている。内面は体部の器厚を減じるためカキメと思われる調整が施される。また、内面底に棒状工具で上から突いた痕跡が認められる。高台はその後に付けられる。底面は回転糸切りと見られ、高台を棒状工具で馴染ませて付けたと見られる。

348・349は須恵器鉢である。348はA2区検出面出土。ロクロ成形。内外面ともロクロナデ整形で、外面は体部下半のみ斜位平行叩き目後に上から下方向の縦位ヘラケズリ調整を施す。内面は体部下半に横位ヘラナデ調整が入るが、おそらく当て具痕をナデ消している。349はⅡ B15k Ⅲ層下位出土。ロクロ成形、内外面ともロクロナデ整形で、底部は再調整と見られるが残存僅か不明である。外面はロクロナデ、底付近を回転ヘラケズリ調整で小さくしている。内面もロクロナデだが、使用により研磨されている。

350はⅡ B16p Ⅲ層下位出土の須恵器鉢かである。ロクロ成形。内外面ともロクロナデ整形で、外面は体部下半に回転ヘラケズリ調整を施す。内面はヘラミガキ調整か、研磨されている。底部は回転糸切り後にヘラケズリによる再調整を加えている。

351～376は須恵器甕である。351はⅡ B18o Ⅲ層下位出土。ロクロ成形で、口縁部は上下方ヘシャープに摘まみ出される形状。頸部は内外面ともロクロナデ整形で、内外面に鉄軸様の黒色自然軸付着する。352はⅡ B16p・Ⅱ B17p Ⅲ層下位出土の須恵器甕である。ロクロ成形で、口縁部は外反させ、やや上方へ摘まみ出される形状。頸部は内外面ともロクロナデ整形で、内面頸部下方はカキメ調整を施している。353はⅡ B17g Ⅲ層下位出土。輪積み後ロクロ成形。口縁部は上下方ヘシャープに摘まみ出される形状。外面は斜位平行叩き目後に、ロクロナデ調整を施している。内面は当て具痕は見えず、ロクロナデを主体に頸部はカキメ調整を施している。外面肩部まで自然軸付着（一部灰被り）。

354は須恵器甕である。輪積み後ロクロ成形。口縁部外反。外面は輪積み後に斜位平行叩き目を施してロクロナデ調整、内面は当て具痕は見えず、ロクロナデ調整で仕上げている。外面肩部より上

と内面口縁に粒状の自然軸（灰被り）が顕著。2破片。355はⅡ B18p・Ⅱ B19n Ⅲ層下位出土。輪積み成形で、口縁部は下方へ摘まみ出される形状。外面頸部は縦位平行叩き目後にヨコナデ、肩部は縦位平行叩き目を残す。内面は頸部成形時のヘラナデ調整。厚手で、口縁に歪み。2破片。356はⅡ B15i・15k・15m Ⅲ層下位出土。輪積み後ロクロ成形。口縁端部は上下方へ摘まみ出される形状。外面頸部は斜位平行叩き目後にロクロナデを施し、口縁端部を貼り付けている。内面もおそらく当て具痕からのロクロナデであろう。内面に自然軸の光沢あり。357はⅡ B15k Ⅲ層下位出土。輪積み後ロクロ成形、口縁端部は上方へ摘まみ出される形状。外面頸部は斜位平行叩き目後にロクロナデ整形、体部は斜位平行叩き目を残している。内面も当て具痕（見えず）後にロクロナデ整形。内外面に光沢のある自然軸付着。358はⅡ B15k Ⅲ層下位出土。輪積み後ロクロ成形、口縁端部は上下方へ摘まみ出される形状。外面頸部は斜位平行叩き目後にロクロナデ調整、肩部は斜位平行叩き目を残す。内面は当て具痕（見えず）後にロクロナデ調整を施している。359はⅡ B13k 溝埋土出土。ロクロ成形、口縁端部は上下方へ摘まみ出される形状。外面頸部と内面はロクロナデ整形。360はⅡ B16k Ⅲ層下位出土。輪積み成形、口縁端部は上下方へシャープに摘まみ出される形状。外面頸部は縦位平行叩き目後にヨコナデ調整、体部は縦位平行叩き目を残す。内面は口縁部～頸部はヨコナデ調整、体部は放射状当て具痕（連藕文）を施している。361はB2区検出面出土。輪積み後ロクロ成形、口縁端部は上下方へ摘まみ出される形状。外面はロクロナデ整形、内面は横位ヘラナデで仕上げている。風化顕著で摩滅気味である。362はB3区（Ⅰ B18e）検出面出土。輪積み後ロクロ成形、口縁端部は下方へ摘まみ出される形状。内外面ともロクロナデ整形で仕上げている。363はB3区検出面出土。輪積み後ロクロ成形、口縁端部は外側と下方へ摘まみ出される形状。内外面ともロクロナデ整形で仕上げている。364はB1～B3区検出面出土。輪積み成形、外面は横位平行叩き目後に横位ヘラナデ調整か。内面は横位ヘラナデ後にユビナデでナデ消している。365はC1区（Ⅱ B7g）検出面出土。輪積み後ロクロ成形、外面頸部は縦位平行叩き目後にロクロナデ整形、5本1束の櫛搔波状文を1段施している。内面は当て具痕後（見えず）に横位ヘラナデで仕上げている。366はC2区（Ⅱ B10r）検出面出土。輪積み後ロクロ成形、口縁端部は上方へ方形に摘まみ出される形状。外面は斜位平行叩き目後にロクロナデ整形、内面は当て具痕後（見えず）にロクロナデ整形で仕上げている。風化顕著で摩滅気味である。367はD1区（SID1付近）検出面出土。輪積み後ロクロ成形、口縁端部は下方へ摘まみ出される形状。外面は平行叩き目後（見えず）にロクロナデ整形、内面は当て具痕後（見えず）にロクロナデ整形で仕上げている。368はD1区（SID1付近）検出面出土。の須器・甕である。ロクロ成形。口縁端部は外反そながら、下方へ摘まみ出される形状。内外面ともロクロナデ整形で仕上げている。369はD4-D5区（Ⅱ B5s）検出面出土。輪積み成形、口縁端部は上下方へ摘まみ出される形状。外面は輪積み後に平行叩き目（見えず）、ヨコナデ調整。内面は当て具痕（見えず）後、ヨコナデ調整を施す。370はⅡ B14j・Ⅱ B15k・Ⅱ B15l Ⅲ層下位出土。輪積み後ロクロ成形、外面は輪積み後に斜位平行叩き目を施し、ロクロナデで整えている。内面は頸～肩部に掛けてはカキメ、これより下はロクロナデ調整。当て具痕はナデ消されており確認できない。371はⅡ B14k Ⅲ層下位出土。ロクロ成形、口縁端部は上下方へ摘まみ出される形状。内外面に黒色自然軸（鉄軸様）。372はⅡ B15j Ⅲ層下位出土。輪積み成形、口縁端部は上下方へシャープに摘まみ出される形状。縦位平行叩き目後にヨコナデを施し、5条1束の櫛搔波状文を2段施文する。内面は当て具痕（見えず）後、ヨコナデでなで消している。内面自然軸付着（灰被り）。373はD4区（Ⅱ B3t）検出面出土。焼成やや良好、胎土やや密。外面は縦～斜位ヘラケズリ調整（上から下方向）。内面は横位ヘラナデ調整。底部は輪積みのため回転台ではない。ヘラケズリ調整。374はⅡ B19n Ⅲ層下位出土。輪積み成形、外面は輪積み後に斜位

平行叩き目、内面は当て具痕は見えず、縦位ヘラナデと底周辺は横位ヘラナデ調整を施している。底面には砂が多く付着しており、ヘラナデ調整が施されている。375はR2調査区表採。輪積み成形で、外面は縦位平行叩き目後に縦～斜位ヘラケズリ調整、内面は当て具痕は見えず、横位ヘラナデ調整を施している。外面底周辺に縦位平行叩き目がケズリ残っている。底面には持ち上げる際に付いた指頭痕あり。376はⅡB17kⅢ層下位出土。輪積み成形、外面は斜位平行叩き目後に斜位ヘラケズリ調整、内面は当て具痕は見えず、横位ヘラナデ調整を施している。外面底周辺に斜位平行叩き目がケズリ残っている。底面には持ち上げる際に付いた指頭痕あり。

377～381は須恵器大甕である。377はⅡB15lⅢ層下位出土。輪積み後ロクロ成形、口縁端部は上下方へ摘み出される形状。頸部に5条1束の櫛搔波状文を2段施文した後に、口縁端部下方を貼り付けている。内外面自然釉付着（内面は灰被り）。口縁歪み。378はⅡB15kⅢ層下位出土。大型の甕で輪積み成形、口縁部は上方へ摘み出される形状。頸部に施文箇所を整形した後、2条1束の鋸歯状文を2段に同時施文している。内面は当て具痕をヨコナデで整形している。379はⅡB14tⅢ層下位出土。大型の甕で、外面は叩き目（見えず）にヘラナデ整形を施し、5条1束の平行沈線上に3条1束の波状文を施文する（2段施文か）。当て具痕（見えず）をヘラナデ調整でなく消している。380はⅡB16j・ⅡB16k・ⅡB17jⅢ層下位出土。輪積み成形で、外面は斜位平行叩き目、内面は当て具痕は見えず、ヘラナデでナデ消している。外面はオリブ灰色の灰釉を施す。381はⅡB16k・ⅡB17jⅢ層下位出土。輪積み成形で、外面は斜位平行叩き目、内面は当て具痕は見えず、ヘラナデでナデ消している。外面は暗緑灰色の灰釉を施す。

382はB1～B3区検出面出土の須恵器⁴⁰⁰である。ロクロ成形で焼成良好、胎土密。口縁端部を下方へ摘み出される形状。内外面とも自然釉付着。7世紀頃か。

383はB6区検出面出土の須恵器⁴⁰¹である。ロクロ成形。焼成やや良好、胎土やや密。外面自然釉付着。6世紀末～7世紀初め頃か。

384～405は土師器⁴⁰²である。384はT4-1出土。ロクロ成形で口縁部外反。内外面ともロクロナデ整形で、内面は口縁部が横位、体部が斜位ヘラミガキ調整・黒色処理を施す。外面墨書「山□」（正位）で、「山川」（正位）カ。385はⅡB16pⅢ層下位出土。ロクロ成形、内外面ともロクロナデ整形で、内面は横位ヘラミガキ調整・黒色処理。外面墨書「十万」（正位）カ、消えかかっており別の文字の可能性もある。386はⅡB19nⅢ層下位出土。ロクロ成形で、内外面ともロクロナデ整形、内面は横位ヘラミガキ調整・黒色処理。外面墨書「□万」の「万」（正位）カ、消えかかっており別の文字の可能性もある。387はⅡB19nⅢ層下位出土。ロクロ成形で、内外面ともロクロナデ整形、外面は体部下半に回転ヘラケズリを施している。内面は横位、底は放射状ヘラミガキ調整・黒色処理。回転糸もしくはヘラ切り後、手持ちヘラケズリ再調整を加えている。外面墨書「万」（正位）カ。388はⅡB19nⅢ層下位出土。ロクロ成形で、内外面ともロクロナデ整形、外面は底周辺回転ヘラケズリ、内面は横位・斜位ヘラミガキ・黒色処理。底部は回転糸もしくはヘラ切り後、手持ちヘラケズリ再調整。外面に墨書があるが、剥落のため文字種不明。全体に風化が顕著で剥落が多い。389はⅡB14g・ⅡB14p・Ⅲ層下位出土。ロクロ成形で、内外面ともロクロナデ整形で、外面の底周辺に回転ヘラケズリが施されている。内面は横位ヘラミガキ調整・黒色処理。底部は回転糸切り後に手持ちヘラケズリ再調整を施している。焼きが弱く、全体に摩滅気味である。外面に火だすき痕あり。390はⅡB16pⅢ層下位出土。ロクロ成形、内外面ともロクロナデ整形で、外面の底周辺に回転ヘラケズリを施す。内面は放射状ヘラミガキ調整・黒色処理。底部は回転ヘラ切り後、手持ちヘラケズリ再調整。391はⅡB16pⅢ層下位出土。ロクロ成形で、外面はロクロナデ後、底付近に回転ヘラケズリを施している。内面は黒色処

理後に横位ヘラミガキ調整。底部は回転糸切り後に、手持ちヘラケズリ再調整を施している。392はⅡ B15k Ⅲ層下位出土。ロクロ成形、内外面ともロクロナデ整形で、外面は底周辺に回転ヘラケズリ調整を施している。内面はヘラミガキか（風化顕著で見えず）・黒色処理。底部は回転ヘラ切りで切り離している。393はⅡ B19n Ⅲ層下位出土。ロクロ成形、口縁部内湾。内外面ともロクロナデ整形で、外面は底周辺に回転ヘラケズリ、内面は口縁～体部が横位、底部が放射状ヘラミガキ調整・黒色処理。底部は回転ヘラ切り無調整。394はⅡ B14g Ⅲ層下位出土。ロクロ成形で、外面は底周辺回転ヘラケズリ調整。内面は体部が横位、底部が放射状ヘラミガキ調整・黒色処理を施す。底部は回転ヘラ切り無調整。丸底風。395はⅡ B19n Ⅲ層下位出土。ロクロ成形、内外面ともロクロナデ整形で、外面は底周辺に手持ちヘラケズリ調整。内面は口縁～体部が横位、底部が放射状ヘラミガキ調整・黒色処理を施す。底部は回転糸切り後、手持ちヘラケズリ再調整。外面の風化が著しい。396はⅡ B17g Ⅲ層下位出土。ロクロ成形、内外面ともロクロナデ整形で、内面は風化顕著だが横位ヘラミガキ調整・黒色処理を施している。底部は回転糸もしくはヘラ切り後、手持ちヘラケズリ再調整が施されている。風化顕著で摩滅気味。397はⅡ B20p Ⅲ層下位出土。ロクロ成形、内外面ともロクロナデ整形で、外面の底周辺手持ちヘラケズリ調整、内面はヘラミガキ調整・黒色処理を施す。底部は回転ヘラ切り無調整。内面に茶～暗褐色の漆が付着している。398はA3区検出出土。ロクロ成形、内外面ともロクロナデ整形で、外面は体部下半に手持ちヘラケズリ調整。内面は口縁部が横位、体部～底部が放射状ヘラミガキ調整・黒色処理を施す。底部は回転糸切り無調整。風化顕著で摩滅気味である。399はA2区西側掘乱出土。ロクロ成形、口縁部外傾。内外面ともロクロナデ整形で、内面は口縁部が横位、体部～底部が放射状ヘラミガキ調整・黒色処理を施す。底部は回転糸切り無調整。風化顕著で摩滅気味。やや厚手。外面底部に黒斑あり。400はD1区検出出土。ロクロ成形、内外面ともロクロナデ整形で、内面は斜位ヘラミガキ調整・黒色処理を施す。底部は回転糸切り無調整。外面底部に糸切り後の乾燥時に付いた擦れ痕あり。外面底部に黒斑あり。401はD1区検出出土。ロクロ成形、内外面ともロクロナデ整形で、内面底部は放射状ヘラミガキ調整・黒色処理を施す。底部は回転糸切り無調整。風化顕著で摩滅気味。402はT1-1出土。ロクロ成形、口縁部外傾。内外面ともロクロナデ整形で、内面は口縁部が横位、体部～底部が放射状ヘラミガキ調整・黒色処理を施す。底部は回転糸切り無調整。403はⅡ B19n Ⅲ層下位出土。ロクロ成形、口縁部外反。内外面ともロクロナデ整形で、斜位～放射状ヘラミガキ調整・黒色処理。全体に摩滅気味である。404はⅡ B14p Ⅲ層下位出土。ロクロ成形で、外面はロクロナデ、内面はロクロナデ、黒色処理後に横位ヘラミガキ調整を施している。405はⅡ B16k Ⅲ層下位出土。ロクロ成形、口縁部直線的。内外面ともロクロナデ整形。内面はヘラミガキ調整・黒色処理だが、摩耗のため不明瞭。焼きが弱く軟質で、全体に摩滅気味で外面は剥がれている。内面に茶褐色の漆が付着している。底部には混ぜた際の痕跡も認められる。破断面にも付着しており、破損後もバレットとして使用した可能性がある。

406～409は土師器高台坏である。406はT1-1出土。ロクロ成形、高台部のみで内外面ともロクロナデ整形。外面は底部と接する部分は横位、高台部は縦位ヘラミガキ・黒色処理を施す。内面は横位ヘラミガキ調整・黒色処理。底部との接着部分内側に指頭痕が連続して認められる。407はⅡ B15k Ⅲ層下位出土。ロクロ成形で、外面はロクロナデ、高台内貼付時の指ナデ。内面はヘラミガキ調整後に黒色処理を施す。底はナデ消されているがおそらく回転糸切り痕で、高台を貼り付けている。408は整地層NSベルト（Ⅱ B17g）出土。ロクロ成形、内外面ともロクロナデ整形で、内面は放射状ヘラミガキ調整・黒色処理。底部は回転糸もしくはヘラ切り後に高台貼付、ロクロナデ整形で馴染ませている。高台部欠。外面の全体と内面の一部に黒漆付着。外面の高台が取れた破断面にも付着してい

ることから、高台破損後も使用していたと見られる。409はⅡ B16k Ⅲ層下位出土。大型の高台か坏か、厚手。ロクロ成形。内外面ともロクロナデ整形で、内面はヘラミガキ調整・黒色処理を施している。底部は回転糸もしくはヘラ切り後に高台貼付し、ヘラナデで馴染ませている。

410～419は土師器高台皿である。410はB1-B3区検出面出土。ロクロ成形、内外面ともロクロナデ整形で、内面は放射状ヘラミガキ調整・黒色処理が施される。底部は回転ヘラ切り後に高台貼付、ロクロナデ整形で馴染ませている。高台やや高い。411はE区P仮28検出面出土。ロクロ成形、内外面ともロクロナデ整形で、内面は体部下半が横位、底部は放射状ヘラミガキ調整・黒色処理を施す。底部は回転ヘラ切り後に高台貼付、ロクロナデ調整で馴染ませているが、ロクロ時に指がやや入りすぎている。412はⅡ B19n Ⅲ層下位出土。ロクロ成形、口縁部外反、内外面ともロクロナデ整形で、外面は高台周辺にヘラナデ、内面は放射状ヘラミガキ・黒色処理を施している。底部は回転糸切り後に高台を貼り付け、ヘラナデで馴染ませて高台内をロクロナデで仕上げている。外面墨書「十万」（倒位）カ。413はⅡ B19n Ⅲ層下位出土。ロクロ成形、口縁部外反、内外面ともロクロナデ整形で、外面は体部下半に回転ヘラクスズリ、内面は横位ヘラミガキ・黒色処理を施している。底部は回転糸切り後に高台を貼り付け、高台内をロクロナデで仕上げている。414はⅡ B20p Ⅲ層下位出土。ロクロ成形で、口縁部外反。内外面ともロクロナデ整形で、内面は横位ヘラミガキ・黒色処理を施している。外面墨書「十万」（正位）カ。415はⅡ B19p Ⅲ層下位出土。ロクロ成形、口縁部外反。内外面ともロクロナデ整形で、内面は放射状ヘラミガキ・黒色処理を施している。416はⅡ B16p Ⅲ層下位出土。ロクロ成形、内外面ともロクロナデ整形で、内面は放射状ヘラミガキ調整・黒色処理。底部は回転糸切り後に高台貼付、ロクロナデで馴染ませている。高台部畳付け部分欠損。417はⅡ B19o Ⅲ層下位出土。ロクロ成形、内外面ともロクロナデ整形で、内面は底部が横位、体部下半にかけては放射状ヘラミガキ調整・黒色処理。底部は回転糸もしくはヘラ切り後に高台貼付、ロクロナデで馴染ませており、高台内に余剰粘土の高まりあり。高台底径小さめ。418はⅡ B19p Ⅲ層下位出土。ロクロ成形、内外面ともロクロナデ整形。内面底部は横位ヘラミガキ調整・黒色処理を施す。底部は回転ヘラ切り後に高台貼付、ロクロナデ整形で馴染ませている。419はⅡ B20p Ⅲ層下位出土。ロクロ成形、内外面ともロクロナデ整形で、内面は底を放射状ヘラミガキ調整・黒色処理。底部は回転糸切り後に高台貼付、ロクロナデで馴染ませている。

420はⅡ B3g Ⅲ層下位出土の土師器高台皿か坏である。高台高1.5cmで八字状に広がる。ロクロ成形。内外面ともロクロナデ整形、内面はヘラミガキ調整・黒色処理。底部は回転糸もしくはヘラ切り後に高台貼付、ヘラナデで放射状に馴染ませている。421はA2区（Ⅱ A12n）検出面出土の土師器高台皿か坏である。ロクロ成形。内外面ともロクロナデ整形で、内面は横位ヘラミガキ調整か・黒色処理を施す。底部は回転ヘラ切り後に高台貼付、ロクロナデ調整で馴染ませている。風化顕著で摩滅気味である。422はB3区（Ⅰ B18h）検出面出土の土師器高台皿か坏である。ロクロ成形。内外面ともロクロナデ整形で、内面底部は放射状ヘラミガキ調整・黒色処理を施す。底部は回転ヘラ切り後に高台貼付、ロクロナデ調整で馴染ませている。高台接着部分に隙間がありやや雑である。風化顕著で摩滅気味である。423はT1-1出土の土師器高台皿か坏である。ロクロ成形。内外面ともロクロナデ整形で、内面底部は放射状ヘラミガキ調整・黒色処理を施す。底部は回転ヘラ切り後に高台貼付、棒状工具で放射状に粘土を集めた後にロクロナデ調整で馴染ませている。焼成時に底部に亀裂が生じている。424はⅡ B17j Ⅲ層下位出土の土師器高台皿か坏である。ロクロ成形。内外面ともロクロナデ整形で、内面はヘラミガキ・黒色処理を施す。底部は回転糸もしくはヘラ切り後に高台貼付、ロクロナデで馴染ませている。高台内中央に余剰粘土の盛り上がりが残る。425は整地層範囲Eベルト（Ⅱ B17p）

Ⅲ層下位出土の土師器高台皿か坏である。ロクロ成形。内外面ともロクロナデ整形で、外面の高台周辺に貼付時の余剰粘土をロクロナデで馴染ませた痕跡あり。内面底に放射状ヘラミガキ調整（風化顕著）・黒色処理を施す。底部は回転糸もしくはヘラ切り後に高台貼付、ロクロナデで馴染ませており、高台内に余剰粘土が高まりで残る。426は整地層範囲（Ⅱ B16g）Ⅲ層下位出土の土師器高台皿か坏である。高台高1.4cm。ロクロ成形。内外面ともロクロナデ整形、内面はヘラミガキ調整・黒色処理。底部は回転糸もしくはヘラ切り後に高台貼付、ヘラナデで放射状に馴染ませている。427は整地層範囲（Ⅱ B17i）Ⅲ層下位出土の土師器高台皿か坏である。ロクロ成形。内外面ともロクロナデ整形で、内面底は横位ヘラミガキ調整・黒色処理。底部は回転ヘラ切り後に高台貼付、ロクロナデで馴染ませた後に黒色処理を施している。

428はⅡ B19n Ⅲ層下位出土の土師器鉢である。ロクロ成形。内外面ともロクロナデ整形で、外面は縦位ヘラケズリ後に体部下半は斜位、内面は横位ヘラミガキ（体部下半～底は放射状）を行い、黒色処理を施している。底部は回転糸もしくはヘラ切り後、ヘラナデ再調整。

429は整地層範囲（Ⅱ B16p）Ⅲ層下位出土の土師器小型甕である。ロクロ成形。口縁部は上方へ屈曲して立ち上がる形状。内外面ロクロナデ調整で、内面口縁部に一部エビナデが認められる。

430はⅡ B16j Ⅲ層下位出土の土師器小型甕かである。ロクロ成形。内外面ともロクロナデ整形で、外面底周辺に粘土積み上げの痕跡あり。

431～433は土師器長胴甕である。431は整地層範囲（Ⅱ B16p）Ⅲ層下位出土。ロクロ成形で、口縁部は上方へ弱く摘み出される形状。外面はロクロナデ調整、内面は縦位ヘラケズリ調整後にロクロナデを施している。432は整地層範囲（Ⅱ B17g）Ⅲ層下位出土。ロクロ成形、口縁部は上方へ屈曲して立ち上がる形状。内外面ともロクロナデのみと見られるが、風化著しく不明瞭。433は整地層範囲（Ⅱ B17g）Ⅲ層下位出土。ロクロ成形で、口縁部は上方へ摘み出される形状。内外面ともロクロナデ整形。

434はⅡ B20p Ⅲ層下位出土の土師器長胴甕かである。輪積み成形の長胴甕で、底部は多量の砂が付着する砂底土器である。外面は横位ヘラミガキ、内面はハケメ調整が施されている。砂は径1ミリ以下。

435はⅡ B19p Ⅲ層下位出土の土師器甕かである。ロクロ成形。内外面ともロクロナデ整形。中型の甕か。

436はB5区Ⅰ B19h～の土師器羽釜である。ロクロ成形。口縁部外面に約5mmの鈔が全周すると見られる。鈔部分で径（14.0）cm。内外面ともロクロナデ整形。

437～443は須恵系a坏である。437はB3区Ⅰ B17g 出土。大型の坏で、ロクロ成形。非黒色処理。口縁部外反。内外面ともロクロナデ整形で、底部は回転糸切り無調整。外面に剥落多い。438はB1-B3区出土。ロクロ成形、非黒色処理。内外面ともロクロナデ整形で、底部は回転糸切り無調整。糸切りし直した痕跡あり、切り離し後に底部を馴染ませている。外面に黒斑あり、酸化焙焼痕跡あり。439はB3区Ⅰ B17g 出土。ロクロ成形、非黒色処理。内外面ともロクロナデ整形、底部は回転糸切り無調整。外面に製作時の工具痕複数あり。440はⅡ B16k 出土。ロクロ成形、非黒色処理。内外面ともロクロナデ整形。内面に茶褐色の漆が付着している。441は整地層範囲（Ⅱ B17g）Ⅲ層下位出土。ロクロ成形、非黒色処理。底径小型化。内外面ともロクロナデ整形。口縁部外反で、かなり薄手に作られている。442はⅡ B19p Ⅲ層下位出土。ロクロ成形、非黒色処理。口縁部外反、内外面ともロクロナデ整形である。薄手の上、軟質で全体に摩滅気味である。443は整地層範囲（Ⅱ B17j）Ⅲ層下位出土。ロクロ成形、非黒色処理。外面はロクロナデ後に底周辺のみ回転ヘラケズリを施して底径を調

整している。内面は滑らかで、ロクロナデ後にヘラミガキを施していると見られる。

444～446は須恵系a高台皿か坏である。444はD1区SID1付近検出面出土。ロクロ成形、非黒色処理。内外面ともロクロナデ整形で、内面はヘラミガキを施す。底部は回転ヘラ切り後に高台貼付、ロクロナデ調整で馴染ませている。445はⅡB19pⅢ層下位出土。ロクロ成形、非黒色処理。内外面ともロクロナデ整形で、内面底は横位ヘラミガキ調整。底部は回転糸切り後にヘラナデ再調整の上、高台を貼り付けてロクロナデで馴染ませている。446はⅡB19pⅢ層下位出土。の須恵系a・高台皿か坏である。ロクロ成形。非黒色処理。内外面ともロクロナデ整形で、内面底は放射状ヘラミガキ調整。底部は回転ヘラ切り後に高台貼付。高台貼付部分に予めヘラで1～2条の沈線を入れて、粘土が貼り付きやすく工夫している。貼付はロクロナデで仕上げている。高台欠損。

447は整地層範囲(ⅡB16g)Ⅲ層下位出土の須恵系a球胴甕である。ロクロ成形。非黒色処理。口縁端部は上方へ弱く摘み出される形状。内外面ともロクロナデ整形。焼きが弱く軟質で、風化が著しい。

448は整地層範囲Wベルト(ⅡB17p)出土の須恵系a長胴甕である。非黒色処理、ロクロ成形口縁端部は上方へ摘み出される形状。外面は縦位ヘラケズリ調整後に、ロクロナデを施している。

449～456の須恵系b坏である。449はB5区ⅠB19h～20h黒褐色土出土。ロクロ成形、非黒色処理。口縁部外反。内外面ともロクロナデ整形、底部は摩滅しているが回転糸切り無調整と見られる。底径小型化で、柱状高台に近い。軟質で摩滅顕著。450はT4-1出土。ロクロ成形、非黒色処理。内外面ともロクロナデ整形で、外面の底周辺に横位ヘラナデ調整。底部は基本的に回転糸切り無調整だが、切り離した際に水平にならなかったため、部分的にヘラで手直ししている。451はⅡB19n・ⅡB10rⅢ層下位出土。ロクロ成形、非黒色処理。口縁部直線的。内外面ともロクロナデ整形。焼きが弱く軟質で、全体に摩滅気味である。胎土中に1～3mm大の小礫を3～5%含む。452はⅡB17kⅢ層下位出土。ロクロ成形、非黒色処理。内外面ともロクロナデ整形で、内面は凹凸が少なくミガキ調整を施しているか。焼きが弱く軟質で、全体に摩滅している。453は整地層範囲(ⅡB14p)Ⅲ層下位出土。ロクロ成形、非黒色処理。内外面ともロクロナデ整形、底部は回転糸切り痕。橙色の焼き色で軟質、全体に摩滅気味である。454はⅠB20jⅢ層下位出土。ロクロ成形、非黒色処理。内外面ともロクロナデ整形で、内面は凹凸が少なくミガキ調整を施しているか。焼きが弱く軟質で、全体に摩滅している。外面に初焼圧痕あり。底部は、回転糸切り後に余剰粘土が付着して、再度切り離した痕跡と見られる。455はⅡB14pⅢ層下位出土。ロクロ成形、非黒色処理。内外面ともロクロナデ整形で、外面はロクロナデ後に底周辺のみ回転ヘラケズリを施して底径を調整している。内面は滑らかで、ロクロナデ後にヘラミガキを施していると見られる。456はⅡB1hⅢ層下位出土。ロクロ成形、非黒色処理。底径小型化。内外面ともロクロナデ整形で、内面は凹凸が少なくミガキ調整を施しているか。焼きが弱く軟質で、全体に摩滅している。

457はⅠB20jⅢ層下位出土の須恵系b皿かである。ロクロ成形、非黒色処理。底径小型化。内外面ともロクロナデ整形で、内面は凹凸が少なくミガキ調整を施しているか。底部は部分的に回転糸切り痕が確認でき、ヘラケズリ再調整の可能性がある。焼きが弱く軟質で、全体に摩滅している。

(3) 陶磁器

平安時代の陶器(458～460)

458～460は平安時代の緑釉陶器である。458は焼土B1(ⅠB8i)焼土上面付近出土の輪花碗である。平安時代(9世紀代)の狼投産窟輪花碗と見られる。内外面ともロクロナデ整形で、緑釉を施してい

る。胎土は5YR6/2灰褐色で、密に作られている。口縁端部に回転台から持ち上げる際に付いた指頭痕があり、やや歪んでいる。459はT1-1出土の碗である。平安時代（9世紀代）の猿投窯産陶器塚の高台部分で、ハの字状に開く形状、底部から剥がれている。内外面ともロクロナデ整形で、高台部の内外と畳付部分にも緑釉を施している。胎土はにぶい橙色で、軟質である。460はSIB2南西隅掘り方底面出土の碗である。平安時代（9世紀代）の猿投窯陶器塚の体部下半破片である。内外面ともロクロナデ整形で、釉の厚さは薄い。胎土は色調や土質など458とほぼ同じ。

奥州藤原氏時代の陶器（461～465）

461はB1～B3区出土の陶器広口長頸壺である。12世紀後半と見られる渥美窯産広口長頸壺である。頸部～肩部破片で、頸部付け根に三角突帯（緑帯）を施す。外面に灰釉が施軸されているが、釉の厚さがなく、意図的か判断付かない。内面は頸部を接着した際に付いた連続指頭痕があり、横位ヘラナデ調整で馴染ませている。頸部に突帯が付くのは長頸壺の特徴のひとつ。【中世陶器研究会1995「9.中世陶器（常滑・渥美）」概説中世の土器・陶磁器】田原市博物館2013「渥美窯 国宝を生んだその美と技】462はI B17e検出面・SDB4（I B18c～19c埋土）出土の陶器広口壺である。12世紀後半と見られる広口壺である。462aは体部上半、462bは体部下半の破片で、内外面ともロクロナデ整形後に灰釉を施軸している。462は内面にも灰釉が認められる。2破片。463はB1区表土出土の陶器壺である。12世紀後半～13世紀初頭と見られる渥美窯産陶器壺である。肩部破片で、内面に頸部を接合する部分直下が見られ、やや角度が付いている。肩部は、輪積み後に横位ヘラナデ調整が加えられる。外面は格子目の押印文を施し、灰釉が施軸される。464はB5区表土出土の陶器壺である。12世紀後半～13世紀初頭と見られる渥美窯産陶器壺である。肩部破片で、内面に頸部を接合する部分があり屈曲に沿って斜めにヘラケズリを施す。また、輪積み後に横位ヘラナデ調整が加えられる。外面は平行叩き目に似る連続した押印文を施し、灰釉が施軸される。465はSDB1南端部（II B12k）出土の陶器甕である。12世紀後半～13世紀かと考えられる常滑窯産陶器の甕である。いずれも頸部破片と見られ、内外面ともロクロナデ整形で、内外面ともオリブ黒色の灰釉を施軸している。なお、同色の光沢のある灰釉がかかった須恵器大甕片が出土しており、胎土も似ることから平安時代の土器に含まれる可能性がある。2破片。

中世後半～末の陶磁器（466～490）

466はSXD2埋土出土の陶器甕である。13～14世紀の東北在地産と見られる陶器甕である。輪積み成形で、内外面ともヘラナデ調整で仕上げている。焼成温度が低く軟質で、土師質のにぶい赤褐色を呈する。外面は意図的か鉄軸様。467はC1区検出面出土の青磁碗である。15世紀前半の中国倣龍泉窯系青磁の碗である。磁胎は褐色で細かな空隙が観察され、釉の厚さは約1mm。釉調はガラス質だが濁っていて透明度が低く、細かな貫入が認められる。また、内外面とも風化が顕著でくすんでいる。2破片。468はC1区検出面出土の青磁碗である。15世紀前半の中国倣龍泉窯系青磁の碗である。磁胎は灰白色で細かな空隙が観察され、釉の厚さは約0.6mm。釉調はガラス質だが濁っていて透明度が低く、細かな貫入が認められる。また、内外面とも風化が顕著でくすんでいる。469と磁胎や釉の厚さなどよく似るが風化の度合いが異なり、同一個体が確認が持てない。469はT4-1出土の青磁碗である。15世紀前半の中国倣龍泉窯系青磁の碗である。磁胎は灰白色で細かな空隙が観察され、釉の厚さは約0.6mm。釉調はガラス質だが濁っていて透明度が低く、細かな貫入が認められる。高台内面まで施軸されるが、底面と畳付の一部が褐色に変色しており、トチン痕が付く。468と磁胎や釉の

厚さなどよく似るが風化の度合いが異なり、同一個体が確認が持てない。470はSXD2埋土出土の青白磁梅瓶である。中世(13～14世紀か)の中国産青白磁梅瓶と見られる。外面に凹凸があり、文様彫り込まれていると考えられる。素地の厚さは約2mmで軸は約1mmの厚さがあり、白色釉の中に黒色粒子が多数確認できる。北上市境遺跡出土に類例あり。471はB1～B3区検出面出土の陶器天目茶碗である。15世紀後半の中国倣建窯系の天目茶碗である。胎土中芥子粒状の微細な黒色粒が含まれ、磁器質に焼成されており、濃い茶色から黒褐色を呈した釉薬を二重掛けしている。胎土が白色気味で、釉の厚みが少ないことから傍系の窯とした。472はSDC4(ⅡB71)埋土上位出土の磁器碗である。16世紀代と見られる中国産染付碗である。体部中央の破片で、外面に松文かが描かれる。外面にピンホール状の孔有り。473はSXD2埋土出土の磁器染付皿である。16世紀代の中国産染付皿である。薄手で、軸を除く口縁部の厚さは2.3mm程である。口縁部の内外面に圈線を引き、内面は草花文、外面は不明、透明釉を施す。474はⅡC9b地山直上の磁器皿である。15世紀後半～16世紀前半の中国産染付皿である。底部～高台部破片で、外面は高台に二重圈線を施す。高台畳付は無釉で、砂目積みの砂が付着している。内面見込には、二重圈線内に玉取獅子文が描かれる。歴博データベースに類例あり。薄手。475はⅢB4r検出面出土の陶器平碗である。古瀬戸中期様式中期～後期後Ⅰ期(14世紀中葉～後半)の平碗である。体部下～高台部の破片で、おそらく内面と外面の体部上半に灰釉を施し、体部下～高台部は露胎していると考えられる。底部は回転糸切り後に、角高台を貼り付けている。476はSXE1埋土中位出土の陶器平碗である。古瀬戸後期様式後Ⅲ期(15世紀第2四半期)かの平碗と考えられる。体部下破片で、内外面とも灰釉を薄く施している。胎土中に空隙が生じている。477はPPC437埋土一括出土の陶器卸目付大皿である。古瀬戸後期様式後Ⅲ期(15世紀第2四半期)と考えられる卸目付大皿である。内外面とも灰釉を施軸しており、部分的に白く灰被りしている。

478の陶器瓶子である。古瀬戸後期様式後Ⅱ期(14世紀後葉～15世紀第1四半期)の瓶子Ⅲ類(根来型瓶子)と考えられる。裾裾がりの高台が付く器形で、底部付近の破片である。外面にはぶい褐色の上に黒色の鉄釉が掛け流される。479はD4区ⅡB5r検出面出土の陶器天目茶碗である。16世紀頃の瀬戸・美濃窯の天目茶碗である。内外面とも褐色・黒色の釉薬を二重掛けした体部破片で、胎土中に空隙が認められる。480はB2区検出面出土の陶器丸皿である。16世紀後半の大窯期に位置付けられる志野丸皿である。長石釉で釉調は白濁、灰黄色を呈しており、釉がやや厚い。器面には、ピンホール状の小さな孔が多く認められる。高台畳付と高台内面は露胎だが、釉溜まりが出来ている。口縁部は外反気味。481はⅡB15mⅢ層下位検出面出土の陶器丸皿である。16世紀末～17世紀初頭の連房式登窯期に位置付けられる志野丸皿である。長石釉だが、大窯期より釉が薄く、ピンホール状の小さな孔が多く認められる。口縁部外傾。482はPPB285埋土出土の陶器皿である。16世紀中頃の瀬戸・美濃窯の灰軸皿である。高台部分は軸剥ぎしており、底面に胎土目積み痕が認められる。外面はやや白く発色している。483はSDC1埋土一括・SDC1b断面東側埋土出土の陶器皿である。16世紀後半の瀬戸・美濃窯の灰軸皿である。軸剥ぎした高台畳付以外は全面施釉で、釉調は透明度の高いガラス質で灰オリブ色に発色しており、細かな貫入が認められる。内面見込と外面高台周辺には1.5mm程の釉溜まりが見られる。2破片。486と揃いか。484はSDC1埋土一括出土の陶器皿である。16世紀後半の瀬戸・美濃窯の灰軸皿である。外反する口縁部破片で、内外面とも施釉されている。釉調は透明度のあるガラス質で灰オリブ色に発色しており、細かな貫入が認められる。485はB6区検出面出土の陶器皿である。16世紀後半の瀬戸・美濃窯の灰軸皿である。底部破片で、内面見込は釉がやや厚い。底面はロクロ水挽き痕が残り、一部釉があるが露胎しており、トチン痕が全くない箇所がある。釉調は透明度の高いガラス質で、オリブ黄色に発色しており、細かな貫入が認められる。487

と同一か。486はPPB132埋土出土の陶器皿である。16世紀後半の瀬戸・美濃窯の灰軸皿である。体部下半～底部破片で、高台内は軸剥ぎされている。軸調は透明度の高いガラス質で灰オリーブ色に発色し、細かな貫入が認められる。内面見込と外面高台周辺に軸溜まり、高台内には胎土目積み痕が認められる。467と揃いか。487はB6区検出面出土の陶器丸皿である。16世紀の瀬戸・美濃窯（大窯期）の灰軸丸皿である。内外面に薄めに施軸しており、外面の体部下半に稜が付く。485と同一か。488の陶器・折縁皿である。16世紀中頃～後半の瀬戸・美濃窯（大窯期）と考えられる折縁皿である。内外面に施軸している。口縁部外反。489はB6区検出面出土の陶器折縁皿である。16世紀後半の瀬戸・美濃窯（大窯期3～4段階）の折縁皿で、内面に刻線が施される。内外面とも二重掛けしており、黒色の鉄軸が溜まっている。口縁部外反。2破片。490と揃いか。490はSDC1a埋土一括出土の陶器折縁皿である。16世紀後半の瀬戸・美濃窯（大窯期3～4段階）の折縁皿で、内面に刻線が施される。内外面とも二重掛けしており、黒色の鉄軸が溜まっている。口縁部外反。2破片。489と揃いか。

近世～近代の陶磁器（491～508）

491～502は陶器である。491はB5区溝検出面出土の17世紀末～18世紀後半（1690～1780年代）と見られる肥前窯産の壺で、高台が高く掬形にやや開いた呉器手形を呈する。内外面とも灰軸を施軸しており、高台台付は無軸となる。492はA3区検出面の18世紀代と見られる大堀相馬産腰銘壺である。体部下半破片で、外面に横縞文を施す。外面は錆軸、内面は灰軸を施している。493はSDA1埋土出土の壺である。18世紀代と見られる大堀相馬産腰銘壺写しである。外面体部下半～底部に茶褐色の鉄軸（錆軸）後に、口縁部～体部上半に灰軸、藁灰軸を掛け流している。494はC1区表土出土の19世紀東北在地産と見られる陶器壺である。口縁部は直立する器形で、内外面にやや厚みのある灰軸を施している。495はII B15m III層下位検出面出土の18世紀代（1690～1780年代）と見られる肥前窯産の皿である。内外面に銅緑軸を施しており、外面は体部下半～高台部が露胎、内面見込は蛇目軸剥ぎされる。国内出土の肥前陶磁430頁に類例あり。496はA2区北東隅溝出土の19世紀頃と考えられる大堀相馬産土瓶蓋である。内面は無軸で、ロクロ目を残す。外面は藁灰釉地に鉄軸、銅緑軸を施している。中央に摘まみと脇に貫通孔を1箇所有する。497はA3区検出面出土の17世紀後半瀬戸・美濃窯の三足盤である。筒形香炉とも考えたが、内面に軸を施しているため火入れは除外した。内外面に鉄軸を施軸しており、底部露胎で脚付きとなる。内面見込に窪みがあり、印花かと思われるが残存が少なく明らかでない。498はB1区表土出土の19世紀東北在地産と見られる鉢である。口縁部が玉縁形で、内外面に灰軸、藁灰軸を掛け流している。499はB6区検出面出土の18世紀代と見られる瀬戸・美濃窯の灯明皿である。灯油を入れ、灯芯に火を点す際に使う小型の油皿で、内面見込中央に灯芯を立てるための「へそ」を持つ。内外面に鉄軸を施軸しており、底部露胎で高台が付く。内面見込と外面の体部下半に軸溜まりが認められる。内面及び底部～高台部にかけて、使用による油煙が付着している。500はIII C4b III層下位出土の18～19世紀代と考えられる産地不明の播鉢である。内外面に鉄軸を施軸しており、内面は5条1束の卸目を拂掻きする。501はA3～A4区出土の18世紀後半～19世紀不明産地（在地か）と見られる焼き締め陶器の播鉢である。内外面に鉄軸を施軸しており、外面には回転台から持ち上げる際に付いた指頭痕が残る。底部外周は外側にやや張り出した器形で、より安定させている。底面には回転糸切り痕が残る、無軸となる。内面には8条1束の卸目が施されているが、内面見込は使用により卸目が消える程に著しく摩耗している。502はA3区検出面出土の18世紀代と見られる常滑窯産陶器の壺である。口縁部破片で、口縁端部は平らに整形されている。内外面とも無軸だが、口縁端部と内面に灰被りの痕跡が認められる。口径（46.0）cmで、大口径部類

に入る。平泉町下構遺跡に類例あり。

503～508は磁器である。503はⅡ B10n 検出面出土の17世紀(1630～1650年代か)と見られる肥前窯産染付碗である。口縁部破片だが、かなり薄手で中国産の可能性もあるか。内外面とも口縁部に二重圏線を引き、外面は文様が施される。やや風化気味。504はA5区検出面出土の18世紀後半～19世紀代と見られる肥前窯産の広東形碗である。底部～高台部の破片で、内外面に染付を施している。外面の高台に圏線、体部下半に二重圏線を引く。内面見込に壽字かが付される。高台畳付は軸剥ぎ。505はⅡ B8I 盛土下Ⅳ層上面出土の17世紀代と考えられる肥前窯産の鉄絵皿である。口径33.8cm以上の大皿で、内面は藁灰軸地に鉄絵(鳳凰文か)と灰軸を塗る。506はA区検出面出土の18世紀末～19世紀前半かと見られる肥前窯産染付皿である。体部下半～高台部の破片で、蛇目凹形高台、高台内軸剥ぎを施す。内面は海浜文かを描いている。507はSXA3埋土出土の19世紀かと思われる肥前窯産染付皿である。口縁部～体部破片で、内外面に失透性の藁灰軸を施軸し、外面体部下半～高台部は露胎すると見られる。内面には鉄絵が描かれる。破断面の一部に焼継ぎか補修痕跡あり。508はB4区検出面出土の18世紀代と考えられる肥前系染付皿である。口縁部破片で、内面に二重斜格子文を施す。

(4) 縄文土器

縄文土器 (509～519)

509はSXE3埋設土器の縄文晩期末葉かと見られる深鉢である。正位に据えられており、上半を欠いている。外面は縄文LR横位を施文、内面は横位ナデ、底部は匠痕をナデで整えている。510はB3区(Ⅰ B18g)検出面出土の縄文晩期末葉と考えられる深鉢の底部破片で、外面は縄文LR横位を施文する。内面は横位ナデ調整。511はPPC606埋土上位出土の縄文晩期後葉大洞A'式と考えられる壺である。頸部周辺の肩部に10条の多重沈線を施し、以下に矢羽根状文と見られる文様を施す。512はD1区検出面出土の縄文晩期末葉大洞A'式かと考えられるミニチュアの鉢か壺である。口縁部に変形工字文かを描く。胴部の縄文は摩滅している。内面は横位ナデ調整。513はPPD100埋土出土の縄文晩期末葉と考えられる鉢である。口縁端部に刻み目、横位沈線(文様か)を施すが摩滅気味。内面は横位ミガキ調整、輪積み痕明瞭。514はB3区(Ⅰ B18g)Ⅲ層出土の縄文晩期末葉大洞A'式と考えられる浅鉢である。口縁端部は二又状突起・刻み目、突起間に2個一対の小粘土粒を配置、変形工字文かを描く。胴部は縄文RL斜位を施す。内面は横位沈線1条、横位ミガキ調整。515はSBB5・PPB9埋土出土の縄文晩期末葉大洞A'式と考えられる鉢か浅鉢である。口縁部文様帯部分の破片で、2個一対の小粘土粒と変形工字文を施す。文様帯の幅が狭い。516はB3区(Ⅰ B18g)Ⅲ層出土の縄文晩期末葉大洞A'式と考えられる鉢か浅鉢である。口縁部破片で、口縁端部に二又状突起・刻み目、変形工字文かを描く。内面は横位沈線1条、横位ミガキで仕上げている。517はB1～B3区検出面出土の縄文晩期末葉大洞A'式と考えられる鉢か浅鉢である。口縁部破片で、口縁端部に二又状突起・刻み目、変形工字文かを描く。内面は横位沈線1条、横位ミガキで仕上げているか。518はD1区検出面出土の縄文晩期末葉と考えられる鉢である。胴部下半～底部の破片で、外面に縄文LR横位を施文する。底部はナデ、内面も横位ナデ調整。519はD4区検出面出土の縄文晩期末葉大洞A'式と考えられる浅鉢である。口縁部破片で、外面は縄文単筋LR地に横位沈線と連続刺突文を施す。内面は横位ミガキ調整。

(5) 土 製 品

土製品 (520～522)

520 は A1 区表土・SIA1 遺構南西側埋土出土の丸瓦である。丸瓦と見られる破片で、520a と b の 2 破片は厚みと胎土の様子から同一と考えられる。凹面にはいずれも布目が残っており、520b には幅 2cm の粘土継痕が認められる。520a の凸面には縄叩き目の痕跡が残っており、ロクロナデ整形でナデ消されている。520b の側面は分割後にヘラナデで整えられている。520a 凹面には余った布の端が確認される。521 は B1～B3 区検出面・SKB2 埋土下位（材の下部）出土の丸瓦と見られる破片で、2 破片が接合した。凹面は布目が残っており、側面は分割後にヘラナデで整えられている。凸面はおそらく縄叩き目後に、ロクロナデ整形でナデ消されている。焼成は残存する小口を上向きにして行われたと考えられ、小口と凹面に灰被りが認められる。凹面の小口側に残っていた縄叩き目が幅 1cm、厚さ 2mm で焼成後に削り取られており、使用時に瓦を重ねる際に調整を施した可能性がある。522 は B6 区（Ⅱ B1j）検出面～黒褐色土・SDB4 東端合流点付近出土の丸瓦と見られる破片で、522a と b の 2 破片は胎土と凸面の様子から同一と考えられる。凹面はいずれも布目が残っており、522a 凹面端には余った布の端が確認される。522b 凸面端には縄叩き目がナデ消されずに一部残存しており、その後にロクロナデで仕上げられたことが分かる。また、側面は分割後にヘラナデで整えられている。

(6) 石 器

石器 (523～547)

523～528 は平安時代に比定される資料である。523 は SBE1・PPE393 北側埋土出土の砥石である。凝灰岩製の破片資料で、正面のみに擦痕が認められる。524・525 は SIA1 ベルト 1 層及び 2 層出土の被熱痕のある礫で、デイスイトが用いられている。526・527 は SXA2 西側埋土出土の被熱痕のある礫で、526 はデイスイト、527 は砂岩製である。528 は SIB1 の床面土坑 P1 出土の被熱痕のある礫で、安山岩製。

529～537 は中世末と考えられる資料である。529 は SDC4 埋土出土の砥石で、正裏面・左右側面と上面が使用されており、線状の深い擦痕も認められる。凝灰岩製。530 は T3-2 出土の砥石で、使用によって撻形に目減りしている。木枠に固定して使用したか。凝灰岩製。531 はⅡ B11j 埋土出土の砥石で、正裏面・左右側面を使用しており、厚さ 1.3cm まで目減りしている。530 同様、木枠に固定して使用したと見られる。頁岩（弱変成）製。532 は SDE3 埋土出土の砥石かと見られる資料で、右側面が直線的なことから石材が粘板岩製であることから、破損した硯の可能性もある。533 と 534 は石臼である。533 は PPC59 埋土出土で、全体を欠いているが上面の平坦面と下面の窪みが残存しており、下臼の一部と見られる。534 は SXD2 埋土出土で、こちらも全体を欠いているが上面の窪みと下面の擦り面、側面と下面中央に孔が穿たれていることから、上臼と考えられる。533・534 はいずれも居館跡 1 内部東側に位置しており、いずれも流紋岩製、破損状態も似通っていることから揃いの挽き臼と考えられる。535・536 は台石と見られる資料である。535 は SDE1（Ⅱ B1q）底面出土で、扁平礫の正面が平坦に加工されている。安山岩製。536 は SDC7（Ⅱ B7i）埋土出土で、平坦な正裏面のうち、正面に被熱痕が認められる。537 は PPB284 埋土出土の扁平礫で、正面に煤様、裏面に朱様の付着物が残存する。

538～547 は縄文時代に属すると考えられる。538～543 は頁岩製の石鏃である。538 は B1～B3 区検出面出土の無茎凹基鏃で、基部の左側縁に黒色粘着物（アスファルト）が付着している。539 は D4 区検出面出土の無茎凹基鏃で、正面下半に黒色粘着物（アスファルト）が付着している。540

はⅡ B10q 検出面出土の無茎凹基鏃。541はSXC2南側Ⅲ層下位出土の無茎凹基鏃。542はⅠ B18e 検出面出土の無茎鏃か。543は整地層範囲(Ⅱ B17p)Ⅲ層下位出土の有茎鏃で、茎部に黒色粘着物(アスファルト)が付着している。544はD4区検出面出土の石錐で、赤色頁岩製。側縁を中心に精緻な加工が施される。545はD2区検出面出土の頁岩製縦型石匙で、端部は欠損している。刃部と見られる右側縁は片刃、左側縁は両刃に加工されている。546はA3・A4区検出面出土の頁岩製不定形石器で、左側縁は欠損している。刃部は下縁部にあり、鈍角のスクレイパー(搔器)と考えられる。547はⅡ B19q Ⅲ層下位出土の二次加工ある横長剣片で、右側縁に片刃加工が施される。頁岩製。

(7) 石 製 品

石製品 (548～550)

548はB6区北側黒褐色土出土の硯片である。頁岩製で、伴出する陶磁器から中世末の16世紀後半に推定される。549は整地層範囲(Ⅱ B17q)Ⅲ層下位出土の不明な方形基調の石製品である。凝灰岩製で、全体に磨痕を有する。平安時代に属すると見られる。550はSXD2埋土最上位出土の石冠で、アイサイト製である。縄文時代晩期と考えられる。

(8) 金 属 製 品

金属製品 (551～557)

551はPPE109埋土出土の鉄鏃である。角錐状を呈する鉄鏃と考えられる。中茎部分の基部は折損している。刃部は先端部から最も幅の広い部分までの刃長7.0cmで、これより基部側が柄に収まる。重量29.5g。16世紀後半か。552はⅡ B15i Ⅲ層下位出土の鉄鏃である。鉄鏃の中茎部分と考えられる。J字型を呈しており、下端部は折損している。断面方形で、一辺が約5mm。別製品の一部の可能性もある。16世紀後半か。553はSXD2埋土出土の腕かである。真鍮腕の口縁部破片か。元は腕形と見られるが、現状は板状を呈している。下部は内面側へやや捲れ返っており、引き千切れた様子が観察される。左右は折れたようにギザギザしている。厚さは1mm前後で、口端は水平に整えられている。16世紀後半。554はⅡ B11g 検出面出土の鎌等の金具かである。鎌等の留め具と考えられる。厚さ1.5～2.0mm、幅6.0mmの筒状の柄に詰め込んで、刃部と柄を留めている。重なり合う部分がちょうど側面に来るように配置し、締め上げている。出土位置から16世紀後半と推定される。555はD4区検出面出土の釘である。頭部がL字型を呈する鉄釘で、先端部は折損していると見られる。断面方形で、中央より先端寄りはやや細身となる。16世紀後半。556はSDB1(Ⅱ B12k)埋土出土の鉄鋌である。鉄製品を造る素材と考えられる。X線画像から基部は幅が広く、やや潰れて斜めの形状になっている。先端部は折損していると見られ、残存部もやや薄くなっている。厚さは基部側で6mm、先端部で2～3mmである。重量92.6g。16世紀後半。557はⅡ B16q Ⅲ層下位出土の煙管である。古泉編年で、雁首の首部に肩が付くⅠ類のうち、脂返しが下方に湾曲しないB類に細分され、(2)の江戸時代初期～前期(17世紀前半～中後葉)に位置付けられる。真鍮製のラウ煙管と考えられる。火皿欠損で雁首のみ残存。重量4.1g。

(9) 銭 貨

銭貨 (558～568)

558～560は北宋銭である。558はSXD2埋土出土の祥符通寶で、初鑄年は1008年である。559はSDC1a(Ⅱ B7j)埋土出土の天聖元寶で、初鑄年は1023年。小形のため国内模鑄銭の可能性がある。

560はSXD2底面付近埋土出土の皇宗通寶で、初鑄年は1038年である。561～563は明銭の洪武通寶である。561はSXD2最下層出土で、小平銭と見られ背面右に「一銭」が入れている。562はSXD2最下層出土の無背銭、563はPPC624埋土上位出土の無背銭である。564・565は寛永通寶の古寛永で、初鑄年は寛永13年(1636年)である。564はSDB4(I A19c)埋土出土、565はSKB2底面直上出土。566・567は寛永通寶の新寛永で、初鑄年は元禄10年(1697年)である。566はC区検出面出土、567はB5区検出面出土で、566は厚さ0.09cm、重量1.2gと薄い。568はSDB4(I B18c～19c)埋土出土の旭日竜五銭銀貨で、明治3年(1870年)鑄造である。

(10) 木質遺物

木質遺物(569～1086)

平安時代の木質遺物(569～583・635)

569はSBE1・PPE412埋土中位出土の曲物底板である。径45cm程度のスギを用いた大型円形曲物桶で、側板を受ける縁が施されている。570はSBE11・PPC481埋土出土の曲物側板かである。やや厚手で刃を斜めに入れた切り込みがある。樹種は針葉樹。571はSBD2・PPD140出土の曲物底板もしくは蓋板と見られ、樹種はエノキ属である。外縁部が一部残る。572はSBE1・PPE393埋土出土の撤物桶側板かである。側板1枚分で、過半を欠損している。樹種は針葉樹。573はSBB3・PPC200埋土出土で下駄の一部と考えられる。樹種はサクラ属で、斜めに入る貫通孔を有する。574はSXC2遺構北西側埋土上位出土の農具柄の一部と見られる資料で、楕円柱状を呈する。樹種はケヤキ。575はSBE1・PPE736埋土下位出土の木錘である。樹種はクリで、中央に段を作り縄をかける箇所を作成している。576はSBE1・PPE398埋土中～下位出土の机の支脚かと見られる部材である。樹種はニレ属で、側面に納穴が有り差し込む造りになっている。上部は柄で、天板の納穴に差し込む造りと見られ、柄の長さ2cmで断面長方形となる。577はSBE1・PPE398埋土中～下位出土で、576と同一個体の机の支脚かと見られる部材である。破片だが、576と同じ造りと考えられる。578はSBC3・PPC519埋土出土の上部に抉り痕のある板材である。樹種はコナラ属コナラ節で、上部に抉り痕が有り、持ち手部分かを作成している可能性もある。579はSXC2北側埋土出土の棒状木製品で、面取り加工が施される。樹種未同定。580はSBE1・PPE393埋土出土の板状木製品もしくは木筒の一部と考えられる資料である。樹種はスギで、墨書が記載されているか不明。581はSBE1・PPE413埋土出土の板状木製品もしくは曲物底板と考えられる資料である。樹種はスギ。582はSXC2遺構北西側埋土上位出土の板状木製品の一部と見られる。樹種はマツ属複雑管束亜属でa～cの3破片に分かれており、cは隅部分の破片である。583はSBB3・PPC206埋土出土の縦じ紐と見られる樹皮である。樹種はヤマザクラかカバ樹皮と見られ、幅は3.1cmである。635はSBE1・PPE393埋土出土のサクラもしくはカバの樹皮で、幹から樹皮を約5cm幅で剥ぎ、縦じ紐などに利用するために巻いた状態で保管していたと考えられる。幹一周分とすれば、直径15cm程の樹木から採取したか。

戦国時代末の木質遺物(584～634、636～654)

584はSXE1埋土出土の中世木筒で笹塔婆で、墨書は「バン(梵字)南無□大(日如来)」と考えられる。上端を圭頭状に整形しており、幅1.8cm、厚さ0.4cmで長さは11.1cm残存している。資料では長さ24.2cm、幅1.8cm、厚さ2～3mmに切りそろえて使用と見られる。正面にバン(梵字・大日如来)、「南無□大」が残っていることから、「日如来」と続くと思われる。県内では、向中野館第5・6次(盛岡市)、志羅山遺跡(平泉町)、仙人西遺跡(奥州市)で出土している。樹種未同定だがスギ

か。585はSDE1拡張部分埋土出土の板状木製品で、下端部の両側縁を削ぎ落として尖らせている。塔婆の下端部とも考えられるが幅が狭く、混入物の可能性もある。樹種未同定。586～590は漆器椀である。586はSDC6埋土出土で外面は黒色漆、内面は赤色漆が塗彩される。木地の樹種はブナ科ブナ属。587はSDD2埋土（深さ-20cm）出土の底部片で、二次被熱によって一部が炭化している。外面は大半が剥がれ落ちているが、一部に黒色漆が残る。樹種はブナ科ブナ属で、透明漆のパレットに転用された可能性がある。588はSDC4（II B7m）埋土下位出土の口縁部～体部破片で、2破片に分かれている。木地の樹種はブナ属で外面に黒色漆、内面には赤色漆が塗彩されている。589はSDC4（II B7m）埋土下位出土の口縁部及び底部破片で、2破片に分かれている。木地の樹種はブナ属で、外面は黒色漆、内面には赤色漆が塗彩されている。590はSXE1底面出土で、体部上半と見られる。外面に黒色漆、内面に赤色漆が塗彩される。なお、樹種同定は実施していない。586～589は塗膜構造調査を実施した。詳細は附編自然科学的分析 8・9を参照されたいが、内外面ともに下地には褐色を呈する柿渋に木炭粉を混和した炭粉塗下地が施される。また、内面にはベンガラを顔料とする赤色漆が塗布されているが、586・588・589は赤色漆1層のみが認められるのに対して、587は赤色漆による絵付けが施されている。また、586・588・589の外面には下地の上に透明漆1層が施されているが、587だけは内面にも透明漆が塗布されている。591はPPC198埋土出土の削物で、形状は槽に類似するが底面は平坦でなく不明である。樹種はクリ。592～596は曲物側板である。592はSDB1付属水場遺構付近から出土した全周する資料である。底板を欠くが、口径34.0cm、樹種はヒノキ科アスナロ属である。593はSDB1（II B10i）埋土出土の1/3残存する資料である。樹種はヒノキ科アスナロ属で、縦じ紐痕・木釘痕が残る。594はSXD2埋土出土の3破片に分かれる資料である。樹種はクリで、594aには縦じ紐痕が認められる。また、この資料について年代測定を実施したところ、1516calAD～1591calAD（ 2σ ・66.5%）の年代値を得ている。595はSKE8埋土中位出土で2破片に分かれる資料である。樹種はサワラで、いずれも幅2.1cm。596はSKE8埋土出土で、内面に斜めに切り込み痕を入れた側板である。樹種はスギで、端部は斜めに切り落として縦じる部分を加工している。597～600は曲物底板である。597はSDB1（II B5h）埋土出土で径7.5～7.8cmの円形曲物底板である。樹種はヒノキ科アスナロ属で、正裏面に削り痕が認められる。598はSDC6埋土出土で年度を跨いで2破片に分かれて出土した資料である。樹種はスギ科スギ属スギで、径10.8cmの中央に回転台に据えた際に固定した孔が認められる。599はSDD2埋土出土の円形曲物の底板である。樹種はスギ科スギ属スギで、径15.3cmと597・598より一回り大きいサイズである。600はSXE4遺構南東側埋土上位出土で、側板を受ける縁が施される円形曲物底板である。樹種は針葉樹。601はSDC4（II B7l～r）埋土出土の板状木製品の一部である。樹種はカツラで、曲物底板の可能性もある。602～606は箱物桶側板かと思われる資料である。602はSDC6埋土出土で2破片あり、いずれも幅3.1cmである。樹種はクリ。603はSDD2（II B8p）埋土出土で2破片あり、樹種はコナラ属コナラ節である。604はPPB121埋土出土で2破片あり、樹種はスギである。605はSDE7埋土出土で、樹種はサワラである。606はSXC2（II B8l）検出面を含む盛土下IV層上面（盛土中）出土で、下半は炭化し欠損している。樹種はマツ属複雑管束亜属。607はSXC2（II B8l）検出面を含む盛土下IV層上面（盛土中）出土の木栓である。樹種は針葉樹で、直径2.8cm以下の孔に差し込まれていたと見られる。608はSDC7断面B付近埋土出土の篋の一部かと思われる資料である。樹種は針葉樹、匙状で下端部は削ぎ落とされている。609はSXB6埋土出土の杓子と見られる資料である。樹種はウリ科ユウゴウ属果皮もしくはヒョウタンで、柄を通した2カ所のうち1カ所の貫通孔が認められる。610～614は連菌下駄である。610はSDD2西側西端（II B7j）埋土下位出土で、長さ22.9cmの略定形である。樹種はナナカ

マド属で、使用のために後の歯が前に比べて7mmほど減っている。前壺の右側が窪んでいることから左足用と考えられる。611はSDD2(ⅡB7l)埋土下位出土で、連歯下駄の歯部分のみが出土している。樹種はナナカマド属。612はSDD2(ⅡB8p)埋土中～下位出土で、長さ23.0cmの略完形である。樹種はクリで、後の歯が大きく擦り減っており、歯の減り具合から右足用と考えられる。前壺が破損したため、右隣に改めて孔を穿っている。613はSDD2(ⅡB7r-7s)埋土出土で、長さ(19.2)cmの1/2程度残存した資料である。両側縁と上端部の前壺部分も破損しており、使用によって後の歯が摩耗している。樹種はモクレン科モクレン属。614はSDD2(ⅡB8p)埋土中～下位出土で、下端部を欠損しているが完形に近い資料である。樹種はトネリコ属で長さは21.0cmあり、前壺の位置が右寄りであることから左足用と考えられる。615はSDD2(ⅡB7k)埋土出土の下駄の側縁部と見られる破片である。樹種はクリ。616はSDD1埋土出土の下駄の前壺部分かと見られる資料である。樹種はブナ科ブナ属クリで、貫通孔を有する。617はSDD2(ⅡB7r-7s)埋土出土の折敷である。底板は一辺38.0cmで、四隅の角を切り落としたり隅切り角形を呈する。残存した側板の長さから見て、正方形と考えられる。側板には縦じ紐が残存しており、底板と側板を留めていたと見られる。樹種はいずれもスギ科スギ属スギ。618はSDB1(ⅡB7g)埋土出土の車輪かと見られる環状木製品である。樹種はヒノキ科アスナロ属で、略完形。619はSXD2埋土出土の荷札かと見られる板状木製品である。樹種はヒノキ科アスナロ属で、上端部及び右側縁部に貫通孔が認められる。墨書などは確認できない。620はSDD1(ⅡB5s)埋土出土の鍬先である。樹種はブナ科ブナ属クリで、刃の装着部分の長さ21.0cm、幅13.8cmの鉄製の刃を装着したと考えられる。装着部分は断面V字形である。柄を差し込む柄穴は、長さ7.2cm、幅3.6cmの断面長方形である。621はSDD2(ⅡB7r-7s)埋土出土の鍬や鋤など農具柄と考えられる。樹種はブナ属で、下端部のみ残存している。622～629は木錘で、菰篋を編む際に使用したと見られる菰編み台の錘と考えられる。622はSDD2(ⅡB8p)埋土中位出土の木錘で、上端部に縄掛け用の袢りを全周する。樹種はコナラ属コナラ節で、上端部以外は樹皮が付いた状態である。623はSDD2(ⅡB8p)埋土出土の木錘で、調査時に分かれた2個体を接合した略完形の資料である。やや腐食が進んでいるが、上端部の袢りは明瞭に残る。樹種はコナラ属コナラ節。624はSDD2西側西端(ⅡB7k)埋土下位出土の木錘で、下端部は焼失し炭化している。残存した基部には縄掛け用の袢りが残存する。樹種はコナラ属コナラ節。625はSDD2西側(ⅡB7l)埋土出土の木錘で、上端部の約1/3のみが残存している。袢り部分は一部が認められ、樹種はコナラ属コナラ節である。626は同じくSDD2西側(ⅡB7l)埋土出土の木錘で、袢り部分下の中央部約1/2のみが残存した資料で、樹種はコナラ属コナラ節である。627はSDD2(ⅡB7l)底面出土の木錘で、略完形の資料である。剥がれているが樹皮が付いていたと考えられ、上端部には袢りが明瞭に残る。樹種はクリ。628は同じくSDD2(ⅡB7l)底面出土の木錘で、袢り部分より下側約1/2のみが残存する資料である。樹種はクリで、剥がれているが樹皮が付いていたとみられる。629はSDD2(ⅡB8p)埋土中位出土の木錘で、下半部と正面の一部を消失した資料である。樹種はカエデ属で、上端部の袢り部分が残存する。630はSDD2東側西端(ⅡB8o)埋土中位から出土した樹皮製籠で、クリ(一部サクラ属)の樹皮を緯糸、タケを経糸に用いている。経糸は数本をまとめて用いていると見られ、1本飛び1本潜りで組まれている。破損しており全形は不明だが、大きさから背負子籠のような形状の可能性がある。出土状況から一括廃棄されたと考えられる。631はSBC9門・PPC857埋土出土で630と同種の樹皮製籠の一部とみられ、樹皮(サクラ属)の緯糸のみが見つかる。樹皮の表面には経糸の痕跡が認められる。632はSDD2(ⅡB8h)埋土中位出土の竹製品の一部で端部が差し込む形状となっており、弓筈に似ることから弓とした。樹種はタケ亜科、下半は欠損している。633はSDD2(ⅡB7k)埋土

出土の竹製品の一部で短冊状を呈しており、基部側に貫通孔とみられる痕跡を有する。樹種はタケ。634はSDC6埋土出土の樹皮で、樹種はヤマザクラもしくはカバ樹皮である。縦じ紐と考えられる。636a・bは曲物側板と見られる資料で、636aはSDD2(ⅡB7m)断面Cベルト埋土下位出土、636bはSDD2(ⅡB8p)埋土出土で同一個体と考えられる。いずれも樹種はスギで、636aには底板を木釘で留めた痕跡が認められる。637はSDD2(ⅡB7r-s)埋土出土の板状木製品で、略半円形を呈している。樹種はスギ科スギ属スギで、正面から側面にかけて広く炭化している。用途不明。638はSDD2(ⅡB7l)埋土上位出土の板状製品の一部で、隅丸方形を呈する。丁寧な造りで、全体に研磨して仕上げられている。用途不明。639はPPC1010埋土下位出土の板状木製品で、半分欠損していると思われる。樹種はアスナロで、右側面が緩やかにカーブする形状である。用途不明。640はSDB2断面ベルト東側底面出土の板状木製品で、端部は切先状に片削ぎ形の形状に加工されており、刀形の可能性がある。樹種はサワラで、下端部は炭化して欠損している。641はSDD2(ⅡB8p)埋土出土の板状木製品の一部で、下端部が大きく炭化し欠損している。樹種はクリ。642はSKE8埋土出土の板状木製品で、下端部は炭化して欠損している。樹種はアスナロで、両側縁は欠損か。黄色の塗料付着(現代)。643はSDD2西側西端(ⅡB7k)埋土下位出土の板状木製品で、で、上端・下端部ともに欠損している。樹種はコナラ属コナラ節で、裏面にやや凹みがある。644a・bはSDD2東側西端(ⅡB8o)埋土出土の板状木製品で、644a・bいずれも炭化の影響で基端部を欠損している。樹種はクリで、断面方形を呈する。645はSDD2(ⅡB8l)底面出土の板状木製品で、基部側の幅が広く端部が狭くなる形状を呈する。樹種はコナラ属コナラ節で、下端部を欠損している。646はSDD2(ⅡB7k)埋土出土の板状木製品で、640と同様に端部は切先状に片削ぎ形の形状に加工されている。先端は平らに切り落とされていて、640とはやや異なるが刀形の可能性がある。樹種はクリで、下半部は欠損している。647はSDD2(ⅡB7l)埋土下位出土の板状木製品で、長さ1尺弱でやや右に反っている。樹種はクリ。648はSDD2(ⅡB7l)埋土下位出土の板状木製品で、三角形または台形に成形されている。樹種はクリで木製品の支脚部分と見られ、差歯下駄の歯の可能性もある。649はE区北側境界溝から出土した板状木製品で、長さ20.7cm、厚さは1.4cm。樹種は未特定で、右側面を欠損している。650～654は付け木で、いずれも樹種は未特定である。650はSDD2(ⅡB8p)埋土出土で、上下の両端部が炭化している。ミカン割り材を利用しているか。651もSDD2(ⅡB8p)埋土出土で、上端部のみ炭化している。削ぎ落とした加工痕が確認でき、破損した木製品の一部を再利用しているか。652はSDD2断面Bベルト埋土出土で、上端部のみ炭化している。下端部欠損。削ぎ落とした加工痕が確認でき、破損した木製品の一部を再利用しているか。653はSDB2南西隅部分埋土下位出土で、上端部のみ炭化している。下端部欠損。654はSDD2(ⅡB7l)埋土下位出土で、上端部のみ炭化している。下端部欠損で、樹皮が一部残存している。

平安時代の建築部材(655～782、793・794・797、803～805)

655・656はSBA2・PPA40底面直上出土の礎板である。礎板1・655の樹種はクリ、他の建物で使用した柱材を小割りして礎板に転用したと考えられる。礎板2・656は樹種未特定だが、655と同じ柱材から取られたと考えられることから、クリであろう。794・797はSBA2・PPA49底面直上出土の礎板である。礎板1の794について年代測定を実施したところ、暦年較正年代674calAD-778calAD(87.3%・2σ)、791calAD-822calAD(8.2%・2σ)の年代値を得た。礎板2の797は、794と同一個体の可能性がある。

657～660はSBA3a・b出土の礎板で、657a・bはSBA3b・PPA24底面直上出土、658はSBA3a・

PPA23 底面直上出土、659 は SBA3a・PPA26 底面直上出土、660 は SBA3b・PPA27 底面直上出土である。657a の樹種はクリで、別の建物で使用した柱材を小割りして礎板に転用したと考えられる。657b は 3 片に分かれているが、いずれも 657a と同一の破片と見られる。658～660 は樹種未特定だが、657 と同一のクリである可能性が高い。657a について年代測定を実施したところ、暦年較正年代 786-832calAD (51.0%・1 σ) の年代値を得ている。

661・662 は SBB2・PPB24 底面出土の礎板で、662 の上に 661 が重なって出土した。661 の樹種はオニグルミで、別の建物で使用した柱材を小割りして礎板に転用したと考えられる。

663～667 は SBB3 出土の柱材及び礎板である。樹種はすべてクリである。このうち、PPB174 底面出土の 663 柱材と PPC207 底面出土の 667 柱材は直径約 30cm の丸太を半割した材が用いられ、PPB185 底面出土の 664 柱材と PPB198 底面出土の 666 礎板はさらに小割りした材を使用している。663・667 柱材の底面と 667 柱材の表面には新による斫り痕が残存しており、表面整成が施されたと考えられる。PPB185 から出土した 664 柱材と PPB198 から出土した 665 柱材、PPC207 から出土した 667 柱材について年代測定を実施したところ、暦年較正年代で 664 柱材は 825calAD-882calAD (60.1%・1 σ)、665 柱材は 920calAD-956calAD (33.5%・1 σ)、667 柱材は 872calAD-894calAD (23.3%・1 σ) の年代値を得た。この中で、665 柱材の年代値が離れていることから、次に確率の高い 877calAD-898calAD (21.9%・1 σ) を支持したい。

668 は SBC2・PPC514 埋土中位出土の礎板である。樹種はクリで、下面に新による斫り痕が残存する。668 について年代測定を実施したところ、暦年較正年代 828calAD-886calAD (58.1%) (1 σ) の年代値を得た。

669・670 は SBC3・PPC525 底面出土の礎板である。樹種はクリで、他の建物で使用した柱材を小割りして礎板に転用したと考えられる。669・670 の下面に新による斫り痕が残存する。

671～673 は SBC4 出土の柱材で、樹種はすべてクリである。671 は直径約 50cm、672・673 は直径約 60cm の丸太を大割りした材を使用している。671 は PPC539 底面出土で、底面と大割材の表面には新による斫り痕が残存しており、成形から表面整成が施されたと考えられる。底面に残る斫り痕の幅は 5.6cm。PPC542 底面出土の 672、PPC543 底面出土の 673 の底面と大割材の表面にも、新による斫り痕がよく残っている。673 柱材の外面上について年代測定を実施したところ、暦年較正年代 785calAD-879calAD (52.8%) (2 σ) の年代値を得た。

674・675 は SBC5 出土の柱材で、樹種は 674 がクリ、675 がサクラ属である。674 は PPC474 底面出土の柱材で直径約 40cm の丸太を大割りした材を使用しており、底面には新による斫り痕が残存していることから、別の建物で使用した柱材を大割りして分割し再利用したと考えられる。675 は PPC537 底面出土の直径約 16～18cm、残存した高さ約 16cm の原木丸太の柱材で、底面には新による斫り痕が残存している。この柱材の外面上について年代測定を実施したところ、暦年較正年代 772calAD-893calAD (93.2%) (2 σ) の年代値を得ている。

676～678 は SBC6 出土の柱材で、樹種は 676・678 がクリ、677 は樹種未特定である。676 は PPC771 底面出土の柱材で、丸太材をそのまま利用している。正面には、原木丸太材を河川や陸を運搬した際に掛けた縄がずれて解けないように固定した筏穴（目途穴）が穿たれており、孔の大きさは約 4cm である。丸太材の表面と底面は腐食が進んでおり不明瞭であるが、手斧による加工痕が残存していたと考えられる。677 は PPC773 埋土上位出土の柱材で、だいぶ腐食が進んでおり形状を保って取り上げることは出来なかったが、直径約 30cm の丸太材が用いられていたと考えられる。678 は PPC800 底面出土の柱材で、腐食が進行しており幅 25.0cm、厚さ 18.6cm のみ残存しているが直径約 30

cmの丸太材が用いられていたと考えられる。676 柱材の外表面について年代測定を実施したところ、暦年較正年代 772calAD-883calAD (84.5%) (2 σ) の年代値を得ている。

679～682はSBC7出土の礎板で、樹種はいずれもトネリコ属シオジ節である(681はトネリコ属)。679～681はPPC846底面出土の礎板で、別建物の柱材を再利用する際に出た端材と見られ手斧による加工痕が残存している。682はPPC881底面出土の礎板で、別建物の柱材からの転用で内面に当たる正面に新による加工痕によって平坦面が作られている。長さ68.3cm。679礎板について年代測定を実施したところ、暦年較正年代705calAD-738calAD (30.2%) (1 σ) 及び暦年較正年代788calAD-826calAD (38.1%) (1 σ) の年代値を得ている。

683～686はSBD1出土の枕木で、683・685・686の樹種はクリ、684は樹種未同定である。683・684はPPD3底面出土の枕木で、別の建物で使用した柱材をみかん割りして分割し再利用したと考えられるが腐食が進んでいる。685はPPD8底面直上出土の枕木で、下面に伐採痕が残る。686はPPD9底面直上出土の枕木で、転用の大割材である。685枕木について年代測定を実施したところ、暦年較正年代825calAD-882calAD (1 σ) の年代値を得ている。

687～702はSBD2出土の礎板・枕木で、687・688・691～693・697の樹種はクリ、696・699はトネリコ属、その他は樹種未同定である。687はPPD131底面出土の枕木で、別の建物で使用した柱材をみかん割りして分割し枕木として再利用したと考えられる。下面は平坦に整形されている。688～690はPPD133底面出土の枕木で、689・690は樹種未同定であるがおそらく688と同じクリで、687と同様に別建物の柱材を再利用したと見られる。691はPPD134底面出土の枕木で、687と同様に別建物の柱材を再利用したと見られる。692はPPD136底面出土の枕木で、これも別建物の柱材を分割して再利用したと考えられ、上面が柱設置時の底面に当たると見られる。693～695はPPD138底面出土の枕木で、695は樹種未同定であるが693と同一の柱材から転用したと考えられることから樹種はクリと考えられる。696～702はPPD141底面出土の礎板・枕木である。696はPPD141底面出土の礎板でa～cの3片で構成され、このうち696aはトネリコ属であることから696b・cも同じ樹種と見られる。また、699枕木もトネリコ属で、700～702枕木も形状が似通っており、同樹種と考えられる。696aは礎板として板状に加工しているが、696b・cはその過程で出た端材と考えられる。697・698は別建物の柱材を小割りして再加工したと考えられ、表面には新による加工痕が残存しており、平坦面が作られている。いずれも同一の柱材から転用加工されたと考えられる。PPD136から出土した692枕木について年代測定を実施したところ、暦年較正年代785calAD-833calAD (43.4%・1 σ) の測定値を得た。

703～707はSBD3出土の柱材・端材で、704は樹種クリ、その他は樹種未同定である。703・704はPPD101底面出土の柱材で、同一柱材と考えられる。いずれも腐食が著しいが704は外面の一部と底面が残存しており、表面に面取り加工痕、底面に新による加工痕が認められる。直径約20cmの丸太材を使用していたと考えられる。705・706はPPD103底面出土の柱材・端材で、705柱材は腐食著しいが、704と同じ直径約20cmの丸太材を使用していたと見られる。706は別建物の柱材を大割りした転用材で、端材が混入したと考えられる。707はPPD104底面出土の柱材で、腐食が進んでいるが直径約23cmの丸太材を使用していたと見られる。下面に研り痕が認められる。704柱材の外表面について年代測定を実施したところ、暦年較正年代703calAD-740calAD (38.0%) (1 σ) と789calAD-824calAD (30.2%) (1 σ) の年代値を得ている。

708～726はSBE1出土の柱材・礎板・端材で、樹種は708～715・724～726がクリ、722・723がエノキ属、716～721は未同定である。708はPPE361底面出土の柱材で、腐食で不鮮明だが表面

に面取り加工痕、底面に手斧による加工痕が認められる。直径40cm前後の柱材で、丸太材をそのまま利用しており、原木丸太材を河川や陸を運搬した際に掛けた縄がずれて解けないように固定した筏穴（目途穴）が穿たれている。孔部分が破損しているが、約6cm四方の大ききで穿たれていたと考えられる。709はPPE393底面出土の礎板で、別の建物で使用した柱材を小割りして転用したと考えられる。下側が一部炭化しており、元はもう少し長い板材だったと見られる。710～713はPPE394底面から出土した礎板で、4枚並べて敷き詰めた状態で見つかった。サイズがほぼ揃っていることから、別建物の同じ柱材を小割りして転用したと考えられる。710・711・713は裏面・側面に加工痕、712は表面・側面に加工痕が認められる。714・715はPPE395底面出土の礎板で、2枚並べて敷き詰めて出土した。714礎板は別建物の柱材をみかん割りして再加工した転用材で、元は直径約40cmの丸太材だったと見られる。転用材の際に5.2×3.7cm使用の柄穴が穿たれており、建築部材の一部として使用された後に礎板に用いられたと考えられる。転用材の際に柄穴のある面を平坦にする面取り加工痕が施されている。715礎板は別建物で使用した柱材を小割りして転用したと考えられる。サイズは710礎板などと似通っていることから、これらと同一柱材から加工した可能性がある。716～719はPPE397埋土中位出土の4点で、樹種は未同定である。このうち716～718は1つの板材であったと考えられ、719も含めて建築時に出た端材が埋土中に混入した可能性が高い。不掲載だが、他に埋土中から出土した材5～7も同様と見られる。720・721はPPE411底面出土の板材で、樹種未同定である。いずれも別建物の柱材を小割りした転用材を調整した際に出た端材と考えられる。722・723はPPE413埋土中位・埋土出土の板材である。722は別建物の柱材を大割りした転用材で、その際の表面加工が正面に残存している。元は直径約30cmの丸太材だったと見られるが、賦形や表面整成でサイズを減じていったと考えられる。723は別建物の柱材をみかん割りして再加工した転用材で、建築部材の一部に使用されたと見られるが、使用時もしくは廃棄後に炭化したと考えられ、下半部のみ炭化範囲が残存したものである。裏面上側に線描きのような痕跡も見られるが、炭化範囲の下にあったとも考えられ、その後付いた痕跡の可能性もある。724はPPE736埋土中位出土の板材で、別建物の柱材を小割りした転用材を調整した際に出た端材と考えられる。725はPPE737底面出土柱材、726は埋土下位出土材1である（材2は不掲載）。725柱材は、直径40cm前後の柱根で丸太材をそのまま利用しており、表面に面取り加工痕、底面に鉋による加工痕が認められる。また、外面には原木丸太材を河川や陸を運搬した際に掛けた縄がずれて解けないように固定した筏穴（目途穴）が穿たれている。孔部分の大ききは8.0×4.0cmである。726は、別建物の柱材を大割りした転用材を調整した際に出た端材と考えられる。PPE361・737から出土した708・725柱材について年代測定を実施したところ、PPE361出土の708柱材は暦年較正年代821calAD-882calAD（59.3%・1σ）、PPE737出土の725柱材は暦年較正年代828calAD-887calAD（57.3%・1σ）の年代値を得た。

727・728はSBE2出土の柱材で、樹種はいずれもクリである。727はPPE375底面出土で、原木丸太を大割りして再加工後の使用しており、元は別建物の柱材として使用していたものを転用したと考えられる。表面に面取り加工痕、底面に鉋による加工痕が認められており、底面加工は元の柱材の際に加工が施されたと見られる。728はPPE377底面出土の柱材で、腐食が著しく表のみ掲載した。観察から、別建物使用の柱材を大割りして再加工の上、転用していると見られる。

729はSBE3底面出土の礎板で、樹種はクリである。別建物使用の柱材を小割りして、再加工の上転用している。729礎板について年代測定を実施したところ、暦年較正年代828calAD-860calAD（24.4%）（1σ）もしくは870calAD-894calAD（22.1%）（1σ）、818calAD-900calAD（58.8%）（2σ）の年代値を得た。

730～735はSBE4底面出土の柱材・枕木で、樹種はいずれもクリである。730はPPE420底面出土の枕木で、別建物の柱材をみかん割りして再加工した転用材で、元は直径約28cmの丸太材だったと見られる。731はPPE422底面直上出土の柱材で腐食著しく表のみ掲載だが、直径約22cmの丸太材を使用していると考えられる。732・733はPPE429底面出土の枕木で、733枕木の上に732枕木が重なって見つかった。732は別建物の柱材をみかん割りして再加工した転用材で、形状から730と同一柱材の可能性がある。733は別建物の柱材を大割りした転用材で、半割に近く芯を外して取っている。729と同一柱材の可能性がある。734はPPE431底面出土の柱材で、腐食著しいが別建物の柱材を大割りした転用材と見られる。底面を嵩上げしていることから、修繕した可能性がある。735はPPE433底面出土の枕木で、別建物の柱材をみかん割りして再加工した転用材と考えられる。730枕木、734柱材について年代測定を実施したところ、730は暦年較正年代798calAD-834calAD(30.8%)(1 σ)もしくは845calAD-877calAD(29.7%)(1 σ)、772calAD-886calAD(95.4%)(2 σ)、734は暦年較正年代772calAD-883calAD(80.1%)(2 σ)の測定値を得た。

736～745はSBE6出土の柱材で、樹種は738～741・744・745がクリ、736・737・742・743は未同定である。736はPPC461底面出土の柱材で、腐食が著しく内部が空洞となっているが丸太材と見られる。737はPPC462底面出土の柱材で、736同様に腐食著しく内部が空洞となっているが丸太材と考えられる。738はPPE739底面出土の柱材で、腐食著しく内部が空洞、片面のみとなっているが丸太材と考えられる。739はPPE740底面出土の柱材で、腐食が著しく内部がバラバラになっているが丸太材と考えられる。740はPPE741底面出土の柱材で、腐食著しく内部が空洞、片面のみとなっているが丸太材と考えられる。741はPPE742底面出土の柱材で、腐食著しいが表面に面取り加工痕と底面に手斧による加工痕が不鮮明ながら認められる。742はPPE744底面出土の柱材で、腐食が著しく柱材の一部のみ辛うじて残存している。743はPPE745底面出土の柱材で、腐食著しく内部が空洞、片面のみとなっているが丸太材と考えられる。一部表面に面取り加工痕が認められる。744はPPE759底面出土の柱材で、内部が腐食して変形しているが丸太材と考えられ、底面に一部加工痕が認められる。745はPPE775底面出土の柱材で、比較的残存しているが片面と内部は腐食が進んでいる。表面の面取り加工痕と底面の加工痕が一部残存している。739柱材について年代測定を実施したところ、暦年較正年代787calAD-830calAD(44.6%・1 σ)の測定値を得た。

746はSBE7・PPE722底面出土の柱材で、樹種は未同定である。内部が腐食して空洞になっているが丸太材と考えられる。746柱材について年代測定を実施したところ、暦年較正年代786calAD-832calAD(45.5%・1 σ)の測定値を得た。

747～749はSBE8出土の礎板で、樹種は748がクリ、747・749は未同定である。747はPPE705底面出土の礎板で、長さ58.0cm、幅28.0cmの長方形を呈していたが腐食著しく形状を保って取り上げ出来ず、破片の一部のみ写真掲載した。748はPPE707底面出土の礎板で、別建物の柱材を大割りした際に出た端材3個を底面に円形に並べたうちの1点のみ掲載した。いずれも同一柱材と見られる。749はPPE708底面出土の礎板で、長さ52.0cm、幅23.0cmの長方形を呈していたが腐食著しく形状を保って取り上げ出来ず、破片の一部のみ写真掲載した。747・749礎板は、形状からおそらく別建物の同一柱材を小割りして礎板に転用したのと考えられる。748礎板について年代測定を実施したところ、684calAD-744calAD(68.3%・1 σ)の測定値を得た。1 σ の測定値は想定よりも古く、土器の年代とも齟齬を生じることから支持できない。2 σ では、674calAD-779calAD(80.7%)もしくは787calAD-827calAD(14.8%)の測定値を得ており、確率は低いが787calAD-827calADが調和的な測定値と考えられる。

750～755はSBE9出土の柱材・礎板で、樹種は750～753・755がクリ、754は未特定だが同一と考えられる。750はPPC469底面出土の柱材で、別建物の柱材を大割りして再加工した転用材である。転用前の元の柱材の段階で表面整合が施されており、底面は腐食が進んでいるが新による加工痕が残存している。751はPPE699底面出土の柱材で、別建物の柱材を大割りして再加工した転用材である。転用前の元の柱材の段階で表面整合が施されており、大割りした面は無加工と見られる。底面は腐食が進んでいるが新による加工痕が残存している。752はPPE700底面出土の礎板で、別建物の柱材を小割りして再加工した転用材である。礎板を整形した際に、表裏面及び側面を表面整合した新による加工痕が残存している。下端部は断面山形になるように整えられており、礎板以前に建築部材として再利用されていた可能性がある。上端部から15cm下に、全周する縄で縛った痕跡が認められる。753はPPE701底面出土の柱材で、別建物の柱材を大割りして再加工した転用材である。転用前の元の柱材の段階で表面整合が施されており、大割りした後に面取り加工が施されている。底面は腐食が進んでいて不明瞭だが、新による加工痕が残存している。754はPPE702底面出土の枕木で、3破片に分かれて出土した。底面にめり込んで出土したことから、沈み込み防止のため柱材の下に入れられたと見られる。別建物の柱材を再加工した際に出た端材と考えられる。755はPPE703底面出土の柱材で、別建物の柱材を大割りして一部再加工した転用材である。転用前の元の柱材の段階で表面整合が施されており、大割りした際に一部面取り加工されている。底面は腐食が進んでいて不明瞭だが、新による加工痕が残存している。750柱材の外表面について年代測定を実施したところ、暦年較正年代828calAD-859calAD (24.3%) (1 σ)及び871calAD-894calAD (22.6%) (1 σ)の測定値を得た。2 σ でも、820calAD-900calAD (60.0%)の値を示している。

756～770はSBE10出土の柱材・礎板・枕木である。樹種は756～761・764～770がクリ、762・763は未特定である。756はPPC483底面出土の柱材で、芯持ちの丸太材を使用している。全体に腐食が進んでいて表面整合した痕跡は認められないが、底面は不明瞭ながら新による加工痕が残存している。757はPPC486底面出土の柱材で、芯持ちの丸太材を使用している。腐食が進んでいるが、正面下半と底面に不明瞭ながら新による加工痕が認められる。758～760はPPC491底面出土の柱材・礎板である。758柱材は芯持ちの丸太材を使用しており、腐食が進んでいるが正面の一部と底面に不明瞭ながら新による加工痕が認められる。759礎板は別建物の柱材を小割りした転用材で、元の柱材は直径約30cmの丸太材と見られる。転用前の柱材の段階で表面整合が施されており、表面に面取り加工痕が明瞭に残る。760礎板は別建物の柱材を小割りした転用材で、元の柱材は直径約20cmの丸太材と見られる。転用前の柱材の段階で入念に面取り加工が施されており、759と同一柱材の可能性がある。761～763はPPD123底面出土の柱材と埋土出土の端材で、761柱材は芯持ちの丸太材を使用しており、腐食がやや進んでいるが下半から底面にかけて新による加工痕が認められる。また、底面には小礫などが加重の影響でめり込んだ状態となっている。762・763端材は別建物の柱材を大割りした際に出た端材で、763の表面には面取り加工痕が残る。764はPPD125底面出土の柱材で、芯持ちの丸太材を使用している。腐食が進んでいるが、表面下半に面取り加工痕、底面に研り痕が認められる。765はPPD126底面出土の柱材で、腐食が進んでいるが下半に面取り加工痕、底面に研り痕が認められる。766はPPD129底面出土の柱材で、腐食が進んでいるが下半に面取り加工痕、底面には研り痕が明瞭に残存している。767はPPE729埋土中位出土の枕木で、別建物の柱材を半割りした転用材を使用している。下端部には切断時の加工痕が残る。768はPPE731底面出土の柱材で、芯持ちの丸太材を使用している。腐食が進んでいて外面の加工痕はほとんど確認できない一方、底面は加工痕が辛うじて残存している。769はPPE732底面出土の柱材で、芯持ちの丸太材を使用している。腐

食が進んでいるが、不鮮明ながら一部に面取り加工痕が認められ、底面には不鮮明だが「斫り痕」が確認できる。770はPPE733底面出土の柱材で、腐食が著しく表のみ掲載した。高さ13.0cm、幅23.0cm、厚さ23.0cm。756柱材について年代測定を実施したところ、暦年較正年代で823calAD-883calAD(58.7%) (1 σ)、772calAD-890calAD(95.4%) (2 σ)の年代値を得ている。

771～782はSBE11出土の柱材・枕木で、樹種は771～774・776・777・780～782がクリ、775がコナラ属コナラ節、778・779が未同定である。771・772はPPC478底面出土の枕木で、2点が底面に並べて設置されていた。いずれも別建物の柱材を半割りして転用したと考えられる。2点とも表面及び底面の加工痕が不明瞭ながら残存している。上端部は元の柱材を切断する際に付いた加工痕と見られる。773はPPC479底面出土の柱材で、芯持ちの丸太材を使用している。柱穴内で底面が浮いた状態で出土したが、抜き取るために南方向へ斜め倒したものの抜き取れずに切断したと考えられる。柱材は直径40cm前後で、原木丸太材を河川や陸を運搬した際に掛けた縄がずれて解けないように固定した筏穴(目途穴)が穿たれていたと見られるが、孔部分は出土時から欠損していた。筏穴の柱周りには縄を掛けた痕跡がうっすらと認められる。表面には面取り加工痕、底面には新などによる調整加工痕が確認できる。774はPPC489埋土上～中位出土の枕木で、別建物の柱材を大割りした転用材と見られる。直径約26cmの丸太材を使用したと見られ、元の柱材の段階で表面集成に面取り加工が施されており、下面には斫り痕が明瞭に残存している。775はPPC513底面出土の柱材で、腐食が著しく形状を保って取り上げ出来ず表のみ掲載した。776・777はPPC534埋土中位出土の枕木で、別建物の柱材を大割りした転用材である。776は直径約20cmの丸太材を大割りしたと考えられ、下面には元の柱材の段階で加工した斫り痕が残存している。上端部には切断痕が認められる。777も直径約20cmの丸太材を大割りしたと見られ、776と同一柱材の可能性がある。上端部には、元の柱材の段階で付いた大きな切断痕が残っている。778はPPD124埋土出土の枕木で、別建物の柱材を半割りした転用材と見られる。779・780はPPD127底面出土の枕木で、いずれも別建物の柱材を半割りした転用材を使用している。779は表面には面取り加工痕、下面には新による加工痕が認められる。上端部には、大きく切断痕が残る。780は腐食の影響で表面加工は確認できない。上下端部には切断痕が認められる。781・782はPPE727底面出土の枕木で、いずれも別建物の柱材を大割りした転用材を使用している。781は表面に面取り加工痕、上下端部には切断痕が認められる。782も同様の加工痕が認められ、別建物の同一柱材の可能性がある。直径約26cmの丸太材を使用したと見られる。

793はSXC2・QNW埋土上位出土の柱材で、芯持ちの丸太材を使用している。使用後に切断された柱材で、池状遺構から出土しており帰属する建物は不明である。

803～805はPPC172底面出土の柱材で、樹種未同定である。芯持ちの丸太材を大割りした転用材で、3点とも同一柱材の可能性がある。803は半割材を使用した柱材で、表面に面取り加工痕、下面に手斧による加工痕が認められる。大割りした箇所には加工は施されていない。804は大割りした転用材で、腐食が著しいが表面の一部に面取り加工痕、底面の一部に加工痕が認められる。805は芯持ちの丸太材を大割りした際に出た端材で、転用材の一部と見られる。

中世以降の建築部材 (783～792、795・796、798～836)

783はSBC10・PPB149底面出土の柱材で、樹種は未同定である。上半部分は腐食が著しく、下端部のみが残存している。表面の面取り加工は施されていないことから、樹皮が付いた状態で使用していた可能性がある。底面は伐採時の切断痕が残存している。

784はSBC12・PPB151底面出土の柱材で、樹種は未同定である。上半部分は腐食が著しく、下端

部のみが残存している。表面は面取り加工が施されており、下部部は手斧を使った伐採痕が残存している。

785～787はSBC15出土の柱材で、樹種は786がトネリコ属、787がクリ、785は樹種未同定である。785はPPC621底面出土の柱材で、芯持ちの丸太材を使用している。表面は樹皮が一部付いた状態で出土しており、表面整形は施されていないと見られる。下部部には、手斧を使った伐採痕が明瞭に残存している。786はPPC631底面出土の柱材で芯持ちの丸太材を使用しており、断面が隅を面取りした方形となるよう四面に平坦面を作る加工が施されている。787はPPD86底面出土の柱材で、芯持ちの丸太材を使用している。残存した柱根の上半部分は腐食が進んでいて不明瞭だが、下部部の表面には面取り加工を施した痕跡が認められ、底面には手斧を使った伐採痕が残存している。

788はSBC18・PPB262底面出土の枕木で、樹種未同定、芯持ちの丸太材を使用している。腐食著しいが芯持ちの丸太材を使用しており、断面が隅を面取りした方形となるよう四面に平坦面を作る加工が施されていると考えられる。

789はSBC19・PPC193底面出土の柱材で、樹種はコナラ節、芯持ちの丸太材を使用している。残存した柱根の上半部分は腐食が進んでいて不明瞭、下部部は表面に節部を削ぎ落とした痕跡は認められるが表面整形は施されていないと見られる。底面には、手斧を使った伐採痕が明瞭に残存している。789柱材について年代測定を実施したところ、暦年較正年代1540calAD-1635calAD (2σ) (60.7%)の年代値を得た。

790はSBE21・PPE275底面出土の柱材で樹種未同定、芯持ちの丸太材を使用している。樹皮は残存していないが、表面整形は施されていないと見られることから、元々樹皮が付いた状態で用いられていたと見られる。下部部には、手斧を使った伐採痕が明瞭に残存している。

791はSBE22・PPE470底面出土の柱材で樹種未同定、芯持ちの丸太材を使用している。残存した柱根の上半部分は腐食が進んでいて不明瞭だが、下部部の表面には面取り加工を施した痕跡が認められ、底面には手斧を使った伐採痕が残存している。

792はSDD2西側西端(ⅡB7k)埋土中～下位出土の柱材で樹種未同定、芯持ちの丸太材を使用している。切断された柱材で、堀から出土しており帰属する建物は不明である。

795はPPB343底面出土の礎板で、樹種未同定である。別建物の柱材を小割りした転用材である。

796はPPD106底面出土の礎板で、樹種未同定である。腐食著しいが、別建物の柱材を小割りした転用材と見られる。

798はPPB120底面出土の柱材で、芯持ちの丸太材を使用している。樹種未同定で、表面には面取り加工を施した痕跡が認められ、底面には手斧を使った伐採痕が明瞭に残存している。

799はPPB249底面出土の柱材で、芯持ちの丸太材を使用している。残存した柱根の上半部分は腐食が進んでいる。下部部の表面には面取り加工が施されないことから、樹皮が残存していたと考えられる。下部部は、両削ぎで杭状に尖らせており、杭状に打設して使用したと考えられる。

800はPPC18底面出土の柱材で、樹種はコナラ節、芯持ちの丸太材を使用している。下部部には両削ぎ様の加工痕が認められる。800柱材について年代測定を実施したところ、暦年較正年代1526calAD-1557calAD (42.8%) (1σ)、1632calAD-1649calAD (25.4%)の年代値を得ている。

801はPPC36底面出土の端材で、樹種はクリ、芯持ちの丸太材を使用している。別建物の柱材を大割りした際に出た端材と考えられる。801端材について年代測定を実施したところ、暦年較正年代で1499calAD-1600calAD (75.6%) (2σ)の年代値を得ている。

802はPPC108底面出土の柱材で、残存した柱根の上半部分は腐食が進んでいる。下部部の表面に

は面取り加工が施されないことから、樹皮が残存していたと考えられる。底面には、手斧を使った伐採痕が明瞭に残存している。底面の一部炭化。

806 は PPC173 底面出土の柱材で、腐食著しいが芯持ちの丸太材を使用していると見られる。樹種は未同定。

807 は PPC195 底面出土の柱材で、芯持ちの丸太材を使用している。表面に面取り加工痕、底面には手斧による伐採痕が認められる。樹種未同定。

808 は PPC243 底面出土の柱材で、別建物の柱材を大割りした転用材を使用している。断面が方形になるよう表裏面及び側面を平坦に加工している。また、下端部には両削ぎ様の加工痕が認められる。

809 は PPC300 底面出土の柱材で、芯持ちの丸太材を使用している。残存した柱根の上半部分は腐食が進んでいる。下端部の表面には面取り加工が施されており、底面には手斧を使った伐採痕が明瞭に残存している。樹種未同定。

810 は PPC595 底面出土の柱材で、芯持ちの丸太材を使用している。下端部の表面に面取り加工痕、底面に伐採痕が認められる。樹種未同定。

811 は PPC596 底面出土の柱材で、芯持ちの丸太材を使用している。下端部の表面に面取り加工痕か、残存部が少なく不明瞭。底面には伐採痕が認められる。樹種未同定。

812 は PPC670 底面出土の柱材で、芯持ちの丸太材を使用している。上半部分の腐食著しく表面の加工不鮮明、樹皮が残存していた可能性もある。底面に伐採痕が認められ、鉛筆状に手斧で切り出している。樹種未同定。

813 は PPC685 底面出土の柱材で、芯持ちの丸太材を使用している。上半部分の腐食著しく表面整合の有無は確認できない。底面には伐採痕が認められ、片削ぎに切り出している。樹種未同定。

814 は PPC727 底面出土の柱材で、芯持ちの丸太材を使用している。半部分の腐食著しく表面に面取り加工が施されている。底面には伐採痕が明瞭に残る。正面に複数の刃物傷が認められ、試し切りした可能性がある。樹種未同定。

815 は PPC795 底面出土の柱材で、芯持ちの丸太材を使用している。上半部分の腐食著しいが表面整合の痕跡がないことから、樹皮が残存した可能性がある。底面の伐採痕明瞭に残る。樹種未同定。

816 は PPC832 底面出土の柱材で、芯持ちの丸太材を使用している。上半部分の腐食著しいが残存した下端部から樹皮が残存した可能性がある。底面に伐採痕が顕著に認められる。樹種未同定。

817 は PPC859 底面出土の柱材で、芯持ちの丸太材を使用している。残存部に表面整合の痕跡がないことから樹皮が残存した可能性がある。底面に伐採痕が顕著に認められる。樹種未同定。

818 は PPC874 底面出土の柱材で、芯持ちの丸太材を使用している。全体に腐食著しく表面整合の有無の確認も困難である。底面も腐食で不明瞭、樹種未同定である。

819 は PPC911 底面出土の柱材で、芯持ちの丸太材を使用している。上半部分が炭化、表面整合の痕跡が認められないことから樹皮が残存した可能性がある。下端部は、鉛筆状に尖らせる加工が施されており、打ち込むように使用したと見られる。樹種未同定。

820 は PPC948 底面出土の柱材で、芯持ちの丸太材を使用している。表面整合の痕跡認められないことから樹皮が残存した可能性がある。底面には伐採痕が明瞭に認められる。樹種未同定。

821 は PPC972 底面出土の柱材で、芯持ちの丸太材を使用している。表面整合の痕跡が認められないことから、樹皮が残存した可能性がある。底面には伐採痕が明瞭に認められる。樹種未同定。

822 は PPD80 底面出土の柱材で、芯持ちの丸太材を使用している。表面整合の痕跡が認められないことから、樹皮が残存した可能性がある。底面に両削ぎ様の伐採痕が認められる。樹種未同定。

823～825はPPE26底面出土の杭材で、芯持ち丸木を使用している。いずれも1つの穴に並列して打設されていた。樹種は824がムラサキシキブ属、823・825は未同定である。823は下端部を両削ぎに尖らせる加工痕が認められ、上半部には外皮が残存している。824・825は下端部を片削ぎに尖らせる加工痕が認められる。外皮は残存していない。824杭材について年代測定を実施したところ、暦年較正年代1301calAD-1370calAD(74.0%)(2 σ)の年代値を得ており、室町時代(14世紀代)に属する可能性がある。

826はPPE87底面出土の柱材で、芯持ちの丸太材を使用している。上半部分の腐食著しく表面整合の痕跡ないことから、樹皮が残存した可能性がある。底面には伐採痕が認められる。樹種未同定。

827はPPE218底面出土の柱材で、芯持ちの丸太材を使用している。全体に腐食著しく表面整合の痕跡ないことから、樹皮が残存した可能性がある。底面には片削ぎの伐採痕がある。樹種未同定。

828はPPE223底面出土の柱材で、芯持ちの丸太材を使用している。全体に腐食著しく表面整合の痕跡ないことから、樹皮が残存した可能性がある。底面には伐採痕が認められる。樹種未同定。828柱材について年代測定を実施したところ、暦年較正年代1319calAD-1360calAD(58.1%)(2 σ)の年代値を得ており、室町時代(14世紀代)に属する可能性がある。

829はPPE224底面出土の柱材で、芯持ちの丸太材を使用している。全体に腐食著しく表面整合の痕跡ないことから、樹皮が残存した可能性がある。底面には伐採痕が認められる。樹種未同定。

830はPPE227底面出土の柱材で、芯持ちの丸太材を使用している。全体に腐食著しく表面整合の痕跡ないことから、樹皮が残存した可能性がある。底面には伐採痕が認められる。樹種未同定。

831はPPE443底面出土の柱材で、芯持ちの丸太材を使用している。全体に腐食著しく、内部も進んでいて表面整合の痕跡もないことから樹皮が残存した可能性がある。底面には切り出し状の伐採痕が認められる。樹種未同定。

832はPPE445底面出土の柱材で、芯持ちの丸太材を使用している。全体に腐食著しく、表面整合の有無は確認できない。底面に伐採痕がある。樹種未同定。

833～835はPPE494底面出土の枕木である。いずれも樹種は未同定である。833は別建物の柱材をみかん割りした転用材しており、下端部には伐採痕が明瞭に認められる。834・835も別建物の柱材を大割りした転用材で、834は表のみ掲載した。

836はPPE571底面出土の柱材で、芯持ちの丸太材を使用している。上半部分は腐食が著しく、表面整合の有無は確認出来ない。底面には伐採痕が認められる。樹種未同定。

近世初頭の木種・杭材(837～844)

837・838はSKB2埋土下位出土の木種の一部で、半割した丸太材を刎り貫いている。樹種は837がクリ、838も同一と見られる。木種の厚さは1.8～4.0cmで外皮は残存していない。内部には刎り貫いた際の加工痕が認められるが、外面は無加工と考えられる。本遺構に近い調査区際に設定したSDB1断面Aには4層中に木種の一部を確認していることから、破損した箇所を廃棄した残骸と考えられる。遺構底面直上から565寛永通寶(古寛永・1.636年初鋳)が出土していることから、17世紀前半頃に廃棄された部材と見られる。

839～844はSKB2埋土下位出土の杭材で、樹種は未同定である。いずれも木枝を使用しており、外皮は剥がれているが表面に加工痕は認められず、樹皮が残存していたと考えられる。上半部分は欠損しており、下端部の先端がないものもある。下端部は両削ぎで尖らせる加工が施されていると考えられる。844には切断時に付いたと見られる傷が上下2箇所認められる。伴出遺物から、17世紀前

半頃と考えられる。

中世以降の横木材・杭材（845～1086）

845はSKE6埋土下位出土の杭材で、大割材を使用、樹種は未同定である。上下端部を欠損しており、上端部は炭化し、焼失している。下端部を両削ぎで尖らせる加工痕が施されていると見られる。

846はSDB1・II B3h埋土出土の杭材で、大割材を使用、樹種は未同定である。上下端部を欠損しており、上端部は炭化し、焼失している。下端部の加工部分は欠損しており形状は不明である。

847～868はSDB1・間仕切り遺構1底面出土で、847～849が環横木材、850～868が杭材である。いずれも樹種未同定である。847は芯持ちの丸太材を使用しており、上端部は欠損、下端部に伐採痕が認められる。樹皮が残存しており、表面整成無いことから伐採した自然木を利用したと考えられる。848は芯持ちの丸太材を使用しており、腐食著しく上下端部は欠損している。樹皮が残存で表面整成が無いことから、自然木を利用したと考えられる。849は屈曲した芯持ちの丸太材を使用しており、腐食著しく上下端部は欠損、3片に分かれている。樹皮残存で表面整成は無いことから、自然木を利用したと考えられる。850は木枝を使用しており、上下端部は欠損し、表面整成の痕跡は無いことから樹皮が残存した可能性がある。下端部には両削ぎで尖らせる加工が施されている。851は木枝を使用しており、上下端部は欠損し、表面整成の痕跡は無いことから樹皮が残存した可能性がある。下端部には両削ぎで尖らせる加工が施されている。852は木枝を使用しており、上下端部は欠損し、表面整成の痕跡は無いことから樹皮が残存した可能性がある。下端部には両削ぎで尖らせる加工が施されている。853は木枝を使用しており、上下端部は欠損し、表面整成の痕跡は無いことから樹皮が残存している。下端部の加工部分は残存しておらず、形状は不明である。854は木枝を使用しており、上下端部は欠損、表面整成の痕跡は無いことから樹皮が残存している。下端部の加工部分は残存しておらず、形状不明である。855は大割した転用材を使用しており、上端部は欠損、表面整成の痕跡は無く樹皮が残存した可能性がある。下端部は両削ぎで尖らせる加工が施されている。856は木枝を使用しており、上半部分は欠損、表面整成の痕跡は無く樹皮が残存した可能性がある。下端部は片削ぎで尖らせる加工が施されている。857は木枝を使用しており、上下端部は欠損、表面整成の痕跡は無く樹皮が残存した可能性がある。下端部は両削ぎで尖らせる加工が施されている。858は木枝を使用しており、上端部は欠損、表面整成の痕跡は無く樹皮が残存している。下端部は両削ぎで尖らせる加工が施されている。859は木枝を使用しており、上下端部は欠損、表面整成の痕跡は無く樹皮が残存した可能性がある。下端部は片削ぎで尖らせる加工が施されている。860は木枝を使用しており、上端部は欠損、表面整成の痕跡は無く樹皮が残存している。下端部は片削ぎで尖らせる加工が施されている。861は木枝を使用しており、上下端部は欠損、表面整成の痕跡は無く樹皮が残存している。下端部の加工部分は形状不明である。862は木枝を使用しており、上半部分は欠損し、表面整成の痕跡は無く樹皮が残存した可能性がある。下端部は片削ぎで尖らせる加工が認められる。863は木枝を使用しており、上下端部は欠損、表面整成の痕跡は無く樹皮が残存している。下端部には両削ぎで尖らせる加工が施されている。864は木枝を使用しており、上半部分は欠損、表面整成の痕跡は無く樹皮が残存した可能性がある。下端部は両削ぎで尖らせる加工が認められる。865は木枝を使用しており、上半部分は欠損、表面整成の痕跡は無く樹皮が残存した可能性がある。下端部は片削ぎで尖らせる加工もしくは伐採痕の可能性もある。866は木枝を使用しており、上下端部は欠損、表面整成の痕跡は無く樹皮が残存した可能性がある。下端部の加工部分は形状不明である。867は木枝を使用しており、上下端部は欠損、表面整成の痕跡は無く樹皮が残存した可能性がある。下端部は両削ぎで尖らせる加

工が認められる。868 は木枝を使用しており、上下端部は欠損、表面整合の痕跡は無く樹皮が残存した可能性がある。下端部は両削ぎで尖らせる加工が施されている。

869・870 は SDC7 東側埋土と SDC7・8・13 断面 B・C ベルト埋土出土の杭材で、樹種はいずれも未同定である。869 は木枝を使用しており、上端部は欠損、腐食著しいが表面整合の痕跡無く、樹皮が残存した可能性がある。下端部は両削ぎで尖らせる加工が施されている。870 は木枝を使用しており、上端部は欠損、表面整合の痕跡無く樹皮が残存した可能性がある。下端部は両削ぎで尖らせる加工が施されている。

871～889 は SDD2 出土の杭材で、888 がノリウツギのほかは未同定である。871 は II B8p 断面 B ベルトから出土しており、大割りした転用材を使用している。上端部は炭化、焼失して欠損している。下端部は片削ぎで先端部を作出している。872 は大割りした転用材を使用しており、上下端部欠損している。上下端部付近に切断時の傷が複数認められる。下端部には両削ぎで尖らせる加工痕が施されている。873 は木枝を使用しており、上下端部を欠損している。表面整合の痕跡無く樹皮が残存しており、下端部には両削ぎで尖らせる加工が施されている。874 は大割りした転用材を使用しており、上端部は炭化、焼失して欠損している。表面整合無く、樹皮が残存した可能性がある。下端部は折損している。875 は大割りした転用材を使用しており、上端部は欠損している。表面整合の痕跡は無く、樹皮が残存した可能性がある。下端部は両削ぎで尖らせる加工が施されている。876 は大割りした転用材を使用しており、上端部は欠損している。表面整合の痕跡は無く、樹皮が残存した可能性がある。下端部は両削ぎで尖らせる加工が施されている。877 は木枝を使用しており、上端部は欠損している。表面整合の痕跡は無く、樹皮が残存した可能性がある。下端部は両削ぎで尖らせる加工が施されている。878 は木枝を使用しており、上下端部は欠損している。表面整合の痕跡は無く、樹皮が残存した可能性がある。下端部は両削ぎで尖らせる加工が施されている。879 は大割りした転用材を使用しており、上端部は欠損している。表面整合の痕跡は無く、樹皮が残存した可能性がある。下端部は両削ぎで尖らせる加工が施されている。880 は木枝を使用しており、上半部分は欠損している。表面整合の痕跡無く、樹皮が残存した可能性がある。下端部は片削ぎで尖らせる加工があり、伐採痕の可能性もある。881 は木枝を使用しており、上半部分を欠損している。表面整合の痕跡無く、樹皮が残存した可能性がある。下端部は両削ぎで、尖らせる加工が施されている。882 は木枝を使用しており、上半部分を欠損している。炭化の影響で表面整合の有無は確認できず、下端部は両削ぎで尖らせる加工が施されている。883 は木枝を使用しており、上半部分は欠損している。表面整合の痕跡は無く、樹皮が残存した可能性がある。下端部は片削ぎで尖らせる加工が施されており、伐採痕の可能性もある。884 は木枝を使用しており、上端部は炭化、焼失し欠損している。表面整合の痕跡は無く、樹皮が残存した可能性がある。下端部は伐採痕か。885 は木枝を使用しており、上端部は欠損している。腐食が著しいが表面整合の痕跡は無く、樹皮が残存していたと見られる。下端部は両削ぎで尖らせる加工が施されている。886 は木枝を使用しており、上半部分は欠損している。表面整合の痕跡は無く、樹皮が残存した可能性がある。下端部は両削ぎで尖らせる加工が施されている。887 は木枝を使用しており、上下端部は欠損している。表面には枝を裁ち落とした痕跡があり、樹皮は残存していたと見られる。888 は木枝を使用しており、上端部は欠損している。上端部に抉り加工があり、下端部は片削ぎに近く尖らせている。889 はみかん割材を使用しており、下端部を1面のみ片削ぎで尖らせる加工を施している。上端部は炭化焼損している。

890～1086 は SXD2 出土の横木材・杭材で、890・891 は護岸横木材、892～980 西岸南側杭群底面出土杭材、981～1083 西岸北側杭群底面出土杭材、1084～1086 埋土出土杭材である。樹種はすべ

て未同定である。

890・891は護岸横木材で、890は半割材を使用しており、未加工で不用の割材を池の縁に敷設し、水汲みの際の足場に使用したと考えられる。891は木枝を使用しており、未加工の自然木で890と合わせて池の足場に使用したと考えられる。

892～980西岸南側杭群底面出土杭材で、892は木枝を使用しており、上端部を欠損している。表面整合の痕跡は無く、樹皮残存している。下端部は片削ぎで尖らせる加工が施されている。893は大割材を使用しており、上端部を欠損している。表面整合の痕跡は無く、樹皮残存しており、下端部は両削ぎで尖らせる加工が施されている。894は大割材を使用しており、上下端部を欠損している。表面整合の痕跡は無く、樹皮が残存している。下端部は両削ぎで尖らせる加工が施されている。895は木枝を使用しており、下端部のみ残存している。表面整合の痕跡は無いことから、樹皮が残存する可能性がある。下端部は両削ぎで尖らせる加工が施されている。896は樹皮が剥がれた大割材を加工した先端部両削ぎの杭で、護岸のために打ち込まれた乱杭である。先端部は両削ぎの5面で尖らせている。27年輪以上の樹木を使用している。897は大割材を使用しており、下端部のみ残存している。表面整合の痕跡は無く、樹皮が残存している。下端部は両削ぎで尖らせる加工が施されている。898は木枝を使用しており、上半部分を欠損している。節のある中央部分に削いだ痕跡があるが、それ以外の樹皮は付いた状態と見られる。下端部には両削ぎの加工が施されている。899は大割材を使用しており、上半部分を欠損している。表面整合の痕跡は無く、樹皮が残存している。下端部は片削ぎで尖らせる加工が施されている。900は大割材を使用しており、上半部分を欠損している。表面整合の痕跡は無く、樹皮は残存している。下端部は両削ぎで尖らせる加工が施されている。901は大割材を使用しており、上半部分は欠損している。表面整合の痕跡は無く、樹皮が残存しており、下端部は両削ぎで尖らせる加工が施されている。902は木枝を使用しており、上半部分を欠損している。表面整合の痕跡無く、樹皮が残存している。下端部は両削ぎで尖らせる加工が施されている。903は木枝を使用しており、上半部分を欠損している。表面整合の痕跡は無く、樹皮が残存しており、下端部は両削ぎで尖らせる加工が施されている。904は大割材を使用しており、上半部分を欠損している。表面整合の痕跡は無く、樹皮が残存している。下端部は両削ぎで尖らせる加工が施されている。905は大割材を使用しており、上半部分は欠損している。表面整合の痕跡は無く、樹皮が残存している。下端部は両削ぎで尖らせる加工が施されている。906は大割材を使用しており、上下端部を欠損している。表面整合の痕跡は無く、樹皮が残存している。下端部は両削ぎで尖らせる加工が施されている。907は大割材を使用しており、上半部分は欠損している。表面整合の痕跡は無く、樹皮が残存している。下端部は両削ぎで尖らせる加工が施されている。908は大割材を使用しており、下端部のみ残存している。表面整合の痕跡は無く、樹皮が残存していると見られる。下端部は片削ぎで尖らせる加工が施されている。909は木枝を使用しており、上下端部を欠損している。表面整合の痕跡は無く、樹皮が残存しており、下端部は両削ぎで尖らせる加工が施されている。910は木枝を使用しており、上下端部を欠損している。表面整合の痕跡は無く、樹皮が残存している。下端部は両削ぎで尖らせる加工が施されている。911は大割材を使用しており、下端部のみ残存している。表面整合の痕跡は無く、樹皮が残存していると見られ、下端部は両削ぎで尖らせる加工が施されている。912は大割材を使用しており、上端部は欠損している。表面整合の痕跡は無く、樹皮が残存していると見られる。下端部は片削ぎで尖らせる加工が施されている。913は大割材を使用しており、上下端部を欠損している。表面整合の痕跡は無く、樹皮が残存していたと見られる。下端部は片削ぎで尖らせる加工が施されている。914は大割材を使用しており、上半部分を欠損している。表面整合の痕跡は無く、樹皮が残存していたと見られる。

下端部は両削ぎで尖らせる加工が施されている。915は大割材を使用しており、上下端部を欠損している。表面整成の痕跡は無く、樹皮が残存していたと考えられる。下端部は両削ぎで尖らせる加工が施されている。916は木枝を使用しており、上下端部を欠損している。表面整成の痕跡は無く、樹皮が残存している。下端部は両削ぎで尖らせる加工があるが、全体に腐食が著しい。917は木枝を使用しており、下端部のみが残存している。表面整成の痕跡は無く、樹皮が残存しており、下端部は両削ぎで尖らせる加工が施されている。918は木枝を使用しており、下端部のみが残存している。表面整成の痕跡は無く、樹皮が残存していたと考えられる。下端部は両削ぎで、尖らせる加工が施されている。919は大割材を使用しており、下端部のみが残存している。表面整成の痕跡は無く、樹皮が残存していたと見られる。下端部は片削ぎで尖らせる加工が施されている。920は芯持材を使用しており、下端部のみが残存している(割れ)。表面整成の痕跡は無く、樹皮が残存しており、下端部は両削ぎで尖らせる加工が施されている。2破片。921は芯持材を使用しており、下端部のみが残存している。表面整成の痕跡は無く、樹皮が残存している。下端部は両削ぎで尖らせる加工が施されている。922は大割材を使用しており、下端部のみが残存している。表面整成の痕跡は無く、樹皮が残存していたと見られる。下端部は両削ぎで尖らせる加工が施されている。923は木枝を使用しており、下端部のみが残存している。表面整成の痕跡は無く、樹皮が残存していたと考えられる。下端部は両削ぎで尖らせる加工が施されるが、腐食著しい。924は大割材を使用しており、下端部のみが残存している(先端欠)。表面整成の痕跡は無く、樹皮が残存していたと考えられる。下端部は両削ぎで尖らせる加工が施されている。925はみかん割材を使用しており、下端部のみが残存している。表面整成の痕跡は無く、樹皮が残存していたと見られ、下端部は両削ぎで尖らせる加工が施されている。926は木枝を使用しており、上半部分を欠損している。表面整成の痕跡は無く、樹皮が残存していたと見られる。下端部は両削ぎで尖らせる加工があるが、上半部分は腐食が著しい。927はみかん割材を使用しており、上下端部を欠損している。表面整成の痕跡は無く、樹皮が残存していたと考えられ、下端部は両削ぎで尖らせる加工が施されている。928は大割材を使用しており、下端部のみが残存している。表面整成の痕跡は無く、樹皮が残存していたと考えられる。下端部は両削ぎで、尖らせる加工が施されている。929は木枝を使用しており、上下端部を欠損している。表面整成の痕跡は無く、樹皮が残存しており、下端部は両削ぎで尖らせる加工が施されている。腐食が著しい。930は樹皮の残存する先端部両削ぎの杭で、護岸のために打ち込まれた乱杭である。先端部は両削ぎの4面で尖らせており、6年輪の樹木を使用している。931は木枝を使用しており、下端部のみが残存している。表面整成の痕跡は無く、樹皮が残存しており、下端部は両削ぎで尖らせる加工が施されている。腐食著しい。932は木枝を使用しており、上半部分を欠損している。樹皮が残存しており、枝部分のみ落ち落としている。933は大割材を使用しており、上半部分を欠損している。表面整成の痕跡は無く、樹皮が残存していたと考えられる。下端部は両削ぎで尖らせる加工が施されている。934はみかん割材を使用しており、下端部のみが残存している。表面整成の痕跡は無く、樹皮が残存していたと考えられる。下端部は両削ぎで尖らせる加工が施されている。一部炭化。935は大割材を使用しており、下端部のみが残存している。表面整成の痕跡は無く、樹皮が残存していたと考えられる。下端部は片削ぎで尖らせる加工が施されている。936は大割材を使用しており、下端部のみが残存している。表面整成の痕跡は無く、樹皮が残存していたと考えられる。下端部は両削ぎで尖らせる加工が施されている。937はみかん割材を使用しており、上下端部を欠損している。表面整成の痕跡は無く、樹皮が残存している。下端部の加工は確認できなかった。938はみかん割材を使用しており、上下端部を欠損している。表面整成の痕跡は無く、樹皮が残存しており、下端部の加工は両削ぎと見られる。939は木枝を使用しており、上半

部分を欠損している。表面整合の痕跡は無く、樹皮が残存していたと考えられる。下端部は両削ぎで尖らせる加工が施されている。940は樹皮が残存しない先端部両削ぎの杭で、護岸のために打ち込まれた乱杭である。下端部は両削ぎの6面で尖らせており、9年輪の樹木を使用している。上部が自然に反っている。941は木枝を使用しており、上半部分は欠損している。表面整合の痕跡は無く、樹皮が残存している。下端部は両削ぎで尖らせる加工が施されるが、上半部分は腐食が著しい。942は木枝を使用しており、上半部分を欠損している。表面整合の痕跡は無く、樹皮が残存した可能性がある。下端部は両削ぎで尖らせる加工が施されている。943は木枝を使用しており、下端部のみ残存している。上半部分は腐食が著しく、表面整合の有無は不明で樹皮が残存した可能性がある。下端部は両削ぎ加工痕が施されている。944は樹皮が一部残存する先端部両削ぎの杭で、護岸のために打ち込まれた乱杭である。先端部は両削ぎの7面で尖らせており、13年輪の樹木を使用している。945は大割材を使用しており、上半部分を欠損している。表面整合の痕跡は無く、樹皮が残存していたと考えられる。下端部は両削ぎで尖らせる加工が施されている。946は護岸のために打ち込まれた乱杭で、先端部は片削ぎの3面で尖らせている。7年輪の樹木を使用していると見られ、樹皮が残存する。947は大割材を使用しており、下端部のみが残存している。表面整合の痕跡は無く、樹皮が残存している。下端部は片削ぎで尖らせる加工が施されている。948は先端部両削ぎの杭で、護岸のために打ち込まれた乱杭である。樹皮は剥がれており、先端部は両削ぎの6面で尖らせているが、裏面はほぼ無調整である。11年輪かの樹木を使用している。949は護岸のために打ち込まれた乱杭で、先端部は両削ぎの4面で尖らせている。7年輪の樹木を使用しており、樹皮が残存している。950は木枝を使用しており、下端部のみ残存している。表面整合の痕跡は無く、樹皮が残存している。下端部は両削ぎで尖らせる加工が施されている。951は木枝を使用しており、上半部分を欠損している。表面整合の痕跡は無く、樹皮が残存しており、下端部は両削ぎで尖らせる加工が施されている。952は木枝を使用しており、上下端部は欠損している。表面整合の痕跡は無く樹皮が残存しており、下端部は両削ぎ加工が施されている。953は木枝を使用しており、上下端部を欠損している。表面整合の痕跡は無く、樹皮が残存しており、下端部は片削ぎ加工が施されている。954は木枝を使用しており、下端部は欠損している。表面整合の痕跡は無く樹皮が残存しており、下端部の加工は不明である。955は木枝を使用しており、下端部のみが残存している。表面整合の痕跡は無く、樹皮が残存している。下端部は片削ぎ加工が施されている。956は木枝を使用しており、下端部のみ残存している。表面整合の痕跡は無く、樹皮が残存していた可能性がある。下端部は片削ぎ加工が施されていると見られ、腐食が著しい。957は木枝を使用しており、下端部のみが残存している。表面整合の痕跡は無く、樹皮が残存しており、下端部は腐食しているが両削ぎ加工が施されていると見られる。958は木枝を使用しており、上半部分を欠損している。表面整合の痕跡は無く、樹皮が残存しており、下端部は両削ぎ加工が施されている。上端部は腐食著しい。959はみかん割材を使用しており、下端部のみ残存している。表面整合の有無は不明で、下端部先端は打ち込み時に曲がった可能性がある。960は大割材を使用しており、上半部分を欠損している。節周辺は表面整合痕が認められているが、全体には樹皮が残存していたと見られる。下端部は両削ぎ加工が施されている。961は大割材を使用しており、上半部分は欠損している。表面整合の痕跡は無く、樹皮が残存していたと見られ、下端部は両削ぎ加工が施されていると考えられる。962は大割材を使用しており、上下端部は欠損している。表面整合の痕跡は無く、樹皮が残存していたと考えられ、下端部は両削ぎ加工が施されていると見られる。963は大割材を使用しており、上半部分は欠損している。表面整合の痕跡は無く、樹皮が残存していたと見られ、下端部は両削ぎ加工が施されていると考えられる。964は先端部両削ぎの杭で、護岸のために打ち込まれた乱杭で

ある。樹皮は一部が残存しており、先端部は両削ぎの5面(大きく4面)で尖らせている。伐採時の刃物痕(鉋・斧か)が残っており、10年輪かの樹木を使用していると見られる。965はみかん割材を使用しており、上半部分は欠損している。表面整成の痕跡は無く、樹皮が残存しており、下端部は両削ぎ加工が施されている。966は大割材を使用しており、上半部分は欠損している。表面整成の痕跡は無く、樹皮が残存している可能性がある。下端部は両削ぎ加工が施されている。967は樹皮が剥がれたみかん割材を加工した先端部両削ぎの杭で、護岸のために打ち込まれた乱杭である。先端部は両削ぎの5面で尖らせており、一部未加工である。伐採時の刃物痕(鉋・斧か)が残る。29年輪以上の樹木を使用している。968はみかん割材を使用しており、杭状に整形している。上端部は欠損しており、表面整成の痕跡は無く樹皮が残存している。下端部は片削ぎ加工が施されている。969はみかん割材を使用しており、杭状に整形している。上端部は欠損しており、表面整成の痕跡は無く、樹皮が残存している。下端部は片削ぎ加工が施されている。970はみかん割材を使用しており、杭状に整形している。上端部は欠損しており、表面整成の痕跡は無く、樹皮が残存している。下端部は片削ぎ加工が施されている。971はみかん割材を使用しており、杭状に整形している。上端部は欠損しており、表面整成の痕跡は無く、樹皮が残存している。下端部は両削ぎ加工が施されている。972はみかん割材を使用しており、杭状に整形している。上端部は欠損しており、表面整成の痕跡は無く、樹皮が残存している。下端部は両削ぎ加工が施されている。973は木枝を使用しており、上端部は欠損している。表面整成の痕跡は無く、樹皮が残存している。下端部は両削ぎ加工が施されている。974はみかん割材を使用しており、杭状に整形している。上端部は欠損しており、表面整成の痕跡は無く樹皮が残存している。下端部は両削ぎ加工が施されている。975は木枝を使用しており、上半部分は欠損している。表面整成の痕跡は無く、樹皮が残存しており、下端部は両削ぎ加工が施されている。976はみかん割材を使用しており、杭状に整形されている。上端部は欠損し、表面整成の痕跡は無く、樹皮が残存している。下端部は両削ぎ加工が施されている。977は木枝を使用しており、上半部分は欠損している。節部分の落ち落とし以外の表面整成の痕跡は無く、樹皮が残存している。下端部は両削ぎ加工が施されている。978はみかん割材を使用しており、杭状に整形されている。上端部は欠損し、表面整成の痕跡は無く、樹皮が残存している。下端部は両削ぎ加工が施されている。979は木枝を使用しており、上半部分は欠損している。表面整成の痕跡は無く、樹皮が残存、下端部は両削ぎ加工が施されている。980は芯持材を使用しており、上半部分は欠損している。表面整成の痕跡は無く、樹皮が残存している。下端部は片削ぎ加工が施されている。

981～1083は西岸北側杭群底面出土の杭材である。981は樹皮が残存している先端部両削ぎの杭で、護岸のために打ち込まれた乱杭である。先端部は両削ぎの5面で尖らせている。8年輪かの樹木を使用している。982はみかん割材を使用しており、杭状に整形している。上端部を欠損しており、表面整成の痕跡は無く、樹皮が残存している。下端部は片削ぎ加工が施されている。983はみかん割材を使用しており、杭状に整形している。下端部のみ残存しており、表面整成の痕跡は無く、樹皮が残存している。下端部は片削ぎ加工が施されている。984はみかん割材を使用しており、杭状に整形されている。下端部のみ残存で、表面整成の痕跡は無く、樹皮が残存している。下端部は片削ぎ加工が施されている。985は木枝を使用しており、上下端部は欠損している。表面整成の痕跡は無く、樹皮が残存している。下端部は片削ぎ加工が施されている。986は木枝を使用しており、下端部のみ残存している。表面整成の痕跡は無く、樹皮が残存、下端部は片削ぎ加工が施されている。伐採痕か。987は木枝を使用しており、上下端部を欠損している。表面整成の痕跡は無く、樹皮が残存している。下端部は片削ぎ加工が施されている。988は木枝を使用しており、上端部を欠損している。表面整成の

痕跡は無く、樹皮が残存している。下端部は片削ぎ加工が施されている。989 はみかん割材を使用しており、杭状に整形し、下端部のみ残存している。表面整成の痕跡は無く、樹皮が残存している。下端部は片削ぎ加工が施されている。990 は木枝を使用しており、下端部のみ残存している。表面整成の痕跡は無く、樹皮が残存しており、下端部は両削ぎ加工が施されている。991 はみかん割材を使用しており、杭状に整形している。下端部のみ残存で、表面整成の痕跡は無く、樹皮が残存している。下端部は片削ぎ加工が施されている。992 はみかん割材を使用しており、杭状に整形している。下端部のみ残存で、表面整成の痕跡は無く、樹皮が残存している。下端部は片削ぎ加工が施されている。993 はみかん割材を使用しており、杭状に整形されている。上下端部は欠損し、表面整成の痕跡は無く、樹皮が残存している。下端部は欠損しており、加工の有無不明である。994 は木枝を使用しており、下端部のみ残存している。表面整成の痕跡は無く、樹皮が残存している。下端部は両削ぎ加工が施されているが、上端部は腐食が著しい。995 は木枝を使用しており、下端部のみ残存している。表面整成の有無は不明で、下端部は両削ぎ加工が施されている。996 は樹皮が一部残存する先端部両削ぎの杭で、護岸のために打ち込まれた乱杭である。先端部は両削ぎの8面で細かく尖らせており、10年輪かの樹木を使用している。997 は木枝を使用しており、下部のみ残存している。表面整成の痕跡は無く、樹皮が残存している。下部部は両削ぎ加工が施されているが、上端部は腐食が著しい。998 は木枝を使用しており、下部部のみ残存している。表面整成の痕跡は無く、樹皮が残存している。下部部は両削ぎ加工が施されている。999 はみかん割材を使用しており、杭状に整形されている。上下端部は欠損しており、表面整成の痕跡は無く、樹皮が残存している。下部部の加工の有無は不明である。1000 はみかん割材を使用しており、杭状に整形、上半部分は欠損している。表面整成の痕跡は無く、樹皮が残存している。下部部は両削ぎ加工が施されている。1001 は木枝を使用しており、上半部分は欠損している。表面整成の痕跡は無く、樹皮が残存している。下部部は両削ぎ加工が施されている。1002 は木枝を使用しており、上半部分は欠損している。表面整成の痕跡は無く、樹皮が残存しており、下部部は片削ぎ加工が施されている。1003 はみかん割材を使用しており、杭状に整形されている。上半部分は欠損しており、表面整成の痕跡は無く、樹皮が残存している。下部部は両削ぎ加工が施されている。1004 は木枝を使用しており、上下端部を欠損している。表面整成の痕跡は無く、樹皮が残存している。下部部は両削ぎ加工が施されている。1005 はみかん割材を使用しており、杭状に整形されている。上半部分は欠損しており、表面整成の痕跡は無く、樹皮が残存している。下部部は両削ぎ加工が施されている。1006 は木枝を使用しており、上半部分を欠損している。表面整成の痕跡は無く、樹皮が残存している。下部部は両削ぎ加工が施されている。1007 はみかん割材を使用しており、杭状に整形されている。上半部分は欠損しており、表面整成の痕跡は無く、樹皮が残存している。下部部は両削ぎ加工が施されている。1008 はみかん割材を使用しており、杭状に整形されている。上半部分は欠損しており、表面整成の痕跡は無く、樹皮が残存している。下部部は両削ぎ加工が施されている。1009 はみかん割材を使用しており、杭状に整形されている。下部部のみ残存しており、表面整成の痕跡無く、樹皮が残存していると見られる。下部部は片削ぎ加工が施されている。1010 は木枝を使用しており、上下端部を欠損している。表面整成の痕跡は無く、樹皮が残存しており、下部部は片削ぎ加工が施されている。1011 は木枝を使用しており、上下端部を欠損している。表面整成の痕跡は無く、樹皮が残存していると見られる。下部部は両削ぎ加工が施されている。1012 はみかん割材を使用しており、杭状に整形されている。下部部のみが残存しており、表面整成の痕跡は無く、樹皮が残存していると見られる。下部部は両削ぎ加工が施されている。1013 は木枝を使用しており、下部部のみが残存している。表面整成の痕跡は無く、樹皮が残存していると

見られる。下端部は両削ぎ加工が施されている。1014 は木枝を使用しており、上半部分は欠損している。表面整成の痕跡は無く、樹皮が残存している。下端部は両削ぎ加工が施されている。1015 はみかん割材を使用しており、杭状に整形されている。上半部分は欠損しており、表面整成の痕跡は無く、樹皮が残存していると見られる。下端部は両削ぎ加工が施されている。1016 はみかん割材を使用しており、杭状に整形されている。上半部分は欠損しており、表面整成の痕跡は無く、樹皮が残存していると見られる。下端部は両削ぎ加工が施されている。1017 はみかん割材を使用しており、杭状に整形されている。上半部分は欠損しており、表面整成の痕跡は無く、樹皮が残存していると見られる。下端部は両削ぎ加工が施されている。1018 はみかん割材を使用しており、杭状に整形されている。上半部分は欠損しており、表面整成の痕跡は無く、樹皮が残存していると見られる。下端部は両削ぎ加工が施されている。1019 は木枝を使用しており、上下端部を欠損している。表面整成の痕跡は無く、樹皮が残存し、下端部は両削ぎ加工が施されている。上端部は腐食が著しい。1020 はみかん割材を使用しており、杭状に整形されている。上半部分は欠損しており、表面整成の痕跡は無く、樹皮が残存 下端部は両削ぎ加工が施されている。1021 はみかん割材を使用しており、杭状に整形されている。上端部は欠損しており、表面整成の痕跡は無く、樹皮が残存していると見られる。下端部は片削ぎ加工が施されている。上端部は腐食している。1022 はみかん割材を使用しており、杭状に整形されている。下端部のみ残存しており、表面整成の痕跡は無く、樹皮が残存していると見られる。下端部は両削ぎ加工が施されている。1023 は樹皮が一部残存する先端部両削ぎの杭で、護岸のために打ち込まれた乱杭である。先端部は両削ぎで、大きく5面に削いで尖らせており、10年輪かの樹木を使用している。1024 は木枝を使用しており、上半部分は欠損している。表面整成の痕跡は無く、樹皮が残存している。下端部は両削ぎ加工が施されている。1025 はみかん割材を使用しており、杭状に整形されている。上端部は欠損しており、表面整成の痕跡は無く、樹皮が残存していると見られる。下端部は片削ぎ加工が施されている。1026 は木枝を使用しており、上端部は欠損している。表面整成の痕跡は無く、樹皮が残存しており、下端部は両削ぎ加工が施されている。1027 は木枝を使用しており、上半部分は欠損している。表面整成の痕跡は無く、樹皮が残存している。下端部は片削ぎ加工が施されている。1028 はみかん割材を使用しており、杭状に整形されている。上半部分は欠損しており、表面整成の痕跡は無く、樹皮が残存していると見られる。下端部は片削ぎ加工が施されている。1029 はみかん割材を使用しており、杭状に整形されている。上半部分は欠損しており、表面整成の痕跡は無く、樹皮が残存していると考えられる。下端部は片削ぎ加工が施されている。1030 はみかん割材を使用しており、杭状に整形されている。上半部分は欠損しており、表面整成の痕跡は無く、樹皮が残存していると見られる。下端部は片削ぎ加工が施されている。1031 はみかん割材を使用しており、杭状に整形されている。上半部分は欠損しており、表面整成の痕跡は無く、樹皮が残存している。下端部は片削ぎ加工が施されている。1032 はみかん割材を使用しており、杭状に整形されている。上半部分は欠損しており、表面整成の痕跡は無く、樹皮が残存している。下端部は両削ぎ加工が施されている。上端部は腐食している。1033 はみかん割材を使用しており、杭状に整形されている。上半部分は欠損しており、表面整成の痕跡は無く、樹皮が残存している。下端部は両削ぎ加工が施されている。1034 はみかん割材を使用しており、杭状に整形されている。上半部分は欠損しており、表面整成の痕跡は無く、樹皮が残存している。下端部は両削ぎ加工が施されている。1035 は木枝を使用しており、上半部分は欠損している。表面整成の痕跡は無く、樹皮が残存している。下端部は両削ぎ加工が施されている。1036 はみかん割材を使用しており、杭状に整形されている。下端部のみが残存しており、表面整成の痕跡は無く、樹皮が残存していると見られる。下端部は両削

ぎ加工が施されている。1037は木枝を使用しており、上半部分は欠損し、表面整成の痕跡は無い。樹皮が残存しており、下端部は両削ぎ加工が施されている。1038は木枝を使用しており、上半部分は欠損している。表面整成の痕跡は無く、樹皮が残存している。下端部は両削ぎ加工が施されている。1039は木枝を使用しており、上半部分を欠損している。表面整成の痕跡は無く、樹皮が残存している。下端部は両削ぎ加工が施されている。上端部は腐食している。1040は木枝を使用しており、上半部分は欠損している。表面整成の痕跡は無く、樹皮が残存している。下端部は両削ぎ加工が施されている。1041は木枝を使用しており、上半部分を欠損している。表面整成の痕跡は無く、樹皮が残存しており、下端部は両削ぎ加工が施されている。1042は木枝を使用しており、上半部分は欠損している。表面整成の痕跡は無く、樹皮が残存している。下端部は両削ぎ加工が施されている。1043は木枝を使用しており、上半部分は欠損している。表面整成の痕跡は無く、樹皮が残存している。下端部は両削ぎ加工が施されており、全体に反りがある。1044はみかん割材を使用しており、杭状に整形されている。上半部分は欠損しており、表面整成の痕跡は無く、樹皮が残存していると見られる。下端部は両削ぎ加工が施されている。上端部は腐食している。1045はみかん割材を使用しており、杭状に整形されている。上半部分は欠損しており、表面整成の痕跡は無く、樹皮が残存していると見られる。下端部は両削ぎ加工が施されている。1046は木枝を使用しており、上半部分を欠損している。表面整成の痕跡は無く、樹皮が残存している。下端部は両削ぎ加工が施されている。1047はみかん割材を使用しており、杭状に整形されている。下端部のみが残存しており、表面整成の痕跡は無く、樹皮が残存していると見られる。下端部は両削ぎ加工が施されている。1048はみかん割材を使用しており、杭状に整形されている。上半部分は欠損しており、表面整成の痕跡は無く、樹皮が残存していると見られる。下端部は両削ぎ加工が施されている。1049は木枝を使用しており、下端部のみが残存している。枝部分に落ち落とし痕があるが表面整成の痕跡は無く、樹皮が残存している。下端部は両削ぎ加工が施されている。1050はみかん割材を使用しており、杭状に整形されている。上半部分は欠損しており、表面整成の痕跡は無く、樹皮が残存していると見られる。下端部は両削ぎ加工が施されている。上端部は腐食している。1051は木枝を使用しており、上半部分を欠損している。枝部分に落ち落とし痕があるが表面整成の痕跡は無く、樹皮が残存している。下端部は両削ぎ加工が施されている。1052は木枝を使用しており、上半部分を欠損している。表面整成の痕跡は無く、樹皮が残存している。下端部は両削ぎ加工が施されている。1053は木枝を使用しており、上半部分を欠損している。表面整成の痕跡は無く、樹皮が残存している。下端部は両削ぎ加工が施されている。上端部は腐食している。1054は木枝を使用しており、上端部を欠損している。表面整成の痕跡は無く、樹皮が残存していると見られる。下端部は片削ぎ加工が施されている。伐採痕を利用しての可能性はある。1055は木枝を使用しており、上半部分を欠損している。表面整成の痕跡は無く、樹皮が残存している。下端部は両削ぎ加工が施されている。上端部は腐食が著しい。1056は樹皮が一部残存する先端部両削ぎの杭で、護岸のために打ち込まれた乱杭である。長めの先端部は両削ぎの4面で尖らせており、11年輪かの樹木を使用している。1057はみかん割材を使用しており、杭状に整形されている。上半部分は欠損しており、表面整成の痕跡は無く、樹皮が残存していると見られる。下端部は両削ぎ加工が施されている。1058は木枝を使用しており、上端部が欠損している。表面整成の痕跡は無く、樹皮が残存していると見られる。下端部は両削ぎ加工が施されている。1059はみかん割材を使用しており、杭状に整形されている。上半部分は欠損しており、表面整成の痕跡が無く、樹皮が残存していると見られる。下端部は片削ぎ加工が施されている。1060はみかん割材を使用しており、杭状に整形されている。上端部を欠損しており、表面整成の痕跡が無く、樹皮が残存していると見られる。下端部は

れている。下端部のみが残存しており、表面整成の痕跡は無く、樹皮が残存していると考えられる。下端部は両削ぎ加工が施されている。1085はみかん割材を使用しており、下端部のみが残存している。下端部は片削ぎ加工が施されている。1086は木枝を使用しており、下端部のみが残存している。下端部は片削ぎ加工が施されており、伐採痕の可能性もある。腐食が著しい。

(11) 動物遺存体

動物遺存体 (1087・1088)

1087・1088は馬歯である。1087はSDC7東端埋土出土で、上部のみが残存している。歯列は上顎左後臼歯M²と見られる。下部が欠損しており、推定だが歯冠高から見ると年齢は6才前後と考えられる。1088と同一個体の歯で、戦国時代末と推定される。【独立行政法人文化財研究所奈良文化財研究所・埋蔵文化財センター 2006「第4章牛馬骨格図譜」『動物考古学の手引き』pp.53参照】1088はSXC2検出面のⅡB81盛土下Ⅳ層上面出土で、下部が欠損している。歯列は下顎左後臼歯M²と見られる。上部2/3が残存しており、推定だが歯冠高から見ると年齢は6才前後と考えられる。1087と同一個体の歯で、戦国時代末と推定される。【独立行政法人文化財研究所奈良文化財研究所・埋蔵文化財センター 2006「第4章牛馬骨格図譜」『動物考古学の手引き』pp.53参照】

参考文献

- 沼沢町 1982『沼沢町史Ⅱ 古代中世編』沼沢町史刊行会
 沼沢町 1982『中世編資料』『沼沢町史Ⅲ 古代中世編』沼沢町史刊行会
 池田雅美 1987『水沢市の豪族集落』『水沢の自然と文化Ⅱ』水沢市文化財調査研究年報 1986 水沢市教育委員会
 伊藤博幸 2001『平安時代概観・律令制への経過・蝦夷のムラの変化・蝦夷の生業・蝦夷の生活の諸相』
 『いわて未来への遺産 古代・中世を歩く 奈良～安土桃山時代』岩手日報社
 伊藤博幸 2007『陸奥・出羽の須恵系土器・あかやき土器小論 - 王朝国家期における二系統の土器型式 -』
 『古代蝦夷からアイヌへ』吉川弘文館
 井上和人 2002a『平城宮東院地区の造営年代 - 周辺条坊道路施工の実態から -』『奈良文化財研究所紀要 2002』
 独立行政法人文化財研究所奈良文化財研究所
 井上和人 2002b『平城宮の条坊設定方式について - 山中章氏の説に対する批判 -』『奈良文化財研究所紀要 2002』
 独立行政法人文化財研究所奈良文化財研究所
 及川海 2001『蝦夷の生業』『いわて未来への遺産 古代・中世を歩く 奈良～安土桃山時代』岩手日報社
 奥州市教育委員会 2022『近世の面影 - 仙台藩北辺の要害と屋敷 -』発掘された奥州市展 2022 資料
 佐玉幸多 1981『くずし字用例辞典 普及版』東京堂出版
 佐久間賢 2001『律令制施策の実相』『いわて未来への遺産 古代・中世を歩く 奈良～安土桃山時代』岩手日報社
 白鳥良一 1982『第Ⅱ章 2 の(2) 土器』『多賀城跡 政庁跡本文編』宮城県文化財保護協会 宮城県多賀城跡調査研究所
 真城ふるさと探訪教室編集委員会 2014『真城ふるさと探訪』真城地区振興会
 仙台叢書出版協会 1893『仙台叢書 封内風土記四』宮城活版社
 高橋千晶 2001『沼沢城』『いわて未来への遺産 古代・中世を歩く 奈良～安土桃山時代』岩手日報社
 田原市博物館 2013『渥美塗 国宝を生んだその美と技』田原市制施行 10 周年記念特別展
 津嶋知弘 2013『古代『新渡 (志波)』郡北部の土器群変遷 (その 1) - 宇石川南岸所在遺跡の盛岡市教育委員会
 発掘調査資料を中心に -』『盛岡市遺跡の学び館 学芸レポート vol.002』盛岡市遺跡の学び館
 津嶋知弘 2015『古代『新渡 (志波)』郡北部の土器群変遷 (その 2) - 宇石川南岸所在遺跡の盛岡市教育委員会
 発掘調査資料② -』『盛岡市遺跡の学び館 学芸レポート vol.002』盛岡市遺跡の学び館
 独立行政法人文化財研究所奈良文化財研究所 2003a『古代の官衙遺跡 Ⅰ 遺構編』
 独立行政法人文化財研究所奈良文化財研究所 2003b『古代官衙・集落と墨書土器 - 墨書土器の機能と性格をめぐって -』
 独立行政法人文化財研究所奈良文化財研究所 2004『古代の官衙遺跡 Ⅱ 遺物・遺跡編』
 永井久美男 2002『新版 中世出土銭の分類図版』高志書院
 中野晴久 1995『中世陶器 (常滑・渥美)』『概説 中世の土器・陶磁器』中世土器研究会
 奈良国立文化財研究所 1993『木器集成図録 近畿原形編』奈良国立文化財研究所史料第 36 冊
 成田壽一郎 1995『木工指物』木工諸職及書 理工学社
 成田壽一郎 1996a『木工挽物』木工諸職及書 理工学社
 成田壽一郎 1996b『曲物・籠物』木工諸職及書 理工学社
 羽柴直人 2001『柱間寸法が語るもの』『掘立と壱穴 中世遺構論の課題』東北中世考古学叢書 2 高志書院
 平川南 1989『漆紙文書の研究』吉川弘文館
 平川南 1991『墨書土器とその字形 - 古代村落における文字の実相』『国立歴史民俗博物館研究報告』第 35 集
 平川南 2000『墨書土器の研究』吉川弘文館
 藤澤良祐 1995『中世陶器 (常滑戸)』『概説 中世の土器・陶磁器』中世土器研究会
 古川一明 2006『Ⅳ. 多賀城跡の 11 世紀～12 世紀の土器について』『宮城県多賀城跡調査研究年報 2006 多賀城跡』
 宮城県多賀城跡調査研究所
 平凡社 1990『沼沢郡・沼沢郡前沢町・水沢市』『岩手県の地名』日本歴史地名大系第三巻 p.200-211・227-273
 前沢町史編纂委員会 1976『付資料 風土記』『前沢町史 中巻 (中世・近世)』前沢町教育委員会
 松井章 2006『動物考古学の手引き』独立行政法人文化財研究所奈良文化財研究所埋蔵文化財センター
 水沢市史編纂委員会 1976『水沢市史 2 中世』水沢市史刊行会
 水沢市史編纂委員会 1977『資料』『水沢市史 3 近世 (下)』水沢市史刊行会
 宮城県教育委員会・宮城県多賀城跡調査研究所 1982『多賀城跡 政庁跡本文編・政庁跡図録編』
 宮城県多賀城跡調査研究所 1993『4. 考察』『宮城県多賀城跡調査研究年報 1992 多賀城跡』

3 出土遺物

八木光則 1981「2 志波城跡と周辺遺跡の土器様相」『志波城跡Ⅰ』太田方八丁遺跡範囲確認調査報告 盛岡市教育委員会

八木光則 2007「蝦夷と「律令」」『九世紀の蝦夷社会』高志書院

八木光則 2014「第2章 9～11世紀の土器編年構築と竪穴建物跡の集成から見た、北東北の特質 9. 胆沢・江刺・磐井地区 (2) 土器編年」『9～11世紀の土器編年構築と集落遺跡の特質からみた、北東北世界の実態的研究』

2011～2013年度明治大学大久保忠和考古学振興基金奨励研究研究成果報告書 北東北古代集落遺跡研究会

山中敏史 1998「律令国家の地方末端支配機構－研究の現状と課題－」『律令国家の地方末端支配機構をめぐって－研究集会の記録－』奈良国立文化財研究所

附編 自然科学的分析

1 放射性炭素年代測定 (1)

バリノ・サーヴェイ株式会社

(1) はじめに

中林下遺跡(岩手県奥州市水沢真城字中林下地内所在)から出土した、古代や中近世の遺構から出土した建築部材や施設材等を対象に放射性炭素年代測定を実施し、遺構の帰属年代に係る資料を得る。

(2) 試料

試料は、古代(9~10世紀)および中近世(16世紀)と推定される遺構から出土した柱材や礎板等の建築部材、堀跡や池状遺構等から出土した木材、堅穴建物のカマドから出土した炭化材などの16点(試料1~16)からなる。試料の詳細は表1に示したので参照されたい。

(3) 分析方法

試料は、必要量を切り出したあと、さらに土壌等の不純物が付着した周囲を削り取って、必要量(50mg)に調整する。試料は塩酸(HCl)や水酸化ナトリウム(NaOH)を用いて、試料内部の汚染物質を化学的に除去する(酸-アルカリ-酸(AAA)処理)。その後超純水で中性になるまで洗浄し、乾燥させる。濃度は塩酸、水酸化ナトリウム共に1mol/Lである(AAAと記載)。

処理後の試料の燃焼、二酸化炭素の精製、グラファイト化(鉄を触媒とし水素で還元する)はElementar社のvario ISOTOPE cubeとIonplus社のAge3を連結した自動化装置を用いる。処理後のグラファイト・鉄粉混合試料をNEC社製のハンドプレス機を用いて内径1mmの孔にプレスし、測定試料とする。

測定はタンデム加速器をベースとした14C-AMS専用装置を用いて、¹⁴Cの計数、¹³C濃度(¹³C/¹²C)、¹⁴C濃度(¹⁴C/¹²C)を測定する。AMS測定時に、米国国立標準局(NIST)から提供される標準試料(HOX-II)、国際原子力機関から提供される標準試料(IAEA-C6等)、バックグラウンド試料(IAEA-C1)の測定も行う。

$\delta^{13}\text{C}$ は試料炭素の¹³C濃度(¹³C/¹²C)を測定し、基準試料からのずれを千分偏差(‰)で表したものである。放射性炭素の半減期はLIBBYの半減期5568年を使用する。また、測定年代は1950年を基点とした年代(BP)であり、誤差は標準偏差(One Sigma:68%)に相当する年代である。測定年代の表示方法は、国際学会での勧告に従う(Stuiver & Polach,1977)。また、暦年較正用に一桁目まで表した値も記す。

暦年較正は、OxCal4.4(Bronk,2009)を使用し、1年単位まで表された同位体効果の補正を行った年代値および北半球の大気中炭素に由来する較正曲線(Intcal20; Reimer et al. 2020)を用いる。暦年較正結果は $1\sigma \cdot 2\sigma$ (1σ は統計的に真の値が68.2%の確率で存在する範囲、 2σ は真の値が95.4%の確率で存在する範囲)の値を示す。

表1 分析試料一覧

番号	時期	部材番号	出土地点	状態
試料1	9~10C	カ	PPAの礎板	生材
試料2	9~10C	キ	PPB186柱材	生材
試料3	9~10C	ク	PPD133柱材	生材
試料4	9~10C	ア	SBE2カマド	炭化材
試料5	16C	イ	SDB1(目黒付風筒跡)	生材
試料6	16C	ウ	SDB2	炭化材
試料7	16C	エ	SDB1	生材
試料8	16C	オ	SKD2(池状)	生材
試料9	16C	ケ	PPC18柱材	生材
試料10	16C	コ	PPC192柱材	生材
試料11	9~10C	サ	PPA24礎板	生材
試料12	9~10C	シ	PPB8柱材	生材
試料13	9~10C	ス	PPB198柱材	生材
試料14	16C	セ	PPC36柱材	生材
試料15	9~10C	ソ	PPD136柱材	生材
試料16	16C	タ	PPC207柱材	生材

(4) 結 果

結果を表2、図1に示す。同位体補正を行った結果は、試料1が 1260 ± 20 BP、試料2が 1190 ± 20 BP、試料3が 1180 ± 20 BP、試料4が 1095 ± 20 BP、試料5が 900 ± 20 BP、試料6が 305 ± 20 BP、試料7が 310 ± 20 BP、試料8が 295 ± 20 BP、試料9が 290 ± 20 BP、試料10が 345 ± 20 BP、試料11が 1225 ± 20 BP、試料12が 1195 ± 20 BP、試料13が 1155 ± 20 BP、試料14が 315 ± 20 BP、試料15が 1210 ± 20 BP、試料16が 1165 ± 20 BPである。

暦年較正は、大気中の ^{14}C 濃度が一定で半減期が5568年として算出された年代値に対し、過去の宇宙線強度や地球磁場の変動による大気中の ^{14}C 濃度の変動、及び半減期の違い(^{14}C の半減期 5730 ± 40 年)を較正することによって、暦年代に近づける手法である。測定誤差 2σ の暦年代は、試料1がcalAD674~822、試料2がcalAD773~888、試料3がcalAD772~942、試料4がcalAD892~995、試料5がcalAD1510~1650、試料6がcalAD1506~1648、試料7がcalAD1505~1646、試料8がcalAD1516~1654、試料9がcalAD1519~1657、試料10がcalAD1476~1635、試料11がcalAD706~882、試料12がcalAD773~888、試料13がcalAD773~975、試料4がcalAD1499~1645、試料15がcalAD772~886、試料16がcalAD771~972である。

以上の結果を概観すると、9~10世紀頃と推定された試料は、試料1が7世紀後半~9世紀前半頃と若干古い年代範囲を示した他は8~9世紀頃を主体として10世紀頃までの年代範囲を示す。また、16世紀頃の帰属年代が推定された試料16も8世紀後半~10世紀後半頃の年代範囲を示す。一方、16世紀頃と推定された試料は、前述の試料16を除き、おおむね16~17世紀頃の年代範囲を示す傾向にある。

引用文献

- Bronk RC. 2009. Bayesian analysis of radiocarbon dates. *Radiocarbon*, 51, 337-360.
- Reimer P., Austin W., Bard E., Bayliss A., Blackwell P., Bronk Ramsey, C., Butzin M., Cheng H., Edwards R., Friedrich M., Grootes P., Guilderson T., Hajdas L., Heaton T., Hogg A., Hughen K., Kromer B., Manning S., Muscheler R., Palmer J., Pearson C., van der Plicht J., Reimer R., Richards D., Scott E., Southon, J., Turney, C., Wacker, L., Adolphi, F., Buentgen U., Capano M., Fahrni S., Fogtmann-Schulz A., Friedrich R., Koehler P., Kudsk S., Miyake F., Olsen J., Reinig F., Sakamoto M., Sookdeo A., & Talamo S. 2020. The IntCal20 Northern Hemisphere radiocarbon age calibration curve (0-55 cal kBP). *Radiocarbon*, 62, 1-33.
- Stuiver, M., and Polach, H. A. 1977. Discussion Reporting of ^{14}C Data. *Radiocarbon*, 19, 355-363.

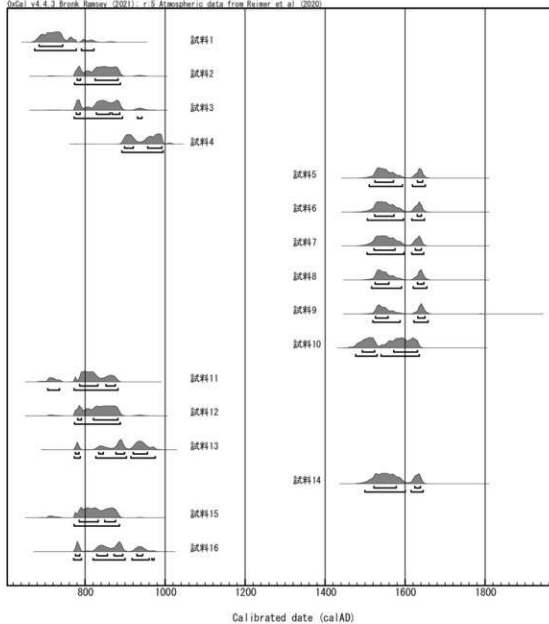
表2 放射性炭素年代測定および暦年較正結果

番号	性別	方法	測定年代 (暦年較正前) BP	±σ (%)	暦年較正年代				Code No.			
					年代値		標準差	標準%				
					cal AD	cal AD						
試料1	木材 (タリ)	AAA (1.3σ)	1200 ± 20 (1282 ± 20)	-2830 ±028	#	cal AD 685	- cal AD 714	1266	- 1207	calBP 663	YU- 13069	pal- 13041
					2#	cal AD 674	- cal AD 778	1227	- 1173	calBP 873		
					2#	cal AD 791	- cal AD 832	1160	- 1129	calBP 82		
試料2	木材 (タリ)	AAA (1.3σ)	1190 ± 20 (1192 ± 20)	-2290 ±031	#	cal AD 780	- cal AD 788	1170	- 1162	calBP 82	YU- 13070	pal- 13042
					2#	cal AD 825	- cal AD 882	1128	- 1098	calBP 601		
					2#	cal AD 773	- cal AD 888	1177	- 1162	calBP 954		
試料3	木材 (タリ)	AAA (1.3σ)	1180 ± 20 (1182 ± 20)	-2823 ±042	#	cal AD 778	- cal AD 787	1173	- 1163	calBP 112	YU- 13071	pal- 13043
					2#	cal AD 828	- cal AD 862	1122	- 1090	calBP 364		
					2#	cal AD 867	- cal AD 890	1094	- 1064	calBP 207		
試料4	炭化材 (トナリキ)	AAA (1.3σ)	1095 ± 20 (1100 ± 20)	-2702 ±038	#	cal AD 772	- cal AD 880	1178	- 1057	calBP 830	YU- 13072	pal- 13044
					2#	cal AD 931	- cal AD 942	1020	- 1009	calBP 24		
					2#	cal AD 898	- cal AD 920	1052	- 1030	calBP 263		
試料5	木材 (クヌギ類)	AAA (1.3σ)	300 ± 20 (299 ± 20)	-2841 ±028	#	cal AD 956	- cal AD 992	994	- 959	calBP 419	YU- 13073	pal- 13045
					2#	cal AD 892	- cal AD 965	1059	- 956	calBP 954		
					2#	cal AD 1524	- cal AD 1571	426	- 380	calBP 531		
試料6	炭化材 (タリ)	AAA (1.3σ)	305 ± 20 (305 ± 20)	-2615 ±032	#	cal AD 1031	- cal AD 1614	320	- 307	calBP 152	YU- 13074	pal- 13046
					2#	cal AD 1519	- cal AD 1593	440	- 357	calBP 708		
					2#	cal AD 1618	- cal AD 1650	332	- 300	calBP 246		
試料7	木材 (コナラ類)	AAA (1.3σ)	310 ± 20 (308 ± 20)	-2804 ±033	#	cal AD 1521	- cal AD 1572	427	- 378	calBP 566	YU- 13075	pal- 13047
					2#	cal AD 1630	- cal AD 1641	320	- 319	calBP 117		
					2#	cal AD 1566	- cal AD 1598	445	- 325	calBP 734		
試料8	木材 (コナラ類)	AAA (1.3σ)	295 ± 20 (293 ± 20)	-2857 ±041	#	cal AD 1617	- cal AD 1648	331	- 302	calBP 620	YU- 13076	pal- 13048
					2#	cal AD 1522	- cal AD 1575	428	- 326	calBP 545		
					2#	cal AD 1625	- cal AD 1640	325	- 310	calBP 137		
試料9	木材 (コナラ類)	AAA (1.3σ)	290 ± 20 (288 ± 20)	-2797 ±039	#	cal AD 1505	- cal AD 1597	446	- 354	calBP 744	YU- 13077	pal- 13049
					2#	cal AD 1616	- cal AD 1646	331	- 304	calBP 210		
					2#	cal AD 1525	- cal AD 1559	428	- 391	calBP 471		
試料10	木材 (コナラ類)	AAA (1.3σ)	295 ± 20 (303 ± 20)	-2857 ±041	#	cal AD 1631	- cal AD 1647	320	- 304	calBP 212	YU- 13078	pal- 13048
					2#	cal AD 1516	- cal AD 1591	435	- 360	calBP 663		
					2#	cal AD 1620	- cal AD 1654	330	- 296	calBP 280		
試料11	木材 (クヌギ)	AAA (1.3σ)	290 ± 20 (288 ± 20)	-2797 ±039	#	cal AD 1528	- cal AD 1557	425	- 393	calBP 428	YU- 13079	pal- 13049
					2#	cal AD 1632	- cal AD 1649	319	- 301	calBP 254		
					2#	cal AD 1519	- cal AD 1587	431	- 363	calBP 643		
試料12	木材 (タリ)	AAA (1.3σ)	1195 ± 20 (1197 ± 22)	-2817 ±043	#	cal AD 1622	- cal AD 1657	329	- 283	calBP 342	YU- 13080	pal- 13050
					2#	cal AD 1493	- cal AD 1524	458	- 427	calBP 253		
					2#	cal AD 1571	- cal AD 1631	379	- 329	calBP 430		
試料13	木材 (クヌギ)	AAA (1.3σ)	1125 ± 20 (1223 ± 20)	-2832 ±031	#	cal AD 1540	- cal AD 1635	411	- 315	calBP 607	YU- 13081	pal- 13050
					2#	cal AD 786	- cal AD 832	1164	- 1119	calBP 510		
					2#	cal AD 852	- cal AD 875	1090	- 1075	calBP 173		
試料14	木材 (タリ)	AAA (1.3σ)	1195 ± 20 (1197 ± 22)	-2817 ±043	#	cal AD 706	- cal AD 736	1241	- 1215	calBP 108	YU- 13082	pal- 13050
					2#	cal AD 772	- cal AD 882	1178	- 1089	calBP 847		
					2#	cal AD 791	- cal AD 791	1169	- 1160	calBP 87		
試料15	木材 (タリ)	AAA (1.3σ)	1155 ± 20 (1154 ± 20)	-3150 ±031	#	cal AD 821	- cal AD 882	1173	- 1160	calBP 986	YU- 13083	pal- 13060
					2#	cal AD 877	- cal AD 903	1121	- 1047	calBP 424		
					2#	cal AD 871	- cal AD 975	1038	- 975	calBP 427		
試料16	木材 (タリ)	AAA (1.3σ)	1165 ± 20 (1166 ± 20)	-2824 ±029	#	cal AD 1322	- cal AD 1578	429	- 373	calBP 555	YU- 13084	pal- 13061
					2#	cal AD 1624	- cal AD 1638	326	- 312	calBP 128		
					2#	cal AD 1499	- cal AD 1600	451	- 350	calBP 756		
試料17	木材 (タリ)	AAA (1.3σ)	1210 ± 20 (1209 ± 20)	-2925 ±038	#	cal AD 1615	- cal AD 1645	336	- 306	calBP 199	YU- 13085	pal- 13063
					2#	cal AD 785	- cal AD 833	1165	- 1118	calBP 434		
					2#	cal AD 849	- cal AD 876	1162	- 1075	calBP 249		
試料18	木材 (タリ)	AAA (1.3σ)	1165 ± 20 (1166 ± 20)	-2824 ±029	#	cal AD 821	- cal AD 882	1173	- 1164	calBP 984	YU- 13086	pal- 13064
					2#	cal AD 776	- cal AD 787	1175	- 1164	calBP 121		
					2#	cal AD 829	- cal AD 856	1121	- 1085	calBP 222		
試料19	木材 (タリ)	AAA (1.3σ)	1165 ± 20 (1166 ± 20)	-2824 ±029	#	cal AD 872	- cal AD 894	1078	- 1057	calBP 233	YU- 13087	pal- 13064
					2#	cal AD 929	- cal AD 944	1023	- 1007	calBP 107		
					2#	cal AD 771	- cal AD 791	1179	- 1160	calBP 150		
試料20	木材 (タリ)	AAA (1.3σ)	1165 ± 20 (1166 ± 20)	-2824 ±029	#	cal AD 820	- cal AD 900	1131	- 1051	calBP 585	YU- 13088	pal- 13065
					2#	cal AD 917	- cal AD 960	1033	- 990	calBP 303		
					2#	cal AD 967	- cal AD 972	981	- 978	calBP 68		

1) 年代値の算出には、Libbyの半減期 5568年を使用。
 2) BP年代値は、1950年を基準として何年前であるかを示す。
 3) 付記した誤差は、測定誤差σ (測定値の68.2%が入る範囲) を年代値に換算した値。
 4) AAAは、重・アルカリ・難処理を示す。AbAは試料が脆弱なため、アルカリの濃度を薄くして処理したことを示す。
 5) 暦年の計算には、Oxcal v4.4を使用
 6) 暦年の計算には1桁目まで示した年代値を使用。
 7) 較正データベースは、IntCal20を使用。
 8) 較正曲線較正プログラムが較正された場合の両計算と比較が行います。1桁目を丸めていない。
 9) 統計的に真の値が入る確率は、σが68.2%、2σが95.4%である。

図1 暦年較正結果

Cal v4.4.3 Brock Ramsey (2011); r:5 Atmospheric data from Reimer et al. (2020)



2 放射性炭素年代測定 (2)

(株) 加速器分析研究所

(1) 測定対象試料

中林下遺跡は、岩手県奥州市水沢真城中林下 95 番地ほか (北緯 39° 06' 20"、東経 141° 08' 23") に所在する。測定対象試料は、掘立柱建物跡等の柱穴から出土した柱材や礎板等から採取された木片 20 点である (表 1)。各木材の最外年輪を含む部位が依頼者により採取され、さらに加速器分析研究所において年輪を観察し、最外年輪と見られる部位を採取して試料とした。

中林下 17~23、26~36 の試料は出土土器から平安時代中期 (9 世紀代)、中林下 24、25 の試料は出土陶磁器から戦国時代末 (16 世紀後半) と推定されている。

(2) 測定の意義

試料の測定結果により平安時代の掘立柱建物の建築時期、戦国時代末の居館の存続時期を明らかにする。

(3) 化学処理工程

- 〈1〉メス・ピンセットを使い、付着物を取り除く。
- 〈2〉中林下 17 の木片については、木製品保存液 (吉田生物研究所製、抗菌性特殊カチオン活性剤) に浸されていたため、80℃の超純水に浸し、1 日 1 回水を交換して 1 週間処理を行う。
- 〈3〉酸-アルカリ-酸 (AAA: Acid Alkali Acid) 処理により不純物を化学的に取り除く。その後、超純水で中性になるまで希釈し、乾燥させる。AAA 処理における酸処理では、通常 1mol/ℓ (1M) の塩酸 (HCl) を用いる。アルカリ処理では水酸化ナトリウム (NaOH) 水溶液を用い、0.001M から 1M まで徐々に濃度を上げながら処理を行う。アルカリ濃度が 1M に達した時には「AAA」、1M 未満の場合は「AaA」と表 1 に記載する。
- 〈4〉試料を燃焼させ、二酸化炭素 (CO₂) を発生させる。
- 〈5〉真空ラインで二酸化炭素を精製する。
- 〈6〉精製した二酸化炭素を、鉄を触媒として水素で還元し、グラファイト (C) を生成させる。
- 〈7〉グラファイトを内径 1mm のカソードにハンドプレス機で詰め、それをホイールにはめ込み、測定装置に装着する。

(4) 測定方法

加速器をベースとした ¹⁴C-AMS 専用装置 (NEC 社製) を使用し、¹⁴C の計数、¹³C 濃度 (¹³C/¹²C)、¹⁴C 濃度 (¹⁴C/¹²C) の測定を行う。測定では、米国国立標準局 (NIST) から提供されたシュウ酸 (HOx II) を標準試料とする。この標準試料とバックグラウンド試料の測定も同時に実施する。

(5) 算出方法

- 〈1〉δ ¹³C は、試料炭素の ¹³C 濃度 (¹³C/¹²C) を測定し、基準試料からのずれを千分偏差 (‰) で表した値である (表 1)。AMS 装置による測定値を用い、表中に「AMS」と注記する。
- 〈2〉¹⁴C 年代 (Libby Age : yrBP) は、過去の大気中 ¹⁴C 濃度が一定であったと仮定して測定され、

1950年を基準年(0yrBP)として遡る年代である。年代値の算出には、Libbyの半減期(5568年)を使用する(Stuiver and Polach 1977)。 ^{14}C 年代は $\delta^{13}\text{C}$ によって同位体効果を補正する必要がある。補正した値を表1に、補正していない値を参考値として表2に示した。 ^{14}C 年代と誤差は、下1桁を丸めて10年単位で表示される。また、 ^{14}C 年代の誤差($\pm 1\sigma$)は、試料の ^{14}C 年代がその誤差範囲に入る確率が68.2%であることを意味する。

〈3〉pMC(percent Modern Carbon)は、標準現代炭素に対する試料炭素の ^{14}C 濃度の割合である。pMCが小さい(^{14}C が少ない)ほど古い年代を示し、pMCが100以上(^{14}C の量が標準現代炭素と同程度以上)の場合Modernとする。この値も $\delta^{13}\text{C}$ によって補正する必要があるため、補正した値を表1に、補正していない値を参考値として表2に示した。

〈4〉暦年較正年代とは、年代が既知の試料の ^{14}C 濃度をもとに描かれた較正曲線と照らし合わせ、過去の ^{14}C 濃度変化などを補正し、実年代に近づけた値である。暦年較正年代は、 ^{14}C 年代に対応する較正曲線上の暦年代範囲であり、1標準偏差($1\sigma=68.3\%$)あるいは2標準偏差($2\sigma=95.4\%$)で表示される。グラフの縦軸が ^{14}C 年代、横軸が暦年較正年代を表す。暦年較正プログラムに入力される値は、 $\delta^{13}\text{C}$ 補正を行い、下1桁を丸めない ^{14}C 年代値である。なお、較正曲線および較正プログラムは、データの蓄積によって更新される。また、プログラムの種類によっても結果が異なるため、年代の活用にあたってはその種類とバージョンを確認する必要がある。ここでは、暦年較正年代の計算に、IntCal20較正曲線(Reimer et al. 2020)を用い、OxCalv4.4較正プログラム(Bronk Ramsey 2009)を使用した。暦年較正年代については、特定の較正曲線、プログラムに依存する点を考慮し、プログラムに入力する値とともに参考値として表2に示した。暦年較正年代は、 ^{14}C 年代に基づいて較正(calibrate)された年代値であることを明示するために「cal BC/AD」または「cal BP」という単位で表される。

(6) 測定結果

測定結果を表1、2に示す。

試料中林下17~23、26~36の ^{14}C 年代は、 $1260 \pm 20\text{yrBP}$ (中林下22)から $1170 \pm 20\text{yrBP}$ (中林下23、36)の間にまとまる。暦年較正年代(1σ)は、最も古い中林下22が684~744cal ADの範囲、最も新しい中林下23が776~945cal ADの間に4つの範囲で示される。推定される9世紀代に重なる年代値を示した試料が多いが、それよりも古い値や新しい値も認められる。

試料中林下24、25の ^{14}C 年代は、中林下24が $610 \pm 20\text{yrBP}$ 、中林下25が $570 \pm 20\text{yrBP}$ である。暦年較正年代(1σ)は、中林下24が1306~1395cal AD、中林下25が1328~1406cal ADの間に各々複数の範囲で示される。中林下17~23、26~36より明瞭に新しい中世の年代値を示したが、推定される16世紀後半よりは古い結果となった。

試料の炭素含有率はすべて50%以上の適正な値で、化学処理、測定上の問題は認められない。

文献

- Bronk Ramsey, C. 2009 Bayesian analysis of radiocarbon dates. *Radiocarbon* 51(1), 337-360
 Reimer, P.J. et al. 2020 The IntCal20 Northern Hemisphere radiocarbon age calibration curve (0-55 cal kBP). *Radiocarbon* 62(4), 725-757
 Stuiver, M. and Polach, H.A. 1977 Discussion: Reporting of ^{14}C data. *Radiocarbon* 19(3), 355-363

表1 放射性炭素年代測定結果 ($\delta^{13}\text{C}$ 補正值) (1)

測定番号	試料名	採取場所	試料形態	処理方法	$\delta^{13}\text{C}$ (‰) (AMS)	$\delta^{13}\text{C}$ 補正あり	
						Libby Age (yrBP)	ρMC (‰)
IAAA-21436	中林F_17・柱18	SBD3 縦立柱建物 (PPD101 柱穴) 底面 柱根	木片	AAA	-26.65 ± 0.19	1240 ± 20	85.66 ± 0.23
IAAA-21437	中林F_18・H56	SBE4 縦立柱建物 (PPE420 柱穴) 底面 礎板	木片	AAA	-26.31 ± 0.18	1210 ± 20	86.05 ± 0.23
IAAA-21438	中林F_19・H60	SBC2 縦立柱建物 (PPC514 柱穴) 埋土中交 礎板	木片	AAA	-27.94 ± 0.20	1180 ± 20	86.30 ± 0.24
IAAA-21439	中林F_20・H61	SBC3 縦立柱建物 (PPC525 柱穴) 底面 礎板	木片	AAA	-27.74 ± 0.21	1250 ± 20	85.63 ± 0.24
IAAA-21440	中林F_21・H65	SBC7 縦立柱建物 (PPC846 柱穴) 底面 礎板	木片	AAA	-27.04 ± 0.20	1240 ± 20	85.71 ± 0.23
IAAA-21441	中林F_22・H76	SBE8 縦立柱建物 (PPE707 柱穴) 底面 礎板	木片	AAA	-26.97 ± 0.18	1260 ± 20	85.51 ± 0.23
IAAA-21442	中林F_23・H80	SBE3 縦立柱建物 (PPE381 柱穴) 底面 礎板	木片	AAA	-28.56 ± 0.21	1170 ± 20	86.48 ± 0.24
IAAA-21443	中林F_24・H103	PPE26 柱穴 底面 柱材	木片	AAA	-28.14 ± 0.19	610 ± 20	92.65 ± 0.25
IAAA-21444	中林F_25・H143	PPE22 柱穴 底面 柱材	木片	AAA	-25.96 ± 0.21	570 ± 20	93.14 ± 0.25
IAAA-21445	中林F_26・H148	SBC5 縦立柱建物 (PPC537 柱穴) 底面 柱材	木片	AAA	-28.09 ± 0.18	1180 ± 20	86.29 ± 0.24
IAAA-21446	中林F_27・柱26	SBE6 縦立柱建物 (PPE740 柱穴) 底面 柱材	木片	AAA	-28.13 ± 0.19	1230 ± 20	85.79 ± 0.24
IAAA-21447	中林F_28・柱27	SBE2 縦立柱建物 (PPE377 柱穴) 底面 柱材	木片	AAA	-27.19 ± 0.18	1230 ± 20	85.85 ± 0.24
IAAA-21448	中林F_29・柱28	SBE7 縦立柱建物 (PPE722 柱穴) 底面 柱材	木片	AAA	-28.97 ± 0.22	1210 ± 20	85.99 ± 0.24
IAAA-21449	中林F_30・柱29	SBE10 縦立柱建物 (PPC483 柱穴) 底面 柱材	木片	AAA	-24.98 ± 0.18	1190 ± 20	86.20 ± 0.24
IAAA-21450	中林F_31・柱33	SBC4 縦立柱建物 (PPC543 柱穴) 底面 柱材	木片	AAA	-26.83 ± 0.17	1240 ± 20	85.70 ± 0.24
IAAA-21451	中林F_32・柱34	SBC6 縦立柱建物 (PPC771 柱穴) 底面 柱材	木片	AAA	-27.08 ± 0.18	1230 ± 20	85.88 ± 0.23
IAAA-21452	中林F_33・柱35	SBE1 縦立柱建物 (PPE361 柱穴) 底面 柱材	木片	AaA	-26.51 ± 0.20	1200 ± 20	86.16 ± 0.24

表1 放射性炭素年代測定結果 ($\delta^{13}\text{C}$ 補正值) (2)

測定番号	試料名	採取場所	試料 形態	処理 方法	$\delta^{13}\text{C}$ (‰) (AMS)	$\delta^{13}\text{C}$ 補正あり	
						Libby Age (yrBP)	pMC (%)
IAAA-211453	中林下_34・柱 36	SBE1 掘立柱建物 (PPE737 柱穴) 底面 柱材	木片	AAA	-25.82 ± 0.18	1,180 ± 20	86.32 ± 0.24
IAAA-211454	中林下_35・柱 39	SBE11 掘立柱建物 (PPC479 柱穴) 底面 柱材	木片	AAA	-29.00 ± 0.17	1,210 ± 20	85.99 ± 0.24
IAAA-211455	中林下_36・柱 40	SBE9 掘立柱建物 (PPC469 柱穴) 底面 柱材	木片	AAA		1,170 ± 20	86.47 ± 0.23

[IAA 登録番号: #B016]

表2 放射性炭素年代測定結果 ($\delta^{13}\text{C}$ 未補正值、暦年較正用 ^{14}C 年代、較正年代) (1)

測定番号	$\delta^{13}\text{C}$ 補正なし		暦年較正用 (yrBP)	1 σ 暦年代範囲	2 σ 暦年代範囲
	Age (yrBP)	pMC (%)			
IAAA-211436	1,300 ± 20	85.02 ± 0.23	1,243 ± 21	703calAD-740calAD (38.0%) 789calAD-824calAD (30.2%)	680calAD-745calAD (48.2%) 760calAD-779calAD (4.3%) 785calAD-837calAD (35.0%) 847calAD-877calAD (8.0%)
IAAA-211437	1,230 ± 20	85.81 ± 0.23	1,206 ± 21	785calAD-793calAD (7.8%) 798calAD-834calAD (30.8%) 845calAD-877calAD (29.7%)	772calAD-886calAD (95.4%)
IAAA-211438	1,230 ± 20	85.77 ± 0.23	1,183 ± 22	778calAD-787calAD (10.2%) 828calAD-886calAD (58.1%)	772calAD-893calAD (92.7%) 930calAD-942calAD (2.7%)
IAAA-211439	1,290 ± 20	85.15 ± 0.23	1,246 ± 22	702calAD-741calAD (42.3%) 790calAD-822calAD (25.9%)	678calAD-748calAD (53.3%) 758calAD-779calAD (5.6%) 786calAD-835calAD (30.1%) 849calAD-877calAD (6.5%)
IAAA-211440	1,270 ± 20	85.35 ± 0.23	1,238 ± 21	705calAD-738calAD (30.2%) 788calAD-826calAD (38.1%)	685calAD-744calAD (37.9%) 772calAD-779calAD (2.7%) 785calAD-878calAD (54.8%)
IAAA-211441	1,290 ± 20	85.17 ± 0.23	1,257 ± 21	684calAD-744calAD (68.3%)	674calAD-779calAD (80.7%) 787calAD-827calAD (14.8%)
IAAA-211442	1,230 ± 20	85.84 ± 0.23	1,167 ± 22	776calAD-787calAD (11.3%) 828calAD-860calAD (24.4%) 870calAD-894calAD (22.1%) 929calAD-945calAD (10.5%)	772calAD-792calAD (14.4%) 802calAD-812calAD (1.7%) 818calAD-900calAD (58.8%) 917calAD-961calAD (19.7%) 966calAD-972calAD (1.0%)

表2 放射性炭素年代測定結果 ($\delta^{13}\text{C}$ 未補正值、曆年較正用 ^{14}C 年代、較正年代) (2)

測定番号	$\delta^{13}\text{C}$ 補正なし		曆年較正用 (yrBP)	1 σ 曆年代範圍	2 σ 曆年代範圍
	Age (yrBP)	pMC (%)			
IAAA-211443	670 ± 20	92.05 ± 0.25	612 ± 21	1306calAD-1328calAD (29.5%) 1345calAD-1365calAD (24.3%) 1384calAD-1395calAD (14.5%)	1301calAD-1370calAD (74.0%) 1377calAD-1400calAD (21.5%)
IAAA-211444	590 ± 20	92.95 ± 0.24	570 ± 21	1328calAD-1349calAD (43.2%) 1395calAD-1406calAD (25.1%)	1319calAD-1360calAD (58.1%) 1388calAD-1420calAD (37.4%)
IAAA-211445	1,240 ± 20	85.74 ± 0.23	1,184 ± 22	778calAD-787calAD (9.8%) 828calAD-885calAD (58.5%)	772calAD-893calAD (93.2%) 931calAD-941calAD (2.2%)
IAAA-211446	1,280 ± 20	85.24 ± 0.23	1,230 ± 22	707calAD-725calAD (13.0%) 787calAD-830calAD (44.6%) 855calAD-873calAD (10.7%)	702calAD-741calAD (21.8%) 772calAD-881calAD (73.7%)
IAAA-211447	1,260 ± 20	85.46 ± 0.24	1,225 ± 22	710calAD-715calAD (3.2%) 786calAD-831calAD (49.3%) 853calAD-874calAD (15.7%)	703calAD-739calAD (15.3%) 772calAD-883calAD (80.1%)
IAAA-211448	1,250 ± 20	85.64 ± 0.24	1,212 ± 22	786calAD-832calAD (45.5%) 850calAD-875calAD (22.7%)	709calAD-721calAD (3.1%) 772calAD-885calAD (92.3%)
IAAA-211449	1,190 ± 20	86.20 ± 0.24	1,193 ± 22	779calAD-790calAD (9.5%) 823calAD-883calAD (58.7%)	772calAD-890calAD (95.4%)
IAAA-211450	1,270 ± 20	85.38 ± 0.23	1,239 ± 22	704calAD-738calAD (31.9%) 788calAD-826calAD (36.4%)	683calAD-744calAD (39.9%) 771calAD-779calAD (2.8%) 785calAD-879calAD (52.8%)
IAAA-211451	1,260 ± 20	85.51 ± 0.23	1,222 ± 21	786calAD-833calAD (49.6%) 850calAD-876calAD (18.7%)	706calAD-736calAD (10.9%) 772calAD-883calAD (84.5%)
IAAA-211452	1,220 ± 20	85.89 ± 0.23	1,196 ± 21	781calAD-791calAD (9.0%) 821calAD-882calAD (59.3%)	774calAD-886calAD (95.4%)
IAAA-211453	1,200 ± 20	86.18 ± 0.23	1,181 ± 21	777calAD-787calAD (11.0%) 828calAD-887calAD (57.3%)	772calAD-894calAD (91.5%) 928calAD-945calAD (4.0%)
IAAA-211454	1,280 ± 20	85.28 ± 0.23	1,212 ± 22	786calAD-832calAD (45.5%) 850calAD-875calAD (22.7%)	709calAD-721calAD (3.1%) 772calAD-885calAD (92.3%)
IAAA-211455	1,190 ± 20	86.24 ± 0.23	1,167 ± 21	776calAD-787calAD (11.7%) 828calAD-859calAD (24.3%) 871calAD-894calAD (22.6%) 929calAD-944calAD (9.7%)	772calAD-791calAD (14.9%) 804calAD-811calAD (1.0%) 820calAD-900calAD (60.0%) 918calAD-959calAD (19.1%) 968calAD-971calAD (0.5%)

[参考値]

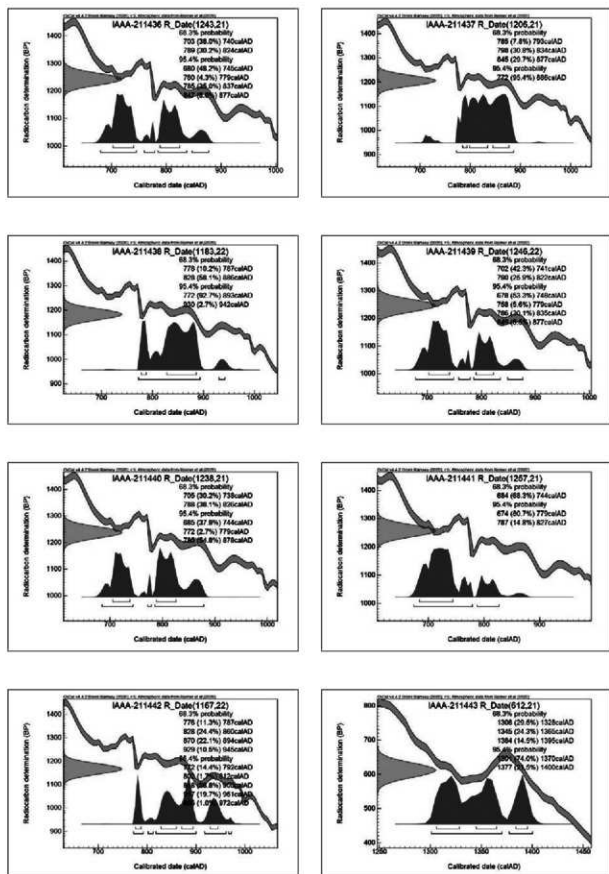
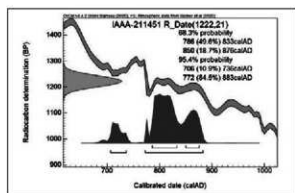
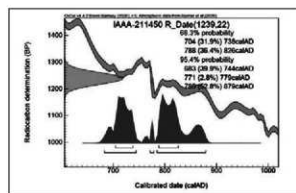
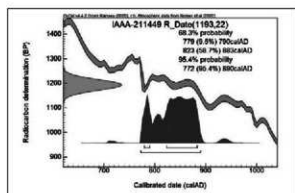
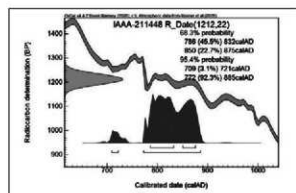
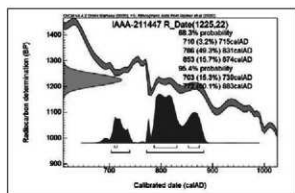
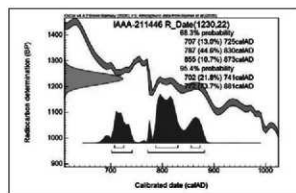
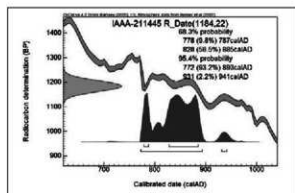
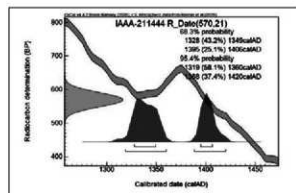
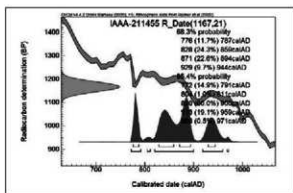
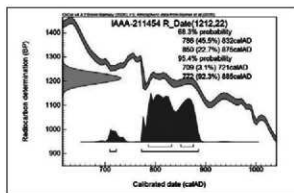
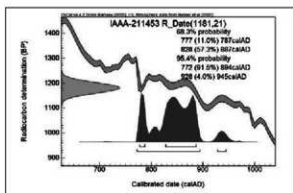
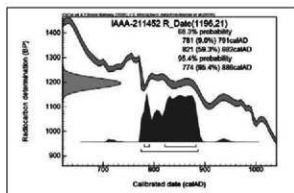


図1 暦年較正年代グラフ(参考)



2 放射性炭素年代測定 (2)



3 火山灰の分析

バリノ・サーヴェイ株式会社

(1) はじめに

奥州市に所在する中林下遺跡は、北上低地帯南部に広がる胆沢川の扇状地の東部に位置する。小池ほか編(2005)の地形区分図に従えば、中林下遺跡の立地する平坦面は、およそ2万年前前後の酸素同位体ステージ2に形成された河成段丘であるL1面に相当する。これまでの発掘調査により、平安時代とされる竪穴状の遺構が検出されており、それに伴う土師器や須恵器などの土器も出土している。

本分析調査では、平安時代とされる竪穴状遺構の覆土中に検出された火山灰(テフラ)と考えられる堆積物を対象とした分析を行い、テフラである場合には、その給源火山と噴出年代を明らかにする。

(2) 試料

試料は、平安時代の竪穴状遺構とされたSXD1の覆土中に、厚さ5~10cmの層状で堆積する状況が認められた灰黄褐色を呈する砂質シルトより採取された火山灰分析試料1点である。

(3) 分析方法

試料約40gに水を加え超音波洗浄装置により分散、250メッシュの分析篩を用いて水洗し、粒径1/16mm以下の粒子を除去する。乾燥の後、篩別し、得られた粒径1/4mm-1/8mmの砂分をポリタングステン酸ナトリウム(比重約2.96に調整)により重液分離、重鉱物を偏光顕微鏡下にて250粒に達するまで同定する。重鉱物同定の際、不透明な粒については、斜め上方からの落射光下で黒色金属光沢を呈するもののみを「不透明鉱物」とする。「不透明鉱物」以外の不透明粒および変質等で同定の不可能な粒子は「その他」とする。火山ガラス比は、重液分離した軽鉱物分における砂粒を250粒数え、その中の火山ガラスの量比を求める。火山ガラスは、その形態によりバブル型・中間型・軽石型の3タイプに分類した。各型の形態は、バブル型は薄手平板状、中間型は表面に気泡の少ない厚手平板状あるいは破砕片状などの塊状ガラスであり、軽石型は小気泡を非常に多く持った塊状および気泡の長く伸びた繊維束状のものとする。また、火山ガラス比における「その他」とは、軽鉱物分における火山ガラス以外の粒子(石英や長石類などの鉱物粒子および風化変質粒など)である。

さらに、本分析では火山ガラスと斜方輝石の屈折率を測定し、テフラ同定の指標とする。屈折率の測定は、古澤(1995)のMAIOTを使用した温度変化法を用いた。

(4) 結果

結果を表1、図1に示す。重鉱物組成は、斜方輝石が最も多く、約60%を占め、次いで不透明鉱物が約20%程度、単斜輝石が15%ほどを占める。火山ガラス比では軽石型火山ガラスが60%程度含まれ、極めて微量のバブル型火山ガラスと中間型火山ガラスも含まれる。

火山ガラスの屈折率を図2に示し、斜方輝石の屈折率を図3に示す。火山ガラスの屈折率のレンジは $n_{1.503}$ - 1.508 であり、モードは $n_{1.505}$ である。斜方輝石の屈折率は、レンジは $y_{1.699}$ - 1.710 とやや広いが、主要なレンジは $y_{1.705}$ - 1.708 である。

表1 重鉱物・火山ガラス比分析結果

試料名	カンラン石	斜方輝石	単斜輝石	角閃石	酸化角閃石	緑レン石	ジルコン	不透明鉱物	その他	合計	バブル型火山ガラス	中間型火山ガラス	軽石型火山ガラス	その他	合計
SXD1埋土火山灰分析試料	1	145	46	1	0	0	0	55	2	250	3	1	142	104	250

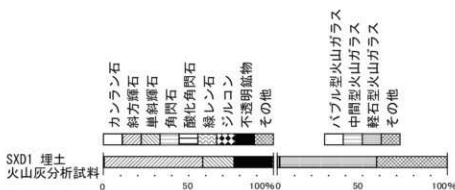


図1 重鉱物組成および火山ガラス比

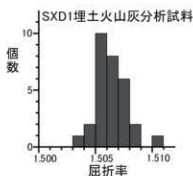


図2 火山ガラスの屈折率

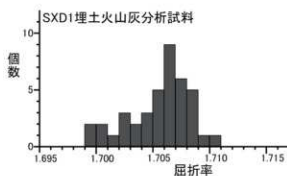


図3 斜方輝石の屈折率

なお、分析処理の過程において、試料からは多量の軽石が検出された。軽石は、最大径約0.7mmであり、白色を呈し、発泡は良好なものと同色で発泡やや良好なものが混在する。

(5) 考察

試料は、細粒の軽石および火山ガラスを主体とし、斜方輝石と不透明鉱物を主要な重鉱物組成とするテフラであると考えられる。添付資料にある覆土層断面の状況からは、住居跡の廃絶後にテフラの降下堆積のあったことが窺える。また、遺構床面から平安時代とされる土器片が出土していることも考慮するとテフラの降下堆積は平安時代であった可能性が高い。この噴出年代観と上述した碎屑物の諸特徴および中林下遺跡の地理的位置に、これまでに研究された東北地方におけるテフラの産状(町田ほか(1981;1984)、Arai et al(1986)、町田・新井(2003)など)を考慮すると、試料は、十和田カルデ

ラより噴出した十和田aテフラ (To-a) の降下堆積物であると考えられる。

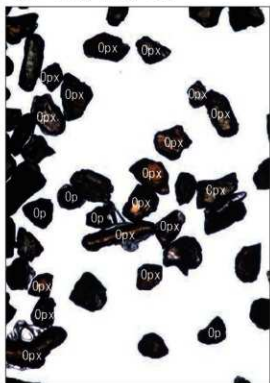
To-a は、平安時代に十和田カルデラから噴出したテフラであり、給源周辺では火砕流堆積物と降下軽石からなるテフラとして、火砕流の及ばなかった地域では軽石質テフラとして、さらに給源から離れた地域では細粒の火山ガラス質テフラとして、東北地方のほぼ全域で確認されている (町田ほか, 1981)。また、その噴出年代については、早川・小山 (1998) による詳細な調査によれば、西暦 915 年とされている。上述したように、テフラは住居が廃絶された後に降下した可能性が高いと考えられる。したがって、住居の機能していた時期は新しくとも 10 世紀初頭よりは古いと考えることができる。

なお、町田・新井 (2003) に記載された To-a の火山ガラスの屈折率は、 $n_{1.496} \sim 1.508$ の広いレンジを示す。ただし、 $n_{1.502}$ 以下の低い屈折率の火山ガラスを主体とする火山灰層は、南方へは広がらず、十和田カルデラ周辺とその東方地域に分布が限られるとされている (町田ほか, 1981)。今回検出されたテフラは、低屈折率の火山ガラスを含まない To-a に相当するものと考えられる。To-a の斜方輝石の屈折率については、町田・新井 (2003) では γ 1.706-1.708 とされており、本分析試料の主要なレンジとはほぼ一致する。本分析試料で検出された主要なレンジよりも低い屈折率および高い屈折率の斜方輝石は、To-a とは異なるテフラに由来する斜方輝石の遊離結晶が混入したものと考えられる。

引用文献

- Arai, F., Machida, H., Okumura, K., Miyauchi, T., Soda, T., Yamagata, K. 1986. Catalog for late quaternary marker-tephras in Japan II - Tephra occurring in Northeast Honshu and Hokkaido - .Geographical reports of Tokyo Metropolitan University No.21, 223-250.
- 古澤 明. 1995. 火山ガラスの屈折率測定および形態分類とその統計的な解析に基づくテフラの識別. 地質学雑誌. 101, 123-133.
- 早川由紀夫・小山真人. 1998. 日本海をさきで 10 世紀に相次いで起こった二つの大噴火の年月日 - 十和田湖と白頭山 -. 火山. 43, 403-407.
- 小池一之・田村俊和・鎮西清高・宮城豊彦編. 2005. 日本の地形 3 東北. 東京大学出版会. 355p.
- 町田 洋・新井房夫. 2003. 新編 火山灰アトラス. 東京大学出版会. 336p.
- 町田 洋・新井房夫・森脇 広. 1981. 日本海を渡ってきたテフラ. 科学. 51, 562-569.
- 町田 洋・新井房夫・杉原重夫・小田静夫・遠藤邦彦. 1984. テフラと日本考古学 - 考古学研究と関連するテフラのカタログ -. 渡辺直経 (編) 古文化財に関する保存科学と人文・自然科学. 同朋舎. 865-928.

図版1 重鉱物・軽鉱物・軽石



1. 重鉱物 (SXD1埋土: 火山灰分析試料)



2. 軽鉱物 (SXD1埋土: 火山灰分析試料)



3. 軽石 (SXD1埋土: 火山灰分析試料)

Opx: 斜方輝石, Cpx: 単斜輝石, Op: 不透明鉱物, Vg: 火山ガラス, Oz: 石英, Pl: 斜長石.



4 樹種同定分析 (1)

株式会社 古環境研究所

(1) はじめに

中林下遺跡では、9世紀および16世紀を主体とする遺構が検出されている。本報告では、出土した木製品、柱材、礎板について、用材選択を明らかにするために樹種同定を実施する。

(2) 試料

試料は、木製品1点(木4)、柱材11点(柱2~4, 7, 8, 10, 16, 19, 23, 26, 28)、礎板8点(礎3, 4, 6, 8, 9, 14, 15)の合計20点である。いずれも採取された木片を試料とする。

(3) 方法

剃刀を用いて、木片から横断面(木口)・放射断面(柎目)・接線断面(板目)の3断面について徒手切片を作製する。切片をガム・クロラール(抱水クロラール, アラビアゴム粉末, グリセリン, 蒸留水の混合液)で封入してプレパラートとする。プレパラートは、生物顕微鏡で木材組織の種類や配列を観察し、その特徴を現生標本および独立行政法人森林総合研究所の日本産木材識別データベースと比較して種類(分類群)を同定する。

なお、木材組織の名称や特徴は、島地・伊東(1982)、Wheeler他(1998)、Richter他(2006)を参考にする。また、日本産木材の組織配列は、林(1991)や伊東(1995, 1996, 1997, 1998, 1999)を参考にする。

(4) 結果

樹種同定結果を表1に示す。木製品、柱材、礎板は、針葉樹1分類群(アスナロ属)と広葉樹3分類群(クリ、オニグルミ、トネリコ属)に同定された。各分類群の解剖学的特徴等を記す。

・アスナロ属 *Thujaopsis* ヒノキ科

軸方向組織は仮道管と樹脂細胞で構成される。仮道管の早材部から晩材部への移行は緩やかで、晩材部の幅は狭い。樹脂細胞が晩材部付近に認められるが、数は少ない。放射組織は柔細胞のみで構成され、内壁には茶褐色の樹脂が顕著に認められる。分野壁孔はヒノキ型で、1分野に1~4個。放射組織は単列、1~10細胞高。

・クリ *Castanea crenata* Sieb. et Zucc. ブナ科クリ属

環孔材。孔圏部は3~4列、孔圏外でやや急激に道管径を減じたのち、小径の道管が集まって火災状に配列し、年輪界に向かって径を漸減させる。道管の穿孔板は単穿孔板、壁孔は交互状となる。放射組織は同性、単列、1~15細胞高。

・オニグルミ *Juglans mandshurica* Maxim. Var. *sachalinensis* (Komatsu) Kitam. クルミ科クルミ属
散孔材。道管は単独または2~3個が放射方向に複合して散在し、年輪界に向かって径を漸減させる。早材部と晩材部の道管径の変化は比較的大きい。道管の穿孔板は単穿孔板、壁孔は交互状となる。放射組織はほぼ同性、1~3細胞幅、1~40細胞高。

・トネリコ属 *Fraxinus* モクセイ科

環孔材。孔圏部は1~3列、孔圏外でやや急激に道管径を減じたのち、厚壁の道管が単独または2

個が放射方向に複合して配列し、年輪界に向かって径を漸減させる。道管の穿孔板は単穿孔板、壁孔は交互状となる。放射組織は同性、1~3細胞幅、1~30細胞高。

表1 樹種同定結果

新番号	遺構	帰属建物	地点	層位	種別	樹種
木4	SDB1	-	IB01i	埋土	曲物側板	アスナロ属
礎1	ppD009	SBD1		底面直上	礎板	クリ
礎3	ppD003	SBD1		底面直上	礎板	クリ
礎4	ppB198	SBB3		底面直上	礎板	クリ
礎6	ppA040	SBA2		底面直上	礎板	クリ
礎8	ppA024	SAA3		底面直上	礎板	クリ
礎9	ppA049	SBA2		底面直上	礎板	クリ
礎14	ppB024	SBB2			礎板	オニグルミ
礎15	SKB2	-			礎板?	クリ
柱2	ppD141	SBD2			柱材(両端部加工)	トネリコ属
柱3	ppD134	SBD2			柱材(両端部加工)	クリ
柱4	ppD138	SBD2			柱材	クリ
柱7	ppD008	SBD1		底面直上	柱材(両端部加工)	クリ
柱8	ppB185	SBB3		底面直上	柱材(底面のみ平坦に加工)	クリ
柱10	ppB198	SBB3			柱材(底面のみ平坦に加工)	クリ
柱16	ppB174	SBB3			柱材(底面のみ平坦に加工)	クリ
柱19	ppD131	SBD2			柱材(両端部加工)	クリ
柱23	ppD136	SBD2			柱材	クリ
柱26	ppC207	SBB3			柱材(底面のみ平坦に加工)	クリ
柱28	ppD133	SBD2			柱材	クリ

(5) 考 察

樹種同定を実施した木製品は、伊東・山田(2012)の木器分類を参考にすると、容器(曲物側板)と建築部材(柱材、礎板)に分類される。これらの木製品には、合計4分類群が認められた。各分類群の材質等についてみると、針葉樹のアスナロ属は、本地域ではアスナロの変種であるヒノキアスナロ(ヒバ)が一般的であり、今回の試料もヒノキアスナロに由来する可能性がある。ヒノキアスナロは、山地等に生育する常緑高木であり、木材は割裂性や耐水性が高い。広葉樹のクリは二次林等に生育する落葉高木であり、木材は強度と耐朽性が高い。オニグルミとトネリコ属は、溪畔等に生育する落葉高木であり、木材は重硬で強度が高い。

器種別にみると、曲物側板(木4)は、試料として採取された木片の形状と木取りから、柎目板の可能性が高い。アスナロに同定され、分割加工が容易で耐水性の高い木材の利用が推定される。同様の事例は、泉屋遺跡などで報告されている(伊東・山田2012)。

建築部材の柱材は、底面のみ平坦に加工されている資料や両端部が加工されている資料等があるが、1点がトネリコ属に同定された他は全てクリに同定された。また、礎板も1点がオニグルミに同定された他は全てクリである。この結果から、柱材や礎板では強度が高く腐りにくいクリを主体とした用材選択が推定される。オニグルミやトネリコ属についても強度が高い点はクリの利用と共通する。

柱材と礎板の帰属建物は、6棟(SAA3、SBA2、SBB2、SBB3、SBD1、SBD2)ある。比較的点数のある建物について種類構成をみると、SBB3は4基の柱穴から柱材が出土している。いずれも底面のみ平坦に加工する柱材であり、うち1基(ppB198)では礎板を伴う。柱材と礎板は全てクリに同定された。SBD1は、2基の柱穴(ppD003, ppD009)から礎板が出土している一方で、別の柱穴(ppD008)では両端部加工の柱材が出土しており、2タイプの柱材が混在したことが推定される。

SBB3と同じく、柱材と礎板は全てクリに同定された。SBD2は、6基の柱穴から柱材が出土している。柱材のうち3点は両端部加工とされる。6点中5点がクリ、1点がトネリコ属であり、クリを主体としつつ、少なくとも2種類の木材が柱材に利用されたことが推定される。この他の建物は、全て礎板であり、1棟あたり1点あるいは2点の分析である。SAA3の1点とSBA2の2点は、全てクリに同定された。一方、SBB2の1点はオニグルミであり、他とは用材選択が異なる。

なお、伊東・山田(2012)のデータベースによれば、岩手県内では古代以降の柱材や礎板にクリの利用が比較的多い傾向があり、今回の結果とも整合的である。

引用文献

- 林 昭三.1991.日本産木材 顕微鏡写真集.京都大学木質科学研究所.
- 伊東隆夫.1995.日本産広葉樹材の解剖学的記載Ⅰ.木材研究・資料.31.京都大学木質科学研究所.81-181.
- 伊東隆夫.1996.日本産広葉樹材の解剖学的記載Ⅱ.木材研究・資料.32.京都大学木質科学研究所.66-176.
- 伊東隆夫.1997.日本産広葉樹材の解剖学的記載Ⅲ.木材研究・資料.33.京都大学木質科学研究所.83-201.
- 伊東隆夫.1998.日本産広葉樹材の解剖学的記載Ⅳ.木材研究・資料.34.京都大学木質科学研究所.30-166.
- 伊東隆夫.1999.日本産広葉樹材の解剖学的記載Ⅴ.木材研究・資料.35.京都大学木質科学研究所.47-216.
- 伊東隆夫・山田昌久(編).2012.木の考古学 出土木製品用材データベース.海青社.444p.
- Richter H.G.Grosser D.Heinz I. and Gasson P.E.(編).2006.針葉樹材の識別 IAWAによる光学顕微鏡的特徴リスト.伊東隆夫・藤井智之・佐野雄三・安部 久・内海泰弘(日本語版監修).海青社.70p. [Richter H.G.Grosser D.Heinz I. and Gasson P.E.(2004) *IAWA List of Microscopic Features for Softwood Identification*]. 高島 謙・伊東隆夫.1982.図説木材組織.地球社.176p.
- Wheeler E.A.Bass P. and Gasson P.E.(編).1998.広葉樹材の識別 IAWAによる光学顕微鏡的特徴リスト.伊東隆夫・藤井智之・佐伯 浩(日本語版監修).海青社.122p. [Wheeler E.A.Bass P. and Gasson P.E.(1989) *IAWA List of Microscopic Features for Hardwood Identification*].

図版1 木材 (1)



横断面



放射断面



接線断面

0.1 mm

0.1 mm

0.1 mm

アスナロ属 木 4



横断面



放射断面



接線断面

0.1 mm

0.1 mm

0.1 mm

クリ 柱 28



横断面



放射断面



接線断面

0.1 mm

0.1 mm

0.1 mm

オニグルミ 礎 14

図版2 木材(2)



横断面
トネリコ属 柱2

0.1 mm



放射断面

0.1 mm



接線断面

0.1 mm

5 樹種同定分析 (2)

株式会社 古環境研究所

(1) はじめに

木材は、花粉などの微化石と比較して移動性が少ないことから、比較的近隣の森林植生の推定が可能であるが、木製品では樹種による利用状況や流通を探る手がかりにもなる。

中林下遺跡は、奥州市水沢真城中林下に所在する。発掘調査において、平安時代の掘立柱建物、竪穴状遺構、中世の堀、溝跡、土坑、柱穴などが検出されている。本報告では、出土した平安時代、室町時代、戦国時代末の木製品について樹種同定を実施し、当時の用材選択を明らかにする。

(2) 試料

試料は、木製品 60 点 (試料番号 81 ~ 140) である。試料の詳細を結果とともに表 1 に示す。

(3) 方法

各資料の木取りを観察した上で、剃刀を用いて横断面 (木口)、放射断面 (柀目)、接線断面 (板目) の 3 断面について徒手切片を直接採取する。切片をガム・クロラール (抱水クロラール、アラビアゴム粉末、グリセリン、蒸留水の混合液) で封入してプレパラートとする。プレパラートは、生物顕微鏡で木材組織の種類や配列を観察し、その特徴を現生標本および独立行政法人森林総合研究所の日本産木材識別データベースと比較して種類 (分類群) を同定する。

なお、木材組織の名称や特徴は、島地・伊東 (1982)、Wheeler 他 (1998)、Richter 他 (2006) を参考にする。また、日本産木材の組織配列は、林 (1991) や伊東 (1995, 1996, 1997, 1998, 1999) を参考にする。

(4) 結果

樹種同定結果を表 1 に示す。木製品、柱材、礎板は、針葉樹 3 分類群 (マツ属複維管束亜属、スギ、アスナロ属) と広葉樹 9 分類群 (カツラ、エノキ属、サクラ属、ブナ属、コナラ属コナラ節、クリ、ノリウツギ、トネリコ属シオジ節、ムラサキシキブ属) に同定された。各分類群の解剖学的特徴等を記す。

・マツ属複維管束亜属 *Pinus subgen. Diploxylon* マツ科

軸方向組織は仮道管と垂直樹脂道で構成される。仮道管の早材部から晩材部への移行は急~やや緩やかで、晩材部の幅は広い。垂直樹脂道は晩材部に認められる。放射組織は、仮道管、柔細胞、水平樹脂道、エビセリウム細胞で構成される。分野壁孔は窓状となる。放射仮道管内壁には鋸歯状の突起が認められる。放射組織は単列、1~15 細胞高。

・スギ *Cryptomeria japonica* (L. f.) D. Don ヒノキ科スギ属

軸方向組織は仮道管と樹脂細胞で構成される。仮道管の早材部から晩材部への移行はやや急で、晩材部の幅は比較的広い。樹脂細胞はほぼ晩材部に認められる。放射組織は柔細胞のみで構成される。分野壁孔はスギ型で、1 分野に 2~4 個。放射組織は単列、1~10 細胞高。

・アスナロ属 *Thujiopsis* ヒノキ科

軸方向組織は仮道管と樹脂細胞で構成される。仮道管の早材部から晩材部への移行は緩やかで、晩

材部の幅は狭い。樹脂細胞が晩材部付近に認められるが、数は少ない。放射組織は柔細胞のみで構成され、内壁には茶褐色の樹脂が顕著に認められる。分野壁孔はヒノキ型で、1分野に1~4個。放射組織は単列、1~0細胞高。

・カツラ *Cercidiphyllum japonicum* Sieb. et Zucc. カツラ科カツラ属

散孔材。道管はほぼ単独で散在し、年輪界に向かって道管径を漸減させる。道管の分布密度は高い。道管の穿孔板は階段穿孔板となる。放射組織は異性、1~2細胞幅、1~30細胞高。

・エノキ属 *Celtis* アサ科

環孔材。大型の道管が配列する孔圏部は1~3列、孔圏外でやや急激に道管径を減じたのち、塊状に複合し接線・斜方向に配列し、年輪界に向かって径を漸減させる。道管の穿孔板は単穿孔板、壁孔は交互状となる。小径の道管の内壁にはらせん肥厚が認められる。放射組織は異性、1~6細胞幅、1~50細胞高で精細胞が認められる。

・サクラ属 *Prunus*バラ科

散孔材。道管は単独または2~6個が複合して散在し、年輪界に向かって径を漸減させる。道管の穿孔板は単穿孔板、壁孔は交互状となる。道管の内壁にはらせん肥厚が認められる。放射組織は異性、1~3細胞幅、1~30細胞高。

いわゆる広義のサクラ属のうち、ヤマザクラを含む落葉性のサクラ属と考えられる。

・ブナ属 *Fagus* ブナ科

散孔材。道管は単独または2~3個が放射方向に複合して散在し、年輪界付近で径を減ずる。道管の穿孔板は単穿孔板および階段穿孔板、壁孔は対列状~階段状となる。放射組織はほぼ同性、単列、数細胞高のものから複合放射組織まである。

・コナラ属コナラ節 *Quercus* sect. *Prinus* ブナ科

環孔材。大型の道管が配列する孔圏部は1~2列、孔圏外で急激に道管径を減じたのち、多数が集まって火炎状に配列し、年輪会に向かって径を漸減させる。道管の穿孔板は単穿孔板、壁孔は交互状となる。放射組織は同性、単列、1~20細胞高のものと同複合放射組織とがある。

・クリ *Castanea crenata* Sieb. et Zucc. ブナ科クリ属

環孔材。大型の道管が配列する孔圏部は3~4列、孔圏外でやや急激に道管径を減じたのち、小径の道管が集まって火炎状に配列し、年輪界に向かって径を漸減させる。道管の穿孔板は単穿孔板、壁孔は交互状となる。放射組織は同性、単列、1~15細胞高。

・トネリコ属シオジ節 *Fraxinus* sect. *Fraxinaster* モクセイ科

環孔材。大型の道管が配列する孔圏部は1~2列、孔圏外で急激に道管径を減じたのち、厚壁の道管が単独または2個が放射方向に複合して配列し、年輪界に向かって径を漸減させる。道管の穿孔板は単穿孔板、壁孔は交互状となる。放射組織は同性、1~2細胞幅、1~20細胞高。

・ノリウツギ *Heteromalla paniculata* (Siebold) H. Ohba et S. アジサイ科ノリウツギ属

試料が芯持丸木であり、柾目面の切片が作成できなかった。散孔材。道管は小径で単独または2~3個が複合して散在する。道管の穿孔板は階段穿孔板、壁孔は階段状となる。放射組織は異性、1~3細胞幅、1~30細胞高で、時に上下に連結する。

・ムラサキシキブ属 *Callicarpa* クマツヅラ科

散孔材。道管は単独または2~3個が放射方向に複合して散在する。道管の穿孔板は単穿孔板、壁孔は交互状となる。放射組織は異性、1~3細胞幅、1~30細胞高。

表1 樹種同定結果

番号	新番号	遺構名1 (建物名など)	遺構名2 (柱穴)	層位	種類	鑑定時期	水取り	樹種
81	木 15	SB03	PPC300	埋上	下駄の一部か	平安時代	板目	サクラ属
82	木 18	SDC6		埋上	桶板か	戦国時代末	込板	クリ
83	木 19	-	PPC198	埋上	割物	戦国時代末	積本地版目取	クリ
84	木 27	-	PPB121	埋上	桶板か	戦国時代末	板目	スギ
85	木 28	SB02	PPD140		桶板或る蓋板	平安時代	板目	エノキ属
86	木 29	SD02		埋上	器具柄の一部か	戦国時代末	志去削出	ブナ属
87	柱 18	SB03	PPD101		柱材 (底部平組)	平安時代	志持丸木	クリ
88	柱 24	SBE10	PPD125		柱材 (底部平組)	平安時代	志持丸木	クリ
89	柱 30	SB02	PPD141		覆板	平安時代	板目	トネリコ属シオジ節
90	柱 33	SB02	PPD141		柱材	平安時代	板目	クリ
91	柱 34	SBE11	PPD127		枕木	平安時代	半截状	クリ
92	柱 36	SBE10	PPD126		柱材 (底部平組)	平安時代	志持丸木	クリ
93	柱 37	SBE10	PPD123		柱材 (底部平組)	平安時代	志持丸木	クリ
94	柱 38	-	PPC108		柱材 (先端部加工)	戦国時代末	志持丸木	コナク属コナラ節
95	柱 42	SBE10	PPD129		柱材 (底部平組)	平安時代	志持丸木	クリ
96	-	-	PPC1010	埋上下位	板状	戦国時代末	板目	アスノコ属
97	SB03	PPC319		埋上	伏り板のある板材	平安時代	板目	コナク属コナラ節
98	SBE1	PPH413		埋上	板状	平安時代	板目	スギ
99	SDC4			埋上	板状	戦国時代末	板目	カワラ
100	SKC2			埋上上位	板状本製品か	平安時代	分節板状	ワツ属椴科管束車属
101	SD02			埋上	板状	戦国時代末	板目	クリ
102				臺上下層上面	板状	戦国時代末	板目	ワツ属椴科管束車属
103	SBE1	PPH283		埋上	板状	平安時代	板目	スギ
104	SK08			埋上	板状	戦国時代末	板目	アスノコ属
105	SD02			埋上	薄い板状	戦国時代末	板目	スギ
106	SD02			埋上下位	板状	戦国時代末	板目	コナク属コナラ節
107	SD02			埋上下位	板状	戦国時代末	板目	クリ
108	SD02			埋上	板状	戦国時代末	板目	クリ
109	SD02			埋上下位	板状	戦国時代末	板目	クリ
110	SD02			埋上下位	板状	戦国時代末	板目	クリ
111	SD02			前面	板状	戦国時代末	板目	コナク属コナラ節
112	SBE1	PPH294		前面	覆板	平安時代	板目	クリ
113	SBE1	PPH413		埋上	建築部材か	平安時代	板目	エノキ属
114	SBE1	PPH294		前面	覆板	平安時代	板目	クリ
115	SBE1	PPH294		前面	覆板	平安時代	板目	クリ
116	SBE1	PPH413		埋上中位	藩材か	平安時代	板目	エノキ属
117	SBE4	PPH420		前面	覆板	平安時代	ミカン割状	クリ
118	SBE11	PPC334		前面	覆板	平安時代	志去削材	クリ
119	SBE11	PPC491		前面	覆板	平安時代	板目	クリ
120	SB02	PPC314		埋上中位	覆板	平安時代	板目	クリ
121	SB07	PPC846		前面	覆板	平安時代	板目	トネリコ属シオジ節
122	SBE1	PPH236		埋上中位	藩材か	平安時代	板目	クリ
123	SB07	PPC846		前面	藩材か	平安時代	板目	トネリコ属シオジ節
124	SB07	PPC846		前面	藩材か	平安時代	板目	トネリコ属シオジ節
125	SBE4	PPH333		前面	覆板	平安時代	板目	クリ
126	SBE4	PPH429		前面	覆板	平安時代	板目	クリ
127	SBE11	PPC478		前面	枕木	平安時代	半截状	クリ
128	SBE11	PPC478		前面	枕木	平安時代	半截状	クリ
129	SB07	PPC861		前面	枕木	平安時代	板目	トネリコ属シオジ節
130	SBE10	PPH279		埋上中位	枕木	平安時代	半截状	クリ
131	SBE8	PPH207		前面	覆板	平安時代	板目	クリ
132	SBE1	PPH294		前面	枕木	平安時代	板目	クリ
133	SBE1	PPH337		埋上下位	藩材か	平安時代	板目	クリ
134	SBE3	PPH381		前面	覆板	平安時代	板目	クリ
135	SBE11	PPH277		前面	覆板	平安時代	ミカン割状	クリ
136	SBE9	PPH200		前面	枕木	平安時代	板目	クリ
137	SBE11	PPH277		前面	覆板	平安時代	板目	クリ
138	SDC4			埋上下位	漆器柄	戦国時代末	積本地版目取	ブナ属
139	-	PPH236		前面	枕材	室町時代	志持丸木	ムクウキシキブ属
140	SD02			埋上	枕材	戦国時代末	志持丸木	トネリコ属

(5) 考 察

(1) 確認された分類群の材質等

木製品には、合計 12 分類群が確認された。各分類群の材質等について見ると、針葉樹のマツ属複維管束重属は、本州ではアカマツカクロマツである。クロマツは海岸砂丘など、アカマツは二次林等に生育する常緑高木である。遺跡の立地を考慮すると、アカマツの可能性が高い。マツ属複維管束重属の木材は、強度や保存性が比較的高い。スギは、谷筋等の適湿地に生育する常緑高木である。木材は木理が直で割裂性と耐水性が比較的高い。アスナロ属は山地・丘陵地を中心に生育する常緑高木である。木材は割裂性と耐水性が高い。広葉樹のブナ属は、山地・丘陵地に生育する落葉高木である。木材は比較的重硬な部類に入るが、保存性は低い。カツラ、エノキ属、ノリウツギ、シオジ節、トネリコ属は河畔や溪畔等に生育する落葉低木～高木である。ノリウツギ、シオジ節、トネリコ属の木材は重硬で強度が高い。エノキ属も比較的重硬な部類に入る。一方、カツラは軽軟で強度と保存性は低い。サクラ属、コナラ節、クリ、ムラサキシキブ属は二次林等に生育する落葉低木～高木である。木材はいずれも重硬で強度が高い。

木製品の時期は、平安時代、室町時代、戦国時代末に分けられる。伊東・山田 (2012) の木器分類を参考にすると、平安時代の木製品は服飾具 (下駄の一部か)、容器 (桶底 or 蓋)、建築部材 (柱材、礎板、建築部材か)、土木材 (枕木)、施設材・器具材 (板状品)、室町時代の木製品は土木材 (杭)、戦国時代末の木製品は農耕土木具 (農具柄か)、容器 (漆器椀、刳物、桶側板)、建築部材 (柱材)、土木材 (杭)、施設材・器具材 (板状品) に分類される。

(2) 平安時代の用材選択

平安時代の木製品の器種別種類構成を表 2 に示す。

資料 40 点のうち、針葉樹は 2 分類群 3 点のみであり、多くの資料を広葉樹が占める。器種別にみると、容器の桶底板 or 蓋板 (試料番号 85) は、柾目の板材で一方の端部が弧を描くように加工さ

表 2 平安時代の器種別種類構成

分類群\器種	服飾具		容器		建築部材			土木	施設	合計
	下駄	敷	桶底・蓋	柱材	礎板	建築部材か	礎材か			
針葉樹	マツ属複維管束重属								1	1
	スギ								2	2
	エノキ属		1			1	1			3
広葉樹	サクラ属	1								1
	コナラ属コナラ節								1	1
	クリ			6	13		2	6		27
	トネリコ属シオジ節				2		2	1		5
合 計	1	1	6	15	1	5	7	4	40	

れている。広葉樹のエノキ属に同定され、比較的重硬な木材が利用されている。伊東・山田 (2012) のデータベースによれば、岩手県内では、同様の資料に分割加工が容易な針葉樹のスギやアスナロ属の利用が多く、広葉樹の利用は珍しい事例といえる。なお、県内で桶の底板や蓋板に広葉樹が確認された例は認められないが、似たような形状を持つ曲物の底板や蓋板では、柳之御所跡 (奥州市) から出土した鎌倉時代の資料にケヤキが確認された例、泉屋遺跡から出土した平安時代の資料にケヤキ、同鎌倉時代の資料にクリやトチノキが確認された例がある。

服飾具の下駄の一部かとされる資料は、角を曲線状に加工された板状の破片であり、下駄とすれば台表が板目となることが推定される。サクラ属に同定され、重硬で緻密な木材を選択したことが推定される。伊東・山田 (2012) のデータベースによれば、岩手県内の古代とされる下駄では、落合Ⅱ遺跡でケヤキ、下谷地 B 遺跡でクリとスギが確認されている。重硬なケヤキやクリが認められた一方で、割裂性が高いスギも確認されており、利用される木材の材質には幅がある。今回の結果からサクラ属も利用された可能性がある。

建築部材には柱材、礎板、端材か、建築部材かがある。柱材は、板状を呈する1点(試料番号90)を除く5点が底面を平坦にした資料である。板状を呈する資料は柾目状、他は芯持丸木となる。礎板は、柾目状、板目状、ミカン割状、芯去角材が混在する。礎板には柱材からの転用材が多く含まれている。柱材は全てクリに同定され、礎板も15点中13点がクリであり、他にはトネリコ属が2点認められる。この結果から、柱材として強度が高く腐りにくいクリが多く利用されたことが推定される。トネリコ属も強度が高い点はクリと同様である。柱材にクリが多く利用される結果、本遺跡のこれまでの分析調査とも整合的である。また、伊東・山田(2012)のデータベースによれば、平安時代の柱材は、徳丹城跡や胆沢城跡で樹種同定が実施されている。胆沢城跡は1点がクリ、徳丹城跡は25点中23点がクリで、他にはケヤキと針葉樹が各1点である。クリの多い結果は、本遺跡の結果とも整合的である。一方、建築部材かとされる資料(試料番号113)は、柾目状を呈する資料であり、エノキ属に同定された。端材かは、板目や柾目の板状を呈する資料であり、端部が斜めに切られている資料や、穴あるいは段差と考えられる加工が認められる資料等がある。また、試料番号133には節あるいはウロのような部分の一部と考えられる痕跡が認められる。エノキ属、クリ、シオジ節を含むトネリコ属が認められ、3種類が混在する。いずれも柱材や礎板に認められた種類であり、これらの種類が柱材以外の部位にも利用された可能性がある。

土木材の枕木は、半裁状あるいは板目状を呈する。端部の木口面に炭化の痕跡が認められる資料があり、柱材の転用材が含まれていることが推定される。7点中6点をクリが占めており、他にシオジ節が1点認められる。この結果は、柱材や礎板の樹種同定結果とも整合的である。

施設材・器具材の板状品は、柾目状や棒状を呈する資料がある。4点中2点がスギであり、他にマツ属複雑管束亜属とコナラ節が各1点である。樹種(材質)の違いは用途や部位の違いに由来する可能性がある。

(3)室町時代・戦国時代末の用材選択

室町時代および戦国時代末の時期別・器種別の種類構成を表3に示す。

20点の資料に9分類群が認められた。このうち、針葉樹が3分類群5点、広葉樹が6分類群15点となる。平安時代の資料と比較すると、針葉樹の利用が増えているようにみえる。

室町時代の資料は杭1点であり、ムラサキシキブ属に同定された。小径の低木であり、周辺に生育していた樹木を杭として利用したことが推定される。

戦国時代末の資料をみると、農耕土木具の農具柄かとは断面楕円形を呈する削出の棒材の端部と考えられる。棒の長軸方向に対して、木繊維が斜めに入るのが特徴である。棒材の全体で木繊維が斜めに入るような状況は考えにくいことから、本来は長軸方向に木繊維の軸方向が伸びており、端部で「く」の字状に曲がるように削り出された棒材の可能性がある。コナラ節に同定されたことから、強度を要する器種であったことが推定される。

容器の漆器碗は、碗の底部が板目になる横木地板目取であり、外面が黒漆塗り、内面が赤漆塗りとなる。ブナ属に同定され、加工性の高い木材が利用されたことが推定される。ブナ属は、漆器碗・皿の本地として、トチノキと共に多く利用されており、岩手県内でも一戸城跡や花巻城跡からブナ属の

表3 室町時代・戦国時代末の時代別・器種別種類構成

分類群・時代・器種	室町		戦国時代末					合計	
	土木 板材	器種 柄?	行燈 漆器機	行燈 柄物	建築 端材	土木 板材	施設 板状		
針葉樹	マツ属粗管束亜属				1		1	1	
	スギ						2	2	
	アスナロ属						2	2	
	カツラ						1	1	
広葉樹	ブナ属	1	1					2	
	コナラ属コナラ節					1		2	
	クリ			1	1			5	
	ノリウツギ						1	1	
	ムラサキシキブ属	1						1	
合計	1	1	1	1	2	1	1	12	20

椀が報告されている(伊東・山田,2012)。刳物は、底面が板目となる木取りであり、クリに同定された。伊東・山田(2012)のデータベースでは、岩手県内で同時期の刳物容器について樹種同定を実施した例は掲載されていない。近い時期では、泉屋遺跡の近世とされる鉢がトチノキに同定されている。今回の結果から、クリも刳物容器の素材として利用されたことが推定される。桶側板かとされる資料(試料番号82)は、追柁状を呈する板材で、一方の端部に向かって厚みが薄くなる。クリに同定され、強度や他育成の高い木材を利用したことが推定される。泉屋遺跡や花巻城跡で出土した中世～近世の桶側板はその大部分がスギであり、残る資料もヒノキ属に同定されており、広葉樹の利用は認められない。クリは針葉樹材に比べて重いことから、針葉樹の桶とは用途が異なる可能性もある。

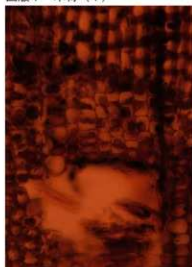
建築部材は、柱材1点(試料番号94)である。先端加工が施された芯持丸木であり、コナラ節に同定された。コナラ節は、強度が高い点ではクリと同様の利用と考えられるが、鎌倉時代の柱材には認められておらず、鎌倉時代と戦国時代とで柱材の用材選択や加工が異なる可能性がある。一方、試料番号94は、鎌倉時代の柱材に比べて小径であることから、径の違いが用材選択に影響している可能性もある。

土木材の杭は先端部だけの資料であり、加工状況から小径の芯持丸木が利用されたと考えられる。ノリウツギに同定され、室町時代の杭と同様に周辺に生育していた樹木を利用したことが推定される。施設材・器具材の板状品は、12点中11点が柾目を呈するが、板目の資料も1点認められる。板状品はクリが多いが、針葉樹のマツ属複雑管束亜属、スギ、アスナロ属、広葉樹のカツラ、コナラ節も認められ、様々な材質の樹種が混在する。樹種・材質の違いは、器種や部位の違いを反映している可能性がある。

引用文献

- 林 昭三,1991,日本産木材 顕微鏡写真集,京都大学木質科学研究所。
- 伊東隆夫,1995,日本産広葉樹材の解剖学的記載Ⅰ,木材研究・資料,31,京都大学木質科学研究所,81-181。
- 伊東隆夫,1996,日本産広葉樹材の解剖学的記載Ⅱ,木材研究・資料,32,京都大学木質科学研究所,66-176。
- 伊東隆夫,1997,日本産広葉樹材の解剖学的記載Ⅲ,木材研究・資料,33,京都大学木質科学研究所,83-201。
- 伊東隆夫,1998,日本産広葉樹材の解剖学的記載Ⅳ,木材研究・資料,34,京都大学木質科学研究所,30-166。
- 伊東隆夫,1999,日本産広葉樹材の解剖学的記載Ⅴ,木材研究・資料,35,京都大学木質科学研究所,47-216。
- 伊東隆夫・山田昌久(編),2012,木の考古学 出土木製品用材データベース,海青社,444p。
- Richter H.G,Grosser D,Heinz I and Gasson P.E.(編),2006,針葉樹材の識別 IAWAによる光学顕微鏡的特徴リスト,伊東隆夫・藤井智之・佐野雄三・安部 久・内海泰弘(日本語版監修),海青社,70p。[Richter H.G,Grosser D,Heinz I and Gasson P.E.(2004) *IWA List of Microscopic Features for Softwood Identification*].
- 島地 謙・伊東隆夫,1982,国説木材組織,地球社,176p。
- Wheeler E.A,Bass P, and Gasson P.E.(編),1998,広葉樹材の識別 IAWAによる光学顕微鏡的特徴リスト,伊東隆夫・藤井智之・佐伯 浩(日本語版監修),海青社,122p。[Wheeler E.A,Bass P, and Gasson P.E.(1989) *IWA List of Microscopic Features for Hardwood Identification*].

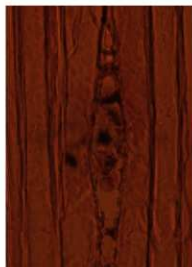
図版1 木材 (1)



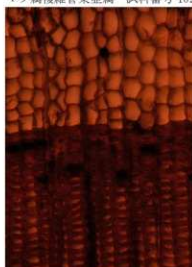
横断面 0.1 mm
マツ属複維管束亜属 試料番号 102



放射断面 0.1 mm



接線断面 0.1 mm



横断面 0.1 mm
スギ 試料番号 98



放射断面 0.1 mm



接線断面 0.1 mm



横断面 0.1 mm
アスナロ属 試料番号 96

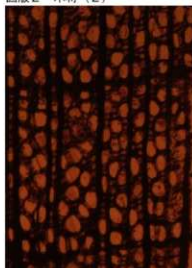


放射断面 0.1 mm



接線断面 0.1 mm

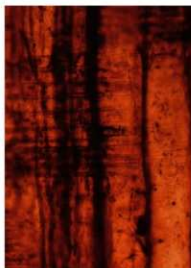
図版2 木材(2)



横断面

カツラ 試料番号 99

0.1 mm



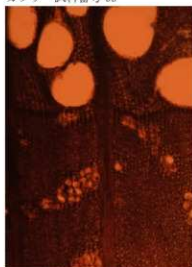
放射断面

0.1 mm



接線断面

0.1 mm



横断面

エノキ属 試料番号 113

0.1 mm



放射断面

0.1 mm



接線断面

0.1 mm



横断面

サクラ属 試料番号 81

0.1 mm



放射断面

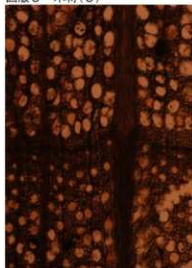
0.1 mm



接線断面

0.1 mm

図版3 木材(3)



横断面
ブナ属 試料番号 86



放射断面



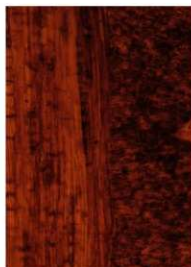
接線断面



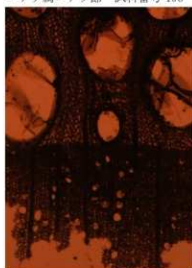
横断面
コナラ属コナラ節 試料番号 106



放射断面



接線断面



横断面
クリ 試料番号 135



放射断面

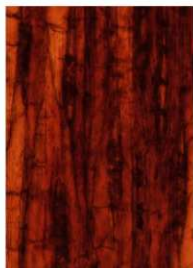


接線断面

図版4 木材(4)



横断面 0.1 mm
ノリウツギ 試料番号 140



接線断面 0.1 mm



横断面 0.1 mm
トネリコ属シオジ節 試料番号 89



放射断面 0.1 mm



接線断面 0.1 mm



横断面 0.1 mm
ムラサキシキブ属 試料番号 139



放射断面 0.1 mm



接線断面 0.1 mm

中林下遺跡の木材写真説明 (参考)

図版・写真番号	分類群	試料番号	断面	対物レンズ倍率
1-1a	マツ属複雑管束亜属	102	横断面	4
1-1b	マツ属複雑管束亜属	102	放射断面	10
1-1c	マツ属複雑管束亜属	102	接線断面	10
1-2a	スギ	98	横断面	4
1-2b	スギ	98	放射断面	10
1-2c	スギ	98	接線断面	10
1-3a	アスナロ属	96	横断面	4
1-3b	アスナロ属	96	放射断面	10
1-3c	アスナロ属	96	接線断面	10
2-4a	カツラ	99	横断面	4
2-4b	カツラ	99	放射断面	10
2-4c	カツラ	99	接線断面	10
2-5a	エノキ属	113	横断面	4
2-5b	エノキ属	113	放射断面	10
2-5c	エノキ属	113	接線断面	10
2-6a	サクラ属	81	横断面	4
2-6b	サクラ属	81	放射断面	10
2-6c	サクラ属	81	接線断面	10
3-7a	ブナ属	86	横断面	4
3-7b	ブナ属	86	放射断面	10
3-7c	ブナ属	86	接線断面	10
3-8a	コナラ属コナラ節	106	横断面	4
3-8b	コナラ属コナラ節	106	放射断面	10
3-8c	コナラ属コナラ節	106	接線断面	10
3-9a	クワ	135	横断面	4
3-9b	クワ	135	放射断面	10
3-9c	クワ	135	接線断面	10
4-10a	ノリウツギ	140	横断面	4
4-10c	ノリウツギ	140	接線断面	10
4-11a	トネリコ属シオジ節	89	横断面	4
4-11b	トネリコ属シオジ節	89	放射断面	10
4-11c	トネリコ属シオジ節	89	接線断面	10
4-12a	ムラサキシキブ属	139	横断面	4
4-12b	ムラサキシキブ属	139	放射断面	10
4-12c	ムラサキシキブ属	139	接線断面	10

6 樹種同定分析 (3)

吉川純子(古代の森研究舎)

(1) はじめに

中林下遺跡は奥州市水沢真城地区の大深沢川東縁の小扇状地に立地する遺跡である。令和3年度までの調査では平安時代の建物跡30棟のほか池状遺構など、9世紀の公的性格を持った集落跡が確認されており、戦国時代末は建物跡複数棟のほか堀、溝、池状遺構など16世紀末頃の在地小領主の居館とみられる遺構が確認されている。これらの遺構からは土師器や陶磁器などとともに多数の木製品や建築部材が検出されたことから、当時の木製品や建築材などにおける木材利用状況を調査する目的で樹種同定をおこなった。同定に充てた木製品は平安時代48試料、戦国時代32試料、計80試料である。

試料からは剃刀で横断面、放射断面、接線断面の3方向の切片を採取し、ガムクロラールでプレパラートを作成して生物顕微鏡で観察、同定を行った。

(2) 同定結果

全試料の同定結果を表1に示す。同定された分類群は針葉樹が3、広葉樹が10、イネ科が1の計14分類群であった。以下に同定の根拠となる出土木材の細胞構造学的記載をおこなう。

スギ(*Cryptomeria japonica* (Linn. Fil.) D. Don): 早材から晩材への移行は急で晩材部が厚い。分野壁孔はスギ型で横に長い楕円形となり、1分野に2~3個ある。

サワラ(*Chamaecyparis pisifera* (Sieb. et Zucc.) Endl.): ヒノキに似る針葉樹で、早材部から晩材部への移行は緩やかで晩材部が少なく、年輪後半に樹脂細胞が散在する。放射柔細胞の分野壁孔はヒノキ~スギ型でやや大きく、孔口が斜めに開き1分野に2~3個存在する。

針葉樹: 針葉樹の細胞構造を持つが菌類などに壁が分解され分野壁孔等構造が確認できない。樹脂道が無く樹脂細胞があることからヒノキ科の可能性はある。

ナナカマド属(*Sorbus*): 中程度の道管が単独ないし数個不規則に複合して散在する散孔材で道管は単穿孔、内壁にらせん肥厚がある。放射組織は同性で1~2細胞幅である。

サクラ属(*Cerasus*): 中程度の道管が単独ないし数個不規則に複合して年輪内に散在する散孔材で道管は単穿孔で内壁にらせん肥厚がある。放射組織は平伏と方形細胞からなるが大きくあまり変わらず、1~5細胞幅程度。

ニレ属(*Ulmus*): 年輪初めに極めて大きい道管が1,2列並び、その後径が急減して小径管が多数集まって接線状、斜線状に配列する環孔材で、道管は単穿孔、小径管内壁にらせん肥厚がある。放射組織は同性で1~6細胞幅程度。

ケヤキ(*Zelkova serrata* Makino): 年輪初めに極めて大きい道管が1,2列並び、その後径が急減して小径管が多数集まって接線状、斜線状に配列する環孔材で、道管は単穿孔、小径管内壁にらせん肥厚がある。放射組織は異性で1~6細胞幅程度、放射組織縁辺に大型の結晶細胞が目立つ。

クリ(*Castanea crenata* Sieb. et Zucc.): 大きい道管が2,3列配列し径が急減して火炎状に配列する環孔材で、道管は単穿孔。放射組織は同性で単列または2列である。

コナラ属コナラ節(*Quercus* sect. *Prinus*): 大きい道管が2,3列配列し径が急減して波状に配列する環孔材で、道管は単穿孔。放射組織は同性で単列と広放射組織がある。

表 1-1 中林下遺跡出土木製品の樹種一覧表 (1)

番号	撮影番号	遺構名1	遺構名2	出土地点	層位	種類	推定時期	樹種
1	H1	SXC2		QNW	埋土上位	農具柄の一部小 楕円柱状	平安時代	ケヤキ
2	H3	SDB2		断面ベルト東側	底面	板状で端部に加工痕あり	戦国時代末	サワウ
3	H4	SBE1	PPE736		埋土下位	木鏝	平安時代	クリ
4	H5	SDD2		IB8p	埋土黒色土	楕圓板小	戦国時代末	クリ
5	H11	SKE8		樹皮など	埋土	曲物楕圓板	戦国時代末	サワウ
6	H12	SKE8			埋土中位	曲物楕圓板	戦国時代末	サワウ
7	H14	SDD2		IB8p	埋土	楕圓板小	戦国時代末	コナラ属コナラ節
8	H15	SDD2		IB8p	埋土黒色土	楕圓板小	戦国時代末	コナラ属コナラ節
9	H19	SKE8		樹皮など	埋土	曲物楕圓板	戦国時代末	スギ
10	H20	SBE1	PPE383		埋土	楕圓板小	平安時代	針葉樹
11	H22	SDD2		西側西端 (IB7j) 下敷3	埋土下位	透膚下駄	戦国時代末	ナナカマド属
12	H24	SDD2		IB8p	埋土	木鏝	戦国時代末	コナラ属コナラ節
13	H25	SDD2		IB7k	埋土	木製品 (透膚下駄か) の一部	戦国時代末	クリ
14	H26	SDD2		西側西端 (IB7k)	埋土下位	木鏝	戦国時代末	コナラ属コナラ節
15	H30			IB88 (SXC2検出面含む)	遺土下層上面 (遺土中)	栓	戦国時代末	針葉樹
16	H32	SDD2		IB7i 板状1	埋土上位	木製品の一部小 板状	戦国時代末	サワグルミ
17	H33	SXE4		QSE	埋土上位黒色土中	曲物蓋	戦国時代末	針葉樹
18	H34	SDD2		IB7i 棒状木製品2	底面	木鏝	戦国時代末	クリ
19	H35	SDD2		IB7i 棒状木製品3	底面	木鏝	戦国時代末	クリ
20	H38	SDD2		IB7m 断面C ベルト	埋土下位	木製品の一部小 板状	戦国時代末	スギ
21	H39	SDD2		IB7i	埋土下位	透膚下駄	戦国時代末	ナナカマド属
22	H40	SDD2		IB8p 下敷1	埋土中～下位	透膚下駄	戦国時代末	クリ
23	H41	SDD2		IB8p 下敷2	埋土中～下位	透膚下駄	戦国時代末	トネリコ属
24	H42	SDD2		IB8h	埋土中位	竹製品の一部 (蓋小)	戦国時代末	タケ類科
25	H43	SDD2		IB8p 断面B ベルト	埋土中位	木鏝	戦国時代末	カエデ属
26	H44	SDD2		IB7i 板状3	埋土下位	木製品の一部小 板状	戦国時代末	クリ
27	H54	SBE1	PPE393	礎板1	底面	礎板	平安時代	クリ
28	H57	SBE11	PPC534	礎板1	底面	礎板	平安時代	クリ
29	H61	SBC3	PPC525	礎板2	底面	礎板	平安時代	クリ
30	H62	SBC3	PPC525	礎板1	底面	礎板	平安時代	クリ
31	H72	SBE4	PPE429	礎板2 (下側)	底面	枕木	平安時代	クリ
32	H75	SBE1	PPE396	礎板2	底面	礎板	平安時代	クリ
33	H79	SDE7		柱頭部分に重載する溝	埋土	楕圓板	戦国時代末	サワウ
34	H81	SBE1	PPE386	礎板1	底面	礎板	平安時代	クリ
35	H87	SBE10	PPC491	礎板1	底面	枕木	平安時代	クリ
36	H88	SBE1	PPE412		埋土中位	曲物蓋	平安時代	スギ
37	H89	SDD2		IB8p 棒状木製品1	埋土中位	木鏝	戦国時代末	コナラ属コナラ節
38	H90	SBE1	PPE398	材3	埋土中～下位	部材 (支脚小)	平安時代	ニレ属
39	H91	SBE1	PPE398	材3	埋土中～下位	部材 (支脚小)	平安時代	クリ
40	H92	SDC4		IB7m	埋土下位	漆器塊	戦国時代末	ブナ属

表1-2 中林下遺跡出土木製品の樹種一覧表(2)

番号	撮影番号	遺構名1	遺構名2	出土地点	層位	種類	年代時期	樹種
41	H93	SDC 4		Ⅱ B7m	埋土下段	曲物底板	戦国時代末	スギ
42	H94	SDD 2		西側(Ⅱ B7)	埋土	木床	戦国時代末	コナラ属コナラ節
43	H95	SDD 2		西側(Ⅱ B7)	埋土	木床	戦国時代末	コナラ属コナラ節
44	H96	SBE11	PPC481		埋土	曲物側板小	平安時代	針葉樹
45	H97	SDC 7		断面 B 付近	埋土	鹿か	戦国時代末	針葉樹
46	H137	SBC 6	PPC800		底面	柱材	平安時代	タリ
47	H138	SBE11	PPC489		埋土上~中位	柱材	平安時代	タリ
48	H147	SBC 5	PPC474		底面	柱材	平安時代	タリ
49	H148	SBC 5	PPC337		底面	柱材	平安時代	サクラ属
50	H152	SBE10	PPF731		底面	柱材	平安時代	タリ
51	H153	SBE 9	PPF699		底面	柱材	平安時代	タリ
52	H154	SBE 6	PPF742		底面	柱材	平安時代	タリ
53	H156	SBC15	PPD86		底面	柱材	戦国時代末	タリ
54	H162	SBE 6	PPF741		埋土	柱材小	平安時代	タリ
55	H163	SBE 9	PPF703		底面	柱材	平安時代	タリ
56	H166	SBE 6	PPF759		底面	柱材	平安時代	タリ
57	H167	SBE 6	PPF739		底面	柱材小	平安時代	タリ
58	H80	SBE 3	PPF381		底面	礎板	平安時代	タリ
59		SBE 4	PPF422		底面	柱材	平安時代	タリ
60		SBE10	PPF733		底面	柱材	平安時代	タリ
61		SBE11	PPC534		底面	柱材	平安時代	コナラ属コナラ節
62		SBE 6	PPF775		底面	柱材	平安時代	タリ
63		SBE 2	PPF375		底面	柱材	平安時代	タリ
64		SBC15	PPC631		底面	柱材	戦国時代末	トネリコ属
65		SBE 6	PPF740		底面	柱材	平安時代	タリ
66		SBE 2	PPF377		底面	柱材	平安時代	タリ
67		SBE 4	PPF431		底面	柱材	平安時代	タリ
68		SBE10	PPC483		底面	柱材	平安時代	タリ
69		SBC 4	PPC542		底面	柱材	平安時代	タリ
70		SBC 4	PPC539		底面	柱材	平安時代	タリ
71		SBE10	PPC491		底面	柱材	平安時代	タリ
72		SBC 4	PPC543		底面	柱材	平安時代	タリ
73		SBC 6	PPC771		底面	柱材	平安時代	タリ
74		SBE 1	PPF361		底面	柱材	平安時代	タリ
75		SBE 1	PPF737		底面	柱材	平安時代	タリ
76		SBE10	PPF732		底面	柱材	平安時代	タリ
77		SBE10	PPF486		底面	柱材	平安時代	タリ
78		SBE11	PPC479		底面	柱材	平安時代	タリ
79		SBE 9	PPC489		底面	柱材	平安時代	タリ
80		SBE 9	PPF701		底面	柱材	平安時代	タリ

ブナ属 (*Fagus*): 中程度の管孔が年輪内にやや密に散在する散孔材で、晩材部で管孔の径が小さくなり年輪界は明瞭である。道管は単穿孔と階段穿孔がある。一定の幅をもって太い放射組織が入り、年輪界が外側に引きずられる傾向にある。放射組織はほとんどが平伏細胞だが上下縁に方形細胞が出現することがあり、単列と2, 3細胞幅と20細胞以上の広放射組織がある。

サワグルミ (*Pterocarya rhoifolia* Sieb. et Zucc.): やや大きな道管が散在し、軸方向柔細胞が接線状に網状につながる散孔材で道管の穿孔板は単一である。放射組織は同性で1-2細胞幅である。

カエデ属 (*Acer*): 中程度の道管が年輪内にはほぼ均一に分布する散孔材で、道管内壁にはらせん肥厚がある。放射組織は平伏細胞のみからなる同性で幅は1-4細胞幅。

トネリコ属 (*Fraxinus*): 大きい道管が2, 3列配列し徐々に径を減じて小道管が単独ないし2, 3個複合しながら散在する環孔材で、軸方向柔細胞は周囲状およびターミナル状となり、晩材部では異状となる。道管は単穿孔で小道管の壁が厚い。放射組織は同性で1-2細胞幅である。

イネ科タケ亜科 (*Bambusoideae*): 表面が平滑な厚みがある程で、横断面で泡状の柔細胞の中にひし形にまとまった維管束が散在する。

(3) 同定結果からみた木材利用状況

a. 平安時代 平安時代の木製品別利用樹種を表2にまとめた。平安時代ではクリ、コナラ属コナラ節、スギ、針葉樹、ケヤキ、ニレ属、サクラ属の計7分類群を確認した。樹種別集計ではクリが圧倒的に多く85%を占めるが、これは同定対象試料のほとんどが建築材のためである。クリに次いでスギを含む針葉樹が多く利用されている。建築材は43点中40点でクリが使われており、クリの優先的利用が顕著であった。クリの他にはコナラ節、ニレ属、サクラ属が1点ずつ利用されていた。容器3点では曲物や桶などですべてスギを含む針葉樹が使われていた。道具類2点では木槌はクリ、柄はケヤキでいずれも広葉樹が使われていた。

岩手県の平安時代の建築材利用樹種はコナラ節を含むコナラ亜属が22%、次いでクリが13%程度であり(伊東ほか2012)建築材の樹種は比較的多様であるが、本遺跡は公的施設群の可能性があり、主要な建物に耐久性があるクリを意図的に選択して利用したと考えられる。

表2 平安時代出土木製品の利用樹種

	桶	曲物	木槌	農具柄	礎板	柱木	柱材	支脚	樹種計
クリ	-	-	1	-	7	2	30	1	41
コナラ属コナラ節	-	-	-	-	-	-	1	-	1
スギ	-	1	-	-	-	-	-	-	1
針葉樹	1	1	-	-	-	-	-	-	2
ケヤキ	-	-	-	1	-	-	-	-	1
ニレ属	-	-	-	-	-	-	-	1	1
サクラ属	-	-	-	-	-	-	1	-	1
器種計	1	2	1	1	7	2	32	2	48

b. 戦国時代 戦国時代の木製品別利用樹種を表3にまとめた。戦国時代はクリ、コナラ属コナラ節、サワラ、針葉樹、スギ、ナナカマド属、トネリコ属、ブナ属、サワグルミ、カエデ属、タケ亜科の計11分類群を確認した。最も多く確認されたのは全体の22%を占めたクリとコナラ属コナラ節で、桶、木槌と下駄などの生活用品に多く利用されていた。サワラとスギを含む針葉樹は全体の31%でサワラとスギが曲物や板などに利用されていた。ナナカマド属2点は下駄であった。多様な器種を同定に充てたことにより多様な樹種が少数ずつ確認されたと考えられる。

表3 戦国時代出土木製品の利用樹種

	桶	籠	虫物	漆碗	栓	下駄	木鐺	篋	板状木製品	柱材	樹種計
クリ	1	-	-	-	-	2	2	-	1	1	7
コナラ属コナラ節	2	-	-	-	-	-	5	-	-	-	7
サワラ	1	-	2	-	-	-	-	-	1	-	4
針葉樹	-	-	1	-	1	-	-	1	-	-	3
スギ	-	-	2	-	-	-	-	-	1	-	3
ナナカマド属	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	2
トネリコ属	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1	2
ブナ属	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	1
サワグルミ	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1
カエデ属	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1
タケ亜科	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	1
器種計	4	1	5	1	1	5	8	1	4	2	32

引用文献

伊東隆夫・山田昌久、2012。木の考古学 出土木製品用材データベース、海青社。

7 樹種同定分析 (4)

(株) 吉田生物研究所

(1) 試 料

試料は岩手県中林下遺跡から出土した木製品 20 点である。

(2) 観 察 方 法

剃刀で木口(横断面)、柾目(放射断面)、板目(接線断面)の各切片を採取し、永久プレパラートを作製した。このプレパラートを顕微鏡で観察して同定した。

(3) 結 果

樹種同定結果(針葉樹2種、広葉樹3種、樹皮1種、果皮1種)の表と顕微鏡写真を示し、以下に各種の主な解剖学的特徴を記す。

〈1〉 スギ科スギ属スギ (*Cryptomeria japonica* D.Don)

(遺物 No. 7~9,14,19)

(写真 No. 7~9,14,19)

木口では仮道管を持ち、早材から晩材への移行はやや急であった。樹脂細胞は晩材部で接線方向に並んでいた。柾目では放射組織の分野壁孔は典型的なスギ型で1分野に1~3個ある。板目では放射組織はすべて単列であった。樹脂細胞の末端壁はおおむね偏平である。スギは本州、四国、九州の主として太平洋側に分布する。

〈2〉 ヒノキ科アスナロ属 (*Thuopsis* sp.)

(遺物 No. 1, 4~6,15,16,18)

(写真 No. 1, 4~6,15,16,18)

木口では仮道管を持ち、早材から晩材への移行は緩やかであった。樹脂細胞は晩材部に散在または接線配列である。柾目では放射組織の分野壁孔はヒノキ型からややスギ型で1分野に2~4個ある。板目では放射組織はすべて単列であった。数珠状末端壁を持つ樹脂細胞がある。アスナロ属にはアスナロ(ヒバ、アテ)とヒノキアスナロ(ヒバ)があるが顕微鏡下では識別困難である。アスナロ属は本州、四国、九州に分布する。

〈3〉 ブナ科ブナ属 (*Fagus* sp.)

(遺物 No.11)

(写真 No.11)

散孔材である。木口ではやや小さい道管(~110 μm)がほぼ平等に散在する。年輪の内側から外側に向かって大きさおよび数の減少が見られる配列をする。放射組織には単列のもの、2~3列のもの、非常に列数の広いものがある。柾目では道管は単穿孔と階段穿孔を持ち、内部には充填物(チロース)が見られる。放射組織は大体平伏細胞からなり同性である。道管放射組織間壁孔には大型のレンズ状の壁孔が存在する。板目では放射組織は単列、2~3列、広放射組織の3種類がある。広放射組織は肉眼でも1~3mmの高さを持った褐色の紡錘形の斑点としてはっきりと見られる。ブナ属はブナ、イスブナがあり、北海道(南部)、本州、四国、九州に分布する。

〈4〉ブナ科クリ属クリ (*Castanea crenata* Sieb. et Zucc.)

(遺物 No.12,17)

(写真 No.12,17)

環孔材である。木口では円形ないし楕円形で大体単独の大道管 (~500 μm) が年輪にそって幅のかなり広い孔圏部を形成している。孔圏外は急に大きさを減じ薄壁で角張った小道管が単独あるいは2~3個集まって火災状に配列している。柾目では道管は単穿孔と多数の有縁孔を有する。放射組織は大体において平伏細胞からなり同性である。板目では多数の単列放射組織が見られ、軸方向要素として道管、それを取り囲む短冊型柔細胞の連なり(ストランド)、軸方向要素の大部分を占める木繊維が見られる。クリは北海道(西南部)、本州、四国、九州に分布する。

〈5〉モクレン科モクレン属 (*Magnolia* sp.)

(遺物 No. 2)

(写真 No. 2)

散孔材である。木口ではやや小さい道管 (~110 μm) が単独ないし2~4個複合して多数分布する。軸方向柔組織は1~2層の幅で年輪界に配列する。柾目では道管は単穿孔と側壁に階段壁孔を有する。放射組織はすべて平伏細胞からなる同性と平伏と直立細胞からなる異性がある。道管放射組織間壁孔は階段状である。板目では放射組織は1~3細胞列、高さ~700 μmとなっている。モクレン属はホオノキ、コブシなどがあり、北海道、本州、四国、九州に分布する。

〈6〉ヤマザクラ or カバの樹皮

(遺物 No.10,13)

(写真 No.10,13)

横断面と放射断面ではコルク組織とコルク皮層が交互に並んで密に詰まっている。接線断面では細胞が放射方向に規則正しく配列している。しかし桜、樺の皮は顕微鏡観察での判別は難しい。

〈7〉ウリ科エウガオ属 (*Lagenaria* sp.) の果皮

(遺物 No. 3)

(写真 No. 3)

横断面では外側から厚壁細胞の厚壁組織、その内側の薄壁細胞の柔組織がみられる。柔断面では多面体の柔細胞がみられる。エウガオ属のエウガオとヒョウタンの果実はともに熟成すると果皮が堅くなるので、容器をつくる材料として用いられている。

参考文献

- 林 昭三「日本産木材顕微鏡写真集」京大木質科学研究所 (1991)
- 伊東隆夫「日本産広葉樹材の解剖学的記載 I~V」京大木質科学研究所 (1999)
- 島地 謙・伊東隆夫「日本の遺跡出土木製品総覧」雄山閣出版 (1988)
- 北村四郎・村田 源「原色日本植物図鑑木本編 I・II」保育社 (1979)
- 奈良国立文化財研究所「奈良国立文化財研究所 史料第 27 冊 木器集成図録 近畿古代篇」(1985)
- 奈良国立文化財研究所「奈良国立文化財研究所 史料第 36 冊 木器集成図録 近畿原始篇」(1993)

使用顕微鏡

Nikon DS-F11

表1 岩手県中林下遺跡出土木製品同定表

No.	品名	樹種
1	環状	ヒノキ科アスナロ属
2	下駄?	モクレン科モクレン属
3	椀?	ウリ科エウガオ属の果皮
4	曲物底板	ヒノキ科アスナロ属
5	厚い円盤状	ヒノキ科アスナロ属
6	板状(穿孔)	ヒノキ科アスナロ属
7	厚い板状(元は八角形?)	スギ科スギ属スギ
8	厚い板状	スギ科スギ属スギ
9	板状	スギ科スギ属スギ
10	樹皮?	ヤマザクラ or カバの樹皮
11	椀(漆)	ブナ科ブナ属
12	破片(穿孔)	ブナ科クリ属クリ
13	樹皮?	ヤマザクラ or カバの樹皮
14	厚い円盤状	スギ科スギ属スギ
15	曲物側板	ヒノキ科アスナロ属
16	曲物側板	ヒノキ科アスナロ属
17	農具?	ブナ科クリ属クリ
18	曲物側板	ヒノキ科アスナロ属
19	厚い円盤状	スギ科スギ属スギ
20	椀(底部)	ブナ科ブナ属

図版1 木材(1)

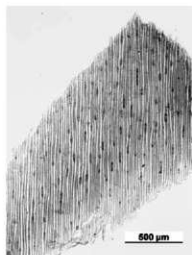


木口

No-1 ヒノキ科アスナロ属



柁目



板目



木口

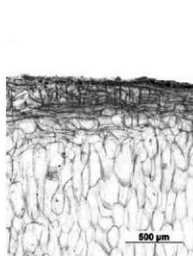
No-2 モクレン科モクレン属



柁目

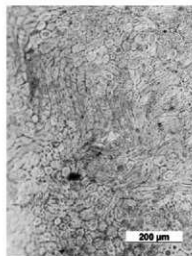


板目



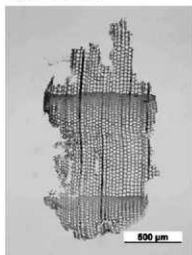
横断面

No-3 ウリ科ユウガオ属の果皮



縦断面

図版2 木材(2)

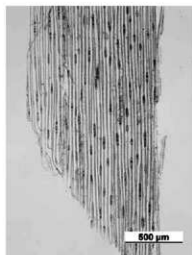


木口

No-4 ヒノキ科アスナロ属



柁目



板目

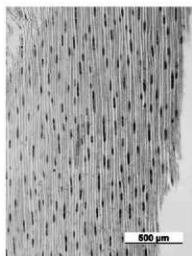


木口

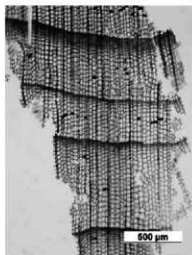
No-5 モクレン科モクレン属



柁目



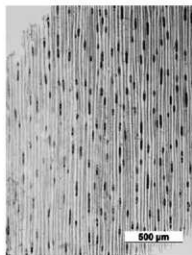
板目



木口



柁目



板目

図版3 木材(3)



木口

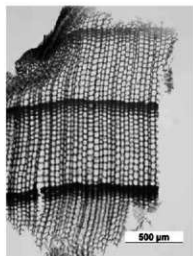
No-7 スギ科スギ属スギ



柁目



板目



木口

No-8 スギ科スギ属スギ



柁目



板目

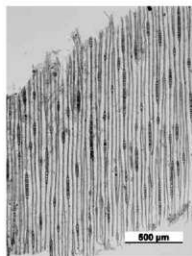


木口

No-9 スギ科スギ属スギ



柁目



板目

図版4 木材(4)



横断面

No-10 ヤマザクラorカバの樹皮

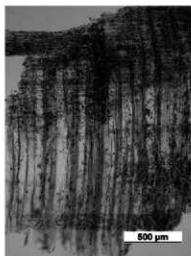


縦断面



木口

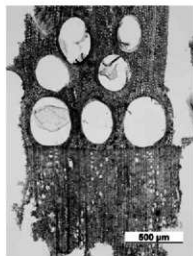
No-11 ブナ科ブナ属



柁目



板目

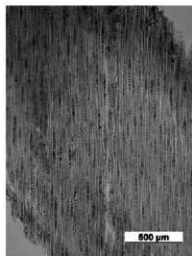


木口

No-12 ブナ科クワリ属クワリ

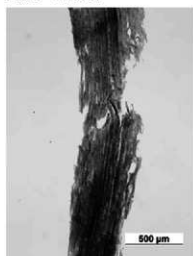


柁目



板目

図版5 木材(5)



横断面



縦断面

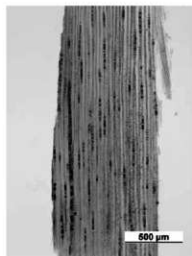
No-13 ヤマザクラorカバの樹皮



木口

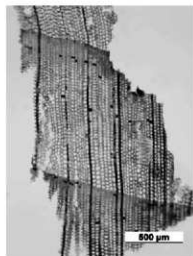


柁目



板目

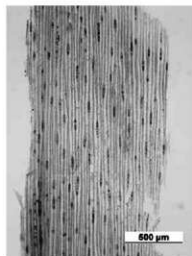
No-14 スギ科スギ属スギ



木口



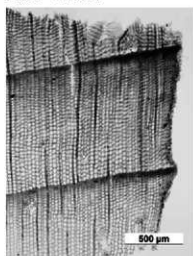
柁目



板目

No-15 ヒノキ科アスナロ属

図版6 木材(6)



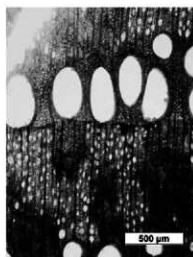
木口
No-16 ヒノキ科アスナロ属



柁目



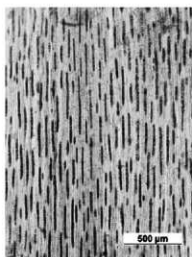
板目



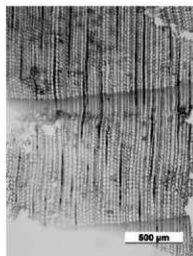
木口
No-17 ブナ科クリ属クリ



柁目



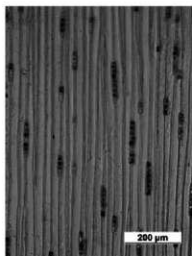
板目



木口
No-18 ヒノキ科アスナロ属

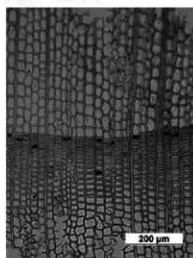


柁目



板目

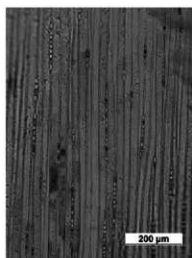
図版7 木材(7)



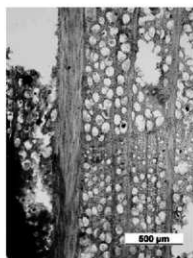
木口
No-19 スギ科スギ属スギ



柁目



板目



木口
No-20 ブナ科ブナ属



柁目



板目

8 漆製品の塗膜構造調査(1)

(株) 吉田生物研究所

(1) はじめに

岩手県に所在する、中林下遺跡から出土した漆製品2点について、その製作技法を明らかにする目的で塗膜構造調査を行ったので、以下にその結果を報告する。

(2) 調査資料

調査した資料は、表1に示す近世の椀2点である。

表1 調査資料

No.	保存処理No.	品名	遺物No.	写真No.	樹種*	概 要
1	11	漆椀	木-13	1.3	ブナ属	内面赤色で外面黒色の椀の破片。
2	20	漆椀	木-16	5.7	ブナ属	内面は黒色地に赤色で文様が施された椀。 外面は黒色で文様の有無は不明。

(3) 調査方法

表1の資料本体の塗膜付着部分から数mm四方の破片を採取してエポキシ樹脂に包埋し、塗膜断面の薄片プレパラートを作製した。これを落射光ならびに透過光の下で検鏡した。

(4) 断面観察

表2 漆器の断面観察結果表

No.	器種	部位	写真No.	塗 膜 構 造 (下層から)			
				下 地		漆 層 構 造	顔 料
				膠着剤	混和材		
1	椀	内面	2	柿渋	木炭粉	赤色漆1層	ベンガラ
		外面	4	柿渋	木炭粉	透明漆1~2層	-
2	椀	内面	6	柿渋	木炭粉	透明漆1層/赤色漆1層	ベンガラ
		外面	8	柿渋	木炭粉	透明漆1層	-

塗膜断面の観察結果を、表2と以下の文章に示す。

塗膜構造：下層から、木胎、下地、漆層が観察された。

下地：2点とも、褐色を呈する柿渋に木炭粉を混和した炭粉塗下地であった。

漆層：No.1の内面の地色は全面が赤色であるが、断面を観察すると、下地の上に直に赤色漆が重なっていた。No.2内面は地色が1層で施された上に、加飾の漆絵の赤色漆が1層施された。

No.1とNo.2の外面はともに地色が黒色であるが、下地の上に透明漆が1層、あるいは1~2層が重なっていた。また火を受けたNo.2の椀は、塗膜も火の影響で濃褐色に変色している。

顔料：No.1内面とNo.2内面の赤色漆層に混和された赤色顔料は、透明度の低いベンガラであった。

(5) 摘 要

中林下遺跡から出土した2点の漆椀の塗膜分析を行った。ともにブナ属の素地の上に炭粉渋下地が施され、地色の漆が1～2層重なっていた。赤色漆に混和された赤色顔料は透明度の低いベンガラであった。

ブナ属の素地の製品は普及品が多く、赤色顔料も朱ではなくベンガラが使用されている点と矛盾しない。

また、内面に赤色で文様が施されたNo.2の1点には、内面に漆などの2次的な付着が見られた。この付着については塗膜の少ない残存状態から、椀が工具として2次利用されたものかは不明である。



写真1 資料No.1内面

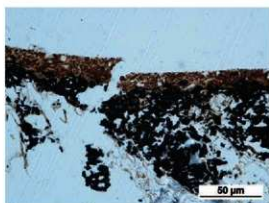


写真2 No.1内面の断面



写真3 資料No.1外面

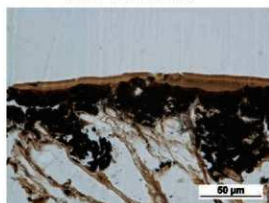


写真4 No.1外面の断面



写真5 資料No.2内面



写真6 No.2内面の断面



写真7 資料No.2外面

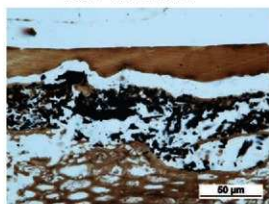


写真8 No.2外面の断面

9 漆製品の塗膜構造調査（2）

（株）吉田生物研究所

（1）はじめに

岩手県に所在する、中林下遺跡から出土した漆製品2点について、その製作技法を明らかにする目的で塗膜構造調査を行ったので、以下にその結果を報告する。

（2）調査資料

調査した資料は、表1に示す中世の椀2点である。

表1 調査資料

No.	保存処理No.	品名	写真No.	概 要
1	64	椀	1, 3	内面は赤色で外面は黒色?の椀の破片。
2	65	椀	5, 7	内面は赤色で外面は不明の椀の破片。

（3）調査方法

表1の資料本体の塗膜付着部分から数mm四方の破片を採取してエポキシ樹脂に包埋し、塗膜断面の薄片プレパラートを作製した。これを落射光ならびに透過光の下で検鏡した。

（4）断面観察

塗膜断面の観察結果を、表2と以下の文章に示す。

表2 漆器の断面観察結果表

No.	器種	部位	写真No.	塗 膜 構 造 (下層から)			
				下 地		漆 層 構 造	顔 料
				膠着剤	混和材		
1	椀	内面	2	柿渋	木炭粉	赤色漆1層	ベンガラ
		外面	4	柿渋	木炭粉	透明漆1～2層	-
2	椀	内面	6	柿渋	木炭粉	赤色漆1層	ベンガラ
		外面	8	柿渋	木炭粉	透明漆1～2層	-

塗膜構造：下層から、木胎、下地、漆層が観察された。

下地：2点とも、濃褐色を呈する柿渋に木炭粉を混和した炭粉渋下地であった。

漆層：漆層の構造も2点とも同様で、内面は下地の上に赤色漆1層が重なり、外面は透明漆1～2層が見られた。

顔料：内面の赤色漆層に混和されていた赤色顔料は、透明度がそれほど高くはないベンガラであった。

（5）摘 要

岩手県に所在する、中林下遺跡から出土した椀2点の塗膜構造調査を行った。

椀2点とともに、木胎に炭粉渋下地を施し、内面には下地の上に赤色のベンガラ漆を1層塗布し、外面には下地の上に透明漆を2層塗布して作られている。



写真1 資料No.1内面



写真2 No.1内面の断面



写真3 資料No.1外面

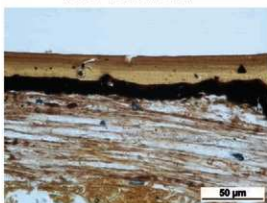


写真4 No.1外面の断面



写真5 資料No.2内面

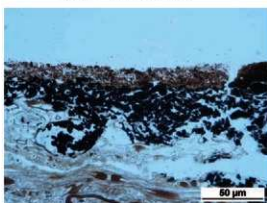


写真6 No.2内面の断面



写真7 資料No.2外面

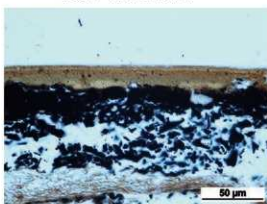


写真8 No.2外面の断面